

第5期沖縄市教育振興基本計画 アンケート調査報告書

令和8年3月
沖縄市教育委員会

- 目次 -

I 概要	7
第1章 調査の概要	9
1. 調査目的	9
2. 調査設計	9
3. 報告書の見方	10
第2章 調査の要約	11
1. 回答者の属性	11
(1) 小学6年生と中学3年生	11
(2) 小学6年生保護者と中学3年生保護者	12
(3) 教員	13
(4) 市民	14
2. 小学生6年生と中学生3年生の比較	15
(1) 授業・授業以外で楽しいと感じている項目	15
(2) 授業への適応状況及び主体的な取組	16
(3) 授業の不明点の対処（複数選択）	17
(4) 授業でのサポート内容の希望	18
(5) 困っていることや不安なこと（複数選択）	19
(6) 「誰にも相談はしない」理由（複数選択）	19
(7) 休日の過ごし方	20
(8) SNSの利用	21
(9) SNS等の利用状況（複数選択）	21
(10) SNS等での嫌な経験に対する対処（複数選択）	22
(11) 自己評価や社会参加等	23
(12) 将来の夢や職業等	24
(13) 体験活動（複数選択）	24
(14) 地域での大人との関わり	25
(15) 地域の大人への評価	25
3. 小学6年生保護者と中学3年生保護者の比較	26
(1) 家庭での学習サポート（複数選択）	26
(2) 家庭学習の取組状況	26
(3) 家庭での学習の課題（複数選択）	27
(4) こどもとの関係で心がけていること	28
(5) 学校に対する要望	29
(6) こどもの生活で心配なこと	30
(7) こどもの教育で困っていること（複数選択）	31
(8) こどものことで悩んだ場合の相談先（複数選択）	31
(9) 「特に相談はしない」理由（複数選択）	32
(10) 学校関連費用で負担だと感じる事項	33
(11) 平日と休日の望ましい過ごし方	34
(12) 学校の取組・活動への協力の意向（複数選択）	36
(13) スマートフォンの保有	37
(14) 持たせている理由（複数選択）	37
4. 教員の調査結果の概要	38
(1) 学習指導で重点的と考える項目	38
(2) 学校で取り組むべき事柄	39
(3) 教育に関しての課題	40
(4) 職務での負担感（複数選択）	41
(5) 悩んだ場合の相談先（複数選択）	41
5. 市民の調査結果の概要	42
(1) 現在の自主的な学習活動の状況	42
(2) 現在の学習活動（複数選択）	42
(3) 学習活動の成果の生かし方（複数選択）	43
(4) 学習活動の活性化に向けた取組の要望（複数選択）	43

(5) 今後参加したい地域活動（複数選択）	44
(6) 地域活動への参加者を増やすために必要なこと（複数選択）	44
(7) 文化財の保存・活用	45
(8) 文化財の活用方法	45
6. 学校での指導や取組の満足度・重要度	46
7. 学校や家庭で児童・生徒の能力や態度を身につけさせる必要性	50
8. 学校・家庭・地域の連携（複数選択）	54
II 本調査の結果	55
第1章 小学6年生の調査結果	57
1. 基本属性	57
(1) 通っている小学校（F1）	57
(2) 性別（問1）	57
(3) 同居している家族（複数選択）（問2）	58
2. 確かな学力・豊かな心・健やかな体に関すること	59
(1) 授業・授業以外で楽しいと感じている項目（問5）	59
(2) 授業への適応状況及び主体的な取組（問6）	61
(3) 授業の不明点の対処（複数選択）（問7）	65
(4) 授業でのサポート内容の希望（1位～3位を選択）（問8）	66
(5) 学校生活の楽しさ（問9）	67
(6) 生活習慣（食事）（問3）	68
(7) 生活習慣（就寝時間）（問4）	68
3. 相談や支援に関すること	69
(1) 困っていることや不安なこと（複数選択）（問15）	69
(2) 不安なことなどの相談先（複数選択）（問16）	70
(3) 「誰にも相談はしない」理由（複数選択）（問16-1）	71
(4) 中学校生活への期待と不安（複数選択）（問19）	72
4. 青少年の健全育成に関すること	74
(1) 平日の過ごし方（問10）	74
(2) 休日の過ごし方（問11）	75
(3) 自己評価や社会参加等（問12）	78
(4) 将来の夢や職業等（問13）	80
(5) 体験活動（複数選択）（問14）	81
5. 学校と家庭、地域の連携・協働に関すること	82
(1) 地域での大人との関わり（問20）	82
(2) 地域の大人への評価（問21）	83
6. スマートフォン・SNSに関すること	84
(1) 自分専用のスマートフォンの保有（問17）	84
(2) SNSの利用（問18）	84
(3) 利用しているアプリケーション（複数選択）（問18-1）	85
(4) SNS等の利用状況（複数選択）（問18-2）	86
(5) SNS等での嫌な経験に対する対処（複数選択）（問18-3）	87
7. 自由意見（小学6年生）	88
(1) 学校や勉強、友達、家のことなどについての自由記述（問22）	88
第2章 中学3年生の調査結果	90
1. 基本属性	90
(1) 通っている中学校（F1）	90
(2) 性別（問1）	90
(3) 同居している家族（複数選択）（問2）	91
2. 確かな学力・豊かな心・健やかな体に関すること	92
(1) 授業・授業以外で楽しいと感じている項目（問5）	92
(2) 授業への適応状況及び主体的な取組（問6）	94
(3) 授業の不明点の対処（複数選択）（問7）	98
(4) 授業でのサポート内容の希望（1位～3位を選択）（問8）	99
(5) 学校生活の楽しさ（問9）	100

(6) 生活習慣（食事）（問 3）	101
(7) 生活習慣（就寝時間）（問 4）	101
3. 相談や支援に関すること	102
(1) 困っていることや不安なこと（複数選択）（問 17）	102
(2) 不安なことなどの相談先（複数選択）（問 18）	103
(3) 「誰にも相談はしない」理由（複数選択）（問 18-1）	104
4. 青少年の健全育成に関すること	105
(1) 平日の過ごし方（問 10）	105
(2) 休日の過ごし方（問 11）	106
(3) いごこちの良い場所（複数選択）（問 12）	109
(4) 自己評価や社会参加等（問 13）	110
(5) 将来の夢や職業等（問 14）	112
(6) 進学希望（問 15）	113
(7) 体験活動（複数選択）（問 16）	114
5. 学校と家庭、地域の連携・協働に関すること	115
(1) 地域での大人との関わり（問 21）	115
(2) 地域の大人への評価（問 22）	116
6. スマートフォン・SNS に関すること	117
(1) 自分専用のスマートフォンの保有（問 19）	117
(2) SNS の利用（問 20）	117
(3) 利用しているアプリケーション（複数選択）（問 20-1）	118
(4) SNS 等の利用状況（複数選択）（問 20-2）	119
(5) SNS 等での嫌な経験に対する対処（複数選択）（問 20-3）	120
7. 自由意見（中学 3 年生）	121
(1) 学校や勉強、友達、家のことなどについての自由記述（問 23）	121

第 3 章 小学 6 年生保護者の調査結果..... 124

1. 基本属性	124
(1) 学区（小学校）（問 1）	124
(2) アンケート回答者の属性（問 2）	124
(3) 養育者の就労状況	125
2. 確かな学力・豊かな心・健やかな体に関すること	126
(1) 家庭学習の取組状況（問 10）	126
(2) 家庭での学習サポート（複数選択）（問 11）	126
(3) 家庭での学習の課題（複数選択）（問 12）	127
(4) こどもとの関係で心がけていること（問 9）	128
(5) 学校での指導や取組の満足度・重要度（問 8）	129
(6) 学校に対する要望（1 位～3 位を選択）（問 6）	134
(7) 学校や家庭での児童・生徒の能力や態度を身につけさせる必要性（問 7）	136
3. 相談や支援に関すること	141
(1) こどもの生活で心配なこと（1 位～3 位を選択）（問 14）	141
(2) こどもの教育で困っていること（複数選択）（問 20）	143
(3) こどものことで悩んだ場合の相談先（複数選択）（問 21）	144
(4) 「特に相談はしない」理由（複数選択）（問 21-1）	145
(5) 学校関連費用で負担だと感じる事項（1 位～3 位を選択）（問 17）	146
(6) こどもの学校生活に必要なものの用意	149
(7) 学びの機会の制限経験	150
4. 学校と家庭、地域の連携・協働に関すること	151
(1) 学校の取組・活動への協力の意向（複数選択）（問 4）	151
(2) PTA（PTCA）活動（問 5）	152
(3) 地域の役割・取組（複数選択）（問 22）	153
5. 青少年の健全育成に関すること	154
(1) 平日と休日の望ましい過ごし方（1 位～3 位を選択）（問 13）	154
6. スマートフォンに関すること	156
(1) スマートフォンの保有（問 15）	156
(2) 持たせている理由（複数選択）（問 15-1）	156
(3) スマートフォン等の利用ルールの有無（問 16）	157

(4) ルールの順守状況 (問 16-1)	157
7. 自由意見 (小学 6 年生保護者)	158
(1) 沖縄市の教育に関するご意見 (問 23)	158

第 4 章 中学 3 年生保護者の調査結果..... 162

1. 基本属性	162
(1) 学区 (中学校) (問 1)	162
(2) アンケート回答者の属性 (問 2)	162
(3) 養育者の就労状況	163
2. 確かな学力・豊かな心・健やかな体に関すること	164
(1) 家庭学習の取組状況 (問 10)	164
(2) 家庭での学習サポート (複数選択) (問 11)	164
(3) 家庭での学習の課題 (複数選択) (問 12)	165
(4) こどもとの関係で心がけていること (問 9)	167
(5) 学校での指導や取組の満足度・重要度 (問 8)	168
(6) 学校に対する要望 (1 位～3 位を選択) (問 6)	173
(7) 学校や家庭での児童・生徒の能力や態度を身につけさせる必要性 (問 7)	175
3. 相談や支援に関すること	180
(1) こどもの生活で心配なこと (1 位～3 位を選択) (問 14)	180
(2) こどもの教育で困っていること (複数選択) (問 20)	182
(3) こどものことで悩んだ場合の相談先 (複数選択) (問 21)	183
(4) 「特に相談はしない」理由 (複数選択) (問 21-1)	184
(5) 学校関連費用で負担だと感じる事項 (1 位～3 位を選択) (問 17)	185
(6) こどもの学校生活に必要なものの用意	189
(7) 学びの機会の制限経験	190
4. 学校と家庭、地域の連携・協働に関すること	191
(1) 学校の取組・活動への協力の意向 (複数選択) (問 4)	191
(2) PTA (PTCA) 活動 (問 5)	192
(3) 地域の役割・取組 (複数選択) (問 22)	193
5. 青少年の健全育成に関すること	194
(1) 平日と休日の望ましい過ごし方 (1 位～3 位を選択) (問 13)	194
6. スマートフォンに関すること	196
(1) スマートフォンの保有 (問 15)	196
(2) 持たせている理由 (複数選択) (問 15-1)	196
(3) スマートフォン等の利用ルールの有無 (問 16)	197
(4) ルールの順守状況 (問 16-1)	197
7. 自由意見 (中学 3 年生保護者)	198
(1) 沖縄市の教育に関するご意見 (問 23)	198

第 5 章 教員の調査結果..... 201

1. 基本属性	201
(1) 教職経験年数 (問 1)	201
(2) 職名・担当している学年 (小学校・中学校・その他)	201
2. 確かな学力・豊かな心・健やかな体に関すること	202
(1) 学習指導で重点的と考える項目 (1 位～3 位を選択) (問 3)	202
(2) 学習意欲の向上の工夫 (1 位～3 位を選択) (問 4)	205
(3) 学校で取り組むべき事柄 (1 位～3 位を選択) (問 11)	208
(4) 児童・生徒に対して取り組むべき事柄 (1 位～3 位を選択) (問 12)	211
(5) 学校や家庭での児童・生徒の能力や態度を身につけさせる必要性 (問 6)	214
(6) 学校教育活動の満足度・重要度 (問 7)	223
3. 学校環境の充実	230
(1) 教育に関しての課題 (1 位～3 位を選択) (問 8)	230
(2) 職務での負担感 (複数選択) (問 9)	232
(3) 悩んだ場合の相談先 (複数選択) (問 10)	233
4. 学校と家庭、地域の連携・協働に関すること	234
(1) 家庭や地域に関わってほしいこと (複数選択) (問 5)	234

5. 自由意見（教員）	235
(1) 学校教育に関するご意見（問 13）	235
第 6 章 市民の調査結果	238
1. 基本属性	238
(1) 性別（問 1）	238
(2) 年代（問 2）	238
(3) 家族構成（問 3）	238
(4) 中学生以下のこどもの有無（複数選択）（問 3-1）	239
(5) 職業（問 4）	239
2. 確かな学力・豊かな心・健やかな体に関すること	240
(1) 学校や家庭での児童・生徒の能力や態度を身につけさせる必要性（問 22）	240
3. 学校と家庭、地域の連携・協働に関すること	251
(1) 学校・家庭・地域の連携に必要なこと（1 位～3 位を選択）（問 23）	251
(2) 参加したい学校・家庭・地域の連携活動（複数選択）（問 24）	254
4. 市民の学習活動に関すること	255
(1) 現在の自主的な学習活動の状況（問 5）	255
(2) 現在の学習活動（複数選択）（問 6-1）	256
(3) 学習活動の目的（複数選択）（問 6-2）	258
(4) 学習活動の頻度（問 6-3）	261
(5) 学習活動の場所（複数選択）（問 6-4）	262
(6) 学習活動の成果の生かし方（複数選択）（問 6-5）	264
(7) 学習活動を行っていない理由（複数選択）（問 6-6）	266
(8) 今後の学習活動の意向（問 7）	268
(9) 取り組みたい学習活動の種類（複数選択）（問 7-1）	269
(10) 学習活動をやめたい理由（1 位～3 位を選択）（問 8）	270
(11) 学習活動の活性化に向けた取組の要望（複数選択）（問 9）	271
5. 社会教育に関すること	273
(1) 中央公民館への期待（複数選択）（問 10）	273
(2) 市立図書館への期待（複数選択）（問 11）	275
(3) 市立郷土博物館への期待（複数選択）（問 12）	277
(4) 講演会・講座の形式（問 13）	279
(5) 生涯学習フェスティバルの認知度（問 14）	280
(6) 生涯学習フェスティバルの取組（複数選択）（問 15）	281
(7) ボランティア活動等の有無（問 16）	282
(8) 今後参加したい地域活動（複数選択）（問 17）	283
(9) 地域活動への参加者を増やすために必要なこと（複数選択）（問 18）	285
(10) 沖縄市教育委員会の取組の認知度（複数選択）（問 19）	287
6. 文化財に関すること	288
(1) 文化財の保存・活用（複数選択）（問 20）	288
(2) 文化財の活用方法（1 位～3 位を選択）（問 21）	289
7. 自由意見（市民）	290
(1) 生涯学習や学校教育に関するご意見（問 25）	290
第 7 章 調査結果のまとめと本市の課題	293
1. 調査結果のまとめ	293
(1) こどもたちへの教育	293
(2) 学校教育	294
(3) 教員	294
(4) 家庭教育	295
(5) 学校と家庭、地域の連携	295
(6) 社会教育・生涯学習	296
(7) 地域活動	297
2. 本市の教育に関する主な課題	298
(1) 自己肯定感や学習意欲の向上	298
(2) キャリア教育や個別最適な学びの充実	298
(3) リテラシー教育の強化	298

(4) 教員の職務環境.....	298
(5) 学校と家庭、地域の連携.....	298
(6) 市民ニーズを踏まえた学習機会等の提供.....	298
(7) 社会教育施設の充実.....	298

Ⅲ 資料編..... 299

1. 小学6年生の調査票.....	301
2. 中学3年生の調査票.....	313
3. 小学6年生保護者の調査票.....	325
4. 中学3年生保護者の調査票.....	340
5. 教員の調査票.....	354
6. 市民の調査票.....	366

I 概要

第1章 調査の概要

1. 調査目的

本調査は、教育基本法第17条第2項の規定に基づく、第5期沖縄市教育振興基本計画の策定に向け、施策立案等の検討の基礎資料とするため、アンケートにより児童・生徒、保護者、教員及び市民からの意向等を把握するため実施した。

2. 調査設計

	内容
調査対象者	①小学6年生 1,603人 ②中学3年生 1,546人 ③小学6年生保護者 1,603人 ④中学3年生保護者 1,546人 ⑤教員 817人（小学校 528人、中学校 289人） ⑥市民 3,098人
抽出方法	①～⑤市内の全ての小学6年生、中学3年生及びその保護者、教員 ⑥市民：無作為抽出(20歳から75歳まで)
調査方法	①、②小学6年生、中学3年生：学校にて配布、WEB回収 ③、④、⑤保護者、教員：学校にて配布、WEB回収 ⑥市民：郵送発送・郵送回収、WEB回収併用
調査期間	令和7年12月1日～令和8年1月4日
有効回収数 (率)	①小学6年生：821票（51.2%） ②中学3年生：846票（54.7%） ③小学6年生保護者：578票（36.1%） ④中学3年生保護者：397票（25.7%） ⑤教員：406票（49.7%） ⑥市民：1,241票（40.1%）
調査実施及び 分析委託機関	株式会社サーベイリサーチセンター

3. 報告書の見方

- グラフ・表中の「n」はアンケートの回収数を示している。
- 比率はすべて百分率（%）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出している。従って、合計が100.0%にならない場合もある。
- 複数選択の場合、回答の合計比率が100.0%を超える場合がある。
- クロス集計で着目している数値は必ずしも最も高い値でないことがある。全体の値を基準に数値の開きが+と-で大きいものを選択して検証している。
- 令和2年度調査との比較を一部掲載しているが、設問内容や選択肢の構成が前回と異なる項目もあるため、比較の結果は参考として解釈する必要がある。

加重平均について

- 1位～3位等の順位付けで回答を求める質問で用いている「加重平均」とは、各項目の変数（回答数）を同等に扱うのではなく、1位～3位等の順位に応じて一定の重み（ウエイト）を与えてその平均を算出したものである。
- この集計方法は、回答者が順位を付けた項目の評価の強さを把握することを目的としている。
1位・2位・3位それぞれに「無回答」という選択肢を設けていないため、無回答を含めて集計すると、実際には存在しない選択肢の評価点を算出することになることから、分析の正確性を保つ目的で無回答は除外している。

得点（ウエイト）	5点	4点	3点	2点	1点
1位～5位の順位付け質問	1位	2位	3位	4位	5位
1位～3位の順位付質問			1位	2位	3位

第2章 調査の要約

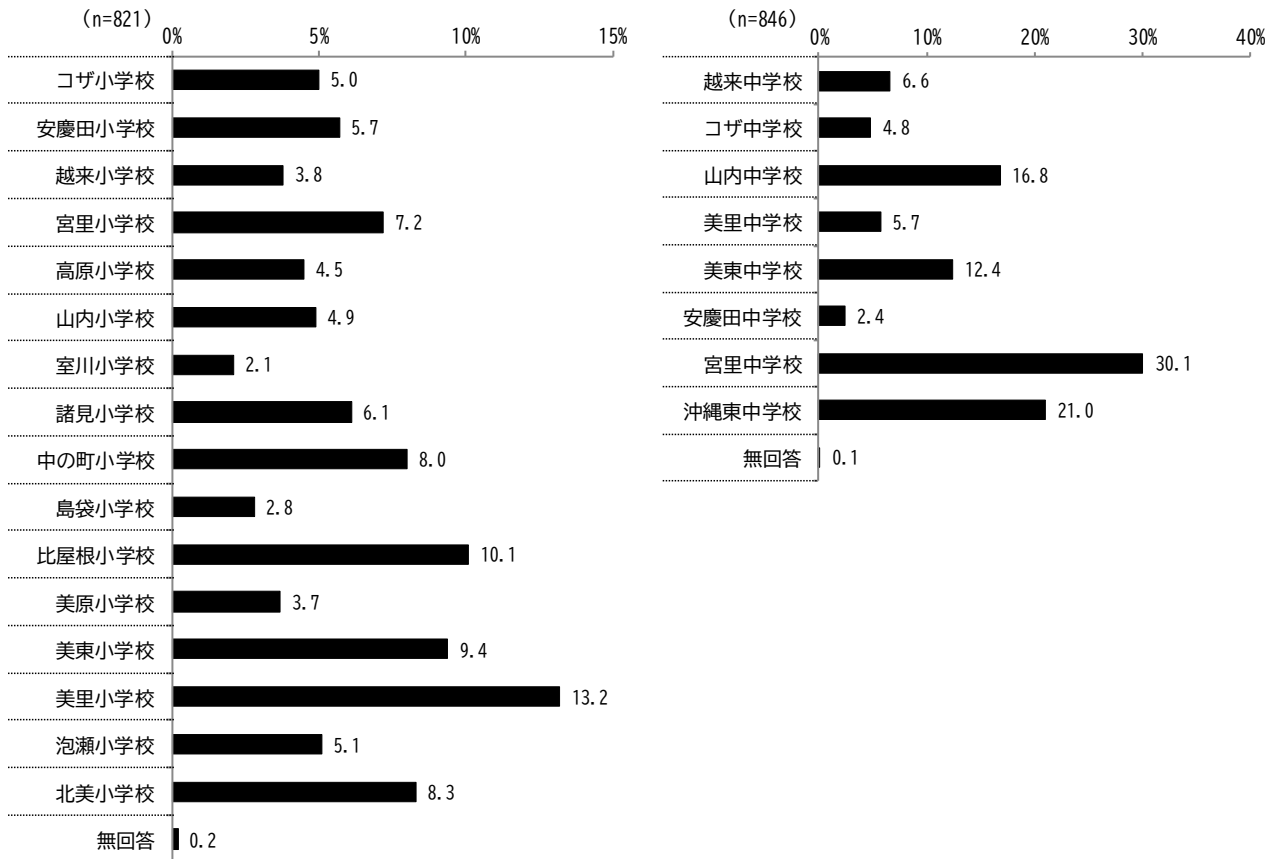
1. 回答者の属性

(1) 小学6年生と中学3年生

通っている学校

小学校 16 校と中学校 8 校の小学 6 年生と中学 3 年生にアンケートを行った回答となっている。

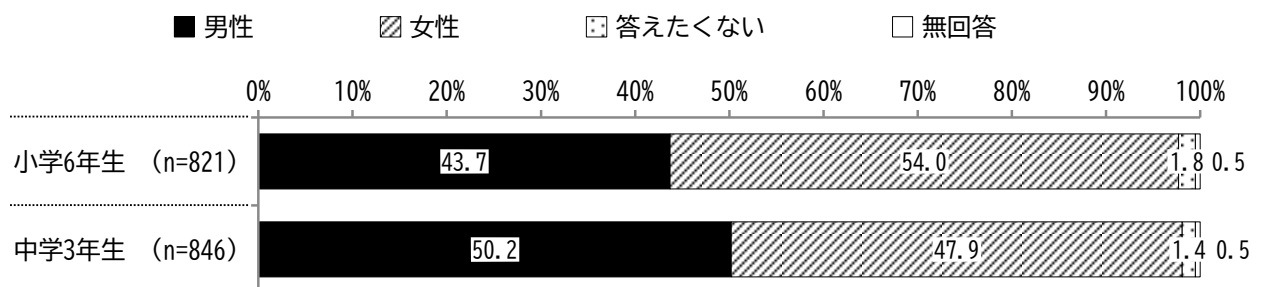
図表 - 1 通っている小学校・中学校



性別

回答者の性別は男女でほぼ半数となっている。

図表 - 2 性別

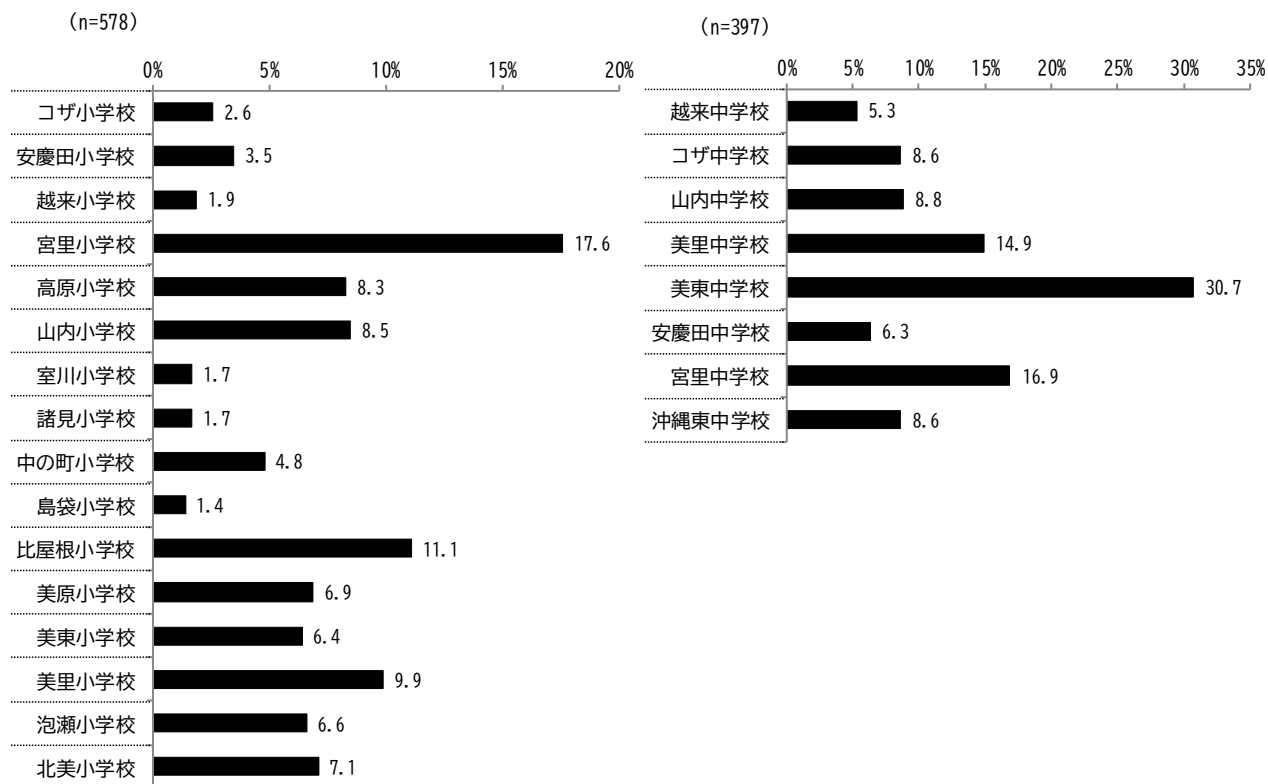


(2) 小学6年生保護者と中学3年生保護者

こどもの通っている学区

小学校 16 校と中学校 8 校の小学 6 年生と中学 3 年生の保護者にアンケートを行った回答となっている。

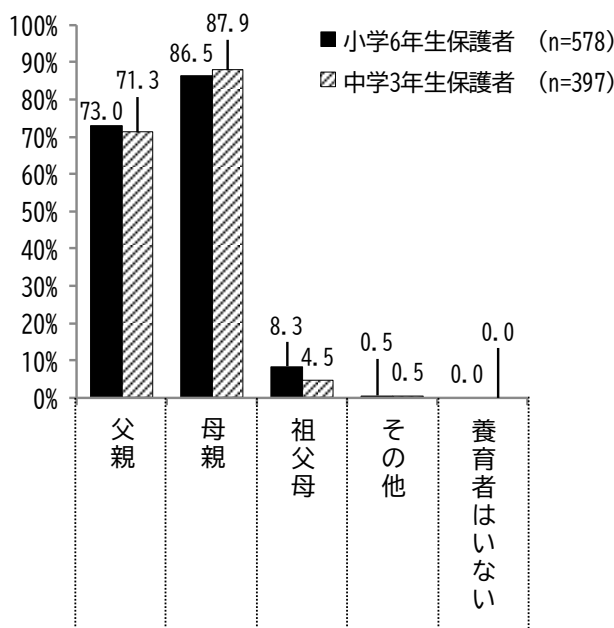
図表 - 3 こどもの通っている学区 (小学校・中学校)



お子さんの主な養育者 (複数選択)

主な養育者は母親が 8 割半ば、父親が 7 割強となっている。

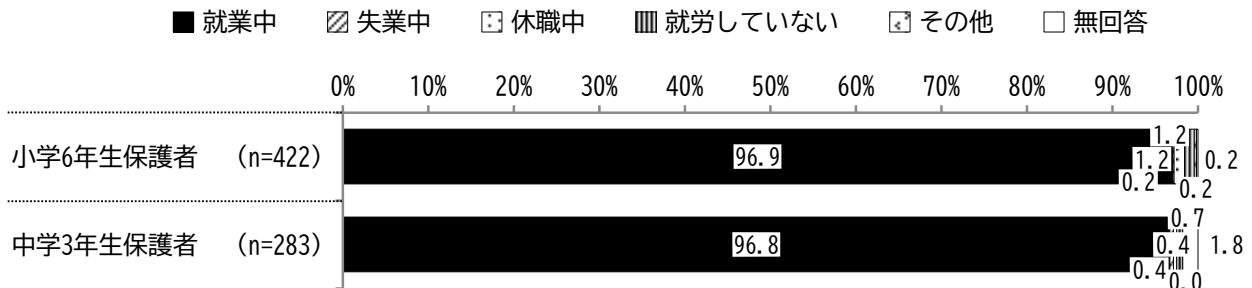
図表 - 4 養育者の分類



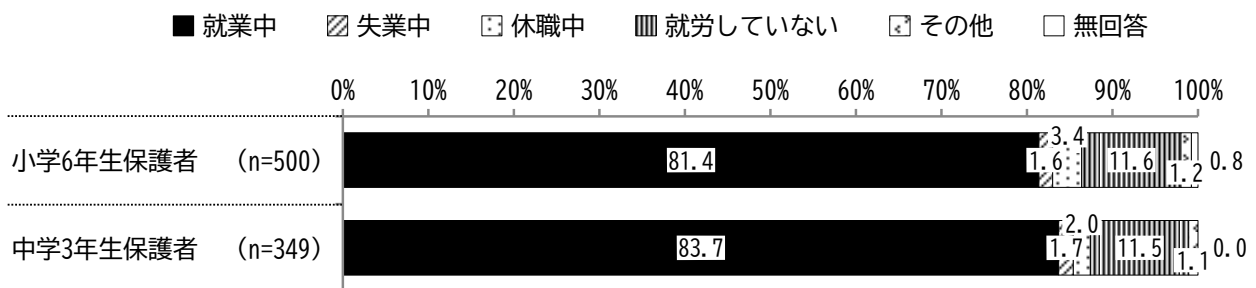
養育者の就労状況（複数選択）

養育者の就労状況は、小学6年生・中学3年生ともに父親は9割以上、母親は8割程度と就業中の割合が高くなっている。

図表 - 5 父親の就労状況



図表 - 6 母親の就労状況

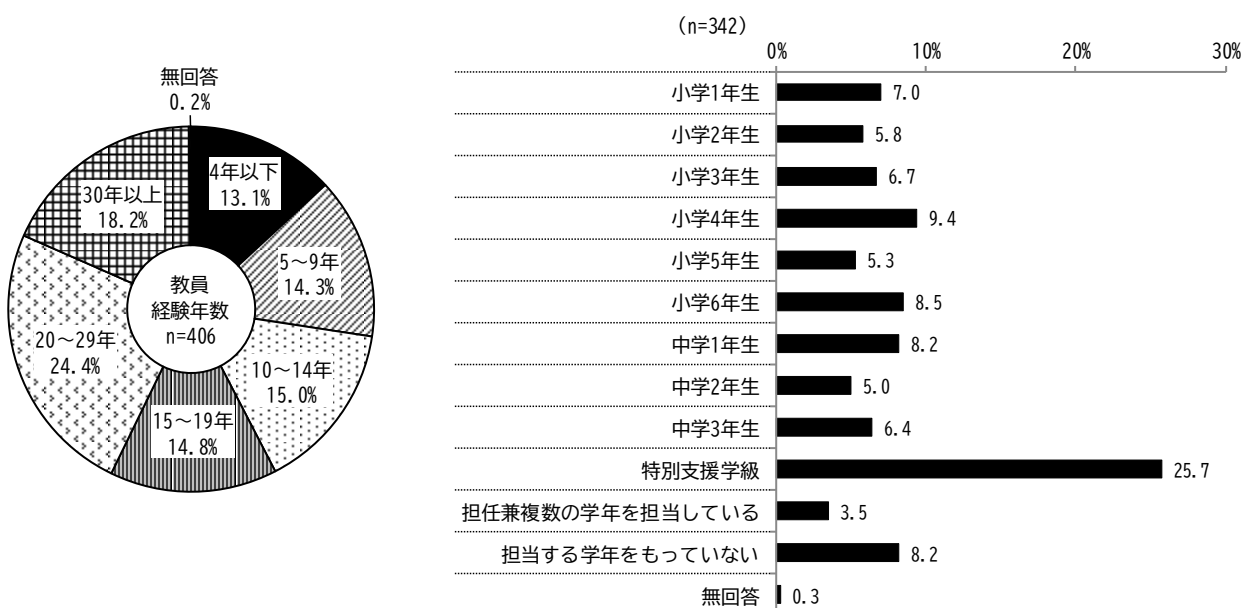


(3) 教員

教員経験年数・担当学年

教員経験年数は、「20～29年」の割合が最も高く、次いで「30年以上」となっている。
担当学年は、「特別支援学級」の割合が最も高く、次いで「小学4年生」となっている。

図表 - 7 教員経験年数及び担当学年



(4) 市民

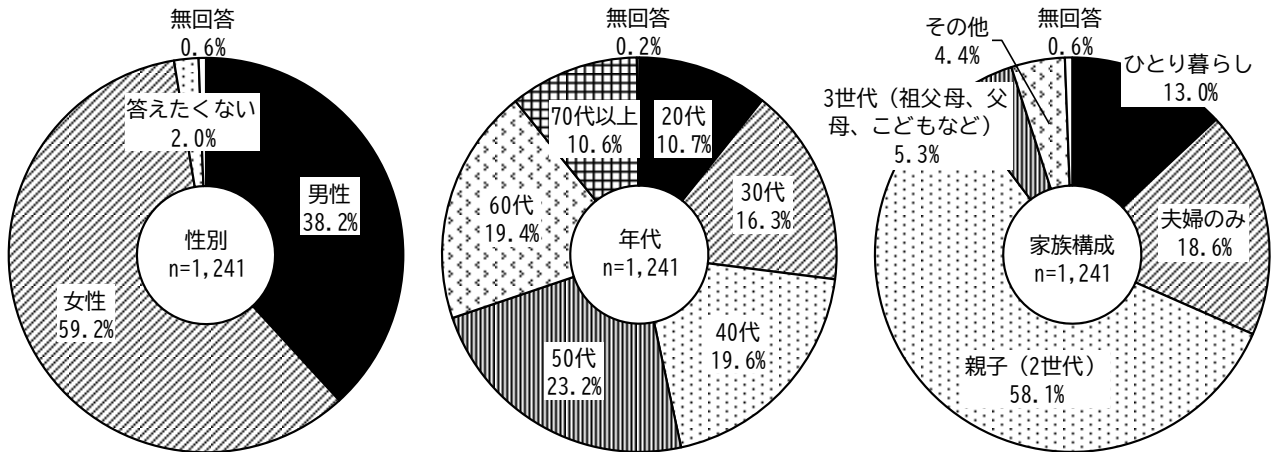
性別・年代・家族構成

アンケート回答者の性別は女性が約6割を占めている。

年代は「50代」の割合が最も高く、次いで「40代」となっている。

家族構成は、親子（2世代）の割合が最も高く、次いで「夫婦のみ」となっている。

図表 - 8 性別・年代・家族構成



2. 小学生6年生と中学生3年生の比較

(1) 授業・授業以外で楽しいと感じている項目

授業や授業以外で楽しいと感じている項目では、中学3年生より、小学6年生が「とても楽しい」と感じている割合が全体的に高い。「⑮学校行事（遠足や運動会など／校外学習や体育祭など）」「⑰給食の時間」「⑳友達との関係」が小学6年生・中学3年生ともに上位となっている。

図表 - 9 授業・授業以外で楽しいと感じている項目

		(%)						
		小学6年生 (n=821)	中学3年生 (n=846)	とても楽しい	やや楽しい	あまり楽しくない	まったく楽しくない	無回答
①国語	小学6年生			22.5	52.5	18.4	5.8	0.7
	中学3年生			22.9	50.1	20.2	6.1	0.6
②社会	小学6年生			35.7	43.6	15.5	4.9	0.4
	中学3年生			32.5	47.9	13.7	5.4	0.5
③算数 数学	小学6年生			29.8	36.7	22.7	9.7	1.1
	中学3年生			25.8	41.5	21.0	11.0	0.7
④理科	小学6年生			37.6	39.2	16.0	6.1	1.1
	中学3年生			28.0	43.6	20.8	6.7	0.8
⑤音楽	小学6年生			35.7	39.0	17.3	7.2	0.9
	中学3年生			44.7	38.7	11.2	4.4	1.1
⑥図画工作 美術	小学6年生			52.6	30.1	11.1	5.0	1.2
	中学3年生			48.7	38.1	10.0	2.5	0.7
⑦家庭 技術・家庭	小学6年生			44.0	35.8	14.3	4.8	1.2
	中学3年生			26.4	46.3	20.2	6.4	0.7
⑧体育	小学6年生			54.6	27.5	11.0	6.1	0.9
	中学3年生			55.6	29.8	8.3	5.6	0.8
⑨外国語	小学6年生			25.3	41.0	22.3	10.5	0.9
	中学3年生			30.6	42.1	18.3	8.2	0.8
⑩道徳	小学6年生			32.0	41.7	17.2	7.8	1.3
	中学3年生			27.1	47.2	17.6	7.4	0.7
⑪学級活動（学活）	小学6年生			42.4	43.1	10.0	3.7	0.9
	中学3年生			43.3	43.5	9.6	2.7	0.9
⑫総合的な学習の時間	小学6年生			43.2	41.5	10.1	3.9	1.2
	中学3年生			40.4	45.7	9.5	3.2	1.2
⑬授業の内容	小学6年生			31.7	49.6	12.9	4.4	1.5
	中学3年生			31.2	49.3	13.1	4.7	1.7
⑭児童会（委員会）活動 生徒会（委員会）活動	小学6年生			46.7	33.6	13.3	5.0	1.5
	中学3年生			27.4	41.3	21.7	6.9	2.7
⑮学校行事（遠足や運動会など） 学校行事（校外学習や体育祭など）	小学6年生			76.5	16.4	4.4	1.8	0.9
	中学3年生			66.0	24.9	5.2	3.1	0.8
⑯クラブ活動 部活動	小学6年生			56.4	28.3	10.5	3.9	1.0
	中学3年生			48.7	23.5	7.4	12.3	8.0
⑰給食の時間	小学6年生			57.7	33.6	5.1	2.1	1.5
	中学3年生			57.0	33.7	6.5	1.8	1.1
⑱学校の決まりやルール	小学6年生			30.6	48.5	14.1	5.2	1.6
	中学3年生			28.6	46.8	17.4	6.4	0.8
⑲先生との関係	小学6年生			47.3	38.9	9.5	3.0	1.3
	中学3年生			46.3	42.9	7.6	2.5	0.7
⑳友達との関係	小学6年生			74.8	17.9	4.0	1.9	1.3
	中学3年生			69.7	24.9	2.8	0.7	1.8
㉑学級委員や係などの活動	小学6年生			47.3	39.0	8.9	3.8	1.1
	中学3年生			38.3	41.1	13.7	5.2	1.7

(2) 授業への適応状況及び主体的な取組

授業への適応状況及び主体的な取組の「よくある」の回答でみると、中学3年生では、「④授業の内容がむずかしすぎると思う」「⑥授業の進み方が早すぎると思う」が小学6年生よりやや高く、授業の難易度や進度を負担に感じている割合が高い。「①授業の内容がよく分かる」では小学6年生が高く、小学生の方が授業理解の実感がやや高い傾向がみられる。

図表 - 10 授業への適応状況及び主体的な取組

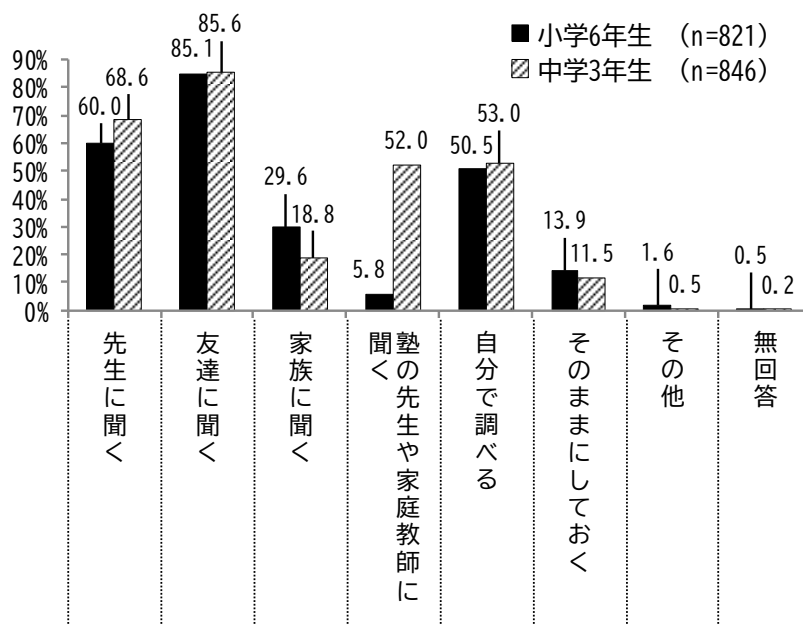
(%)

	小学6年生 (n=821) 中学3年生 (n=846)	よくある	ときどきある	あまりない	まったくない	無回答
①授業の内容がよく分かる	小学6年生	50.7	40.4	6.0	2.2	0.7
	中学3年生	38.4	49.5	9.0	2.4	0.7
②授業が楽しいと思う	小学6年生	41.8	38.9	13.6	5.0	0.7
	中学3年生	33.2	43.7	16.8	5.1	1.2
③授業の内容をもっとくわしく知りたいと思う	小学6年生	32.5	39.0	22.3	5.5	0.7
	中学3年生	35.7	42.1	17.1	4.0	1.1
④授業の内容がむずかしすぎると思う	小学6年生	17.4	39.6	25.3	16.6	1.1
	中学3年生	30.6	41.7	19.5	7.6	0.6
⑤授業の内容がかんたんすぎると思う	小学6年生	9.3	28.6	40.0	21.2	1.0
	中学3年生	8.6	19.5	40.8	30.1	0.9
⑥授業の進み方が早すぎると思う	小学6年生	8.3	23.9	39.6	27.4	0.9
	中学3年生	11.6	31.3	39.5	16.8	0.8
⑦授業の進み方がおそすぎると思う	小学6年生	8.5	17.5	40.6	32.8	0.6
	中学3年生	8.7	18.7	46.3	25.3	0.9
⑧タブレットを使う授業は分かりやすいと思う	小学6年生	52.1	34.7	9.3	3.5	0.4
	中学3年生	35.6	44.0	15.8	3.3	1.3
⑨自分で工夫しながら問題を解く	小学6年生	34.0	40.0	20.3	5.0	0.7
	中学3年生	30.9	43.6	20.8	3.7	1.1
⑩自分の考えを発表する	小学6年生	22.7	24.6	32.8	18.9	1.1
	中学3年生	19.0	29.2	32.6	18.1	1.1
⑪分からないときは先生に質問する	小学6年生	35.8	30.1	23.5	9.6	1.0
	中学3年生	34.6	38.8	18.4	6.9	1.3
⑫きちんとノートを書くようにしている	小学6年生	62.2	25.3	8.5	2.8	1.1
	中学3年生	55.4	31.7	8.4	3.2	1.3

(3) 授業の不明点の対処（複数選択）

授業で分からないことがあるときの行動では、小学6年生・中学3年生ともに、「友達に聞く」が最も高く、次いで「先生に聞く」や「自分で調べる」となっている。「塾の先生や家庭教師に聞く」では中学3年生の割合が高く、小学6年生と中学3年生の差が最も大きくなっている。

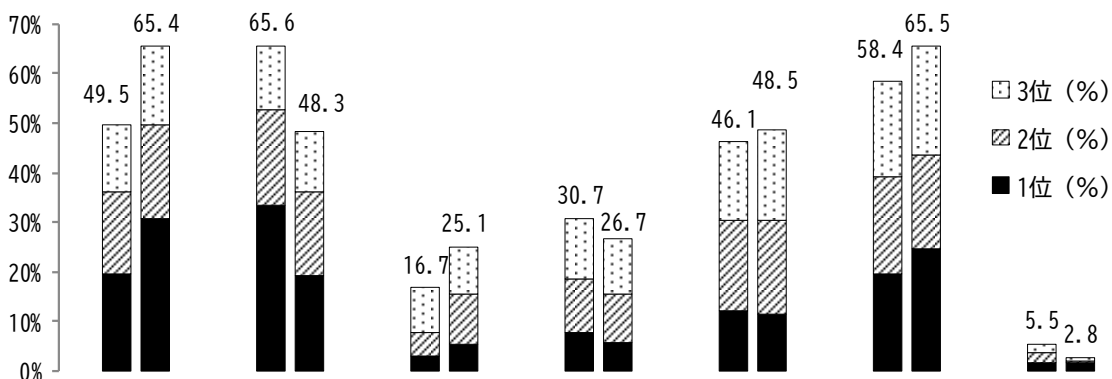
図表 - 11 授業の不明点の対処



(4) 授業でのサポート内容の希望

授業でのサポート内容の希望の1位～3位の合計比率では、「①わからないところを個別に教えてもらう時間がほしい」で中学3年生が高く、「②少人数の授業やグループ学習の機会がほしい」では小学6年生の割合が高く、小学6年生と中学3年生の差が17.3ポイントで最も大きくなっている。

図表 - 12 授業でのサポート内容の希望 (1位～3位順位比率)

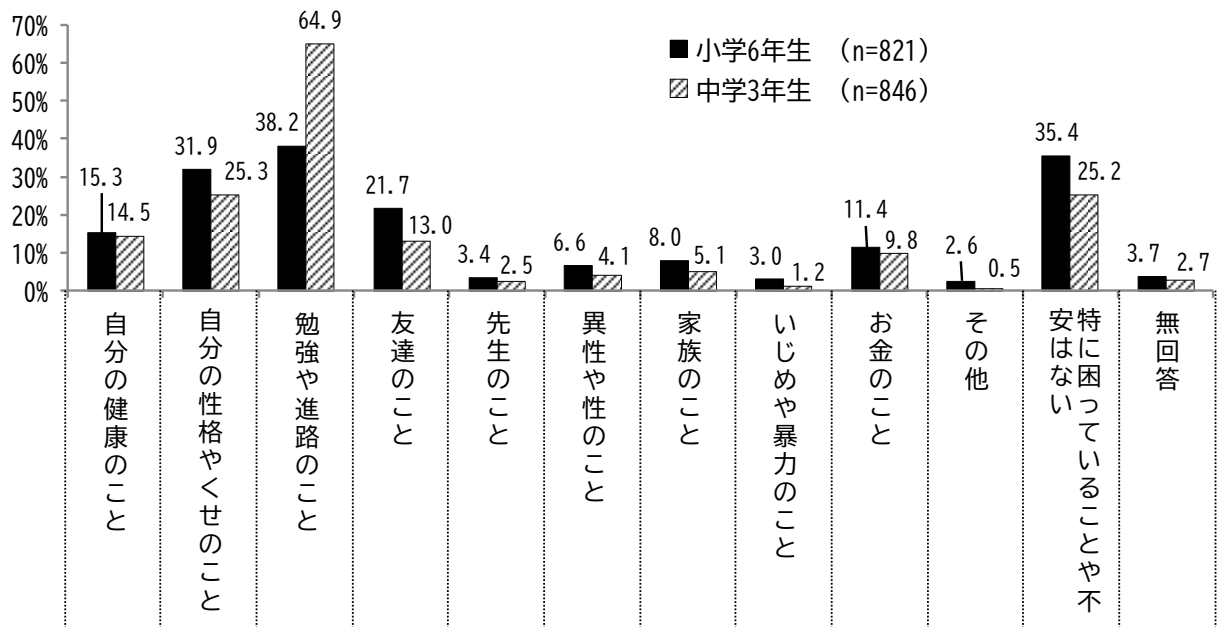


	① わからないところを個別に教えてもらう時間がほしい		② 少人数の授業やグループ学習の機会がほしい		③ 補習時間や放課後の学習の機会がほしい		④ 進めどゆつくり授		⑤ 先生に「ここがむずかしい」と聞いて		⑥ プリントが書いてある本がほしい		⑦ その他	
	小学6年生	中学3年生	小学6年生	中学3年生	小学6年生	中学3年生	小学6年生	中学3年生	小学6年生	中学3年生	小学6年生	中学3年生	小学6年生	中学3年生
1位 (%)	19.7	30.7	33.3	19.1	3.0	5.4	7.7	5.6	12.2	11.6	19.6	24.5	1.7	1.5
2位 (%)	16.3	19.0	19.4	16.9	4.8	10.0	10.8	9.9	18.1	18.9	19.7	18.9	1.9	0.6
3位 (%)	13.5	15.7	12.9	12.3	8.9	9.7	12.2	11.2	15.8	18.0	19.1	22.1	1.9	0.7
合計 (%)	49.5	65.4	65.6	48.3	16.7	25.1	30.7	26.7	46.1	48.5	58.4	65.5	5.5	2.8
加重平均	2.1	2.2	2.3	2.1	1.6	1.8	1.9	1.8	1.9	1.9	2.0	2.0	2.0	2.3

(5) 困っていることや不安なこと（複数選択）

困っていることや不安なことでは、小学6年生・中学3年生ともに、「勉強や進路のこと」が最も高く、次いで「自分の性格やくせのこと」となっている。勉強や進路のこと以外では、小学6年生が中学3年生よりも高い割合となっている。

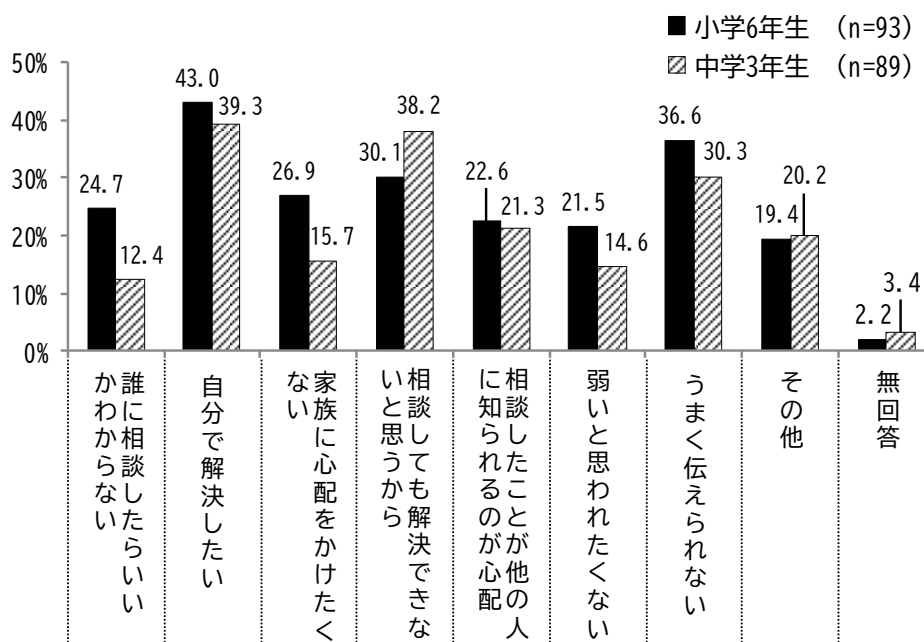
図表 - 13 困っていることや不安なこと



(6) 「誰にも相談はしない」理由（複数選択）

誰にも相談はしない理由では、小学6年生・中学3年生ともに、「自分で解決したい」「相談しても解決できないと思うから」「うまく伝えられない」の割合が高くなっている。

図表 - 14 「誰にも相談はしない」理由



(7) 休日の過ごし方

休日の過ごし方では、小学6年生・中学3年生ともに、「④テレビやビデオ（DVD）、ユーチューブなどの動画を見る」や「⑧友達と遊ぶ」「⑥インターネットやスマートフォンなどでゲームをする」の割合が高くなっている。

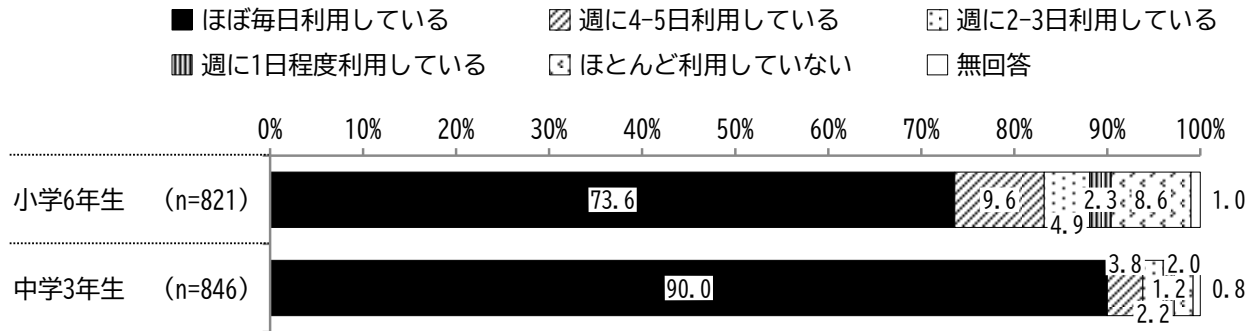
図表 - 15 休日の過ごし方

		(%)					
		3時間以上	2時間以上 3時間より 少ない	1時間以上 2時間より 少ない	1時間より 少ない	まったく ない	無回答
	小学6年生 (n=821) 中学3年生 (n=846)						
①勉強をする（家庭学習）	小学6年生	6.7	4.6	19.4	41.7	26.4	1.2
	中学3年生	19.1	17.0	21.0	21.7	20.1	0.9
②読書をする（マンガや雑誌は読まない）	小学6年生	3.4	3.4	6.1	21.0	64.8	1.3
	中学3年生	2.5	3.1	5.9	11.6	75.4	1.5
③マンガや雑誌を読む	小学6年生	6.1	5.5	10.5	18.5	56.9	2.6
	中学3年生	5.4	5.7	9.8	18.2	59.0	1.9
④テレビやビデオ（DVD）、ユーチューブなどの動画を見る	小学6年生	41.7	20.3	21.0	11.0	4.6	1.5
	中学3年生	43.5	20.9	21.9	7.9	4.6	1.2
⑤ユーチューブやSNSで動画を作成する	小学6年生	6.2	3.7	6.9	12.2	69.4	1.6
	中学3年生	6.7	3.1	4.4	6.6	77.9	1.3
⑥インターネットやスマートフォンなどでゲームをする	小学6年生	34.5	15.3	18.8	16.2	13.8	1.5
	中学3年生	32.0	17.5	16.1	15.5	17.4	1.5
⑦スマートフォン（携帯電話）で話をしたり、メールやラインのやりとりをする	小学6年生	16.0	9.9	15.7	30.3	26.8	1.3
	中学3年生	23.9	13.5	20.2	28.8	12.3	1.3
⑧友達と遊ぶ	小学6年生	38.0	11.8	10.7	12.2	25.8	1.5
	中学3年生	34.6	12.8	14.1	10.5	26.2	1.8
⑨学習塾に行く（そろばん塾含む）	小学6年生	6.7	2.6	3.7	1.9	83.7	1.5
	中学3年生	24.6	15.6	12.2	3.3	43.3	1.1
⑩習いごとに行く	小学6年生	16.9	4.9	7.9	5.7	63.1	1.5
	中学3年生	9.0	4.8	5.8	3.5	75.2	1.7
⑪野球、サッカーなど、地域のチームでスポーツをする	小学6年生	21.8	5.4	2.8	2.8	65.4	1.8
	中学3年生	7.3	3.8	4.3	2.6	80.0	2.0
⑫子ども会や地域の行事、エイサーなどに参加する	小学6年生	3.7	2.1	2.9	6.0	83.6	1.8
	中学3年生	2.1	1.4	2.1	3.8	89.0	1.5
⑬公園や運動施設（コザ運動公園、県総合運動公園など）に行く	小学6年生	12.1	9.1	12.8	14.1	50.2	1.7
	中学3年生	8.3	6.1	6.4	8.9	68.8	1.5
⑭学校でクラブ活動をする	小学6年生	6.8	1.9	5.8	9.1	74.8	1.5
	中学3年生	5.0	3.7	4.1	3.0	82.9	1.4
⑮児童館や学童クラブなどに行く 児童館に行く	小学6年生	5.2	1.8	2.4	4.3	84.2	2.1
	中学3年生	2.5	1.3	1.4	2.2	90.9	1.7
⑯図書館や郷土博物館、沖縄こどもの国に行く	小学6年生	5.5	6.0	10.0	13.3	63.7	1.6
	中学3年生	3.3	2.1	3.1	4.3	85.5	1.8
⑰家の手伝いをする（洗濯、掃除、料理、片付けなど）	小学6年生	8.9	11.3	17.3	42.6	18.5	1.3
	中学3年生	8.7	7.9	17.1	38.7	26.0	1.5
⑱父母・祖父母などの家族の介護・看病やきょうだいの世話をする	小学6年生	5.8	5.4	6.6	15.3	64.6	2.3
	中学3年生	4.8	3.1	5.1	8.5	76.0	2.5

(8) SNS の利用

勉強以外での SNS やインターネットの利用状況では、小学6年生・中学3年生ともに、「ほぼ毎日利用している」が最も高く、小学6年生では7割強、中学3年生では9割となっている。

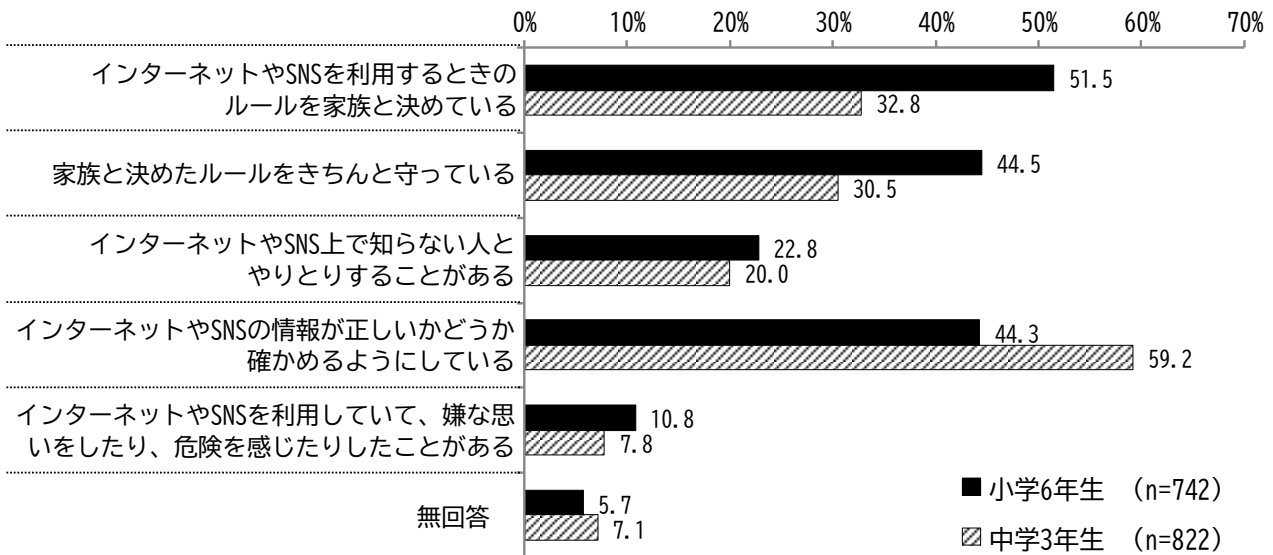
図表 - 16 SNS の利用



(9) SNS 等の利用状況（複数選択）

SNS やインターネットの利用状況では、小学6年生の「インターネットやSNSを利用するときのルールを家族と決めている」が5割で、中学3年生では、「インターネットやSNSの情報が正しいかどうか確かめるようにしている」が6割と最も高くなっている。

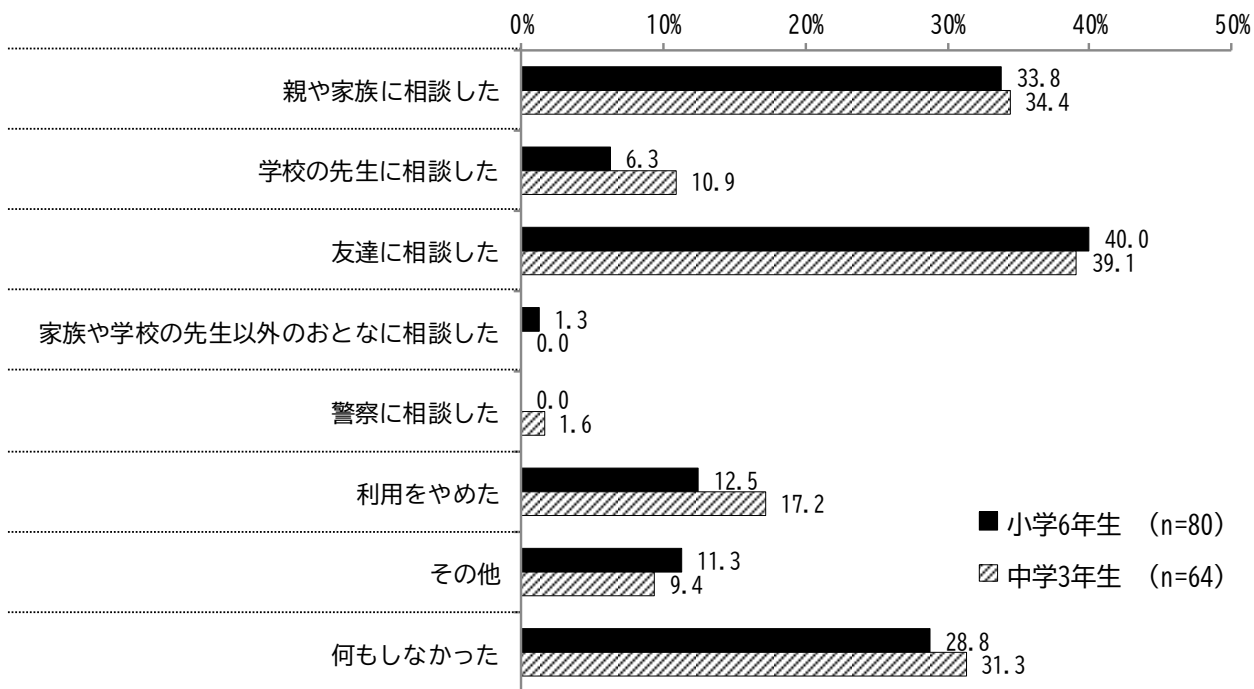
図表 - 17 SNS 等の利用状況



(10) SNS 等での嫌な経験に対する対処（複数選択）

SNS やインターネットを利用して嫌な思いをしたり、危険を感じたりしたときの行動では、小学6年生・中学3年生ともに、「友達に相談した」が4割と最も高くなっている。次いで「親や家族に相談した」「何もしなかった」となっている。

図表 - 18 SNS 等での嫌な経験に対する対処



(11) 自己評価や社会参加等

自己評価や社会参加などに対する考えについては、傾向に大きな違いは見られないが、「とてもあてはまる」の「①自分はやればできると思う」「③自分の考えや思いをはっきりと言うことができる」「⑦自分と違う考えを持つ人の話も聞こうと思う」では中学3年生が小学6年生よりわずかに高い。一方、「⑥学校で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」「⑩自分が住んでいるまちが好き」「⑧いろいろな個性や特徴を持つ人がいることは良いことだと思う」では小学6年生が高くなっている。

図表 - 19 自己評価や社会参加等

		(%)				
		とてもあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答
	小学6年生 (n=821) 中学3年生 (n=846)					
①自分はやればできると思う	小学6年生	41.7	43.0	10.7	4.0	0.6
	中学3年生	46.3	37.8	11.9	2.7	1.2
②自分には良いところがあると思う	小学6年生	42.5	38.6	11.8	6.1	1.0
	中学3年生	42.6	39.1	12.8	4.1	1.4
③自分の考えや思いをはっきりと言うことができる	小学6年生	25.5	31.7	30.3	11.6	1.0
	中学3年生	31.9	36.1	22.1	8.3	1.7
④学校では、自分の良いところを発揮する場面がある	小学6年生	29.6	35.8	24.1	9.3	1.2
	中学3年生	29.7	38.1	21.6	8.9	1.8
⑤自分は今幸せである	小学6年生	55.1	31.2	8.8	3.2	1.8
	中学3年生	51.1	35.6	9.6	2.6	1.2
⑥学校で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	小学6年生	63.9	25.6	6.1	2.8	1.6
	中学3年生	49.2	38.8	8.0	2.7	1.3
⑦自分と違う考えを持つ人の話も聞こうと思う	小学6年生	53.8	33.7	7.8	3.2	1.5
	中学3年生	59.3	33.2	4.3	1.4	1.8
⑧いろいろな個性や特徴を持つ人がいることは良いことだと思う	小学6年生	76.5	18.1	2.6	1.3	1.5
	中学3年生	71.0	24.7	2.2	0.6	1.4
⑨困っている人がいたら、進んで助けたいと思う	小学6年生	58.7	31.5	6.3	1.7	1.7
	中学3年生	54.4	36.4	6.0	1.3	1.9
⑩いじめられたり、いじめを見たりしたときに、先生や家族、友達などに相談することができる	小学6年生	48.4	31.4	12.2	6.9	1.1
	中学3年生	48.3	32.5	13.2	4.4	1.5
⑪自分が住んでいるまちが好き	小学6年生	58.2	29.8	6.9	3.2	1.8
	中学3年生	50.0	35.2	9.9	3.2	1.7
⑫子ども会や地域の行事、お祭り、エイサーなどに参加する	小学6年生	20.6	17.1	19.0	41.9	1.5
	中学3年生	18.3	23.0	17.7	38.8	2.1

(12) 将来の夢や職業等

将来の夢や職業に関することの「とてもあてはまる」では、「①将来の夢や目標がある」や「②将来つきたい職業がある」で小学6年生が中学3年生より高いが、「④職業について調べたり、体験したりしたことがある」や「⑥自分の将来に不安を感じることもある」では中学3年生が高くなっている。

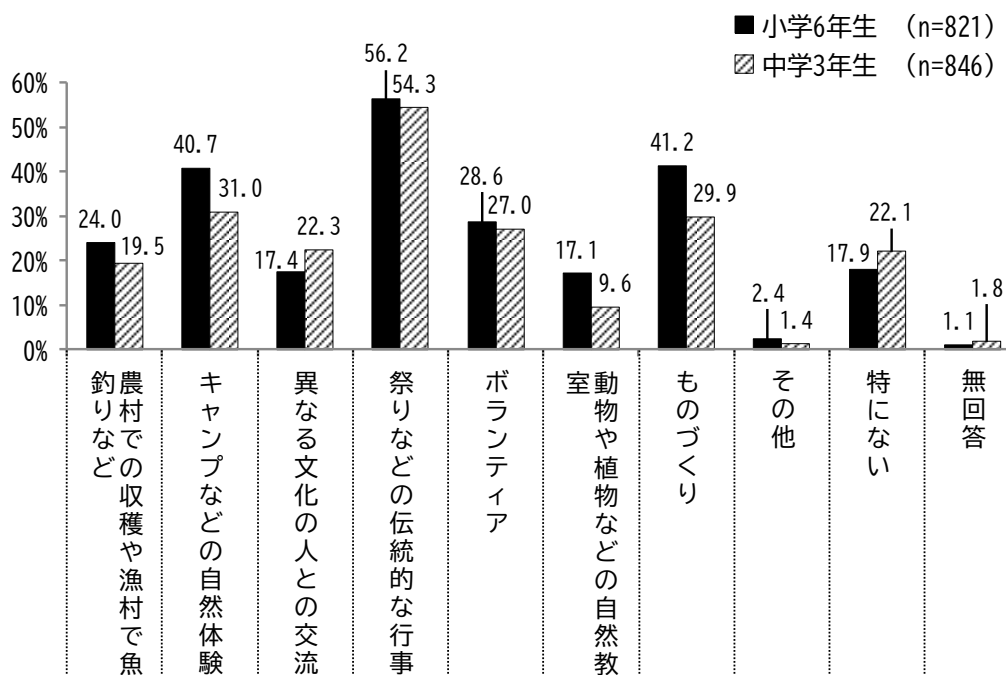
図表 - 20 将来の夢や職業等

						(%)
		とてもあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答
	小学6年生 (n=821) 中学3年生 (n=846)					
①将来の夢や目標がある	小学6年生	54.1	24.0	12.8	7.7	1.5
	中学3年生	43.0	29.2	17.8	8.7	1.2
②将来つきたい職業がある	小学6年生	53.3	21.4	13.8	9.9	1.6
	中学3年生	37.5	27.4	21.7	11.8	1.5
③将来つきたい職業のことを家族と話している	小学6年生	36.2	17.9	23.5	21.1	1.3
	中学3年生	36.5	27.7	20.4	13.9	1.4
④職業について調べたり、体験したりしたことがある	小学6年生	23.5	22.7	24.5	27.3	2.1
	中学3年生	33.9	31.1	19.3	13.8	1.9
⑤自分の将来に希望を持っている	小学6年生	41.0	26.9	19.2	11.0	1.8
	中学3年生	38.9	30.5	20.0	9.3	1.3
⑥自分の将来に不安を感じることもある	小学6年生	25.6	32.6	20.1	20.1	1.6
	中学3年生	39.2	33.7	15.1	10.5	1.4

(13) 体験活動（複数選択）

体験活動への参加状況では、小学6年生・中学3年生ともに、「祭りなどの伝統的な行事」が最も高く、次いで「キャンプなどの自然体験」「ものづくり」となっている。

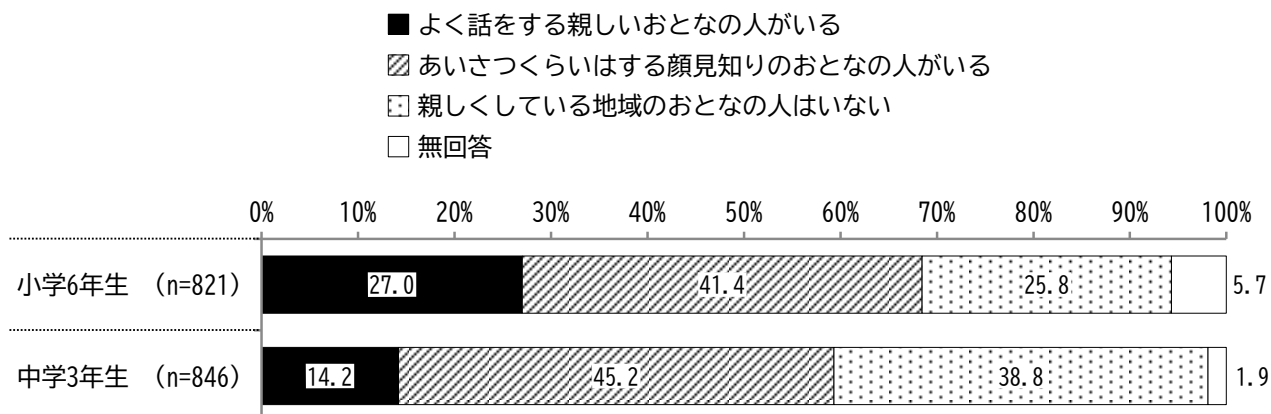
図表 - 21 体験活動



(14) 地域での大人との関わり

家族以外の地域での大人との関わりでは、中学3年生は、「親しくしている地域のおとなの人はいい」が小学6年生より高く、「よく話をする親しいおとなの人がいる」は小学6年生が高くなっている。

図表 - 22 地域での大人との関わり



(15) 地域の大人への評価

地域の大人への評価では、小学6年生の「とてもそう思う」が「⑩交流などをするつもりはない」を除いた全項目で中学3年生より高い。小学6年生・中学3年生ともに「⑧自分たちを見守ってくれている」が最も高くなっている。

図表 - 23 地域の大人への評価

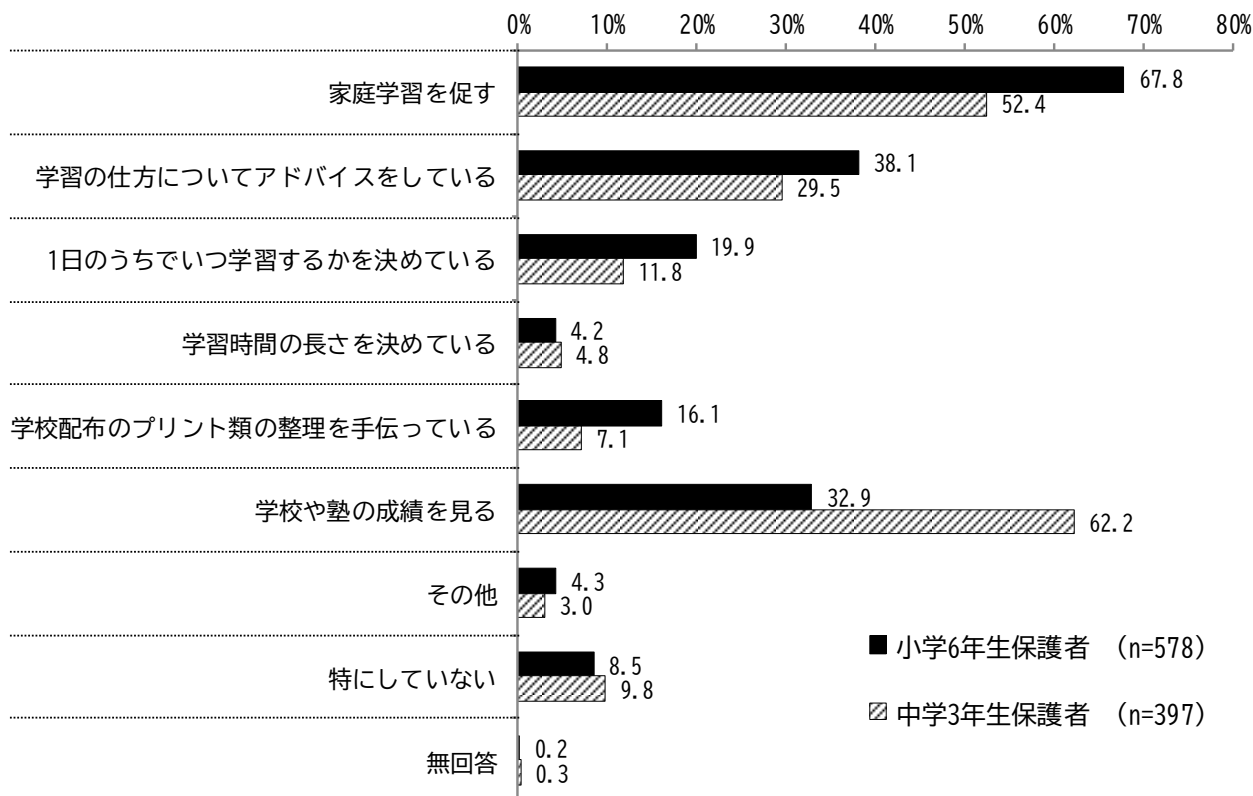
		(%)				
		とてもそう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	無回答
	小学6年生 (n=821) 中学3年生 (n=846)					
①自分の話をよく聞いてくれる	小学6年生	25.7	26.9	18.3	24.4	4.8
	中学3年生	18.2	20.6	19.5	37.9	3.8
②いっしょに遊んでくれる	小学6年生	16.2	18.3	23.5	37.0	5.0
	中学3年生	11.2	13.4	22.9	48.8	3.7
③いろいろな経験をさせてくれる	小学6年生	20.1	19.7	20.3	34.5	5.4
	中学3年生	14.1	17.1	20.7	44.3	3.8
④自分の良いところをみとめてくれる	小学6年生	27.8	25.2	16.9	24.8	5.2
	中学3年生	18.6	20.1	17.5	40.0	3.9
⑤自分のことを思って、真剣にしかってくれる	小学6年生	19.9	20.6	21.4	32.9	5.2
	中学3年生	13.8	18.6	19.3	44.3	4.0
⑥困ったときに助けてくれたり、相談することができる	小学6年生	22.2	20.0	21.0	31.9	5.0
	中学3年生	15.6	18.0	19.3	43.3	3.9
⑦何かに挑戦したいとき、応援や支援をしてくれる	小学6年生	26.2	23.6	16.3	27.8	6.1
	中学3年生	18.6	19.6	17.4	40.4	4.0
⑧自分たちを見守ってくれている	小学6年生	37.1	28.9	10.5	18.3	5.2
	中学3年生	25.4	25.4	13.2	32.0	3.9
⑨交流などをしたい	小学6年生	17.3	23.1	23.1	31.1	5.4
	中学3年生	13.8	22.8	23.6	36.1	3.7
⑩交流などをするつもりはない	小学6年生	16.4	19.7	23.1	35.0	5.7
	中学3年生	18.1	19.3	22.0	36.8	3.9

3. 小学6年生保護者と中学3年生保護者の比較

(1) 家庭での学習サポート（複数選択）

家庭での学習サポートについて、小学6年生保護者では、「家庭学習を促す」が7割弱で最も高い。中学3年生保護者では、「学校や塾の成績を見る」が6割強で最も高く、小学6年生保護者より29.3ポイント高くなっている。

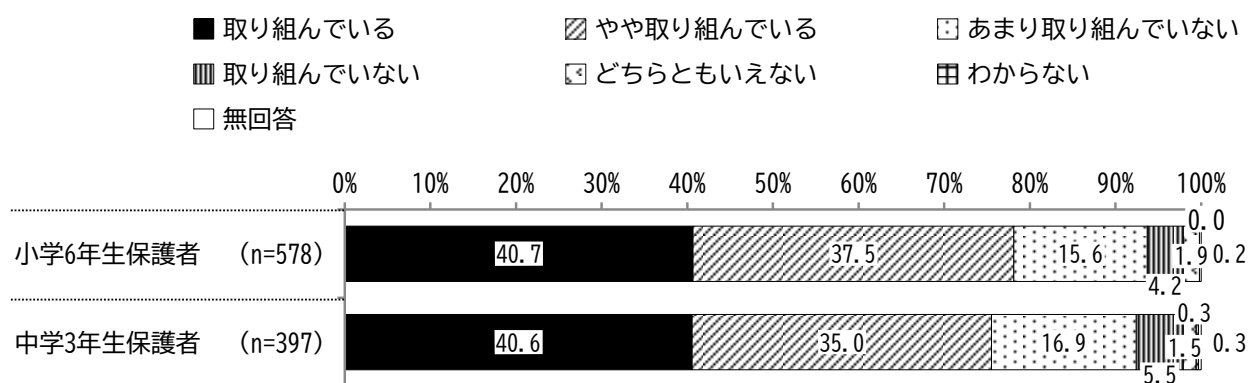
図表 - 24 家庭での学習サポート



(2) 家庭学習の取組状況

家庭学習でのこどもの意欲的な取組状況は、小学6年生保護者・中学3年生保護者ともに「取り組んでいる」と「やや取り組んでいる」を合わせた割合が7割以上となっている。

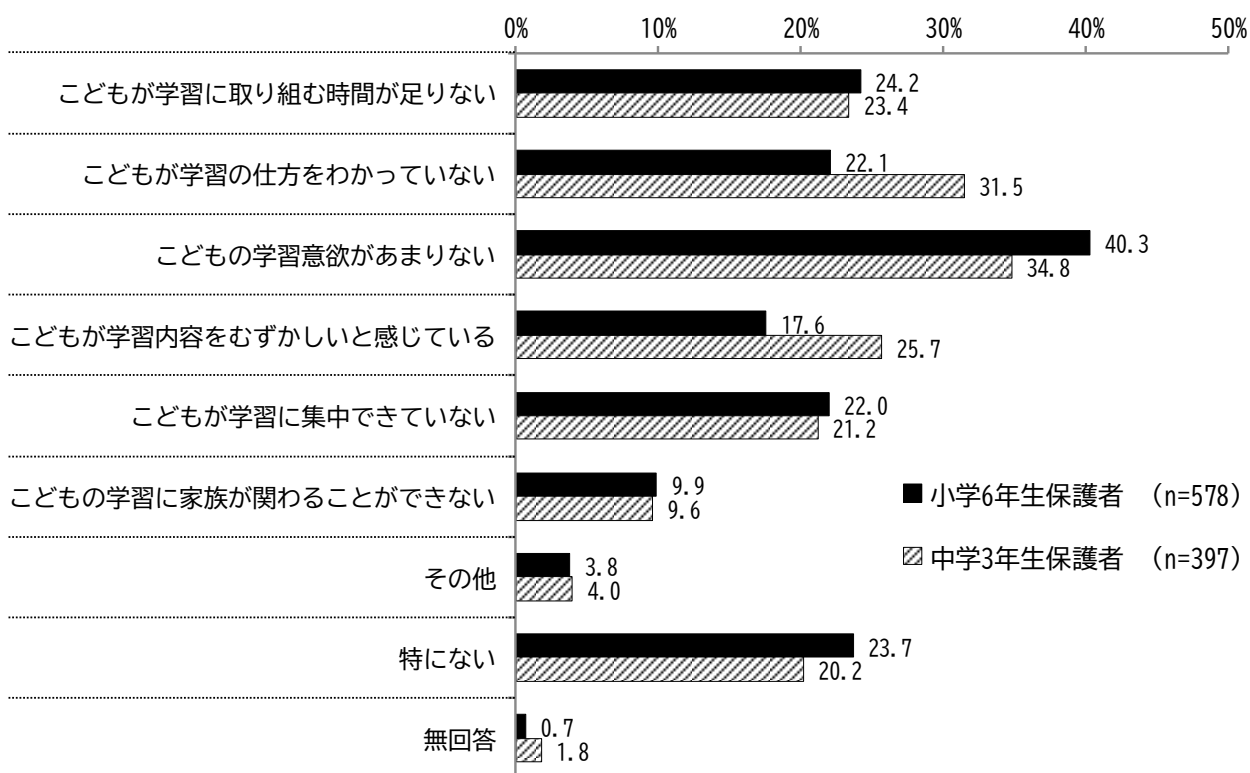
図表 - 25 家庭学習の取組状況



(3) 家庭での学習の課題（複数選択）

家庭での学習の課題では、小学6年生保護者・中学3年生保護者ともに、「こどもの学習意欲があまりない」が最も高くなっている。次いで小学6年生保護者では、「こどもが学習に取り組む時間が足りない」、中学3年生保護者では、「こどもが学習の仕方をわかっていない」となっている。課題は「特になし」という回答は、小学6年生保護者、中学3年生保護者ともに2割程となっている。

図表 - 26 家庭での学習の課題



(4) こどもとの関係で心がけていること

こどもとの関係で心がけていることでは、小学6年生保護者・中学3年生保護者ともに、「⑪悪いことをした時はきちんと叱る」の「大変心がけている」の割合が最も高く、次いで「⑫こどもの努力や良いところをほめる」となっている。

小学6年生保護者と中学3年生保護者の回答の差が最も大きいのは、「⑰地域の行事やお祭りに親子で参加する」で、小学6年生保護者が15.9ポイント高くなっている。

図表 - 27 こどもとの関係で心がけていること

(%)

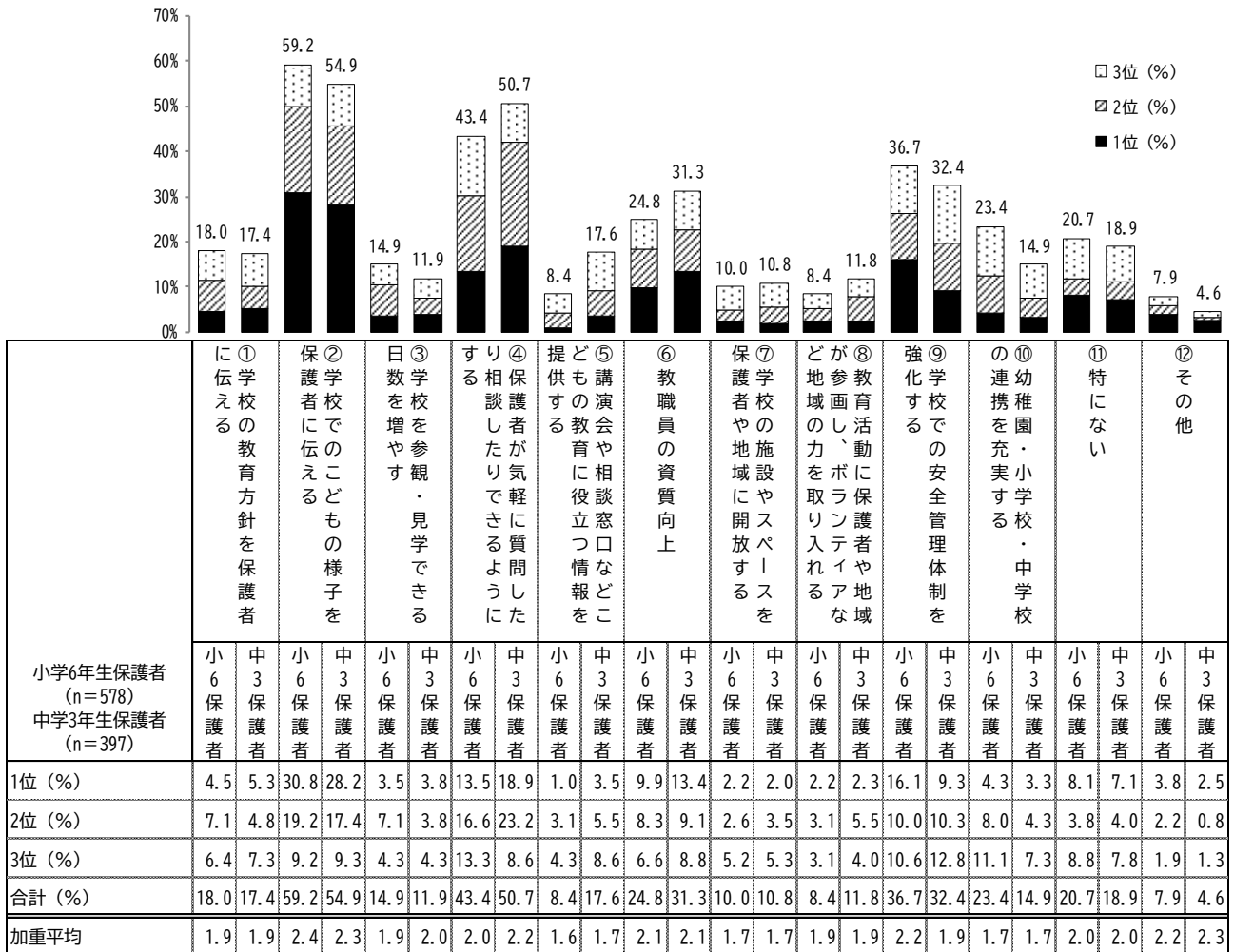
	小学6年生保護者 (n=578) 中学3年生保護者 (n=397)	大変心が けている	やや心が けている	あまり心 がけてい ない	まったく 心がけて いない	無回答
①規則正しい生活習慣を身につけさせる	小学6年生保護者	52.2	44.5	2.1	-	1.2
	中学3年生保護者	44.3	46.9	7.1	-	1.8
②こどもの食生活や食習慣	小学6年生保護者	51.4	43.6	3.6	-	1.4
	中学3年生保護者	45.1	46.9	6.0	-	2.0
③あいさつや行儀、礼儀作法を身につけさせる	小学6年生保護者	60.4	36.7	1.6	-	1.4
	中学3年生保護者	57.7	36.5	3.5	0.3	2.0
④テレビやゲーム、携帯電話（スマートフォン）等の使い方や使う時間を決める	小学6年生保護者	32.5	49.5	15.2	1.6	1.2
	中学3年生保護者	23.9	46.3	24.4	3.3	2.0
⑤家事の手伝いなど家族の一員としての役割を与える	小学6年生保護者	37.4	45.5	14.9	0.9	1.4
	中学3年生保護者	32.5	47.4	16.6	1.5	2.0
⑥スポーツに親しむ習慣や意欲を育む	小学6年生保護者	38.6	32.2	23.9	4.2	1.2
	中学3年生保護者	28.5	36.0	27.0	6.5	2.0
⑦音楽や芸術など文化的な活動を通して豊かな感性を育む	小学6年生保護者	27.3	42.9	24.2	4.3	1.2
	中学3年生保護者	23.2	41.3	28.0	5.3	2.3
⑧本や新聞を読むようにすすめる	小学6年生保護者	21.1	36.9	31.5	9.2	1.4
	中学3年生保護者	15.1	37.5	34.8	10.6	2.0
⑨家族みんなで食事をするなど団らんの場をつくる	小学6年生保護者	59.5	32.2	6.4	0.7	1.2
	中学3年生保護者	52.4	33.8	10.1	1.5	2.3
⑩正しい言葉づかいを教える	小学6年生保護者	51.4	40.1	6.7	0.2	1.6
	中学3年生保護者	44.3	42.6	10.6	0.5	2.0
⑪悪いことをした時はきちんと叱る	小学6年生保護者	80.4	17.3	0.7	-	1.6
	中学3年生保護者	75.8	20.2	1.8	-	2.3
⑫こどもの努力や良いところをほめる	小学6年生保護者	72.5	25.4	0.9	-	1.2
	中学3年生保護者	69.3	25.7	2.8	-	2.3
⑬自分でできることは自分でさせ自立心を育てる	小学6年生保護者	61.2	33.7	3.8	-	1.2
	中学3年生保護者	57.7	35.0	5.0	0.5	1.8
⑭将来や進路についての話をする	小学6年生保護者	46.9	39.8	10.9	1.2	1.2
	中学3年生保護者	57.4	33.5	6.8	-	2.3
⑮学校での出来事などこどもの話を聞く	小学6年生保護者	63.3	31.7	3.3	0.2	1.6
	中学3年生保護者	56.2	35.5	6.0	0.3	2.0
⑯こどもの適切なお金の使い方	小学6年生保護者	49.1	41.5	7.3	0.9	1.2
	中学3年生保護者	46.9	41.6	8.8	0.8	2.0
⑰地域の行事やお祭りに親子で参加する	小学6年生保護者	30.8	38.9	23.9	4.8	1.6
	中学3年生保護者	14.9	38.3	35.8	9.1	2.0
⑱ものづくりや自然体験の機会をつくる	小学6年生保護者	28.5	40.8	25.1	4.3	1.2
	中学3年生保護者	17.1	34.5	36.8	9.3	2.3
⑲学校行事に参加する	小学6年生保護者	48.8	38.9	10.0	1.0	1.2
	中学3年生保護者	35.0	44.3	14.6	3.3	2.8

(5) 学校に対する要望

学校に対する要望の1位～3位の合計比率では、小学6年生保護者・中学3年生保護者ともに「②学校でのこどもの様子を保護者に伝える」が最も高い。

1位の割合をみると、小学6年生保護者では「⑨学校での安全管理体制を強化する」、中学3年生保護者では「④保護者が気軽に質問したり相談したりできるようにする」が2番目に高くなっている。

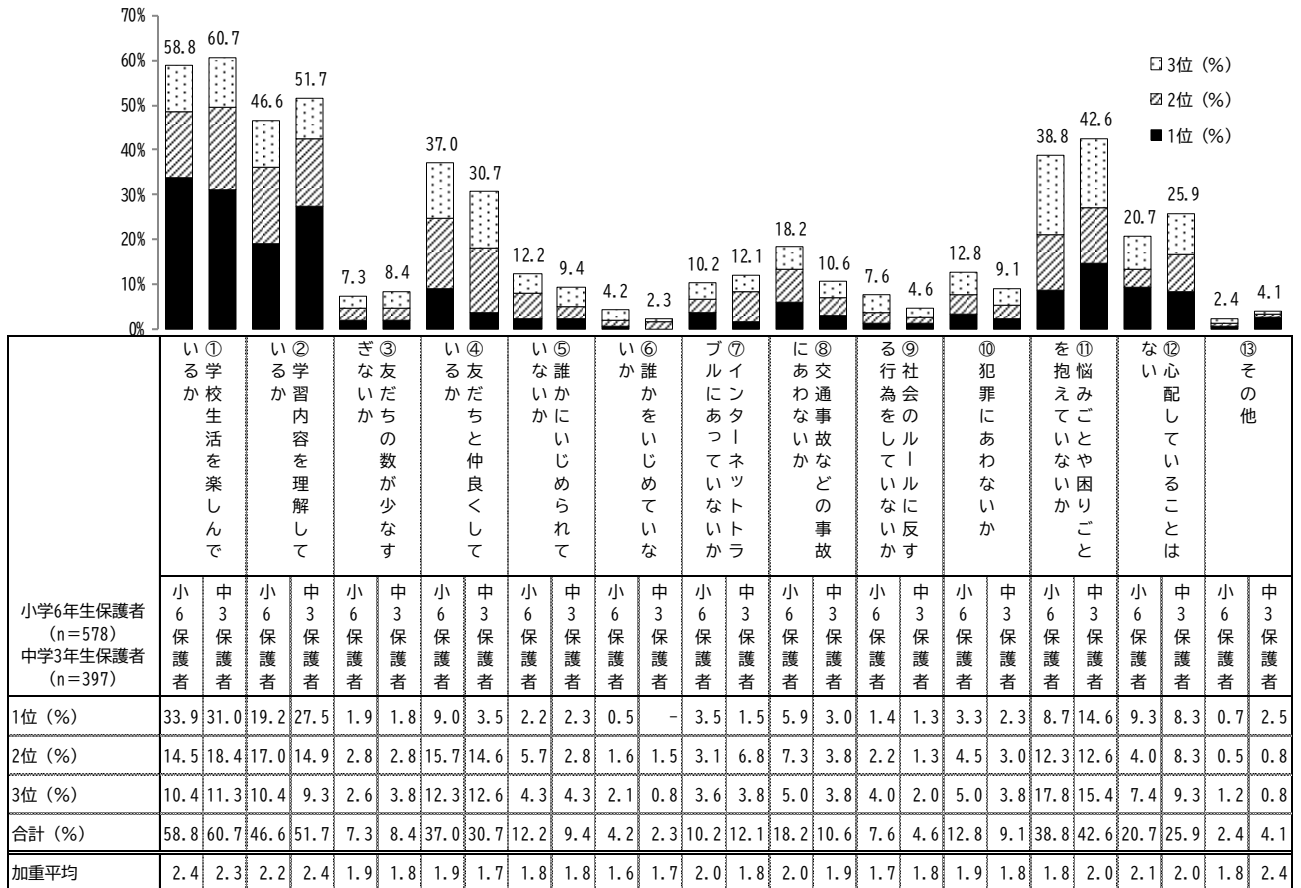
図表 - 28 学校に対する要望 (1位～3位順位比率)



(6) こどもの生活で心配なこと

こどもの生活で心配なことの1位～3位の合計比率では、小学6年生保護者・中学3年生保護者ともに「①学校生活を楽しくしているか」が最も高く、次いで「②学習内容を理解しているか」「⑪悩みごとや困りごとを抱えていないか」となっている。

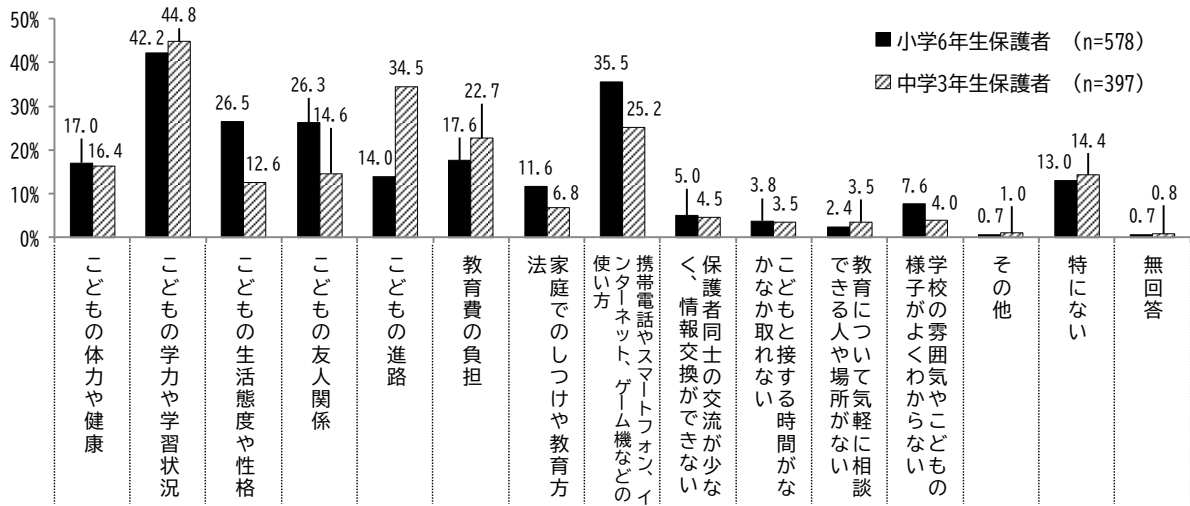
図表 - 29 こどもの生活で心配なこと (1位～3位順位比率)



(7) こどもの教育で困っていること（複数選択）

こどもの教育で困っていることは、「こどもの学力や学習状況」が小学6年生保護者・中学3年生保護者ともに最も高い。中学3年生保護者は「こどもの進路」「教育費の負担」が小学6年生保護者より高い回答となっている。小学6年生保護者では、「こどもの生活態度や生活」「こどもの友人関係」「携帯電話やスマートフォン、インターネット、ゲーム機などの使い方」が中学3年生保護者より、10.0ポイント以上高くなっている。

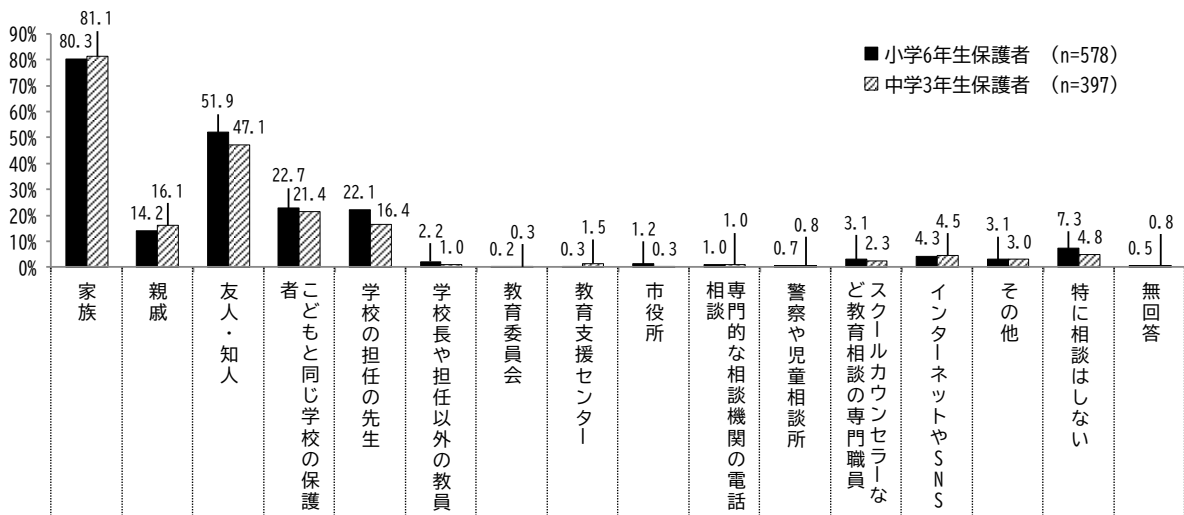
図表 - 30 こどもの教育で困っていること



(8) こどものことで悩んだ場合の相談先（複数選択）

こどもの教育で悩んだ場合の相談先では、小学6年生保護者・中学3年生保護者ともに「家族」が最も高く、次いで、「友人・知人」となっている。

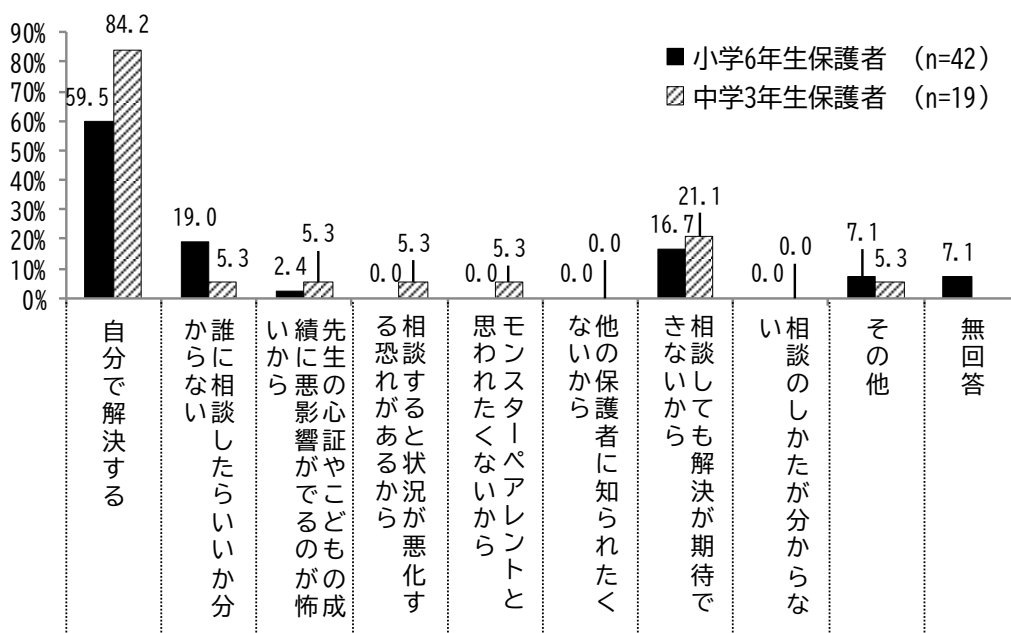
図表 - 31 こどものことで悩んだ場合の相談先



(9) 「特に相談はしない」理由（複数選択）

こどもの教育で困ったり、悩んだりしていることを相談しない理由では、「自分で解決する」が小学6年生保護者・中学3年生保護者ともに最も高く、次いで「相談しても解決が期待できないから」となっている。小学6年生保護者では、「誰に相談したらいいか分からない」が中学3年生保護者より、13.7ポイント高くなっている。

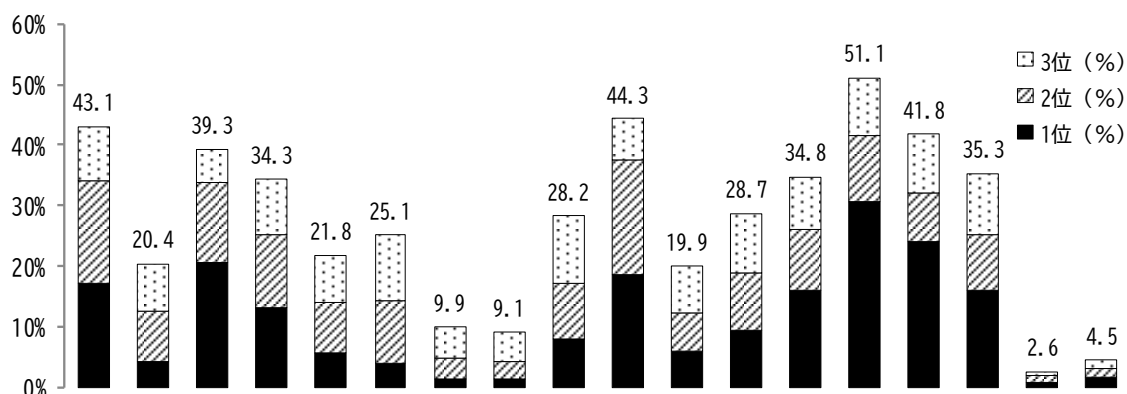
図表 - 32 「特に相談はしない」理由



(10) 学校関連費用で負担だと感じる事項

学校関連の費用で負担だと感じる事項の1位～3位の合計比率では、小学6年生保護者では「①教材費（ドリル、副読本、ワークテスト等）」が最も高く、次いで「②給食費」となっている。中学3年生保護者では「⑦学校外での習い事の費用」が最も高く、「⑤宿泊学習費（移動教室や修学旅行等の経費）」が続く。「⑧特に負担と感じていない」は小学6年生保護者が中学3年生保護者より6.5ポイント高くなっている。

図表 - 33 学校関連費用で負担だと感じる事項（1位～3位順位比率）



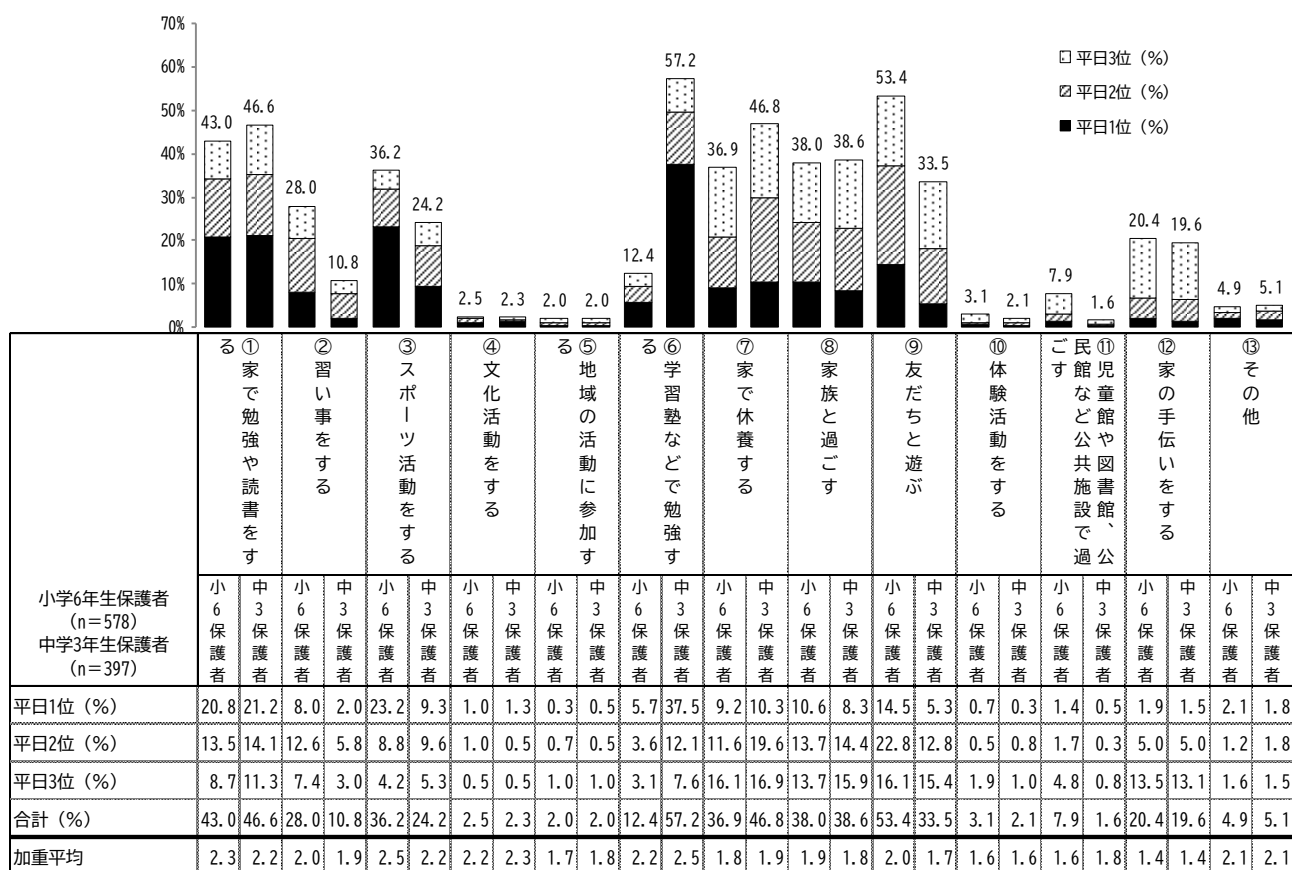
	①教材費（ドリル、副読本、ワークテスト等）		②給食費		③体育着、帽子など		④校外学習等の経費（遠足や社会科見学等の経費）		⑤宿泊学習費（移動教室や修学旅行等の経費）		⑥PTA会費		⑦学校外での習い事の費用		⑧特に負担と感じていない		⑨その他	
	小6保護者	中3保護者	小6保護者	中3保護者	小6保護者	中3保護者	小6保護者	中3保護者	小6保護者	中3保護者	小6保護者	中3保護者	小6保護者	中3保護者	小6保護者	中3保護者	小6保護者	中3保護者
1位 (%)	17.0	4.3	20.6	13.1	5.7	4.0	1.4	1.3	8.0	18.6	5.9	9.3	16.1	30.7	24.0	15.9	0.7	1.5
2位 (%)	17.1	8.3	13.3	12.1	8.3	10.3	3.3	3.0	9.0	18.9	6.2	9.6	10.0	10.8	8.1	9.3	1.2	1.5
3位 (%)	9.0	7.8	5.4	9.1	7.8	10.8	5.2	4.8	11.2	6.8	7.8	9.8	8.7	9.6	9.7	10.1	0.7	1.5
合計 (%)	43.1	20.4	39.3	34.3	21.8	25.1	9.9	9.1	28.2	44.3	19.9	28.7	34.8	51.1	41.8	35.3	2.6	4.5
加重平均	2.2	1.8	2.4	2.1	1.9	1.7	1.6	1.6	1.9	2.3	1.9	2.0	2.2	2.4	2.3	2.2	2.0	2.0

(11) 平日と休日の望ましい過ごし方

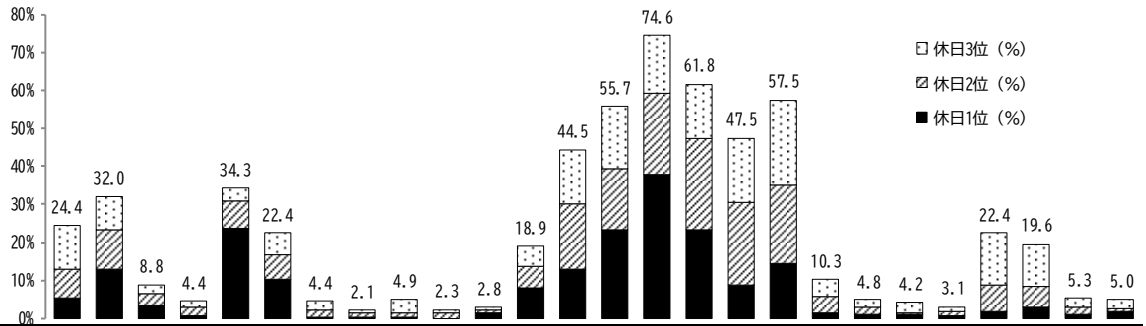
平日の望ましい過ごし方の1位～3位の合計比率で最も大きな差があるのは、「⑥学習塾などで勉強する」で、中学3年生保護者が小学6年生保護者より44.8ポイント高くなっている。次いで「⑨友だちと遊ぶ」となり、小学6年生保護者が19.9ポイント高くなっている。

休日の望ましい過ごし方の1位～3位の合計比率では、「⑥学習塾などで勉強する」で、中学3年生保護者が小学6年生保護者より16.1ポイント高くなっている。次いで「⑧家族と過ごす」で、小学6年生保護者が中学3年生保護者より12.8ポイント高くなっている。

図表 - 34 望ましい過ごし方（平日）（1位～3位順位比率）



図表 - 35 望ましい過ごし方(休日) (1位~3位順位比率)

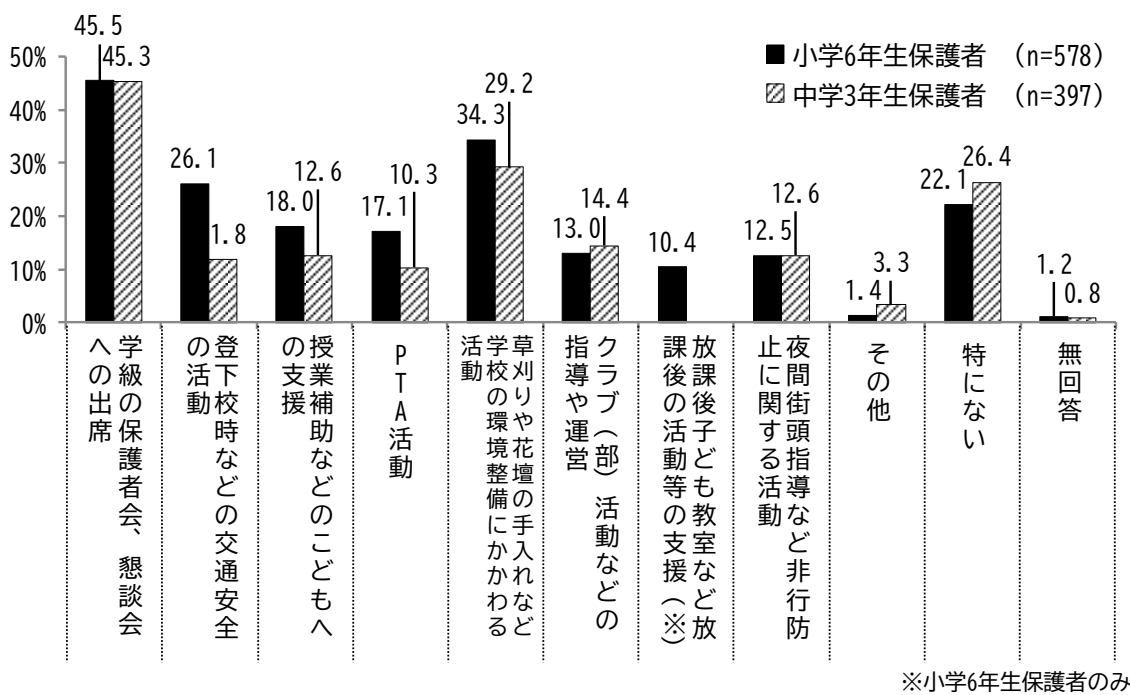


	①家で勉強や読書をする		②習い事をする		③スポーツ活動をする		④文化活動をする		⑤地域の活動に参加する		⑥学習塾などで勉強する		⑦家で休養する		⑧家族と過ごす		⑨友だちと遊ぶ		⑩体験活動をする		⑪児童館や図書館、公民館など公共施設で過ごす		⑫家の手伝いをする		⑬その他	
	小6保護者	中3保護者	小6保護者	中3保護者	小6保護者	中3保護者	小6保護者	中3保護者	小6保護者	中3保護者	小6保護者	中3保護者	小6保護者	中3保護者	小6保護者	中3保護者	小6保護者	中3保護者	小6保護者	中3保護者	小6保護者	中3保護者	小6保護者	中3保護者	小6保護者	中3保護者
休日1位 (%)	5.4	13.1	3.3	0.8	23.7	10.1	0.2	0.3	0.2	-	1.4	8.1	12.8	23.2	37.9	23.2	8.7	14.4	1.6	1.0	0.9	0.5	1.7	3.0	1.2	2.0
休日2位 (%)	7.6	10.3	3.1	2.3	7.1	6.5	2.1	1.0	1.4	1.3	0.7	5.5	17.5	16.1	21.5	24.2	22.0	20.7	4.2	1.8	0.7	1.3	6.9	5.3	1.7	0.5
休日3位 (%)	11.4	8.6	2.4	1.3	3.5	5.8	2.1	0.8	3.3	1.0	0.7	5.3	14.2	16.4	15.2	14.4	16.8	22.4	4.5	2.0	2.6	1.3	13.8	11.3	2.4	2.5
合計 (%)	24.4	32.0	8.8	4.4	34.3	22.4	4.4	2.1	4.9	2.3	2.8	18.9	44.5	55.7	74.6	61.8	47.5	57.5	10.3	4.8	4.2	3.1	22.4	19.6	5.3	5.0
加重平均	1.8	2.1	2.1	1.9	2.6	2.2	1.6	1.8	1.4	1.6	2.3	2.1	2.0	2.1	2.3	2.1	1.8	1.9	1.7	1.8	1.6	1.8	1.5	1.6	1.8	1.9

(12) 学校の取組・活動への協力の意向（複数選択）

こどもの通う学校の取組・活動への協力意向では、「学級の保護者会、懇談会への出席」が小学6年生保護者・中学3年生保護者ともに最も高く、次いで、「草刈りや花壇の手入れなど学校の環境整備にかかわる活動」となっている。「特にない」は小学6年生保護者で22.1%、中学3年生保護者で26.4%となっている。

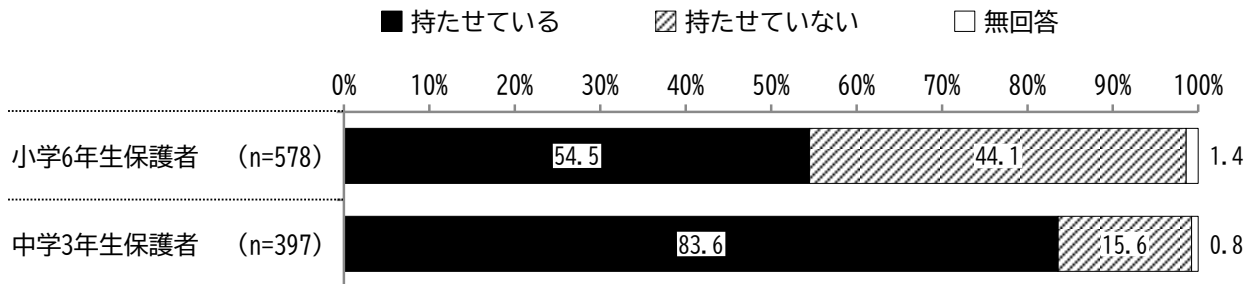
図表 - 36 学校の取組・活動への協力の意向



(13) スマートフォンの保有

子ども専用で使えるスマートフォンの保有状況では、中学3年生保護者では、「持たせている」が8割強に対し、小学6年生保護者では5割半ばとなっている。

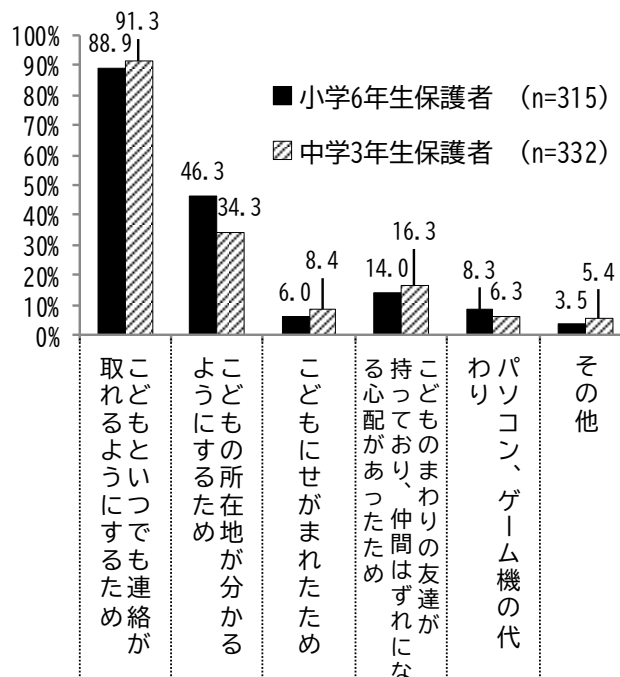
図表 - 37 スマートフォンの保有



(14) 持たせている理由（複数選択）

子どもにスマートフォンを持たせている理由では、小学6年生保護者・中学3年生保護者ともに、「子どもいつでも連絡が取れるようにするため」が最も高く9割程となっている。

図表 - 38 持たせている理由



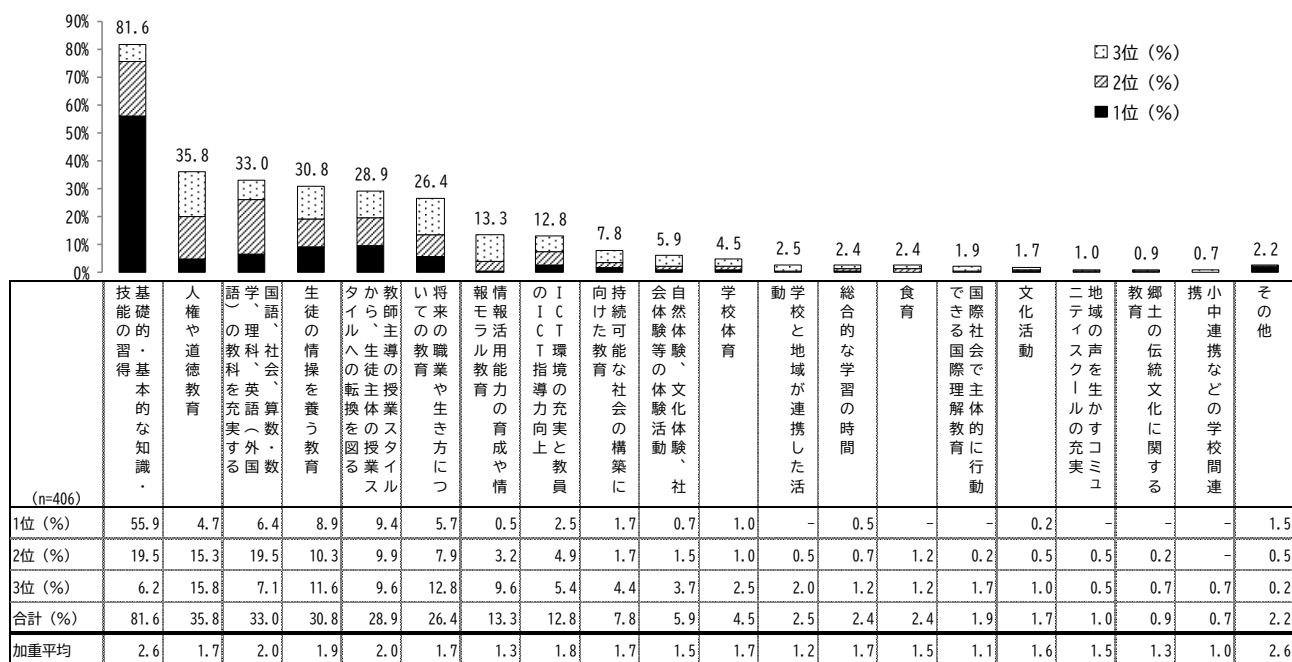
4. 教員の調査結果の概要

(1) 学習指導で重点的と考える項目

今後の学習指導において特に重点的に力を入れていこうと考えるものの1位～3位の合計比率では、「基礎的・基本的な知識・技能の習得」が最も高く8割を超え、次いで「人権や道德教育」「国語、社会、算数・数学、理科、英語（外国語）の教科を充実する」となっている。

1位の割合でみると、「教師主導の授業スタイルから、生徒主体の授業スタイルへの転換を図る」が、2番目に高くなっている。

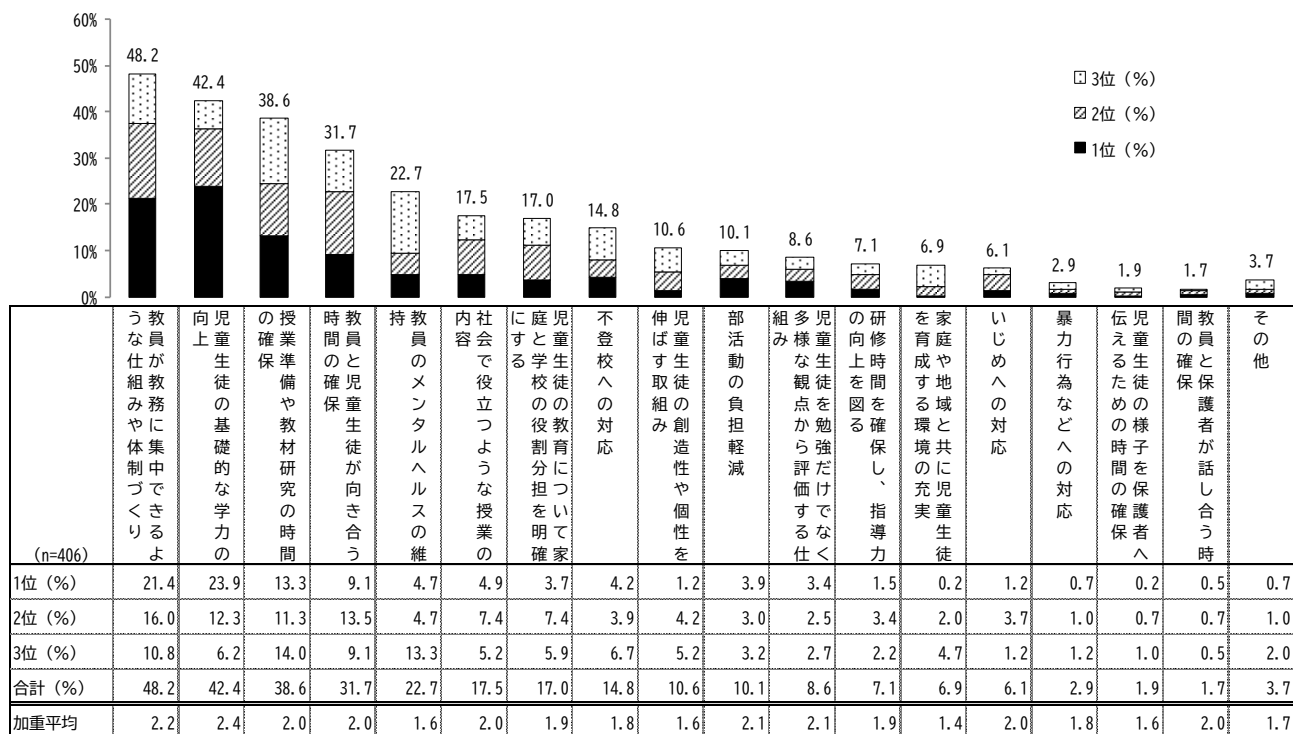
図表 - 39 学習指導で重点的と考える項目（1位～3位順位比率）



(2) 学校で取り組むべき事柄

学校で取り組むべき事柄の1位～3位の合計比率では、「教員が教務に集中できるような仕組みや体制づくり」が最も高く、次いで、「児童生徒の基礎的な学力の向上」「授業の準備や教材研究の時間の確保」となっている。

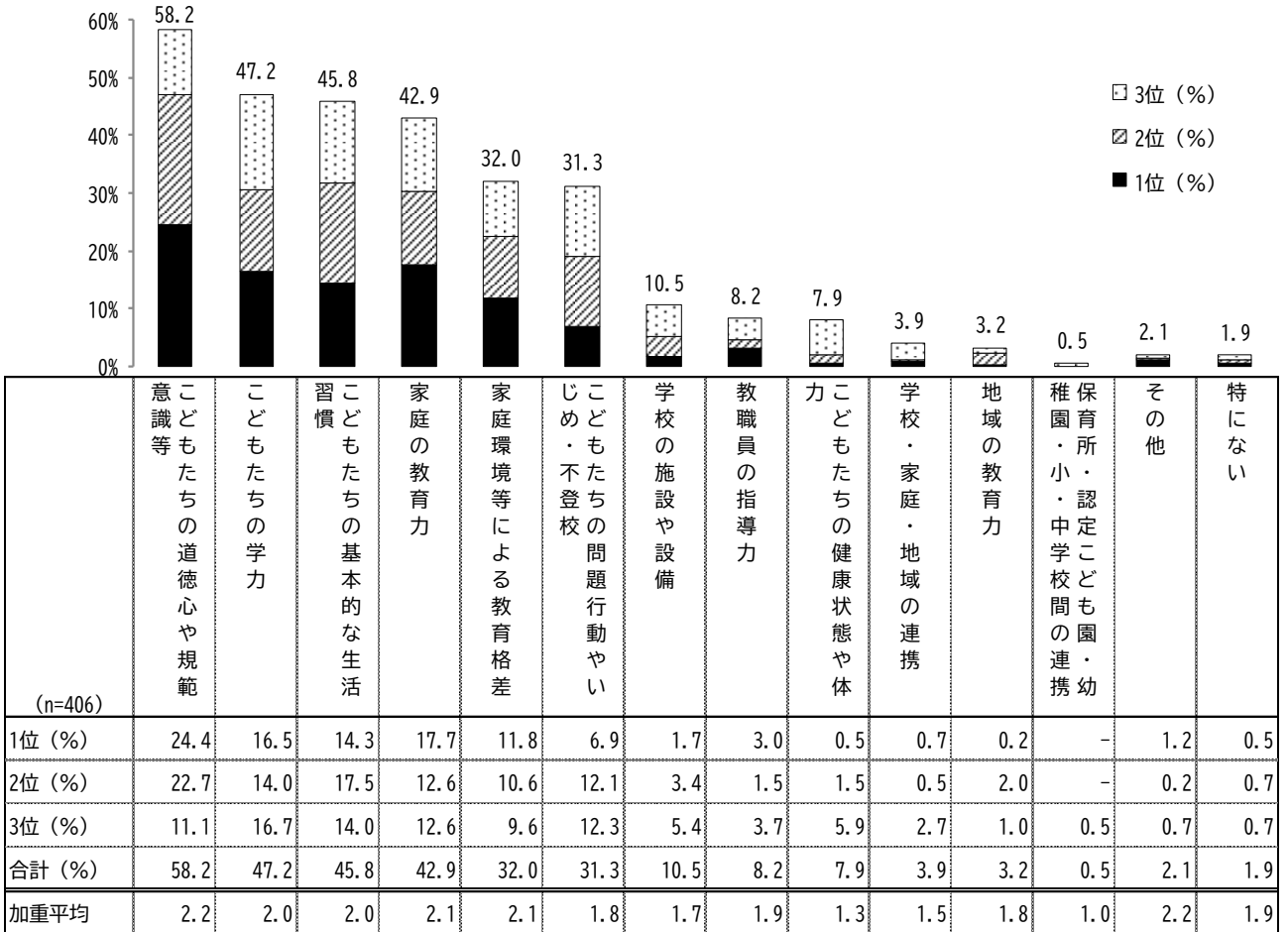
図表 - 40 学校で取り組むべき事柄（1位～3位順位比率）



(3) 教育に関する課題

教育に関する課題の1位～3位の合計比率では、「子どもたちの道徳心や規範意識等」が最も高く、次いで、「子どもたちの学力」「子どもたちの基本的な生活習慣」となっている。

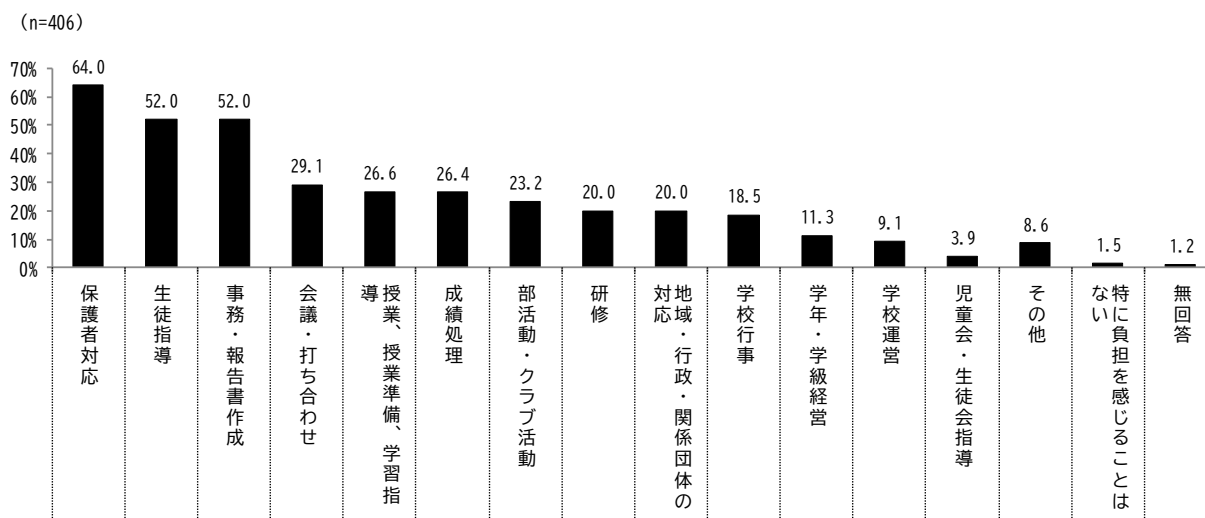
図表 - 41 教育に関する課題（1位～3位順位比率）



(4) 職務での負担感（複数選択）

負担を感じる業務は、「保護者対応」が最も高く、次いで、「生徒指導」「事務・報告書作成」となっている。「特に負担を感じることはない」は1.5%にとどまっている。

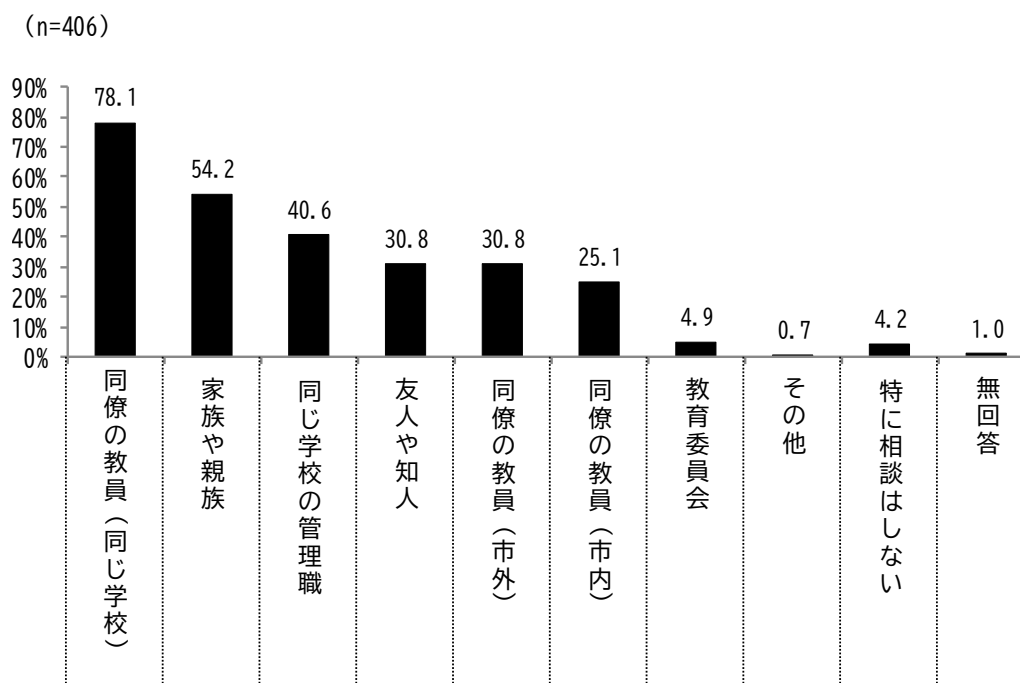
図表 - 42 職務での負担感



(5) 悩んだ場合の相談先（複数選択）

業務のことで悩んだ時の相談先では、「同僚の教員（同じ学校）」が最も高く、次いで「家族や親族」「同じ学校の管理職」となっている。「特に相談はしない」は4.2%となっている。

図表 - 43 悩んだ場合の相談先

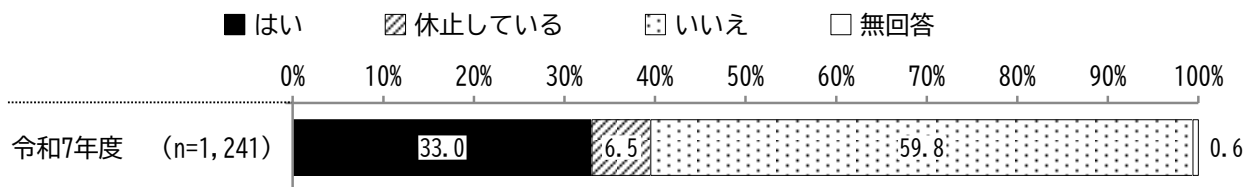


5. 市民の調査結果の概要

(1) 現在の自主的な学習活動の状況

現在の自主的な学習の状況は、活動している人は3割程で、活動していない人は6割程となっている。

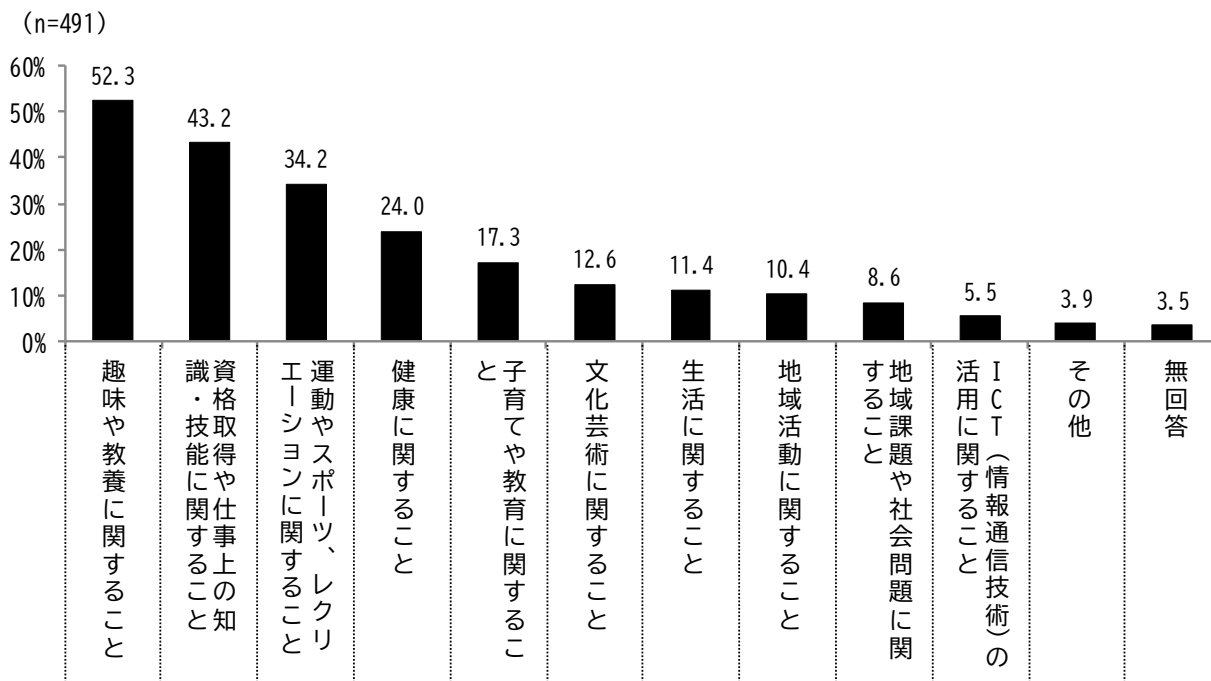
図表 - 44 現在の自主的な学習活動の状況



(2) 現在の学習活動（複数選択）

現在、おこなっている学習活動は、「趣味や教養に関すること」が5割を超え最も高く、次いで、「資格取得や仕事上の知識・技能に関すること」「運動やスポーツ、レクリエーションに関すること」となっている。

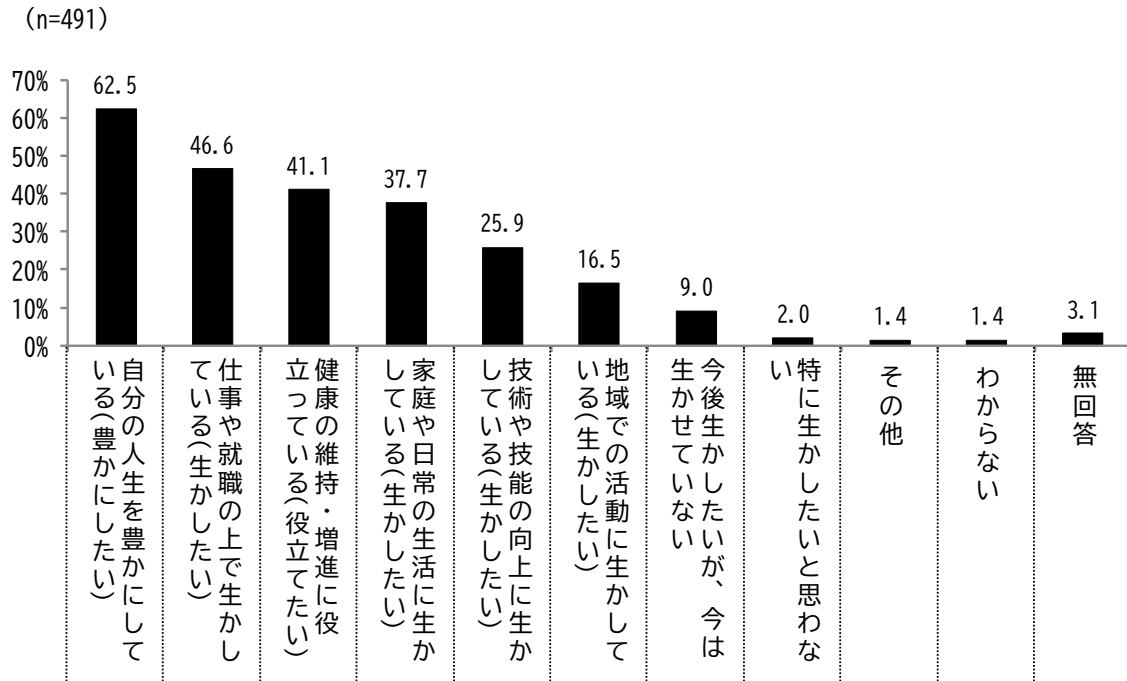
図表 - 45 現在の学習活動



(3) 学習活動の成果の生かし方（複数選択）

学習活動で得た知識や技術をどのように生かしているか（生かしたいか）では、「自分の人生を豊かにしている（豊かにしたい）」が6割を超え最も高く、次いで「仕事や就職の上で生かしている（生かしたい）」「健康の維持・増進に役立っている（役立てたい）」となっている。

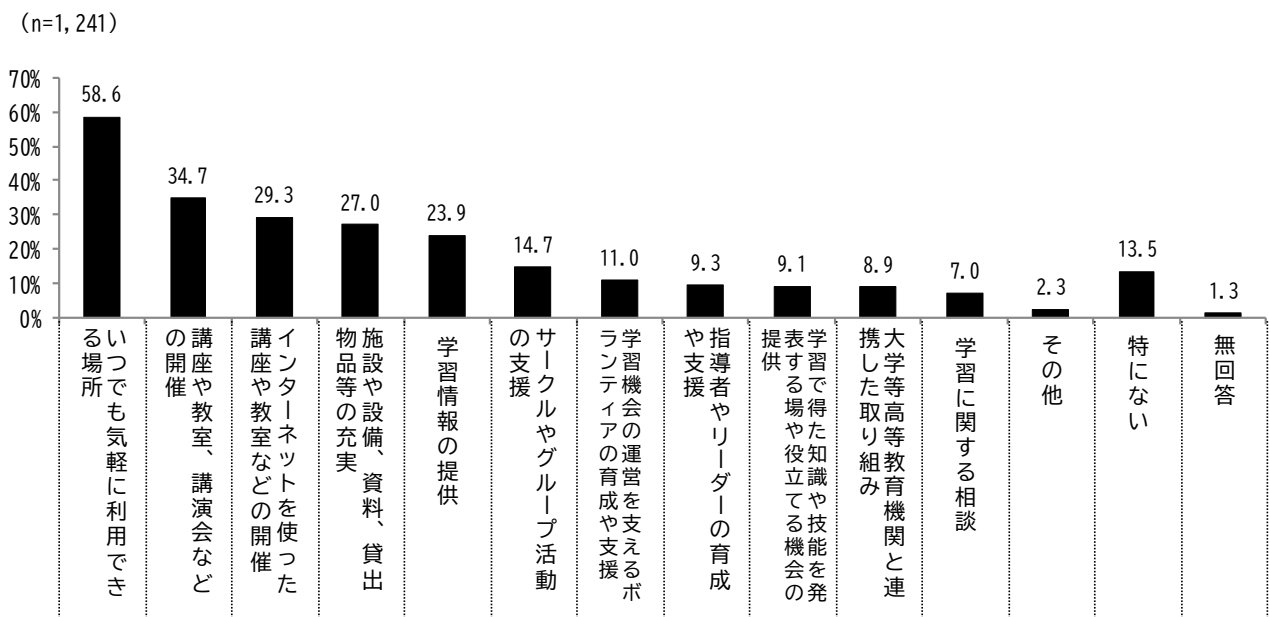
図表 - 46 学習活動の成果の生かし方



(4) 学習活動の活性化に向けた取組の要望（複数選択）

市民の自主的な学習活動の活性化のために、今後充実してほしいことでは、「いつでも気軽に利用できる場所」が6割弱と最も高く、次いで「講座や教室、講演会などの開催」「インターネットを使った講座や教室などの開催」となっている。「特にない」は13.5%となっている。

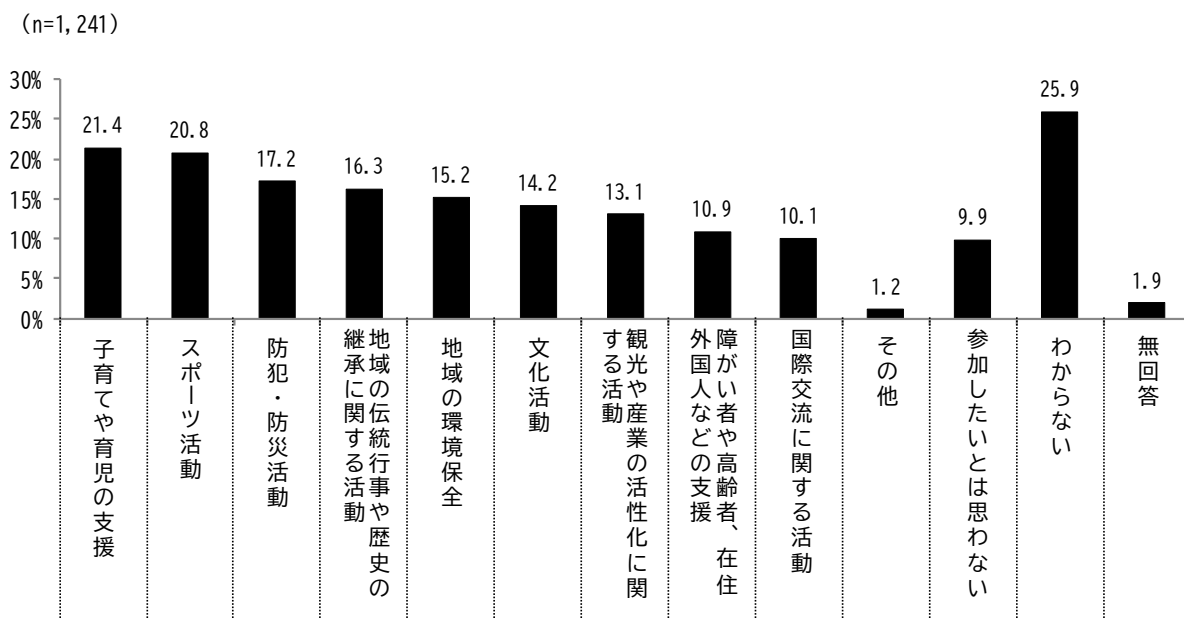
図表 - 47 学習活動の活性化に向けた取組の要望



(5) 今後参加したい地域活動（複数選択）

今後参加してみたい地域活動では、「子育てや育児の支援」が2割と最も高く、次いで「スポーツ活動」「防犯・防災活動」となっている。「参加したいとは思わない」が9.9%となっている。

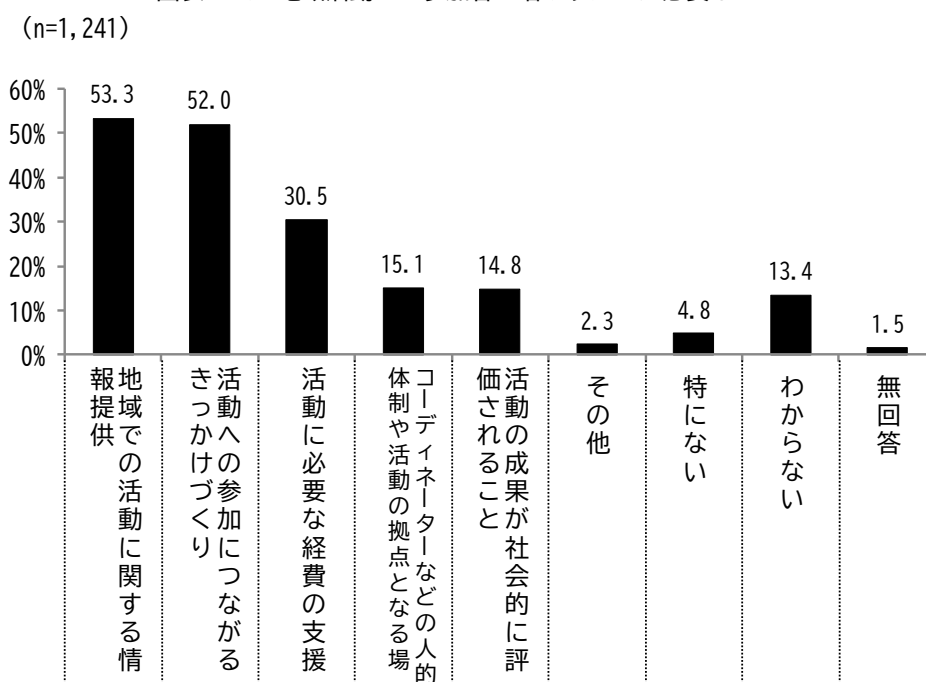
図表 - 48 今後参加したい地域活動



(6) 地域活動への参加者を増やすために必要なこと（複数選択）

多くの人に地域活動へ参加してもらうために必要なことでは、「地域での活動に関する情報提供」が5割を超え最も高く、次いで「活動への参加につながるきっかけづくり」「活動に必要な経費の支援」となっている。「わからない」は13.4%、「特にない」が4.8%となっている。

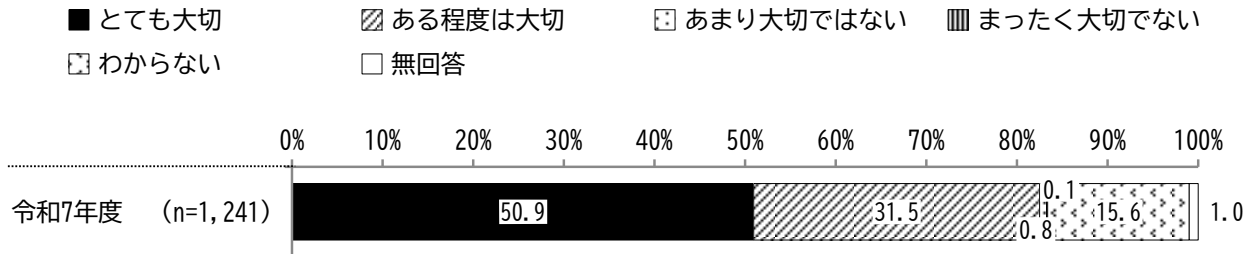
図表 - 49 地域活動への参加者を増やすために必要なこと



(7) 文化財の保存・活用

沖縄市内の文化財を保存・活用していく取組に対しては、「とても大切」が5割で最も高く、次いで「ある程度は大切」が3割程度となっている。「あまり大切ではない」「まったく大切ではない」は1%未満で、「わからない」は15.6%となっている。

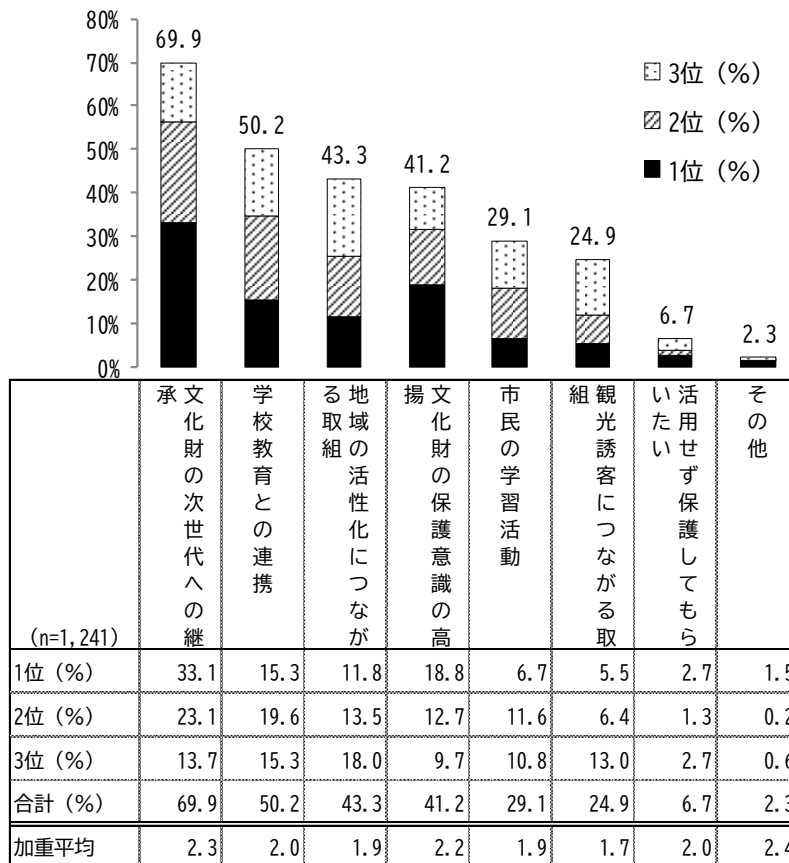
図表 - 50 文化財の保存・活用



(8) 文化財の活用方法

文化財の活用方法の意向の1位～3位の合計比率では、「文化財の次世代への継承」の割合が7割で最も高く、次いで、「学校教育との連携」「地域の活性化につながる取組」となっている。

図表 - 51 文化財の活用方法 (1位～3位順位比率)



6. 学校での指導や取組の満足度・重要度

満足度

学校での指導や取組に対する満足度は、小学6年生保護者・中学3年生保護者・教員ともに多くの項目で「とても満足」と「やや満足」の合計が6割から8割程度となっている。

「あまり満足していない」「まったく満足していない」の合計では、小学6年生保護者では「⑫将来の進路や職業について考えさせること」、中学3年生保護者では「⑤一人ひとりの学力や興味に応じた指導」、教員では「⑬学校の施設・設備による学習環境の充実」が最も高い。

「⑥学習意欲を高めること」の中学3年生保護者と教員の「やや満足」で差が最も大きくなっている。

図表 - 52 学校での指導や取組の満足度

	小学6年生保護者 (n=578) 中学3年生保護者 (n=397) 教員 (n=406)	満足度 (%)				
		とても満足	やや満足	あまり満足 していない	まったく満足 していない	無回答
①基礎的な学力の向上	小学6年生保護者	25.8	58.3	12.8	1.6	1.6
	中学3年生保護者	13.9	57.2	23.4	3.5	2.0
	教員	11.3	65.5	20.7	1.0	1.5
②基礎的な学力を活用する力を高める指導	小学6年生保護者	22.3	58.3	16.3	1.2	1.9
	中学3年生保護者	14.6	51.9	27.2	3.8	2.5
	教員	9.1	64.0	24.4	1.2	1.2
③ICTを活用した授業づくり	小学6年生保護者	25.1	55.0	15.9	1.6	2.4
	中学3年生保護者	14.1	56.7	24.4	2.0	2.8
	教員	21.7	54.9	20.4	2.2	0.7
④宿題の内容や量	小学6年生保護者	17.8	54.7	20.2	5.2	2.1
	中学3年生保護者	9.8	53.4	28.2	5.5	3.0
	教員	10.8	62.1	21.7	3.7	1.7
⑤一人ひとりの学力や興味に応じた指導	小学6年生保護者	15.7	49.5	27.9	5.0	1.9
	中学3年生保護者	9.1	39.0	40.6	8.8	2.5
	教員	6.7	56.9	30.3	4.7	1.5
⑥学習意欲を高めること	小学6年生保護者	18.5	49.5	24.4	5.7	1.9
	中学3年生保護者	10.3	42.1	38.3	6.5	2.8
	教員	9.1	63.1	24.4	2.0	1.5
⑦学習発表会や音楽発表会などの文化活動	小学6年生保護者	32.2	48.1	15.1	2.8	1.9
	中学3年生保護者	24.9	54.9	15.6	2.0	2.5
	教員	22.4	56.4	16.3	3.4	1.5
⑧クラブ活動などのスポーツ活動	小学6年生保護者	23.4	47.6	22.3	4.5	2.2
	中学3年生保護者	22.4	50.1	17.1	7.1	3.3
	教員	16.5	53.7	21.2	6.4	2.2
⑨心の教育（道徳や人権教育、平和学習など）	小学6年生保護者	25.8	57.1	11.9	3.5	1.7
	中学3年生保護者	15.9	55.4	22.2	4.0	2.5
	教員	19.5	61.1	16.0	2.0	1.5
⑩いじめや問題行動への対応	小学6年生保護者	20.4	51.4	20.1	5.9	2.2
	中学3年生保護者	11.8	51.9	23.7	9.6	3.0
	教員	25.4	60.1	11.3	1.5	1.7
⑪不登校児童生徒への支援（学習支援・教育相談）	小学6年生保護者	15.9	58.5	18.5	4.7	2.4
	中学3年生保護者	10.6	50.1	29.5	6.8	3.0
	教員	18.2	54.2	22.9	3.4	1.2
⑫将来の進路や職業について考えさせること	小学6年生保護者	12.6	50.0	31.5	4.0	1.9
	中学3年生保護者	13.4	53.9	27.2	3.3	2.3
	教員	10.1	59.9	26.6	2.5	1.0
⑬子ども一人ひとりの個性に応じた支援	小学6年生保護者	17.3	52.8	23.5	4.7	1.7
	中学3年生保護者	13.1	46.3	30.7	7.6	2.3
	教員	9.1	60.3	27.1	2.2	1.2
⑭特別な支援を要することにも応じた支援	小学6年生保護者	19.4	58.0	17.0	3.3	2.4
	中学3年生保護者	11.6	53.9	27.0	5.0	2.5
	教員	13.1	50.7	28.8	6.2	1.2
⑮スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門職による支援	小学6年生保護者	20.1	54.8	17.8	4.5	2.8
	中学3年生保護者	9.6	52.6	28.2	6.5	3.0
	教員	20.0	59.4	15.8	3.4	1.5

(%)

	小学6年生保護者 (n=578) 中学3年生保護者 (n=397) 教員 (n=406)	とても満足	やや満足	あまり満足 していない	まったく満足 していない	無回答
⑯学校給食を通じた食育や体づくり	小学6年生保護者	24.0	51.6	16.6	5.9	1.9
	中学3年生保護者	14.1	52.4	19.6	11.3	2.5
	教員	14.3	59.4	20.9	3.9	1.5
⑰進級進学時の教員同士の連携による一貫した指導	小学6年生保護者	14.9	55.4	21.8	5.7	2.2
	中学3年生保護者	12.6	50.1	27.7	6.8	2.8
	教員	16.0	58.6	21.2	3.0	1.2
⑱教員の指導力や教育への熱意	小学6年生保護者	21.6	56.1	16.4	3.8	2.1
	中学3年生保護者	13.9	54.4	22.9	6.0	2.8
	教員	23.2	64.5	9.4	1.7	1.2
⑲学校の施設・設備による学習環境の充実	小学6年生保護者	24.2	55.0	15.4	3.3	2.1
	中学3年生保護者	17.9	55.4	20.2	3.5	3.0
	教員	9.9	42.6	30.8	15.3	1.5
⑳防犯に関する情報提供など安全管理体制の充実	小学6年生保護者	24.4	55.9	15.4	2.2	2.1
	中学3年生保護者	14.4	62.2	17.4	3.5	2.5
	教員	16.0	60.1	19.2	3.0	1.7
㉑利用可能な制度・支援の情報提供	小学6年生保護者	20.6	52.9	18.9	5.4	2.2
	中学3年生保護者	14.4	56.2	22.9	3.8	2.8
	教員	9.6	56.9	26.6	4.7	2.2
㉒地域との連携による学校運営（コミュニティ・スクール）	小学6年生保護者	18.2	53.1	21.6	4.7	2.4
	中学3年生保護者	11.8	54.2	27.2	4.3	2.5
	教員	11.1	55.2	27.6	4.7	1.5
㉓自然や伝統文化などの体験活動	小学6年生保護者	19.7	53.1	20.8	3.5	2.9
	中学3年生保護者	9.8	50.6	30.2	6.0	3.3
	教員	7.1	45.6	38.4	7.1	1.7

重要度

学校での指導や取組の重要度は、小学6年生保護者・中学3年生保護者・教員ともに多くの項目で「とても重要」と「やや重要」の合計が8割から9割と高くなっている。

「とても重要」では、小学6年生保護者と中学3年生保護者で「①基礎的な学力の向上」が6割半ば、教員では、「⑩いじめや問題行動への対応」が7割半ばで最も高くなっている。また、「⑯学校給食を通じた食育や体づくり」で保護者と教員の差が最も大きくなっている。

「あまり重要ではない」「まったく重要ではない」の合計では、「④宿題の内容や量」が保護者、教員ともに最も高くなっている。

図表 - 53 学校での指導や取組の重要度

(%)

	小学6年生保護者 (n=578) 中学3年生保護者 (n=397) 教員 (n=406)	とても重要	やや重要	あまり重要 ではない	まったく重 要ではない	無回答
①基礎的な学力の向上	小学6年生保護者	66.8	27.2	2.9	-	3.1
	中学3年生保護者	64.0	28.2	3.5	0.5	3.8
	教員	74.1	22.7	1.5	-	1.7
②基礎的な学力を活用する力を高める指導	小学6年生保護者	60.7	32.0	3.6	-	3.6
	中学3年生保護者	59.9	31.0	3.8	0.8	4.5
	教員	68.2	28.8	1.0	-	2.0
③ICTを活用した授業づくり	小学6年生保護者	45.8	41.9	8.1	0.5	3.6
	中学3年生保護者	41.8	43.6	8.8	1.3	4.5
	教員	36.0	51.2	10.1	0.7	2.0
④宿題の内容や量	小学6年生保護者	27.2	48.6	16.6	3.6	4.0
	中学3年生保護者	25.7	46.6	20.4	2.5	4.8
	教員	17.7	45.8	30.3	4.2	2.0
⑤一人ひとりの学力や興味に応じた指導	小学6年生保護者	48.1	42.4	5.2	0.9	3.5
	中学3年生保護者	46.9	40.6	7.1	1.3	4.3
	教員	40.6	54.7	2.7	0.5	1.5
⑥学習意欲を高めること	小学6年生保護者	55.7	36.7	4.0	0.2	3.5
	中学3年生保護者	56.4	34.0	4.3	0.8	4.5
	教員	63.5	33.0	1.0	0.5	2.0
⑦学習発表会や音楽発表会などの文化活動	小学6年生保護者	40.7	46.0	8.8	1.0	3.5
	中学3年生保護者	36.8	42.8	13.1	2.3	5.0
	教員	28.8	54.2	13.5	1.7	1.7
⑧クラブ活動などのスポーツ活動	小学6年生保護者	33.2	45.0	16.1	1.9	3.8
	中学3年生保護者	33.5	45.6	13.6	2.8	4.5
	教員	15.3	48.5	26.4	8.1	1.7
⑨心の教育（道徳や人権教育、平和学習など）	小学6年生保護者	59.2	33.7	3.5	-	3.6
	中学3年生保護者	52.4	37.5	4.3	1.3	4.5
	教員	65.3	30.5	2.5	-	1.7
⑩いじめや問題行動への対応	小学6年生保護者	66.1	26.8	3.3	0.3	3.5
	中学3年生保護者	62.5	26.7	5.0	1.5	4.3
	教員	76.1	20.4	1.7	-	1.7
⑪不登校児童生徒への支援（学習支援・教育相談）	小学6年生保護者	55.5	35.8	4.3	0.5	3.8
	中学3年生保護者	52.6	33.2	6.8	1.8	5.5
	教員	61.1	34.2	3.0	0.5	1.2
⑫将来の進路や職業について考えさせること	小学6年生保護者	49.8	41.5	5.4	0.3	2.9
	中学3年生保護者	63.2	29.0	3.0	0.8	4.0
	教員	58.1	38.4	1.5	0.5	1.5
⑬子ども一人ひとりの個性に応じた支援	小学6年生保護者	53.8	37.7	5.0	0.5	2.9
	中学3年生保護者	58.7	32.2	4.5	0.5	4.0
	教員	57.1	39.2	1.7	-	2.0
⑭特別な支援を要する子どもに応じた支援	小学6年生保護者	55.2	36.5	4.8	0.3	3.1
	中学3年生保護者	55.2	35.5	4.5	0.8	4.0
	教員	64.5	31.3	2.0	0.2	2.0
⑮スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門職による支援	小学6年生保護者	47.4	41.5	7.6	0.5	2.9
	中学3年生保護者	50.4	38.8	5.8	0.8	4.3
	教員	61.1	35.7	1.7	-	1.5

(%)

	小学6年生保護者 (n=578) 中学3年生保護者 (n=397) 教員 (n=406)	とても重要	やや重要	あまり重要 ではない	まったく重 要ではない	無回答
⑩学校給食を通じた食育や体づくり	小学6年生保護者	53.8	37.2	5.0	0.7	3.3
	中学3年生保護者	47.9	40.8	5.8	1.3	4.3
	教員	33.5	54.4	8.6	1.5	2.0
⑪進級進学時の教員同士の連携による一貫した指導	小学6年生保護者	56.4	35.3	5.0	0.2	3.1
	中学3年生保護者	54.9	35.0	4.3	1.8	4.0
	教員	59.1	35.2	3.4	0.2	2.0
⑫教員の指導力や教育への熱意	小学6年生保護者	56.6	36.7	3.1	0.2	3.5
	中学3年生保護者	55.7	34.0	4.5	1.5	4.3
	教員	60.1	35.7	2.2	-	2.0
⑬学校の施設・設備による学習環境の充実	小学6年生保護者	53.1	39.3	4.2	0.5	2.9
	中学3年生保護者	46.1	44.1	4.3	1.3	4.3
	教員	65.5	30.5	1.7	0.5	1.7
⑭防犯に関する情報提供など安全管理体制の充実	小学6年生保護者	60.9	32.2	3.6	0.2	3.1
	中学3年生保護者	55.7	34.8	4.0	1.3	4.3
	教員	62.3	34.2	1.5	0.2	1.7
⑮利用可能な制度・支援の情報提供	小学6年生保護者	51.7	40.3	4.5	0.3	3.1
	中学3年生保護者	50.4	37.5	6.0	1.3	4.8
	教員	55.2	39.4	3.0	-	2.5
⑯地域との連携による学校運営（コミュニティ・スクール）	小学6年生保護者	45.0	42.2	8.5	1.2	3.1
	中学3年生保護者	38.8	47.6	7.1	2.0	4.5
	教員	42.6	47.8	6.4	1.2	2.0
⑰自然や伝統文化などの体験活動	小学6年生保護者	46.0	42.0	6.4	0.9	4.7
	中学3年生保護者	39.0	43.8	10.8	1.5	4.8
	教員	37.7	52.7	7.1	0.2	2.2

7. 学校や家庭で児童・生徒の能力や態度を身につけさせる必要性

学校教育で身につけさせる必要性

学校教育で身につけさせる必要性は、小学6年生保護者・中学3年生保護者・教員・市民のいずれにおいても「とても高い」と「やや高い」を合わせた割合が多く、多くの項目で7割から9割程度となっている。

「④実践的な英語力と国際理解」の「とても高い」で、市民が教員より22.4ポイント高く、最も差が大きくなっている。

「とても低い」では、「⑫基本的な生活習慣」の教員が18.0%で最も高く、市民より14.6ポイント高くなっている。

図表 - 54 学校教育で身につけさせる必要性

(%)

		全体(n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い	無回答
①教科の基礎的な学力	小学6年生保護者	578	64.4	27.3	6.1	0.9	1.4
	中学3年生保護者	397	63.0	25.2	8.8	1.5	1.5
	教員	406	77.1	19.7	2.2	-	1.0
	市民	823	67.8	24.8	6.8	0.6	-
②基礎的な学力を活用する力	小学6年生保護者	578	58.7	31.5	7.3	0.9	1.7
	中学3年生保護者	397	56.4	30.5	9.3	1.5	2.3
	教員	406	66.5	30.0	2.5	-	1.0
	市民	815	61.7	30.3	7.4	0.6	-
③自ら学ぼうとする意欲	小学6年生保護者	578	45.8	39.3	10.6	2.2	2.1
	中学3年生保護者	397	42.6	37.8	14.1	3.0	2.5
	教員	406	48.0	40.4	9.1	1.0	1.5
	市民	808	52.5	35.0	10.6	1.9	-
④実践的な英語力と国際理解	小学6年生保護者	578	37.0	39.3	16.6	5.0	2.1
	中学3年生保護者	397	40.8	37.0	15.9	4.0	2.3
	教員	406	23.4	55.4	18.5	1.2	1.5
	市民	807	45.8	36.3	13.8	4.1	-
⑤ICTを活用する力	小学6年生保護者	578	39.6	42.4	12.6	3.1	2.2
	中学3年生保護者	397	40.6	36.3	17.4	2.5	3.3
	教員	406	31.0	61.6	5.4	0.7	1.2
	市民	800	42.1	43.4	11.0	3.5	-
⑥音楽・美術など芸術面の能力や情操	小学6年生保護者	578	24.4	48.3	23.0	2.1	2.2
	中学3年生保護者	397	23.7	45.1	26.2	2.3	2.8
	教員	406	17.5	59.9	20.4	1.0	1.2
	市民	807	24.0	47.8	25.7	2.5	-
⑦体力や運動能力	小学6年生保護者	578	31.8	48.3	15.7	2.1	2.1
	中学3年生保護者	397	26.2	48.4	21.2	2.0	2.3
	教員	406	17.0	63.3	17.0	1.5	1.2
	市民	812	32.9	47.5	18.0	1.6	-
⑧自分の健康を管理する力	小学6年生保護者	578	30.8	41.2	22.5	3.3	2.2
	中学3年生保護者	397	26.2	36.8	27.7	6.5	2.8
	教員	406	23.6	37.9	30.3	6.9	1.2
	市民	807	34.6	37.5	23.5	4.3	-
⑨自分の進路や職業、将来について考える力	小学6年生保護者	578	40.8	40.5	12.6	4.0	2.1
	中学3年生保護者	397	43.3	38.5	14.1	2.0	2.0
	教員	406	36.2	47.8	12.6	2.2	1.2
	市民	809	49.4	35.8	12.4	2.3	-
⑩論理的にものを考える力	小学6年生保護者	578	37.4	45.8	12.3	2.4	2.1
	中学3年生保護者	397	38.0	41.3	16.1	2.3	2.3
	教員	406	41.1	49.3	7.4	1.0	1.2
	市民	816	46.2	37.4	14.0	2.5	-
⑪自分の考えを表現する力	小学6年生保護者	578	51.4	35.8	9.0	1.9	1.9
	中学3年生保護者	397	45.3	37.0	12.6	2.8	2.3
	教員	406	52.7	39.7	5.7	0.5	1.5
	市民	813	53.8	32.7	11.2	2.3	-

(%)

		全体(n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い	無回答
⑫ものごとを計画的に行う力	小学6年生保護者	578	41.2	45.2	10.9	1.0	1.7
	中学3年生保護者	397	36.0	43.3	16.9	1.8	2.0
	教員	406	30.8	57.6	9.4	1.0	1.2
	市民	816	44.4	40.8	13.0	1.8	-
⑬新しいものを生み出す創造的な力	小学6年生保護者	578	32.7	46.0	18.5	1.2	1.6
	中学3年生保護者	397	27.7	45.3	21.4	3.0	2.5
	教員	406	18.0	61.8	17.7	1.0	1.5
	市民	808	34.7	43.3	20.0	2.0	-
⑭善悪を判断する力	小学6年生保護者	578	56.2	32.0	8.3	1.9	1.6
	中学3年生保護者	397	46.9	36.8	11.6	2.8	2.0
	教員	406	43.3	36.7	16.3	2.5	1.2
	市民	812	62.4	26.6	9.5	1.5	-
⑮人間関係を築く力	小学6年生保護者	578	59.3	31.0	7.8	0.7	1.2
	中学3年生保護者	397	54.2	34.3	7.3	1.8	2.5
	教員	406	59.4	32.5	6.4	0.7	1.0
	市民	816	63.5	27.5	8.0	1.1	-
⑯他者を思いやる心	小学6年生保護者	578	61.2	28.9	7.3	0.9	1.7
	中学3年生保護者	397	56.2	32.0	8.3	1.5	2.0
	教員	406	56.4	33.3	7.6	1.0	1.7
	市民	814	66.1	25.1	7.5	1.4	-
⑰社会で役立つとする心や公共心	小学6年生保護者	578	47.4	40.0	10.2	0.7	1.7
	中学3年生保護者	397	43.6	39.0	13.4	1.5	2.5
	教員	406	44.8	43.8	9.4	1.0	1.0
	市民	813	49.8	35.1	13.2	2.0	-
⑱郷土や国を愛する心	小学6年生保護者	578	29.8	45.3	18.5	4.5	1.9
	中学3年生保護者	397	21.2	47.1	25.2	4.3	2.3
	教員	406	20.7	53.9	20.7	3.0	1.7
	市民	808	30.4	42.6	23.3	3.7	-
⑲ものごとをやりとげる責任感やねばり強さ	小学6年生保護者	578	45.8	39.4	11.4	1.6	1.7
	中学3年生保護者	397	42.8	40.1	12.8	1.8	2.5
	教員	406	45.6	38.2	12.3	2.5	1.5
	市民	815	48.3	36.2	13.5	2.0	-
⑳人権を尊重する力	小学6年生保護者	578	55.4	33.2	8.7	1.2	1.6
	中学3年生保護者	397	50.9	38.8	7.1	1.3	2.0
	教員	406	50.2	38.9	7.1	1.7	2.0
	市民	812	60.3	28.4	10.0	1.2	-
㉑基本的な生活習慣	小学6年生保護者	578	38.8	36.7	16.8	6.1	1.7
	中学3年生保護者	397	29.0	39.8	20.9	8.1	2.3
	教員	406	25.4	27.8	27.1	18.0	1.7
	市民	805	39.3	34.9	22.5	3.4	-
㉒自分自身で社会や生活の場を良くしていこうとする当事者意識	小学6年生保護者	578	39.8	41.5	13.1	3.3	2.2
	中学3年生保護者	397	33.5	43.3	18.4	2.3	2.5
	教員	406	30.8	48.3	15.3	3.2	2.5
	市民	811	41.7	37.4	17.8	3.2	-

※市民においては、小学6年生・中学3年生の保護者向け調査で回答している場合は回答不要としたため、無回答を除いています。

学校教育以外（家庭や地域等）で身につけさせる必要性

学校教育以外（家庭や地域等）で身につけさせる必要性は、小学6年生保護者・中学3年生保護者・教員・市民のいずれにおいても「とても高い」と「やや高い」を合わせた割合が多く、項目で7割から9割程度となっている。

「②基本的な生活習慣」の「とても高い」で、教員が中学3年生保護者より18.2ポイント高く、最も差が大きくなっている。

図表 - 55 学校教育以外（家庭や地域等）で身につけさせる必要性

(%)

		全体(n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い	無回答
①教科の基礎的な学力	小学6年生保護者	578	28.4	44.1	22.3	3.3	1.9
	中学3年生保護者	397	17.6	44.6	31.0	4.0	2.8
	教員	406	22.4	56.4	16.7	3.0	1.5
	市民	794	27.5	44.7	24.8	3.0	-
②基礎的な学力を活用する力	小学6年生保護者	578	29.9	46.9	18.7	2.8	1.7
	中学3年生保護者	397	18.4	49.4	25.4	3.5	3.3
	教員	406	22.4	56.2	17.0	2.2	2.2
	市民	788	31.0	48.7	18.0	2.3	-
③自ら学ぼうとする意欲	小学6年生保護者	578	48.4	37.2	11.6	1.2	1.6
	中学3年生保護者	397	42.6	39.8	13.6	1.8	2.3
	教員	406	44.1	47.0	5.7	1.7	1.5
	市民	799	58.7	28.5	11.8	1.0	-
④実践的な英語力と国際理解	小学6年生保護者	578	27.3	38.6	26.3	5.9	1.9
	中学3年生保護者	397	20.2	40.1	29.7	7.6	2.5
	教員	406	14.0	50.5	30.0	3.2	2.2
	市民	794	30.2	39.2	25.3	5.3	-
⑤ICTを活用する力	小学6年生保護者	578	24.7	40.1	28.4	4.8	1.9
	中学3年生保護者	397	17.9	40.6	31.2	7.3	3.0
	教員	406	12.1	50.7	30.3	4.4	2.5
	市民	779	27.6	44.9	21.1	6.4	-
⑥音楽・美術など芸術面の能力や情操	小学6年生保護者	578	29.1	41.9	23.2	4.2	1.7
	中学3年生保護者	397	23.2	43.1	26.2	4.8	2.8
	教員	406	20.4	56.9	19.2	1.0	2.5
	市民	795	32.8	42.4	21.3	3.5	-
⑦体力や運動能力	小学6年生保護者	578	34.9	44.3	17.5	1.6	1.7
	中学3年生保護者	397	24.9	48.6	20.9	2.3	3.3
	教員	406	27.3	58.4	11.8	0.7	1.7
	市民	794	35.9	46.0	16.1	2.0	-
⑧自分の健康を管理する力	小学6年生保護者	578	61.9	28.0	7.3	0.9	1.9
	中学3年生保護者	397	60.7	25.2	9.3	1.5	3.3
	教員	406	72.9	21.2	3.4	0.7	1.7
	市民	801	59.8	28.6	9.7	1.9	-
⑨自分の進路や職業、将来について考える力	小学6年生保護者	578	56.1	31.3	9.7	1.0	1.9
	中学3年生保護者	397	52.4	33.5	10.3	1.5	2.3
	教員	406	60.3	32.8	4.7	0.2	2.0
	市民	802	62.5	26.4	10.3	0.7	-
⑩論理的にものを考える力	小学6年生保護者	578	45.8	37.4	13.5	1.6	1.7
	中学3年生保護者	397	40.8	39.5	15.4	1.8	2.5
	教員	406	30.8	48.8	17.0	1.2	2.2
	市民	796	46.2	38.3	13.8	1.6	-
⑪自分の考えを表現する力	小学6年生保護者	578	55.7	31.8	9.5	1.0	1.9
	中学3年生保護者	397	47.1	34.5	14.4	1.8	2.3
	教員	406	40.1	46.8	10.8	0.5	1.7
	市民	795	57.5	31.2	9.6	1.8	-

(%)

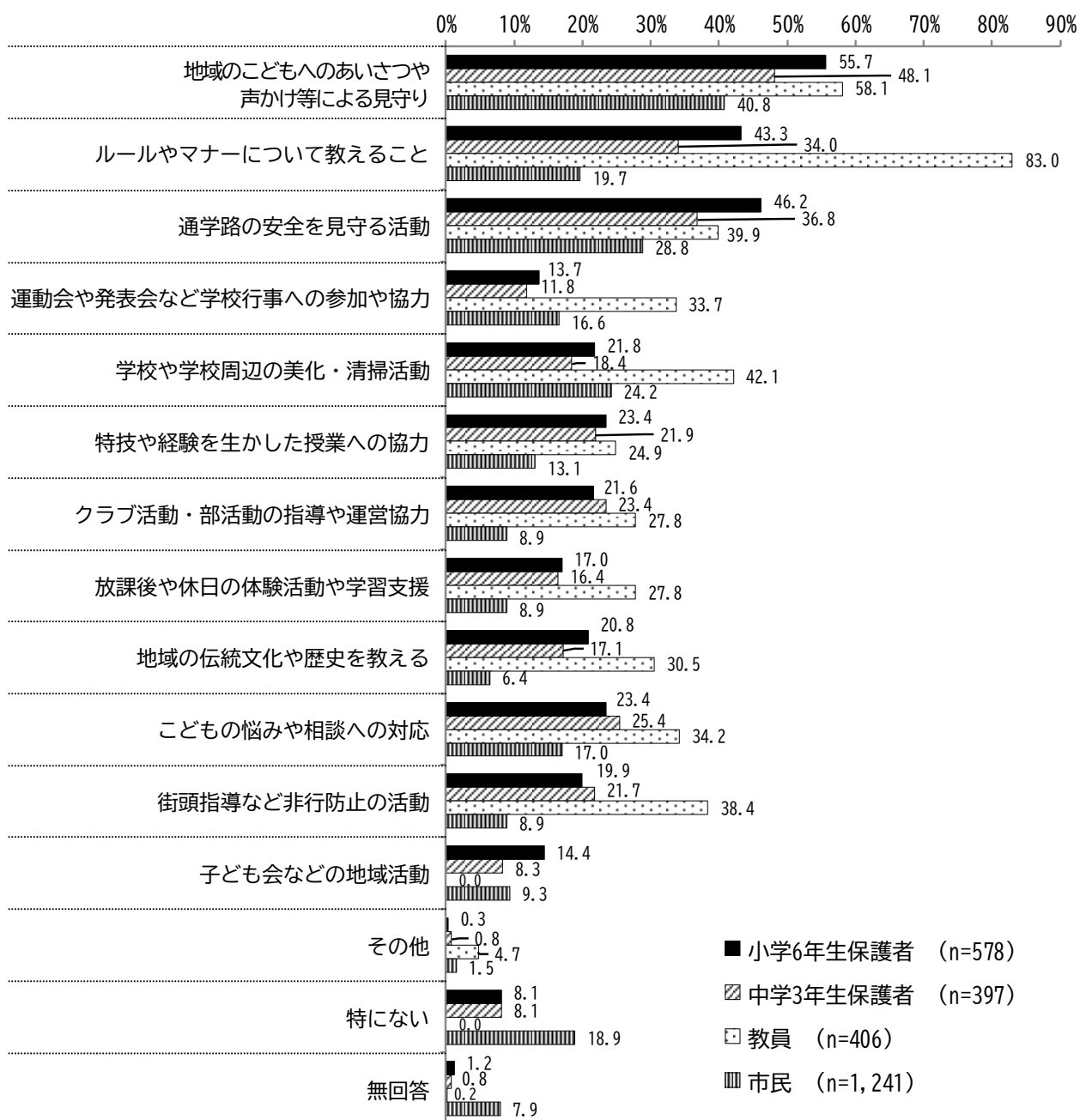
		全体(n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い	無回答
⑫ものごとを計画的に行う力	小学6年生保護者	578	52.2	36.3	8.1	1.2	2.1
	中学3年生保護者	397	47.6	36.5	11.6	1.3	3.0
	教員	406	47.8	43.3	6.9	0.7	1.2
	市民	797	50.9	36.8	10.8	1.5	-
⑬新しいものを生み出す創造的な力	小学6年生保護者	578	41.9	42.6	12.8	0.7	2.1
	中学3年生保護者	397	32.5	44.3	18.1	2.0	3.0
	教員	406	29.1	54.7	14.3	0.2	1.7
	市民	793	45.6	38.7	14.5	1.1	-
⑭善悪を判断する力	小学6年生保護者	578	69.0	23.9	4.7	0.5	1.9
	中学3年生保護者	397	66.0	24.4	5.8	1.3	2.5
	教員	406	83.0	11.8	3.4	0.2	1.5
	市民	803	75.1	17.2	6.4	1.4	-
⑮人間関係を築く力	小学6年生保護者	578	59.5	31.1	6.2	0.9	2.2
	中学3年生保護者	397	57.4	30.2	7.3	2.3	2.8
	教員	406	60.3	31.8	6.2	0.2	1.5
	市民	797	65.6	24.5	8.8	1.1	-
⑯他者を思いやる心	小学6年生保護者	578	68.3	26.1	2.6	0.5	2.4
	中学3年生保護者	397	65.2	25.4	5.5	1.0	2.8
	教員	406	75.1	19.0	4.4	0.2	1.2
	市民	796	75.3	18.3	5.3	1.1	-
⑰社会で役立つと心や公共心	小学6年生保護者	578	53.3	36.3	7.6	0.5	2.2
	中学3年生保護者	397	49.9	36.0	9.6	1.5	3.0
	教員	406	59.6	33.7	4.4	0.7	1.5
	市民	799	58.8	28.3	11.3	1.6	-
⑱郷土や国を愛する心	小学6年生保護者	578	37.4	42.4	14.5	3.6	2.1
	中学3年生保護者	397	30.7	42.1	19.4	5.0	2.8
	教員	406	41.6	45.8	9.4	0.7	2.5
	市民	798	37.8	40.4	18.3	3.5	-
⑲ものごとをやりとげる責任感やねばり強さ	小学6年生保護者	578	55.2	35.6	6.2	0.7	2.2
	中学3年生保護者	397	53.7	33.0	8.6	1.5	3.3
	教員	406	63.3	29.6	5.2	0.2	1.7
	市民	795	59.9	30.3	8.8	1.0	-
⑳人権を尊重する力	小学6年生保護者	578	60.0	30.1	7.1	0.7	2.1
	中学3年生保護者	397	58.2	29.2	8.3	1.5	2.8
	教員	406	69.0	24.1	5.4	0.2	1.2
	市民	793	62.3	27.4	9.0	1.4	-
㉑基本的な生活習慣	小学6年生保護者	578	70.1	22.0	5.2	0.5	2.2
	中学3年生保護者	397	67.8	20.4	7.1	1.8	3.0
	教員	406	86.0	9.1	2.7	0.5	1.7
	市民	803	71.9	18.3	8.6	1.2	-
㉒自分自身で社会や生活の場を良くしていくとしようとする当事者意識	小学6年生保護者	578	57.3	32.7	6.6	1.2	2.2
	中学3年生保護者	397	53.7	29.2	12.6	1.5	3.0
	教員	406	62.3	30.5	4.7	1.0	1.5
	市民	799	57.6	29.5	10.0	2.9	-

※市民においては、小学6年生・中学3年生の保護者向け調査で回答している場合は回答不要としたため、無回答を除いています。

8. 学校・家庭・地域の連携（複数選択）

小学6年生保護者・中学3年生保護者へは、地域の役割として取り組んでほしいこと、教員へは、家庭や地域に関わって欲しいこと、市民へは、学校・家庭・地域の連携で協力や参加をしたいと思うことについて尋ねたところ、小学6年生保護者・中学3年生保護者・市民では、「地域の子どもへのあいさつや声かけ等による見守り」が最も高くなっている。教員では「ルールやマナーについて教えること」が8割強と最も高くなっている。

図表 - 56 学校・家庭・地域の連携



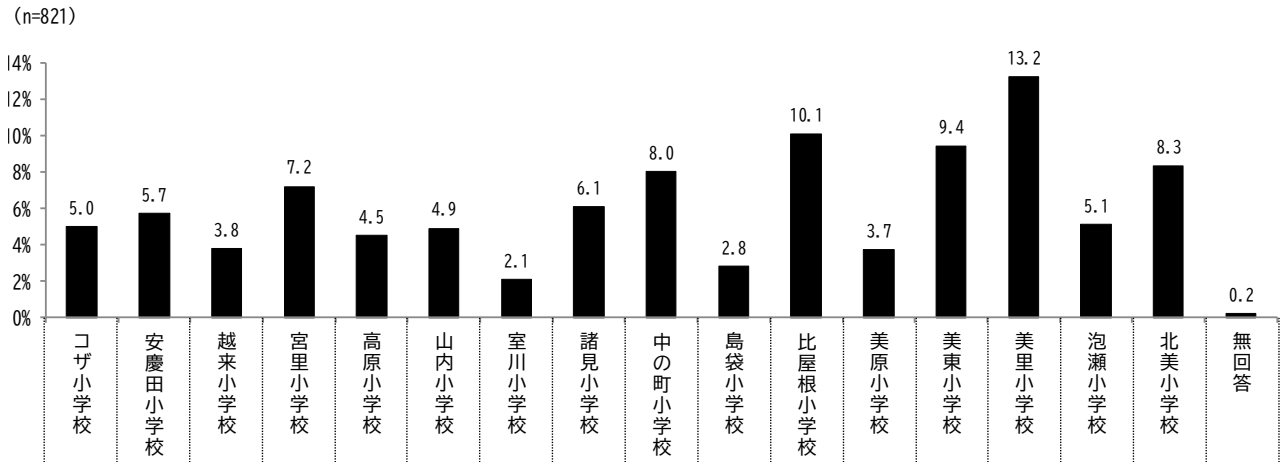
Ⅱ 本調査の結果

第1章 小学6年生の調査結果

1. 基本属性

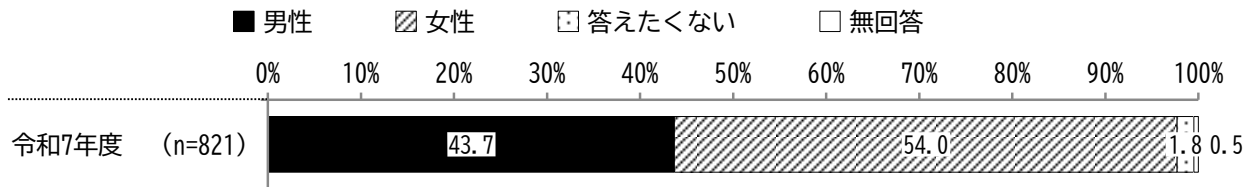
(1) 通っている小学校 (F1)

図表1-1 通っている小学校



(2) 性別 (問1)

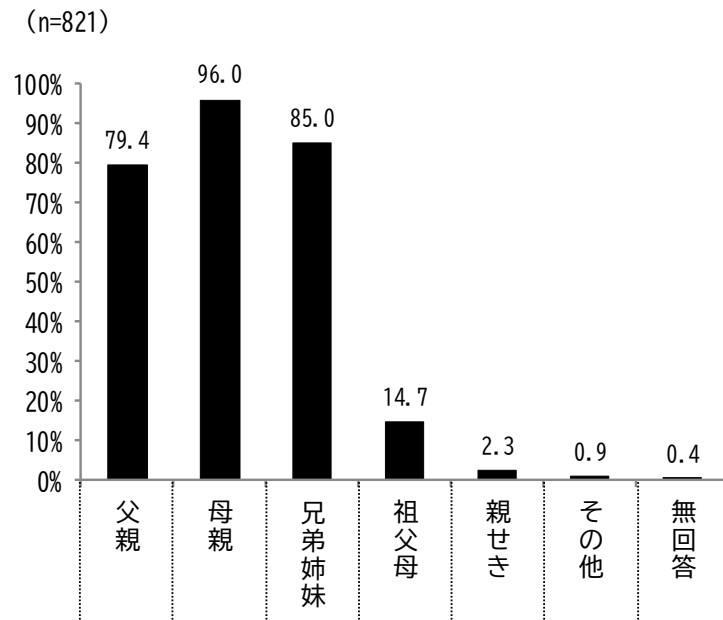
図表1-2 性別



(3) 同居している家族（複数選択）（問2）

- 同居している家族は、「母親」が96.0%で最も高く、次いで「兄弟姉妹」が85.0%となっている。
- 「その他」では、「児童養護施設」「里親」「決まっていない」などがあつた。

図表1-3 同居している家族

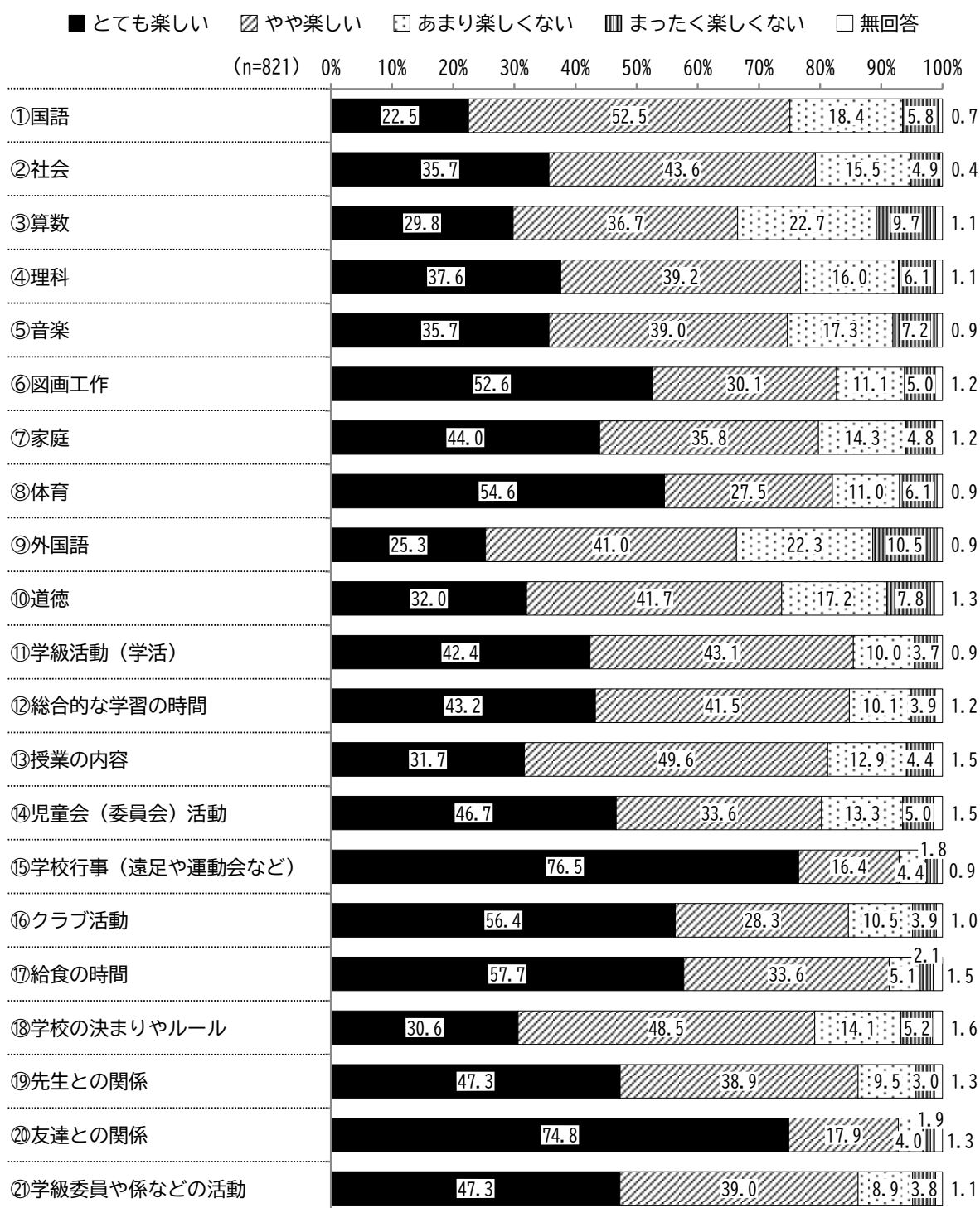


2. 確かな学力・豊かな心・健やかな体に関すること

(1) 授業・授業以外で楽しいと感じている項目（問5）

- 授業や授業以外のことがどれくらい楽しいと感じているかの「とても楽しい」では、「⑮学校行事（遠足や運動会など）」が76.5%で最も高く、次いで「⑳友達との関係」が74.8%となっている。
- 『楽しくない（あまり楽しくない+まったく楽しくない）』では、「⑨外国語」が32.8%で最も高く、次いで「③算数」が32.4%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、項目によっては若干変動があるものの、概ね同程度の水準となっている。

図表1-4 授業・授業以外で楽しいと感じている項目



Ⅱ 本調査の結果 第1章 小学6年生の調査結果

図表1-5 授業・授業以外で楽しいと感じている項目（令和2年度との比較）

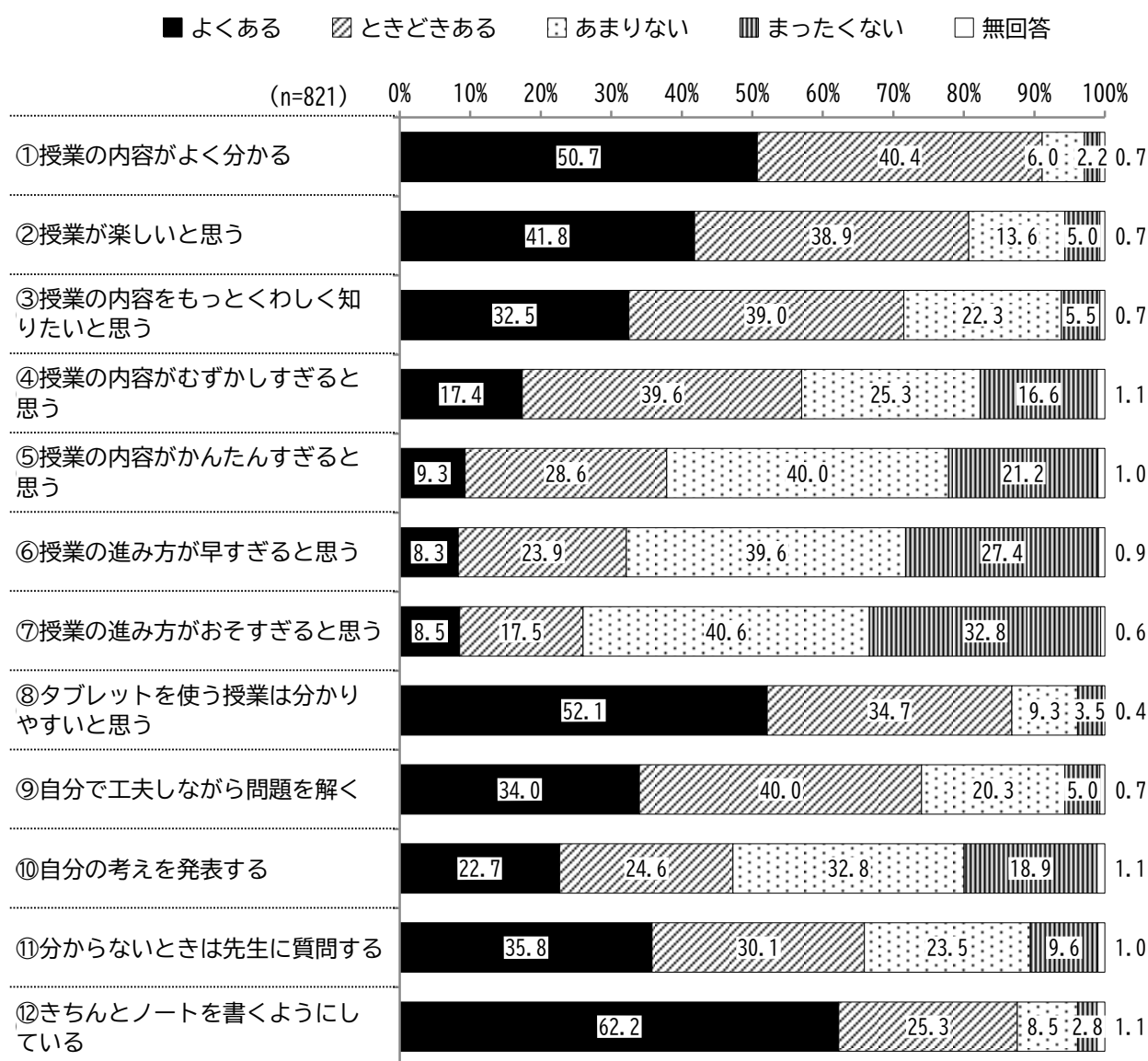
(%)

		全体 (n)	とても楽しい	やや楽しい	あまり楽しくない	まったく楽しくない	無回答
①国語	令和7年度	821	22.5	52.5	18.4	5.8	0.7
	令和2年度	1,171	19.9	55.0	21.0	4.1	-
②社会	令和7年度	821	35.7	43.6	15.5	4.9	0.4
	令和2年度	1,171	34.6	43.2	18.3	3.9	-
③算数	令和7年度	821	29.8	36.7	22.7	9.7	1.1
	令和2年度	1,171	37.5	41.4	16.9	4.2	-
④理科	令和7年度	821	37.6	39.2	16.0	6.1	1.1
	令和2年度	1,171	44.1	38.7	13.7	3.5	-
⑤音楽	令和7年度	821	35.7	39.0	17.3	7.2	0.9
	令和2年度	1,171	40.0	40.6	14.3	5.1	-
⑥図画工作	令和7年度	821	52.6	30.1	11.1	5.0	1.2
	令和2年度	1,169	54.4	32.0	10.1	3.5	-
⑦家庭	令和7年度	821	44.0	35.8	14.3	4.8	1.2
	令和2年度	1,170	44.9	42.3	10.9	2.0	-
⑧体育	令和7年度	821	54.6	27.5	11.0	6.1	0.9
	令和2年度	1,171	64.9	25.4	7.2	2.6	-
⑨外国語	令和7年度	821	25.3	41.0	22.3	10.5	0.9
	令和2年度	1,168	32.4	44.2	17.6	5.8	-
⑩道徳	令和7年度	821	32.0	41.7	17.2	7.8	1.3
	令和2年度	1,168	31.8	45.6	18.7	3.9	-
⑪学級活動（学活）	令和7年度	821	42.4	43.1	10.0	3.7	0.9
	令和2年度	1,169	51.8	37.3	8.6	2.2	-
⑫総合的な学習の時間	令和7年度	821	43.2	41.5	10.1	3.9	1.2
	令和2年度	1,170	48.9	39.3	9.4	2.4	-
⑬授業の内容	令和7年度	821	31.7	49.6	12.9	4.4	1.5
	令和2年度	1,167	42.6	43.4	11.2	2.7	-
⑭児童会（委員会）活動	令和7年度	821	46.7	33.6	13.3	5.0	1.5
	令和2年度	1,168	53.9	32.9	9.8	3.5	-
⑮学校行事（遠足や運動会など）	令和7年度	821	76.5	16.4	4.4	1.8	0.9
	令和2年度	1,169	76.9	17.7	4.0	1.4	-
⑯クラブ活動	令和7年度	821	56.4	28.3	10.5	3.9	1.0
	令和2年度	1,171	59.9	30.6	6.7	2.7	-
⑰給食の時間	令和7年度	821	57.7	33.6	5.1	2.1	1.5
	令和2年度	1,172	68.1	26.3	4.8	0.9	-
⑱学校の決まりやルール	令和7年度	821	30.6	48.5	14.1	5.2	1.6
	令和2年度	1,169	33.4	45.8	15.2	5.6	-
⑲先生との関係	令和7年度	821	47.3	38.9	9.5	3.0	1.3
	令和2年度	1,172	47.7	37.7	9.9	4.7	-
⑳友達との関係	令和7年度	821	74.8	17.9	4.0	1.9	1.3
	令和2年度	1,170	80.9	15.5	2.8	0.9	-
㉑学級委員や係などの活動	令和7年度	821	47.3	39.0	8.9	3.8	1.1
	令和2年度	-	-	-	-	-	-

(2) 授業への適応状況及び主体的な取組 (問6)

- 学校の授業に対して思ったり、行動したりすることの「よくある」では、「⑫きちんとノートを書くようにしている」が62.2%で最も高く、次いで「⑧タブレットを使う授業は分かりやすいと思う」が52.1%、「①授業の内容がよく分かる」が50.7%となっている。
- 「まったくない」では、「⑦授業の進み方がおそすぎると思う」が32.8%で最も高く、次いで「⑥授業の進み方が早すぎると思う」が27.4%、「⑤授業の内容がかんたんすぎると思う」が21.2%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、項目によっては若干変動があるものの、概ね同程度の水準となっている。
- 自己肯定感別でみると、「②授業が楽しいと思う」の『ない(あまりない+まったくない)』では自己肯定感が低い児童は46.3%で、高い児童の14.0%と比較し32.3ポイント高くなっており、差が最も大きい。

図表1-6 授業への適応状況及び主体的な取組



Ⅱ 本調査の結果 第1章 小学6年生の調査結果

図表1-7 授業への適応状況及び主体的な取組（令和2年度との比較）

		(%)					
		全体 (n)	よくある	ときどきあ る	あまりない	まったくな い	無回答
①授業の内容がよく分かる	令和7年度	821	50.7	40.4	6.0	2.2	0.7
	令和2年度	1,172	51.3	41.3	6.7	0.7	-
②授業が楽しいと思う	令和7年度	821	41.8	38.9	13.6	5.0	0.7
	令和2年度	1,171	47.8	39.6	10.2	2.4	-
③授業の内容をもっとくわしく知りたいと思う	令和7年度	821	32.5	39.0	22.3	5.5	0.7
	令和2年度	1,169	35.5	40.3	20.3	3.9	-
④授業の内容がむずかしすぎると思う	令和7年度	821	17.4	39.6	25.3	16.6	1.1
	令和2年度	1,171	19.3	33.7	29.0	17.9	-
⑤授業の内容がかんたんすぎると思う	令和7年度	821	9.3	28.6	40.0	21.2	1.0
	令和2年度	1,168	12.8	31.8	39.8	15.7	-
⑥授業の進み方が早すぎると思う 授業の進み方が早すぎて、内容が分からない	令和7年度	821	8.3	23.9	39.6	27.4	0.9
	令和2年度	1,171	7.3	22.5	37.4	32.8	-
⑦授業の進み方がおそすぎると思う 授業の進み方がおそすぎて、たいくつに感じる	令和7年度	821	8.5	17.5	40.6	32.8	0.6
	令和2年度	1,167	8.1	19.8	39.5	32.6	-
⑧タブレットを使う授業は分かりやすいと思う	令和7年度	821	52.1	34.7	9.3	3.5	0.4
	令和2年度	-	-	-	-	-	-
⑨自分で工夫しながら問題を解く	令和7年度	821	34.0	40.0	20.3	5.0	0.7
	令和2年度	1,170	41.4	38.4	16.9	3.3	-
⑩自分の考えを発表する	令和7年度	821	22.7	24.6	32.8	18.9	1.1
	令和2年度	1,169	22.7	27.6	32.8	16.9	-
⑪分からないときは先生に質問する	令和7年度	821	35.8	30.1	23.5	9.6	1.0
	令和2年度	1,170	28.6	33.8	26.0	11.5	-
⑫きちんとノートを書くようにしている	令和7年度	821	62.2	25.3	8.5	2.8	1.1
	令和2年度	1,172	74.6	18.5	5.9	1.0	-

※設問番号⑥⑦については、令和2年度の設問文を記載しています。
 ※令和2年度にない設問文は「-」で表示しています。

※ 本クロス集計表では、問12「自分はやればできると思う」について、「とてもあてはまる」「ややあてはまる」を『自己肯定感が高い』、「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」を『自己肯定感が低い』として再分類しています。

図表1-8 授業への適応状況及び主体的な取組（自己肯定感別）

(%)

①授業の内容がよく分かる	全体 (n)	よくある	ときどきある	あまりない	まったくない	無回答
令和7年度	821	50.7	40.4	6.0	2.2	0.7
自己肯定感	高い	55.5	38.7	4.6	0.9	0.3
	低い	24.0	50.4	14.0	9.9	1.7

(%)

②授業が楽しいと思う	全体 (n)	よくある	ときどきある	あまりない	まったくない	無回答
令和7年度	821	41.8	38.9	13.6	5.0	0.7
自己肯定感	高い	46.6	39.1	10.8	3.2	0.3
	低い	14.9	37.2	30.6	15.7	1.7

(%)

③授業の内容をもっとくわしく知りたいと思う	全体 (n)	よくある	ときどきある	あまりない	まったくない	無回答
令和7年度	821	32.5	39.0	22.3	5.5	0.7
自己肯定感	高い	36.5	38.6	20.6	3.9	0.4
	低い	10.7	40.5	33.1	14.9	0.8

(%)

④授業の内容がむずかしすぎると思う	全体 (n)	よくある	ときどきある	あまりない	まったくない	無回答
令和7年度	821	17.4	39.6	25.3	16.6	1.1
自己肯定感	高い	16.3	38.7	26.5	17.7	0.9
	低い	24.8	43.8	19.8	10.7	0.8

(%)

⑤授業の内容がかんたんすぎると思う	全体 (n)	よくある	ときどきある	あまりない	まったくない	無回答
令和7年度	821	9.3	28.6	40.0	21.2	1.0
自己肯定感	高い	10.2	29.9	41.2	18.0	0.7
	低い	4.1	19.8	34.7	40.5	0.8

(%)

⑥授業の進み方が早すぎると思う	全体 (n)	よくある	ときどきある	あまりない	まったくない	無回答
令和7年度	821	8.3	23.9	39.6	27.4	0.9
自己肯定感	高い	8.2	23.7	39.4	28.3	0.3
	低い	9.1	23.1	42.1	23.1	2.5

Ⅱ 本調査の結果 第1章 小学6年生の調査結果

(%)

⑦授業の進み方がおそすぎると思う		全体 (n)	よくある	ときどきある	あまりない	まったくない	無回答
令和7年度		821	8.5	17.5	40.6	32.8	0.6
自己肯定感	高い	695	8.6	17.1	40.4	33.5	0.3
	低い	121	7.4	19.8	42.1	29.8	0.8

(%)

⑧タブレットを使う授業は分かりやすいと思う		全体 (n)	よくある	ときどきある	あまりない	まったくない	無回答
令和7年度		821	52.1	34.7	9.3	3.5	0.4
自己肯定感	高い	695	56.1	33.8	8.1	2.0	-
	低い	121	30.6	39.7	16.5	12.4	0.8

(%)

⑨自分で工夫しながら問題を解く		全体 (n)	よくある	ときどきある	あまりない	まったくない	無回答
令和7年度		821	34.0	40.0	20.3	5.0	0.7
自己肯定感	高い	695	38.4	40.4	18.0	2.7	0.4
	低い	121	9.9	36.4	34.7	18.2	0.8

(%)

⑩自分の考えを発表する		全体 (n)	よくある	ときどきある	あまりない	まったくない	無回答
令和7年度		821	22.7	24.6	32.8	18.9	1.1
自己肯定感	高い	695	25.0	27.1	32.7	14.5	0.7
	低い	121	9.1	10.7	34.7	43.8	1.7

(%)

⑪分からないときは先生に質問する		全体 (n)	よくある	ときどきある	あまりない	まったくない	無回答
令和7年度		821	35.8	30.1	23.5	9.6	1.0
自己肯定感	高い	695	39.4	31.1	21.7	7.2	0.6
	低い	121	16.5	23.1	34.7	24.0	1.7

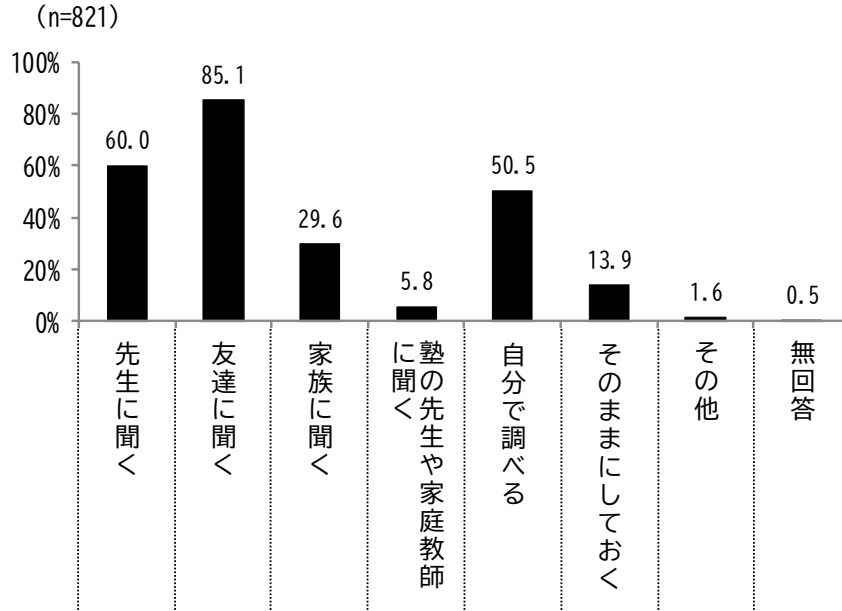
(%)

⑫きちんとノートを書くようにしている		全体 (n)	よくある	ときどきある	あまりない	まったくない	無回答
令和7年度		821	62.2	25.3	8.5	2.8	1.1
自己肯定感	高い	695	65.9	24.2	7.2	1.9	0.9
	低い	121	43.0	31.4	16.5	8.3	0.8

(3) 授業の不明点の対処（複数選択）（問7）

- 授業で分からないことがあるときの行動については、「友達に聞く」が 85.1%で最も高く、次いで「先生に聞く」が 60.0%、「自分で調べる」が 50.5%となっている。
- 「その他」では、「学童の先生に聞く」「AIに聞く」「わからないことがない」などがあつた。

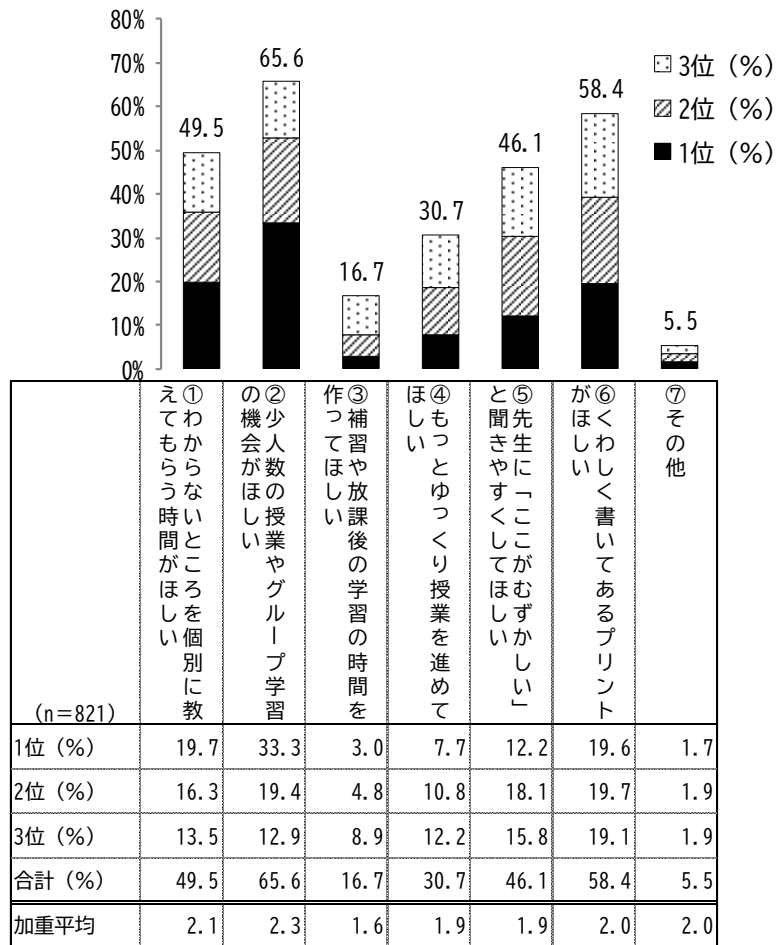
図表1-9 授業の不明点の対処



(4) 授業でのサポート内容の希望（1位～3位を選択）（問8）……………

- 授業の内容や進み方で困っているときにしてほしいことの1位～3位の合計比率では、「②少人数の授業やグループ学習の機会がほしい」が65.6%で最も高く、次いで「⑥くわしく書いてあるプリントがほしい」が58.4%、「①わからないところを個別に教えてもらう時間がほしい」が49.5%となっている。
- 「その他」では、「簡単な問題などの解き方を教えてほしい」「もっとわかりやすく授業をしてほしい」「友達に聞く時間がほしい」「クロムブックを使って調べたりする時間がほしい」などがあった。

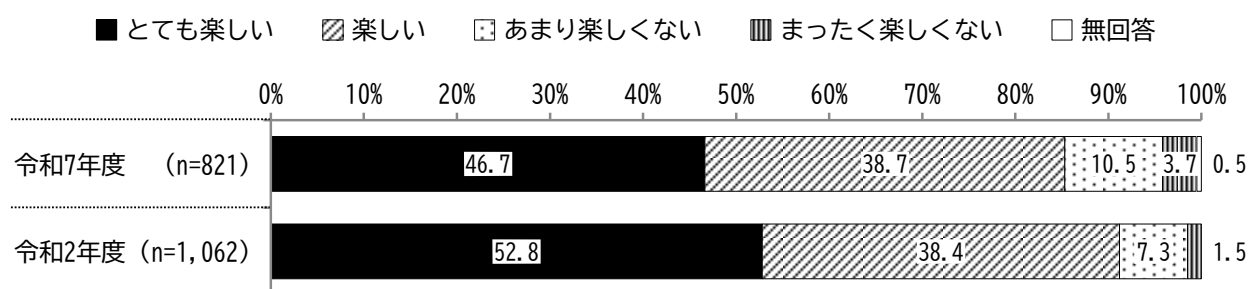
図表1-10 授業でのサポート内容の希望（1位～3位順位比率）



(5) 学校生活の楽しさ (問9)

- 学校に行くことについては、「とても楽しい」が46.7%で最も高く、次いで「楽しい」が38.7%となっている。
- 『楽しい (とても楽しい+楽しい)』は85.4%で、令和2年度調査の91.2%と比較すると5.8ポイント低くなっている。
- 自己肯定感別でみると、『楽しくない (あまり楽しくない+まったく楽しくない)』の自己肯定感が低い児童は44.6%で、自己肯定感の高い児童の9.0%と比較すると、35.6ポイント高くなっている。

図表1-11 学校生活の楽しさ (令和2年度との比較)



※ 本クロス集計表では、問12「自分はやればできると思う」について、「とてもあてはまる」「ややあてはまる」を『自己肯定感が高い』、「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」を『自己肯定感が低い』として再分類しています。

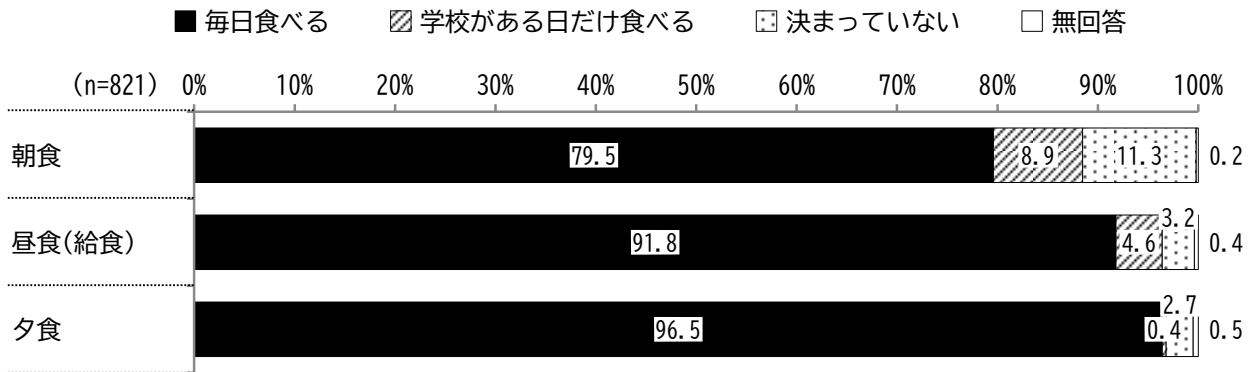
図表1-12 学校生活の楽しさ (自己肯定感別)

		(%)					
		全体 (n)	とても楽しい	楽しい	あまり楽しくない	まったく楽しくない	無回答
令和7年度		821	46.7	38.7	10.5	3.7	0.5
自己肯定感	高い	695	52.2	38.6	7.1	1.9	0.3
	低い	121	14.9	40.5	30.6	14.0	-

(6) 生活習慣（食事）（問3）

- 「毎日食べる」では、「夕食」が96.5%で最も高く、次いで「昼食(給食)」が91.8%、「朝食」が79.5%となっている。
- 「学校がある日だけ食べる」では、「朝食」が8.9%で最も高く、次いで「昼食(給食)」が4.6%、「夕食」が0.4%となっている。
- 「決まっていない」では、「朝食」が11.3%で最も高く、次いで「昼食(給食)」が3.2%、「夕食」が2.7%となっている。

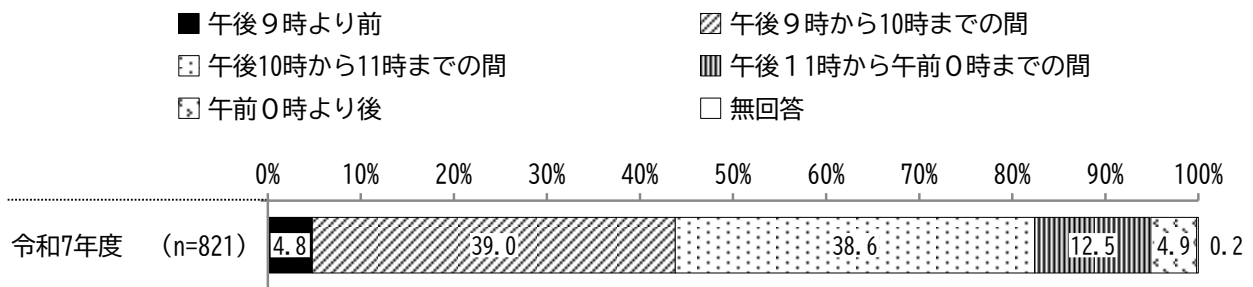
図表1-13 生活習慣（食事）



(7) 生活習慣（就寝時間）（問4）

- 平日（学校のある日）の就寝時間では、「午後9時から10時までの間」が39.0%で最も高く、次いで「午後10時から11時までの間」が38.6%、「午後11時から午前0時までの間」が12.5%となっている。

図表1-14 生活習慣（就寝時間）

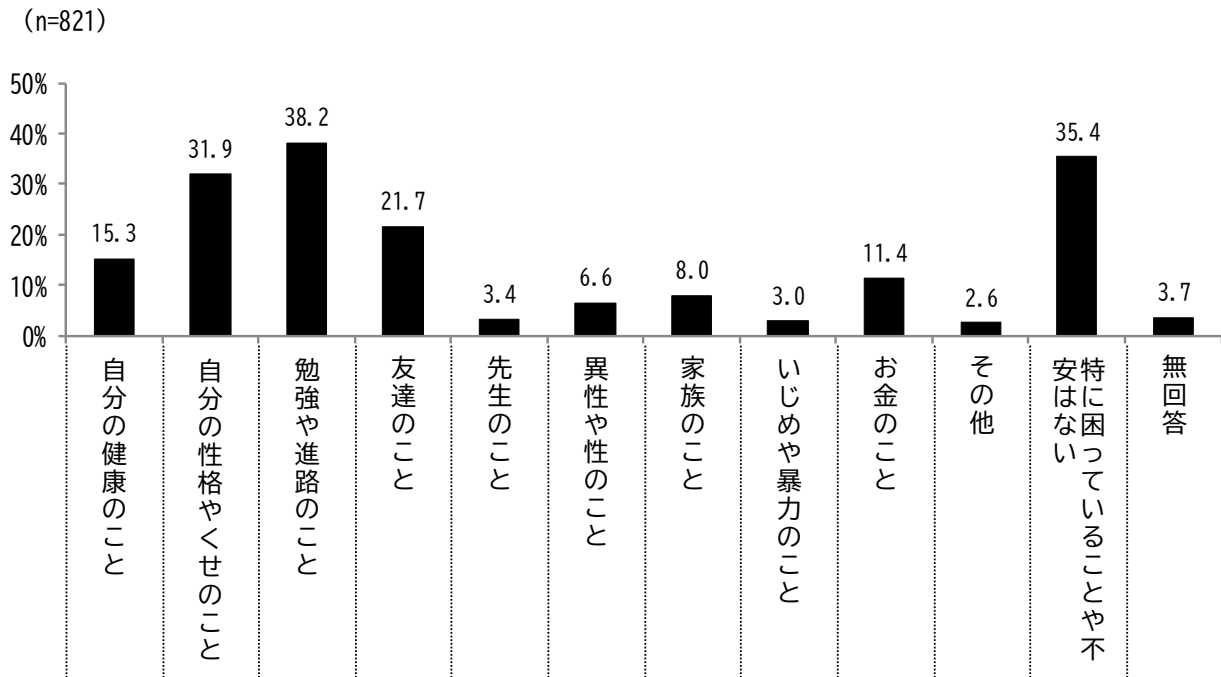


3. 相談や支援に関すること

(1) 困っていることや不安なこと（複数選択）（問15）

- 今、困っていることや不安なことでは、「勉強や進路のこと」が38.2%で最も高く、次いで「自分の性格やくせのこと」が31.9%、「友達のこと」が21.7%となっている。一方、「特に困っていることや不安はない」は35.4%となっている。
- 性別でみると、「自分の性格やくせのこと」で男女の差が最も大きく、女性40.2%に対し男性20.3%となっており、19.9ポイント女性が高くなっている。
- 「その他」では、「自分の容姿のこと」「戦争が起こらないか」などがあつた。

図表1-15 困っていることや不安なこと



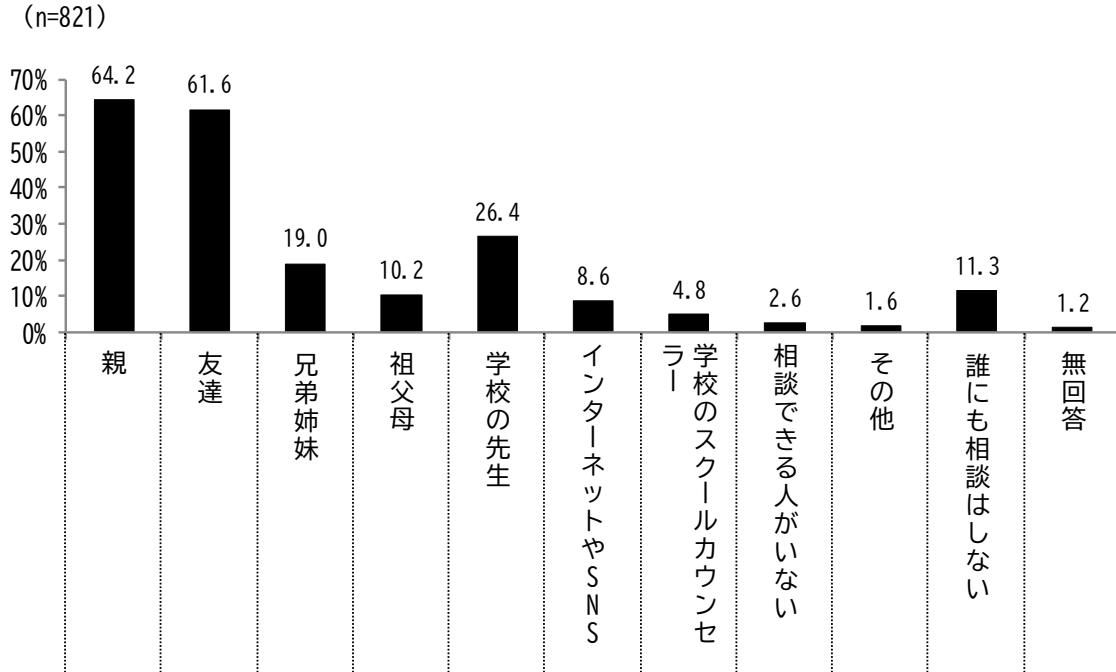
図表1-16 困っていることや不安なこと（性別）

		(%)												
		全体 (n)	自分の健康のこと	自分の性格やくせのこと	勉強や進路のこと	友達のこと	先生のこと	異性や性のこと	家族のこと	いじめや暴力のこと	お金のこと	その他	特に困っていることや不安はない	無回答
令和7年度		821	15.3	31.9	38.2	21.7	3.4	6.6	8.0	3.0	11.4	2.6	35.4	3.7
性別	男性	359	15.6	20.3	33.1	14.5	2.8	3.9	5.6	3.1	7.8	2.2	40.9	5.6
	女性	443	14.7	40.2	41.3	27.5	3.8	7.9	9.9	3.2	14.0	2.9	32.1	2.0

(2) 不安なことなどの相談先（複数選択）（問16）

- 困っていることや不安なことがあるときの相談先では、「親」が 64.2%で最も高く、次いで「友達」が 61.6%、「学校の先生」が 26.4%となっている。一方「誰にも相談はしない」は 11.3%、「相談できる人がいない」は 2.6%となっている。
- 「その他」では、「いところ」などがあつた。

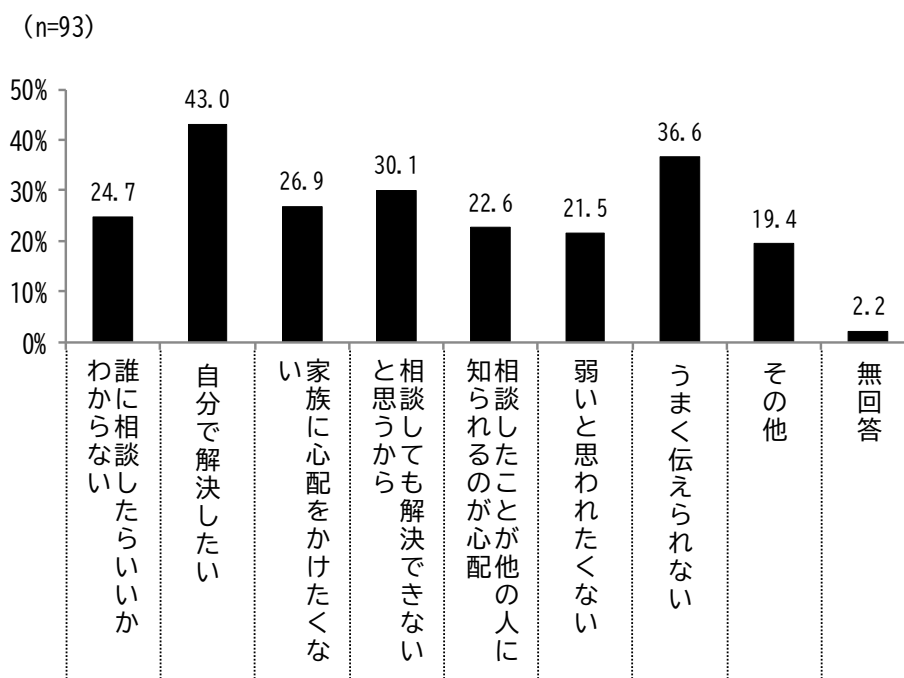
図表1-17 不安なことなどの相談先



(3) 「誰にも相談はしない」理由（複数選択）（問16-1）

- 誰にも相談はしない理由では、「自分で解決したい」が43.0%で最も高く、次いで「うまく伝えられない」が36.6%、「相談しても解決できないと思うから」が30.1%となっている。
- 性別でみると、「弱いと思われたくない」で男女の差が最も大きく、女性28.0%に対し男性10.5%となっており、17.5ポイント女性が高くなっている。
- 「その他」では、「面倒だから」「困っていることはないから」などがあった。

図表1-18 「誰にも相談はしない」理由



図表1-19 「誰にも相談はしない」理由（性別）

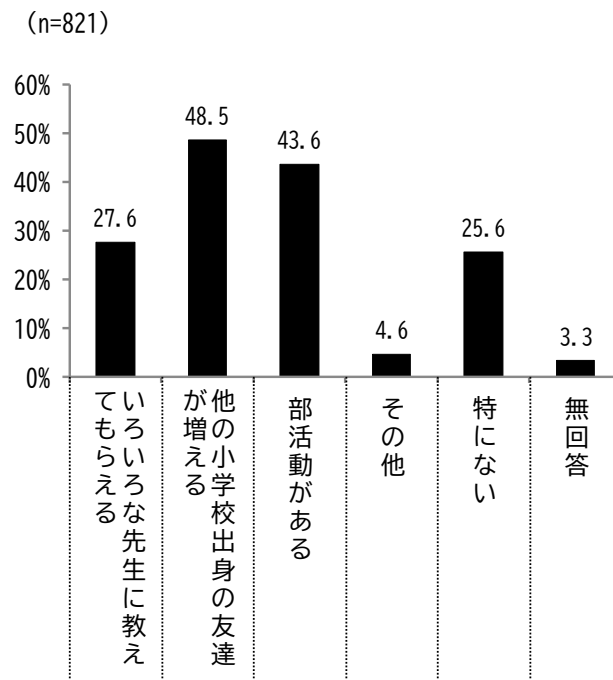
		全体 (n)	誰にも相談したらいいかわからない (%)	自分で解決したい (%)	家族に心配をかけたくない (%)	相談しても解決できないと思うから (%)	相談したことが他の人に知られるのが心配 (%)	弱いと思われたくない (%)	うまく伝えられない (%)	その他 (%)	無回答 (%)
令和7年度		93	24.7	43.0	26.9	30.1	22.6	21.5	36.6	19.4	2.2
性別	男性	38	15.8	42.1	21.1	21.1	13.2	10.5	28.9	23.7	2.6
	女性	50	30.0	46.0	30.0	38.0	26.0	28.0	42.0	18.0	-

(4) 中学校生活への期待と不安（複数選択）（問19）

<期待すること>

- 中学校生活に期待することでは、「他の小学校出身の友達が増える」が48.5%で最も高く、次いで「部活動がある」が43.6%、「いろいろな先生に教えてもらえる」が27.6%となっている。「特にない」は25.6%となっている。
- 性別でも、同様の割合となっている。
- 「その他」では、「制服を着られる」「修学旅行」「より難しい学習ができる」などがあつた。

図表1-20 中学校生活への期待と不安<期待すること>



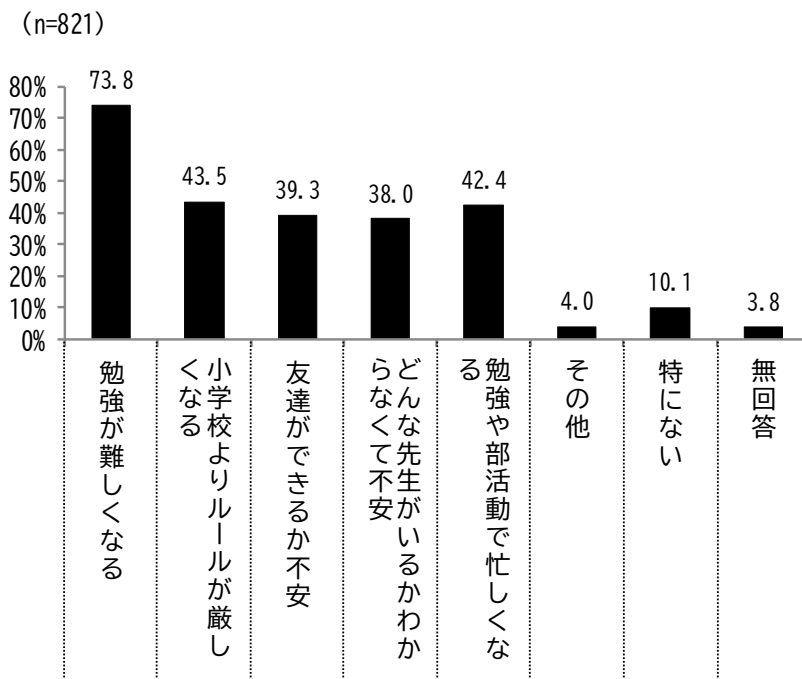
図表1-21 中学校生活への期待と不安<期待すること>（性別）

		全体 (n)	いろいろな先生に教えてもらえる	他の小学校出身の友達が増える	部活動がある	その他	特にない	無回答
令和7年度		821	27.6	48.5	43.6	4.6	25.6	3.3
性別	男性	359	26.7	46.5	43.2	2.8	26.7	2.8
	女性	443	28.4	51.2	44.5	6.1	24.4	3.2

<不安に思うこと>

- 中学校生活で不安なことでは、「勉強が難しくなる」が73.8%で最も高く、次いで「小学校よりルールが厳しくなる」が43.5%、「勉強や部活動で忙しくなる」が42.4%となっている。
- 性別で見ると、いずれの項目でも女性の割合が高くなっており、「友達ができるか不安」で男女の差が最も大きく、女性46.7%に対し男性30.1%で、女性が16.6ポイント高くなっている。
- 「その他」では、「先輩との関係」「いじめられないか不安」「受験」などがあつた。

図表1-22 中学校生活の期待と不安<不安に思うこと>



図表1-23 中学校生活の期待と不安<不安に思うこと> (性別)

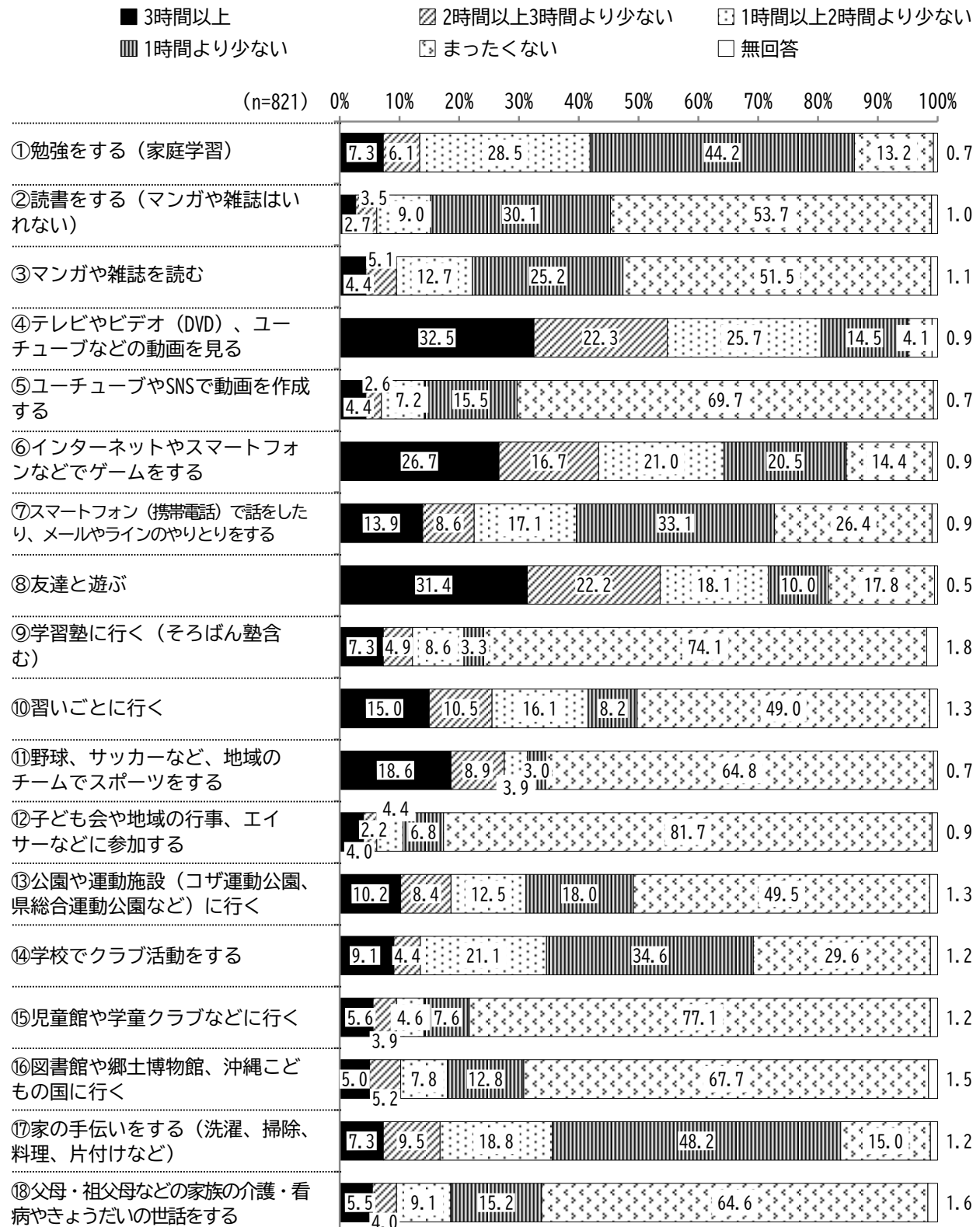
		全体 (n)	勉強が難しくなる	小学校よりルールが厳しくなる	友達ができるか不安	わからない先生がいるかわからなくて不安	勉強や部活動で忙しくなる	その他	特にない	無回答
令和7年度		821	73.8	43.5	39.3	38.0	42.4	4.0	10.1	3.8
性別	男性	359	69.1	39.0	30.1	29.8	35.7	2.5	14.2	2.8
	女性	443	78.3	47.2	46.7	44.2	47.4	5.2	6.8	4.1

4. 青少年の健全育成に関すること

(1) 平日の過ごし方 (問 10)

- 平日にしていることの「3 時間以上」では「④テレビやビデオ (DVD)、ユーチューブなどの動画を見る」が 32.5%で最も高く、次いで「⑧友達と遊ぶ」が 31.4%、「⑥インターネットやスマートフォンなどでゲームをする」が 26.7%となっている。
- 「まったくない」では「⑫子ども会や地域の行事、エイサーなどに参加する」が 81.7%となっている。

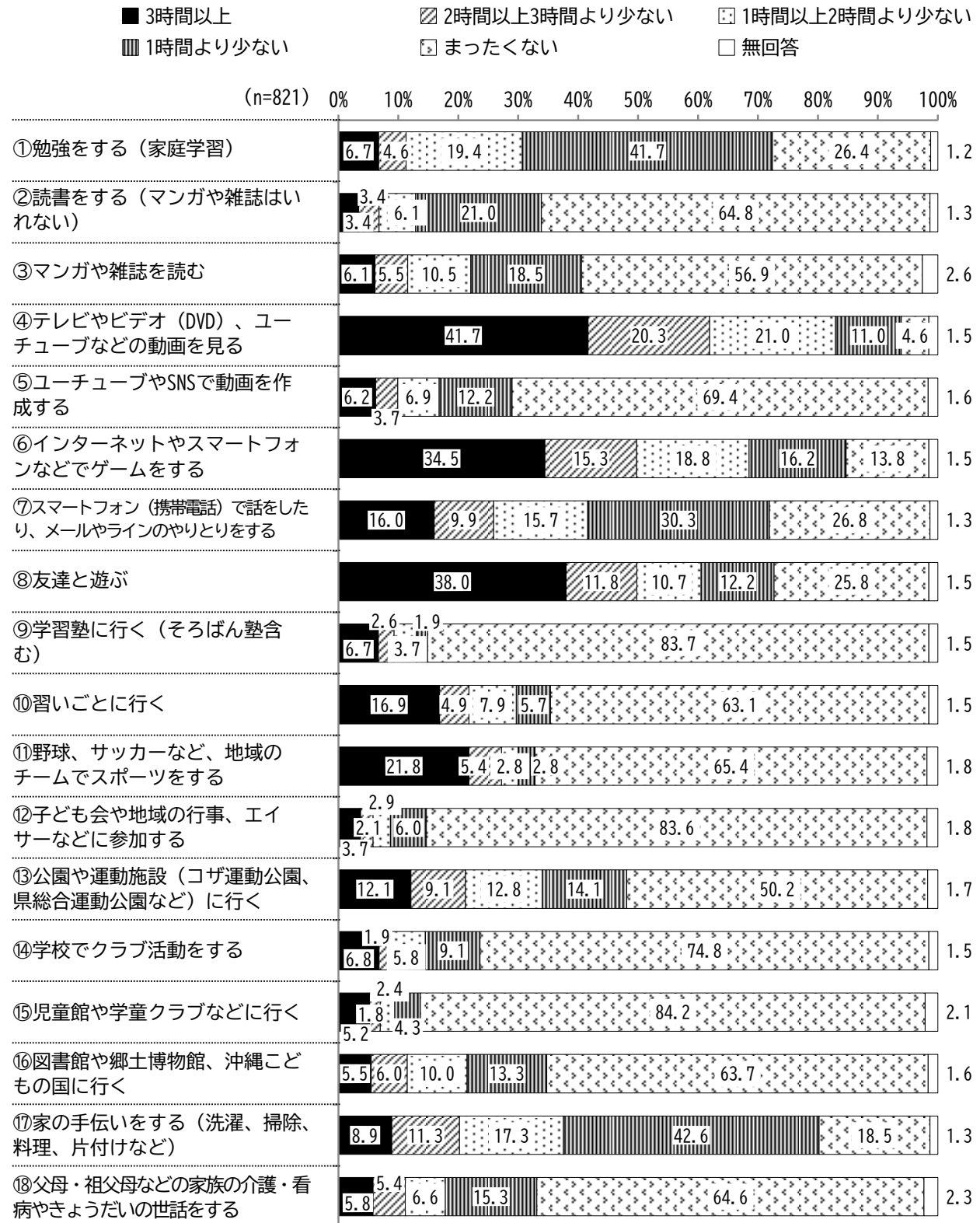
図表1-24 平日の過ごし方



(2) 休日の過ごし方 (問11)

- 休日にしていることの「3時間以上」では、平日同様に「④テレビやビデオ (DVD)、ユーチューブなどの動画を見る」が41.7%で最も高く、次いで「⑧友達と遊ぶ」が38.0%、「⑥インターネットやスマートフォンなどでゲームをする」が34.5%となっている。
- 「まったくない」では、「⑮児童館や学童クラブなどに行く」が84.2%となっている。

図表1-25 休日の過ごし方



II 本調査の結果 第1章 小学6年生の調査結果

- 平日と休日を比較すると、「3 時間以上」では、「④テレビやビデオ (DVD)、ユーチューブなどの動画を見る」で、平日が 32.5% に対し、休日が 41.7% で 9.2 ポイント休日が高くなっている。
- 「まったくない」では、「⑭学校でクラブ活動をする」で平日が 29.6% に対し、休日が 74.8% で 45.2 ポイント休日が高くなっている。

図表1 - 26 平日・休日の過ごし方

(%)

	(n=821)	3時間以上	2時間以上3時間より少ない	1時間以上2時間より少ない	1時間より少ない	まったくない	無回答
		平日	7.3	6.1	28.5	44.2	13.2
①勉強をする (家庭学習)	休日	6.7	4.6	19.4	41.7	26.4	1.2
②読書をする (マンガや雑誌はいれない)	平日	2.7	3.5	9.0	30.1	53.7	1.0
	休日	3.4	3.4	6.1	21.0	64.8	1.3
③マンガや雑誌を読む	平日	4.4	5.1	12.7	25.2	51.5	1.1
	休日	6.1	5.5	10.5	18.5	56.9	2.6
④テレビやビデオ (DVD)、ユーチューブなどの動画を見る	平日	32.5	22.3	25.7	14.5	4.1	0.9
	休日	41.7	20.3	21.0	11.0	4.6	1.5
⑤ユーチューブやSNSで動画を作成する	平日	4.4	2.6	7.2	15.5	69.7	0.7
	休日	6.2	3.7	6.9	12.2	69.4	1.6
⑥インターネットやスマートフォンなどでゲームをする	平日	26.7	16.7	21.0	20.5	14.4	0.9
	休日	34.5	15.3	18.8	16.2	13.8	1.5
⑦スマートフォン (携帯電話) で話をしたり、メールやラインのやりとりをする	平日	13.9	8.6	17.1	33.1	26.4	0.9
	休日	16.0	9.9	15.7	30.3	26.8	1.3
⑧友達と遊ぶ	平日	31.4	22.2	18.1	10.0	17.8	0.5
	休日	38.0	11.8	10.7	12.2	25.8	1.5
⑨学習塾に行く (そろばん塾含む)	平日	7.3	4.9	8.6	3.3	74.1	1.8
	休日	6.7	2.6	3.7	1.9	83.7	1.5
⑩習いごとに行く	平日	15.0	10.5	16.1	8.2	49.0	1.3
	休日	16.9	4.9	7.9	5.7	63.1	1.5
⑪野球、サッカーなど、地域のチームでスポーツをする	平日	18.6	8.9	3.9	3.0	64.8	0.7
	休日	21.8	5.4	2.8	2.8	65.4	1.8
⑫子ども会や地域の行事、エイサーなどに参加する	平日	4.0	2.2	4.4	6.8	81.7	0.9
	休日	3.7	2.1	2.9	6.0	83.6	1.8
⑬公園や運動施設 (コザ運動公園、県総合運動公園など) に行く	平日	10.2	8.4	12.5	18.0	49.5	1.3
	休日	12.1	9.1	12.8	14.1	50.2	1.7
⑭学校でクラブ活動をする	平日	9.1	4.4	21.1	34.6	29.6	1.2
	休日	6.8	1.9	5.8	9.1	74.8	1.5
⑮児童館や学童クラブなどに行く	平日	5.6	3.9	4.6	7.6	77.1	1.2
	休日	5.2	1.8	2.4	4.3	84.2	2.1
⑯図書館や郷土博物館、沖縄こどもの国に行く	平日	5.0	5.2	7.8	12.8	67.7	1.5
	休日	5.5	6.0	10.0	13.3	63.7	1.6
⑰家の手伝いをする (洗濯、掃除、料理、片付けなど)	平日	7.3	9.5	18.8	48.2	15.0	1.2
	休日	8.9	11.3	17.3	42.6	18.5	1.3
⑱父母・祖父母などの家族の介護・看病やきょうだいの世話をする	平日	5.5	4.0	9.1	15.2	64.6	1.6
	休日	5.8	5.4	6.6	15.3	64.6	2.3

全国調査との比較

- 平日の学校以外での勉強時間について、全国学力・学習状況調査では学習塾等の時間も含むため単純比較はできないが、「①勉強をする（家庭学習）」の「まったくない」では、全国・沖縄県の5.6%に対し、本市は13.2%で7.6ポイント高くなっている。
- 休日の「①勉強をする（家庭学習）」の「まったくない」では、沖縄県の17.0%に対し、本市は26.4%で9.4ポイント高くなっている。

図表1-27 平日・休日の過ごし方（全国調査との比較）

<平日>

(%)

	対象	全体 (n)	3時間以上	2時間以上3時間より少ない	1時間以上2時間より少ない	1時間より少ない	まったくない	無回答	
①勉強をする（家庭学習）	沖縄市	821	7.3	6.1	28.5	44.2	13.2	0.7	
⑨学習塾に行く（そろばん塾含む）	沖縄市	821	7.3	4.9	8.6	3.3	74.1	1.8	
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾、家庭教師、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	対象	全体 (n)	3時間以上	2時間以上3時間より少ない	1時間以上2時間より少ない	30分以上1時間より少ない	30分より少ない	まったくしない	無回答
	全国	949,570	12.4	12.9	29.0	27.3	12.8	5.6	0.1
	沖縄県公立小	14,142	10.5	11.8	24.4	31.9	15.7	5.6	0.1

出典：国立教育政策研究所「令和7年度 全国学力・学習状況調査」

<休日>

(%)

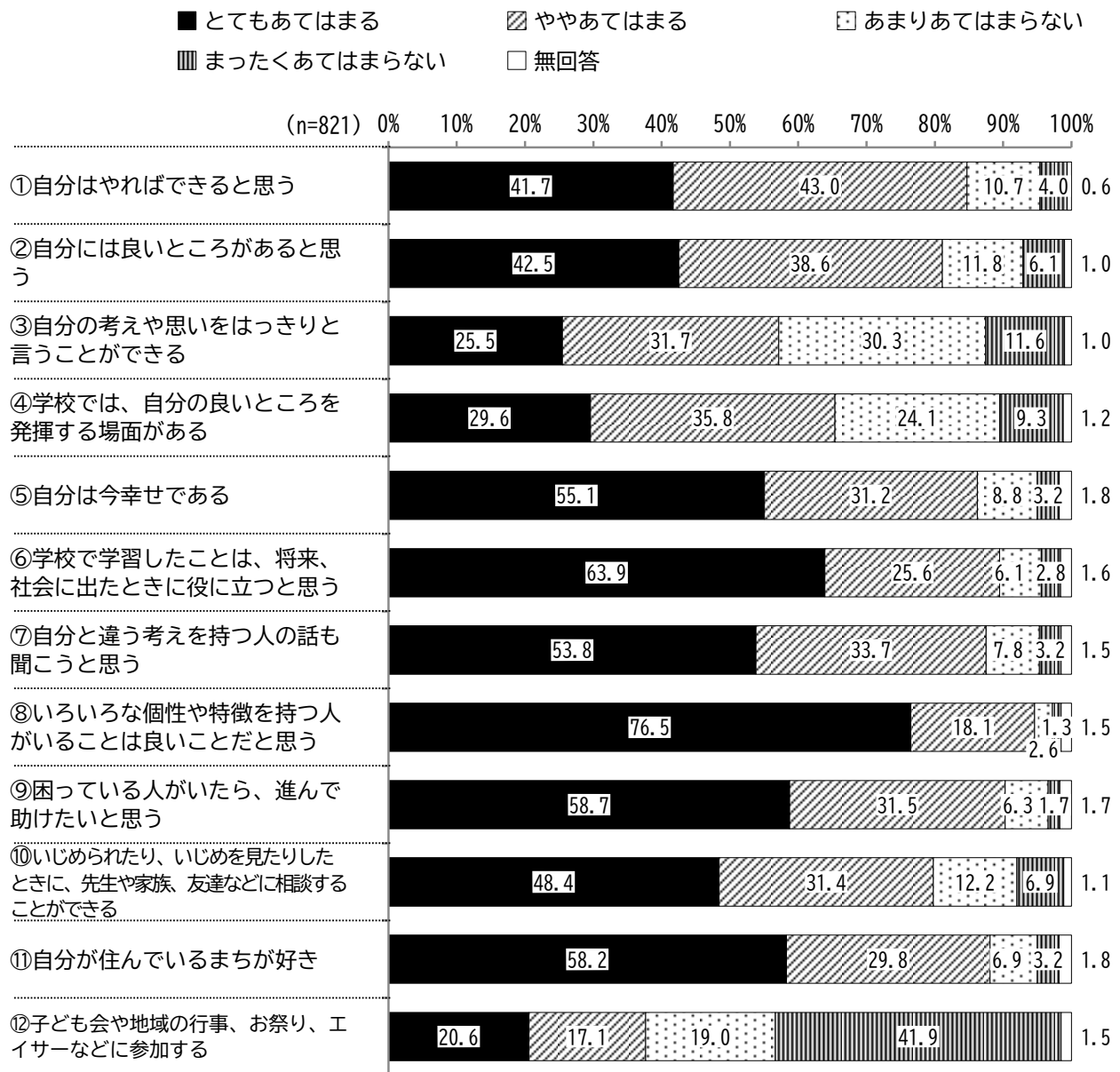
	対象	全体 (n)	3時間以上	2時間以上3時間より少ない	1時間以上2時間より少ない	1時間より少ない	まったくない	無回答	
①勉強をする（家庭学習）	沖縄市	821	6.7	4.6	19.4	41.7	26.4	1.2	
⑨学習塾に行く（そろばん塾含む）	沖縄市	821	6.7	2.6	3.7	1.9	83.7	1.5	
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾、家庭教師、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	対象	全体 (n)	4時間以上	3時間以上4時間より少ない	2時間以上3時間より少ない	1時間以上2時間より少ない	1時間より少ない	まったくしない	無回答
	全国	949,570	7.7	4.5	9.8	25.6	35.0	17.3	0.1
	沖縄県公立小	14,142	5.6	3.8	8.6	24.3	40.6	17.0	0.1

出典：国立教育政策研究所「令和7年度 全国学力・学習状況調査」

(3) 自己評価や社会参加等 (問12)

- 自己評価や社会参加などに対する考えについて、「とてもあてはまる」では、「⑧いろいろな個性や特徴を持つ人がいることは良いことだと思う」が76.5%で最も高く、次いで「⑥学校で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」が63.9%、「⑨困っている人がいたら、進んで助けたいと思う」が58.7%となっている。
- 「まったくあてはまらない」では、「⑫子ども会や地域の行事、お祭り、エイサーなどに参加する」が41.9%で最も高く、次いで「③自分の考えや思いをはっきりとすることができる」が11.6%、「④学校では、自分の良いところを発揮する場面がある」が9.3%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、「②自分には良いところがあると思う」で「とてもあてはまる」が42.5%となっており、前回の34.1%から8.4ポイント高くなっている。

図表1-28 自己評価や社会参加等



図表1-29 自己評価や社会参加等（令和2年度との比較）

		全体 (n)	とてもあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答
①自分はやればできと思う	令和7年度	821	41.7	43.0	10.7	4.0	0.6
	令和2年度	1,166	34.5	47.3	14.9	3.3	-
②自分には良いところがあると思う	令和7年度	821	42.5	38.6	11.8	6.1	1.0
	令和2年度	1,164	34.1	45.3	15.3	5.3	-
③自分の考えや思いをはっきりと言うことができる	令和7年度	821	25.5	31.7	30.3	11.6	1.0
	令和2年度	-	-	-	-	-	-
④学校では、自分の良いところを発揮する場面がある	令和7年度	821	29.6	35.8	24.1	9.3	1.2
	令和2年度	1,164	24.5	37.9	29.3	8.3	-
⑤自分は今幸せである	令和7年度	821	55.1	31.2	8.8	3.2	1.8
	令和2年度	-	-	-	-	-	-
⑥学校で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	令和7年度	821	63.9	25.6	6.1	2.8	1.6
	令和2年度	1,165	64.3	26.7	7.6	1.5	-
⑦自分と違う考えを持つ人の話も聞こうと思う	令和7年度	821	53.8	33.7	7.8	3.2	1.5
	令和2年度	-	-	-	-	-	-
⑧いろいろな個性や特徴を持つ人がいることは良いことだと思う	令和7年度	821	76.5	18.1	2.6	1.3	1.5
	令和2年度	-	-	-	-	-	-
⑨困っている人がいたら、進んで助けたいと思う	令和7年度	821	58.7	31.5	6.3	1.7	1.7
	令和2年度	-	-	-	-	-	-
⑩いじめられたり、いじめを見たりしたときに、先生や家族、友達などに相談することができる	令和7年度	821	48.4	31.4	12.2	6.9	1.1
	令和2年度	1,167	40.6	29.8	16.1	13.5	-
⑪自分が住んでいるまちが好き	令和7年度	821	58.2	29.8	6.9	3.2	1.8
	令和2年度	1,164	60.8	27.6	8.8	2.8	-
⑫子ども会や地域の行事、お祭り、エイサーなどに参加する 子ども会や地域の行事、お祭りに参加する	令和7年度	821	20.6	17.1	19.0	41.9	1.5
	令和2年度	1,163	15.3	22.7	25.4	36.6	-

※設問番号⑫については、令和2年度の設問文を記載しています。
※令和2年度にない設問文は「-」で表示しています。

全国調査との比較

- 「自分には良いところがあると思う」について、全国学力・学習状況調査と比較すると、「(とても)当てはまる」では、沖縄県の47.0%に対し、本市は42.5%で4.5ポイント低くなっている。

図表1-30 自己評価や社会参加等（全国調査との比較）

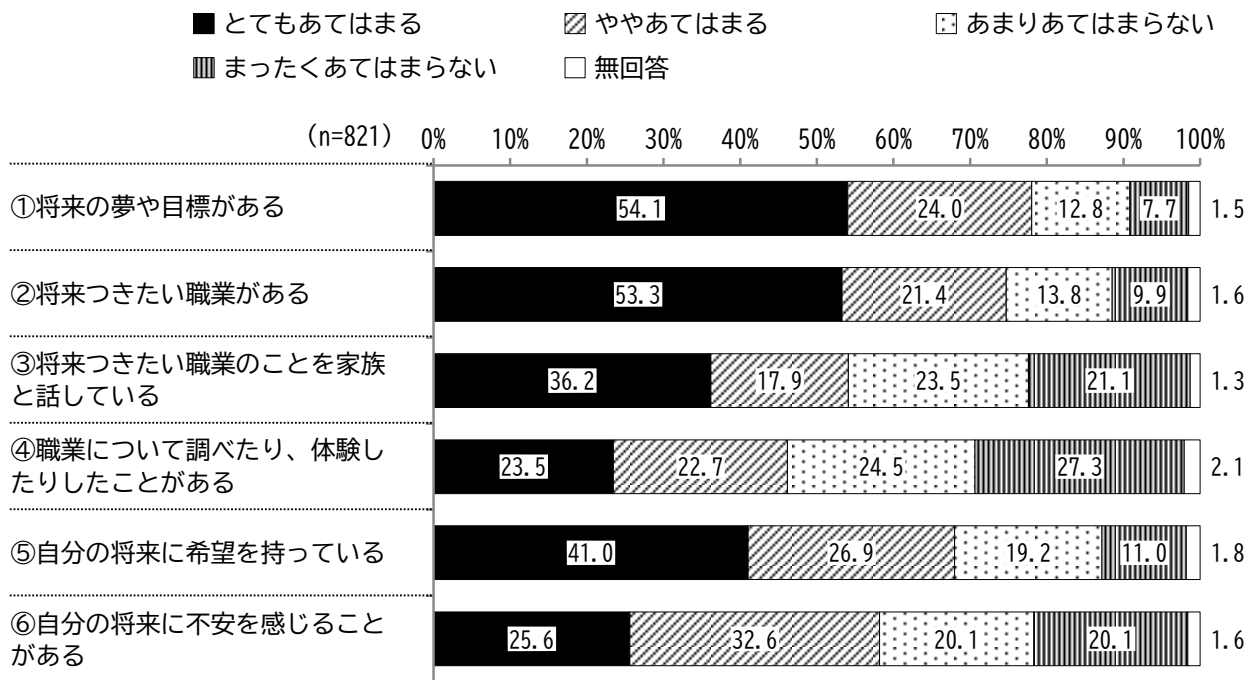
		対象	全体 (n)	とてもあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答
自分には良いところがあると思う	対象	沖繩市	821	42.5	38.6	11.0	6.1	1.0
	対象	全国	949,570	47.4	39.6	9.1	3.9	0.0
	対象	沖繩県公立小	14,142	47.0	40.5	8.8	3.5	0.0
	対象	全体 (n)		当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない	無回答

出典：国立教育政策研究所「令和7年度 全国学力・学習状況調査」

(4) 将来の夢や職業等 (問13)

- ・ 将来に関することの「とてもあてはまる」では、「①将来の夢や目標がある」が 54.1%で最も高く、次いで「②将来つきたい職業がある」が 53.3%、「⑤自分の将来に希望を持っている」が 41.0%となっている。
- ・ 「まったくあてはまらない」では、「④職業について調べたり、体験したりしたことがある」が 27.3%で最も高く、次いで「③将来つきたい職業のことを家族と話している」が 21.1%、「⑥自分の将来に不安を感じることもある」が 20.1%となっている。

図表1-31 将来の夢や職業等



全国調査との比較

- ・ 「将来の夢や目標がある」について、全国学力・学習状況調査と比較すると、「(とても) 当てはまる」では、沖縄県の 61.7%に対し、本市は 54.1%で 7.6 ポイント低くなっている。

図表1-32 将来の夢や職業等 (全国調査との比較)

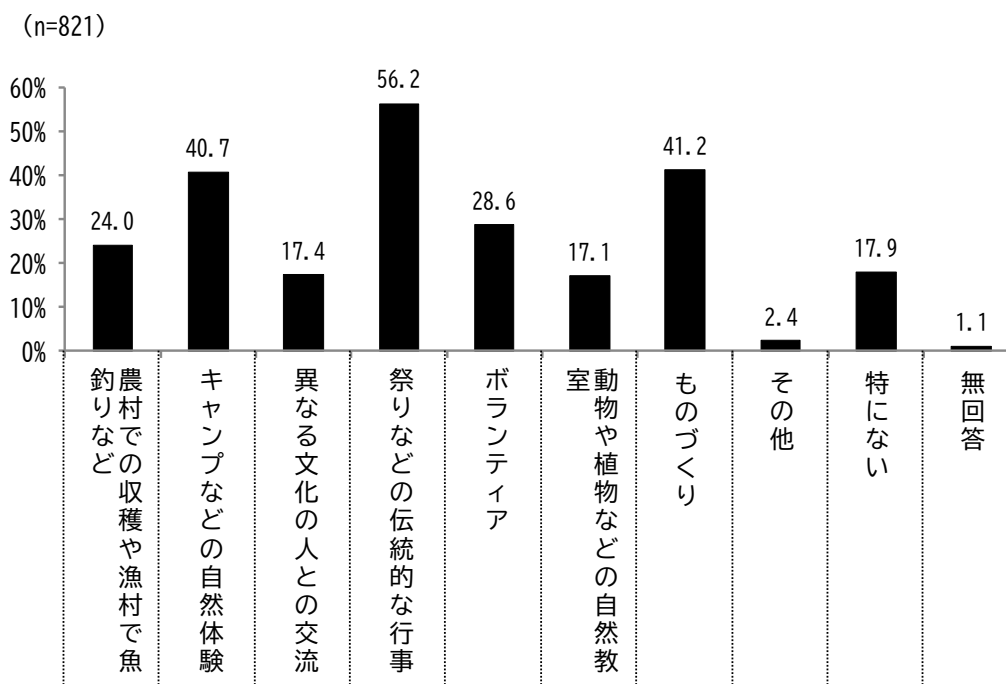
将来の夢や目標がある	対象	全体 (n)	とてもあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答
		沖繩市	821	54.1	24.0	12.8	7.7
将来の夢や目標がある	対象	全体 (n)	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない	無回答
	全国	949,570	60.7	22.4	10.3	6.6	0.0
	沖繩県公立小	14,142	61.7	21.4	10.1	6.7	0.1

出典：国立教育政策研究所「令和7年度 全国学力・学習状況調査」

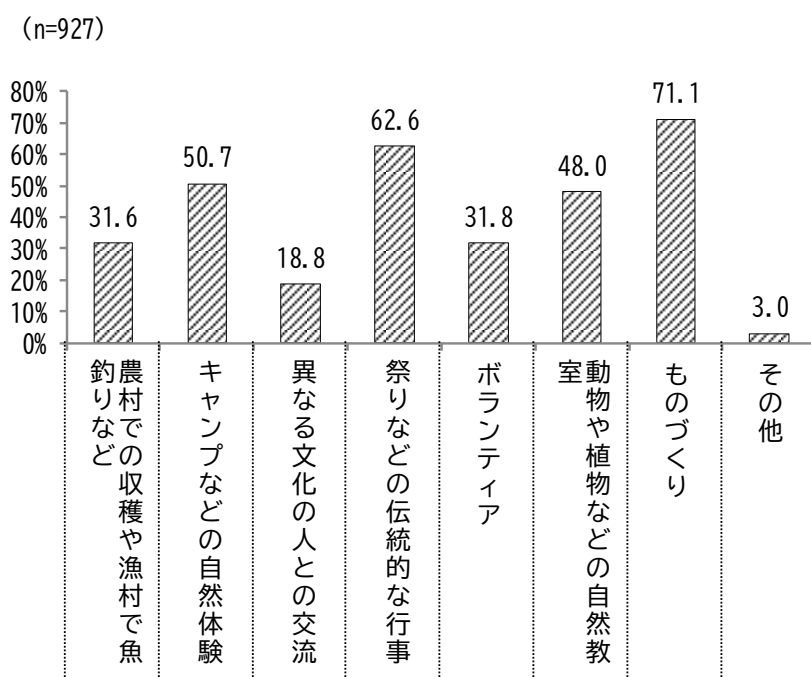
(5) 体験活動（複数選択）（問14）

- 体験活動への参加状況では、「祭りなどの伝統的な行事」が56.2%で最も高く、次いで「ものづくり」が41.2%、「キャンプなどの自然体験」が40.7%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、「動物や植物などの自然教室」が17.1%で、前回の48.0%と比較し30.9ポイント低くなっている。次いで、「ものづくり」が41.2%で、前回の71.1%と比較し29.9ポイント低くなっている。
- 「その他」では、「職業体験」「姉妹都市・兄弟都市交流」「ホームステイ」などがあつた。

図表1-33 体験活動（令和7年度）



図表1-34 体験活動（令和2年度）

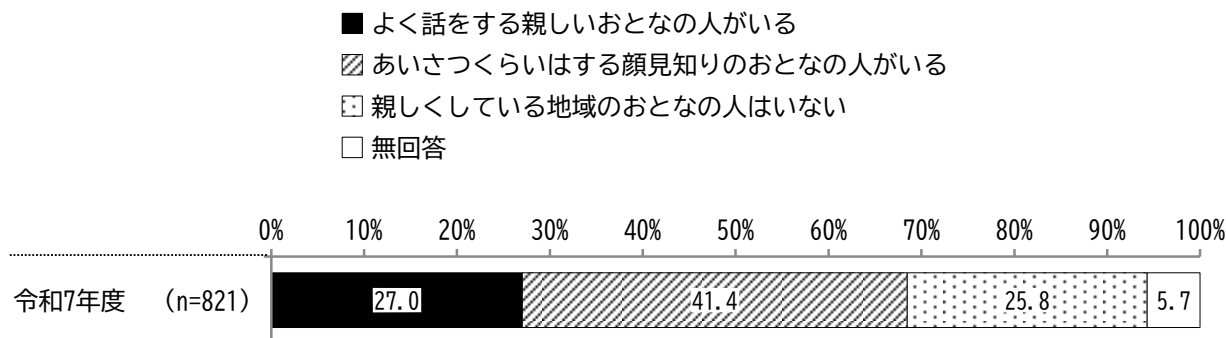


5. 学校と家庭、地域の連携・協働に関すること

(1) 地域での大人との関わり (問 20)

- 家族以外の地域の大人との関わりでは、「あいさつくらいはする顔見知りのおとなの人がいる」が41.4%、「よく話をする親しいおとなの人がいる」が27.0%となっている。

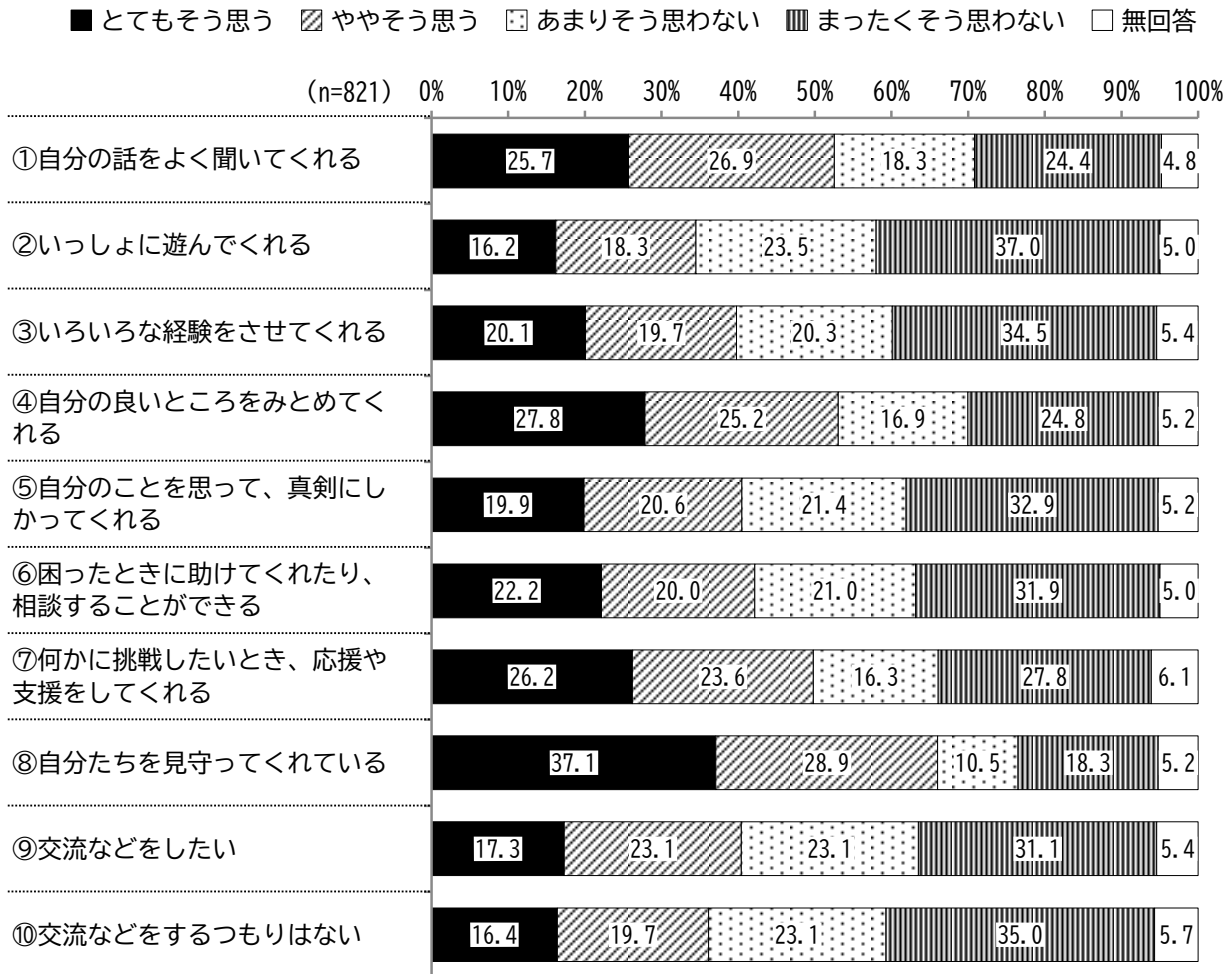
図表1-35 地域での大人との関わり



(2) 地域の大人への評価 (問 21)

- 地域の大人に対して感じていることの「とてもそう思う」では、「⑧自分たちを見守ってくれている」が37.1%で最も高く、次いで「④自分の良いところをみとめてくれる」が27.8%、「⑦何かに挑戦したいとき、応援や支援をしてくれる」が26.2%となっている。
- 「まったくそう思わない」では、「②いっしょに遊んでくれる」が37.0%で最も高く、次いで「⑩交流などをするつもりはない」が35.0%、「③いろいろな経験をさせてくれる」が34.5%となっている。

図表1-36 地域の大人への評価

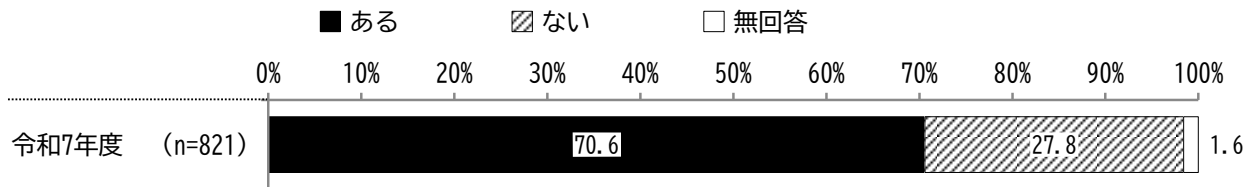


6. スマートフォン・SNS に関すること

(1) 自分専用のスマートフォンの保有 (問 17)

- 専用で使えるスマートフォンの保有状況では、「ある」が70.6%、「ない」が27.8%となっている。

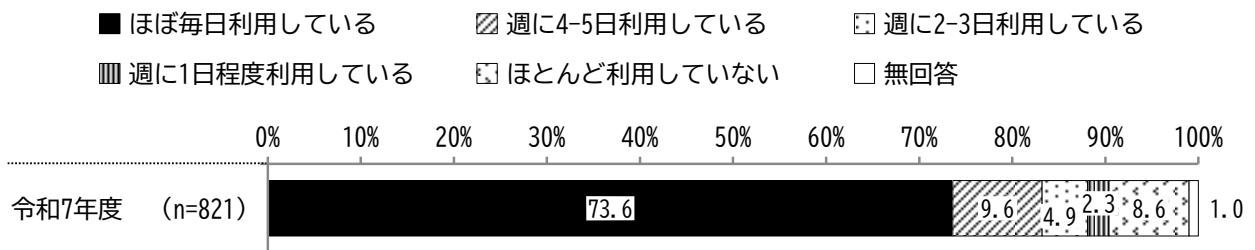
図表 1 - 37 自分専用のスマートフォンの保有



(2) SNS の利用 (問 18)

- 勉強以外での SNS やインターネットの利用状況では、「ほぼ毎日利用している」が73.6%で最も高く、次いで「週に 4-5 日利用している」が9.6%、「ほとんど利用していない」が8.6%となっている。

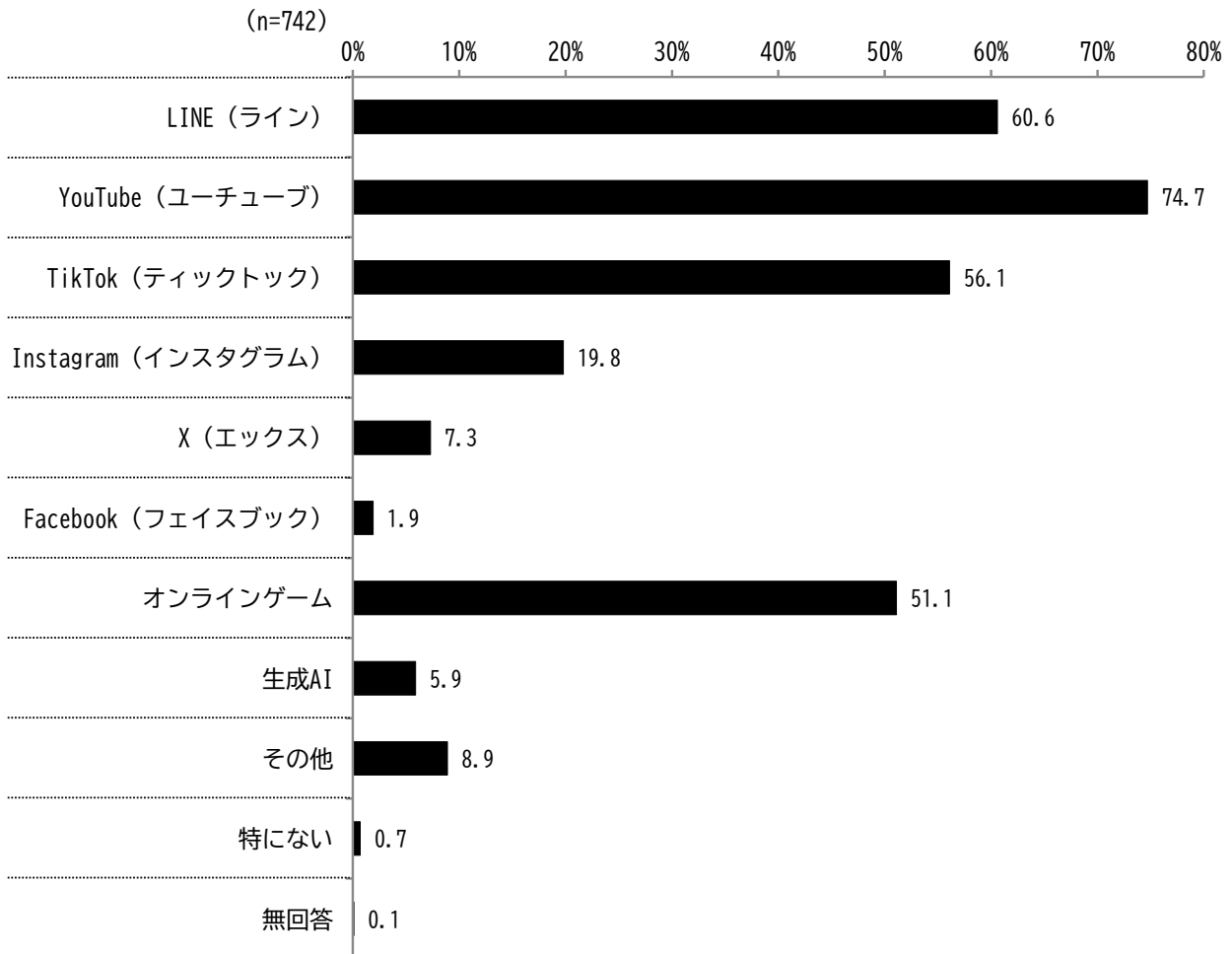
図表 1 - 38 SNS の利用



(3) 利用しているアプリケーション（複数選択）（問18-1）

- よく利用しているアプリケーションでは、「YouTube（ユーチューブ）」が74.7%で最も高く、次いで「LINE（ライン）」が60.6%、「TikTok（ティックトック）」が56.1%となっている。
- 性別でみると、「オンラインゲーム」で男女の差が最も大きく、男性68.3%に対し女性37.8%で、30.5ポイント男性が高くなっている。
- 「その他」では、「漫画」「音楽」「ゲーム」などがあつた。

図表1-39 利用しているアプリケーション



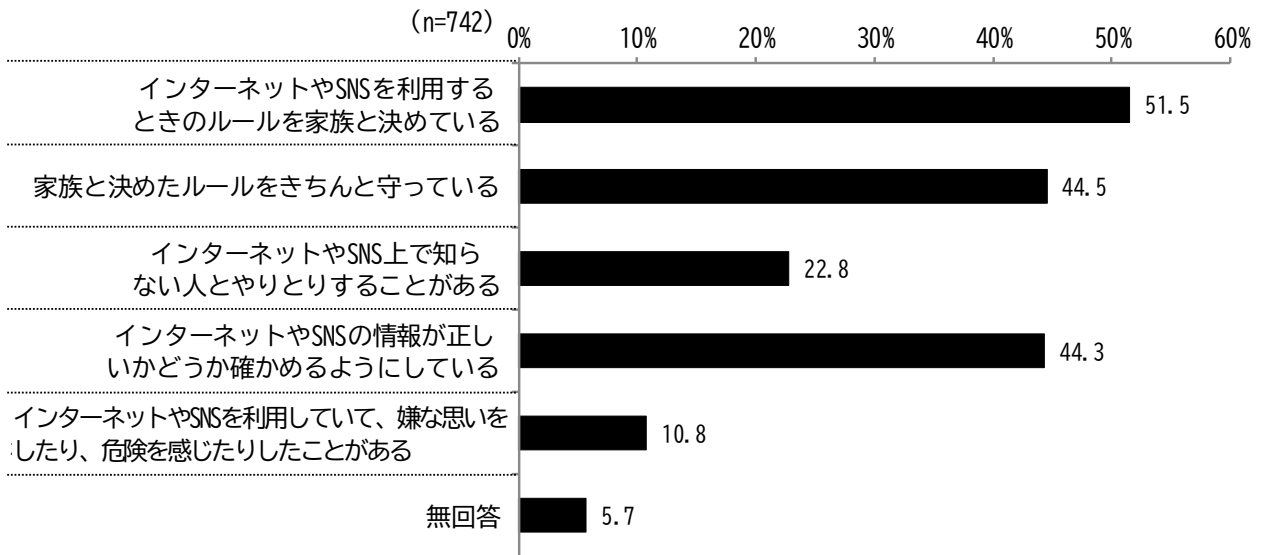
図表1-40 利用しているアプリケーション（性別）

		（%）											
		全体 (n)	LINE (ライン)	YouTube (ユーチューブ)	TikTok (ティックトック)	Instagram (インスタグラム)	X (エックス)	Facebook (フェイスブック)	オンラインゲーム	生成AI	その他	特にない	無回答
令和7年度		742	60.6	74.7	56.1	19.8	7.3	1.9	51.1	5.9	8.9	0.7	0.1
性別	男性	325	52.3	78.8	49.8	13.5	6.5	2.5	68.3	4.9	5.2	0.9	-
	女性	399	67.9	71.4	61.7	25.6	8.0	1.5	37.8	6.0	11.3	0.5	-

(4) SNS等の利用状況（複数選択）（問18-2）

- SNSやインターネットの利用状況では、「インターネットやSNSを利用するときのルールを家族と決めている」が51.5%で最も高く、次いで「家族と決めたルールをきちんと守っている」が44.5%、「インターネットやSNSの情報が正しいかどうか確かめるようにしている」が44.3%となっている。

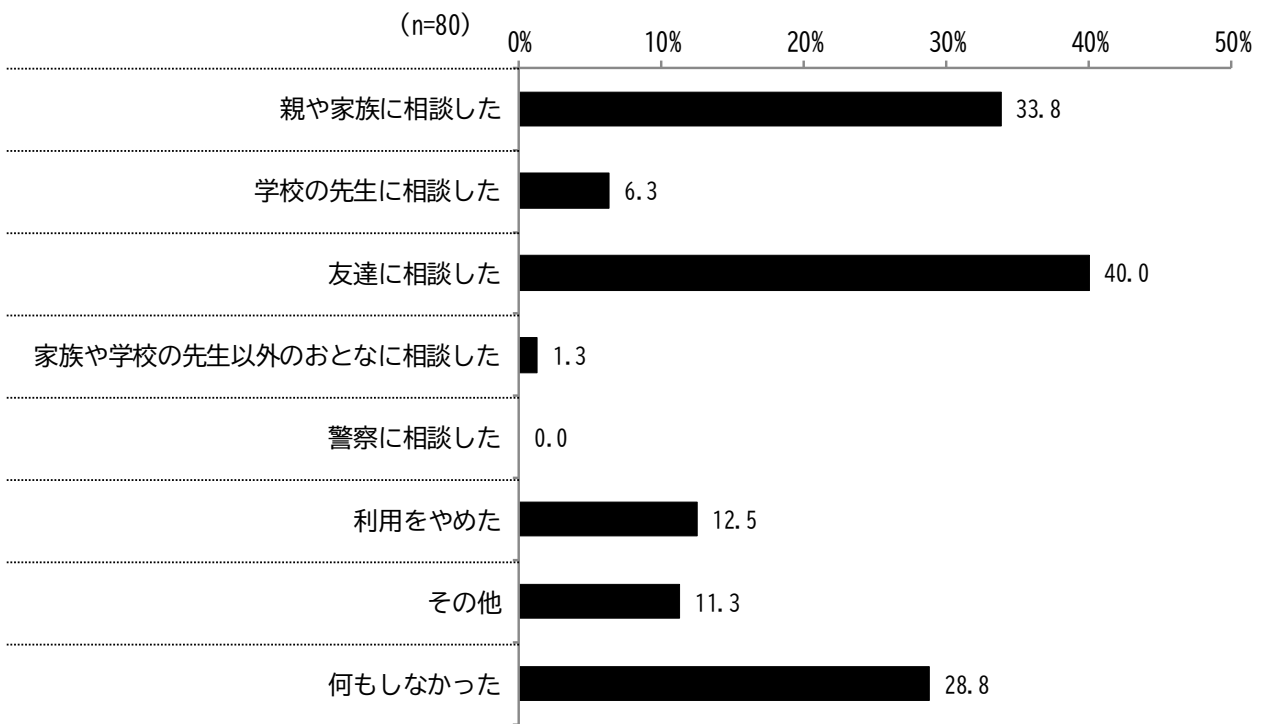
図表1-41 SNS等の利用状況



(5) SNS 等での嫌な経験に対する対処（複数選択）（問 18-3）

- SNS やインターネットを利用して嫌な思いをしたり、危険を感じたりしたときの行動では、「友達に相談した」が 40.0%で最も高く、次いで「親や家族に相談した」が 33.8%、「何もしなかった」が 28.8%となっている。
- 性別で見ると、男性では、「何もしなかった」が 37.8%、女性では「友達に相談した」が 45.0%で最も高くなっている。
- 「親や家族に相談した」で男女の差が最も大きく、男性 21.6%に対し女性 42.5%となっており、20.9 ポイント女性が高くなっている。
- 「その他」では、「インターネット上の友達に相談した」「ブロックした」「その SNS やインターネットの運営に報告した」などがあつた。

図表 1 - 42 SNS 等での嫌な経験に対する対処



図表 1 - 43 SNS 等での嫌な経験に対する対処（性別）

		全体 (n)	た親や家族に相談した	し学校の先生に相談した	友達に相談した	談以外のおとなに先生に相談した	家族や学校の先生以外のおとなに先生に相談した	警察に相談した	利用をやめた	その他	何もしなかった
令和7年度		80	33.8	6.3	40.0	1.3	-	12.5	11.3	28.8	
性別	男性	37	21.6	-	32.4	-	-	10.8	5.4	37.8	
	女性	40	42.5	10.0	45.0	2.5	-	15.0	17.5	20.0	

7. 自由意見（小学6年生）

(1) 学校や勉強、友達、家のことなどについての自由記述（問22）……………

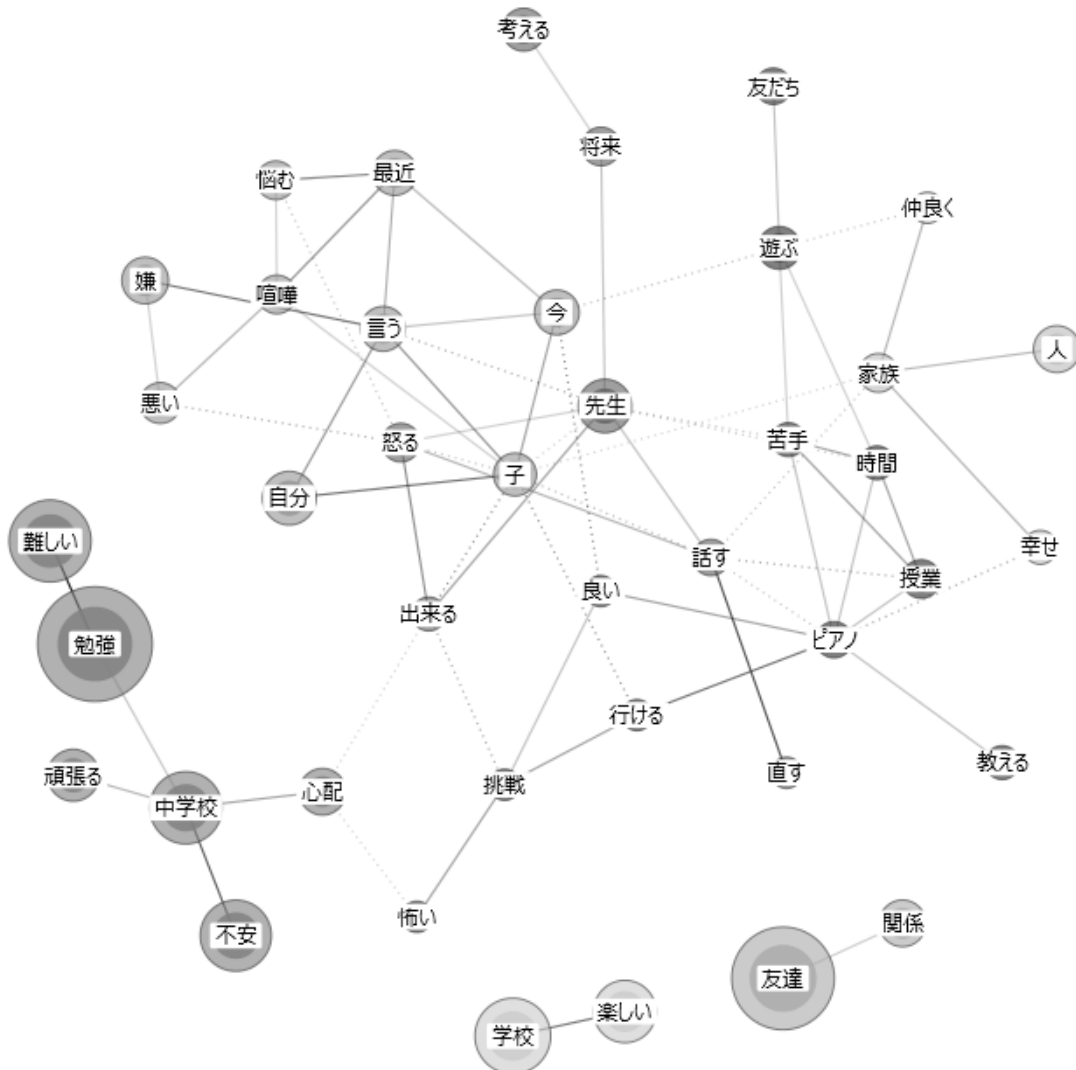
<テキストマイニングによる共起ネットワーク>

学校や勉強、友達、家のことなどについての自由記述回答の頻出単語を図のように整理した。

【特徴となるポイント】

- 「勉強」「難しい」「中学校」「不安」「心配」などが結びついており、進学を控えた時期特有の心理的負担がみられる。
- 「子」「自分」「言う」「喧嘩」「嫌」「悩む」といった語が接近して出現しており、対人関係に関して否定的感情や悩みなどを抱えている傾向が推察される。
- 「学校」「楽しい」や「家族」「仲良く」「幸せ」が結びついており、学習の不安や対人関係の悩みとは別で日常生活で楽しさを感じていると推察される。

図表1-44 自由意見（共起ネットワーク）

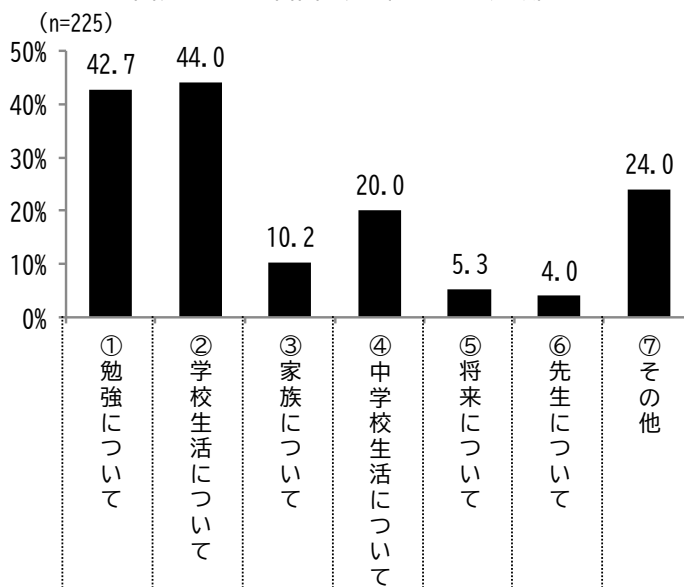


※出現回数の多い語ほど、大きい円で表示している
 ※円の距離が近いほど、その単語同士が近い抽出語彙を示す
 ※円と円を結ぶ線については、共起の強弱を表し、関連が強い語と語を結ぶほど濃くなる

<カテゴリ分類>

- ・ 回答があった 225 件の内容を以下の 7 項目に分類し、主な意見の一部を掲載している。

図表 1 - 45 自由意見 (カテゴリ分類)



※1 件の中に複数のカテゴリにまたがる回答もあるため、件数は 225 件より多く、割合の合計は 100%を超えている。

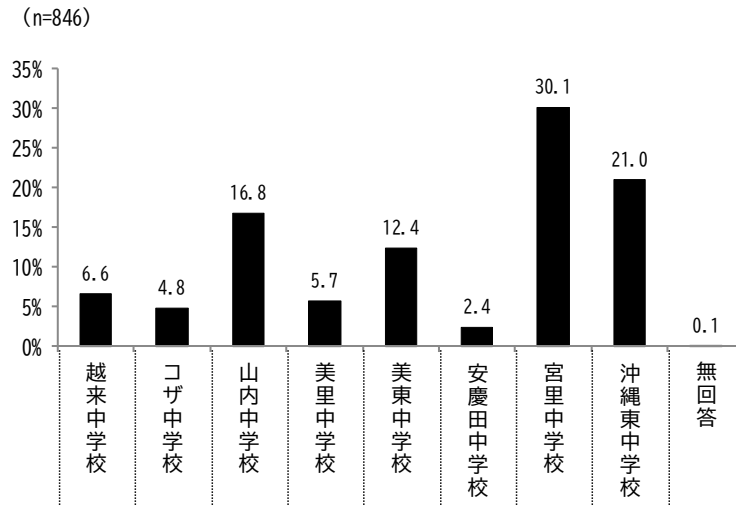
カテゴリ	件数	主な意見 (原則、原文を掲載)
①勉強について	96	勉強が難しい。 難しい勉強でみんなはできているけど自分だけできてなかったときとかは教えてほしい。
②学校生活について	99	学校は、楽しいし、親しい友だちがいるし、好きなスポーツ (バスケ) ができるから、学校が好き！！ 友達関係でのトラブルが多くて大変なので、できるだけ改善できるよう支えて欲しいです。
③家族について	23	家族のおかげで勉強、部活ができているから感謝を伝えたい。 お母さんが仕事の時、小さい子の面倒を見ないといけないから、ちょっとストレスがたまり、自分の話を聞いてほしいときに家族があまり聞いてくれないからちょっと嫌。
④中学校生活について	45	中学校になった時に中学校生活慣れるか不安です。 中学校でも学習にしっかり取り組んで、友達もたくさんつくりたい。
⑤将来について	12	自分の将来の夢を親に伝えられるかどうか不安。 将来の夢がないから将来が不安になると思ったけど不思議と不安じゃなくて、何より将来を気にするより今を気にするほうがいいのかもかもしれないと考えています。
⑥先生について	9	学校のことは、ちゃんとルールも決まっているし、先生もみんな私達にちゃんと伝わるように教えてくれて、授業が進まなくても、私達と向き合ってくれて、みなさんととても良い先生だと思います。 個性があると思うけど先生の字が汚くてなんて書かれているか分からない
⑦その他	54	期待されすぎのも嫌だけど全く期待してくれないのは悲しい。 頑張っているのに努力を認めてくれないし、それを踏みにじられたから、もう努力するのをやめている。

第2章 中学3年生の調査結果

1. 基本属性

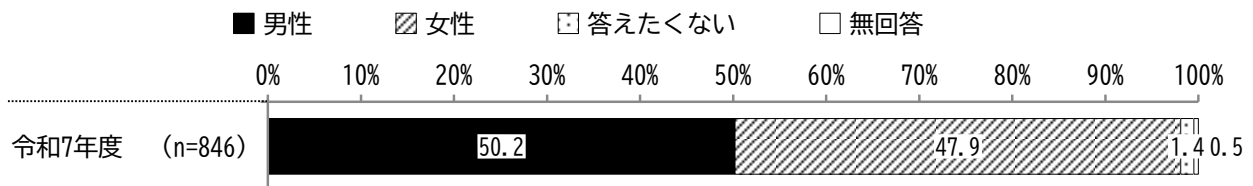
(1) 通っている中学校 (F1)

図表2-1 通っている中学校



(2) 性別 (問1)

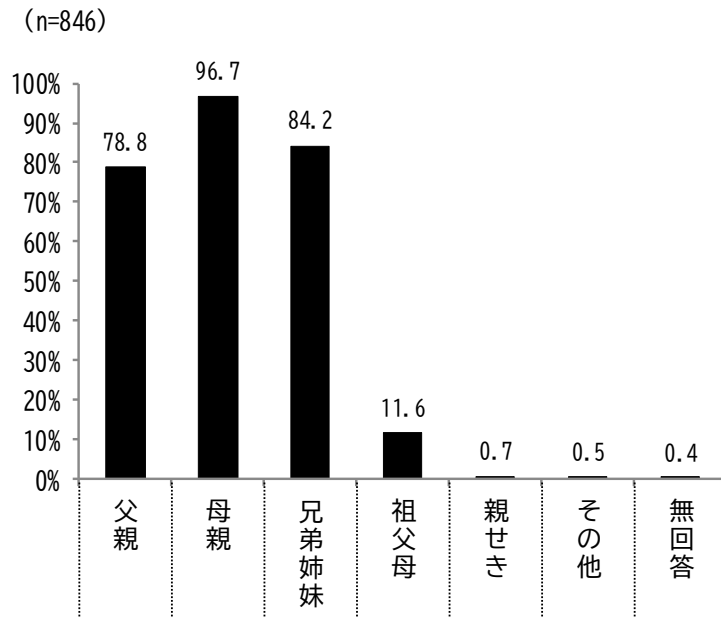
図表2-2 性別



(3) 同居している家族（複数選択）（問2）

- 同居している家族では、「母親」が96.7%で最も高く、次いで「兄弟姉妹」が84.2%となっている。
- 「その他」では、「家族の友人」などがあつた。

図表2-3 同居している家族

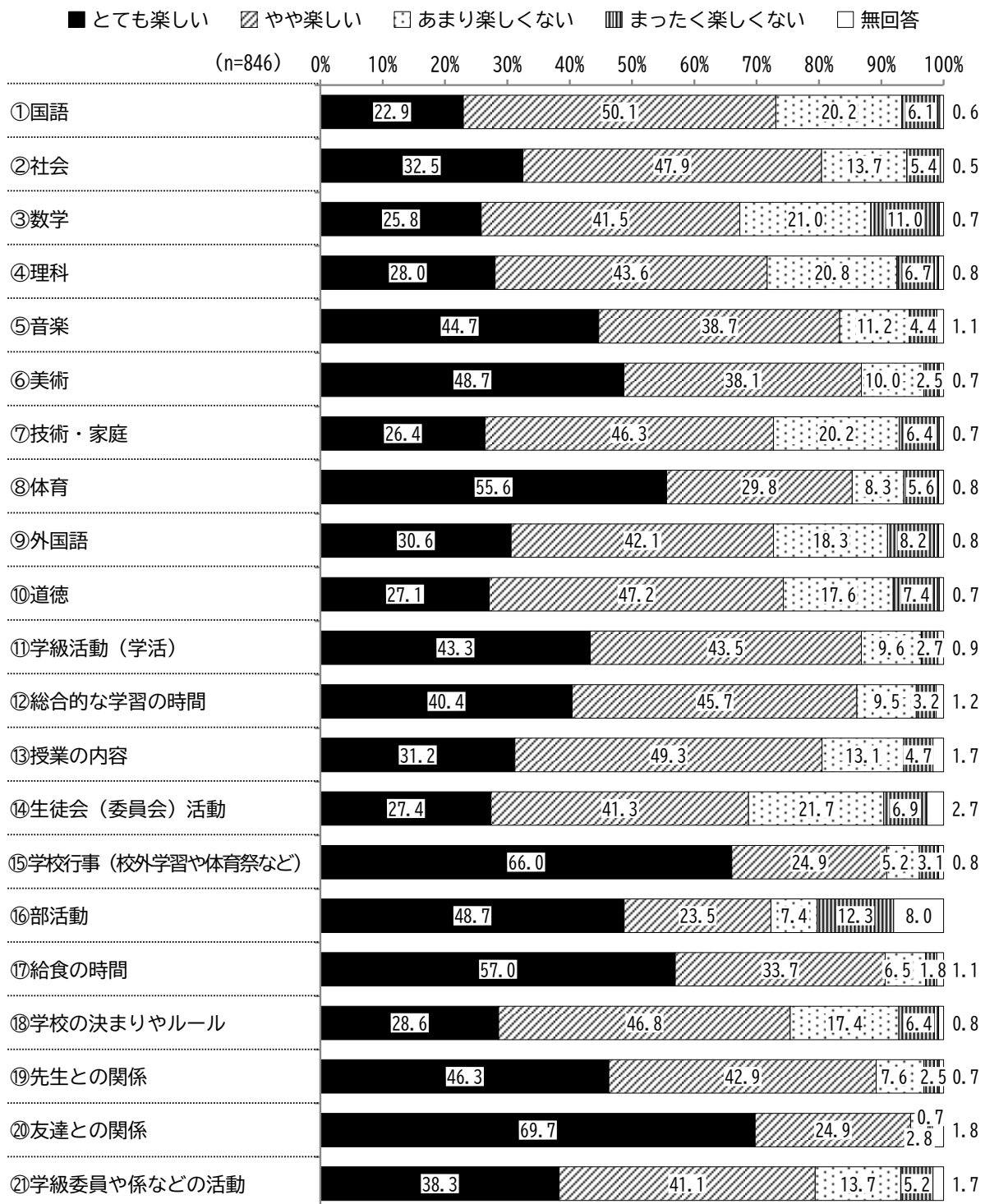


2. 確かな学力・豊かな心・健やかな体に関すること

(1) 授業・授業以外で楽しいと感じている項目（問5）

- 授業や授業以外のことがどれくらい楽しいと感じているかの「とても楽しい」では、「⑳友達との関係」が69.7%で最も高く、次いで「⑮学校行事（校外学習や体育祭など）」が66.0%、「⑰給食の時間」が57.0%となっている。
- 「まったく楽しくない」では、「⑯部活動」が12.3%で最も高く、次いで「③数学」が11.0%、「⑨外国語」が8.2%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、「⑯部活動」で「とても楽しい」が48.7%となっており、前回の63.1%から14.4ポイント低くなっている。

図表2-4 授業・授業以外で楽しいと感じている項目



図表2-5 授業・授業以外で楽しいと感じている項目（令和2年度との比較）

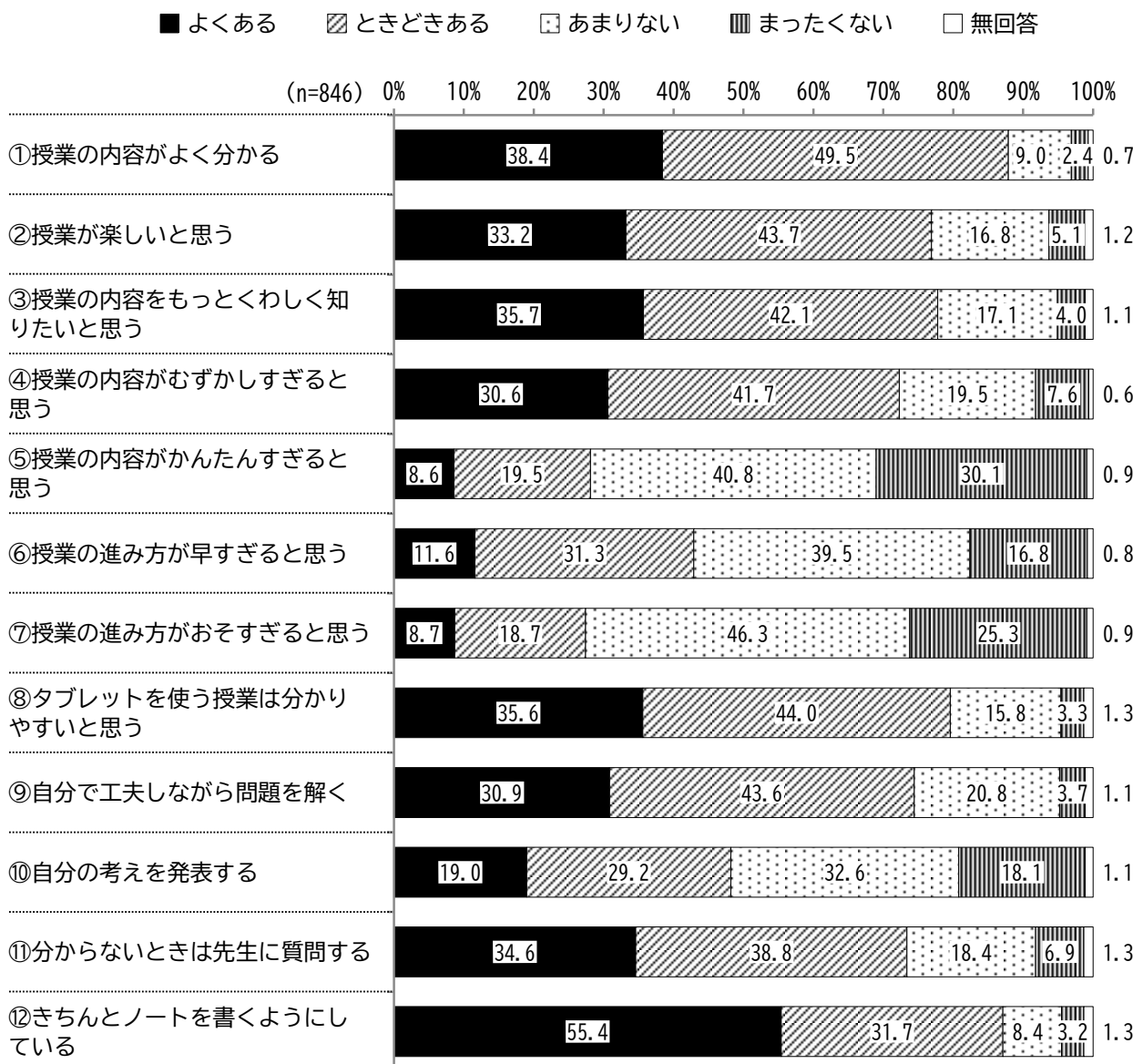
(%)

		全体 (n)	とても楽しい	やや楽しい	あまり楽しくない	まったく楽しくない	無回答
①国語	令和7年度	846	22.9	50.1	20.2	6.1	0.6
	令和2年度	1,172	38.3	48.7	10.8	2.1	-
②社会	令和7年度	846	32.5	47.9	13.7	5.4	0.5
	令和2年度	1,173	38.8	43.5	14.7	3.1	-
③数学	令和7年度	846	25.8	41.5	21.0	11.0	0.7
	令和2年度	1,173	37.9	43.2	14.3	4.6	-
④理科	令和7年度	846	28.0	43.6	20.8	6.7	0.8
	令和2年度	1,172	33.3	43.2	18.4	5.1	-
⑤音楽	令和7年度	846	44.7	38.7	11.2	4.4	1.1
	令和2年度	1,171	56.3	35.6	6.7	1.5	-
⑥美術	令和7年度	846	48.7	38.1	10.0	2.5	0.7
	令和2年度	1,171	53.2	35.4	9.3	2.1	-
⑦技術・家庭	令和7年度	846	26.4	46.3	20.2	6.4	0.7
	令和2年度	1,172	39.8	41.9	14.8	3.5	-
⑧体育	令和7年度	846	55.6	29.8	8.3	5.6	0.8
	令和2年度	1,173	62.0	27.7	8.0	2.3	-
⑨外国語	令和7年度	846	30.6	42.1	18.3	8.2	0.8
	令和2年度	1,172	38.2	39.2	17.2	5.5	-
⑩道徳	令和7年度	846	27.1	47.2	17.6	7.4	0.7
	令和2年度	1,173	35.9	44.2	15.6	4.3	-
⑪学級活動（学活）	令和7年度	846	43.3	43.5	9.6	2.7	0.9
	令和2年度	1,171	51.4	37.1	9.5	2.0	-
⑫総合的な学習の時間	令和7年度	846	40.4	45.7	9.5	3.2	1.2
	令和2年度	1,173	46.5	40.5	10.6	2.4	-
⑬授業の内容	令和7年度	846	31.2	49.3	13.1	4.7	1.7
	令和2年度	1,170	39.3	45.8	11.2	3.7	-
⑭生徒会（委員会）活動	令和7年度	846	27.4	41.3	21.7	6.9	2.7
	令和2年度	1,169	34.6	42.0	17.3	6.2	-
⑮学校行事（校外学習や体育祭など）	令和7年度	846	66.0	24.9	5.2	3.1	0.8
	令和2年度	1,172	68.5	24.4	5.0	2.0	-
⑯部活動	令和7年度	846	48.7	23.5	7.4	12.3	8.0
	令和2年度	1,162	63.1	23.7	7.7	5.5	-
⑰給食の時間	令和7年度	846	57.0	33.7	6.5	1.8	1.1
	令和2年度	1,173	62.2	31.5	4.6	1.7	-
⑱学校の決まりやルール	令和7年度	846	28.6	46.8	17.4	6.4	0.8
	令和2年度	1,169	39.8	39.8	15.1	5.4	-
⑲先生との関係	令和7年度	846	46.3	42.9	7.6	2.5	0.7
	令和2年度	1,170	49.1	39.1	8.4	3.5	-
⑳友達との関係	令和7年度	846	69.7	24.9	2.8	0.7	1.8
	令和2年度	1,172	74.9	22.2	1.8	1.1	-
㉑学級委員や係などの活動	令和7年度	846	38.3	41.1	13.7	5.2	1.7
	令和2年度	-	-	-	-	-	-

(2) 授業への適応状況及び主体的な取組 (問6)

- 学校の授業に対して、思ったり行動したりすることの「よくある」では、「⑫きちんとノートを書くようにしている」が55.4%で最も高く、次いで「①授業の内容がよく分かる」が38.4%、「③授業の内容をもっとくわしく知りたいと思う」が35.7%となっている。
- 「まったくない」では、「⑤授業の内容がかんたんすぎると思う」が30.1%で最も高く、次いで「⑦授業の進み方がおそすぎると思う」が25.3%、「⑩自分の考えを発表する」が18.1%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、「⑫きちんとノートを書くようにしている」の「よくある」が15.1ポイント低く、「⑤授業の内容がかんたんすぎると思う」の「まったくない」が13.9ポイント高くなっている。
- 自己肯定感別でみると、「⑩自分の考えを発表する」の『ない(あまりない+まったくない)』では自己肯定感が低い生徒が77.4%で、高い生徒の46.5%と比較し30.9ポイント高くなっており、差が最も大きい。

図表2-6 授業への適応状況及び主体的な取組



図表2-7 授業への適応状況及び主体的な取組（令和2年度との比較）

(%)

		全体 (n)	よくある	ときどきあ る	あまりない	まったくな い	無回答
①授業の内容がよく分かる	令和7年度	846	38.4	49.5	9.0	2.4	0.7
	令和2年度	1,173	42.0	48.3	8.3	1.4	
②授業が楽しいと思う	令和7年度	846	33.2	43.7	16.8	5.1	1.2
	令和2年度	1,172	38.5	45.2	13.2	3.1	
③授業の内容をもっとくわしく知りたいと思う	令和7年度	846	35.7	42.1	17.1	4.0	1.1
	令和2年度	1,174	38.1	42.8	16.3	2.9	
④授業の内容がむずかしすぎると思う	令和7年度	846	30.6	41.7	19.5	7.6	0.6
	令和2年度	1,173	28.6	46.3	19.8	5.4	
⑤授業の内容がかんたんすぎると思う	令和7年度	846	8.6	19.5	40.8	30.1	0.9
	令和2年度	1,172	7.8	28.2	47.7	16.2	
⑥授業の進み方が早すぎると思う 授業の進み方が早すぎて、内容が分からない	令和7年度	846	11.6	31.3	39.5	16.8	0.8
	令和2年度	1,172	13.8	37.7	35.2	13.2	
⑦授業の進み方がおそすぎると思う 授業の進み方がおそすぎて、たいくつに感じる	令和7年度	846	8.7	18.7	46.3	25.3	0.9
	令和2年度	1,170	9.4	24.0	44.8	21.8	
⑧タブレットを使う授業は分かりやすいと思う	令和7年度	846	35.6	44.0	15.8	3.3	1.3
	令和2年度	-	-	-	-	-	
⑨自分で工夫しながら問題を解く	令和7年度	846	30.9	43.6	20.8	3.7	1.1
	令和2年度	1,171	44.6	39.4	13.4	2.6	
⑩自分の考えを発表する	令和7年度	846	19.0	29.2	32.6	18.1	1.1
	令和2年度	1,172	23.1	28.7	33.0	15.2	
⑪分からないときは先生に質問する	令和7年度	846	34.6	38.8	18.4	6.9	1.3
	令和2年度	1,170	31.8	36.2	24.4	7.6	
⑫きちんとノートを書くようにしている	令和7年度	846	55.4	31.7	8.4	3.2	1.3
	令和2年度	1,173	70.5	22.5	4.9	2.0	

※設問番号⑥⑦については、令和2年度の設問文を記載しています。
 ※令和2年度にない設問文は「-」で表示しています。

II 本調査の結果 第2章 中学3年生の調査結果

※ 本クロス集計表では、問13「自分はやればできると思う」について、「とてもあてはまる」「ややあてはまる」を『自己肯定感が高い』、「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」を『自己肯定感が低い』として再分類しています。

図表2-8 授業への適応状況及び主体的な取組（自己肯定感別）

(%)

①授業の内容がよく分かる	全体 (n)	よくある	ときどきある	あまりない	まったくない	無回答
令和7年度	846	38.4	49.5	9.0	2.4	0.7
自己肯定感 高い	712	41.2	49.3	7.6	1.7	0.3
自己肯定感 低い	124	22.6	52.4	16.9	6.5	1.6

(%)

②授業が楽しいと思う	全体 (n)	よくある	ときどきある	あまりない	まったくない	無回答
令和7年度	846	33.2	43.7	16.8	5.1	1.2
自己肯定感 高い	712	36.2	43.4	15.9	3.8	0.7
自己肯定感 低い	124	13.7	49.2	21.8	12.9	2.4

(%)

③授業の内容をもっとくわしく知りたいと思う	全体 (n)	よくある	ときどきある	あまりない	まったくない	無回答
令和7年度	846	35.7	42.1	17.1	4.0	1.1
自己肯定感 高い	712	37.9	43.3	15.0	3.1	0.7
自己肯定感 低い	124	21.8	37.9	29.0	9.7	1.6

(%)

④授業の内容がむずかしすぎると思う	全体 (n)	よくある	ときどきある	あまりない	まったくない	無回答
令和7年度	846	30.6	41.7	19.5	7.6	0.6
自己肯定感 高い	712	30.1	42.4	19.0	8.4	0.1
自己肯定感 低い	124	32.3	39.5	23.4	3.2	1.6

(%)

⑤授業の内容がかんたんすぎると思う	全体 (n)	よくある	ときどきある	あまりない	まったくない	無回答
令和7年度	846	8.6	19.5	40.8	30.1	0.9
自己肯定感 高い	712	9.3	20.5	42.6	27.2	0.4
自己肯定感 低い	124	2.4	15.3	32.3	47.6	2.4

(%)

⑥授業の進み方が早すぎると思う	全体 (n)	よくある	ときどきある	あまりない	まったくない	無回答
令和7年度	846	11.6	31.3	39.5	16.8	0.8
自己肯定感 高い	712	12.2	30.8	40.3	16.3	0.4
自己肯定感 低い	124	5.6	36.3	36.3	20.2	1.6

(%)

⑦授業の進み方がおそすぎと思う	全体 (n)	よくある	ときどきあ る	あまりない	まったくな い	無回答	
令和7年度	846	8.7	18.7	46.3	25.3	0.9	
自己肯定感	高い	712	9.3	19.4	46.8	24.0	0.6
	低い	124	4.0	15.3	45.2	33.9	1.6

(%)

⑧タブレットを使う授業は分かりやすいと思う	全体 (n)	よくある	ときどきあ る	あまりない	まったくな い	無回答	
令和7年度	846	35.6	44.0	15.8	3.3	1.3	
自己肯定感	高い	712	38.5	43.4	14.6	2.5	1.0
	低い	124	18.5	48.4	23.4	8.1	1.6

(%)

⑨自分で工夫しながら問題を解く	全体 (n)	よくある	ときどきあ る	あまりない	まったくな い	無回答	
令和7年度	846	30.9	43.6	20.8	3.7	1.1	
自己肯定感	高い	712	33.0	44.5	18.8	2.9	0.7
	低い	124	17.7	38.7	33.9	8.1	1.6

(%)

⑩自分の考えを発表する	全体 (n)	よくある	ときどきあ る	あまりない	まったくな い	無回答	
令和7年度	846	19.0	29.2	32.6	18.1	1.1	
自己肯定感	高い	712	20.8	32.2	32.3	14.2	0.6
	低い	124	5.6	14.5	35.5	41.9	2.4

(%)

⑪分からないときは先生に質問する	全体 (n)	よくある	ときどきあ る	あまりない	まったくな い	無回答	
令和7年度	846	34.6	38.8	18.4	6.9	1.3	
自己肯定感	高い	712	38.5	40.3	15.6	4.8	0.8
	低い	124	11.3	30.6	36.3	19.4	2.4

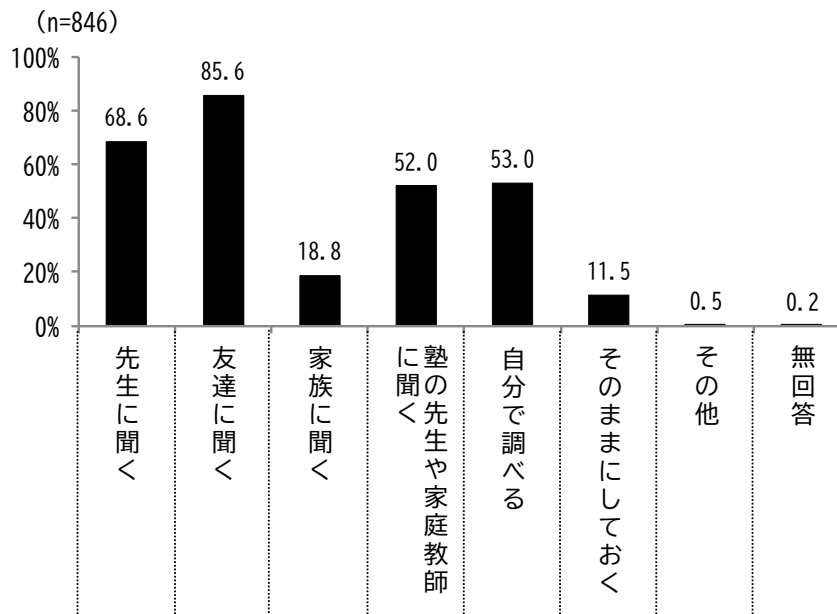
(%)

⑫きちんとノートを書くようにしている	全体 (n)	よくある	ときどきあ る	あまりない	まったくな い	無回答	
令和7年度	846	55.4	31.7	8.4	3.2	1.3	
自己肯定感	高い	712	57.6	30.9	8.3	2.4	0.8
	低い	124	42.7	37.1	9.7	8.1	2.4

(3) 授業の不明点の対処（複数選択）（問7）

- 授業で分からないことがあるときの行動では、「友達に聞く」が 85.6%で最も高く、次いで「先生に聞く」が 68.6%、「自分で調べる」が 53.0%となっている。
- 「その他」では、「AIに聞く」「先輩や親戚に聞く」などがあった。

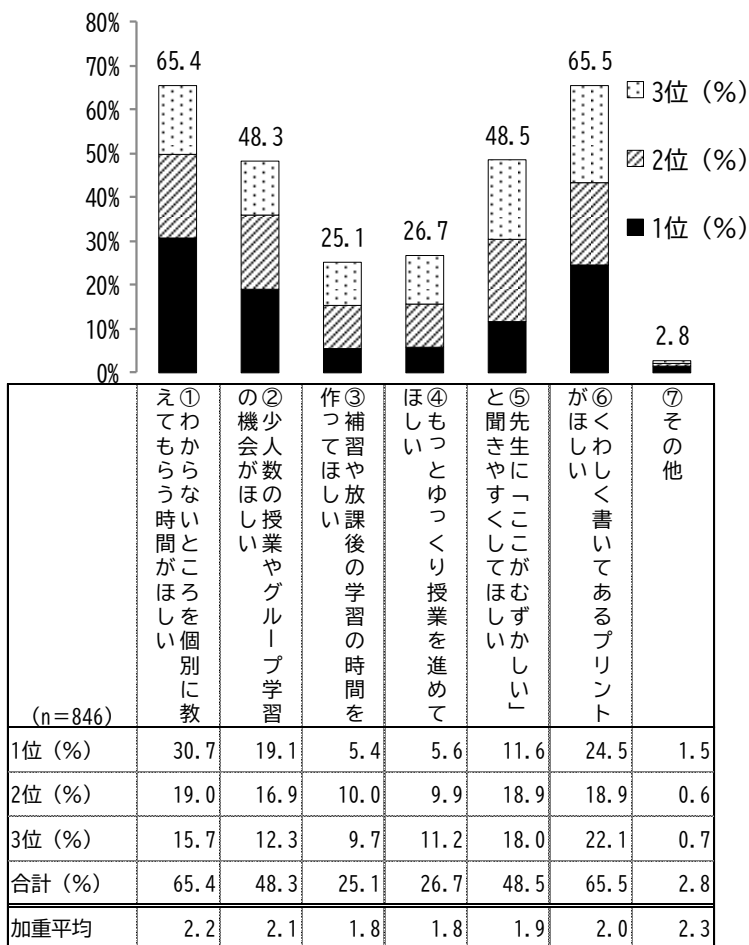
図表2-9 授業の不明点の対処



(4) 授業でのサポート内容の希望（1位～3位を選択）（問8）……………

- 授業の内容や進み方で困っているときにしてほしいことの1位～3位の合計比率では、「⑥くわしく書いてあるプリントがほしい」が65.5%で最も高く、次いで「①わからないところを個別に教えてもらう時間がほしい」が65.4%、「⑤先生に『ここがむずかしい』と聞きやすくしてほしい」が48.5%となっている。
- 「その他」では、「もっと考える時間がほしい」「様々な問題や似たような問題を解きたい」などがあった。

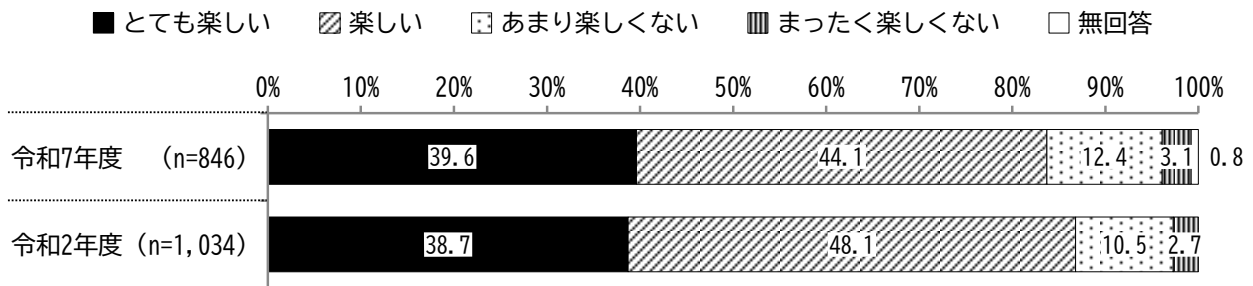
図表2-10 授業でのサポート内容の希望（1位～3位順位比率）



(5) 学校生活の楽しさ (問9)

- 学校に行くことについては、「楽しい」が44.1%と最も高く、次いで「とても楽しい」が39.6%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、『楽しい(とても楽しい+楽しい)』が83.7%で、前回の86.8%と比較し3.1ポイント低くなっている。
- 自己肯定感別でみると、「とても楽しい」の自己肯定感が低い児童は18.5%で、自己肯定感の高い児童の43.1%と比較すると、24.6ポイント低くなっている。

図表2-11 学校生活の楽しさ(令和2年度との比較)



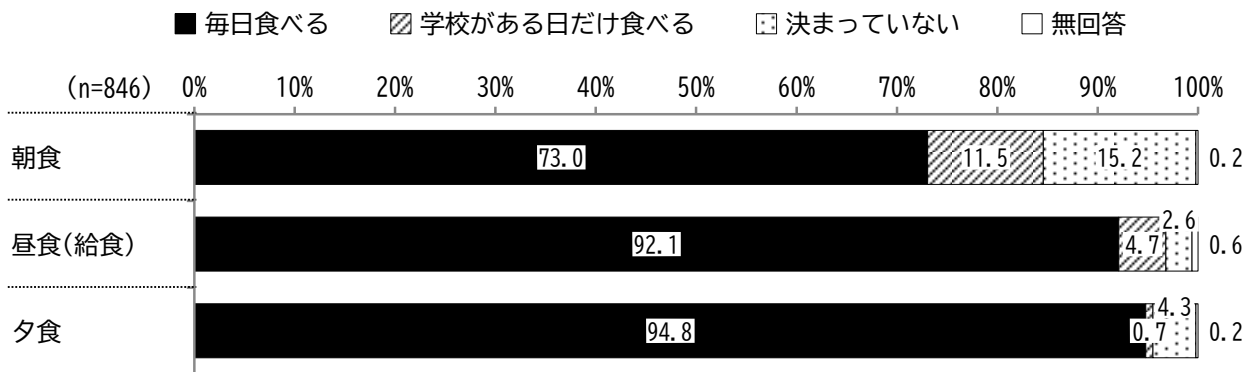
図表2-12 学校生活の楽しさ(自己肯定感別)

		全体 (n)	とても楽しい	楽しい	あまり楽しくない	まったく楽しくない	無回答
令和7年度		846	39.6	44.1	12.4	3.1	0.8
自己肯定感	高い	712	43.1	42.8	11.2	2.1	0.7
	低い	124	18.5	53.2	20.2	8.1	-

(6) 生活習慣（食事）（問3）

- 「毎日食べる」では、「夕食」が94.8%で最も高く、次いで「昼食(給食)」が92.1%、「朝食」が73.0%となっている。
- 「学校がある日だけ食べる」では、「朝食」が11.5%で最も高く、次いで「昼食(給食)」が4.7%、「夕食」が0.7%となっている。
- 「決まっていない」では、「朝食」が15.2%で最も高く、次いで「夕食」が4.3%、「昼食(給食)」が2.6%となっている。

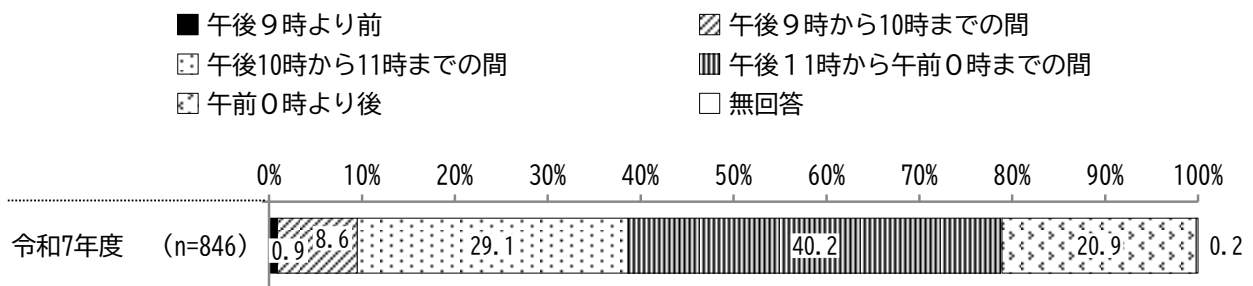
図表2-13 生活習慣（食事）



(7) 生活習慣（就寝時間）（問4）

- 平日（学校のある日）の就寝時間では、「午後11時から午前0時までの間」が40.2%で最も高く、次いで「午後10時から11時までの間」が29.1%、「午前0時より後」が20.9%となっている。

図表2-14 生活習慣（就寝時間）

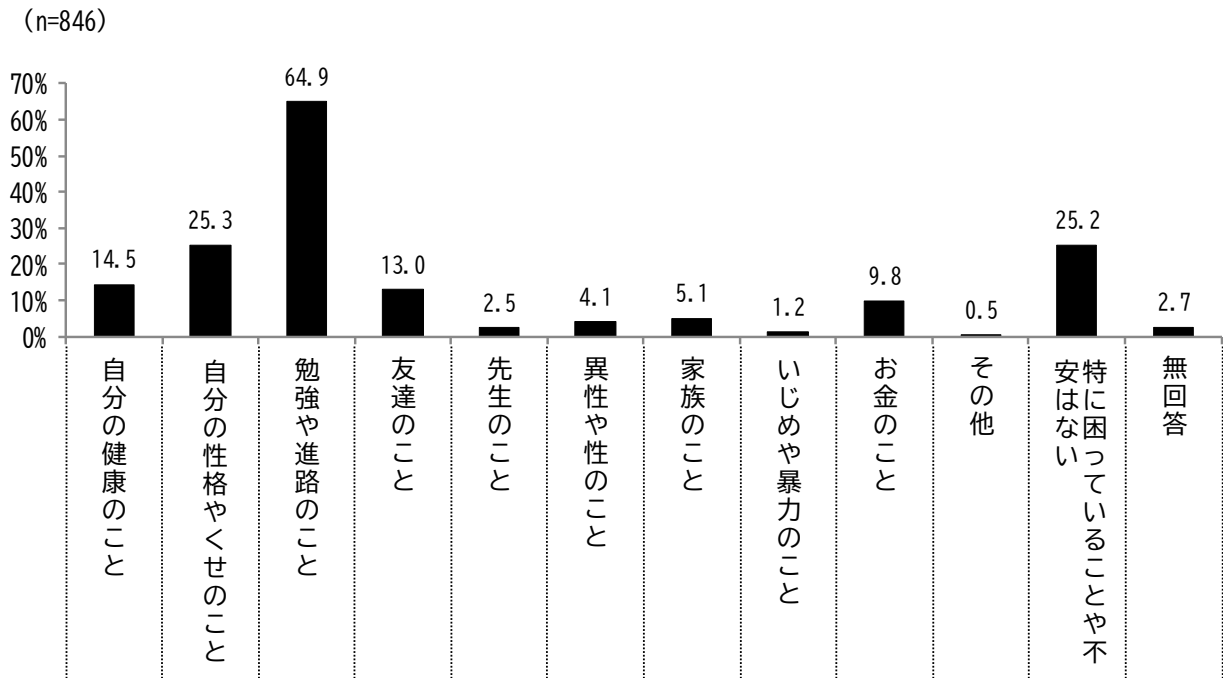


3. 相談や支援に関すること

(1) 困っていることや不安なこと（複数選択）（問17）……………

- 今、困っていることや不安なことでは、「勉強や進路のこと」が64.9%で最も高く、次いで「自分の性格やくせのこと」が25.3%、「特に困っていることや不安はない」が25.2%となっている。
- 性別でみると、「勉強や進路のこと」で男女の差が最も大きく、男性60.0%に対し女性70.1%で、10.1ポイント女性が高くなっている。
- 「その他」では、「人間関係」などがあった。

図表2-15 困っていることや不安なこと



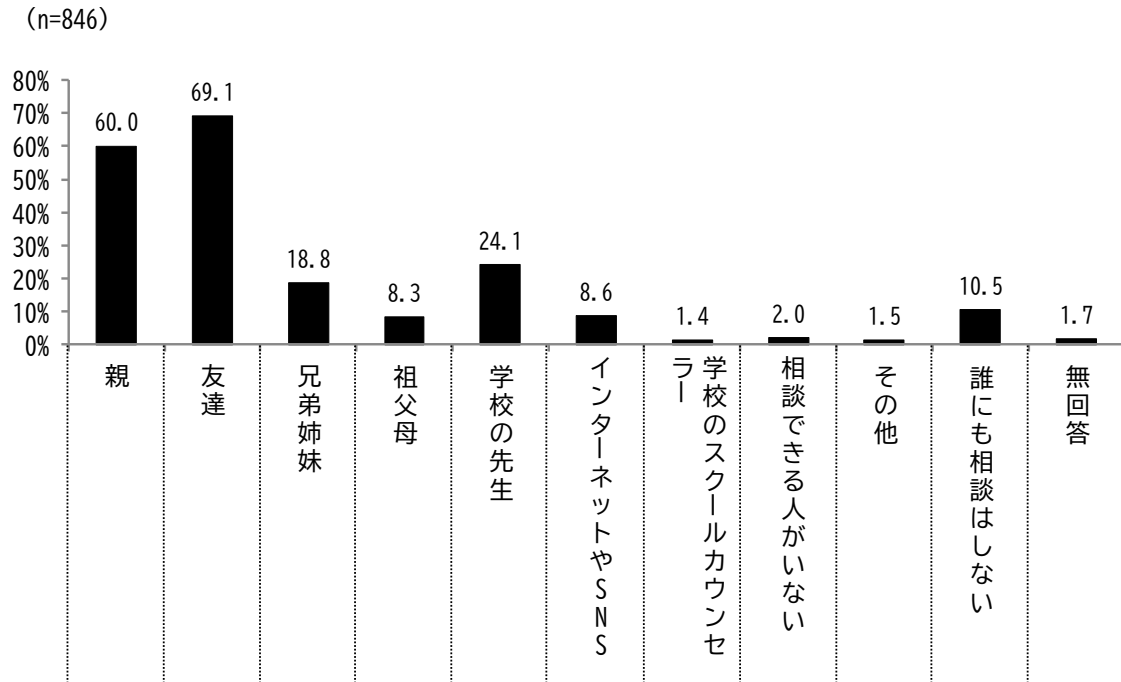
図表2-16 困っていることや不安なこと（性別）

		（%）												
		全体（n）	自分の健康のこと	自分の性格やくせのこと	勉強や進路のこと	友達のこと	先生のこと	異性や性のこと	家族のこと	いじめや暴力のこと	お金のこと	その他	特に困っていることや不安はない	無回答
令和7年度		846	14.5	25.3	64.9	13.0	2.5	4.1	5.1	1.2	9.8	0.5	25.2	2.7
性別	男性	425	16.7	22.1	60.0	9.6	1.6	4.9	4.0	0.9	11.3	0.5	26.6	4.2
	女性	405	11.6	28.1	70.1	16.3	3.5	3.0	5.9	1.5	7.2	0.2	23.7	1.0

(2) 不安なことなどの相談先（複数選択）（問18）

- 困っていることや不安なことがあるときの相談先では、「友達」が69.1%で最も高く、次いで「親」が60.0%、「学校の先生」が24.1%となっている。
- 「誰にも相談はしない」が10.5%、「相談できる人がいない」は2.0%となっている。
- 「その他」では、「塾の先生」「彼氏・彼女」などがあつた。

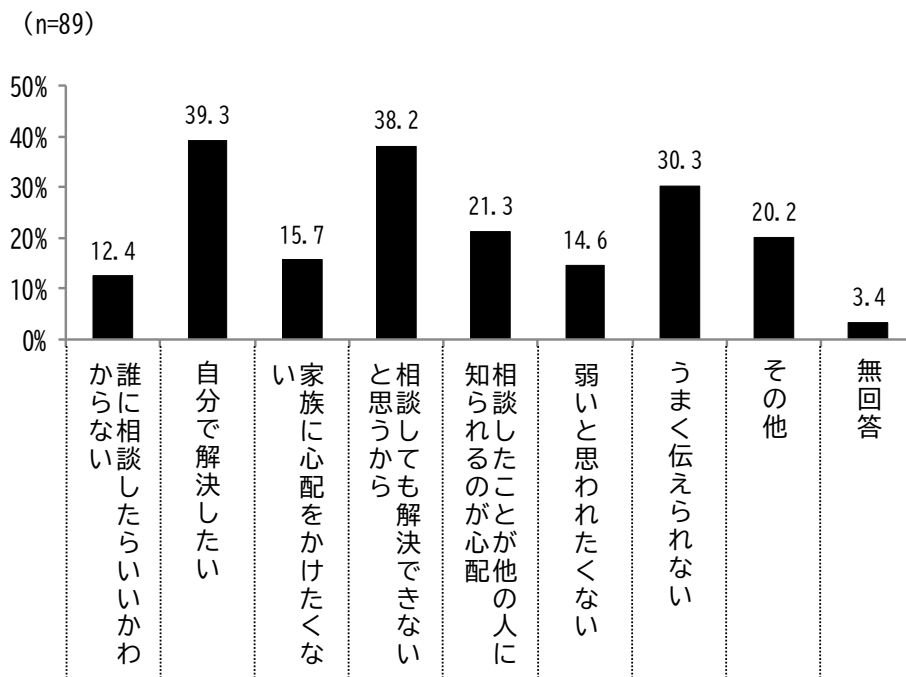
図表2-17 不安なことなどの相談先



(3) 「誰にも相談はしない」理由（複数選択）（問18-1）

- 「誰にも相談はしない理由」では、「自分で解決したい」が39.3%で最も高く、次いで「相談しても解決できないと思うから」が38.2%、「うまく伝えられない」が30.3%となっている。
- 性別でみると、男性では「自分で解決したい」が最も高く、女性では「相談しても解決が期待できないと思うから」と「うまく伝えられない」が高くなっている。「うまく伝えられない」で男女の差が最も大きく、女性52.6%に対し男性12.8%で、39.8ポイント女性が高くなっている。
- 「その他」では、「相談する必要性がない」「不安なことがない」などがあつた。

図表2-18 「誰にも相談はしない」理由



図表2-19 「誰にも相談はしない」理由（性別）

		全体 (n)	誰にも相談したらいいかわからない	自分で解決したい	家族に心配をかけたくない	相談しても解決できないと思うから	相談したことが他の人に知られるのが心配	弱いと思われたくない	うまく伝えられない	その他	無回答
令和7年度		89	12.4	39.3	15.7	38.2	21.3	14.6	30.3	20.2	3.4
性別	男性	47	6.4	42.6	12.8	27.7	14.9	4.3	12.8	23.4	2.1
	女性	38	21.1	36.8	18.4	52.6	28.9	26.3	52.6	13.2	2.6

4. 青少年の健全育成に関すること

(1) 平日の過ごし方 (問 10)

- 平日にしていることの「3時間以上」では「⑨学習塾に行く（そろばん塾含む）」が32.6%で最も高く、次いで「④テレビやビデオ（DVD）、ユーチューブなどの動画を見る」が28.3%、「⑥インターネットやスマートフォンなどでゲームをする」と「⑧友達と遊ぶ」が22.6%となっている。
- 「1時間より少ない」では、「⑰家の手伝いをする（洗濯、掃除、料理、片付けなど）」が最も高く、47.8%となっている。
- 「まったくない」では、「⑮児童館に行く」が最も高く、90.4%となっている。

図表2-20 平日の過ごし方



(2) 休日の過ごし方 (問11)

- ・ 休日にしていることの「3時間以上」では「④テレビやビデオ (DVD)、ユーチューブなどの動画を見る」が43.5%で最も高く、次いで「⑧友達と遊ぶ」が34.6%、「⑥インターネットやスマートフォンなどでゲームをする」が32.0%となっている。
- ・ 「まったくくない」では、「⑮児童館に行く」が90.9%で最も高くなっている。

図表2-21 休日の過ごし方



- 平日と休日を比較すると、「3 時間以上」では、「④テレビやビデオ (DVD)、ユーチューブなどの動画を見る」で平日が 28.3% に対し、休日が 43.5% で 15.2 ポイント高くなっている。
- 「まったくない」では、「⑨学習塾に行く(そろばん塾含む)」の平日が 20.8% に対し、休日が 43.3% で 22.5 ポイント高くなっている。

図表 2 - 22 平日・休日の過ごし方

(n=846)		(%)					
		3時間以上	2時間以上3時間より少ない	1時間以上2時間より少ない	1時間より少ない	まったくない	無回答
①勉強をする (家庭学習)	平日	13.7	21.9	27.4	23.0	13.4	0.6
	休日	19.1	17.0	21.0	21.7	20.1	0.9
②読書をする (マンガや雑誌はいれない)	平日	2.2	3.4	6.1	18.6	68.8	0.8
	休日	2.5	3.1	5.9	11.6	75.4	1.5
③マンガや雑誌を読む	平日	4.1	5.0	9.8	22.2	57.3	1.5
	休日	5.4	5.7	9.8	18.2	59.0	1.9
④テレビやビデオ (DVD)、ユーチューブなどの動画を見る	平日	28.3	27.4	28.6	12.2	3.2	0.4
	休日	43.5	20.9	21.9	7.9	4.6	1.2
⑤ユーチューブやSNSで動画を作成する	平日	4.6	4.1	4.0	7.7	79.0	0.6
	休日	6.7	3.1	4.4	6.6	77.9	1.3
⑥インターネットやスマートフォンなどでゲームをする	平日	22.6	18.2	19.1	20.6	18.7	0.8
	休日	32.0	17.5	16.1	15.5	17.4	1.5
⑦スマートフォン (携帯電話) で話をしたり、メールやラインのやりとりをする	平日	18.7	14.1	21.9	34.2	10.4	0.8
	休日	23.9	13.5	20.2	28.8	12.3	1.3
⑧友達と遊ぶ	平日	22.6	16.5	17.1	16.9	25.9	0.9
	休日	34.6	12.8	14.1	10.5	26.2	1.8
⑨学習塾に行く (そろばん塾含む)	平日	32.6	29.9	14.7	1.3	20.8	0.7
	休日	24.6	15.6	12.2	3.3	43.3	1.1
⑩習いごとに行く	平日	11.8	9.5	9.9	4.4	62.9	1.5
	休日	9.0	4.8	5.8	3.5	75.2	1.7
⑪野球、サッカーなど、地域のチームでスポーツをする	平日	6.5	4.1	5.1	3.9	78.8	1.5
	休日	7.3	3.8	4.3	2.6	80.0	2.0
⑫子ども会や地域の行事、エイサーなどに参加する	平日	2.5	1.4	2.6	3.2	89.4	0.9
	休日	2.1	1.4	2.1	3.8	89.0	1.5
⑬公園や運動施設 (コザ運動公園、県総合運動公園など) に行く	平日	5.3	6.4	8.4	12.8	66.1	1.1
	休日	8.3	6.1	6.4	8.9	68.8	1.5
⑭学校で部活動をする	平日	5.9	5.6	5.3	4.3	77.5	1.4
	休日	5.0	3.7	4.1	3.0	82.9	1.4
⑮児童館に行く	平日	2.0	1.2	1.9	3.3	90.4	1.2
	休日	2.5	1.3	1.4	2.2	90.9	1.7
⑯図書館や郷土博物館、沖縄こどもの国に行く	平日	2.5	1.4	2.7	4.7	86.8	1.9
	休日	3.3	2.1	3.1	4.3	85.5	1.8
⑰家の手伝いをする (洗濯、掃除、料理、片付けなど)	平日	7.0	9.1	15.4	47.8	20.0	0.8
	休日	8.7	7.9	17.1	38.7	26.0	1.5
⑱父母・祖父母などの家族の介護・看病やきょうだいの世話をする	平日	3.8	3.0	5.9	9.5	76.2	1.7
	休日	4.8	3.1	5.1	8.5	76.0	2.5

全国調査との比較

- 平日の学校以外での勉強時間について、全国学力・学習状況調査では学習塾等の時間も含むため単純比較はできないが、「①勉強をする（家庭学習）」の「まったくない」では、沖縄県の15.3%に対し、本市は13.4%で大きな差はない。
- 休日の「①勉強をする（家庭学習）」の「まったくない」では、沖縄県の30.8%に対し、本市は20.1%で10.7ポイント低くなっている。

図表2-23 平日・休日の過ごし方（全国調査との比較）

<平日>

(%)

	対象	全体 (n)	3時間以上	2時間以上3時間より少ない	1時間以上2時間より少ない	1時間より少ない	まったくない	無回答	
①勉強をする（家庭学習）	沖縄市	846	13.7	21.9	27.4	23.0	13.4	0.6	
⑨学習塾に行く（そろばん塾含む）	沖縄市	846	32.6	29.9	14.7	1.3	20.8	0.7	
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾、家庭教師、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	対象	全体 (n)	3時間以上	2時間以上3時間より少ない	1時間以上2時間より少ない	30分以上1時間より少ない	30分より少ない	まったくしない	無回答
	全国	904,413	10.0	20.9	30.8	19.0	11.2	7.7	0.4
	沖縄県公立中	14,193	9.1	19.3	24.0	16.8	15.0	15.3	0.4

出典：国立教育政策研究所「令和7年度 全国学力・学習状況調査」

<休日>

(%)

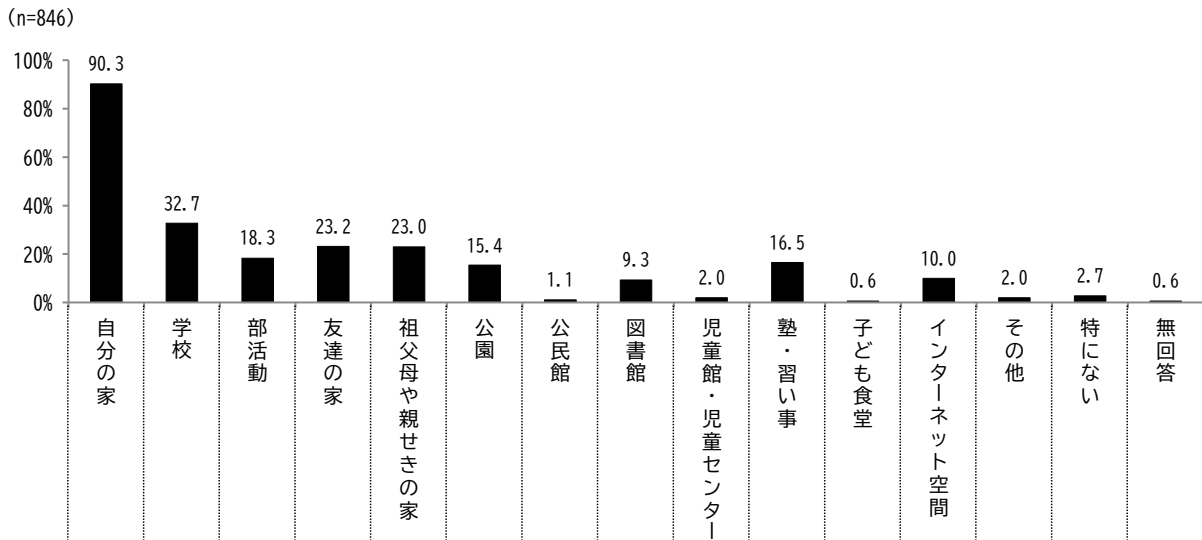
	対象	全体 (n)	3時間以上	2時間以上3時間より少ない	1時間以上2時間より少ない	1時間より少ない	まったくない	無回答	
①勉強をする（家庭学習）	沖縄市	846	19.1	17.0	21.0	21.7	20.1	0.9	
⑨学習塾に行く（そろばん塾含む）	沖縄市	846	24.6	15.6	12.2	3.3	43.3	1.1	
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾、家庭教師、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	対象	全体 (n)	4時間以上	3時間以上4時間より少ない	2時間以上3時間より少ない	1時間以上2時間より少ない	1時間より少ない	まったくしない	無回答
	全国	904,413	5.5	8.7	18.8	25.4	23.9	15.2	2.5
	沖縄県公立中	14,193	2.8	4.5	12.1	19.0	28.6	30.8	2.3

出典：国立教育政策研究所「令和7年度 全国学力・学習状況調査」

(3) いごちの良い場所（複数選択）（問12）

- 安心できる、いごちが良い、ここにいたいと感じる場所では、「自分の家」が 90.3%で最も高く、次いで「学校」が 32.7%、「友達の家」が 23.2%となっている。
- 性別でみると、「公園」で男女の差が最も大きく、男性 22.1%に対し女性 8.9%で、13.2ポイント男性が高くなっている。
- 「その他」では、「海など自然のある場所」「学童クラブ」などがあつた。

図表 2 - 24 いごちの良い場所



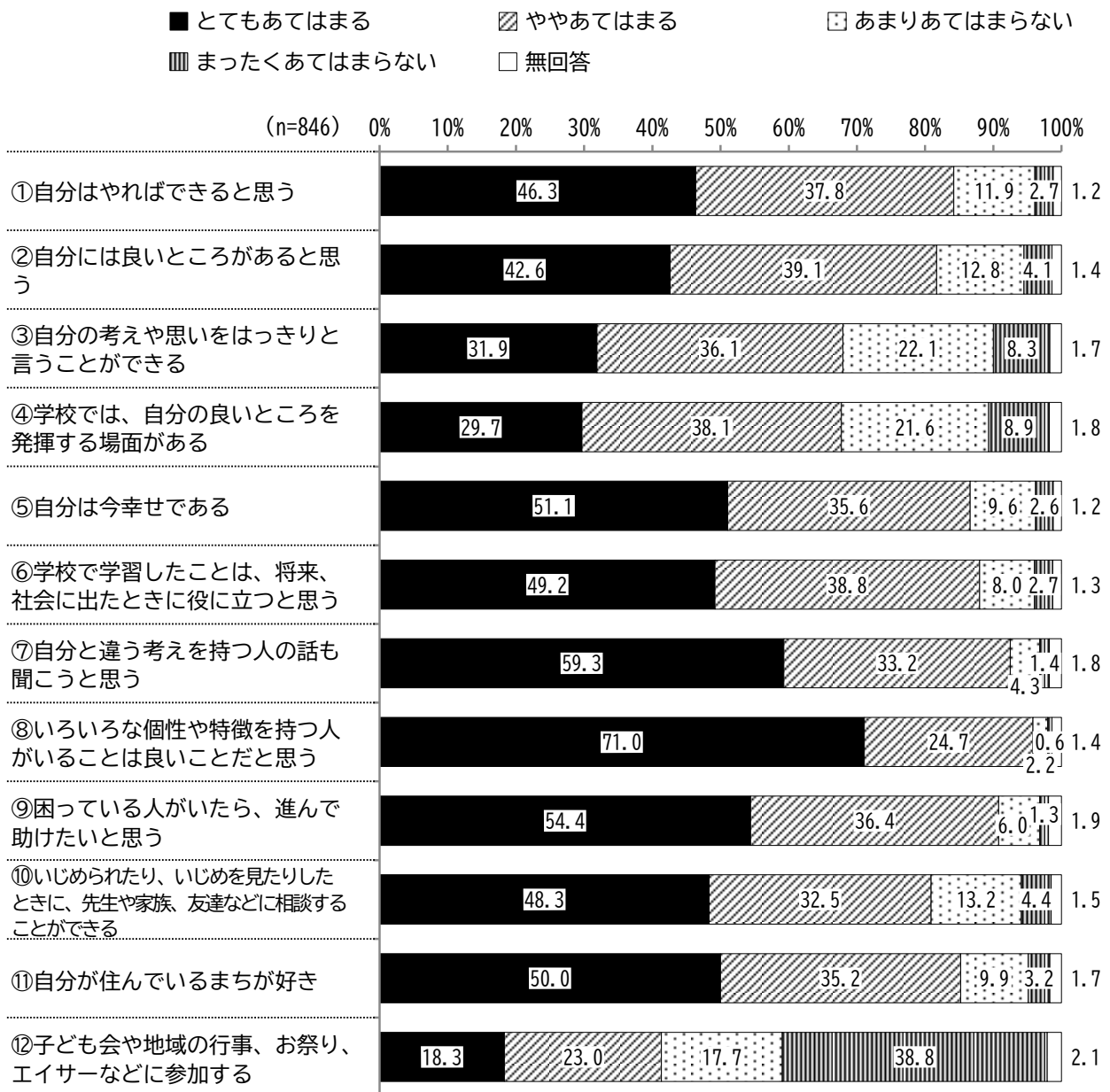
図表 2 - 25 いごちの良い場所（性別）

		(%)															
		全体 (n)	自分の家	学校	部活動	友達の家	の家の祖父母や親せき	公園	公民館	図書館	ンター児童館・児童セ	塾・習い事	子ども食堂	空間インターネット	その他	特にない	無回答
令和7年度		846	90.3	32.7	18.3	23.2	23.0	15.4	1.1	9.3	2.0	16.5	0.6	10.0	2.0	2.7	0.6
性別	男性	425	91.3	37.9	23.8	26.4	20.7	22.1	0.9	5.2	2.4	19.3	0.9	8.0	2.6	2.4	0.7
	女性	405	89.9	27.9	12.8	20.0	25.7	8.9	1.0	13.8	1.7	14.1	-	11.6	1.2	3.0	0.2

(4) 自己評価や社会参加等 (問 13)

- 自己評価や社会参加などに対する考えでは、「とてもあてはまる」で、「⑧いろいろな個性や特徴を持つ人がいることは良いことだと思う」が71.0%で最も高く、次いで「⑦自分と違う考えを持つ人の話も聞こうと思う」が59.3%、「⑨困っている人がいたら、進んで助けたいと思う」が54.4%となっている。
- 「まったくあてはまらない」では、「⑫子ども会や地域の行事、お祭り、エイサーなどに参加する」が38.8%で最も高く、次いで「④学校では、自分の良いところを発揮する場面がある」が8.9%、「③自分の考えや思いをはっきりとすることができる」が8.3%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、「②自分には良いところがあると思う」で「とてもあてはまる」が42.6%となっており、前回の33.7%から8.9ポイント増加している。

図表2-26 自己評価や社会参加等



図表2-27 自己評価や社会参加等（令和2年度との比較）

		全体 (n)	%				
			とてもあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答
①自分はやればできると思う	令和7年度	846	46.3	37.8	11.9	2.7	1.2
	令和2年度	1,165	39.8	45.4	12.0	2.7	-
②自分には良いところがあると思う	令和7年度	846	42.6	39.1	12.8	4.1	1.4
	令和2年度	1,163	33.7	46.8	15.6	3.9	-
③自分の考えや思いをはっきりと言うことができる	令和7年度	846	31.9	36.1	22.1	8.3	1.7
	令和2年度	-	-	-	-	-	-
④学校では、自分の良いところを発揮する場面がある	令和7年度	846	29.7	38.1	21.6	8.9	1.8
	令和2年度	1,157	21.7	38.6	31.1	8.6	-
⑤自分は今幸せである	令和7年度	846	51.1	35.6	9.6	2.6	1.2
	令和2年度	-	-	-	-	-	-
⑥学校で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	令和7年度	846	49.2	38.8	8.0	2.7	1.3
	令和2年度	1,162	51.2	34.5	10.9	3.4	-
⑦自分と違う考えを持つ人の話も聞こうと思う	令和7年度	846	59.3	33.2	4.3	1.4	1.8
	令和2年度	-	-	-	-	-	-
⑧いろいろな個性や特徴を持つ人がいることは良いことだと思う	令和7年度	846	71.0	24.7	2.2	0.6	1.4
	令和2年度	-	-	-	-	-	-
⑨困っている人がいたら、進んで助けたいと思う	令和7年度	846	54.4	36.4	6.0	1.3	1.9
	令和2年度	-	-	-	-	-	-
⑩いじめられたり、いじめを見たりしたときに、先生や家族、友達などに相談することができる	令和7年度	846	48.3	32.5	13.2	4.4	1.5
	令和2年度	1,164	40.5	32.3	15.3	11.9	-
⑪自分が住んでいるまちが好き	令和7年度	846	50.0	35.2	9.9	3.2	1.7
	令和2年度	1,162	45.1	37.6	12.1	5.2	-
⑫子ども会や地域の行事、お祭り、エイサーなどに参加する 子ども会や地域の行事、お祭りに参加する	令和7年度	846	18.3	23.0	17.7	38.8	2.1
	令和2年度	1,162	16.0	22.1	24.0	37.9	-

※設問番号⑫については、令和2年度の設問文を記載しています。
※令和2年度にない設問文は「-」で表示しています。

全国調査との比較

- 「自分には良いところがあると思う」について、全国学力・学習状況調査と比較すると、「(とても)当てはまる」では、沖縄県の43.0%に対し、本市は42.6%で同水準となっている

図表2-28 自己評価や社会参加等（全国調査との比較）

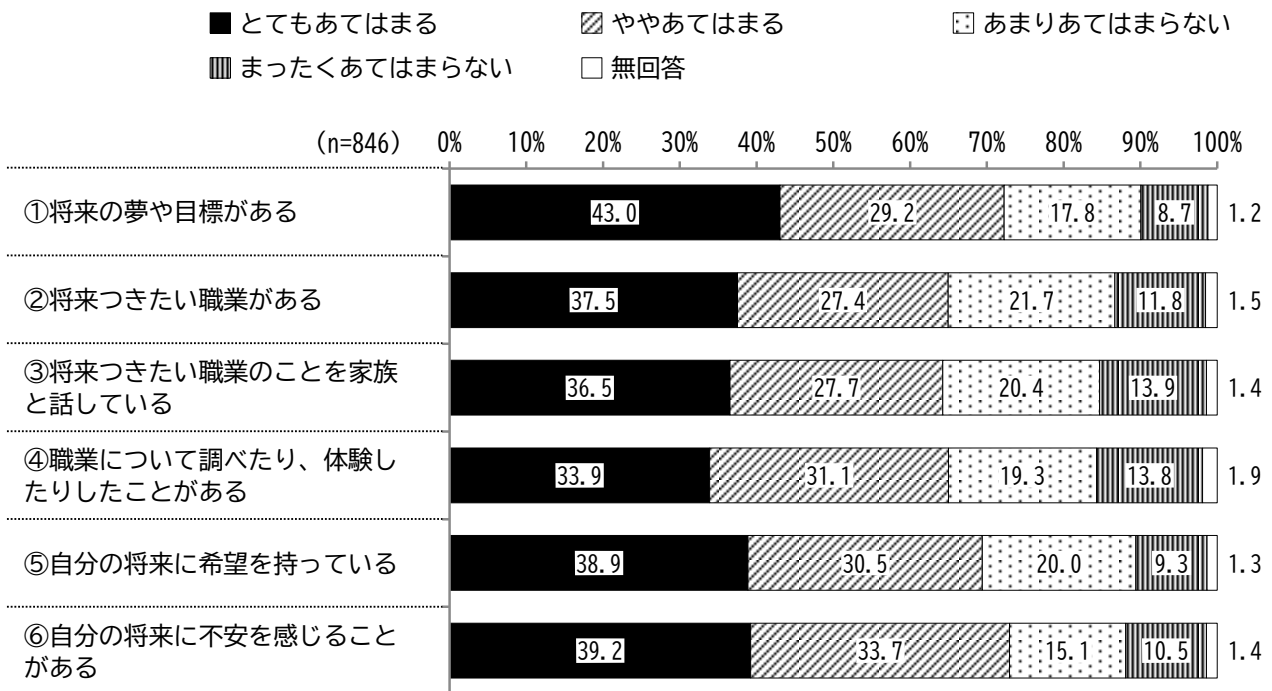
	対象	全体 (n)	%				
			とてもあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答
自分には良いところがあると思う	沖縄市	846	42.6	39.1	12.0	4.1	1.4
	対象	全体 (n)	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない	無回答
	全国	904,413	40.8	45.4	10.4	3.2	0.2
	沖縄県公立中	14,193	43.0	45.2	9.2	2.4	0.2

出典：国立教育政策研究所「令和7年度 全国学力・学習状況調査」

(5) 将来の夢や職業等 (問 14)

- 将来に関することの「とてもあてはまる」では、「①将来の夢や目標がある」が 43.0%で最も高く、次いで「⑥自分の将来に不安を感じることがある」が 39.2%、「⑤自分の将来に希望を持っている」が 38.9%となっている。
- 「まったくあてはまらない」では、「③将来つきたい職業のことを家族と話している」が 13.9%で最も高く、次いで「④職業について調べたり、体験したりしたことがある」が 13.8%、「②将来つきたい職業がある」が 11.8%となっている。

図表 2 - 29 将来の夢や職業等



全国調査との比較

- 「将来の夢や目標がある」について、全国学力・学習状況調査と比較すると、「(とても) 当てはまる」では、沖縄県の 37.4%に対し、本市は 43.0%で 5.6 ポイント高くなっている。

図表 2 - 30 将来の夢や職業等 (全国調査との比較)

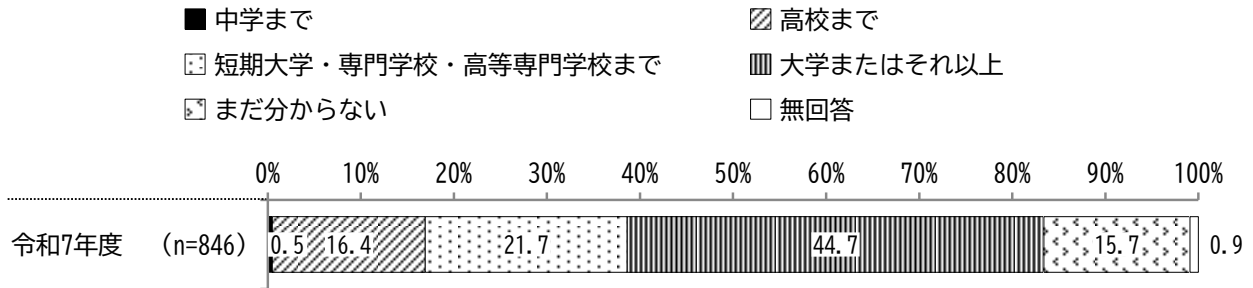
将来の夢や目標がある	対象	全体 (n)	とてもあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答
	沖縄市	846	43.0	29.2	17.8	8.7	1.2
将来の夢や目標がある	対象	全体 (n)	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない	無回答
	全国	904,413	35.5	32.0	21.9	10.2	0.4
沖縄県公立中	14,193	37.4	32.0	21.5	8.7	0.5	

出典：国立教育政策研究所「令和7年度 全国学力・学習状況調査」

(6) 進学希望 (問 15)

- これから先どこまで進学したいかでは、「大学またはそれ以上」が44.7%で最も高く、次いで「短期大学・専門学校・高等専門学校まで」が21.7%、「高校まで」が16.4%となっている。
- 性別でみると、「短期大学・専門学校・高等専門学校まで」で男女の差が最も大きく、男性13.9%に対し女性30.1%で、16.2ポイント女性が高くなっている。

図表 2 - 31 進学希望



図表 2 - 32 進学希望 (性別)

		全体 (n)	中学まで	高校まで	短期大学・専門学校・高等専門学校まで	大学またはそれ以上	まだ分からない	無回答
令和7年度		846	0.5	16.4	21.7	44.7	15.7	0.9
性別	男性	425	0.7	20.5	13.9	46.6	17.2	1.2
	女性	405	0.2	11.6	30.1	44.0	13.6	0.5

沖縄県調査との比較

- 沖縄こども調査と比較すると、「大学またはそれ以上」では、沖縄県の38.4%に対し、本市は44.7%で6.3ポイント高くなっている。「まだ分からない」では、沖縄県が22.5%、本市が15.7%で6.8ポイント低くなっている。

図表 2 - 33 進学希望 (沖縄県調査との比較)

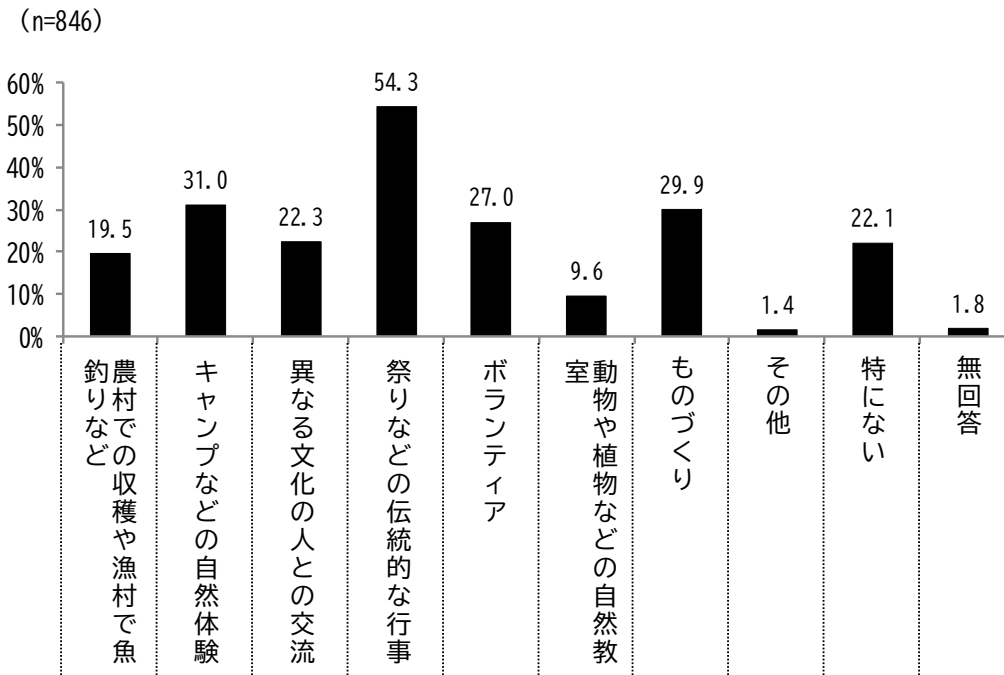
あなたは、これから先、どこまで進学したいですか	対象	全体 (n)	中学まで	高校まで	短期大学・専門学校・高等専門学校まで	大学またはそれ以上	まだ分からない	無回答	
	沖縄市	846	0.5	16.4	21.7	44.7	15.7	0.9	
あなたは、これから先、どこまで進学したいですか	対象	全体 (n)	中学まで	高校まで	専門学校まで	短大・高専まで	大学またはそれ以上	まだわからない	無回答
	沖縄県	1,522	0.3	19.4	12.9	3.5	38.4	22.5	3.1

出典：沖縄県「令和6年度沖縄こども調査（小中学生調査）」
 ※沖縄県調査は中学2年生の回答

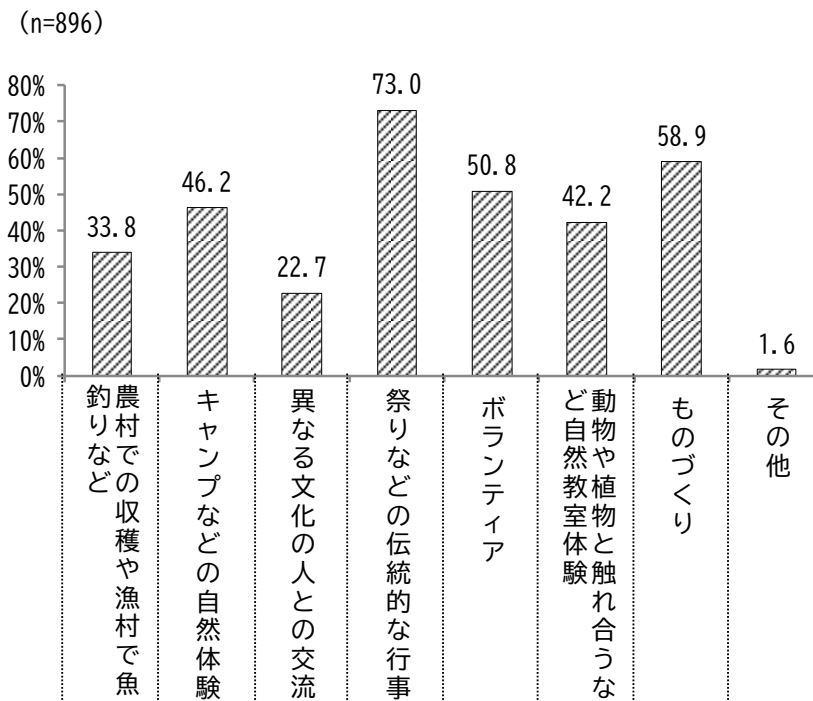
(7) 体験活動（複数選択）（問16）

- 体験活動への参加状況では、「祭りなどの伝統的な行事」が54.3%で最も高く、次いで「キャンプなどの自然体験」が31.0%、「ものづくり」が29.9%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、「動物や植物などの自然教室」が9.6%で、前回の42.2%と比較し32.6ポイント低くなっている。次いで、「ものづくり」が29.9%で、前回の58.9%と比較し29.0ポイント低くなっている。
- 「その他」では、「職業体験」「平和学習」などがあつた。

図表2-34 体験活動（令和7年度）



図表2-35 体験活動（令和2年度）

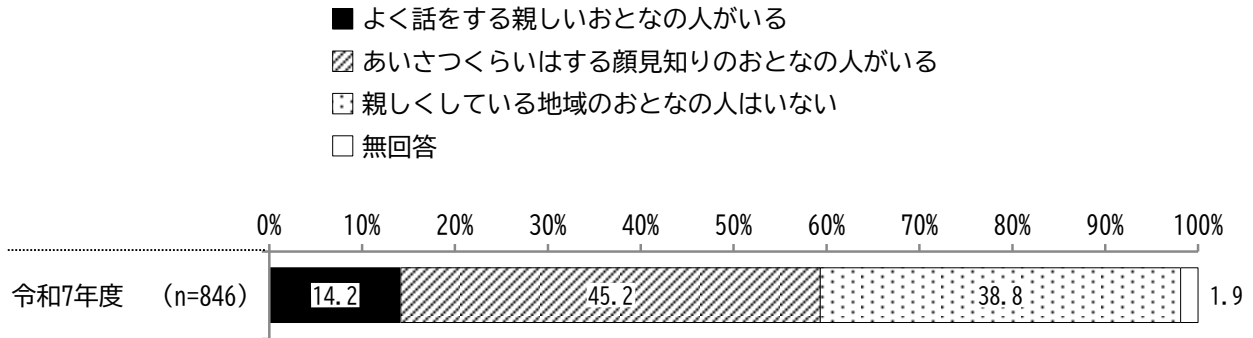


5. 学校と家庭、地域の連携・協働に関すること

(1) 地域での大人との関わり（問 21）

- 家族以外の地域での大人との関わりでは、「あいさつくらいはする顔見知りのおとなの人がいる」が45.2%、「親しくしている地域のおとなの人はいない」が38.8%となっている。

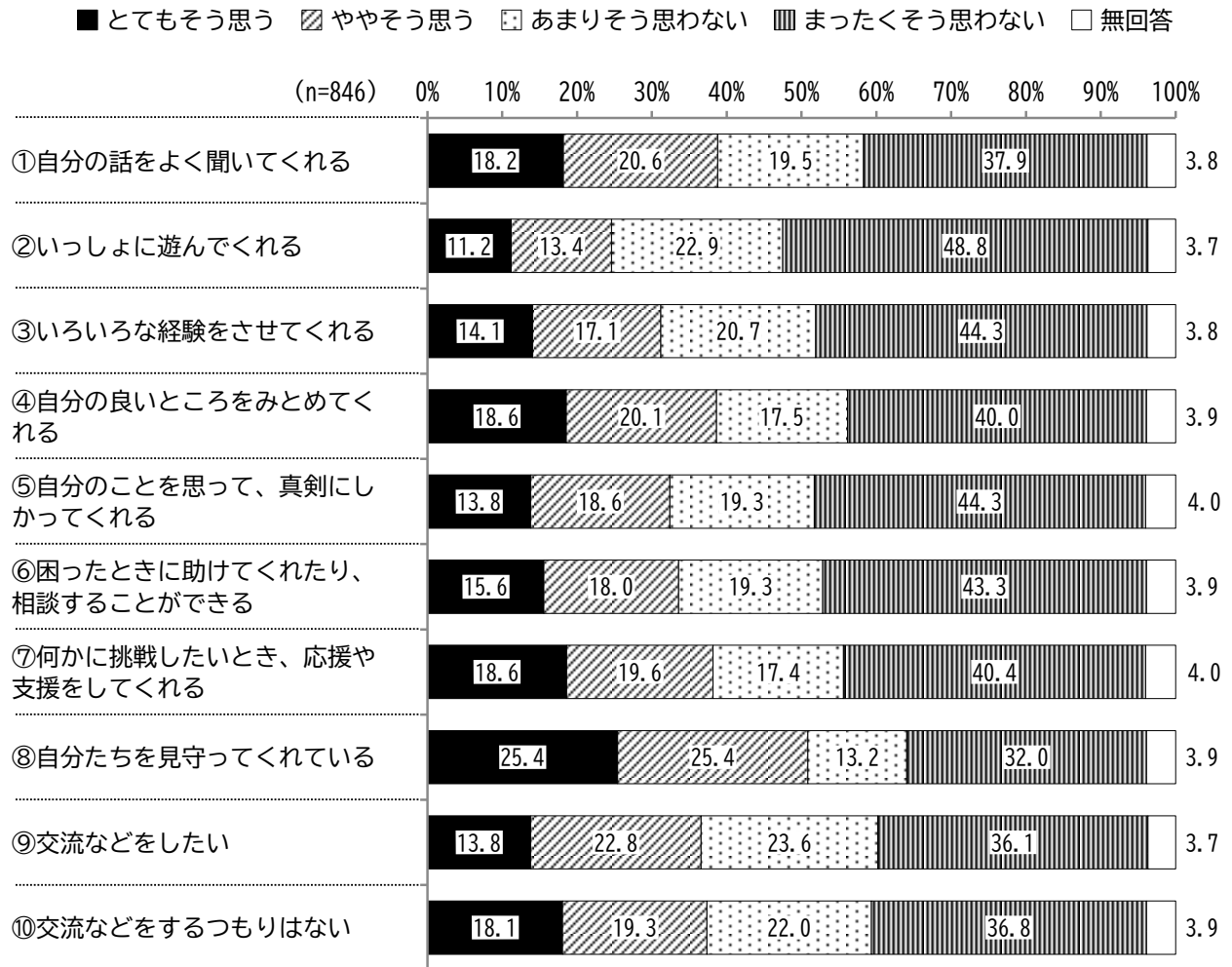
図表 2 - 36 地域での大人との関わり



(2) 地域の大人への評価 (問 22)

- 地域の大人に対して感じていることの「とてもそう思う」では、「⑧自分たちを見守ってくれている」が 25.4%で最も高く、次いで「④自分の良いところをみとめてくれる」「⑦何かに挑戦したいとき、応援や支援をしてくれる」が 18.6%となっている。
- 「まったくそう思わない」では、「②いっしょに遊んでくれる」が 48.8%で最も高く、次いで「③いろいろな経験をさせてくれる」「⑤自分のことを思って、真剣にしかってくれる」が 44.3%となっている。

図表 2 - 37 地域の大人への評価

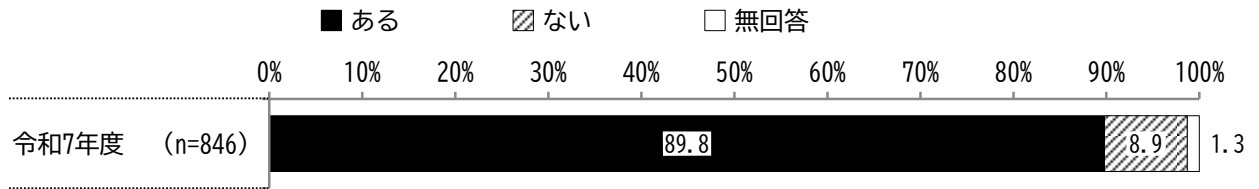


6. スマートフォン・SNS に関すること

(1) 自分専用のスマートフォンの保有 (問 19)

- 専用で使えるスマートフォンの保有状況では、「ある」が89.8%、「ない」が8.9%となっている。

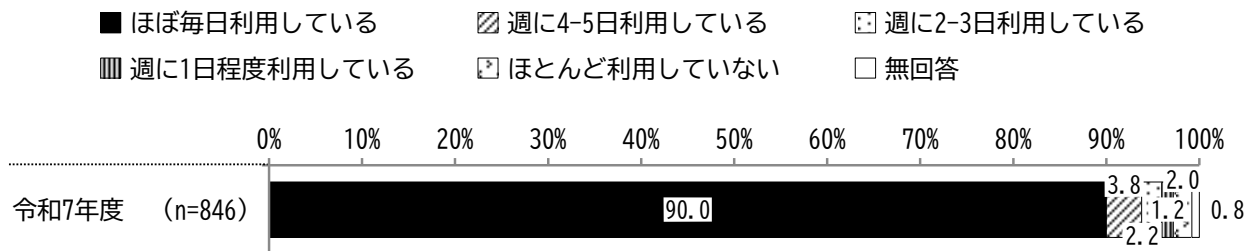
図表 2 - 38 自分専用のスマートフォンの保有



(2) SNS の利用 (問 20)

- 勉強以外での SNS やインターネットの利用状況では、「ほぼ毎日利用している」が90.0%で最も高く、次いで「週に 4-5 日利用している」が3.8%、「週に 2-3 日利用している」が2.2%となっている。
- 「ほとんど利用していない」は、2.0%となっている。

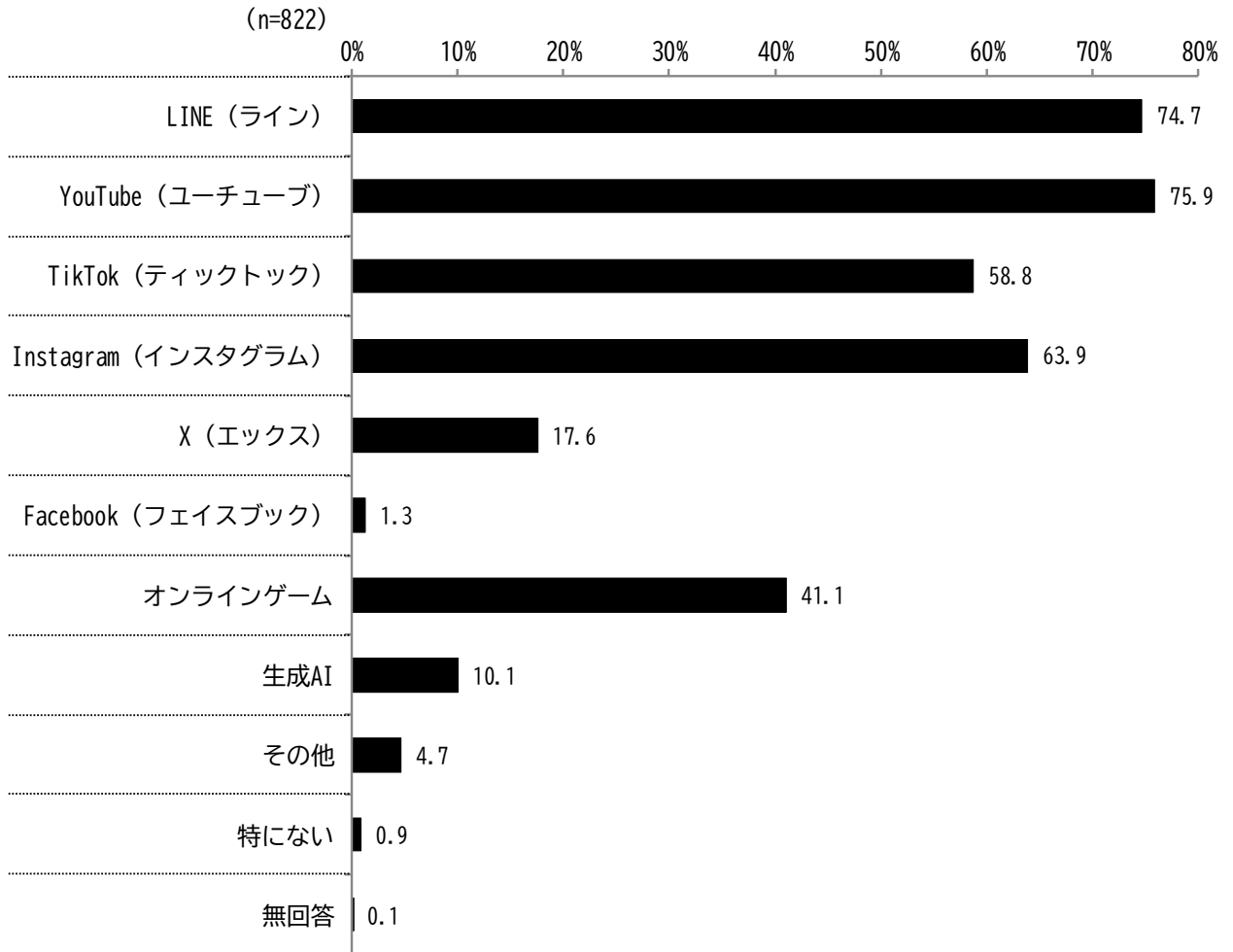
図表 2 - 39 SNS の利用



(3) 利用しているアプリケーション（複数選択）（問20-1）

- よく利用しているアプリケーションでは、「YouTube（ユーチューブ）」が75.9%で最も高く、次いで「LINE（ライン）」が74.7%、「Instagram（インスタグラム）」が63.9%となっている。
- 性別でみると、「オンラインゲーム」で男女の差が最も大きく、男性61.6%に対し女性19.3%で、42.3ポイント男性が高くなっている。
- 「その他」では、「漫画」「検索アプリ」「音楽」「ゲーム」などがあつた。

図表2-40 利用しているアプリケーション



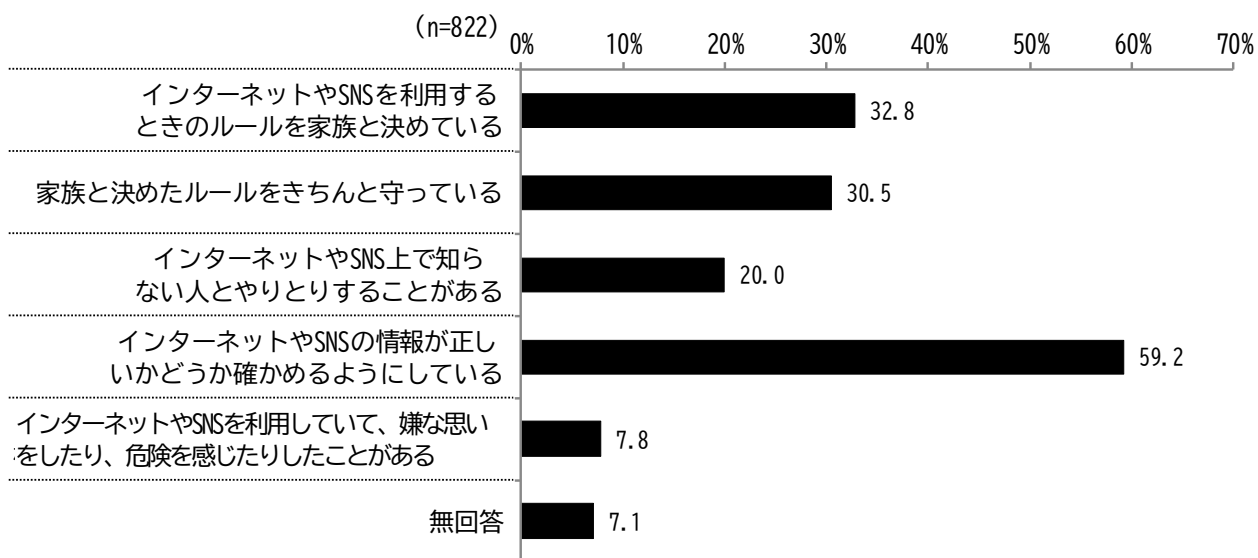
図表2-41 利用しているアプリケーション（性別）

		全体 (n)	LINE (ライン)	YouTube (ユーチューブ)	TikTok (ティックトック)	Instagram (インスタグラム)	X (エックス)	Facebook (フェイスブック)	オンラインゲーム	生成AI	その他	特にない	無回答
令和7年度		822	74.7	75.9	58.8	63.9	17.6	1.3	41.1	10.1	4.7	0.9	0.1
性別	男性	409	76.8	76.8	50.9	57.9	13.9	1.5	61.6	7.1	3.9	1.5	0.2
	女性	399	72.9	74.4	66.9	70.9	20.6	1.0	19.3	13.3	5.0	0.3	-

(4) SNS等の利用状況（複数選択）（問20-2）

- SNSやインターネットの利用状況では、「インターネットやSNSの情報が正しいかどうか確かめるようにしている」が59.2%で最も高く、次いで「インターネットやSNSを利用するときのルールを家族と決めている」が32.8%、「家族と決めたルールをきちんと守っている」が30.5%となっている。

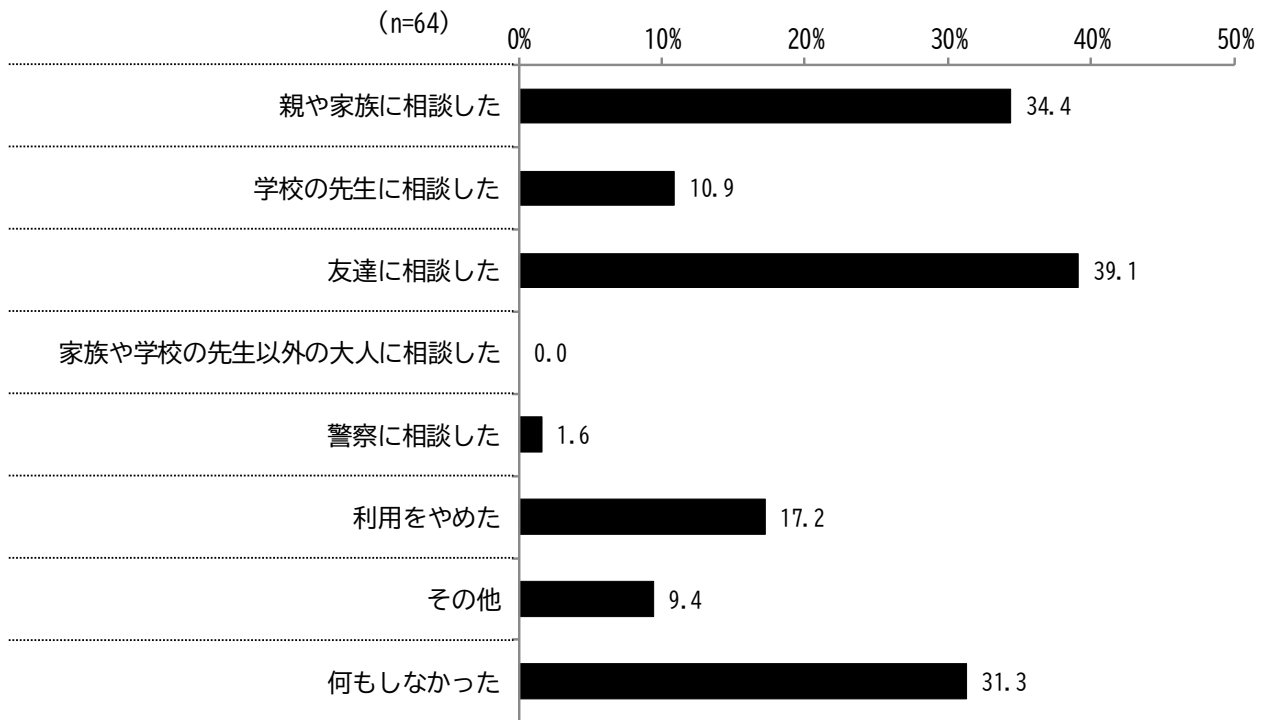
図表2-42 SNS等の利用状況



(5) SNS等での嫌な経験に対する対処（複数選択）（問20-3）

- SNS やインターネットを利用して嫌な思いをしたり、危険を感じたりしたときの行動では、「友達に相談した」が39.1%で最も高く、次いで「親や家族に相談した」が34.4%、「何もしなかった」が31.3%となっている。
- 性別でみると、男性では「何もしなかった」50.0%、女性では「親や家族に相談した」「友達に相談した」50.0%が最も多くなっている。男女の差が最も大きいのは「何もしなかった」で、男性が女性よりも37.5ポイント高い。
- 「その他」では、「アカウントを消した」「そのアカウントを通報した」などがあつた。

図表2-43 SNS等での嫌な経験に対する対処



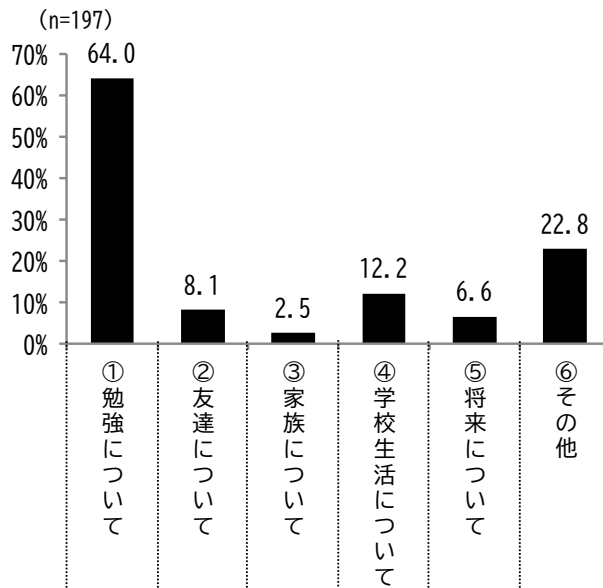
図表2-44 SNS等での嫌な経験に対する対処（性別）

		全体 (n)	た親や家族に相談した	した学校の先生に相談した	友達に相談した	した以外家族や学校の先生に相談した	警察に相談した	利用をやめた	その他	何もしなかった (%)
令和7年度		64	34.4	10.9	39.1	-	1.6	17.2	9.4	31.3
性別	男性	32	18.8	3.1	28.1	-	-	15.6	6.3	50.0
	女性	32	50.0	18.8	50.0	-	3.1	18.8	12.5	12.5

<カテゴリ分類>

- 回答があった197件の内容を以下の6項目に分類し、主な意見の一部を掲載している。

図表2-46 自由意見（カテゴリ分類）



※1件の中に複数のカテゴリにまたがる回答もあるため、件数は197件より多く、割合の合計は100%を超えている。

カテゴリ	件数	主な意見（原則、原文を掲載）
①勉強について	126	勉強がはかどる方法を教えてほしい。
		勉強がうまくできなかつたり、普段模擬テストや練習問題等では点が取れるけれど、いざ本番となったら勉強したことが結果として現れなかつたりすることが多くて困っている。
②友達について	16	友達がいるお陰で楽しく過ごせているから友達を大切にしたい。
		学年に親身になってくれる友達がいない。
③家族について	5	受験が不安すぎて家族に迷惑かけてしまうことがある。
		学校では友達とたくさん話して笑って毎日楽しいです。家では家族とその日にあった事を話しながらご飯を食べるのが幸せです。受験についての心配は毎日ありますがリフレッシュしながら頑張ります。
④学校生活について	24	友達も先生もこのクラスで良かったと思える瞬間がたくさんあって感謝してもしきれないです！！
		学校での悪口やいじめに対しての対応があまりできていないところが不安です。そして、周りを考えず自分が良ければいいと言って平気で人を傷つける学年の人が多すぎるように感じます。このような人たちは家でどのような教育を普段されているのか気になります。とても普通ではありません。常識も分からず、平気で人を傷つけ、決まりも守れないようじゃこの先ろくな大人にはなりません。その様な生徒たちを深く注意して家でも厳しく注意される必要があります。もう少し、生徒たちの迷惑な行動や悪口などの発言に深く注意して過ごし、先生たちは厳しく叱るべきだと思います。よろしく願います。1人でも学校に行くことが楽しくなるようにしてほしいです。

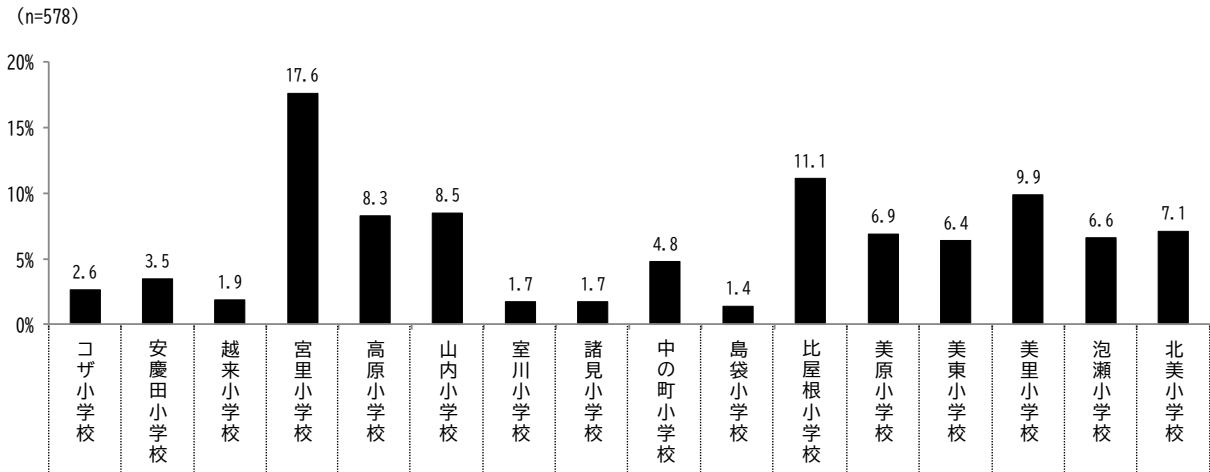
カテゴリ	件数	主な意見（原則、原文を掲載）
⑤将来について	13	<p>高校は行くつもりだけど、高校を卒業してからのことはまだ決まっていない。（進学するために受験するか、就職するかがきまらない。）</p> <p>夢や目標がない。</p>
⑥その他	45	<p>私は内地から引っ越してきているので、あまり沖縄の文化を知りません。地域の人と交流する場面が無いので、沖縄の文化を知るためにも、もっと交流する機会がほしいです。</p> <p>学生が自由に自習できる施設やそれに併設するカフェなどを市内に造ってほしい。</p>

第3章 小学6年生保護者の調査結果

1. 基本属性

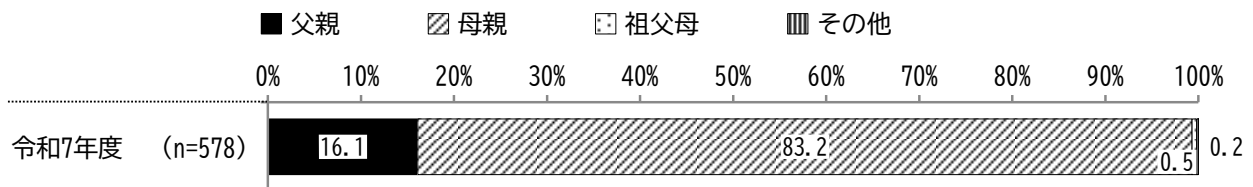
(1) 学区（小学校）（問1）

図表3-1 こどもの通っている学区



(2) アンケート回答者の属性（問2）

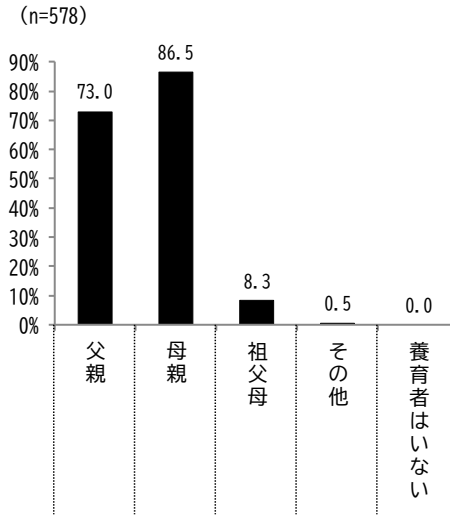
図表3-2 アンケート回答者の属性



(3) 養育者の就労状況

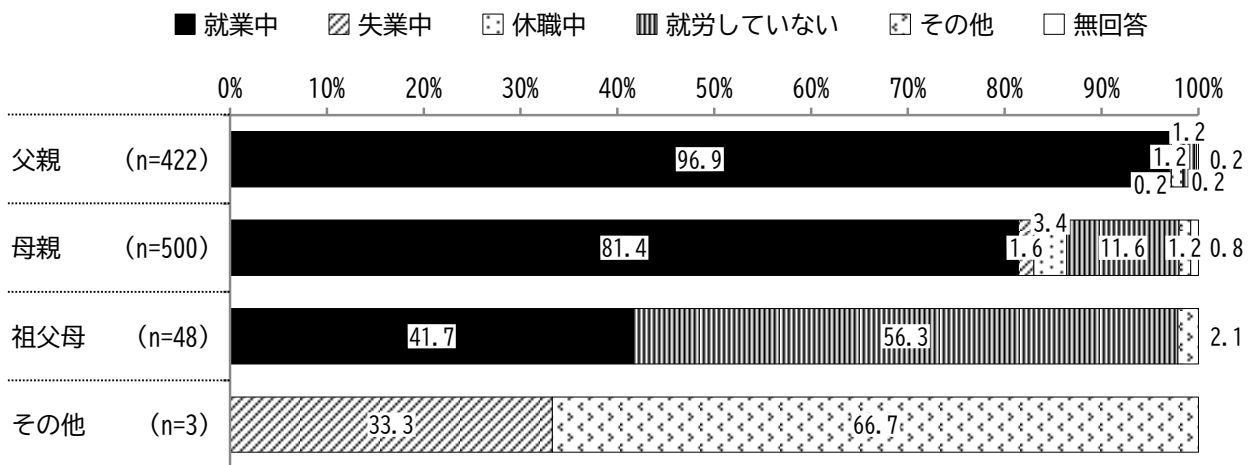
お子さんの主な養育者（複数選択）（問3）

図表3-3 養育者の分類



養育者の就労状況（問3-1）

図表3-4 養育者の就労状況

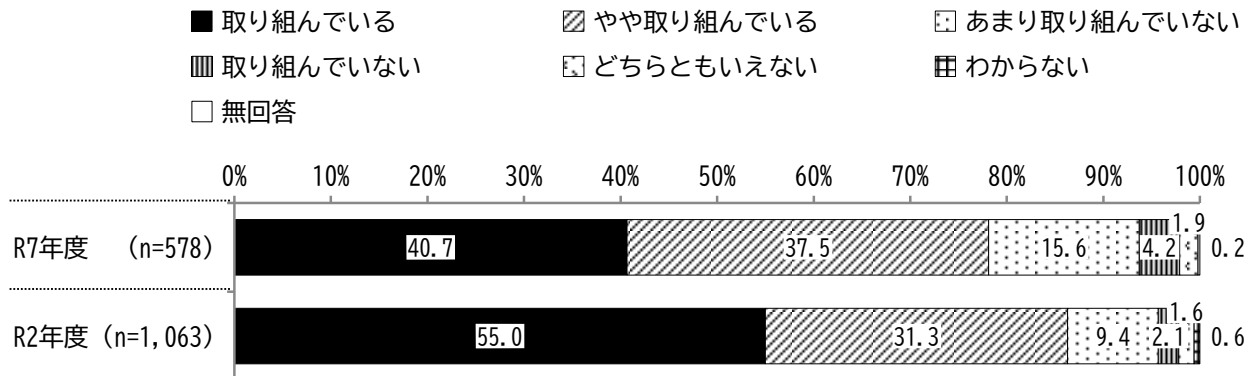


2. 確かな学力・豊かな心・健やかな体に関すること

(1) 家庭学習の取組状況（問10）

- 宿題や家庭学習の意欲的な取組状況では、「取り組んでいる」が40.7%で最も高く、次いで「やや取り組んでいる」が37.5%、「あまり取り組んでいない」が15.6%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、「取り組んでいる」が40.7%で、前回の55.0%と比較し14.3ポイント低くなっている。

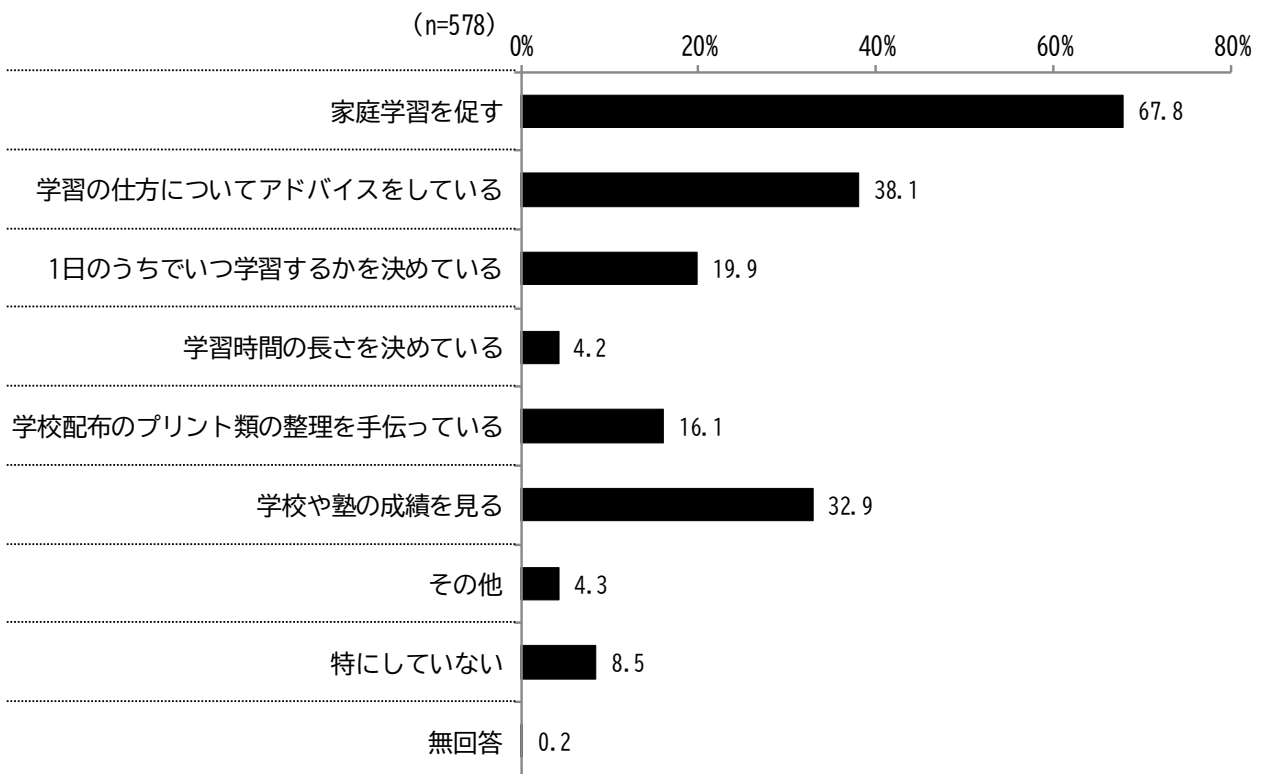
図表3-5 家庭学習の取組状況（令和2年度との比較）



(2) 家庭での学習サポート（複数選択）（問11）

- こどもの家庭学習に対する学習サポートでは、「家庭学習を促す」が67.8%で最も高く、次いで「学習の仕方についてアドバイスをしている」が38.1%、「学校や塾の成績を見る」が32.9%となっている。一方、「特にしていない」は、8.5%となっている。
- 「その他」では、「宿題の丸つけ」「ドリルを購入して取り組ませる」などがあつた。

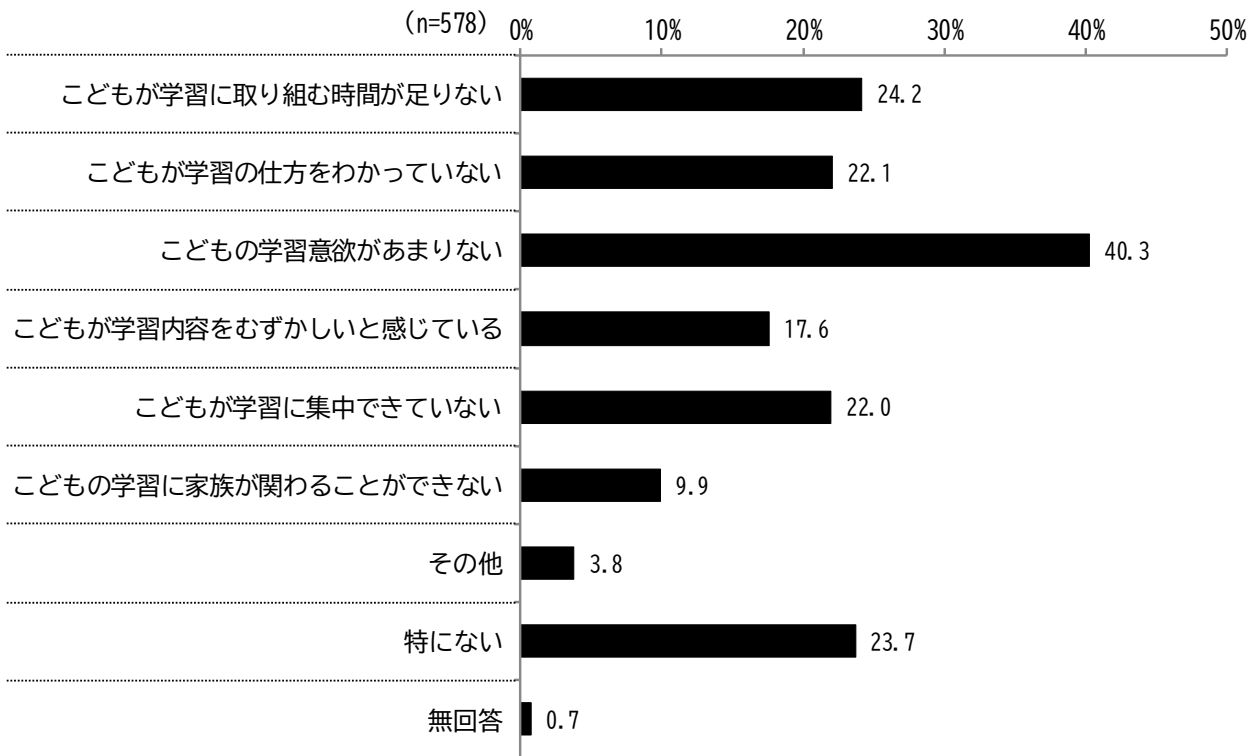
図表3-6 家庭での学習サポート



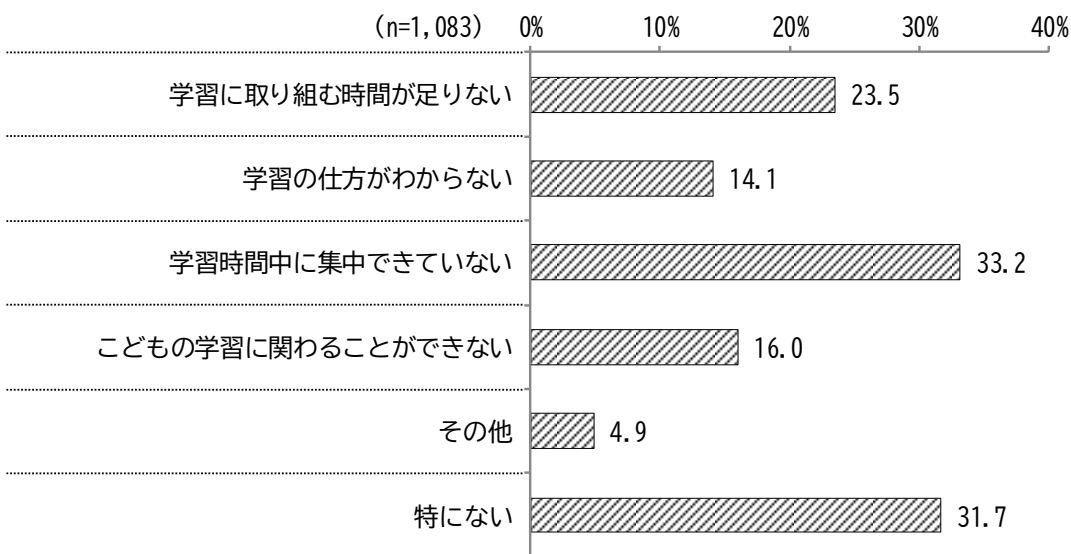
(3) 家庭での学習の課題（複数選択）（問12）

- こどもの家庭での学習の課題では、「こどもの学習意欲があまりない」が40.3%で最も高く、次いで「こどもが学習に取り組む時間が足りない」が24.2%、「特にない」が23.7%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、「こどもが学習に集中できていない」が22.0%で、前回の「学習時間中に集中できていない」33.2%と比較し11.2ポイント低くなっている。
- 「その他」では、「宿題が無い・少ない」「ICT活用が増え、文字を書く量が減っているため、手書きの文字や漢字の覚えが鈍い」などがあつた。

図表3-7 家庭での学習の課題（令和7年度）



図表3-8 家庭での学習の課題（令和2年度）

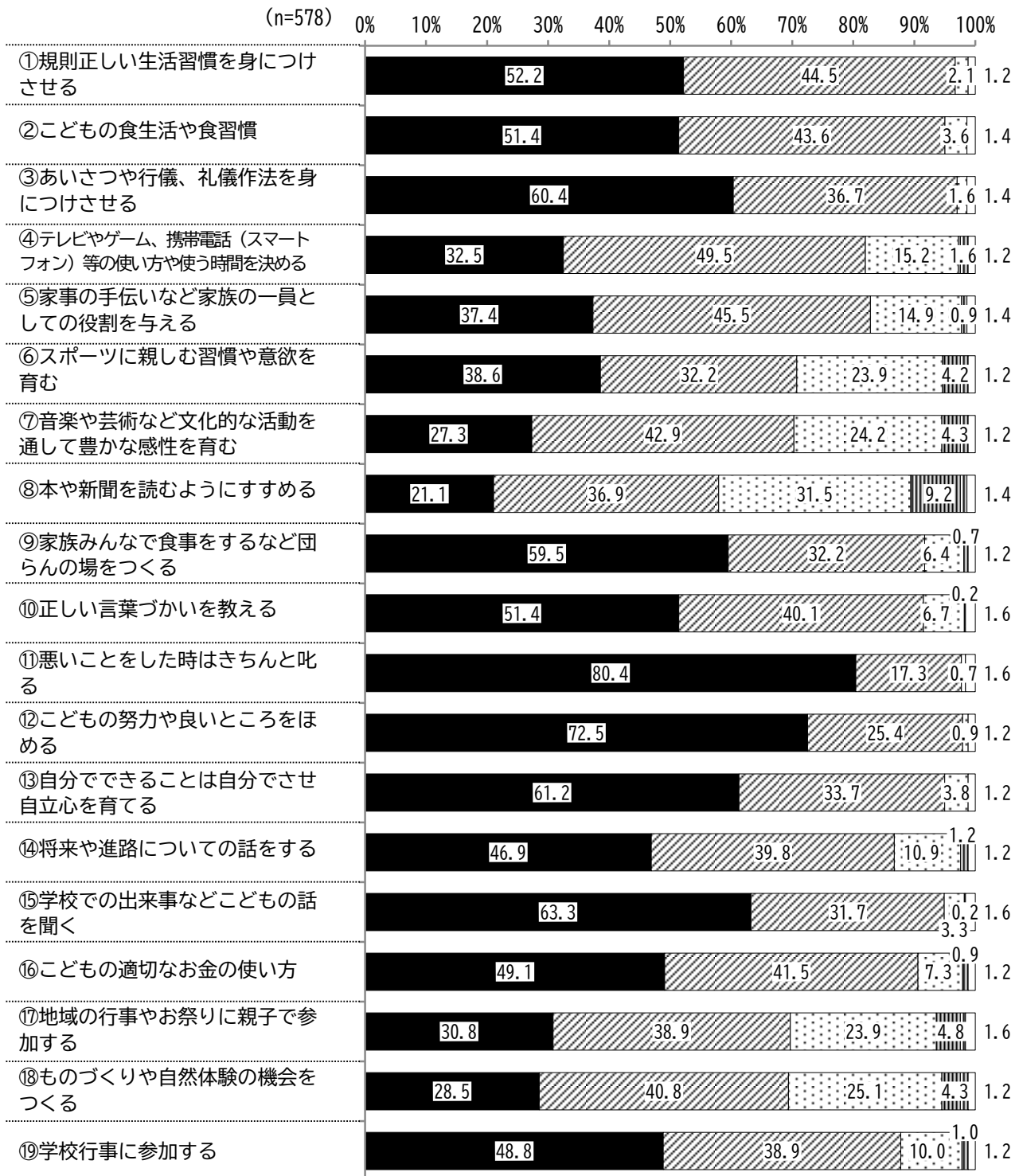


(4) こどもとの関係で心がけていること (問9)

- こどもとの関わりのなかで「大変心がけている」では、「⑪悪いことをした時はきちんと叱る」が80.4%で最も高く、次いで「⑫こどもの努力や良いところをほめる」が72.5%、「⑮学校での出来事などこどもの話を聞く」が63.3%となっている。
- 「まったく心がけていない」では、「⑧本や新聞を読むようにすすめる」が9.2%で最も高く、次いで「⑰地域の行事やお祭りに親子で参加する」が4.8%となっている。

図表3-9 こどもとの関係で心がけていること

■ 大変心がけている □ やや心がけている □ あまり心がけていない □ まったく心がけていない □ 無回答

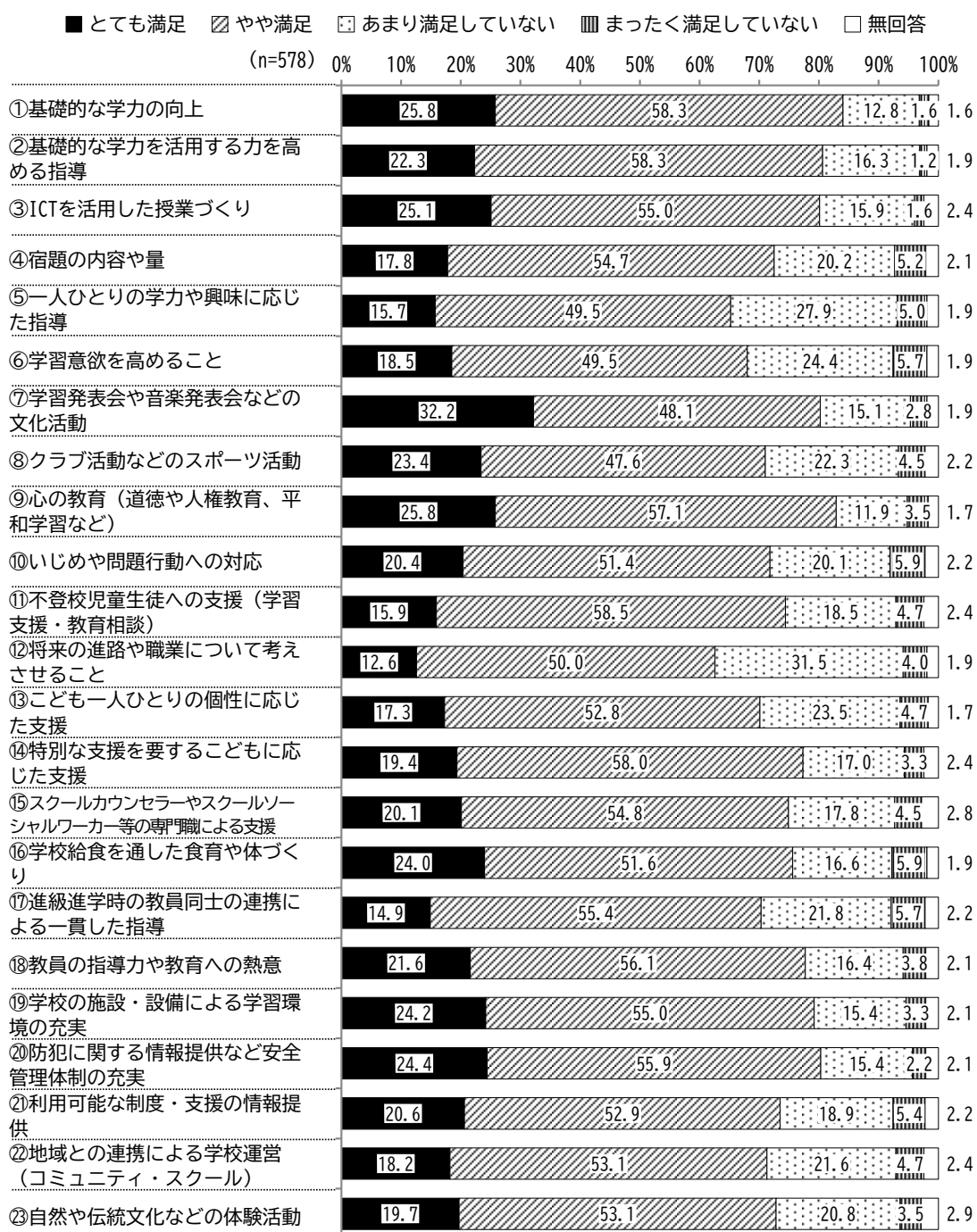


(5) 学校での指導や取組の満足度・重要度 (問8)

満足度

- こどもが通っている学校での指導や取組に対する満足度の「とても満足」では、「⑦学習発表会や音楽発表会などの文化活動」が32.2%で最も高く、次に「①基礎的な学力の向上」と「⑨心の教育（道徳や人権教育、平和学習など）」が25.8%となっている。
- 「まったく満足していない」では、「⑩いじめや問題行動への対応」「⑩学校給食を通した食育や体づくり」の5.9%が最も高く、いずれの項目でも少数となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、「⑦学習発表会や音楽発表会などの文化活動」で「とても満足」が32.2%となっており、前回の17.9%から14.3ポイント増加している。一方、「⑩防犯に関する情報提供など安全管理体制の充実」では、「とても満足」が24.4%で、前回の36.4%から12.0ポイント低くなっている。

図表3-10 学校での指導や取組の満足度



II 本調査の結果 第3章 小学6年生保護者の調査結果

図表3-11 学校での指導や取組の満足度（令和2年度との比較）

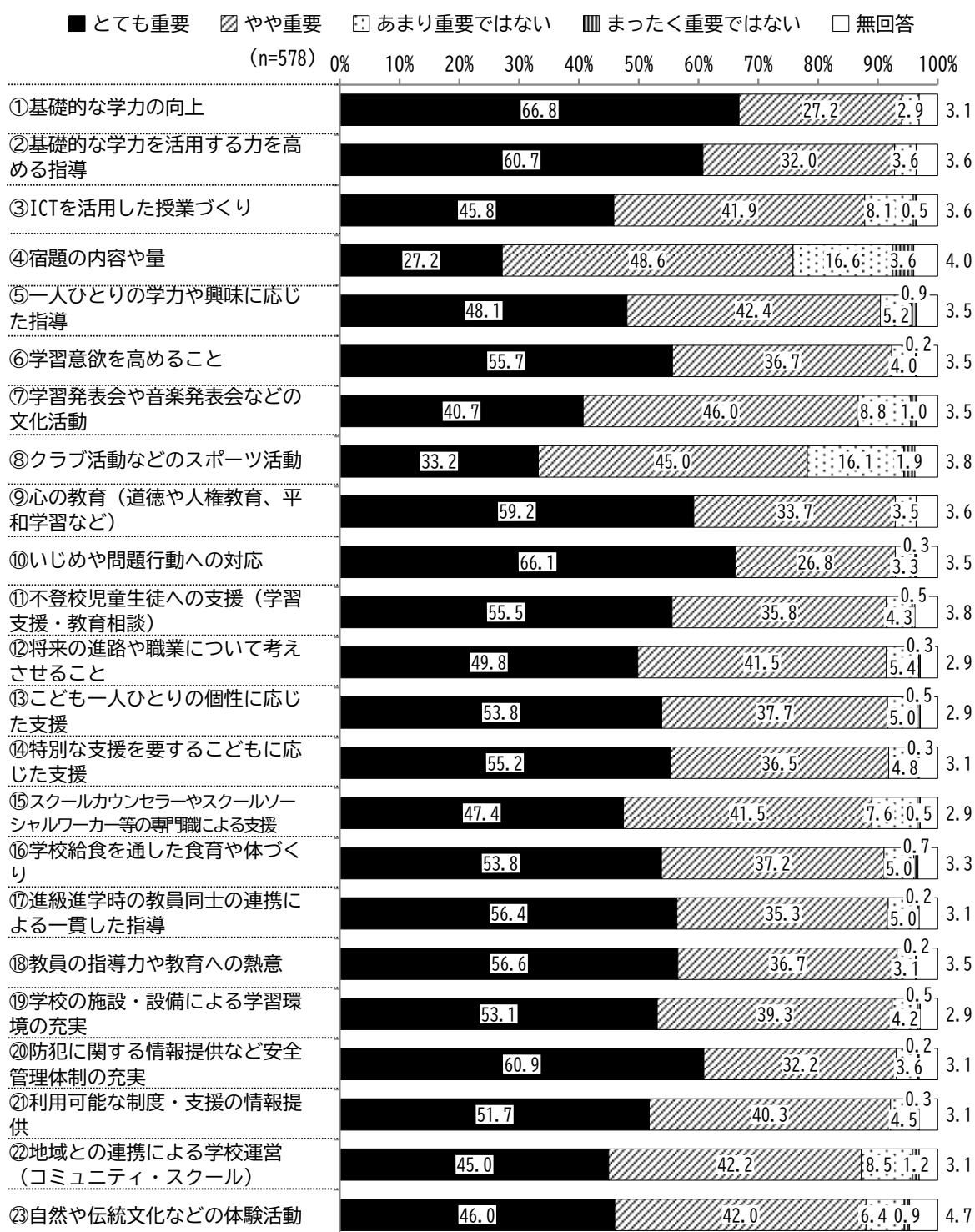
		(%)					
		全体 (n)	とても満足	やや満足	あまり満足していない	まったく満足していない	無回答
①基礎的な学力の向上	令和7年度	578	25.8	58.3	12.8	1.6	1.6
	令和2年度	1,094	20.3	69.1	9.9	0.7	-
②基礎的な学力を活用する力を高める指導	令和7年度	578	22.3	58.3	16.3	1.2	1.9
	令和2年度	1,089	17.4	67.2	14.6	0.7	-
③ICTを活用した授業づくり	令和7年度	578	25.1	55.0	15.9	1.6	2.4
	令和2年度	-	-	-	-	-	-
④宿題の内容や量	令和7年度	578	17.8	54.7	20.2	5.2	2.1
	令和2年度	1,089	15.5	64.0	18.2	2.3	-
⑤一人ひとりの学力や興味に応じた指導	令和7年度	578	15.7	49.5	27.9	5.0	1.9
	令和2年度	1,084	14.0	51.2	30.5	4.2	-
⑥学習意欲を高めること 学ぶ意欲を高めること	令和7年度	578	18.5	49.5	24.4	5.7	1.9
	令和2年度	1,086	18.0	56.4	23.5	2.1	-
⑦学習発表会や音楽発表会などの文化活動	令和7年度	578	32.2	48.1	15.1	2.8	1.9
	令和2年度	1,086	17.9	50.9	25.0	6.3	-
⑧クラブ活動などのスポーツ活動 部活動などのスポーツ活動	令和7年度	578	23.4	47.6	22.3	4.5	2.2
	令和2年度	1,079	17.6	50.0	26.2	6.2	-
⑨心の教育（道徳や人権教育、平和学習など） 心の教育（道徳や体験活動など）	令和7年度	578	25.8	57.1	11.9	3.5	1.7
	令和2年度	1,088	20.4	56.3	21.1	2.1	-
⑩いじめや問題行動への対応 いじめや不登校問題への対応	令和7年度	578	20.4	51.4	20.1	5.9	2.2
	令和2年度	1,078	16.9	54.6	23.9	4.5	-
⑪不登校児童生徒への支援（学習支援・教育相談）	令和7年度	578	15.9	58.5	18.5	4.7	2.4
	令和2年度	-	-	-	-	-	-
⑫将来の進路や職業について考えさせること	令和7年度	578	12.6	50.0	31.5	4.0	1.9
	令和2年度	1,079	12.3	51.0	32.3	4.4	-
⑬こども一人ひとりの個性に応じた支援 こども一人ひとりに応じた支援	令和7年度	578	17.3	52.8	23.5	4.7	1.7
	令和2年度	1,085	15.6	51.7	28.1	4.6	-
⑭特別な支援を要するこどもに応じた支援	令和7年度	578	19.4	58.0	17.0	3.3	2.4
	令和2年度	-	-	-	-	-	-
⑮スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門職による支援	令和7年度	578	20.1	54.8	17.8	4.5	2.8
	令和2年度	-	-	-	-	-	-
⑯学校給食を通じた食育や体づくり	令和7年度	578	24.0	51.6	16.6	5.9	1.9
	令和2年度	-	-	-	-	-	-
⑰進級進学時の教員同士の連携による一貫した指導 進級進学時の教員同士の連携	令和7年度	578	14.9	55.4	21.8	5.7	2.2
	令和2年度	1,070	13.1	55.9	26.4	4.6	-
⑱教員の指導力や教育への熱意	令和7年度	578	21.6	56.1	16.4	3.8	2.1
	令和2年度	1,087	21.0	58.8	16.4	3.9	-
⑲学校の施設・設備による学習環境の充実 学校の施設・設備の充実度	令和7年度	578	24.2	55.0	15.4	3.3	2.1
	令和2年度	1,087	24.5	55.0	17.7	2.9	-
⑳防犯に関する情報提供など安全管理体制の充実 防犯に関する情報を保護者に伝える	令和7年度	578	24.4	55.9	15.4	2.2	2.1
	令和2年度	1,092	36.4	51.2	11.4	1.0	-
㉑利用可能な制度・支援の情報提供 利用可能な支援の情報を伝えること	令和7年度	578	20.6	52.9	18.9	5.4	2.2
	令和2年度	1,086	19.1	54.3	24.4	2.2	-
㉒地域との連携による学校運営（コミュニティ・スクール） 地域コミュニティとの連携	令和7年度	578	18.2	53.1	21.6	4.7	2.4
	令和2年度	1,083	17.5	59.1	20.2	3.2	-
㉓自然や伝統文化などの体験活動	令和7年度	578	19.7	53.1	20.8	3.5	2.9
	令和2年度	-	-	-	-	-	-

※設問番号⑥⑧⑨⑩⑬⑰⑱⑲⑳㉑㉒については、令和2年度の設問文を記載しています。
 ※令和2年度にない設問文は「-」で表示しています。

重要度

- こどもが通っている学校での指導や取組に対する重要度の「とても重要」では、「①基礎的な学力の向上」が66.8%で最も高く、次いで「⑩いじめや問題行動への対応」が66.1%、「⑳防犯に関する情報提供など安全管理体制の充実」が60.9%となっている。
- 「まったく重要ではない」では、「④宿題の内容や量」が3.6%と最も高く、次いで「⑧クラブ活動などのスポーツ活動」が1.9%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、「⑥学習意欲を高めること」で「とても重要」が55.7%となっており、前回の72.0%から16.3ポイント低くなっている。

図表3-12 学校での指導や取組の重要度



II 本調査の結果 第3章 小学6年生保護者の調査結果

図表3-13 学校での指導や取組の重要度（令和2年度との比較）

		(%)					
		全体 (n)	とても 重要	やや 重要	あまり 重要では ない	ま ったく 重要では ない	無 回 答
①基礎的な学力の向上	令和7年度	578	66.8	27.2	2.9	-	3.1
	令和2年度	1,046	76.6	21.7	1.7	0.0	-
②基礎的な学力を活用する力を高める指導	令和7年度	578	60.7	32.0	3.6	-	3.6
	令和2年度	1,046	70.6	27.8	1.6	0.0	-
③ICTを活用した授業づくり	令和7年度	578	45.8	41.9	8.1	0.5	3.6
	令和2年度	-	-	-	-	-	-
④宿題の内容や量	令和7年度	578	27.2	48.6	16.6	3.6	4.0
	令和2年度	1,043	33.0	50.5	15.0	1.5	-
⑤一人ひとりの学力や興味に応じた指導	令和7年度	578	48.1	42.4	5.2	0.9	3.5
	令和2年度	1,039	59.2	37.6	2.8	0.4	-
⑥学習意欲を高めること 学ぶ意欲を高めること	令和7年度	578	55.7	36.7	4.0	0.2	3.5
	令和2年度	1,043	72.0	26.0	1.8	0.2	-
⑦学習発表会や音楽発表会などの文化活動	令和7年度	578	40.7	46.0	8.8	1.0	3.5
	令和2年度	1,042	34.6	52.6	11.8	1.0	-
⑧クラブ活動などのスポーツ活動 部活動などのスポーツ活動	令和7年度	578	33.2	45.0	16.1	1.9	3.8
	令和2年度	1,036	29.9	52.5	15.4	2.1	-
⑨心の教育（道徳や人権教育、平和学習など） 心の教育（道徳や体験活動など）	令和7年度	578	59.2	33.7	3.5	-	3.6
	令和2年度	1,044	72.0	26.0	1.7	0.3	-
⑩いじめや問題行動への対応 いじめや不登校問題への対応	令和7年度	578	66.1	26.8	3.3	0.3	3.5
	令和2年度	1,044	80.7	17.7	1.4	0.2	-
⑪不登校児童生徒への支援（学習支援・教育相談）	令和7年度	578	55.5	35.8	4.3	0.5	3.8
	令和2年度	-	-	-	-	-	-
⑫将来の進路や職業について考えさせること	令和7年度	578	49.8	41.5	5.4	0.3	2.9
	令和2年度	1,043	58.7	36.4	4.6	0.3	-
⑬こども一人ひとりの個性に応じた支援 こども一人ひとりに応じた支援	令和7年度	578	53.8	37.7	5.0	0.5	2.9
	令和2年度	1,043	62.1	33.8	4.0	0.0	-
⑭特別な支援を要するこどもに応じた支援	令和7年度	578	55.2	36.5	4.8	0.3	3.1
	令和2年度	-	-	-	-	-	-
⑮スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門職による支援	令和7年度	578	47.4	41.5	7.6	0.5	2.9
	令和2年度	-	-	-	-	-	-
⑯学校給食を通じた食育や体づくり	令和7年度	578	53.8	37.2	5.0	0.7	3.3
	令和2年度	-	-	-	-	-	-
⑰進級進学時の教員同士の連携による一貫した指導 進級進学時の教員同士の連携	令和7年度	578	56.4	35.3	5.0	0.2	3.1
	令和2年度	1,034	58.1	36.6	5.0	0.3	-
⑱教員の指導力や教育への熱意	令和7年度	578	56.6	36.7	3.1	0.2	3.5
	令和2年度	1,045	66.2	31.9	1.8	0.1	-
⑲学校の施設・設備による学習環境の充実 学校の施設・設備の充実度	令和7年度	578	53.1	39.3	4.2	0.5	2.9
	令和2年度	1,044	46.0	47.2	6.2	0.6	-
⑳防犯に関する情報提供など安全管理体制の充実 防犯に関する情報を保護者に伝える	令和7年度	578	60.9	32.2	3.6	0.2	3.1
	令和2年度	1,046	70.6	27.1	2.1	0.3	-
㉑利用可能な制度・支援の情報提供 利用可能な支援の情報を伝えること	令和7年度	578	51.7	40.3	4.5	0.3	3.1
	令和2年度	1,045	46.1	46.1	7.4	0.4	-
㉒地域との連携による学校運営（コミュニティ・スクール） 地域コミュニティとの連携	令和7年度	578	45.0	42.2	8.5	1.2	3.1
	令和2年度	1,042	35.5	52.5	10.9	1.1	-
㉓自然や伝統文化などの体験活動	令和7年度	578	46.0	42.0	6.4	0.9	4.7
	令和2年度	-	-	-	-	-	-

※設問番号⑥⑧⑨⑩⑬⑰⑱⑲⑳㉑㉒については、令和2年度の設問文を記載しています。
 ※令和2年度にない設問文は「-」で表示しています。

満足度と重要度の比較

- 満足度と重要度を比較すると、「①基礎的な学力の向上」では、『満足（とても満足+やや満足）』が84.1%、『重要（とても重要+やや重要）』が94.0%で、いずれも全項目の中で最も高い。
- 『不満（あまり満足していない+まったく満足していない）』が3割を超えている「⑫将来の進路や職業について考えさせること」35.5%、「⑤一人のひとりの学力や興味に応じた指導」32.9%、「⑥学習意欲を高めること」30.1%では、『重要』が9割と高くなっている。

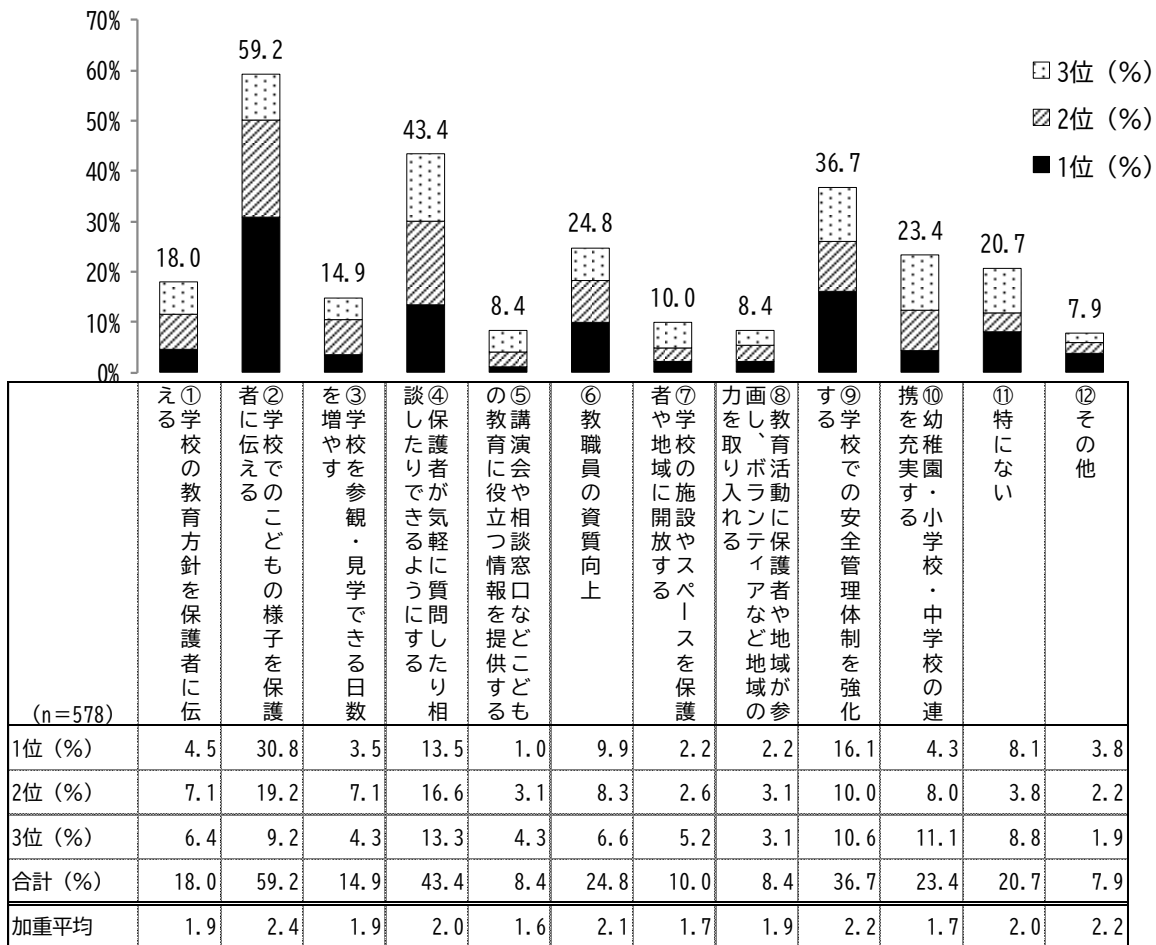
図表3-14 学校での指導や取組の満足度と重要度の比較

	「満足」 合計	「不満」 合計	「重要」 合計	「重要ではない」 合計
(n=578)				
①基礎的な学力の向上	84.1	14.4	94.0	2.9
②基礎的な学力を活用する力を高める指導	80.6	17.5	92.7	3.6
③ICTを活用した授業づくり	80.1	17.5	87.7	8.6
④宿題の内容や量	72.5	25.4	75.8	20.2
⑤一人ひとりの学力や興味に応じた指導	65.2	32.9	90.5	6.1
⑥学習意欲を高めること	68.0	30.1	92.4	4.2
⑦学習発表会や音楽発表会などの文化活動	80.3	17.9	86.7	9.8
⑧クラブ活動などのスポーツ活動	71.0	26.8	78.2	18.0
⑨心の教育（道徳や人権教育、平和学習など）	82.9	15.4	92.9	3.5
⑩いじめや問題行動への対応	71.8	26.0	92.9	3.6
⑪不登校児童生徒への支援（学習支援・教育相談）	74.4	23.2	91.3	4.8
⑫将来の進路や職業について考えさせること	62.6	35.5	91.3	5.7
⑬子ども一人ひとりの個性に応じた支援	70.1	28.2	91.5	5.5
⑭特別な支援を要することもに応じた支援	77.4	20.3	91.7	5.1
⑮スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門職による支援	74.9	22.3	88.9	8.1
⑯学校給食を通じた食育や体づくり	75.6	22.5	91.0	5.7
⑰進級進学時の教員同士の連携による一貫した指導	70.3	27.5	91.7	5.2
⑱教員の指導力や教育への熱意	77.7	20.2	93.3	3.3
⑲学校の施設・設備による学習環境の充実	79.2	18.7	92.4	4.7
⑳防犯に関する情報提供など安全管理体制の充実	80.3	17.6	93.1	3.8
㉑利用可能な制度・支援の情報提供	73.5	24.3	92.0	4.8
㉒地域との連携による学校運営（コミュニティ・スクール）	71.3	26.3	87.2	9.7
㉓自然や伝統文化などの体験活動	72.8	24.3	88.0	7.3

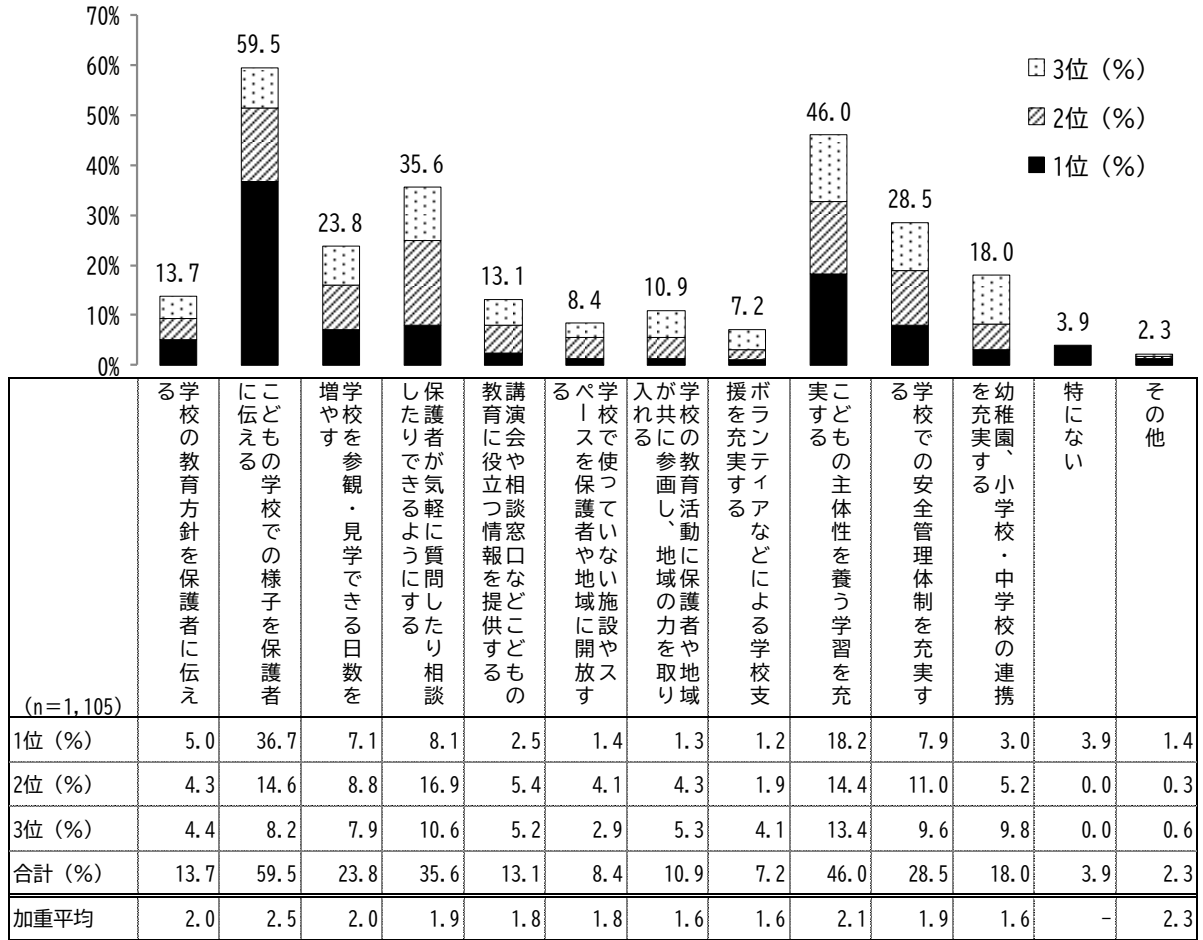
(6) 学校に対する要望（1位～3位を選択）（問6）……………

- こどもの通っている学校に望むことの1位～3位の合計比率では、「②学校でのこどもの様子を保護者に伝える」が59.2%で最も高く、次いで「④保護者が気軽に質問したり相談したりできるようにする」が43.4%、「⑨学校での安全管理体制を強化する」が36.7%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、「③学校を参観・見学できる日数を増やす」が14.9%で、前回の23.8%と比較し8.9ポイント低くなっている。「⑪特にない」は20.7%で、前回の3.9%から16.8ポイント高くなっている。
- 「その他」では、学校行事のやり方・周知、こどもとの対話、学力向上や授業内容の充実に関することなどがあった。

図表3-15 学校に対する要望（令和7年度）



図表3-16 学校に対する要望（令和2年度）

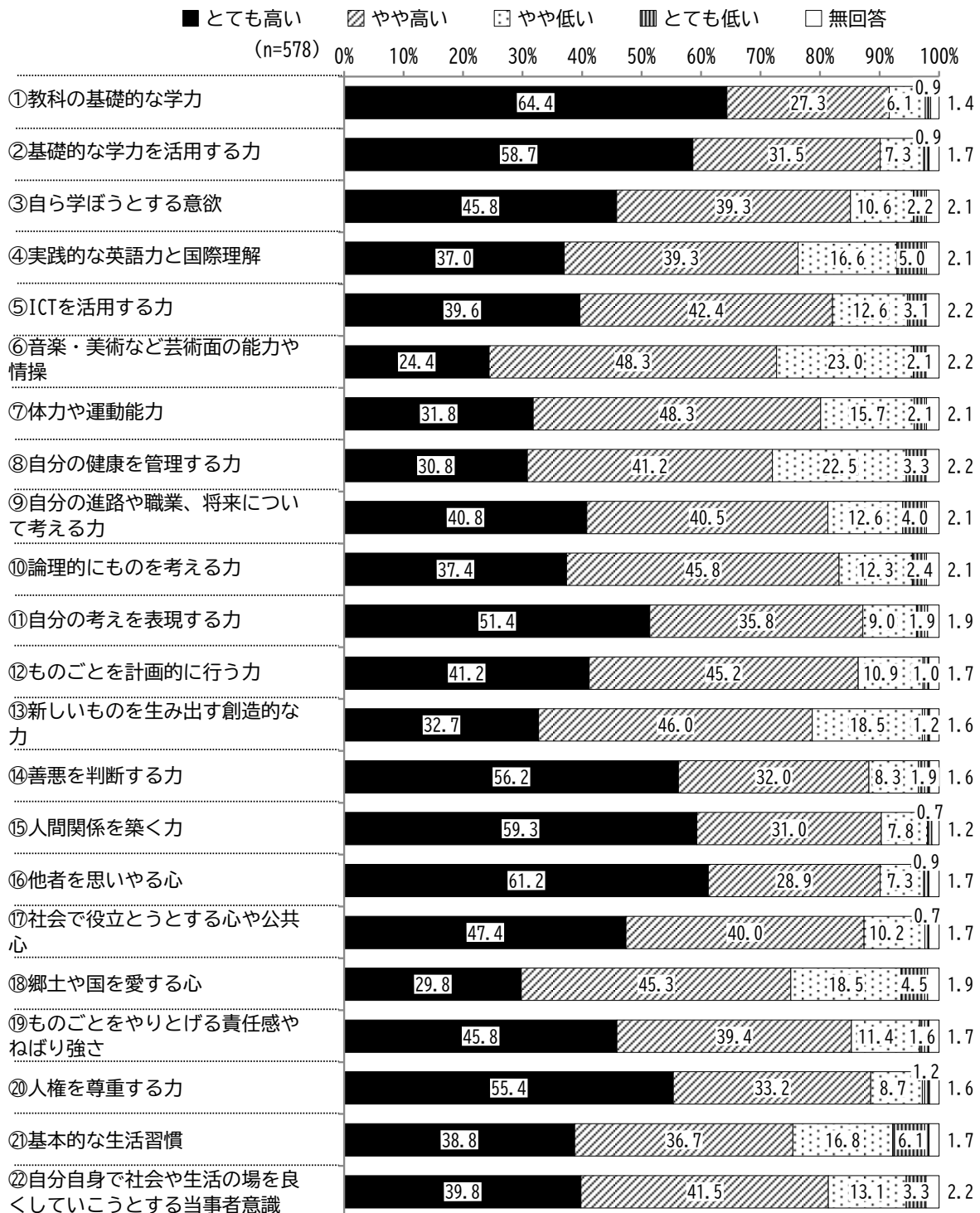


(7) 学校や家庭での児童・生徒の能力や態度を身につけさせる必要性（問7）……………

学校教育で身につけさせる必要性

- 学校教育で身につけさせる必要性の「とても高い」では、「①教科の基礎的な学力」が64.4%と最も高く、次いで「⑯他者を思いやる心」が61.2%、「⑮人間関係を築く力」59.3%となっている。
- 「とても低い」では、「⑳基本的な生活習慣」が6.1%と最も高く、次いで「④実践的な英語力と国際理解」が5.0%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、「③自ら学ぼうとする意欲」で「とても高い」が45.8%となっており、前回の59.4%から13.6ポイント低くなっている。

図表3-17 学校教育で身につけさせる必要性



図表3-18 学校教育で身につけさせる必要性（令和2年度との比較）

(%)

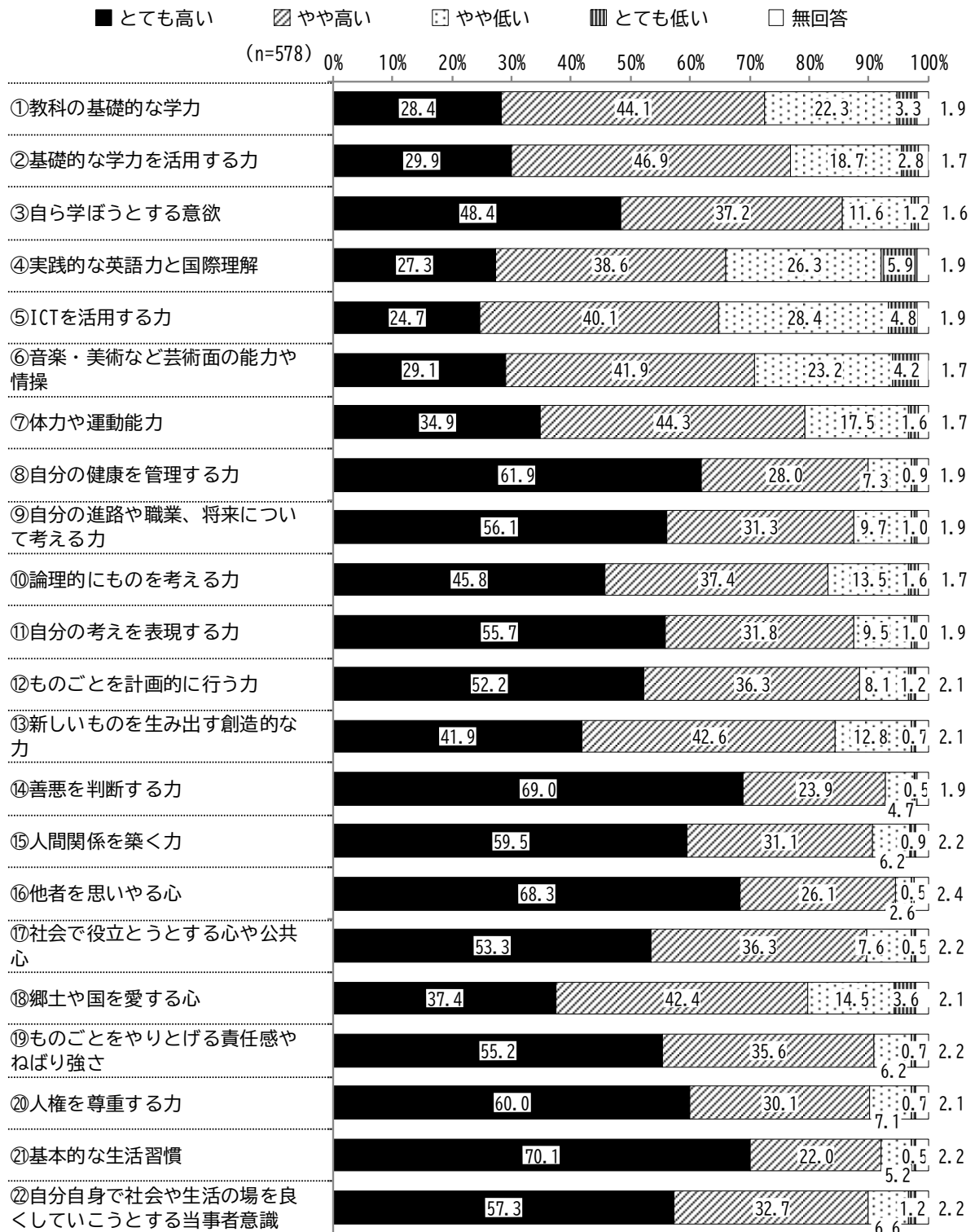
		全体 (n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い	無回答
①教科の基礎的な学力	令和7年度	578	64.4	27.3	6.1	0.9	1.4
	令和2年度	1,093	69.2	26.4	4.3	0.1	-
②基礎的な学力を活用する力	令和7年度	578	58.7	31.5	7.3	0.9	1.7
	令和2年度	1,090	62.7	31.9	5.3	0.1	-
③自ら学ぼうとする意欲	令和7年度	578	45.8	39.3	10.6	2.2	2.1
	令和2年度	1,083	59.4	32.0	7.8	0.8	-
④実践的な英語力と国際理解 実際の場面で使える英語力	令和7年度	578	37.0	39.3	16.6	5.0	2.1
	令和2年度	1,085	42.9	34.0	17.1	5.9	-
⑤ICTを活用する力	令和7年度	578	39.6	42.4	12.6	3.1	2.2
	令和2年度	1,044	39.8	39.8	17.2	3.1	-
⑥音楽・美術など芸術面の能力や情操	令和7年度	578	24.4	48.3	23.0	2.1	2.2
	令和2年度	1,082	22.9	50.4	25.2	1.5	-
⑦体力や運動能力	令和7年度	578	31.8	48.3	15.7	2.1	2.1
	令和2年度	1,090	36.2	48.9	13.3	1.6	-
⑧自分の健康を管理する力	令和7年度	578	30.8	41.2	22.5	3.3	2.2
	令和2年度	1,080	32.1	45.9	20.6	1.3	-
⑨自分の進路や職業、将来について考える力 生き方や進路について考える力	令和7年度	578	40.8	40.5	12.6	4.0	2.1
	令和2年度	1,084	48.4	38.9	11.1	1.6	-
⑩論理的にものを考える力	令和7年度	578	37.4	45.8	12.3	2.4	2.1
	令和2年度	1,085	42.4	44.0	12.4	1.2	-
⑪自分の考えを表現する力	令和7年度	578	51.4	35.8	9.0	1.9	1.9
	令和2年度	1,091	57.1	33.1	9.1	0.7	-
⑫ものごとを計画的に行う力	令和7年度	578	41.2	45.2	10.9	1.0	1.7
	令和2年度	1,088	51.3	37.6	10.2	0.9	-
⑬新しいものを生み出す創造的な力	令和7年度	578	32.7	46.0	18.5	1.2	1.6
	令和2年度	1,085	38.5	43.3	16.7	1.5	-
⑭善悪を判断する力	令和7年度	578	56.2	32.0	8.3	1.9	1.6
	令和2年度	1,087	63.3	29.5	6.5	0.6	-
⑮人間関係を築く力	令和7年度	578	59.3	31.0	7.8	0.7	1.2
	令和2年度	1,090	70.2	24.9	4.6	0.4	-
⑯他者を思いやる心	令和7年度	578	61.2	28.9	7.3	0.9	1.7
	令和2年度	-	-	-	-	-	-
⑰社会で役立とうとする心や公共心	令和7年度	578	47.4	40.0	10.2	0.7	1.7
	令和2年度	1,086	54.4	35.0	9.8	0.8	-
⑱郷土や国を愛する心	令和7年度	578	29.8	45.3	18.5	4.5	1.9
	令和2年度	1,085	33.1	45.6	18.7	2.6	-
⑲ものごとをやりとげる責任感やねばり強さ ものごとをやりとげるねばり強さ	令和7年度	578	45.8	39.4	11.4	1.6	1.7
	令和2年度	1,086	53.6	36.2	9.2	1.0	-
⑳人権を尊重する力	令和7年度	578	55.4	33.2	8.7	1.2	1.6
	令和2年度	1,087	61.6	30.7	7.2	0.5	-
㉑基本的な生活習慣	令和7年度	578	38.8	36.7	16.8	6.1	1.7
	令和2年度	1,085	43.2	41.5	14.1	1.2	-
㉒自分自身で社会や生活の場を良くしていこうとする当事者意識	令和7年度	578	39.8	41.5	13.1	3.3	2.2
	令和2年度	-	-	-	-	-	-

※設問番号④⑨⑩については、令和2年度の設問文を記載しています。
 ※令和2年度にない設問文は「-」で表示しています。

学校教育以外（家庭や地域等）で身につけさせる必要性

- 学校教育以外（家庭や地域等）で身につけさせる必要性の「とても高い」では、「②①基本的な生活習慣」が70.1%と最も高く、次いで「⑭⑭善悪を判断する力」が69.0%、「⑯⑯他者を思いやる心」で68.3%となっている。
- 「とても低い」では、「④④実践的な英語力と国際理解」が5.9%と最も高く、次いで「⑤⑤ICTを活用する力」が4.8%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、「⑯⑯ものごとをやりとげる責任感やねばり強さ」で「とても高い」が55.2%となっており、前回の62.8%から7.6ポイント低くなっている。

図表3-19 学校教育以外（家庭や地域等）で身につけさせる必要性



図表3-20 学校教育以外（家庭や地域等）で身につけさせる必要性（令和2年度との比較）

		(%)					
		全体 (n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い	無回答
①教科の基礎的な学力	令和7年度	578	28.4	44.1	22.3	3.3	1.9
	令和2年度	1,052	28.3	50.2	19.5	2.0	
②基礎的な学力を活用する力	令和7年度	578	29.9	46.9	18.7	2.8	1.7
	令和2年度	1,047	32.2	49.4	17.2	1.2	
③自ら学ぼうとする意欲	令和7年度	578	48.4	37.2	11.6	1.2	1.6
	令和2年度	1,047	54.9	35.1	8.8	1.1	
④実践的な英語力と国際理解 実際の場面で使える英語力	令和7年度	578	27.3	38.6	26.3	5.9	1.9
	令和2年度	1,051	32.6	38.5	21.1	7.7	
⑤ICTを活用する力	令和7年度	578	24.7	40.1	28.4	4.8	1.9
	令和2年度	1,016	24.4	46.9	23.8	4.9	
⑥音楽・美術など芸術面の能力や情操	令和7年度	578	29.1	41.9	23.2	4.2	1.7
	令和2年度	1,055	25.4	45.1	25.9	3.6	
⑦体力や運動能力	令和7年度	578	34.9	44.3	17.5	1.6	1.7
	令和2年度	1,056	34.2	47.0	16.5	2.4	
⑧自分の健康を管理する力	令和7年度	578	61.9	28.0	7.3	0.9	1.9
	令和2年度	1,059	65.2	26.7	7.0	1.1	
⑨自分の進路や職業、将来について考える力 生き方や進路について考える力	令和7年度	578	56.1	31.3	9.7	1.0	1.9
	令和2年度	1,057	60.9	30.0	8.1	0.9	
⑩論理的にものを考える力	令和7年度	578	45.8	37.4	13.5	1.6	1.7
	令和2年度	1,053	46.4	41.4	11.7	0.5	
⑪自分の考えを表現する力	令和7年度	578	55.7	31.8	9.5	1.0	1.9
	令和2年度	1,058	57.4	33.0	9.0	0.7	
⑫ものごとを計画的に行う力	令和7年度	578	52.2	36.3	8.1	1.2	2.1
	令和2年度	1,058	56.9	33.0	9.5	0.7	
⑬新しいものを生み出す創造的な力	令和7年度	578	41.9	42.6	12.8	0.7	2.1
	令和2年度	1,054	46.2	39.2	13.9	0.7	
⑭善悪を判断する力	令和7年度	578	69.0	23.9	4.7	0.5	1.9
	令和2年度	1,061	73.7	20.9	5.0	0.4	
⑮人間関係を築く力	令和7年度	578	59.5	31.1	6.2	0.9	2.2
	令和2年度	1,059	61.4	31.8	6.3	0.5	
⑯他者を思いやる心	令和7年度	578	68.3	26.1	2.6	0.5	2.4
	令和2年度	-	-	-	-	-	
⑰社会で役立とうとする心や公共心	令和7年度	578	53.3	36.3	7.6	0.5	2.2
	令和2年度	1,057	57.7	32.2	9.6	0.5	
⑱郷土や国を愛する心	令和7年度	578	37.4	42.4	14.5	3.6	2.1
	令和2年度	1,062	39.1	41.2	18.2	1.5	
⑲ものごとをやりとげる責任感やねばり強さ ものごとをやりとげるねばり強さ	令和7年度	578	55.2	35.6	6.2	0.7	2.2
	令和2年度	1,060	62.8	27.9	8.6	0.7	
⑳人権を尊重する力	令和7年度	578	60.0	30.1	7.1	0.7	2.1
	令和2年度	1,058	65.4	27.3	6.9	0.4	
㉑基本的な生活習慣	令和7年度	578	70.1	22.0	5.2	0.5	2.2
	令和2年度	1,065	73.7	20.0	5.8	0.5	
㉒自分自身で社会や生活の場を良くしていこうとする当事者意識	令和7年度	578	57.3	32.7	6.6	1.2	2.2
	令和2年度	-	-	-	-	-	

※設問番号④⑨⑩については、令和2年度の設問文を記載しています。
 ※令和2年度にない設問文は「-」で表示しています。

学校教育と学校教育以外（家庭や地域等）で身につけさせる必要性の比較

- 学校教育と学校教育以外の場での必要性を比較すると、「⑩他者を思いやる心」「⑮人間関係を築く力」では、学校教育での必要性の『高い（とても高い+やや高い）』が90.1%、90.3%、学校教育以外での必要性の『高い』で94.4%、90.6%と、いずれも9割を超えている。
- 「⑥音楽・美術など芸術面の能力や情操」では、学校教育での必要性『低い（やや低い+とても低い）』で25.1%、学校教育以外での必要性の『低い』で27.4%と、いずれも25.0%を超えており、学校教育、学校教育以外の双方で比較的高くなっている。

図表3 - 21 学校教育と学校教育以外（家庭や地域等）で身につけさせる必要性の比較

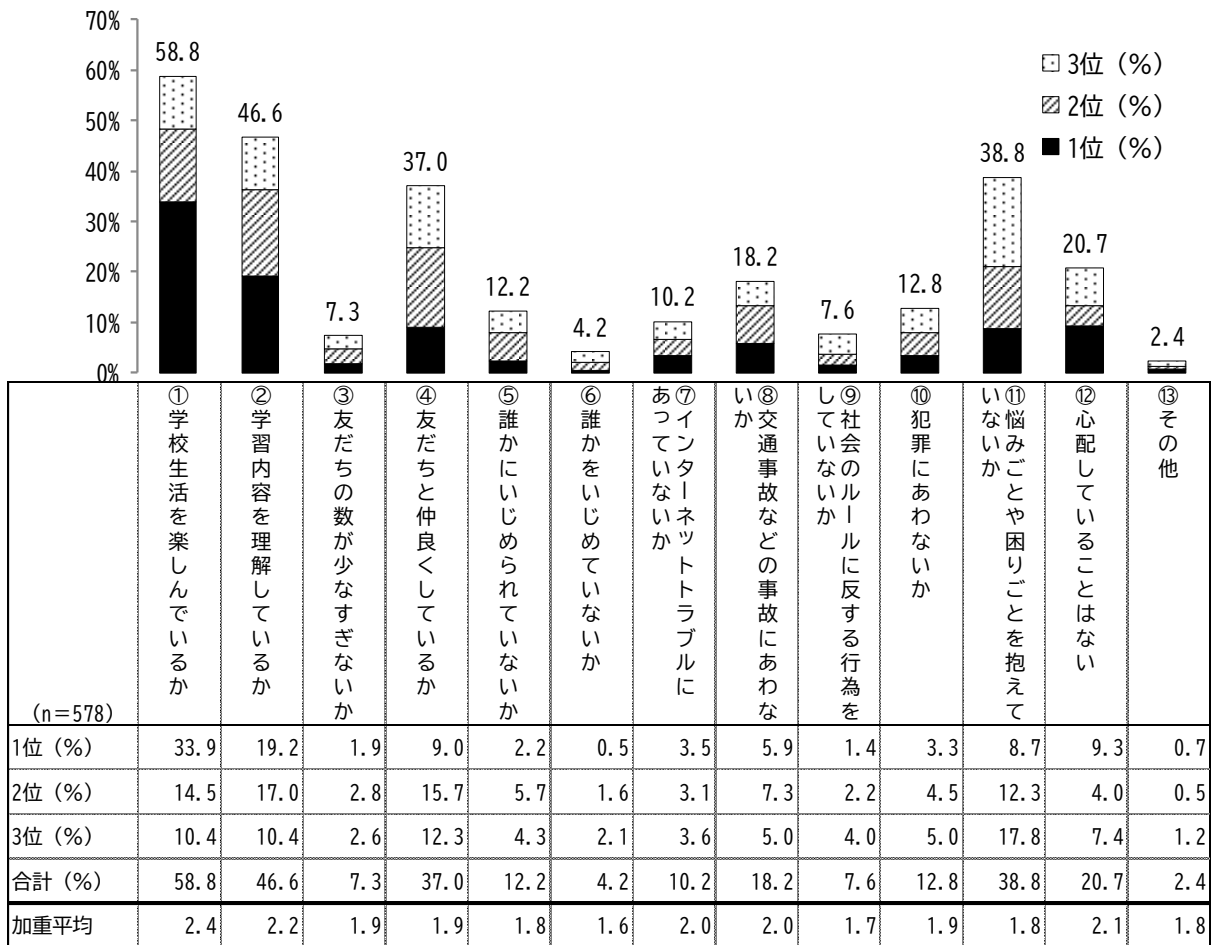
	学校教育		学校教育以外	
	「高い」 合計	「低い」 合計	「高い」 合計	「低い」 合計
(n=578)				
①教科の基礎的な学力	91.7	7.0	72.5	25.6
②基礎的な学力を活用する力	90.2	8.2	76.8	21.5
③自ら学ぼうとする意欲	85.1	12.8	85.6	12.8
④実践的な英語力と国際理解	76.3	21.6	65.9	32.2
⑤ICTを活用する力	82.0	15.7	64.8	33.2
⑥音楽・美術など芸術面の能力や情操	72.7	25.1	71.0	27.4
⑦体力や運動能力	80.1	17.8	79.2	19.1
⑧自分の健康を管理する力	72.0	25.8	89.9	8.2
⑨自分の進路や職業、将来について考える力	81.3	16.6	87.4	10.7
⑩論理的にものを考える力	83.2	14.7	83.2	15.1
⑪自分の考えを表現する力	87.2	10.9	87.5	10.5
⑫ものごとを計画的に行う力	86.4	11.9	88.5	9.3
⑬新しいものを生み出す創造的な力	78.7	19.7	84.5	13.5
⑭善悪を判断する力	88.2	10.2	92.9	5.2
⑮人間関係を築く力	90.3	8.5	90.6	7.1
⑯他者を思いやる心	90.1	8.2	94.4	3.1
⑰社会で役立とうとする心や公共心	87.4	10.9	89.6	8.1
⑱郷土や国を愛する心	75.1	23.0	79.8	18.1
⑲ものごとをやりとげる責任感やねばり強さ	85.2	13.0	90.8	6.9
⑳人権を尊重する力	88.6	9.9	90.1	7.8
㉑基本的な生活習慣	75.5	22.9	92.1	5.7
㉒自分自身で社会や生活の場を良くしていこうとする当事者意識	81.3	16.4	90.0	7.8

3. 相談や支援に関すること

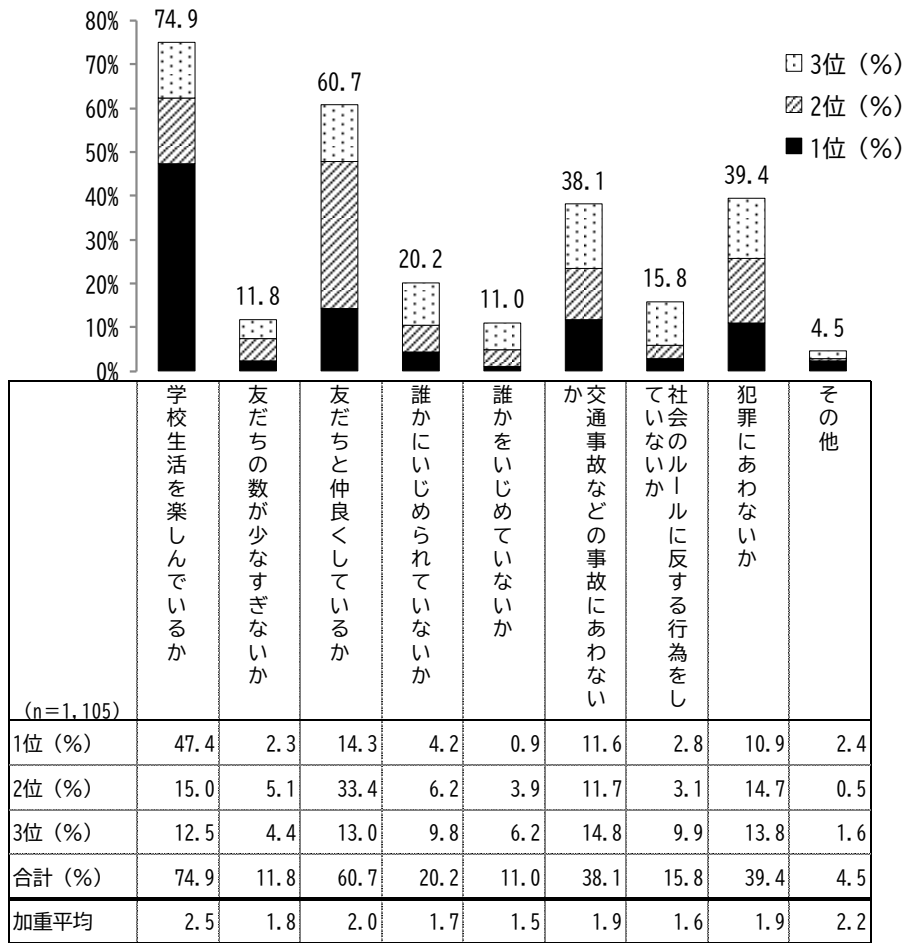
(1) こどもの生活で心配なこと（1位～3位を選択）（問14）……………

- こどもの生活の中で、現在、心配していることの1位～3位の合計比率では、「①学校生活を楽しんでいるか」が58.8%で最も高く、次いで「②学習内容を理解しているか」が46.6%、「⑪悩みごとや困りごとを抱えていないか」で38.8%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、選択肢数が異なるが、「⑩犯罪にあわないか」が12.8%となっており、前回の39.4%と比較し26.6ポイント低くなっている。
- 「その他」では、「困りごとを先生に話せているか」「夏場の校内が暑いこと」「運動をしていないこと」などがあつた。

図表3-22 こどもの生活で心配なこと（令和7年度）



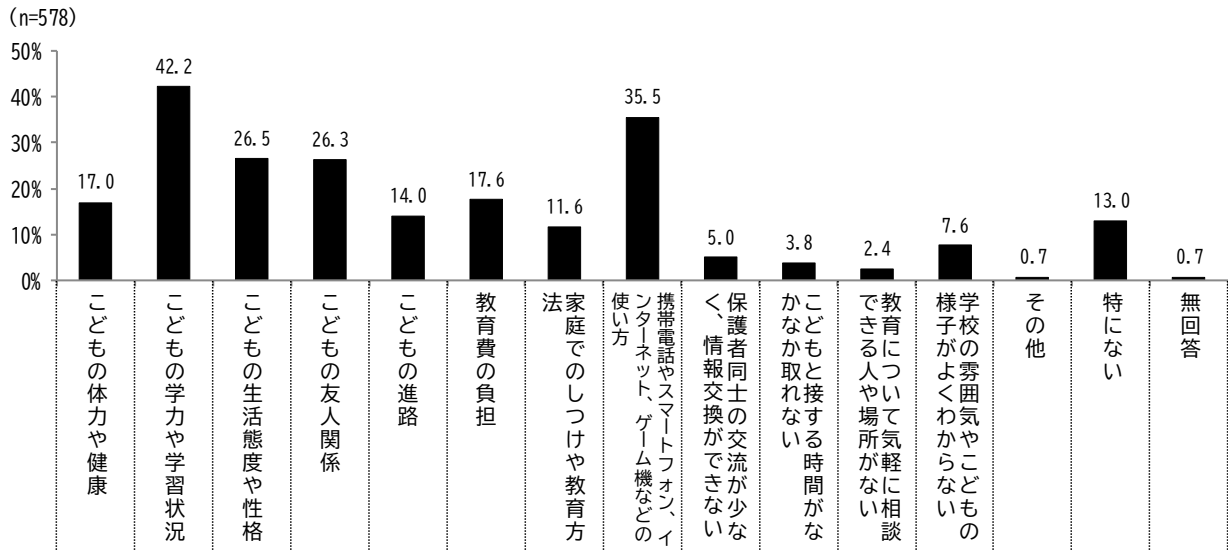
図表3-23 こどもの生活で心配なこと（令和2年度）



(2) こどもの教育で困っていること（複数選択）（問20）

- こどもの教育について困っていること、悩んでいることでは「こどもの学力や学習状況」が42.2%で最も高く、次いで「携帯電話やスマートフォン、インターネット、ゲーム機などの使い方」が35.5%、「こどもの生活態度や性格」が26.5%となっている。一方、「特にない」は、13.0%となっている。
- 「その他」では、「県立中学受験などの情報が得られる場所が少ない」「不登校の状態にあること」などがあつた。

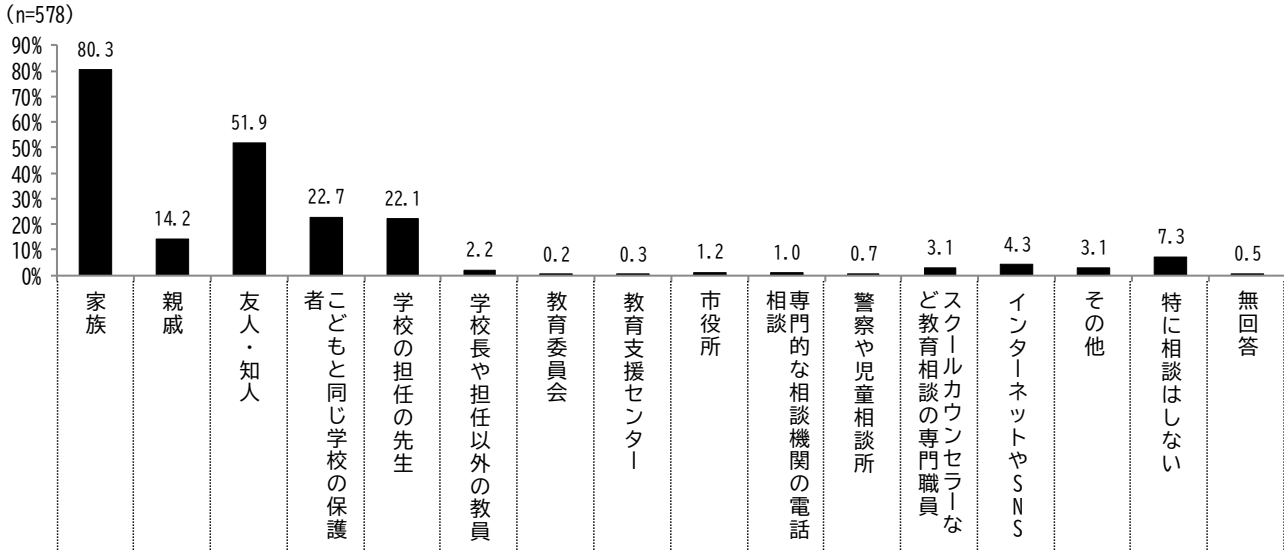
図表3-24 こどもの教育で困っていること



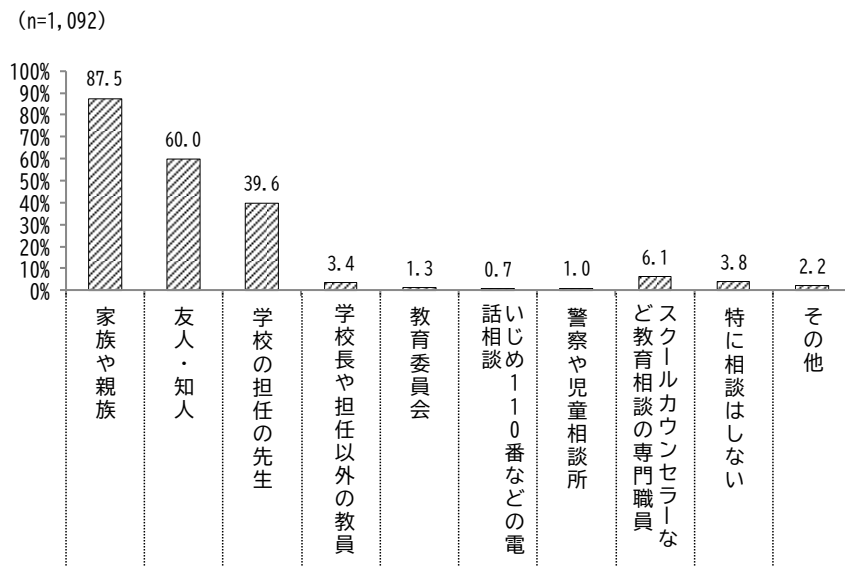
(3) こどものことで悩んだ場合の相談先（複数選択）（問21）……………

- こどもの教育で困ったり悩んだりしていることの相談先では、「家族」が80.3%で最も高く、次いで「友人・知人」が51.9%、「子どもと同じ学校の保護者」が22.7%となっている。一方、「特に相談はしない」は7.3%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、選択肢数が異なるが、「学校の担任の先生」が22.1%となっており、前回の39.6%と比較し17.5ポイント低くなっている。
- 「その他」では、「職場の同僚」「放課後等デイサービスの職員」「塾の先生」などがあつた。

図表3-25 こどものことで悩んだ場合の相談先（令和7年度）



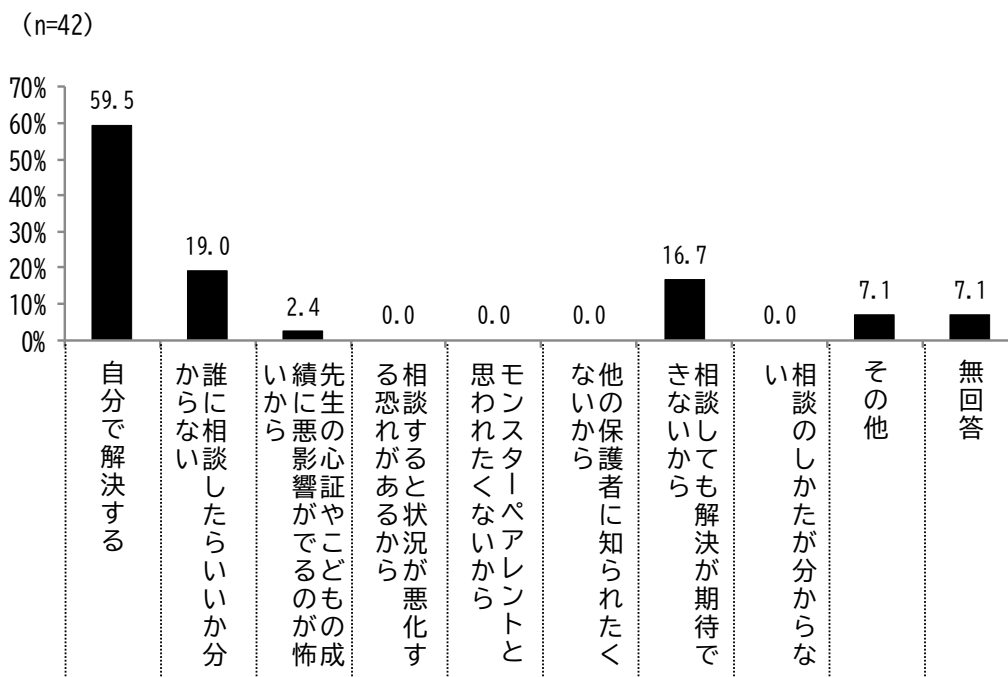
図表3-26 こどものことで悩んだ場合の相談先（令和2年度）



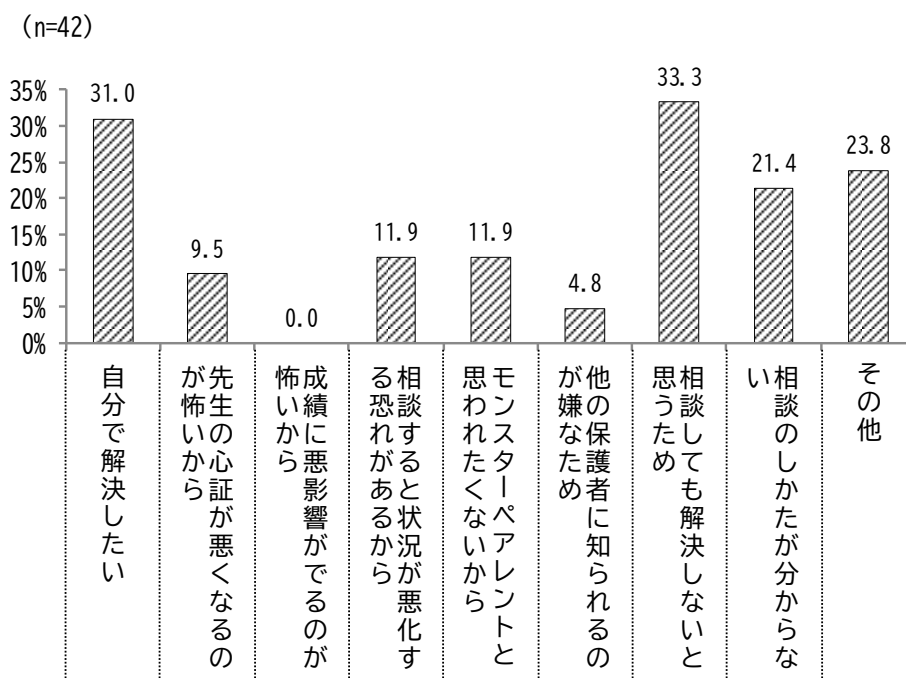
(4) 「特に相談はしない」理由（複数選択）（問 21-1）

- こどもの教育で困ったり、悩んだりしていることを相談しない理由では、「自分で解決する」が59.5%で最も高く、次いで「誰に相談したらいいかわからない」が19.0%、「相談しても解決が期待できないから」が16.7%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、選択肢数が異なるが、「自分で解決する」が59.5%で前回の31.0%から、28.5ポイント高くなっている。また、「相談しても解決が期待できないから」が16.7%となっており、前回の33.3%と比較し16.6ポイント低くなっている。

図表3-27 「特に相談はしない」理由（令和7年度）



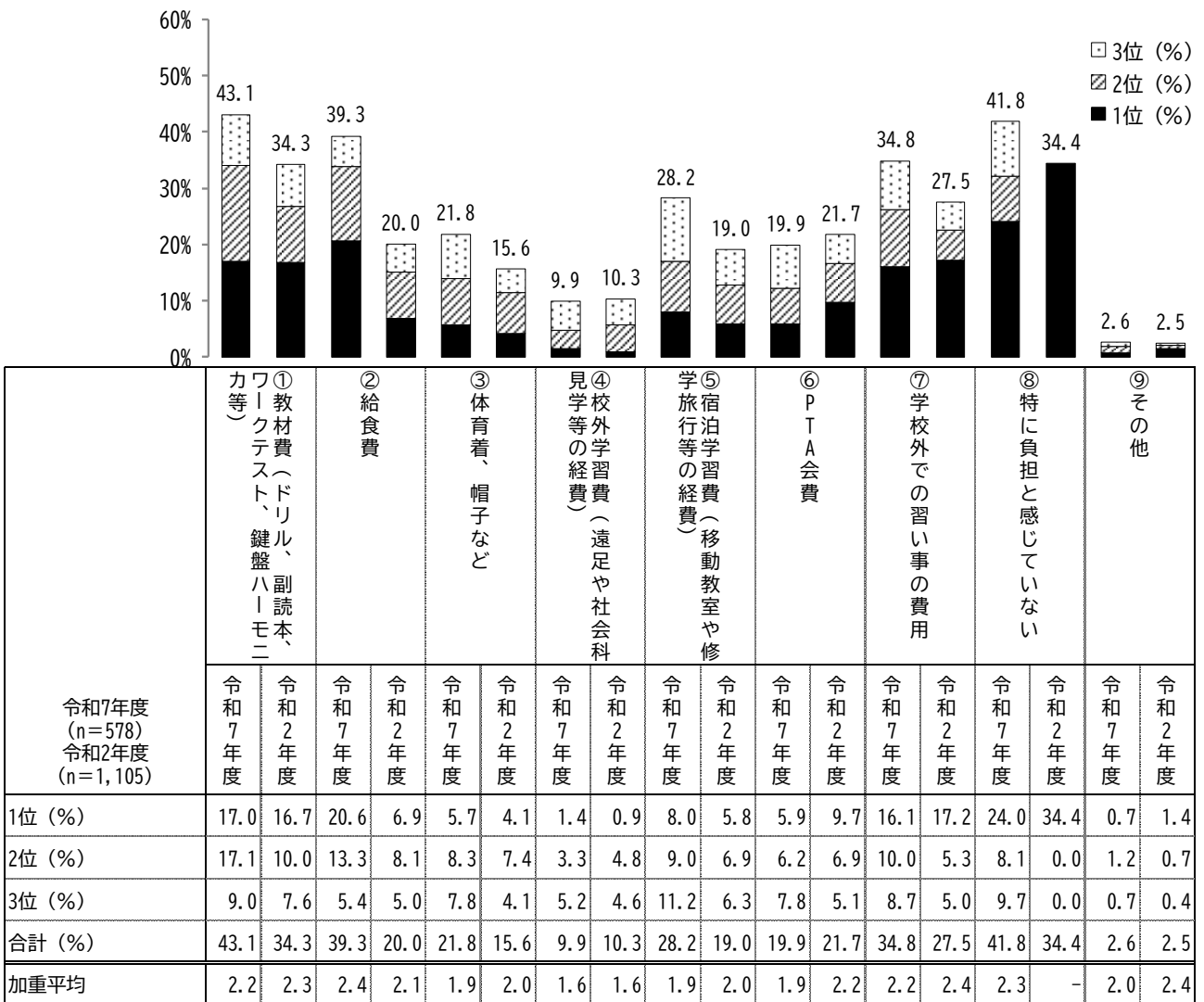
図表3-28 「特に相談はしない」理由（令和2年度）



(5) 学校関連費用で負担だと感じる事項（1位～3位を選択）（問17）……………

- こどもの学校関連費用の負担感の1位～3位の合計比率では、「①教材費（ドリル、副読本、ワークテスト、鍵盤ハーモニカ等）」が43.1%で最も高く、次いで「②給食費」が39.3%、「⑦学校外での習い事の費用」が34.8%となっている。一方、「⑧特に負担と感じていない」が41.8%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、「②給食費」が39.3%となっており、前回の20.0%と比較し19.3ポイント高くなっている。
- 「その他」では、「式服」「ランドセル」「中学校進学時の制服」などがあつた。

図表3-29 学校関連費用で負担だと感じる事項（令和2年度との比較）



- 主な養育者の就労状況別の学校関連費用の負担を感じる項目では、回答者数が大きく異なるため5人未満の回答を除くと、「両親のうち『母親のみ』が就労している」で「⑧特に負担と感じていない」が57.1%と最も高く、次いで、「両親のうち『父親のみ』が就労している」で「①教材費（ドリル・副読本・ワークテスト・鍵盤ハーモニカ等）」が52.6%となっている。
- 「両親のうち『父親のみ』が就労している」では、「③体育着、帽子など」が31.6%、「ひとり親（母親）で就労している」では「⑦学校外での習い事の費用」が41.3%で、他の世帯よりもやや高くなっている。

図表3-30 学校関連費用で負担だと感じる事項（主な養育者の就労状況別）

		全体 (n)	①教材費 (ドリル、副読本、 ワークテスト、 鍵盤ハーモニカ等)	②給食費	③体育着、 帽子など	④校外学習費 (遠足や社会科見学 等の経費)	⑤宿泊学習費 (移動教室や修学旅 行等の経費)	⑥PTA会費	⑦学校外での 習い事の費用	⑧特に負担と 感じていない	⑨その他
令和7年度		578	43.1	39.3	21.8	9.9	28.2	19.9	34.8	41.8	2.6
養育者の 就労状況	両親が就労している	278	39.2	42.1	19.8	8.3	28.8	19.8	36.7	21.2	1.8
	両親のうち「父親のみ」が就労している	57	52.6	49.1	31.6	14.0	28.1	12.3	29.8	21.1	3.5
	両親のうち「母親のみ」が就労している	7	28.6	28.6	-	-	-	14.3	14.3	57.1	-
	両親がともに就労していない	1	-	100.0	-	-	-	100.0	100.0	-	-
	ひとり親（父親）で就労している	69	44.9	37.7	14.5	11.6	31.9	24.6	31.9	17.4	4.3
	ひとり親（母親）で就労している	121	48.8	32.2	26.4	9.9	26.4	21.5	41.3	14.9	2.5
	ひとり親（父親または母親）で就労していない	28	50.0	39.3	21.4	14.3	32.1	21.4	17.9	21.4	3.6
	祖父母（のみ）で就労している	2	50.0	50.0	100.0	50.0	50.0	-	-	-	-
	祖父母（のみ）で就労していない	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-

沖縄県調査との比較

- ・ 沖縄こども調査と比較すると、選択肢が異なる点に留意が必要だが、「給食費」では、沖縄県が41.2%、本市が39.3%で同水準となっている。
- ・ 「特にない/特に負担と感じていない」では、沖縄県の7.1%に対し、本市が41.8%で34.7ポイント高くなっている。

図表3-31 学校関連費用で負担だと感じる事項（沖縄県調査との比較）

		(%)																								
学校関連費用で負担だと感じる事項	対象	全体 (n)	教材費(ドリル、副読本、ワークテス ト、鍵盤ハーモニカ等)	給食費	体育着、帽子など	校外学習費(遠足や社会科見学等の経費)	宿泊学習費(移動教室や修学旅行等の経費)	PTA会費	学校外での習い事の費用	特に負担と感じていない	その他															
		沖縄市	578	43.1	39.3	21.8	9.9	28.2	19.9	34.8	41.8	2.6	無回答	その他(上ばきなど)	特にない	交通費・通学用自転車等(定期券、スクールバス代、自転車購入・維持費など)	楽器購入費(音楽授業で使用するリコーダー、ハーモニカなど)	制服(学校が通学のために指定した制服・学生服など)	学用品費(授業で使用する筆記用具、絵・習字道具など文房具類)	通学用品費(ランドセル、かばん、通学用くつなど)	教科外活動費(クラブ活動・学芸会などのために買った用具・物品など)	PTA会費	宿泊学習費(自然教室、修学旅行など)	実験実習費(材料含む、授業で使用する製図用具、裁縫用具、調理用材料など)	靴、体育用品費(体育授業で使用する運動靴、体育着、体育帽、水泳着など)	給食費
学校教育費のなかで経済的負担が大きいもの	対象	1,841	14.7	41.2	40.2	6.1	28.5	16.2	12.5	32.3	32.1	16.5	6.8	3.3	7.1	10.4	1.0									

出典：沖縄県「令和6年度沖縄こども調査(小中学生調査)」

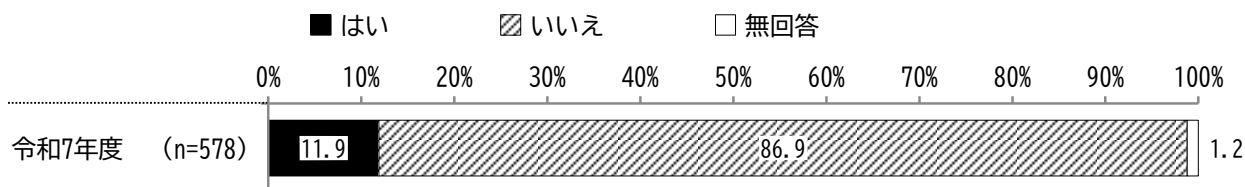
※沖縄県調査は小学5年生保護者の回答

(6) こどもの学校生活に必要なものの用意

必要なものの用意ができなかったことの有無 (問 18)

- こどもの学校生活に必要な物品を十分に用意ができなかったことがあるかでは、「いいえ」が86.9%、「はい」が11.9%となっている。

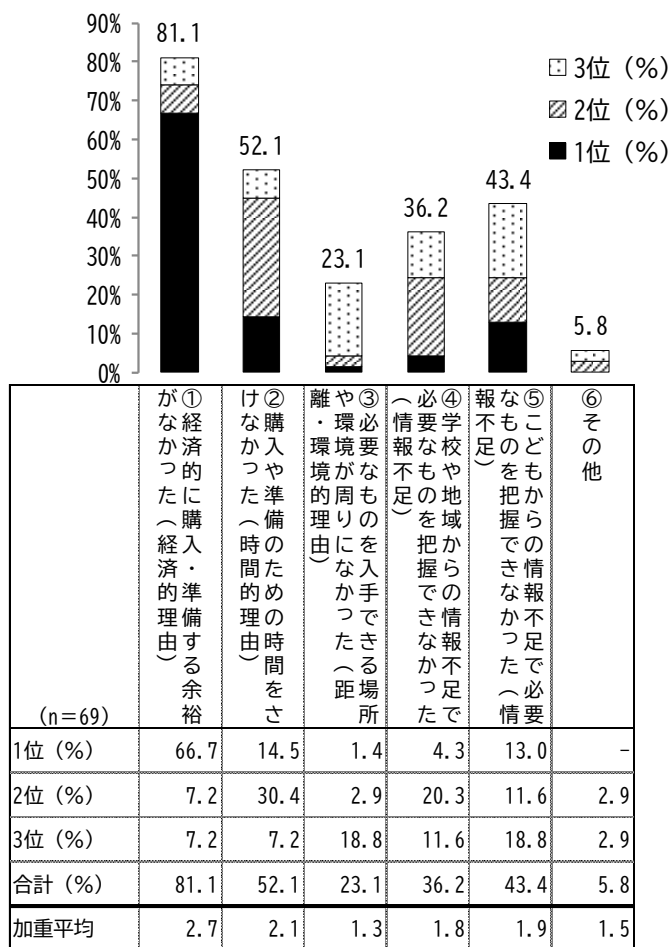
図表3-32 必要なものの用意ができなかったことの有無



必要なものが用意できなかった理由 (1位~3位を選択) (問 18-1)

- 必要なものが用意できなかった理由の1位~3位の合計比率では、「①経済的に購入・準備する余裕がなかった (経済的理由)」が81.1%で最も高く、次いで「②購入や準備のための時間をさけなかった (時間的理由)」が52.1%、「⑤子どもからの情報不足で必要なものを把握できなかった (情報不足)」で43.4%となっている。

図表3-33 必要なものが用意できなかった理由

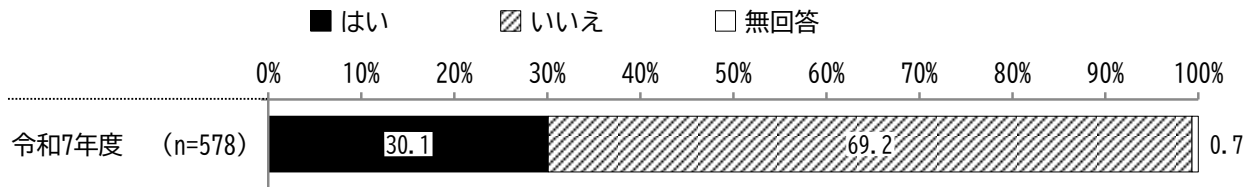


(7) 学びの機会の制限経験

こどもの学びの機会を制限せざるを得なかったことの有無 (問 19)

- こどもが希望する塾や習い事、家庭学習などの学びを制限したことがあるかでは、「いいえ」が69.2%、「はい」が30.1%となっている。

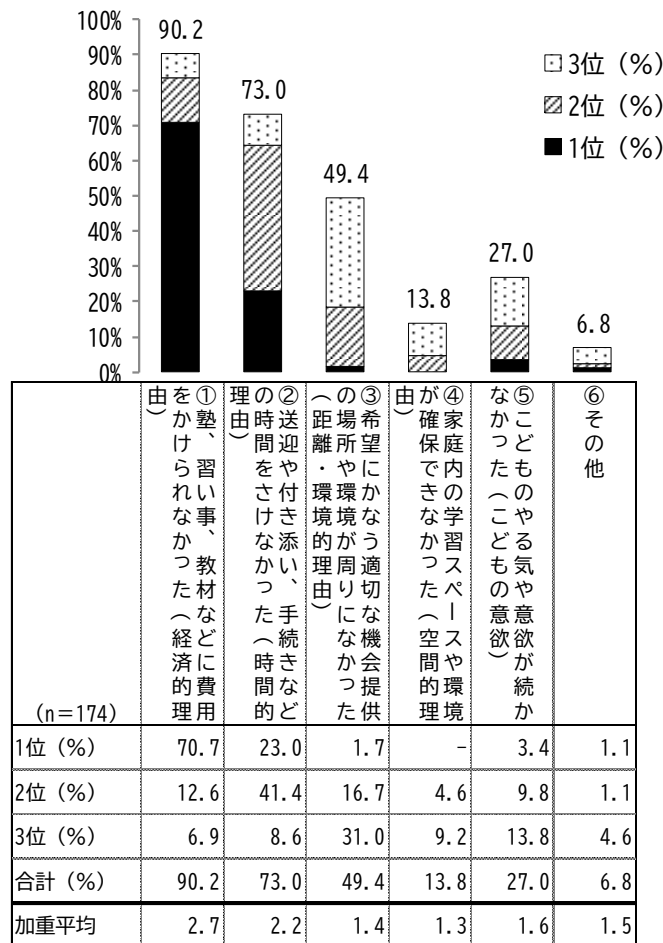
図表3-34 学びの機会の制限の有無



学びの機会の制限の理由 (1位~3位を選択) (問 19-1)

- 学びの機会を制限せざるを得なかった理由の1位~3位の合計比率では、「①塾、習い事、教材などに費用をかけられなかった(経済的理由)」が90.2%で最も高く、次いで「②送迎や付き添い、手続きなどの時間をさけなかった(時間的理由)」が73.0%、「③希望にかなう適切な機会提供の場所や環境が周りになかった(距離・環境的理由)」が49.4%となっている。
- 「その他」では、「親が関わる時間がとれない」などがあつた。

図表3-35 学びの機会の制限の理由

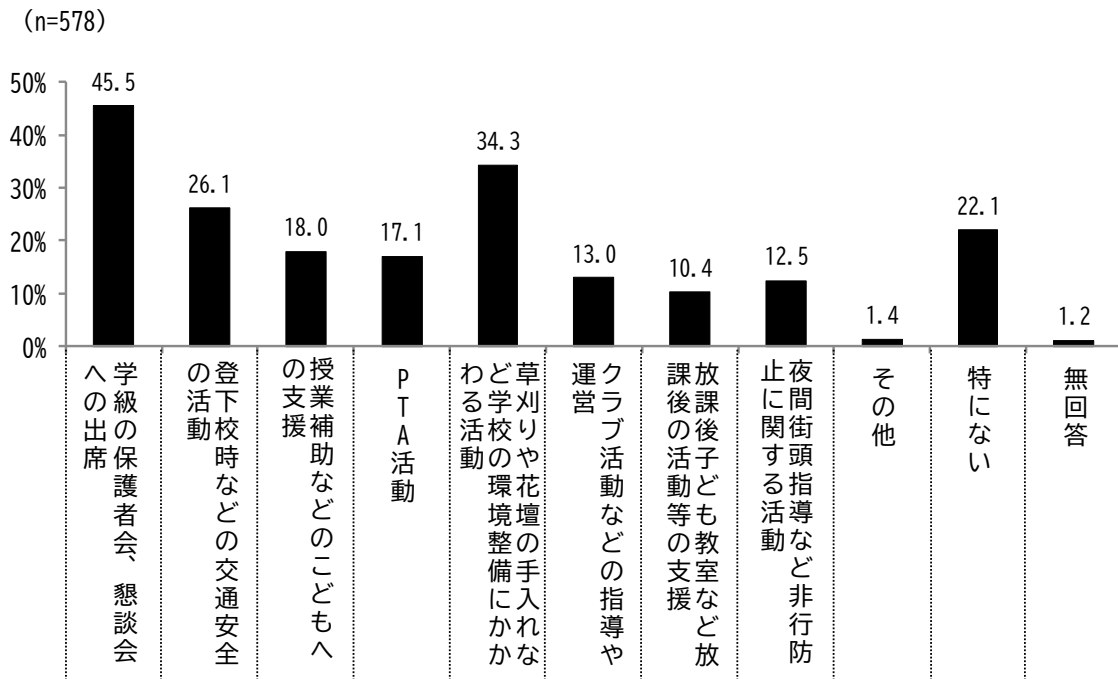


4. 学校と家庭、地域の連携・協働に関すること

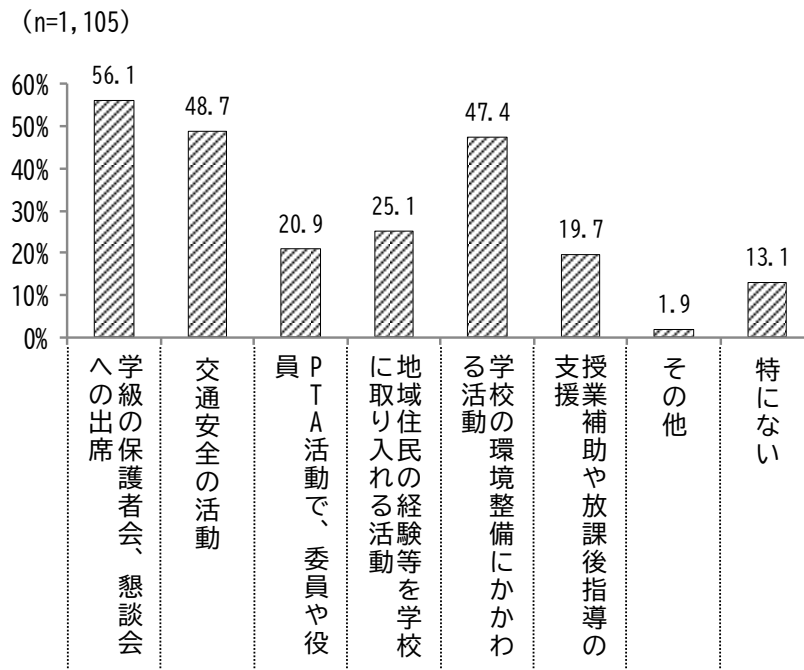
(1) 学校の取組・活動への協力の意向（複数選択）（問4）

- こどもの通う学校と協力したり、参加したりしても良いと思うことでは、「学級の保護者会、懇談会への出席」が45.5%で最も高く、次いで「草刈りや花壇の手入れなど学校の環境整備にかかわる活動」が34.3%、「登下校時などの交通安全の活動」が26.1%となっている。「特にない」は22.1%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、「登下校時などの交通安全の活動」が26.1%となっており、前回の「交通安全の活動」48.7%と比較し22.6ポイント低くなっている。
- 「その他」では、「家庭科など多くの大人の手があると助かる授業」などがあつた。

図表3-36 学校の取組・活動への協力の意向（令和7年度）



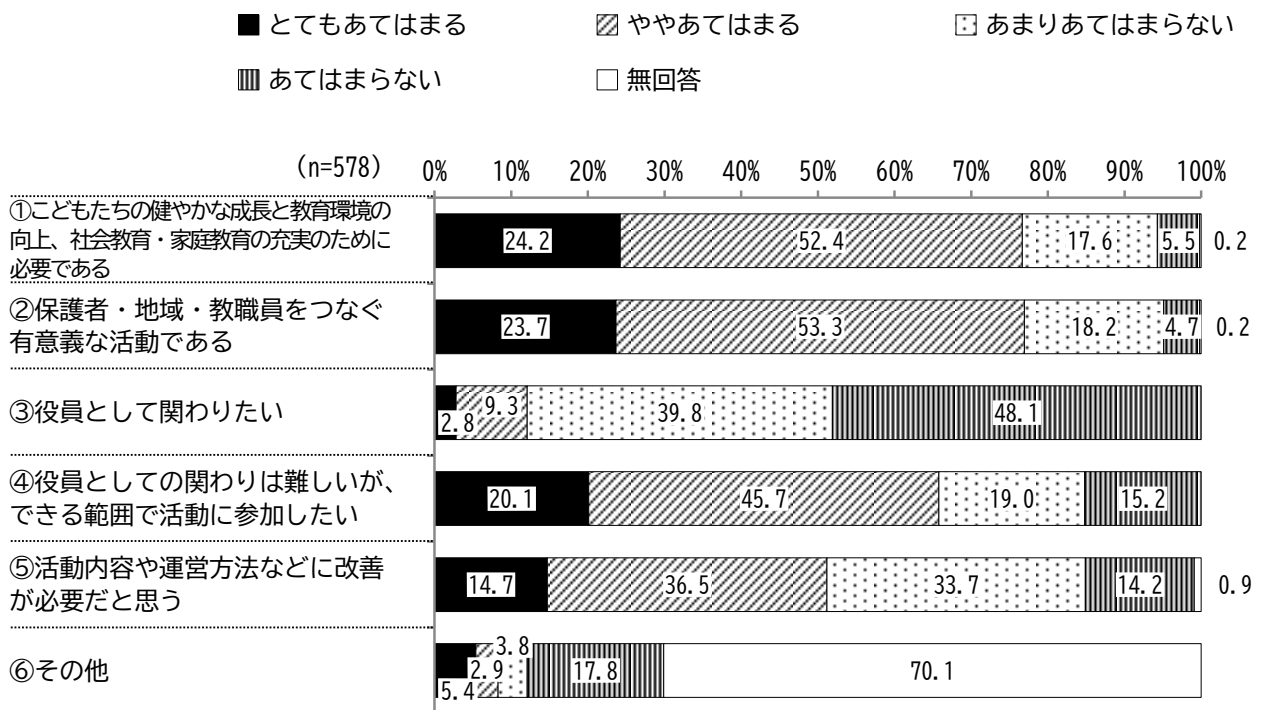
図表3-37 学校の取組・活動への協力の意向（令和2年度）※1位～3位の合計比率



(2) PTA (PTCA) 活動 (問5)

- PTA (PTCA) 活動に対する考えとして「とてもあてはまる」では、「①こどもたちの健やかな成長と教育環境の向上、社会教育・家庭教育の充実のために必要である」が24.2%で最も高く、次いで「②保護者・地域・教職員をつなぐ有意義な活動である」が23.7%、「④役員としての関わりは難しいが、できる範囲で活動に参加したい」が20.1%となっている。
- 「あてはまらない」では、「③役員として関わりたい」が48.1%で最も高く、次いで「④役員としての関わりは難しいが、できる範囲で活動に参加したい」が15.2%、「⑤活動内容や運営方法などに改善が必要だと思う」が14.2%となっている。
- 「その他」では、PTA 役員や積極的に参加している人への感謝がある一方で、PTA の必要性や活動の縮小・廃止、活動内容の周知不足、参加したくてもできない家庭事情などがあつた。

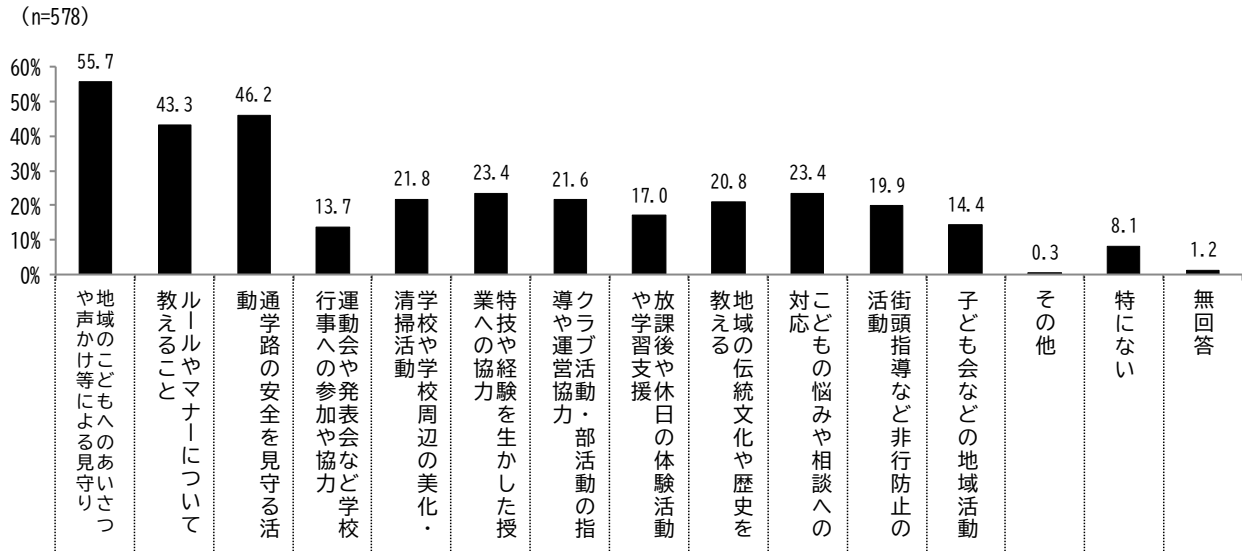
図表3-38 PTA (PTCA) 活動



(3) 地域の役割・取組（複数選択）（問22）

- こどもの教育環境の充実を図るために、地域の役割として取り組んでほしいことについては、「地域の子どもへのあいさつや声かけ等による見守り」が55.7%で最も高く、次いで「通学路の安全を見守る活動」が46.2%、「ルールやマナーについて教えること」が43.3%となっている。「特にない」は8.1%となっている。

図表3-39 地域の役割・取組

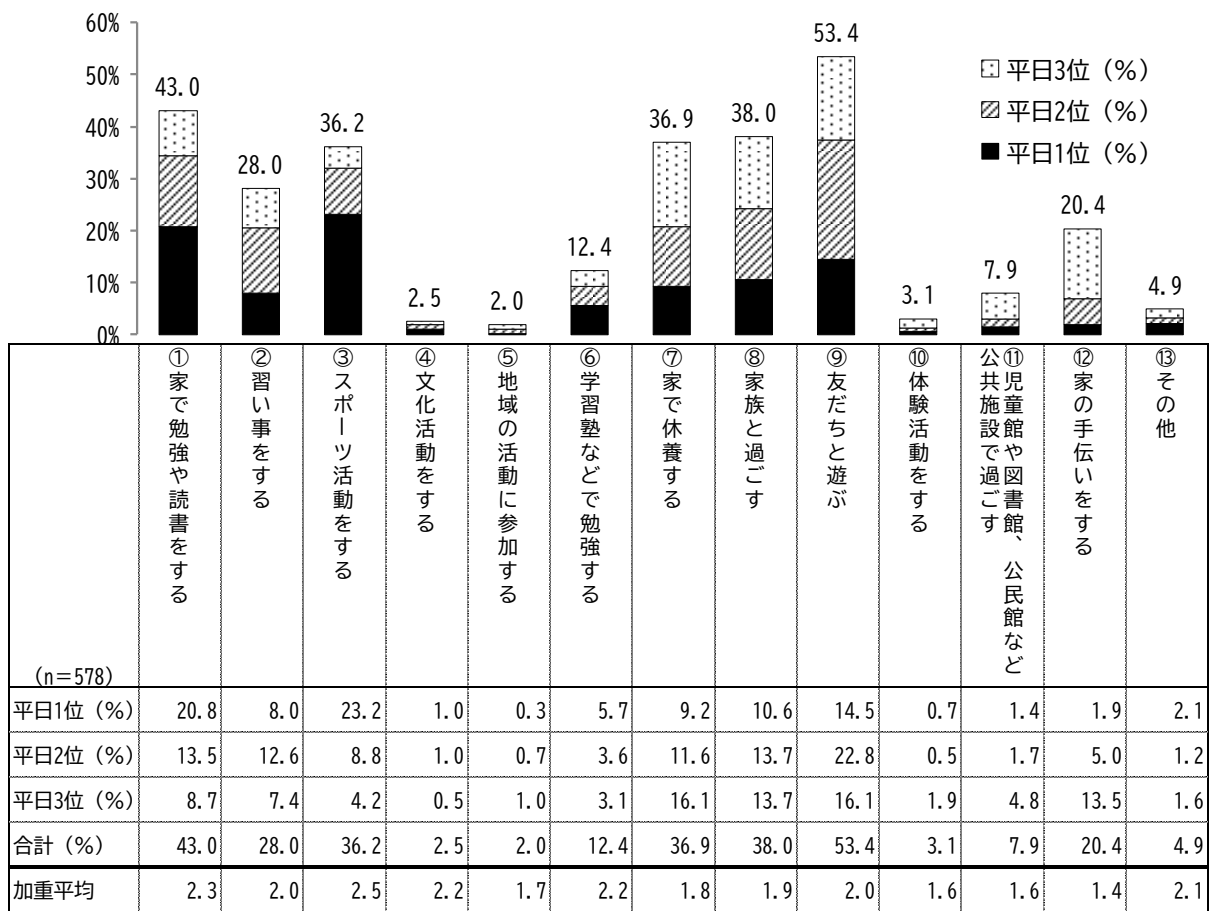


5. 青少年の健全育成に関すること

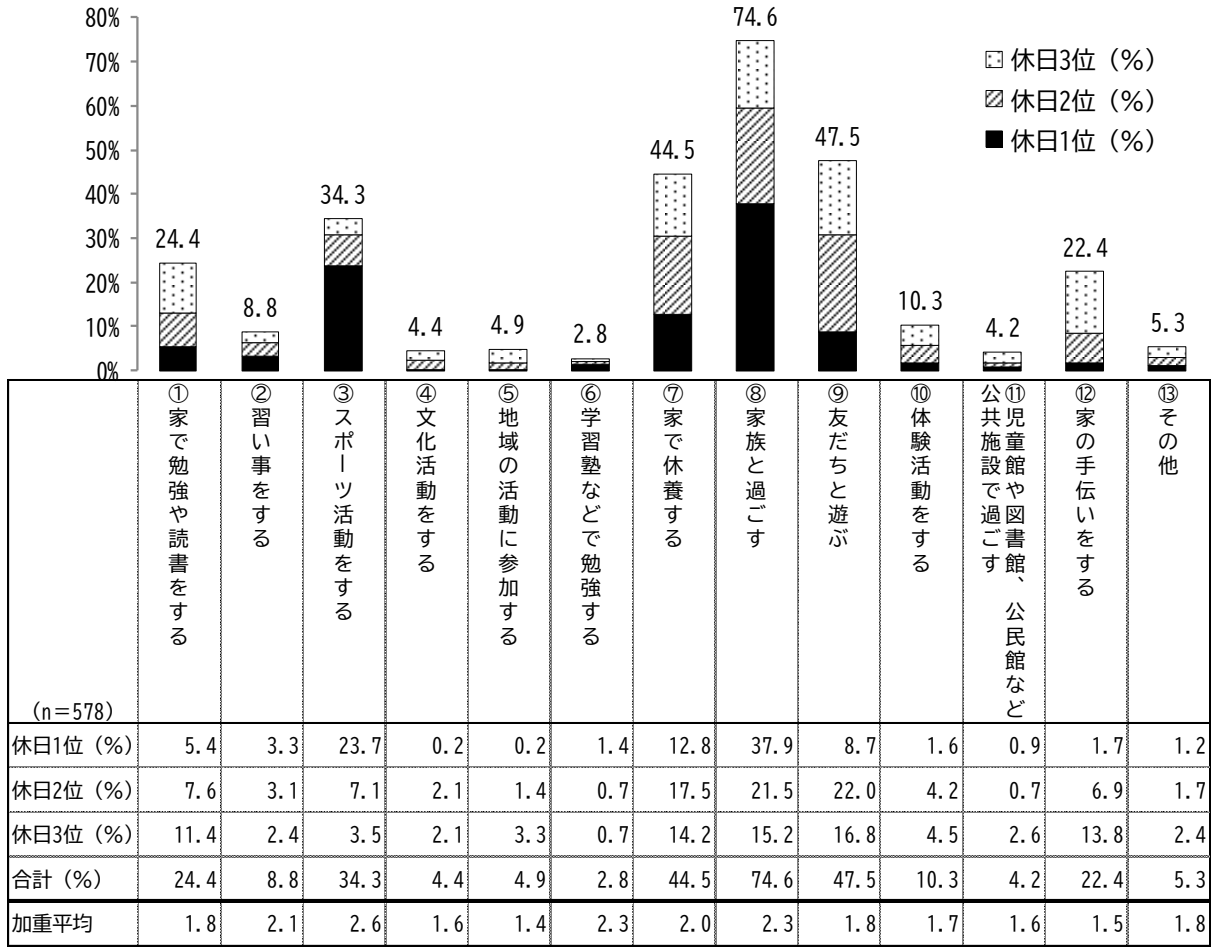
(1) 平日と休日の望ましい過ごし方（1位～3位を選択）（問13）……………

- 平日の望ましい過ごし方の1位～3位の合計比率では、「⑨友だちと遊ぶ」が53.4%で最も高く、次いで「①家で勉強や読書をする」が43.0%、「⑧家族と過ごす」が38.0%となっている。
- 休日の望ましい過ごし方の1位～3位の合計比率では、「⑧家族と過ごす」が74.6%で最も高く、次いで「⑨友だちと遊ぶ」が47.5%、「⑦家で休養する」が44.5%となっている。
- 平日と休日を比較すると、「⑧家族と過ごす」が「平日」が38.0%で、「休日」の74.6%と比較し、36.6ポイント低く、最も差が大きくなっている。
- 「その他」では、「家でゲームやYouTubeを観て過ごす」が多く、平日は「学童で過ごす」、休日は「家族で外出する」などがあつた。

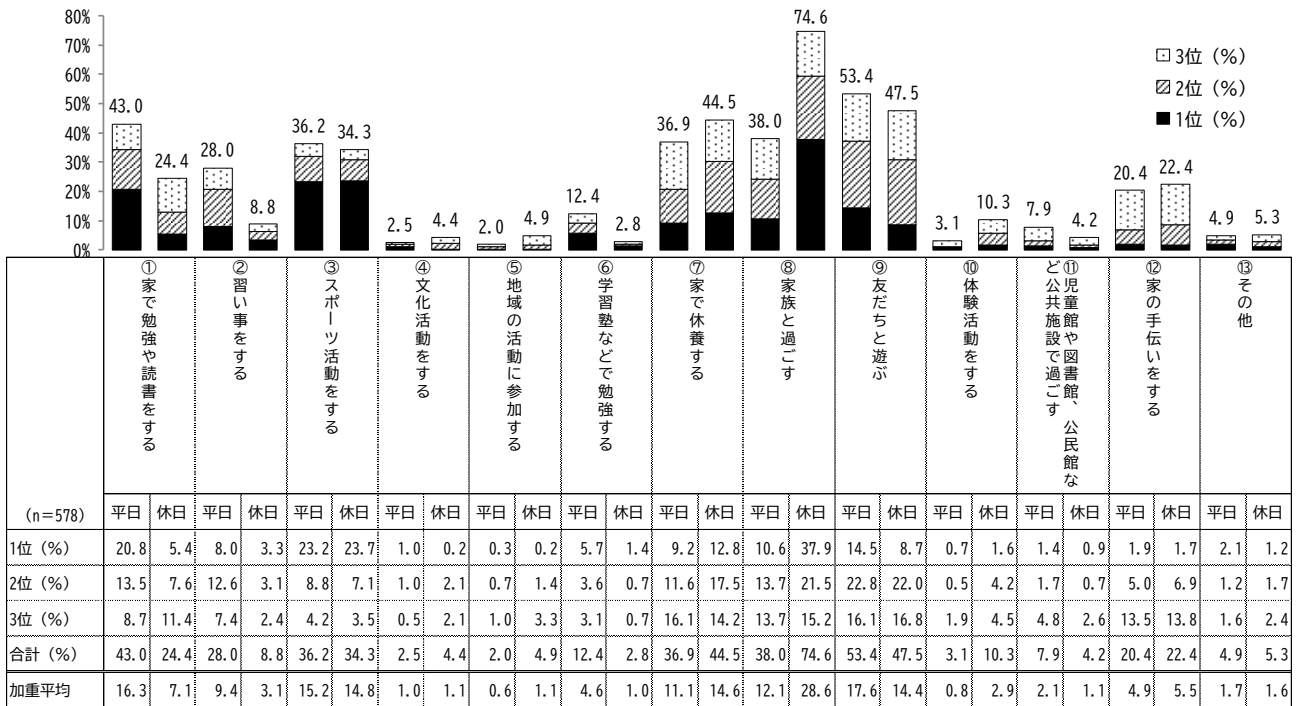
図表3-40 望ましい過ごし方（平日）



図表3-41 望ましい過ごし方（休日）



図表3-42 望ましい過ごし方（平日と休日との比較）

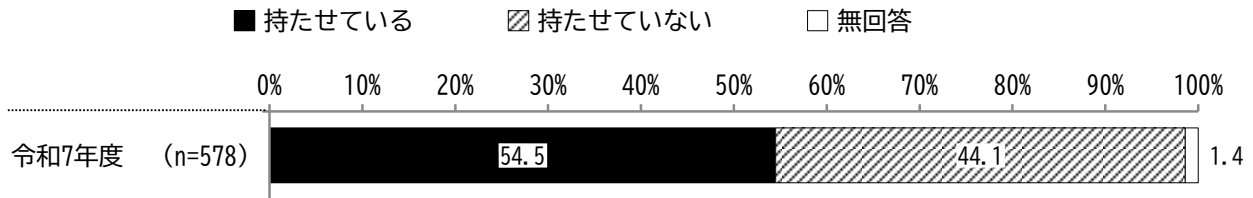


6. スマートフォンに関すること

(1) スマートフォンの保有（問 15）

- こども専用のスマートフォンや携帯電話保有の有無では、「持たせている」が54.5%、「持たせていない」が44.1%となっている。

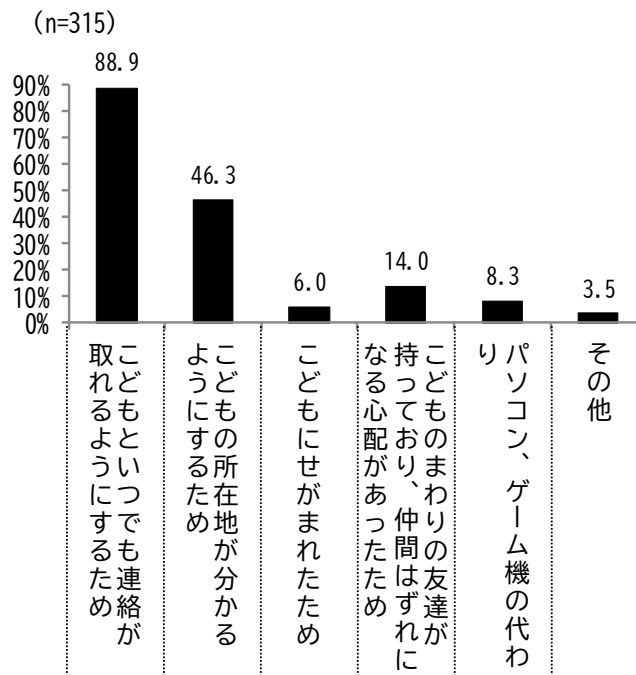
図表3-43 こどものスマートフォンの保有



(2) 持たせている理由（複数選択）（問 15-1）

- こども専用のスマートフォン等を持たせている理由では、「こどもといつでも連絡が取れるようにするため」が88.9%で最も高く、次いで「こどもの所在地が分かるようにするため」が46.3%、「こどものまわりの友達が持っており、仲間はずれになる心配があったため」が14.0%となっている。
- 「その他」では、「親の管理ができるうちにスマートフォンの使い方を教えるため」「固定電話が無いため」などがあつた。

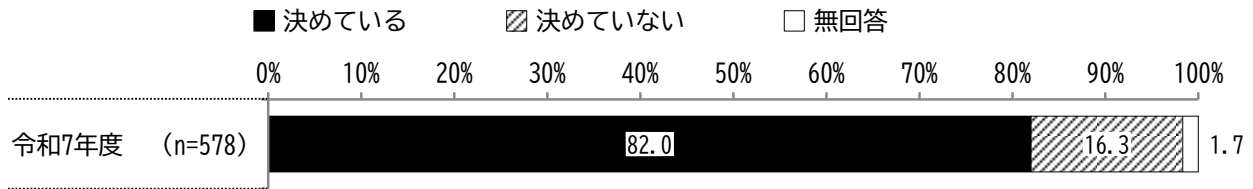
図表3-44 スマートフォン等を持たせている理由



(3) スマートフォン等の利用ルールの有無 (問 16)

- こどもがスマートフォンやインターネットを利用するときのルールでは、「決めている」が82.0%、「決めていない」が16.3%となっている。

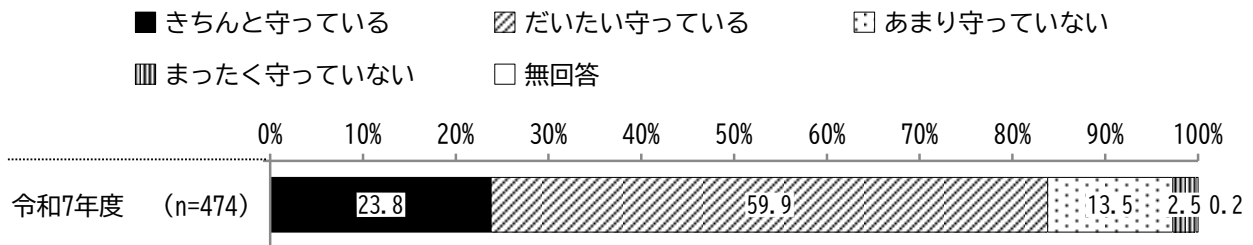
図表3-45 スマートフォン等の利用ルールの有無



(4) ルールの順守状況 (問 16-1)

- スマートフォン等の利用ルールについて「だいたい守っている」が59.9%、「きちんと守っている」が23.8%となっている。

図表3-46 ルールの順守状況



7. 自由意見（小学6年生保護者）

(1) 沖縄市の教育に関するご意見（問23）

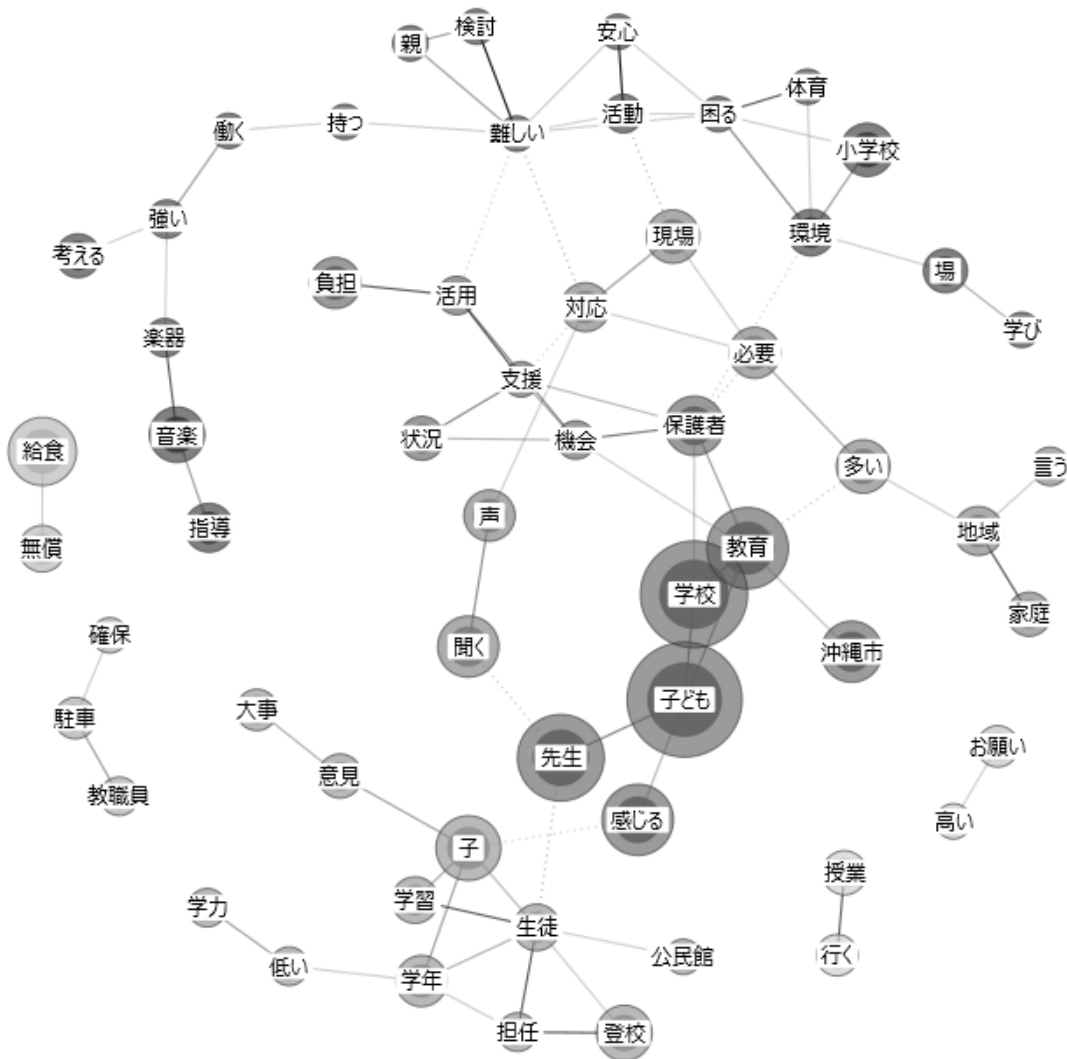
<テキストマイニングによる共起ネットワーク>

沖縄市の教育に関する自由記述回答の頻出単語を図のように整理した。

【特徴となるポイント】

- 「保護者」と「支援」「機会」「活用」「負担」「対応」が接近しており、保護者の視点から支援の必要性や提供体制などについて述べられていると推察される。
- 「小学校」と「環境」「困る」「活動」「安心」「難しい」が接続しており、学校現場で安心して活動できる環境や対応の必要性や難しさなどについて述べられていると推察される。
- 「給食」「無償」や「教職員」「駐車」「確保」が独立して存在しており、給食の費用や教職員の駐車に関する制度などについての言及がみられる。

図表3-47 自由意見（共起ネットワーク）

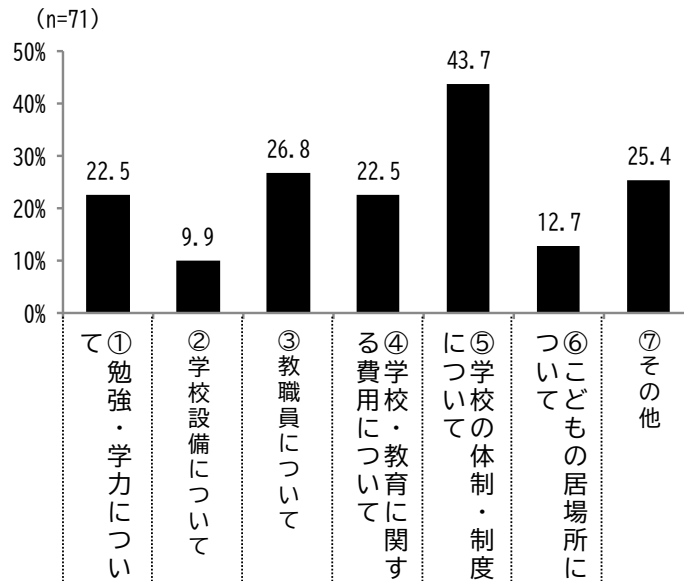


※出現回数の多い語ほど、大きい円で表示している
 ※円の距離が近いほど、その単語同士が近い抽出語彙を示す
 ※円と円を結ぶ線については、共起の強弱を表し、関連が強い語と語を結ぶほど濃くなる

<カテゴリ分類>

- 回答があった71件の内容を以下の7項目に分類し、主な意見の一部を掲載している。

図表3-48 自由意見（カテゴリ分類）



※1件の中に複数のカテゴリにまたがる回答もあるため、件数は71件より多く、割合の合計は100%を超えている。

カテゴリ	件数	主な意見（原則、原文を掲載）
①勉強・学力について	16	学力テストの結果を見ればわかるかと思いますが、全体的に学力が低いと感じています。どうにか学力を上げて欲しい。
		フィンランドなどの学校教育を取り入れて欲しい。もっと外部講師、保護者を講師などと呼んで、色々な大人の声を聞く機会を増やして欲しい。
②学校設備について	7	小学校の体育館を子供のスポーツで習わせています。使わせていただくだけでありがたいですが、カーテンが外れてぐちゃぐちゃだったり、古くてちぎれていたり、壊れた扇風機がそのまま放置されていたり、モップから悪臭が漂ったり、掃除がされていなく無法地帯みたいな箇所もあるので、大変かと思いますが、見たときに子供たちがそれでいいんだと当たり前にならないように、早急に対策してもらえたらよりよい環境や学びの場になるのかなと思います。
		タブレット支給でICTを強化していますが、まだ低学年の子ども達には扱いに関して心配です。実際に娘が小さな破損をしてしまいました。あらかじめこういうことの手配が無いようにタブレットケースをつけることを望みます。または推奨するよう声かけがあればいいと思います。

Ⅱ 本調査の結果 第3章 小学6年生保護者の調査結果

カテゴリ	件数	主な意見（原則、原文を掲載）
③教職員について	19	<p>沖縄市に限らず、教員の不祥事や教育委員会関係者の不適切な行動など報道があります。このアンケートは学校と家庭と地域の役割や取り組みの改善に活かされると思いますが、やはり教育は教える側の質が大事だと思います。沖縄市の教育に関しての意見と言いますが、学習指導要領で定められていますので、きちんと要領に沿って教育にあたっただけだと思います。子供からは習ってない、教えてもらえなかったとの声があります。</p> <p>子どもが学校に行くことをとても楽しみにしていることは、先生方のおかげだと感謝しております。一方で、保幼小中連携が重要とされている中、小学校など教職員の働き方改革が進んでいるかと思いますが、幼稚園は園運営に不安定さを感じます。次年度から子どもの実態を無視した慣らし保育期間がない保育が始まろうとしているようです。保育園や小学校1年生も1月は慣らし（午前授業、補食対応）をしている中、幼稚園のみ慣らし期間がないことに子ども達の不安が続くと考えます。よりよい教育ができるよう、教育現場で働く職員の声をたくさん聞いてほしいと強く願っています。</p>
④学校・教育に関する費用について	16	<p>給食費の無償化、給食の質向上、教材費の負担増、義務教育での保護者の経済的負担を減らして欲しいです。体育着は値段がとても高く（高学年の体育着は上下で約1,000円）、学校での指定体育着は廃止して欲しいです。物価高のこのご時世に、児童手当や児童扶養手当の見直しはされずに、支出だけが増え本当に困っている状況です。成長する子どもたちに少しでも美味しいご飯をあげたい気持ちはありますが、本当に経済的に厳しくなっていく状況です。どうか、子ども達が平等に最低限の教育環境を与えて欲しいと願っています。よろしくお願いします。</p> <p>就学援助は殆ど両親の収入で判断されていると思いますが、持病の為の通院による高額な医療費や他の家族の学費など支出の部分も見たいです。中学生以上での塾代が大きな負担になる為、学校以外の学びの場があれば助かる。</p>
⑤学校の体制・制度について	31	<p>給食の量が少ない。 先生方が駐車代を徴収されていると聞いた。必要不可欠なことなので無料で停められるようにしてほしい。 三学期制に戻してほしい。</p> <p>近年、保護者が学校教育に対して意見し過ぎて教育現場が混乱していると感じる。保護者の意見を聞くのも大事な事ではあるが、もっと学校側も強気な姿勢で方針を進めていいと思う。親が過剰な意見をしてその子に対して教育しにくい体制になると、本来その子が学校で学ぶはずだった機会を奪ってしまうことになる。学校は子供たちが学び成長していく大切な過程と思うので、市としても教育現場が保護者のクレーム等に左右されない環境づくりをしてほしい！</p>

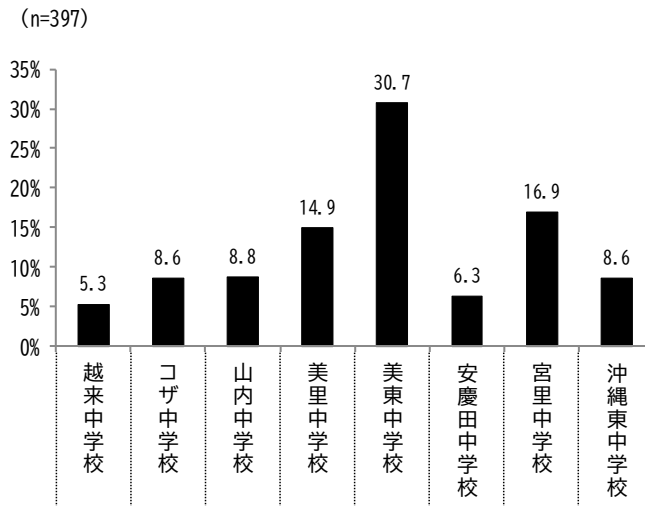
カテゴリ	件数	主な意見（原則、原文を掲載）
⑥こどもの居場所について	9	<p>児童が放課後に立ち寄りやすい児童館の設立が望ましいと考えます。下校後に行く場所（特に雨天時の場合）がなく、商業施設に子どもだけで遊びに行ったり、ファーストフード店に行ったりするグループも多いようです。子どもたちの安全が確保される居場所として、遊びも勉強もどちらもできる児童センターを各学校の近くに設立することで、基礎学力の向上や地域との関わりで支持的風土づくりが促進されることを期待します。家庭状況で習い事などの機会が均等でないからこそ、子どもたちの教育の場や学びの場・居場所づくりを保障することが急務と考えます。</p>
		<p>塾が高すぎるので、学習できる場（教えてくれる人がいる場）がもっと身近にあるといい。</p>
⑦その他	18	<p>人口が多い割に、子どもの学校教育に関して大人の意識が薄いと感じます。共働きが多いのも分かりますが、保護者としての役割を認識してもらい、地域や学校の活動に短時間でよいので参加してもらえるように改革が必要だと思います。また、地域のボランティアの方にも学校の巡視をしてもらったり、教育現場に携わる人以外の目から見てもらい、安全性の確保や子どもたちのトラブルの予防に協力してもらい、みんなで子育てする意識を育てるようにした方が良いと感じます。</p>
		<p>人員や予算不足の中、現場の努力でおおむね満足できると思います。予算決定機関は子どもの教育に関していいと思う新しい試みに挑戦したり無駄を省いたりして真剣に熱意を持って取り組んで欲しいです。子どもたちは沖縄市の未来そのものです。</p>

第4章 中学3年生保護者の調査結果

1. 基本属性

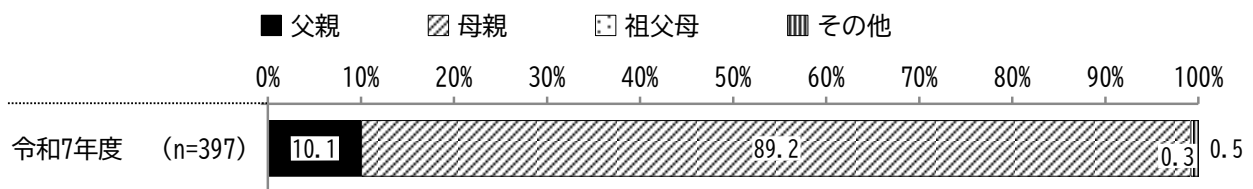
(1) 学区（中学校）（問1）

図表4-1 こどもの通っている学区



(2) アンケート回答者の属性（問2）

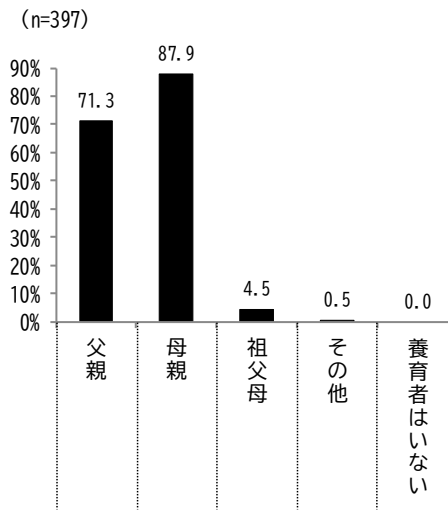
図表4-2 アンケート回答者



(3) 養育者の就労状況

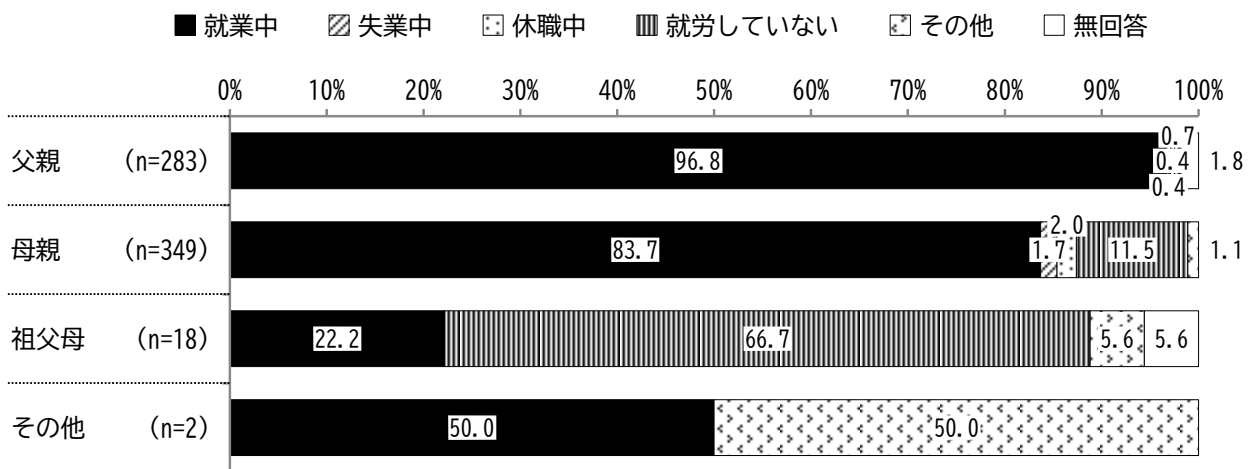
お子さんの主な養育者（複数選択）（問3）

図表4-3 養育者の分類



養育者の就労状況（問3-1）

図表4-4 養育者の就労状況

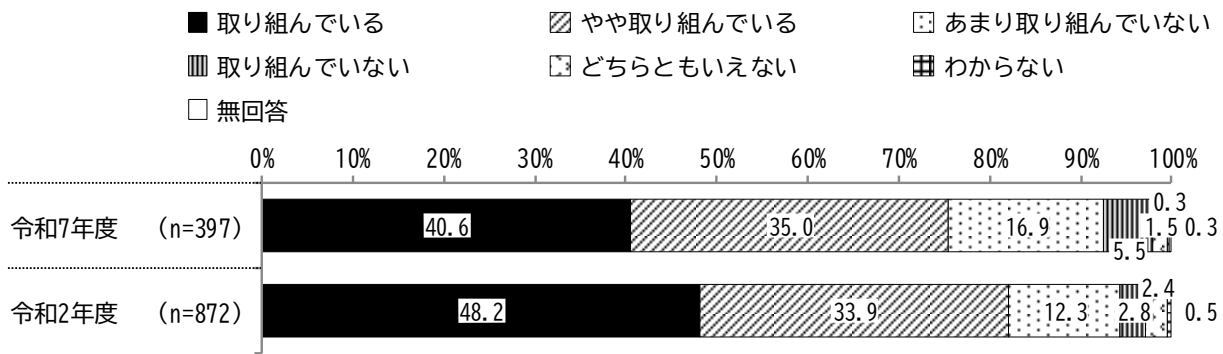


2. 確かな学力・豊かな心・健やかな体に関すること

(1) 家庭学習の取組状況（問10）

- 宿題や家庭学習の意欲的な取組状況では、「取り組んでいる」が40.6%で最も高く、次いで「やや取り組んでいる」が35.0%、「あまり取り組んでいない」が16.9%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、「取り組んでいる」が40.6%となっており、前回の48.2%から7.6ポイント低くなっている。

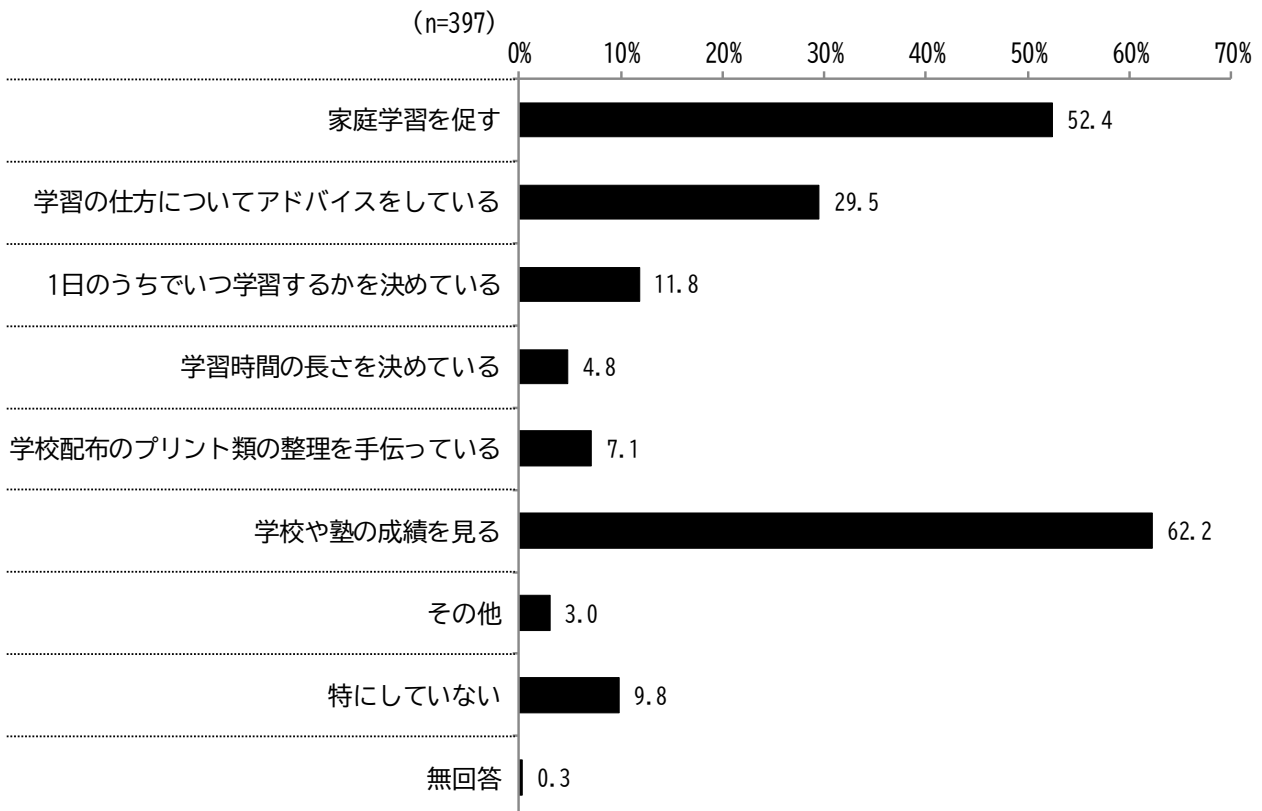
図表4-5 家庭学習の取組状況（令和2年度との比較）



(2) 家庭での学習サポート（複数選択）（問11）

- こどもの家庭学習に対する学習サポートでは、「学校や塾の成績を見る」が62.2%で最も高く、次いで「家庭学習を促す」が52.4%、「学習の仕方についてアドバイスをしている」が29.5%となっている。「特にしていない」は9.8%となっている。
- 「その他」では、「子ども本人に任せている」「勉強スペースを作っている」などがあつた。

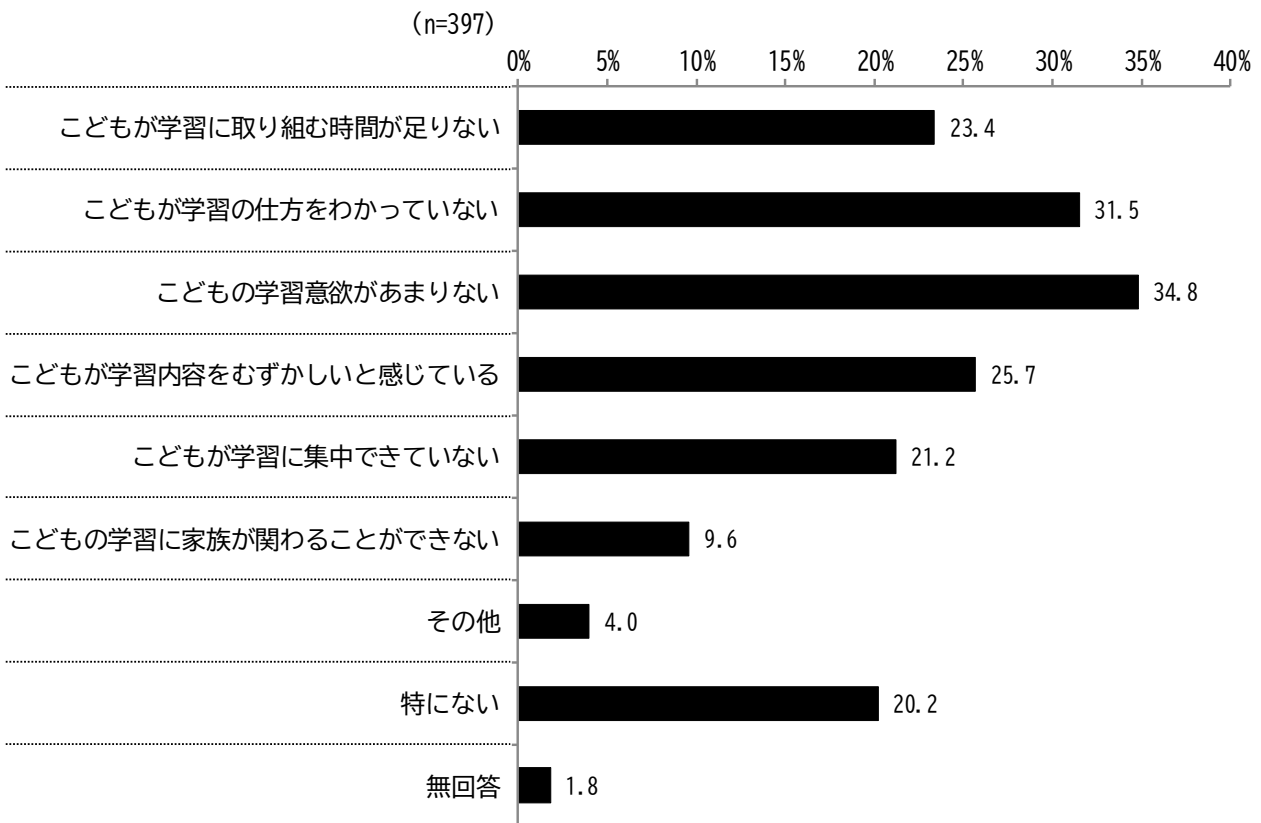
図表4-6 家庭での学習サポート



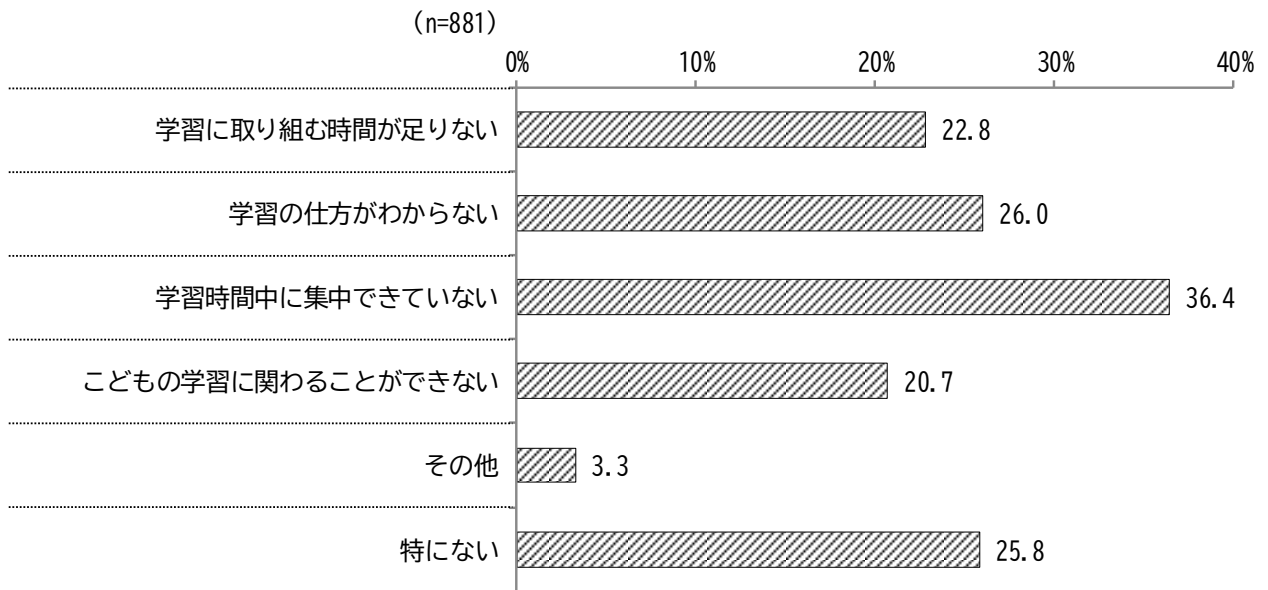
(3) 家庭での学習の課題（複数選択）（問12）

- こどもの家庭での学習の課題では、「こどもの学習意欲があまりない」が 34.8%で最も高く、次いで「こどもが学習の仕方をわかっていない」が 31.5%、「こどもが学習内容を難しいと感じている」で 25.7%となっている。「特にない」は、20.2%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、「こどもが学習に集中できていない」が 21.2%で、前回の「学習時間に集中できていない」の 36.4%と比較し 15.2 ポイント低くなっている。
- 「その他」では、「勉強部屋がない」「スマホを使う時間が長く、学習に向かえない」「宿題などが重なり終わらずできない」などがあつた。

図表4-7 家庭での学習の課題（令和7年度）



図表4-8 家庭での学習の課題（令和2年度）

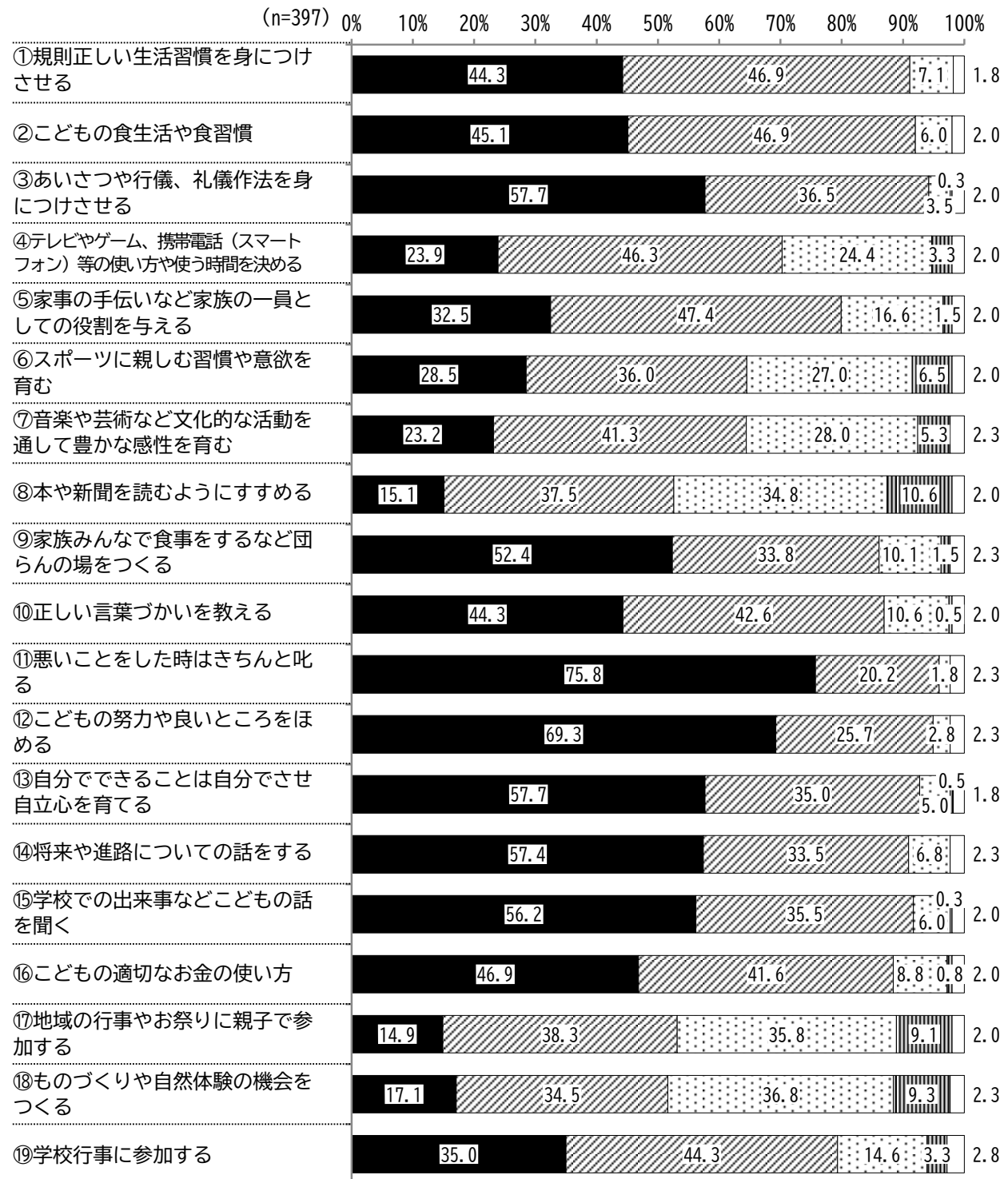


(4) こどもとの関係で心がけていること (問9)

- こどもとの関わりの中で「大変心がけている」では、「⑪悪いことをした時はきちんと叱る」が75.8%で最も高く、次いで「⑫こどもの努力や良いところをほめる」が69.3%となっている。
- 「まったく心がけていない」では、「⑧本や新聞を読むようにすすめる」が10.6%で最も高く、次いで「⑱ものづくりや自然体験の機会をつくる」が9.3%、「⑰地域の行事やお祭りに親子で参加する」が9.1%となっている。

図表4-9 こどもとの関係で心がけていること

■ 大変心がけている □ やや心がけている ▨ あまり心がけていない ▩ まったく心がけていない □ 無回答

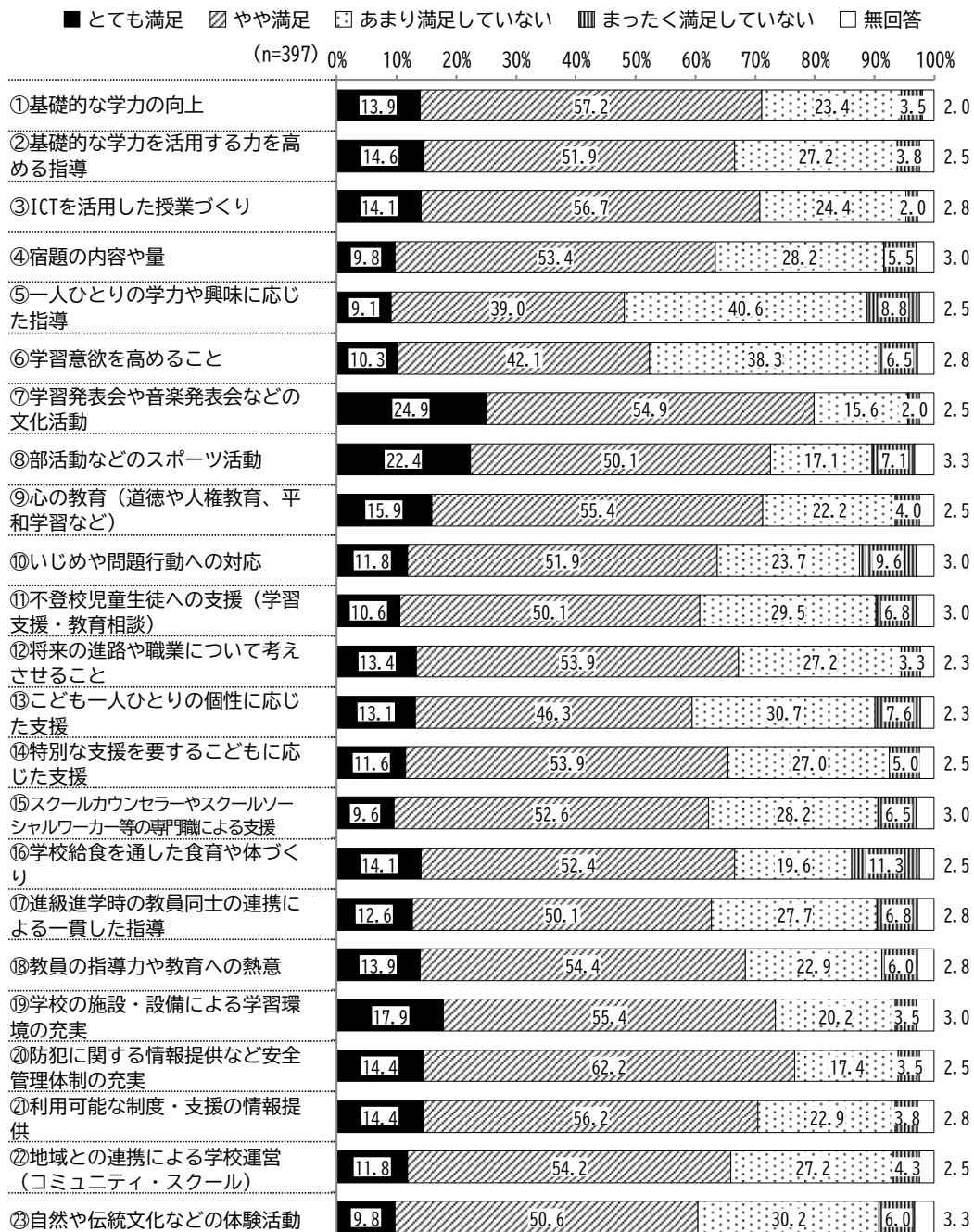


(5) 学校での指導や取組の満足度・重要度 (問8)

満足度

- こどもが通っている学校での指導や取組に対する満足度について「とても満足」では、「⑦学習発表会や音楽発表会などの文化活動」が24.9%で最も高く、次いで「⑧部活動などのスポーツ活動」が22.4%、「⑯学校の施設・設備による学習環境の充実」が17.9%となっている。
- 「まったく満足していない」では、「⑯学校給食を通じた食育や体づくり」が11.3%で最も高く、次いで「⑩いじめや問題行動への対応」が9.6%、「⑤一人ひとりの学力や興味に応じた指導」が8.8%となっている。
- 『不満 (あまり満足していない+まったく満足していない)』では、「⑤一人ひとりの学力や興味に応じた指導」で49.4%、「⑥学習意欲を高めること」で44.8%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、「⑳防犯に関する情報提供など安全管理体制の充実」で「とても満足」が14.4%となっており、前回の25.6%より11.2ポイント低くなっている。

図表4-10 学校での指導や取組の満足度



図表4-11 学校での指導や取組の満足度（令和2年度との比較）

(%)

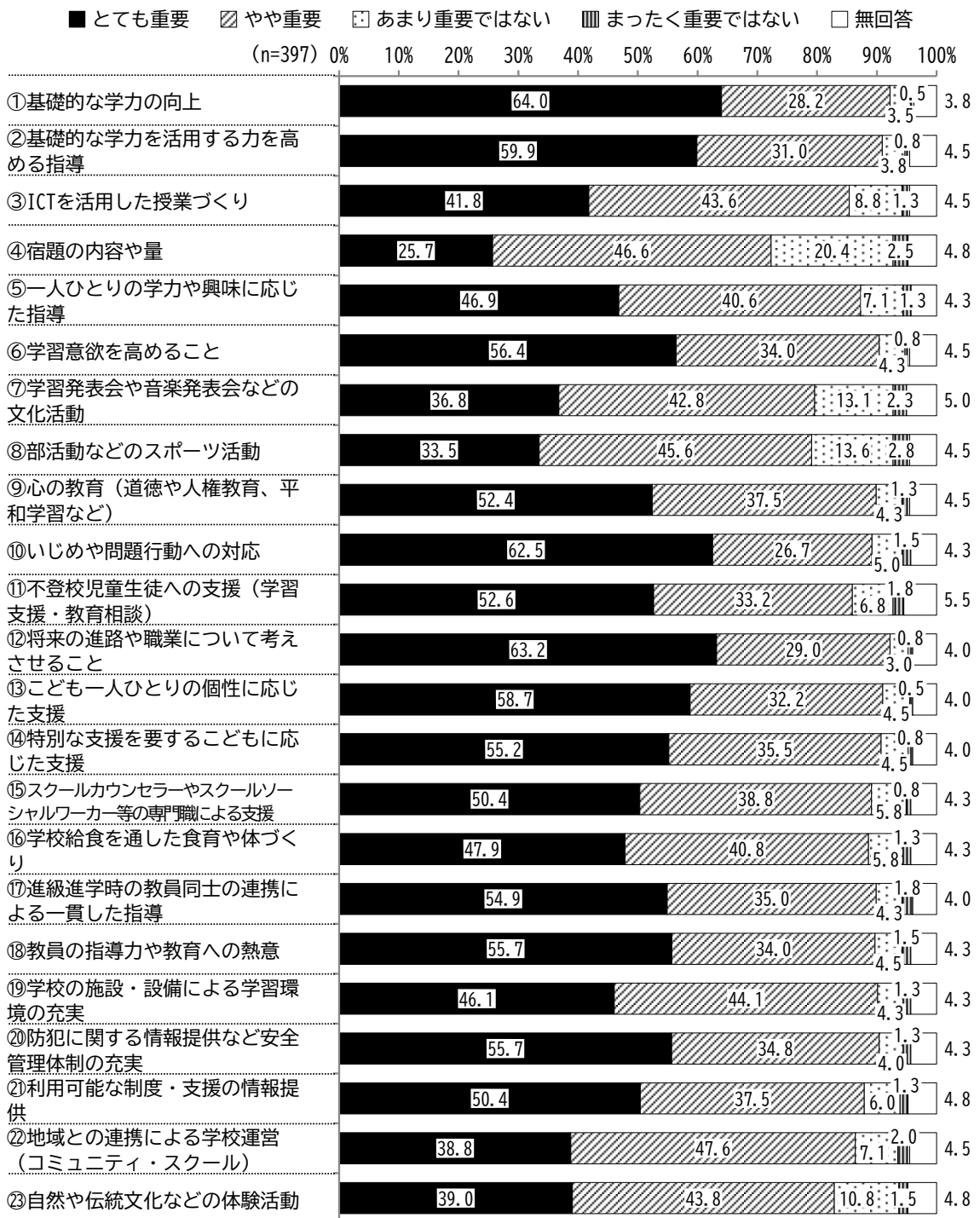
		全体 (n)	とても満足	やや満足	あまり満足していない	まったく満足していない	無回答
①基礎的な学力の向上	令和7年度	397	13.9	57.2	23.4	3.5	2.0
	令和2年度	889	14.7	64.2	19.0	2.0	-
②基礎的な学力を活用する力を高める指導	令和7年度	397	14.6	51.9	27.2	3.8	2.5
	令和2年度	885	13.0	60.7	24.0	2.4	-
③ICTを活用した授業づくり	令和7年度	397	14.1	56.7	24.4	2.0	2.8
	令和2年度	-	-	-	-	-	-
④宿題の内容や量	令和7年度	397	9.8	53.4	28.2	5.5	3.0
	令和2年度	881	9.8	62.4	25.2	2.6	-
⑤一人ひとりの学力や興味に応じた指導	令和7年度	397	9.1	39.0	40.6	8.8	2.5
	令和2年度	876	10.7	46.6	36.2	6.5	-
⑥学習意欲を高めること 学ぶ意欲を高めること	令和7年度	397	10.3	42.1	38.3	6.5	2.8
	令和2年度	877	13.8	52.6	30.0	3.6	-
⑦学習発表会や音楽発表会などの文化活動	令和7年度	397	24.9	54.9	15.6	2.0	2.5
	令和2年度	878	19.1	56.5	19.2	5.1	-
⑧部活動などのスポーツ活動	令和7年度	397	22.4	50.1	17.1	7.1	3.3
	令和2年度	879	25.8	53.1	17.3	3.8	-
⑨心の教育（道徳や人権教育、平和学習など） 心の教育（道徳や体験活動など）	令和7年度	397	15.9	55.4	22.2	4.0	2.5
	令和2年度	881	17.5	58.2	21.5	2.8	-
⑩いじめや問題行動への対応 いじめや不登校問題への対応	令和7年度	397	11.8	51.9	23.7	9.6	3.0
	令和2年度	871	15.7	58.7	20.6	5.1	-
⑪不登校児童生徒への支援（学習支援・教育相談）	令和7年度	397	10.6	50.1	29.5	6.8	3.0
	令和2年度	-	-	-	-	-	-
⑫将来の進路や職業について考えさせること	令和7年度	397	13.4	53.9	27.2	3.3	2.3
	令和2年度	881	17.1	52.9	26.4	3.5	-
⑬子ども一人ひとりの個性に応じた支援 子ども一人ひとりに応じた支援	令和7年度	397	13.1	46.3	30.7	7.6	2.3
	令和2年度	880	13.5	51.5	30.3	4.7	-
⑭特別な支援を要する子どもに応じた支援	令和7年度	397	11.6	53.9	27.0	5.0	2.5
	令和2年度	-	-	-	-	-	-
⑮スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門職による支援	令和7年度	397	9.6	52.6	28.2	6.5	3.0
	令和2年度	-	-	-	-	-	-
⑯学校給食を通じた食育や体づくり	令和7年度	397	14.1	52.4	19.6	11.3	2.5
	令和2年度	-	-	-	-	-	-
⑰進級進学時の教員同士の連携による一貫した指導 進級進学時の教員同士の連携	令和7年度	397	12.6	50.1	27.7	6.8	2.8
	令和2年度	873	15.7	56.7	23.0	4.6	-
⑱教員の指導力や教育への熱意	令和7年度	397	13.9	54.4	22.9	6.0	2.8
	令和2年度	881	19.2	54.4	22.4	4.1	-
⑲学校の施設・設備による学習環境の充実 学校の施設・設備の充実度	令和7年度	397	17.9	55.4	20.2	3.5	3.0
	令和2年度	879	18.1	59.8	18.3	3.8	-
⑳防犯に関する情報提供など安全管理体制の充実 防犯に関する情報を保護者に伝える	令和7年度	397	14.4	62.2	17.4	3.5	2.5
	令和2年度	879	25.6	55.9	16.2	2.4	-
㉑利用可能な制度・支援の情報提供 利用可能な支援の情報を伝えること	令和7年度	397	14.4	56.2	22.9	3.8	2.8
	令和2年度	878	15.6	53.3	26.8	4.3	-
㉒地域との連携による学校運営（コミュニティ・スクール） 地域コミュニティとの連携	令和7年度	397	11.8	54.2	27.2	4.3	2.5
	令和2年度	876	13.2	59.0	25.1	2.6	-
㉓自然や伝統文化などの体験活動	令和7年度	397	9.8	50.6	30.2	6.0	3.3
	令和2年度	-	-	-	-	-	-

※設問番号⑥⑨⑩⑬⑰⑱⑲⑳㉑㉒については、令和2年度の設問文を記載しています。
 ※令和2年度にない設問文は「-」で表示しています。

重要度

- 学校での指導や取組の重要度について「とても重要」では、「①基礎的な学力の向上」が64.0%で最も高く、次いで「⑫将来の進路や職業について考えさせること」が63.2%、「⑩いじめや問題行動への対応」が62.5%となっている。「④宿題の内容や量」が25.7%で最も低い。
- 「まったく重要ではない」では、「⑧部活動などのスポーツ活動」が2.8%で最も高く、次いで「④宿題の内容や量」が2.5%、「⑦学習発表会や音楽発表会などの文化活動」が2.3%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、「⑨心の教育（道徳や人権教育、平和学習など）」で「とても重要」が52.4%となっており、前回の70.4%から18.0ポイント低くなっている。

図表4-12 学校での指導や取組の重要度



図表4-13 学校での指導や取組の重要度（令和2年度との比較）

		(%)					
		全体 (n)	とても 重要	やや 重要	あまり 重要では ない	ま ったく 重要では ない	無 回 答
①基礎的な学力の向上	令和7年度	397	64.0	28.2	3.5	0.5	3.8
	令和2年度	854	77.2	21.9	0.8	0.1	-
②基礎的な学力を活用する力を高める指導	令和7年度	397	59.9	31.0	3.8	0.8	4.5
	令和2年度	848	71.5	27.2	1.2	0.1	-
③ICTを活用した授業づくり	令和7年度	397	41.8	43.6	8.8	1.3	4.5
	令和2年度	-	-	-	-	-	-
④宿題の内容や量	令和7年度	397	25.7	46.6	20.4	2.5	4.8
	令和2年度	847	32.8	52.1	13.9	1.2	-
⑤一人ひとりの学力や興味に応じた指導	令和7年度	397	46.9	40.6	7.1	1.3	4.3
	令和2年度	847	60.6	36.0	3.3	0.1	-
⑥学習意欲を高めること 学ぶ意欲を高めること	令和7年度	397	56.4	34.0	4.3	0.8	4.5
	令和2年度	849	73.4	24.9	1.5	0.2	-
⑦学習発表会や音楽発表会などの文化活動	令和7年度	397	36.8	42.8	13.1	2.3	5.0
	令和2年度	849	31.6	57.0	10.7	0.7	-
⑧部活動などのスポーツ活動	令和7年度	397	33.5	45.6	13.6	2.8	4.5
	令和2年度	849	37.1	53.2	9.0	0.7	-
⑨心の教育（道徳や人権教育、平和学習など） 心の教育（道徳や体験活動など）	令和7年度	397	52.4	37.5	4.3	1.3	4.5
	令和2年度	852	70.4	26.9	2.6	0.1	-
⑩いじめや問題行動への対応 いじめや不登校問題への対応	令和7年度	397	62.5	26.7	5.0	1.5	4.3
	令和2年度	855	79.8	18.4	1.6	0.2	-
⑪不登校児童生徒への支援（学習支援・教育相談）	令和7年度	397	52.6	33.2	6.8	1.8	5.5
	令和2年度	-	-	-	-	-	-
⑫将来の進路や職業について考えさせること	令和7年度	397	63.2	29.0	3.0	0.8	4.0
	令和2年度	854	72.1	25.5	2.2	0.1	-
⑬こども一人ひとりの個性に応じた支援 こども一人ひとりに応じた支援	令和7年度	397	58.7	32.2	4.5	0.5	4.0
	令和2年度	853	61.8	33.6	4.5	0.1	-
⑭特別な支援を要するこどもに応じた支援	令和7年度	397	55.2	35.5	4.5	0.8	4.0
	令和2年度	-	-	-	-	-	-
⑮スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門職による支援	令和7年度	397	50.4	38.8	5.8	0.8	4.3
	令和2年度	-	-	-	-	-	-
⑯学校給食を通した食育や体づくり	令和7年度	397	47.9	40.8	5.8	1.3	4.3
	令和2年度	-	-	-	-	-	-
⑰進級進学時の教員同士の連携による一貫した指導 進級進学時の教員同士の連携	令和7年度	397	54.9	35.0	4.3	1.8	4.0
	令和2年度	849	62.4	33.3	4.1	0.1	-
⑱教員の指導力や教育への熱意	令和7年度	397	55.7	34.0	4.5	1.5	4.3
	令和2年度	852	69.0	28.4	2.5	0.1	-
⑲学校の施設・設備による学習環境の充実 学校の施設・設備の充実度	令和7年度	397	46.1	44.1	4.3	1.3	4.3
	令和2年度	848	39.0	53.1	7.9	0.0	-
⑳防犯に関する情報提供など安全管理体制の充実 防犯に関する情報を保護者に伝える	令和7年度	397	55.7	34.8	4.0	1.3	4.3
	令和2年度	853	60.8	35.5	3.4	0.2	-
㉑利用可能な制度・支援の情報提供 利用可能な支援の情報を伝えること	令和7年度	397	50.4	37.5	6.0	1.3	4.8
	令和2年度	852	47.7	43.8	8.0	0.6	-
㉒地域との連携による学校運営（コミュニティ・スクール） 地域コミュニティとの連携	令和7年度	397	38.8	47.6	7.1	2.0	4.5
	令和2年度	849	32.5	53.4	13.5	0.6	-
㉓自然や伝統文化などの体験活動	令和7年度	397	39.0	43.8	10.8	1.5	4.8
	令和2年度	-	-	-	-	-	-

※設問番号⑥⑨⑩⑬⑰⑱⑲⑳については、令和2年度の設問文を記載しています。
 ※令和2年度にない設問文は「-」で表示しています。

満足度と重要度の比較

- 満足度と重要度を比較すると、「⑳防犯に関する情報提供など安全管理体制の充実」では、『満足（とても満足+やや満足）』が76.6%で2番目に高く、『重要（とても重要+やや重要）』が90.5%となっており、満足度、重要度いずれも高くなっている。
- 『満足（とても満足+やや満足）』が一番高い「㉑学習発表会や音楽発表会などの文化活動」79.8%は、『重要ではない（あまり重要ではない+まったく重要ではない）』が15.4%で3番目に高くなっている。
- 『重要（とても重要+やや重要）』が最も高い92.2%となっている「㉒基礎的な学力の向上」「㉓将来の進路や職業について考えさせること」の満足度は、7割前後となっている。

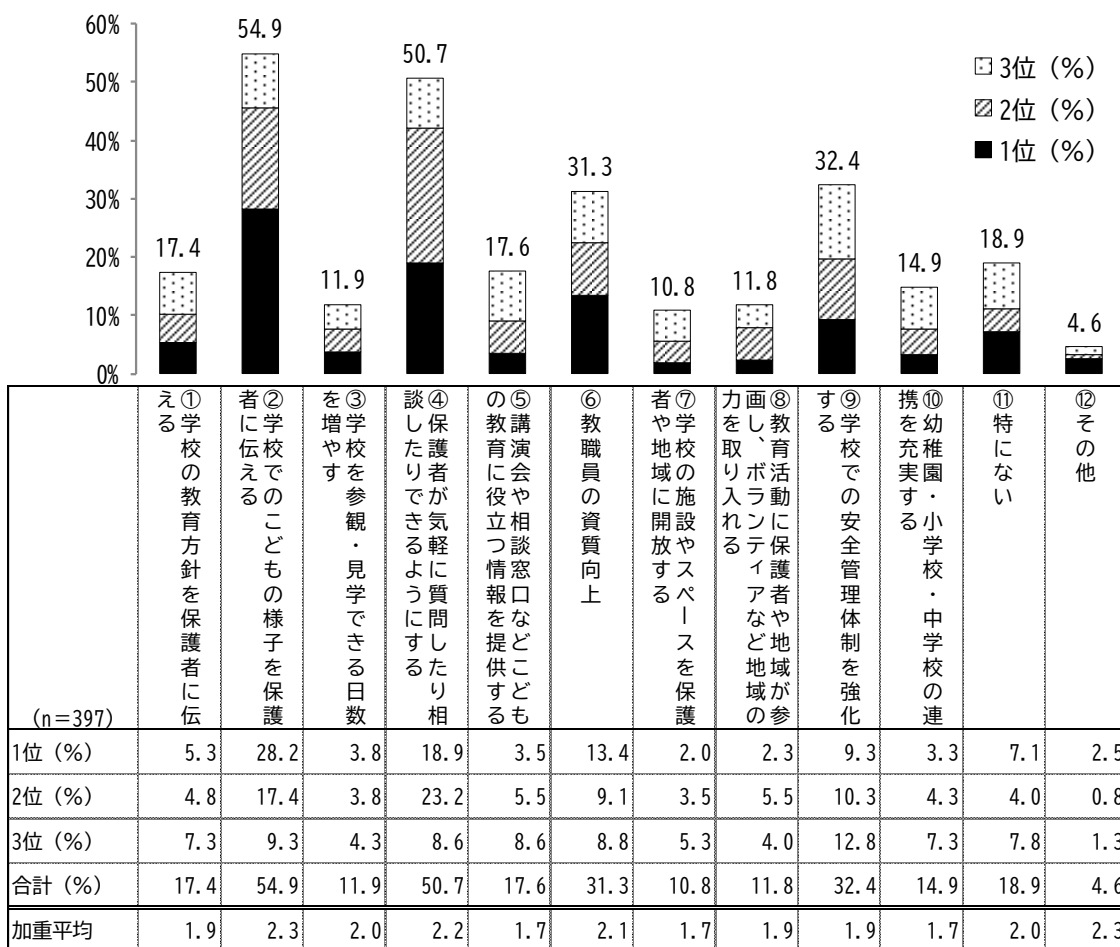
図表4-14 学校での指導や取組の満足度と重要度の比較

	(%)			
	「満足」 合計	「不満」 合計	「重要」 合計	「重要ではない」 合計
(n=397)				
①基礎的な学力の向上	71.1	26.9	92.2	4.0
②基礎的な学力を活用する力を高める指導	66.5	31.0	90.9	4.6
③ICTを活用した授業づくり	70.8	26.4	85.4	10.1
④宿題の内容や量	63.2	33.7	72.3	22.9
⑤一人ひとりの学力や興味に応じた指導	48.1	49.4	87.5	8.4
⑥学習意欲を高めること	52.4	44.8	90.4	5.1
⑦学習発表会や音楽発表会などの文化活動	79.8	17.6	79.6	15.4
⑧部活動などのスポーツ活動	72.5	24.2	79.1	16.4
⑨心の教育（道徳や人権教育、平和学習など）	71.3	26.2	89.9	5.6
⑩いじめや問題行動への対応	63.7	33.3	89.2	6.5
⑪不登校児童生徒への支援（学習支援・教育相談）	60.7	36.3	85.8	8.6
⑫将来の進路や職業について考えさせること	67.3	30.5	92.2	3.8
⑬こども一人ひとりの個性に応じた支援	59.4	38.3	90.9	5.0
⑭特別な支援を要するこどもに応じた支援	65.5	32.0	90.7	5.3
⑮スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門職による支援	62.2	34.7	89.2	6.6
⑯学校給食を通じた食育や体づくり	66.5	30.9	88.7	7.1
⑰進級進学時の教員同士の連携による一貫した指導	62.7	34.5	89.9	6.1
⑱教員の指導力や教育への熱意	68.3	28.9	89.7	6.0
⑲学校の施設・設備による学習環境の充実	73.3	23.7	90.2	5.6
⑳防犯に関する情報提供など安全管理体制の充実	76.6	20.9	90.5	5.3
㉑利用可能な制度・支援の情報提供	70.6	26.7	87.9	7.3
㉒地域との連携による学校運営（コミュニティ・スクール）	66.0	31.5	86.4	9.1
㉓自然や伝統文化などの体験活動	60.4	36.2	82.8	12.3

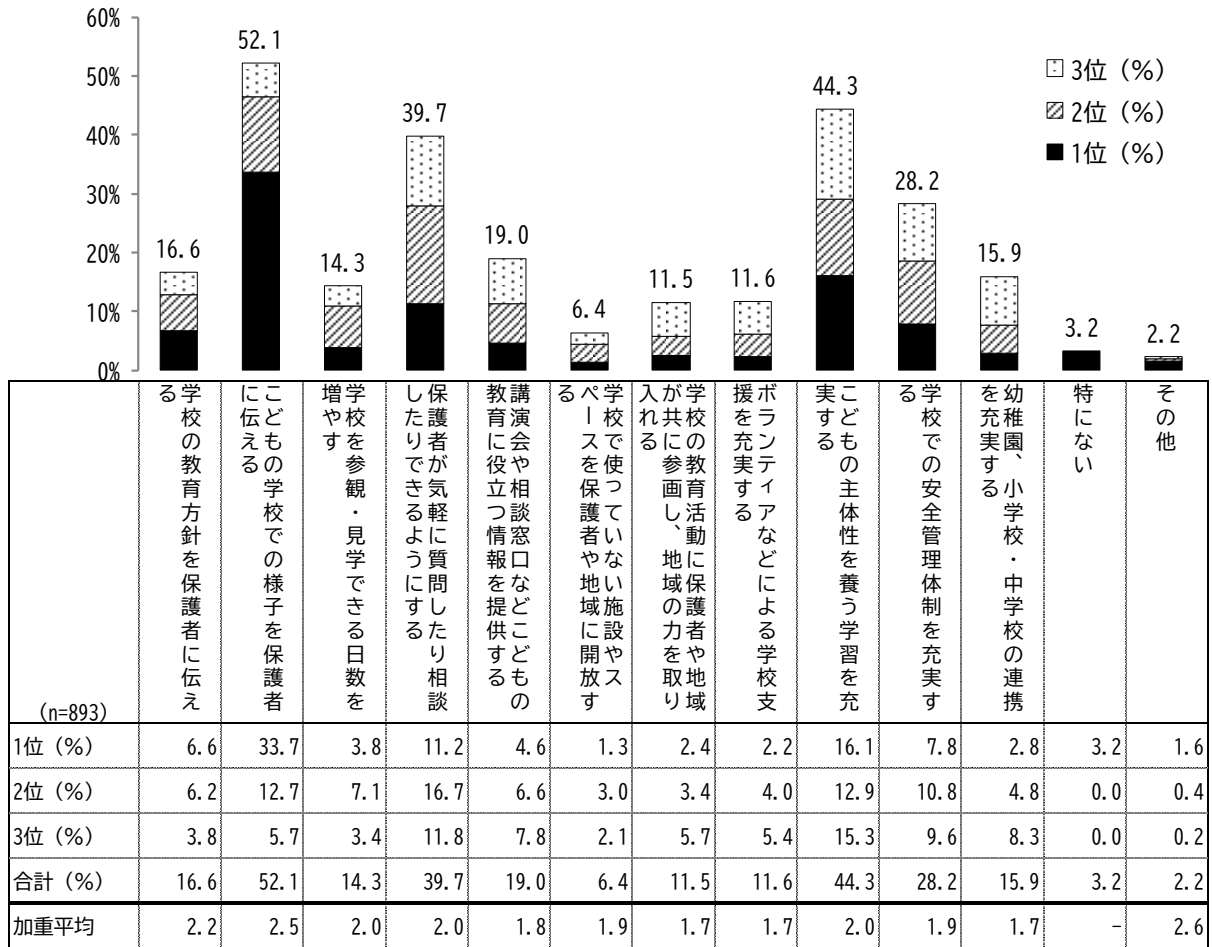
(6) 学校に対する要望（1位～3位を選択）（問6）……………

- こどもの通っている学校に望むことの1位～3位の合計比率では、「②学校でのこどもの様子を保護者に伝える」が54.9%で最も高く、次いで「④保護者が気軽に質問したり相談したりできるようにする」が50.7%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、「④保護者が気軽に質問したり相談したりできるようにする」が50.7%で、前回の39.7%と比較し11.0ポイント高くなっている。「⑪特にない」は18.9%で前回の3.2%から15.7ポイント高くなっている。
- 「その他」では、「学力向上やDX授業に関すること」「女子トイレの和式を洋式に工事してほしい」などがあつた。

図表4-15 学校に対する要望（令和7年度）



図表4-16 学校に対する要望（令和2年度）

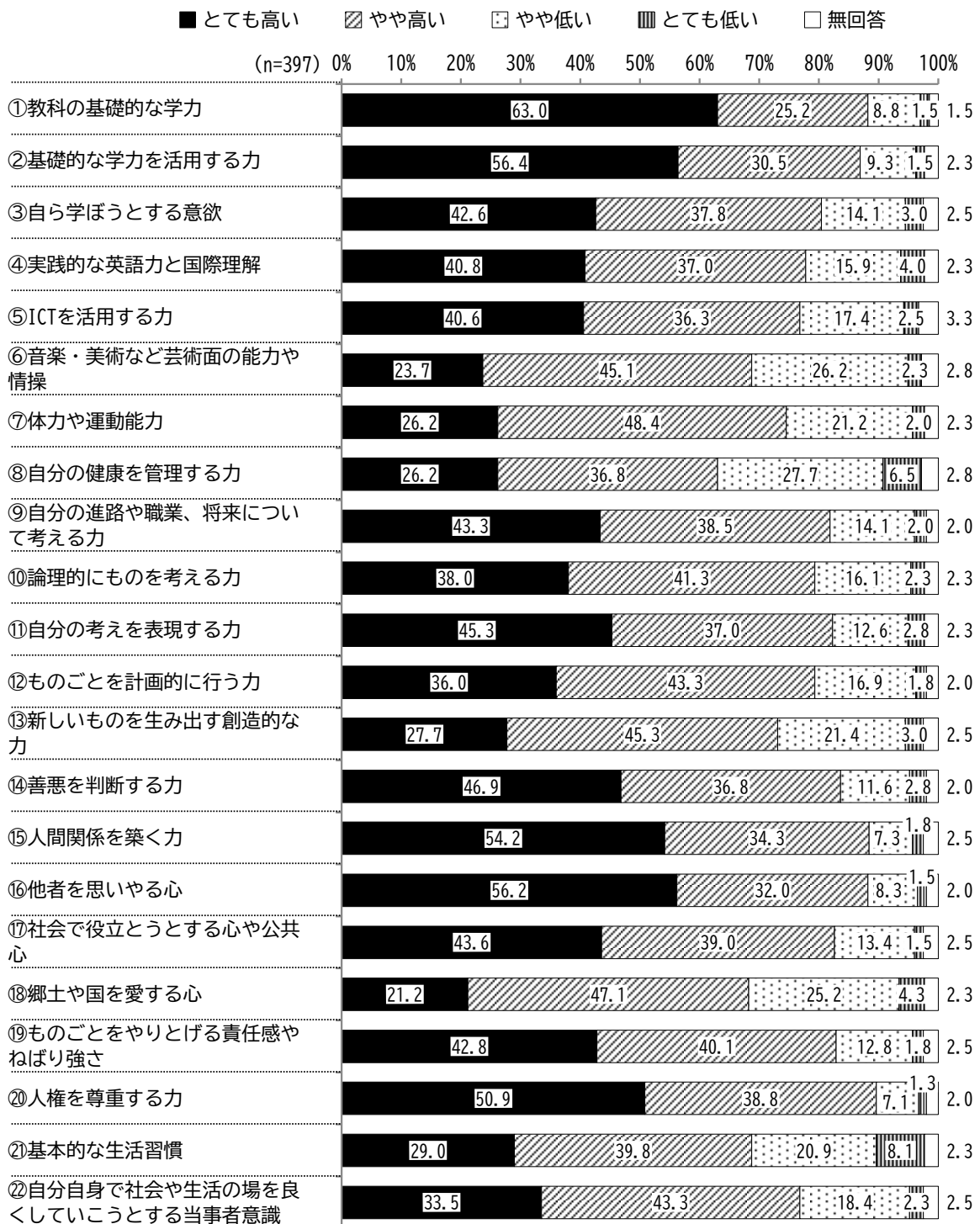


(7) 学校や家庭での児童・生徒の能力や態度を身につけさせる必要性（問7）……………

学校教育で身につけさせる必要性

- 学校教育で身につけさせる必要性の「とても高い」では、「①教科の基礎的な学力」が63.0%で最も高く、次いで「②基礎的な学力を活用する力」が56.4%、「⑯他者を思いやる心」が56.2%となっている。
- 「とても低い」では、「⑳基本的な生活習慣」が8.1%で最も高く、次いで「⑧自分の健康を管理する力」が6.5%、「⑱郷土や国を愛する心」が4.3%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、「③自ら学ぼうとする意欲」の「とても高い」が42.6%で、前回の57.6%から15.0ポイント低くなっている。

図表4-17 学校教育で身につけさせる必要性



図表4-18 学校教育で身につけさせる必要性（令和2年度との比較）

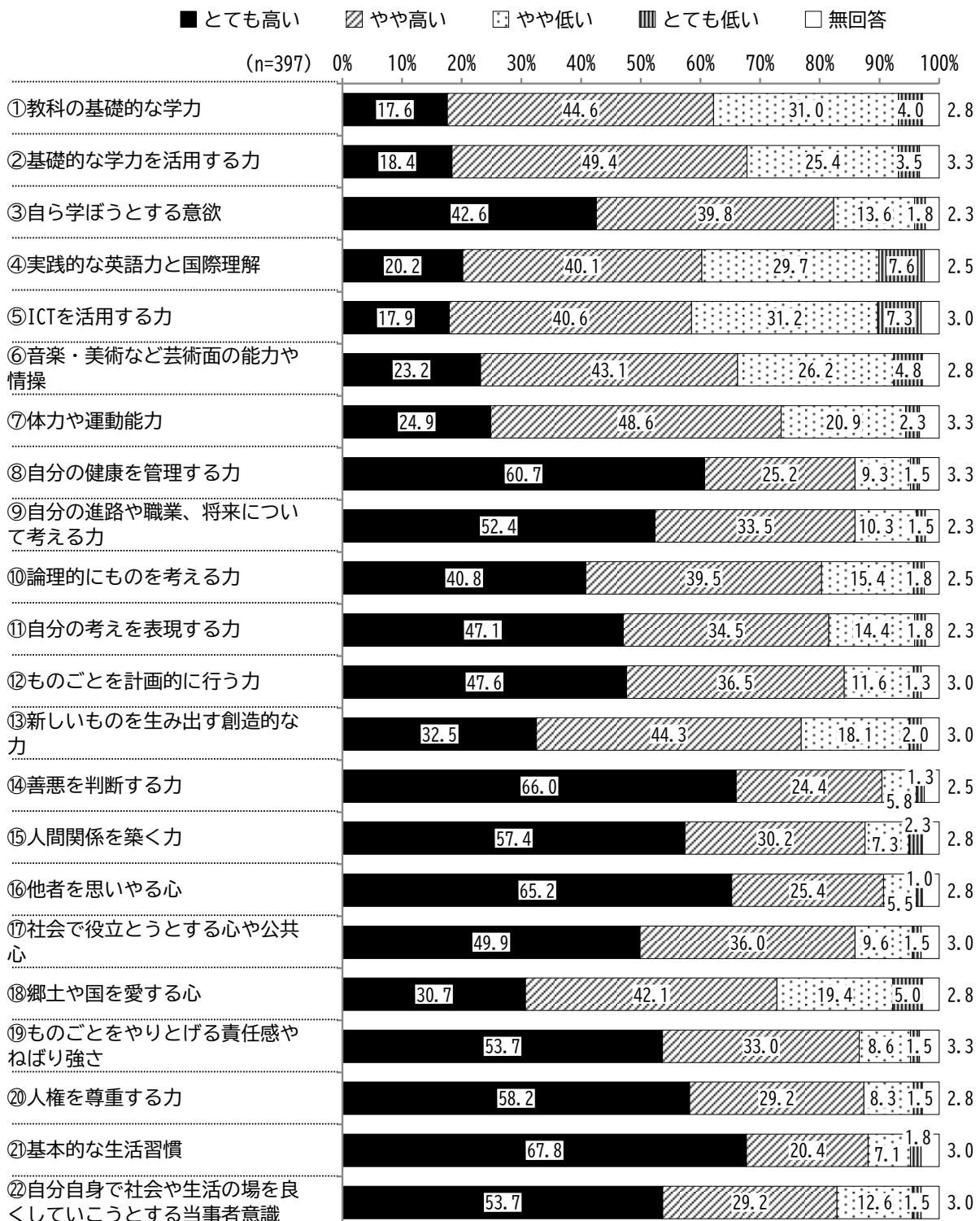
		(%)					
		全体 (n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い	無回答
①教科の基礎的な学力	令和7年度	397	63.0	25.2	8.8	1.5	1.5
	令和2年度	879	66.6	27.4	5.8	0.2	-
②基礎的な学力を活用する力	令和7年度	397	56.4	30.5	9.3	1.5	2.3
	令和2年度	877	61.7	31.2	6.7	0.3	-
③自ら学ぼうとする意欲	令和7年度	397	42.6	37.8	14.1	3.0	2.5
	令和2年度	874	57.6	32.8	8.6	1.0	-
④実践的な英語力と国際理解 実際の場面で使える英語力	令和7年度	397	40.8	37.0	15.9	4.0	2.3
	令和2年度	871	43.6	35.2	14.2	6.9	-
⑤ICTを活用する力	令和7年度	397	40.6	36.3	17.4	2.5	3.3
	令和2年度	844	38.5	41.5	16.8	3.2	-
⑥音楽・美術など芸術面の能力や情操	令和7年度	397	23.7	45.1	26.2	2.3	2.8
	令和2年度	875	23.4	49.5	24.1	3.0	-
⑦体力や運動能力	令和7年度	397	26.2	48.4	21.2	2.0	2.3
	令和2年度	881	31.1	53.5	14.4	1.0	-
⑧自分の健康を管理する力	令和7年度	397	26.2	36.8	27.7	6.5	2.8
	令和2年度	868	30.3	45.5	22.0	2.2	-
⑨自分の進路や職業、将来について考える力 生き方や進路について考える力	令和7年度	397	43.3	38.5	14.1	2.0	2.0
	令和2年度	876	50.7	38.6	9.9	0.8	-
⑩論理的にものを考える力	令和7年度	397	38.0	41.3	16.1	2.3	2.3
	令和2年度	872	38.8	47.0	13.5	0.7	-
⑪自分の考えを表現する力	令和7年度	397	45.3	37.0	12.6	2.8	2.3
	令和2年度	876	53.2	33.8	12.1	0.9	-
⑫ものごとを計画的に行う力	令和7年度	397	36.0	43.3	16.9	1.8	2.0
	令和2年度	874	45.2	41.0	13.2	0.7	-
⑬新しいものを生み出す創造的な力	令和7年度	397	27.7	45.3	21.4	3.0	2.5
	令和2年度	874	33.1	44.7	21.3	0.9	-
⑭善悪を判断する力	令和7年度	397	46.9	36.8	11.6	2.8	2.0
	令和2年度	872	57.9	34.1	7.7	0.3	-
⑮人間関係を築く力	令和7年度	397	54.2	34.3	7.3	1.8	2.5
	令和2年度	875	65.8	27.0	6.9	0.3	-
⑯他者を思いやる心	令和7年度	397	56.2	32.0	8.3	1.5	2.0
	令和2年度	-	-	-	-	-	-
⑰社会で役立とうとする心や公共心	令和7年度	397	43.6	39.0	13.4	1.5	2.5
	令和2年度	872	53.4	36.2	9.6	0.7	-
⑱郷土や国を愛する心	令和7年度	397	21.2	47.1	25.2	4.3	2.3
	令和2年度	874	30.0	46.5	22.2	1.4	-
⑲ものごとをやりとげる責任感やねばり強さ ものごとをやりとげるねばり強さ	令和7年度	397	42.8	40.1	12.8	1.8	2.5
	令和2年度	878	51.5	38.3	9.3	0.9	-
⑳人権を尊重する力	令和7年度	397	50.9	38.8	7.1	1.3	2.0
	令和2年度	876	57.2	35.4	6.7	0.7	-
㉑基本的な生活習慣	令和7年度	397	29.0	39.8	20.9	8.1	2.3
	令和2年度	868	40.0	44.5	13.4	2.2	-
㉒自分自身で社会や生活の場を良くしていこうとする当事者意識	令和7年度	397	33.5	43.3	18.4	2.3	2.5
	令和2年度	-	-	-	-	-	-

※設問番号④⑨⑱については、令和2年度の設問文を記載しています。
 ※令和2年度にない設問文は「-」で表示しています。

学校教育以外（家庭や地域等）で身につけさせる必要性

- 学校教育以外（家庭や地域等）で身につけさせる必要性の「とても高い」では、「②①基本的な生活習慣」が67.8%で最も高く、次いで「⑭⑭善悪を判断する力」が66.0%、「⑯⑯他者を思いやる心」が65.2%となっている。
- 「とても低い」では、「④④実践的な英語力と国際理解」が7.6%で最も高く、次いで「⑤⑤ICTを活用する力」が7.3%、「⑱⑱郷土や国を愛する心」が5.0%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、「②②基礎的な学力を活用する力」で「とても高い」が18.4%となっており、前回の31.7%から13.3ポイント低くなっている。

図表4-19 学校教育以外（家庭や地域等）で身につけさせる必要性



Ⅱ 本調査の結果 第4章 中学3年生保護者の調査結果

図表4-20 学校教育以外（家庭や地域等）で身につけさせる必要性（令和2年度との比較）

		(%)					
		全体 (n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い	無回答
①教科の基礎的な学力	令和7年度	397	17.6	44.6	31.0	4.0	2.8
	令和2年度	857	28.2	48.3	21.4	2.1	-
②基礎的な学力を活用する力	令和7年度	397	18.4	49.4	25.4	3.5	3.3
	令和2年度	857	31.7	47.8	19.0	1.4	-
③自ら学ぼうとする意欲	令和7年度	397	42.6	39.8	13.6	1.8	2.3
	令和2年度	856	52.5	35.4	11.1	1.1	-
④実践的な英語力と国際理解 実際の場面で使える英語力	令和7年度	397	20.2	40.1	29.7	7.6	2.5
	令和2年度	858	29.8	40.6	21.1	8.5	-
⑤ICTを活用する力	令和7年度	397	17.9	40.6	31.2	7.3	3.0
	令和2年度	825	23.4	47.4	25.2	4.0	-
⑥音楽・美術など芸術面の能力や情操	令和7年度	397	23.2	43.1	26.2	4.8	2.8
	令和2年度	860	22.8	48.3	25.7	3.3	-
⑦体力や運動能力	令和7年度	397	24.9	48.6	20.9	2.3	3.3
	令和2年度	860	25.0	51.6	21.2	2.2	-
⑧自分の健康を管理する力	令和7年度	397	60.7	25.2	9.3	1.5	3.3
	令和2年度	871	60.2	29.6	9.4	0.8	-
⑨自分の進路や職業、将来について考える力 生き方や進路について考える力	令和7年度	397	52.4	33.5	10.3	1.5	2.3
	令和2年度	866	57.0	33.3	9.0	0.7	-
⑩論理的にものを考える力	令和7年度	397	40.8	39.5	15.4	1.8	2.5
	令和2年度	857	42.6	43.2	13.7	0.6	-
⑪自分の考えを表現する力	令和7年度	397	47.1	34.5	14.4	1.8	2.3
	令和2年度	866	50.6	38.6	9.8	1.0	-
⑫ものごとを計画的に行う力	令和7年度	397	47.6	36.5	11.6	1.3	3.0
	令和2年度	865	52.8	37.0	9.5	0.7	-
⑬新しいものを生み出す創造的な力	令和7年度	397	32.5	44.3	18.1	2.0	3.0
	令和2年度	864	41.1	41.9	15.9	1.2	-
⑭善悪を判断する力	令和7年度	397	66.0	24.4	5.8	1.3	2.5
	令和2年度	871	69.7	24.5	5.4	0.5	-
⑮人間関係を築く力	令和7年度	397	57.4	30.2	7.3	2.3	2.8
	令和2年度	867	60.0	32.2	7.3	0.6	-
⑯他者を思いやる心	令和7年度	397	65.2	25.4	5.5	1.0	2.8
	令和2年度	-	-	-	-	-	-
⑰社会で役立とうとする心や公共心	令和7年度	397	49.9	36.0	9.6	1.5	3.0
	令和2年度	867	56.7	33.9	8.4	0.9	-
⑱郷土や国を愛する心	令和7年度	397	30.7	42.1	19.4	5.0	2.8
	令和2年度	866	36.8	43.3	18.2	1.6	-
⑲ものごとをやりとげる責任感やねばり強さ ものごとをやりとげるねばり強さ	令和7年度	397	53.7	33.0	8.6	1.5	3.3
	令和2年度	865	56.6	34.9	7.9	0.6	-
⑳人権を尊重する力	令和7年度	397	58.2	29.2	8.3	1.5	2.8
	令和2年度	866	61.8	30.8	6.6	0.8	-
㉑基本的な生活習慣	令和7年度	397	67.8	20.4	7.1	1.8	3.0
	令和2年度	871	70.6	22.8	6.1	0.5	-
㉒自分自身で社会や生活の場を良くしていこうとする当事者意識	令和7年度	397	53.7	29.2	12.6	1.5	3.0
	令和2年度	-	-	-	-	-	-

※設問番号④⑨⑩については、令和2年度の設問文を記載しています。
 ※令和2年度にない設問文は「-」で表示しています。

学校教育と学校教育以外（家庭や地域等）で身につけさせる必要性の比較

- 学校教育と学校教育以外で身につけさせる必要性を比較すると、「⑩他者を思いやる心」では、学校教育での必要性の『高い(とても高い+やや高い)』が88.2%、学校教育以外の『高い』で90.6%と、いずれも9割前後となっている。「⑩人権を尊重する力」「⑩人間関係を築く力」についても、学校教育、学校教育以外のいずれも必要性が高くなっている。
- 「①教科の基礎的な学力」「②基礎的な学力を活用する力」では、学校教育での必要性が比較的高くなっている。「⑥音楽・美術など芸術面の能力や情操」では、学校教育、学校教育以外のいずれも比較的低くなっている。

図表4-21 学校教育と学校教育以外（家庭や地域等）で身につけさせる必要性の比較

(%)

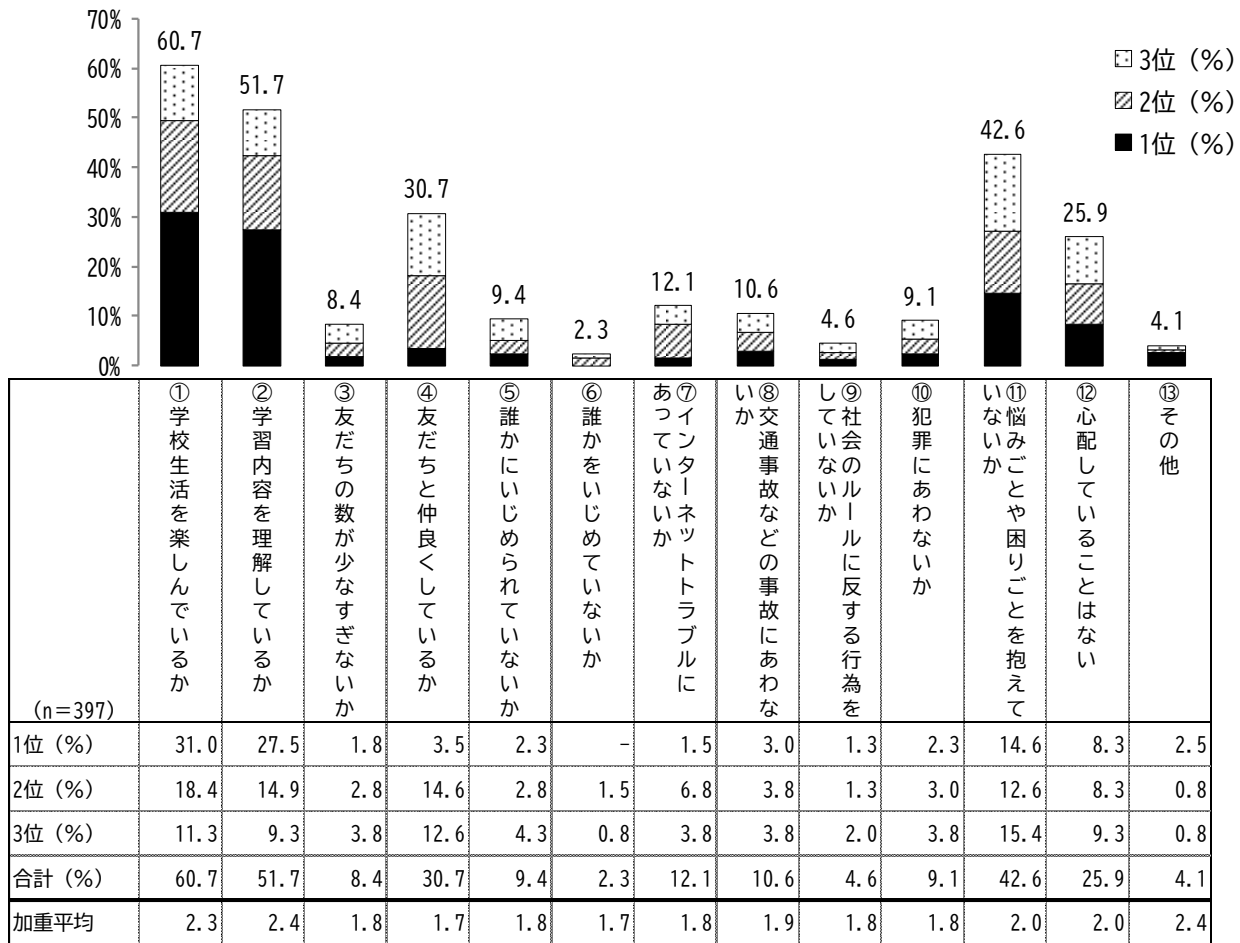
	学校教育		学校教育以外	
	「高い」 合計	「低い」 合計	「高い」 合計	「低い」 合計
(n=397)				
①教科の基礎的な学力	88.2	10.3	62.2	35.0
②基礎的な学力を活用する力	86.9	10.8	67.8	28.9
③自ら学ぼうとする意欲	80.4	17.1	82.4	15.4
④実践的な英語力と国際理解	77.8	19.9	60.3	37.3
⑤ICTを活用する力	76.9	19.9	58.5	38.5
⑥音楽・美術など芸術面の能力や情操	68.8	28.5	66.3	31.0
⑦体力や運動能力	74.6	23.2	73.5	23.2
⑧自分の健康を管理する力	63.0	34.2	85.9	10.8
⑨自分の進路や職業、将来について考える力	81.8	16.1	85.9	11.8
⑩論理的にものを考える力	79.3	18.4	80.3	17.2
⑪自分の考えを表現する力	82.3	15.4	81.6	16.2
⑫ものごとを計画的に行う力	79.3	18.7	84.1	12.9
⑬新しいものを生み出す創造的な力	73.0	24.4	76.8	20.1
⑭善悪を判断する力	83.7	14.4	90.4	7.1
⑮人間関係を築く力	88.5	9.1	87.6	9.6
⑯他者を思いやる心	88.2	9.8	90.6	6.5
⑰社会で役立とうとする心や公共心	82.6	14.9	85.9	11.1
⑱郷土や国を愛する心	68.3	29.5	72.8	24.4
⑲ものごとをやりとげる責任感やねばり強さ	82.9	14.6	86.7	10.1
⑳人権を尊重する力	89.7	8.4	87.4	9.8
㉑基本的な生活習慣	68.8	29.0	88.2	8.9
㉒自分自身で社会や生活の場を良くしていこうとする当事者意識	76.8	20.7	82.9	14.1

3. 相談や支援に関すること

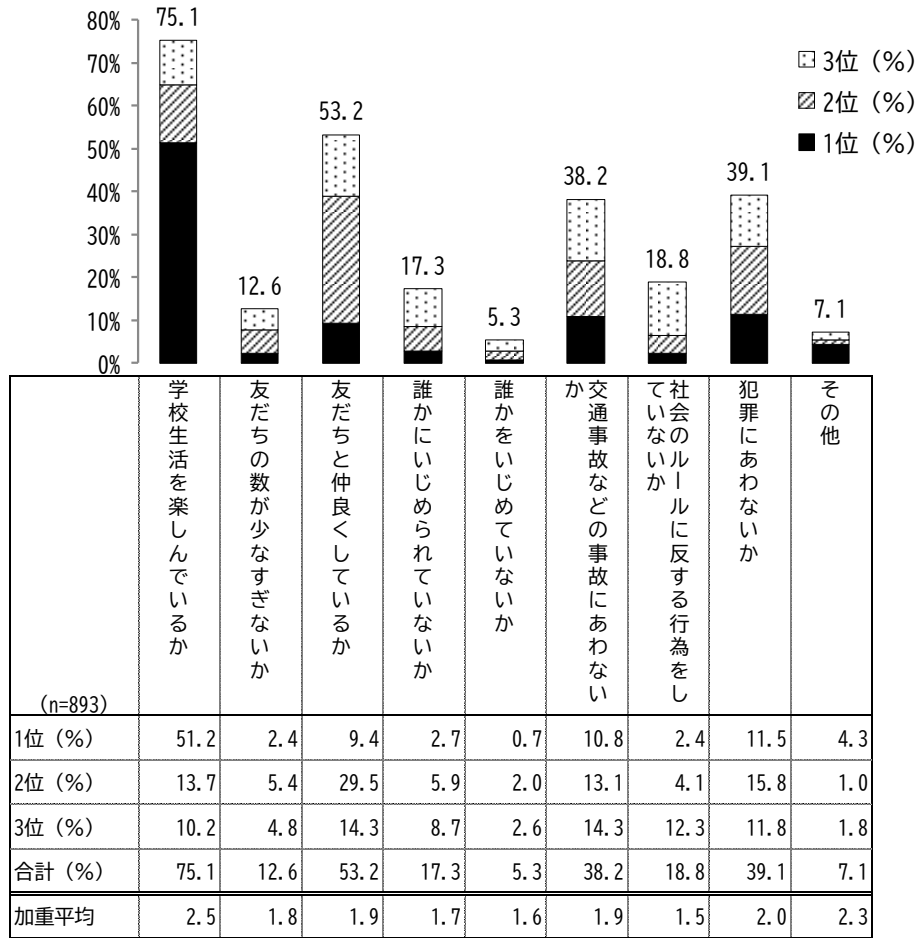
(1) こどもの生活で心配なこと（1位～3位を選択）（問14）……………

- こどもの生活の中で、現在、心配していることの1位～3位の合計比率では、「①学校生活を楽しんでいるか」が60.7%で最も高く、次いで「②学習内容を理解しているか」が51.7%、「⑪悩みごとや困りごとを抱えていないか」で42.6%となっている。「⑫心配していることはない」は、25.9%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、選択肢数が異なるが、「⑩犯罪にあわないか」が9.1%となっており、前回の39.1%と比較し30.0ポイント低くなっている。

図表4-22 こどもの生活で心配なこと（令和7年度）



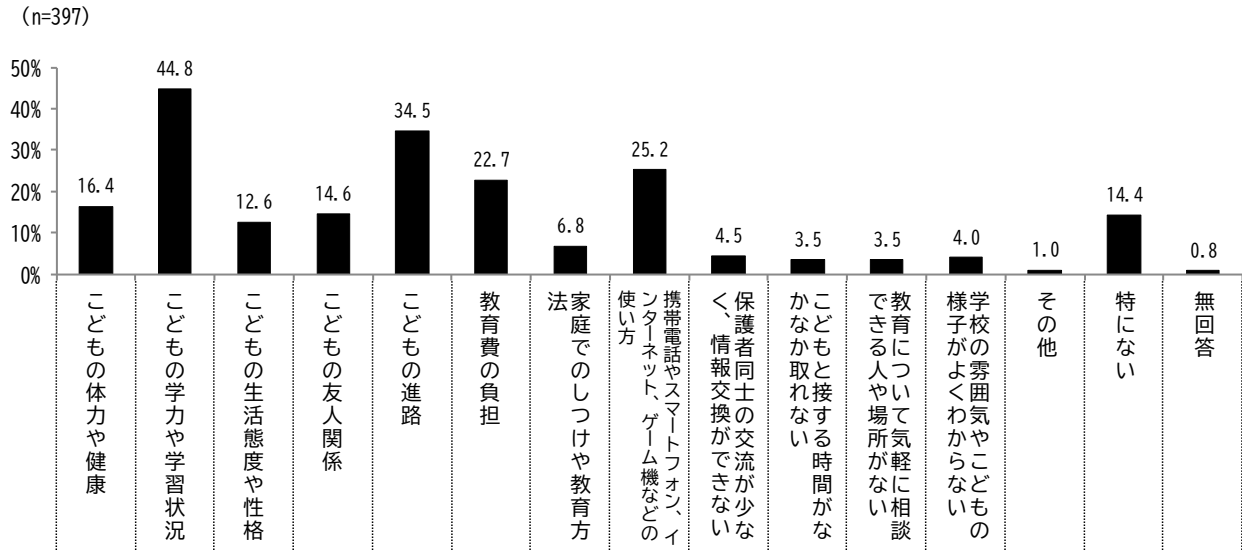
図表4-23 こどもの生活で心配なこと（令和2年度）



(2) こどもの教育で困っていること（複数選択）（問20）

- こどもの教育について困っていること、悩んでいることでは、「こどもの学力や学習状況」が44.8%で最も高く、次いで「こどもの進路」が34.5%、「携帯電話やスマートフォン、インターネット、ゲーム機などの使い方」が25.2%となっている。「特にない」は、14.1%となっている。
- 「その他」では、「スクリレでテストの日程やテスト返却の連絡がないこと」などがあつた。

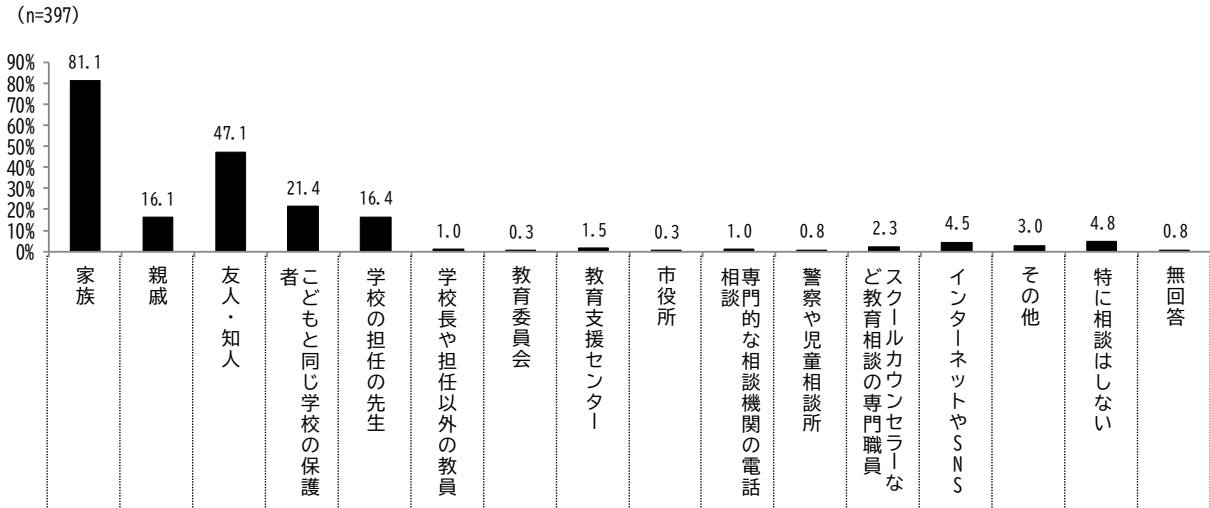
図表4-24 こどもの教育で困っていること



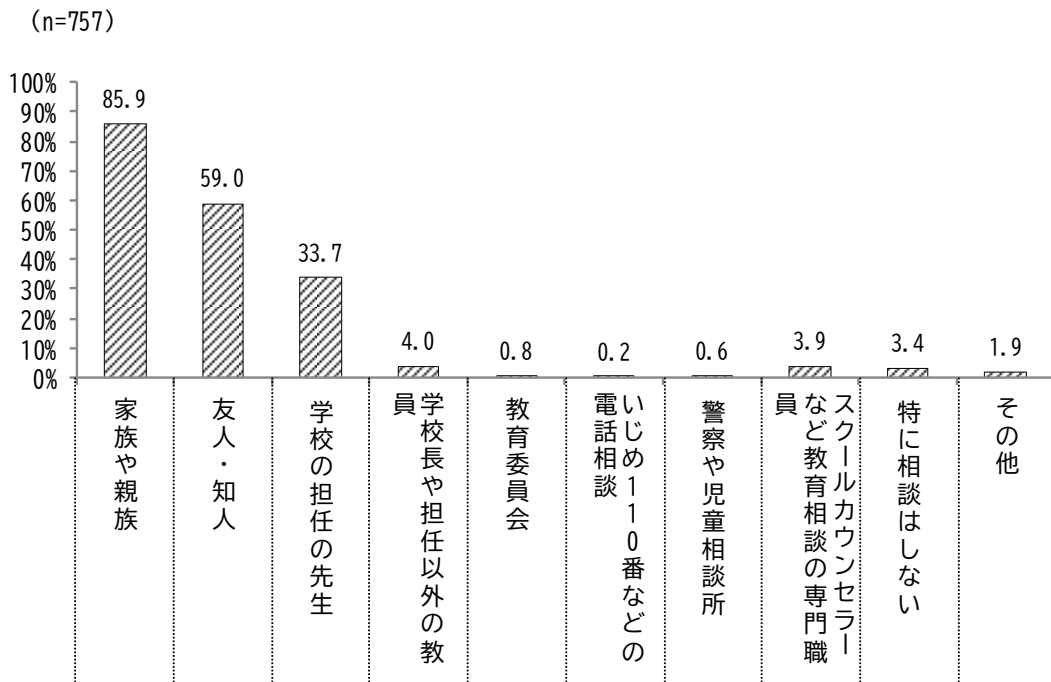
(3) こどものことで悩んだ場合の相談先（複数選択）（問21）……………

- こどもの教育で困ったり悩んだりしていることの相談先では、「家族」が81.1%で最も高く、次いで「友人・知人」が47.1%、「子どもと同じ学校の保護者」が21.4%となっている。「特に相談はしない」は、4.8%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、選択肢数が異なるが、「学校の担任の先生」が16.4%となっており、前回の33.7%と比較し17.3ポイント低くなっている。
- 「その他」では、「塾の先生」「職場の同僚」「他校の保護者」などがあつた。

図表4-25 こどものことで悩んだ場合の相談先（令和7年度）



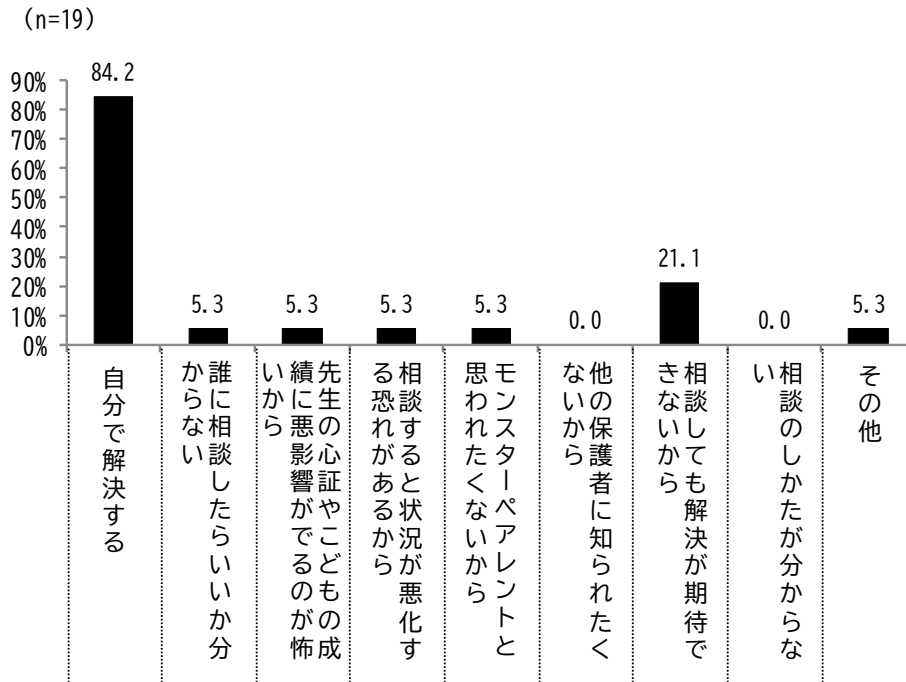
図表4-26 こどものことで悩んだ場合の相談先（令和2年度）



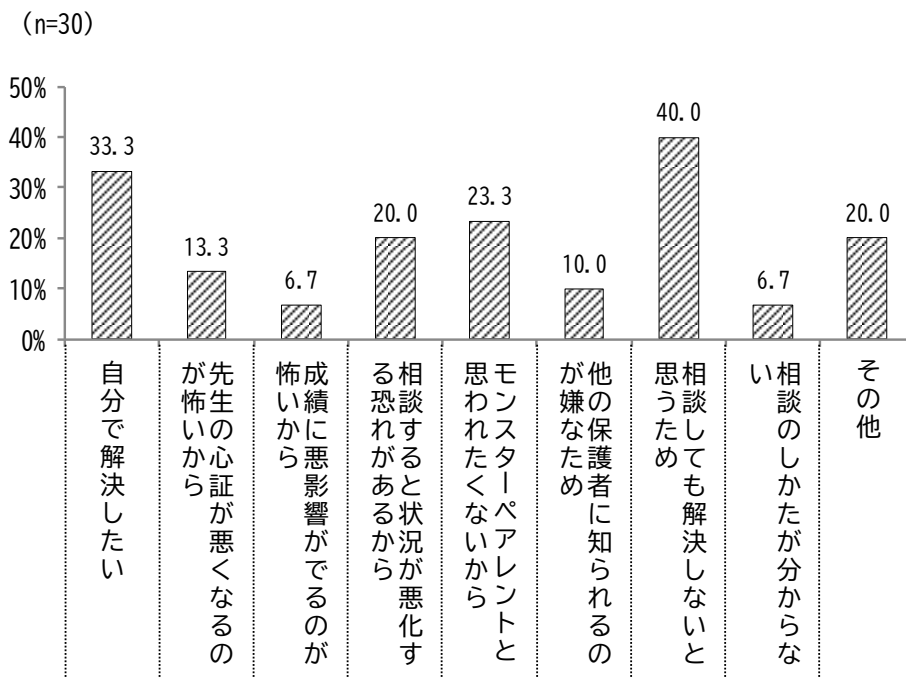
(4) 「特に相談はしない」理由（複数選択）（問 21-1）

- こどもの教育で困ったり、悩んだりしていることを相談しない理由では、「自分で解決する」が84.2%で最も高く、次いで「相談しても解決が期待できないから」が21.1%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、選択肢数が異なるが、「相談しても解決が期待できないから」が21.1%となっており、前回の40.0%と比較し18.9ポイント低くなっている。「自分で解決する」が84.2%で、前回の33.3%から50.9ポイント高くなっている。

図表4-27 「特に相談はしない」理由（令和7年度）



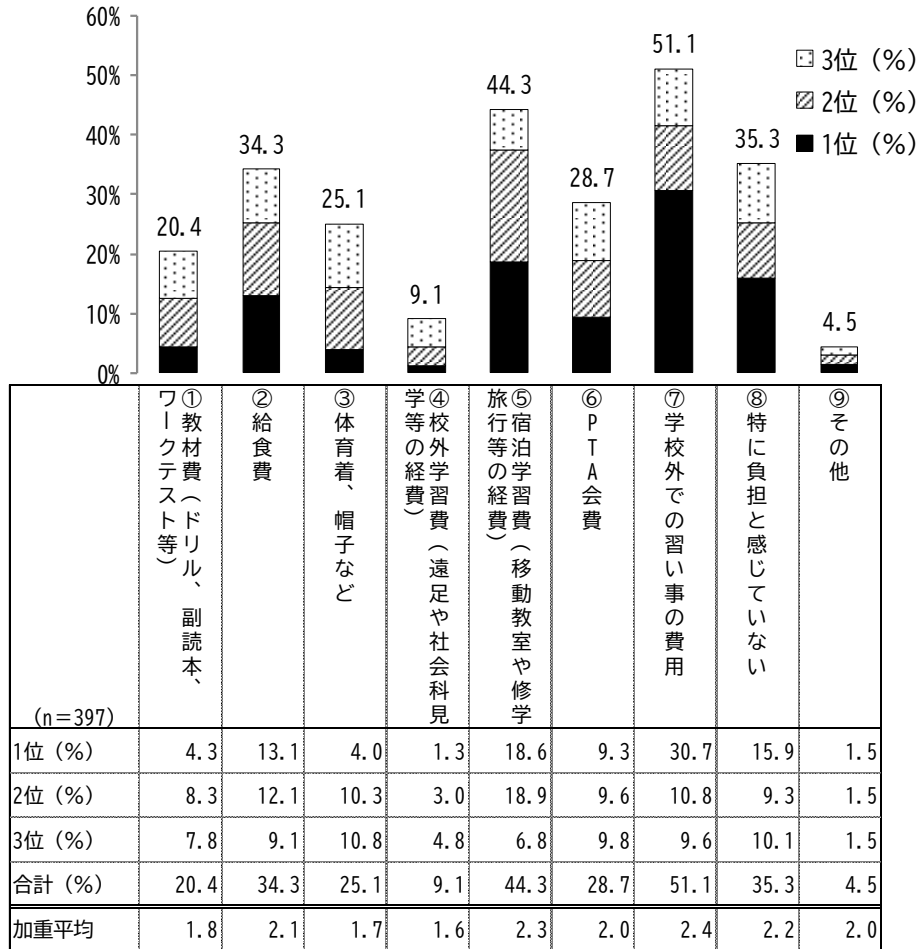
図表4-28 「特に相談はしない」理由（令和2年度）



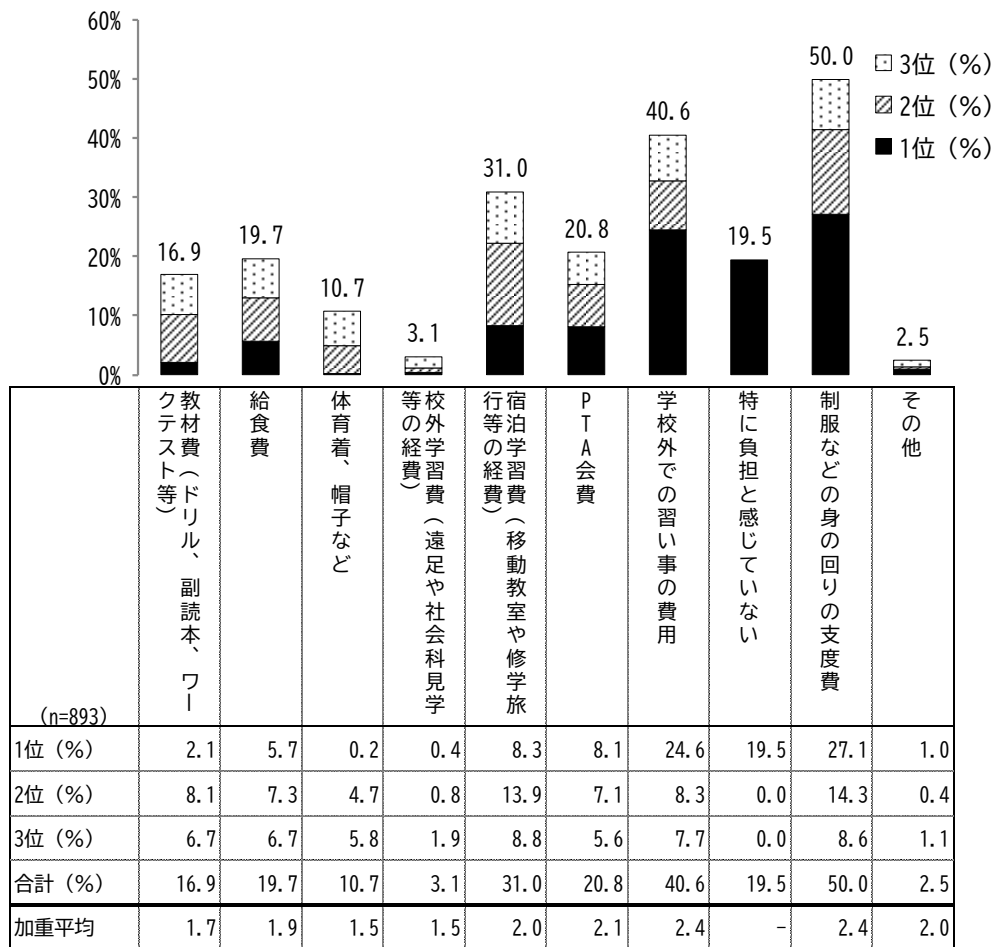
(5) 学校関連費用で負担だと感じる事項（1位～3位を選択）（問17）……………

- こどもの学校関連費用の負担感の1位～3位の合計比率では、「⑦学校外での習い事の費用」が51.1%で最も高く、次いで「⑤宿泊学習費（移動教室や修学旅行等の経費）」が44.3%、「②給食費」が34.3%となっている。「⑧特に負担と感じていない」は35.3%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、「②給食費」が34.3%で前回の19.7%と比較し14.6ポイント増加し、「③体育着、帽子など」が25.1%で、前回の10.7%と比較し14.4ポイント高くなっている。
- 「その他」では、「制服」「高校受験や入学に関する費用や準備物の費用」「部活にかかる費用」などがあつた。

図表4-29 学校関連費用で負担だと感じる事項（令和7年度）



図表4-30 学校関連費用で負担だと感じる事項（令和2年度）



- 主な養育者の就労状況別での学校関連の費用が負担だと感じる項目では、回答者数が大きく異なるため10人未満の回答を除くと、「ひとり親（父親または母親）で就労していない」で「学校外での習い事の費用」が63.6%と最も高くなっている。
- 「両親のうち『父親のみ』就労している」では「⑦学校外での習い事の費用」が、他の世帯よりもやや低くなっている。

図表4-31 学校関連費用で負担だと感じる事項（主な養育者の就労状況別）

		(%)										
		全体 (n)	①教材費 (ドリル、副読本、 ワークテスト等)	②給食費	③体育着、 帽子など	④校外学習費 (遠足や社会科見学 等の経費)	⑤宿泊学習費 (移動教室や修学旅 行等の経費)	⑥PTA会費	⑦学校外での 習い事の費用	⑧特に負担と 感じていない	⑨その他	
令和7年度		397	20.4	34.3	25.1	9.1	44.3	28.7	51.1	35.3	4.5	
養育者の 就労状況	両親が就労している	189	19.0	39.2	23.8	9.0	45.0	24.3	54.0	11.1	4.2	
	両親のうち「父親のみ」就労している	40	15.0	35.0	22.5	7.5	50.0	30.0	35.0	20.0	2.5	
	両親のうち「母親のみ」就労している	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	
	両親がともに就労していない	2	50.0	50.0	100.0	-	50.0	50.0	-	-	-	
	ひとり親（父親）で就労している	43	20.9	37.2	20.9	11.6	44.2	39.5	53.5	14.0	-	
	ひとり親（母親）で就労している	99	23.2	23.2	26.3	9.1	45.5	29.3	54.5	13.1	6.1	
	ひとり親（父親または母親）で就労していない	11	18.2	36.4	54.5	9.1	27.3	45.5	63.6	-	9.1	
	祖父母（のみ）で就労している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	祖父母（のみ）で就労していない	1	100.0	-	-	100.0	-	-	100.0	-	-	

沖縄県調査との比較

- 沖縄こども調査と比較すると、選択肢が異なる点に留意が必要だが、「給食費」では、沖縄県が35.5%、本市が34.3%で同水準となっている。「PTA会費」では、沖縄県の12.0%に対し、本市が28.7%で16.7ポイント高くなっている。
- 「特にない/特に負担と感じていない」では、沖縄県の3.2%に対し、本市が35.3%で本市が32.1ポイント高くなっている。

図表4-32 学校関連費用で負担だと感じる事項（沖縄県調査との比較）

		(%)																
学校関連費用で負担だと感じる事項	対象	全体(n)	教材費(ドリル、副読本、ワークテキスト等)	給食費	体育着、帽子など	校外学習費(遠足や社会科見学等の経費)	宿泊学習費(移動教室や修学旅行等の経費)	PTA会費	学校外での習い事の費用	特に負担と感じていない	その他							
		沖縄市	397	20.4	34.3	25.1	9.1	44.3	28.7	51.1	35.3	4.5	制服(学校が通学のために指定した制服・学生服など)	学用品費(授業で使用する筆記用具、絵・習字道具など文房具類)	通学用品費(ランドセル、かばん、通学くつなど)	教科外活動費(クラブ活動・学芸会などのために買った用具・物品など)	その他(上ばきなど)	無回答
学校教育費のなかで経済的負担が大きいもの	対象	全体(n)	読本、ワークブック、辞書など	給食費	靴、体育着(体育授業で使用する運動靴、体育着、水泳着など)	実験実習費(材料含む。授業で使用する製図用具、裁縫用具、調理用材料など)	宿泊学習費(自然教室、修学旅行など)	PTA会費	教科外活動費(クラブ活動・学芸会などのために買った用具・物品など)	学用品費(授業で使用する筆記用具、絵・習字道具など文房具類)	通学用品費(ランドセル、かばん、通学くつなど)	教科外活動費(クラブ活動・学芸会などのために買った用具・物品など)	制服(学校が通学のために指定した制服・学生服など)	学用品費(授業で使用する筆記用具、絵・習字道具など文房具類)	通学用品費(ランドセル、かばん、通学くつなど)	教科外活動費(クラブ活動・学芸会などのために買った用具・物品など)	その他(上ばきなど)	無回答
		沖縄県	1,522	15.5	35.5	25.6	1.0	59.1	12.0	24.6	13.5	9.8	72.0	1.2	5.4	3.2	3.2	0.5

出典：沖縄県「令和6年度沖縄こども調査(小中学生調査)」

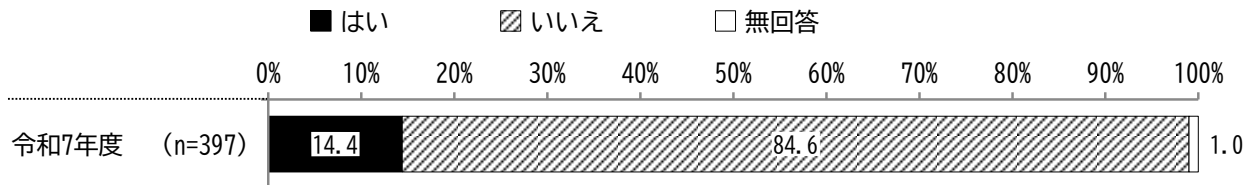
※沖縄県調査は中学2年生保護者の回答

(6) こどもの学校生活に必要なものの用意 ……………

必要なものの用意ができなかったことの有無 (問 18)

- こどもの学校生活に必要な物品を十分に用意ができなかったことがあるかでは、「いいえ」が84.6%、「はい」が14.4%となっている。

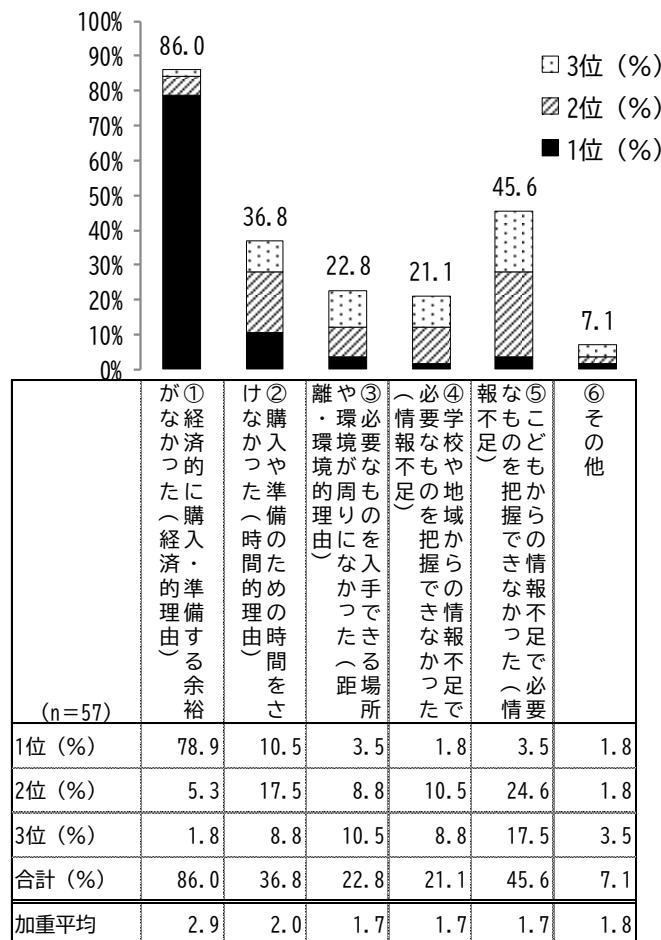
図表4-33 必要なものの用意ができなかったことの有無



必要なものが用意できなかった理由 (1位~3位を選択) (問 18-1)

- 必要なものが用意できなかった理由の1位~3位の合計比率では、「①経済的に購入・準備する余裕がなかった (経済的理由)」が86.0%で最も高く、次いで「⑤子どもからの情報不足で必要なものを把握できなかった (情報不足)」が45.6%、「②購入や準備のための時間をさけなかった (時間的理由)」で36.8%となっている。
- 「その他」では、「話を聞いても余裕がなくて忘れてしまう」などがあつた。

図表4-34 必要なものが用意できなかった理由

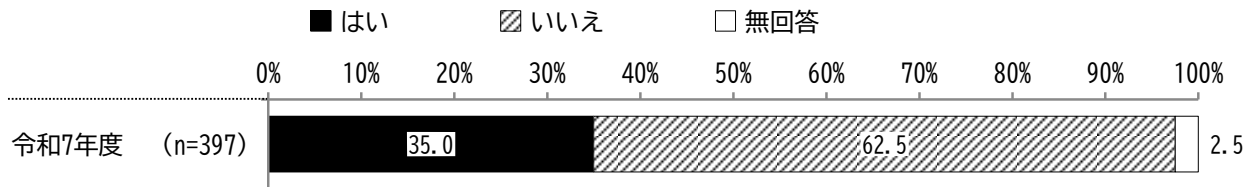


(7) 学びの機会の制限経験

こどもの学びの機会を制限せざるを得なかったことの有無 (問 19)

- こどもが希望する塾や習い事、家庭学習などの学びを制限したことがあるかでは、「いいえ」が62.5%、「はい」が35.0%となっている。

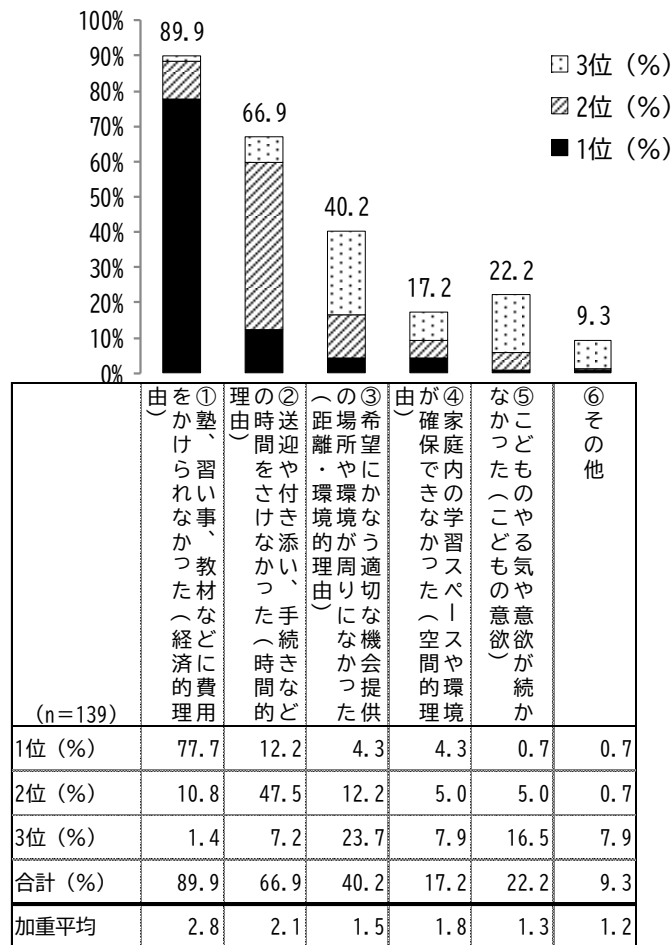
図表 4 - 35 学びの機会の制限の有無



学びの機会の制限の理由 (1位~3位を選択) (問 19-1)

- 学びの機会を制限せざるを得なかった理由の1位~3位の合計比率では、「①塾、習い事、教材などに費用をかけられなかった (経済的理由)」が89.9%で最も高く、次いで「②送迎や付き添い、手続きなどの時間をさけなかった (時間的理由)」が66.9%となっている
- 「その他」では、「時間が足りない」「塾に逃げさせたくなかった」などがあった。

図表 4 - 36 学びの機会の制限の理由

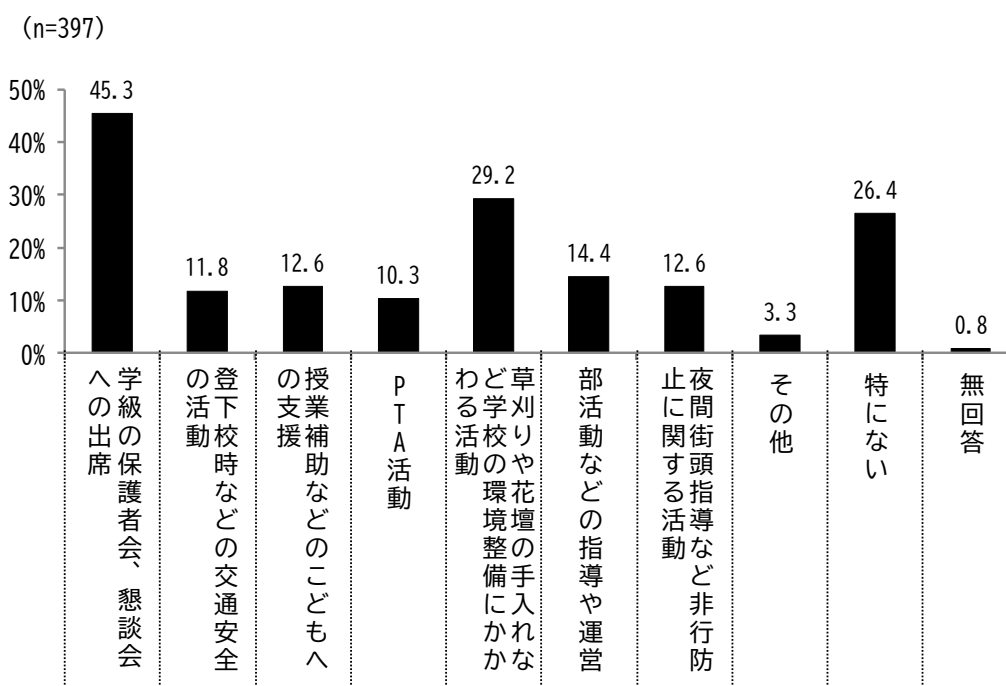


4. 学校と家庭、地域の連携・協働に関すること

(1) 学校の取組・活動への協力の意向（複数選択）（問4）

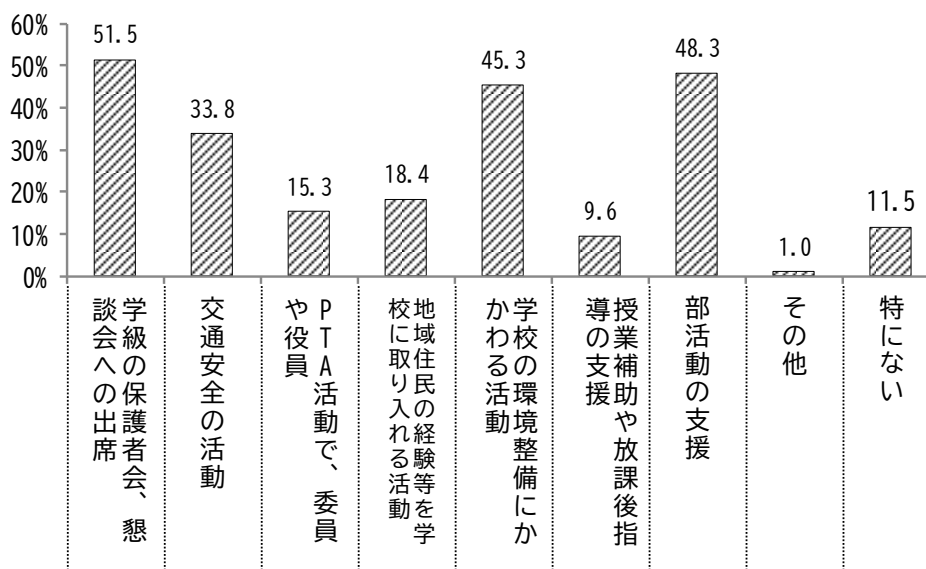
- こどもの通う学校と協力したり、参加したりしても良いと思うことでは、「学級の保護者会、懇談会への出席」が45.3%で最も高く、次いで「草刈りや花壇の手入れなど学校の環境整備にかかわる活動」が29.2%、「部活動などの指導や運営」で14.4%、「特にない」は、26.4%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、「部活動などの指導や運営」が14.4%となっており、前回の48.3%と比較し33.9ポイント低くなっている。
- 「その他」では、「読み聞かせや職業紹介など」「部活の見守り」などがあつた。

図表4-37 学校の取組・活動への協力の意向（令和7年度）



図表4-38 学校の取組・活動への協力の意向（令和2年度）※1位～3位の合計比率

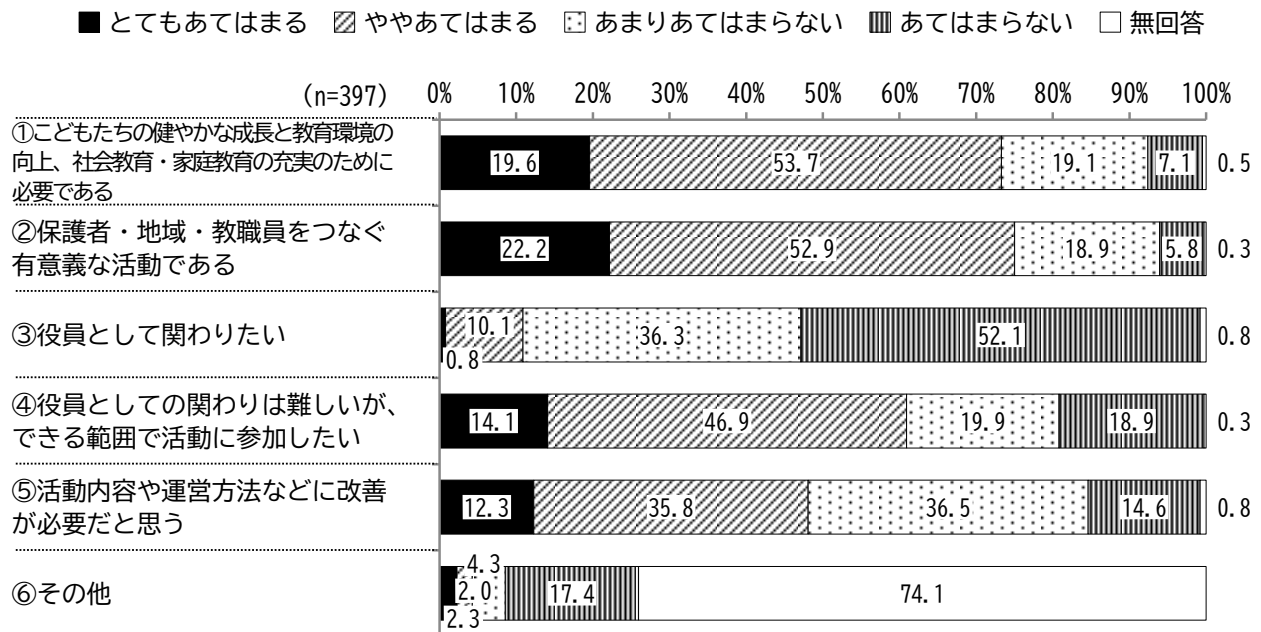
(n=893)



(2) PTA (PTCA) 活動 (問5)

- PTA (PTCA) 活動に対する考えとして「とてもあてはまる」では、「②保護者・地域・教職員をつなぐ有意義な活動である」が22.2%で最も高く、次いで「①こどもたちの健やかな成長と教育環境の向上、社会教育・家庭教育の充実のために必要である。」が19.6%、「④役員としての関わりは難しいが、できる範囲で活動に参加したい」が14.1%となっている。
- 「あてはまらない」では、「③役員として関わりたい」が52.1%で最も高く、次いで「④役員としての関わりは難しいが、できる範囲で活動に参加したい」が18.9%、「⑤活動内容や運営方法などに改善が必要だと思う」が14.6%となっている。
- 「その他」では、「教師も保護者も負担になっている」「建前だけの組織はいらない」「各学校独自の必要最小限の活動で良い」などがあつた。

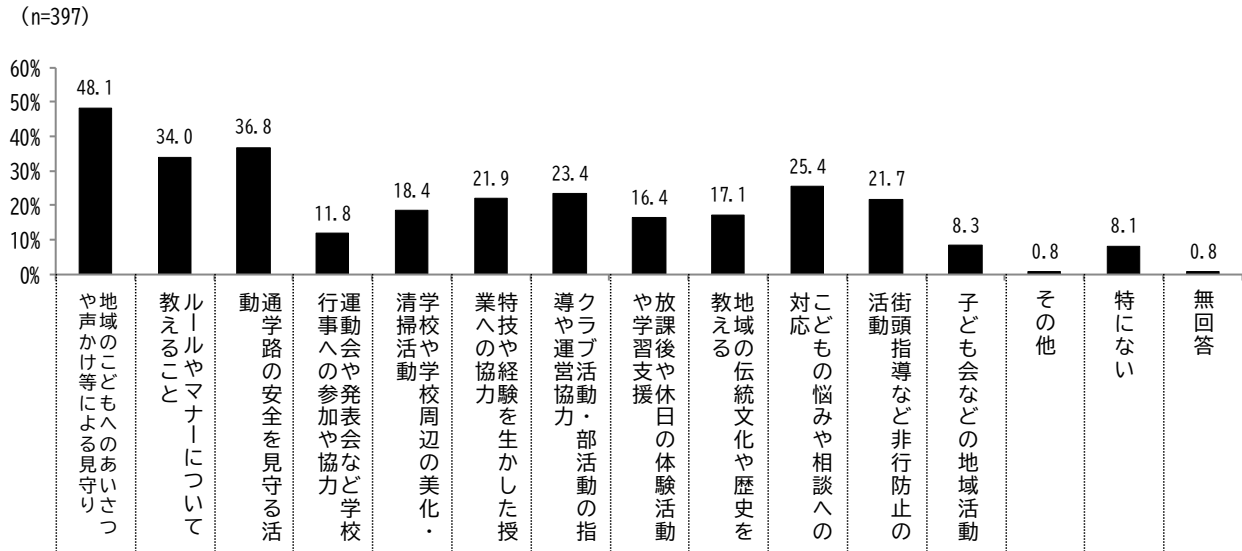
図表4-39 PTA (PTCA) 活動



(3) 地域の役割・取組（複数選択）（問22）

- こどもの教育環境の充実を図るために、地域の役割として取り組んでほしいことについては、「地域の子どもへのあいさつや声かけ等による見守り」が48.1%で最も高く、次いで「通学路の安全を見守る活動」が36.8%、「ルールやマナーについて教えること」が34.0%となっている。「特にない」は、8.1%となっている。

図表4-40 地域の役割・取組

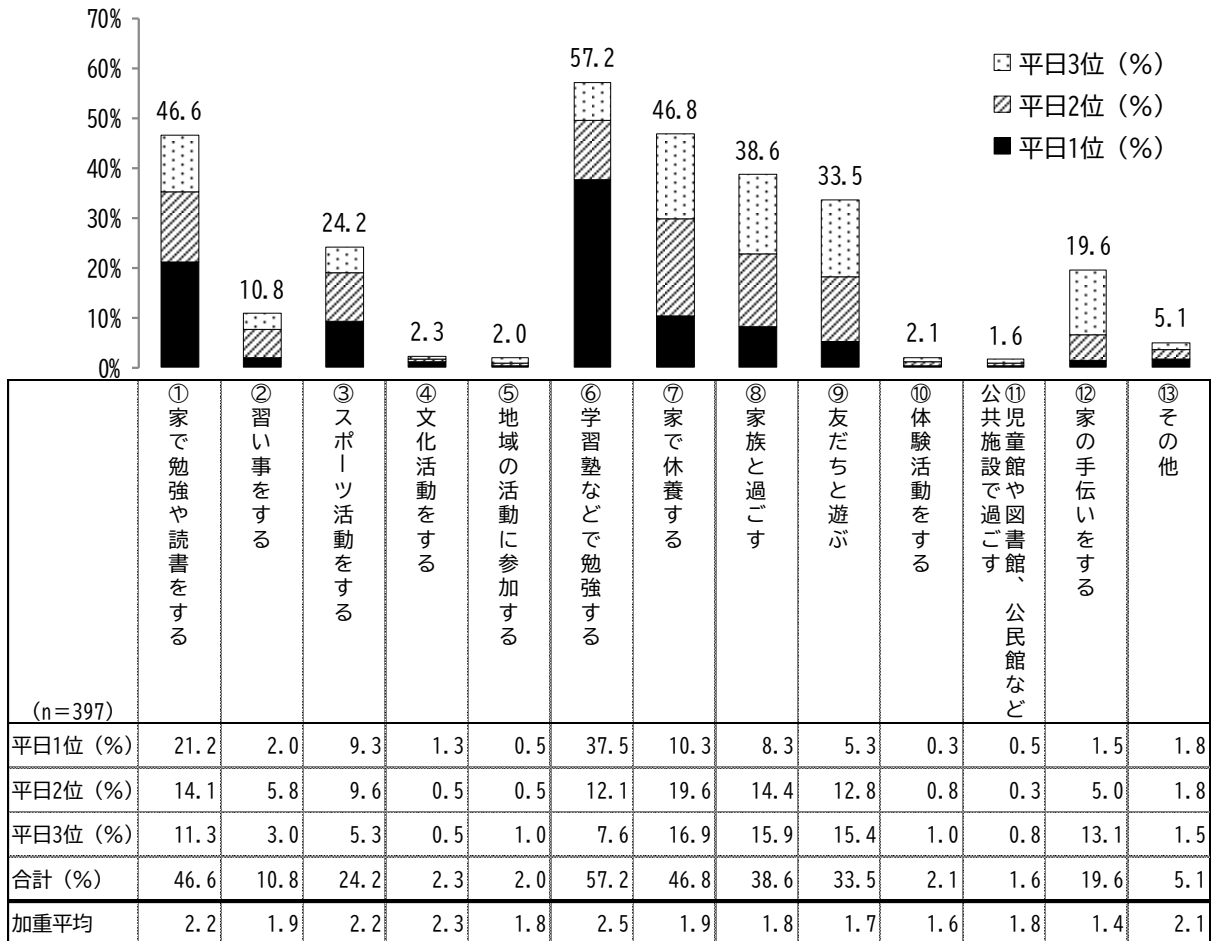


5. 青少年の健全育成に関すること

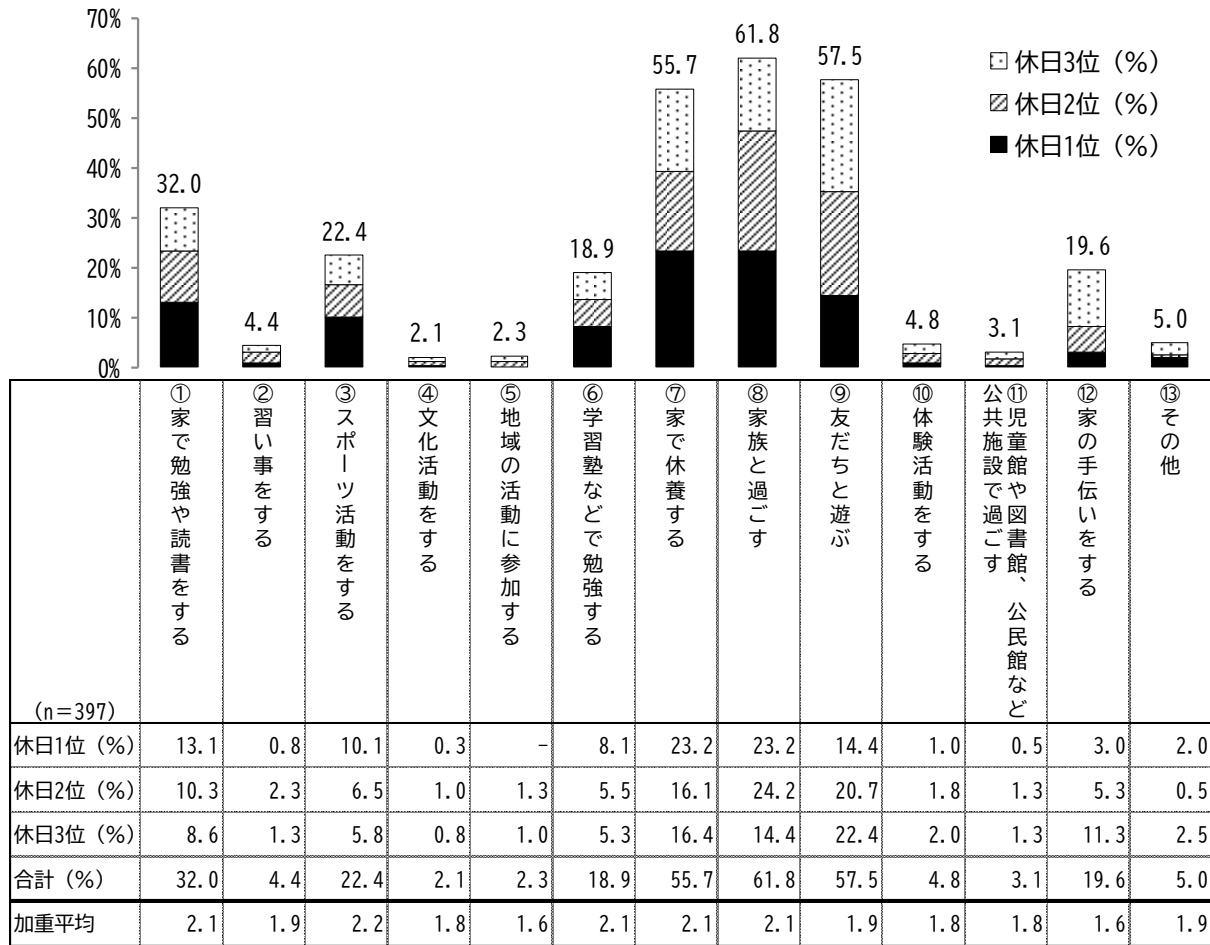
(1) 平日と休日の望ましい過ごし方（1位～3位を選択）（問13）……………

- 平日の望ましい過ごし方の1位～3位の合計比率では、「⑥学習塾などで勉強する」が57.2%で最も高く、次いで「⑦家で休養する」が46.8%、「①家で勉強や読書をする」が46.6%となっている。
- 休日の望ましい過ごし方の1位～3位の合計比率では、「⑧家族と過ごす」が61.8%で最も高く、次いで「⑨友だちと遊ぶ」が57.5%、「⑦家で休養する」が55.7%となっており、いずれも平日より割合が高い。
- 平日と休日と比較すると、「⑥学習塾などで勉強する」の「平日」が57.2%となっており、「休日」の18.9%と比較し、38.3ポイント高くなっている。「⑫家の手伝いをする」では、平日・休日の差はない。
- 「その他」では、好きなことをして有意義に過ごしてほしい等のほか、平日は「ゲーム」「宿題」、休日は「ゲーム、YouTube」「普段できないこと」などがあつた。

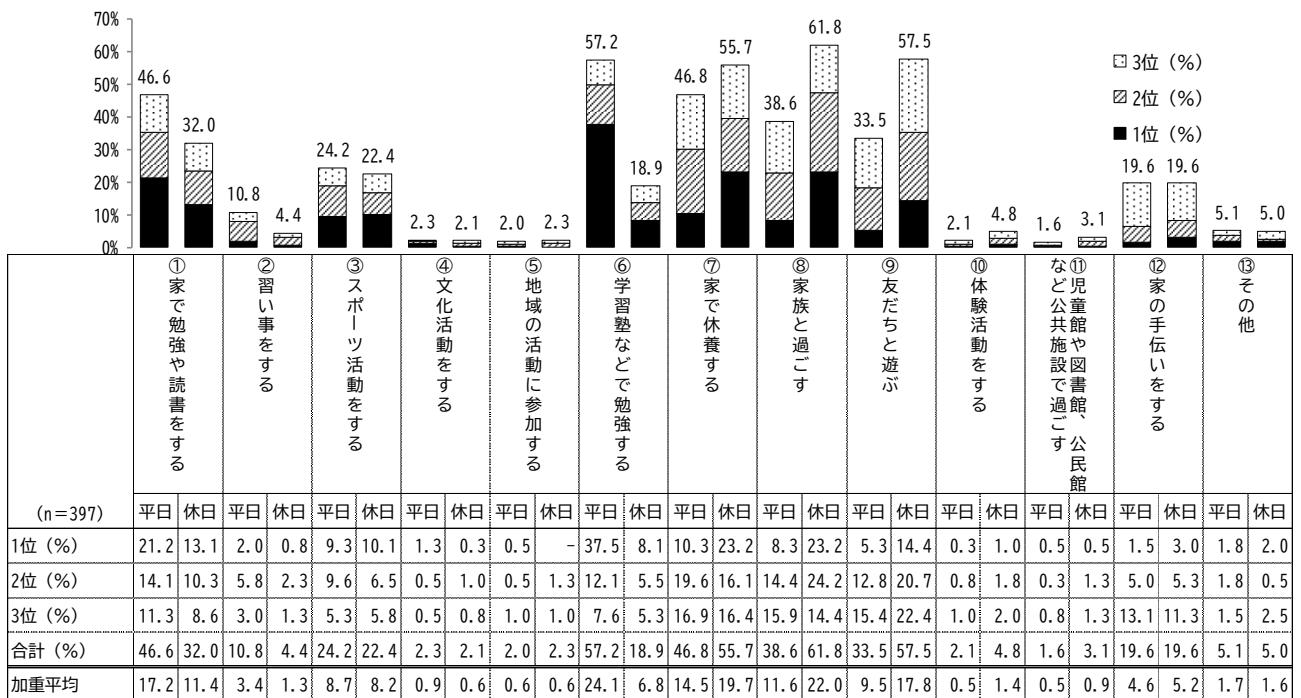
図表4-41 望ましい過ごし方（平日）



図表4-42 望ましい過ごし方（休日）



図表4-43 望ましい過ごし方（平日と休日との比較）

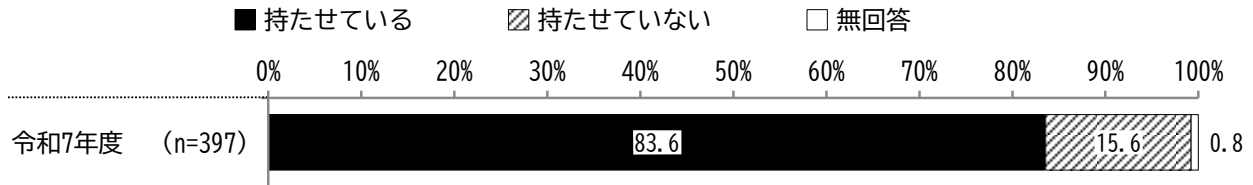


6. スマートフォンに関すること

(1) スマートフォンの保有（問15）

- こども専用のスマートフォンや携帯電話保有の有無では、「持たせている」が83.6%、「持たせていない」が15.6%となっている。

図表4-44 こどものスマートフォンの保有

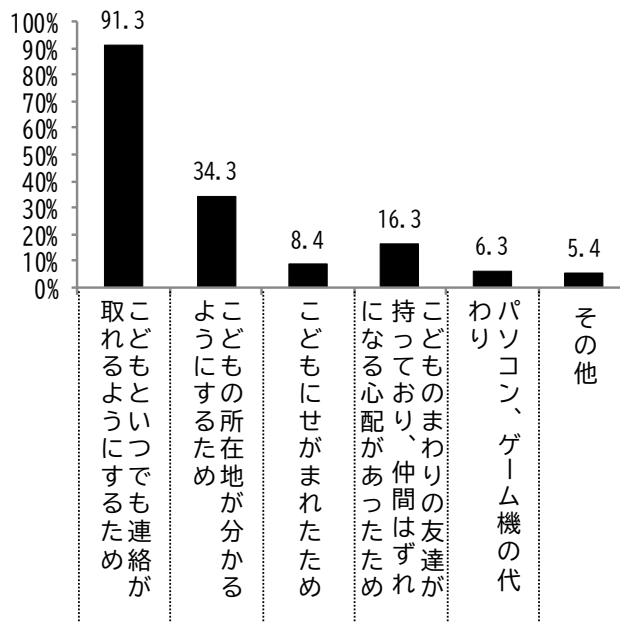


(2) 持たせている理由（複数選択）（問15-1）

- こども専用のスマートフォン等を持たせている理由では、「こどもといつでも連絡が取れるようにするため」が91.3%で最も高く、次いで「こどもの所在地が分かるようにするため」が34.3%、「こどものまわりの友達を持っており、仲間はずれになる心配があったため」が16.3%となっている。
- 「その他」では、「部活動の連絡のため」「調べ物や学習を補完する動画等の活用」「家庭の事情が必要」などがあつた。

図表4-45 スマートフォン等を持たせている理由

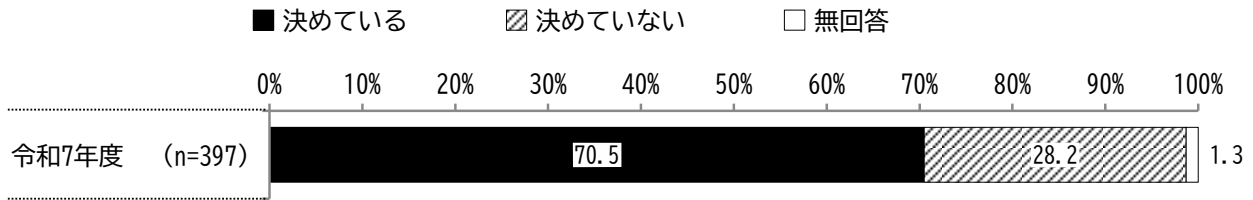
(n=332)



(3) スマートフォン等の利用ルールの有無 (問 16)

- こどもがスマートフォンやインターネットを利用するときのルールでは、「決めている」が70.5%、「決めていない」が28.2%となっている。

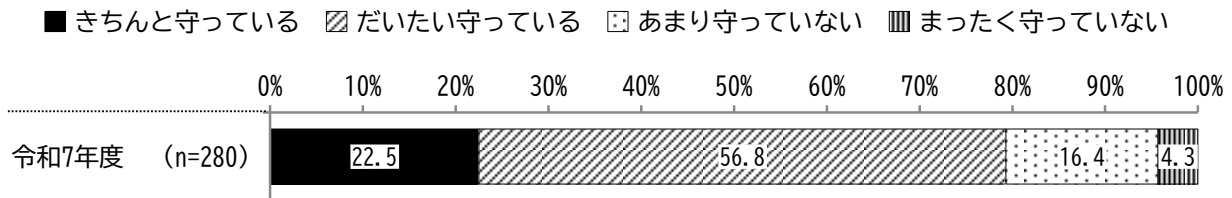
図表4-46 スマートフォン等の利用ルールの有無



(4) ルールの順守状況 (問 16-1)

- スマートフォン等の利用ルールについて「だいたい守っている」が56.8%、「きちんと守っている」が22.5%となっている。

図表4-47 ルールの順守状況



7. 自由意見（中学3年生保護者）

(1) 沖縄市の教育に関するご意見（問23）

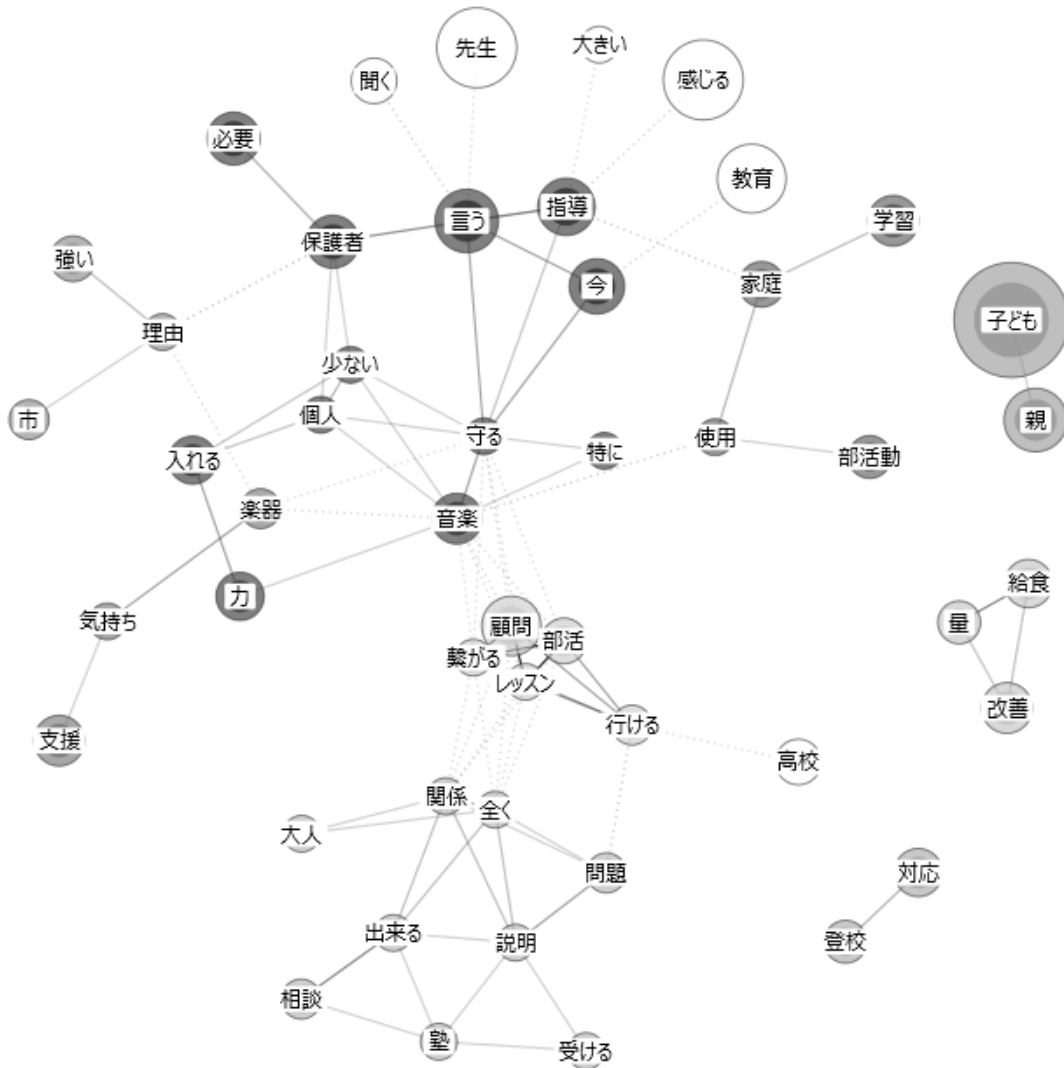
<テキストマイニングによる共起ネットワーク>

沖縄市の教育に関する自由記述回答の頻出単語を図のように整理した。

【特徴となるポイント】

- 「問題」「説明」「出来る」「関係」「相談」が接続しており、保護者が抱える問題に対し、適切な説明や相談できる機会が求められていることが推察される。
- 「指導」「必要」「言う」「保護者」が接続しており、学校での指導に対して、保護者の要望や意見、指導の強化などについて言及されていることが推察される。
- 「対応」と「登校」が他の語群と距離を持って配置されており、特定の対応や登校に関する内容が独立した文脈として言及されていることが推察される。

図表4-48 自由意見（共起ネットワーク）

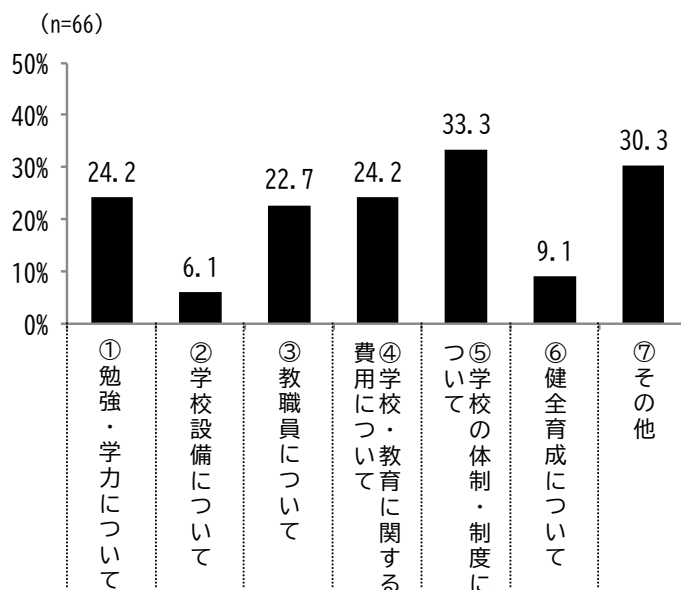


※出現回数の多い語ほど、大きい円で表示している
 ※円の距離が近いほど、その単語同士が近い抽出語彙を示す
 ※円と円を結ぶ線については、共起の強弱を表し、関連が強い語と語を結ぶほど濃くなる

<カテゴリ分類>

- 回答があった66件の内容を以下の7項目に分類し、主な意見の一部を掲載している。

図表4-49 自由意見（カテゴリ分類）



※1件の中に複数のカテゴリにまたがる回答もあるため、件数は66件より多く、割合の合計は100%を超えている。

カテゴリ	件数	主な意見（原則、原文を掲載）
①勉強・学力について	16	<p>タブレット学習をいち早く定着させているのは素晴らしいと思います。しかし授業中、家庭への持ち帰りによって、ゲームや音楽など娯楽に使っている生徒もおり依存性が否めない。授業中とわかる時間帯のゲームの制限、家庭持ち帰りの時の使用時間を1時間までにして制限して使用させないなどを徹底していかないと現場の先生方だけの力ではどうにもならないように見受けられます。その辺りのご検討も、しっかり考えてほしいです。</p> <p>個人成績の付け方に対して各学校判断ではなく、市内統一に近づけるよう細かく取り決めを作ってもらいたいです。</p>
②学校設備について	4	<p>小中体育館の冷房設置を強く望みます。</p> <p>部活動がクラブ移行した時に、部活動のように体育館を利用できるようにしてほしい。</p> <p>タブレットを使用する授業は時代的に必要なのかもしれないけれど、そればかりだと先生と生徒の関わりは薄くなってしまわないか心配です。機械から学ぶより先生から説明された方が、腑に落ちることもいっぱいあると思います。</p>

Ⅱ 本調査の結果 第4章 中学3年生保護者の調査結果

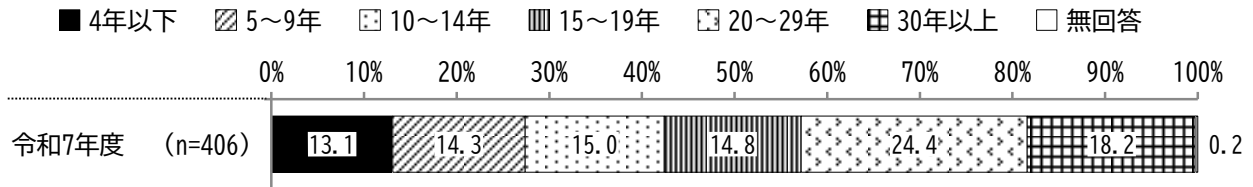
カテゴリ	件数	主な意見（原則、原文を掲載）
③教職員について	15	<p>いつもありがとうございます。</p> <p>教員の方々が、休日も出勤しているのが、気になります。仕事の簡素化、ICTの活用などで少しでも休める環境が作れた方がいいと思う。</p> <p>保護者の力や地域の人に学校の事に積極的に関わってもらって、先生がやらないといけない仕事だけを洗い出しして、その他でいいことは、事務員の方を多くやとい、やってもらうのもいいと思う。子供の学習のことはお願いしたいと思うが、これ以上先生たちに負担がかからないような対策が必要。</p> <p>教員の資質にバラツキが大きいと感じています。特に、子供へ不誠実な態度(嘘、偽り、隠し事等)をとるなど、教職者として資質が足りない人には、適切な指導をして欲しい。子ども達が、一部の不誠実な先生方がいることで、大人への不信感を感じているのをみますと、大変不安を感じています。</p>
④学校・教育に関する費用について	16	<p>部活動をするのに大変、お金がかかり過ぎています。活動をしたくても、金銭的に厳しくて困っています。</p> <p>塾に通わせる、お金も厳しいです。家庭学習でわからないところを聞く事が出来ず、勉強にも身が入らない様子です。無料塾や悩みを相談出来る、児童館のようなものが身近にたくさんあればいいのと思います。</p> <p>英検が中学で受けられなくなり、個人で申し込みや受験費用などの手続きも必要になり、子供の町とうたっているのに後退していると思います。</p> <p>給食費の無料化など、未来の沖縄市を背負っていく子の教育や育成に力を入れてほしい。</p>
⑤学校の体制・制度について	22	<p>他市町村と同じ3学期制に戻してほしい。</p> <p>沖縄市内の中学校の定期テストの回数や評価の基準を統一してほしい。</p> <p>スクリレ等はネット環境がないと情報がみるのに時間がかかる。LINEみたいな連絡が出来たら助かります。先生に、相談したくても学校時間内じゃないと問い合わせできないので。もちろん内容は常識範囲内で返答は勤務時間内などにいただけたらわかりやすいです。</p>
⑥健全育成について	6	<p>沖縄市でもヤンキーと言われる子供達が多く、真面目に勉強をやる生徒に影響を与える場面がある。校内での喫煙や深夜徘徊をとくに目にする。生徒の質の格差が広がっているように感じる。子供を指導する時親にもきちんと指導すべき。子供の罪は親の責任が大きい。</p> <p>沖縄市は不登校や深夜徘徊が多い感じがします。また、エイサーや祭り行事の度に未成年の深夜徘徊と飲酒などが見かけられますが何も対応されず、若年者が夜通し騒いでもいいという環境を作っています。エイサーも夜中まではやめて欲しいです。</p>
⑦その他	20	<p>沖縄市はスポーツ活動が中心に感じるなので、芸術など文化面へも力を入れて頂きたい。</p> <p>沖縄市独自の支援をした方がいいと思います。子供を差別することなく子供達が自由に高校&大学を選んでいけるように金銭面の負担をなるべく減らせるようにしてほしいです。子供が自由に高校&大学が行けるなら、親として税金が上がっても何も問題がないと思います。逆にその方が親は助かり子供達も親の顔色をうかがわずに好きな高校&大学に行けると思います。この取り組みをしたら人口も増えるし税収も増えると思います。</p>

第5章 教員の調査結果

1. 基本属性

(1) 教職経験年数（問1）

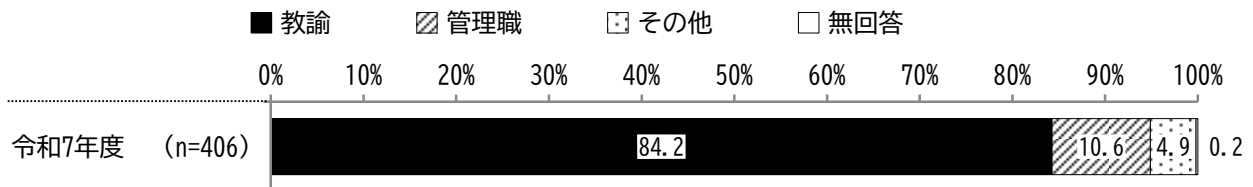
図表5-1 教職経験年数



(2) 職名・担当している学年（小学校・中学校・その他）

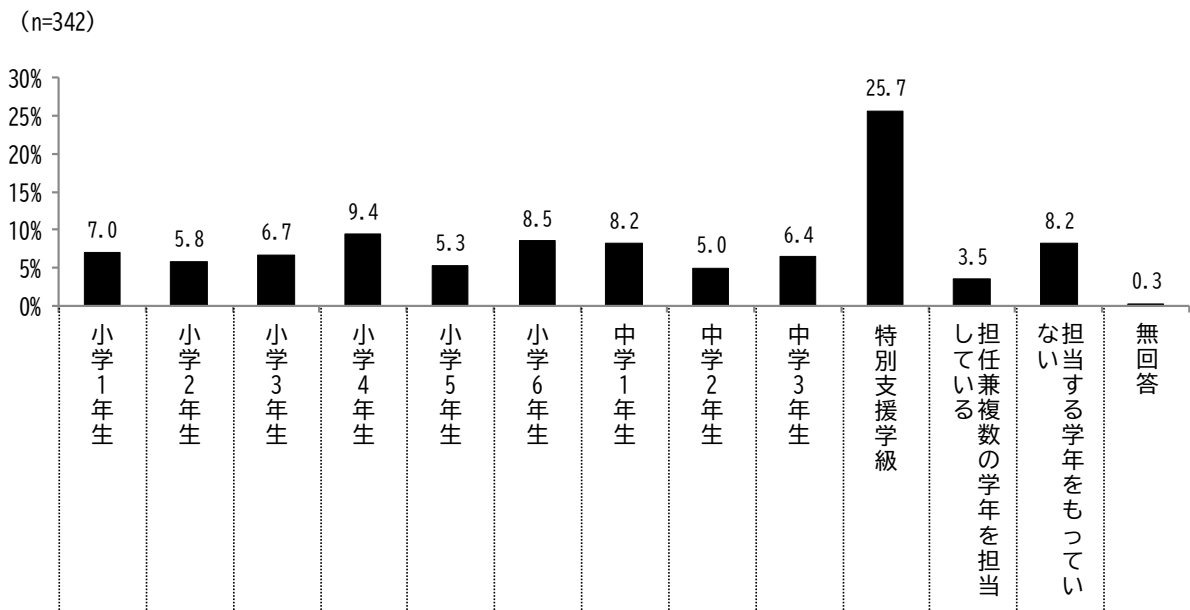
① 職名（問2）

図表5-2 職名



② 担当学年（問2-1）

図表5-3 担当している学年

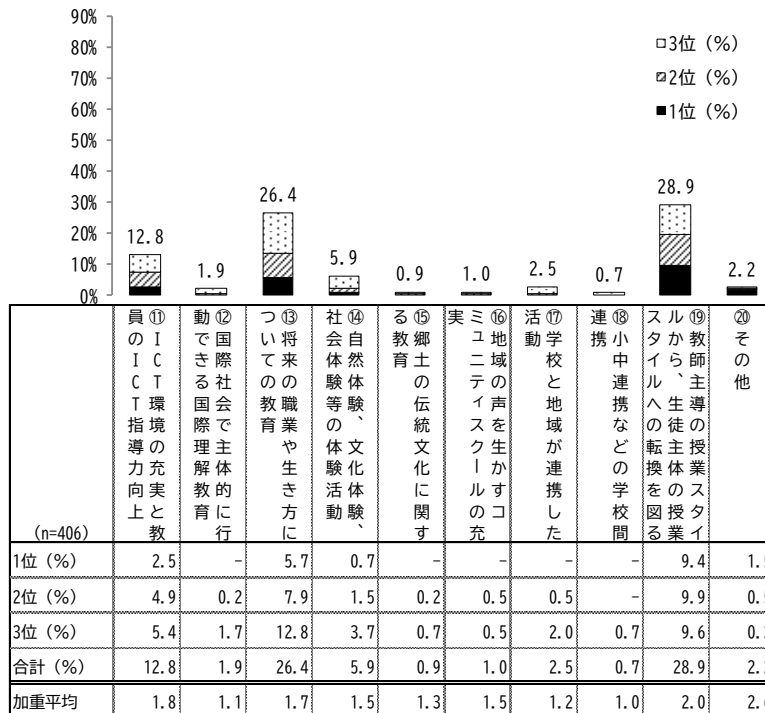
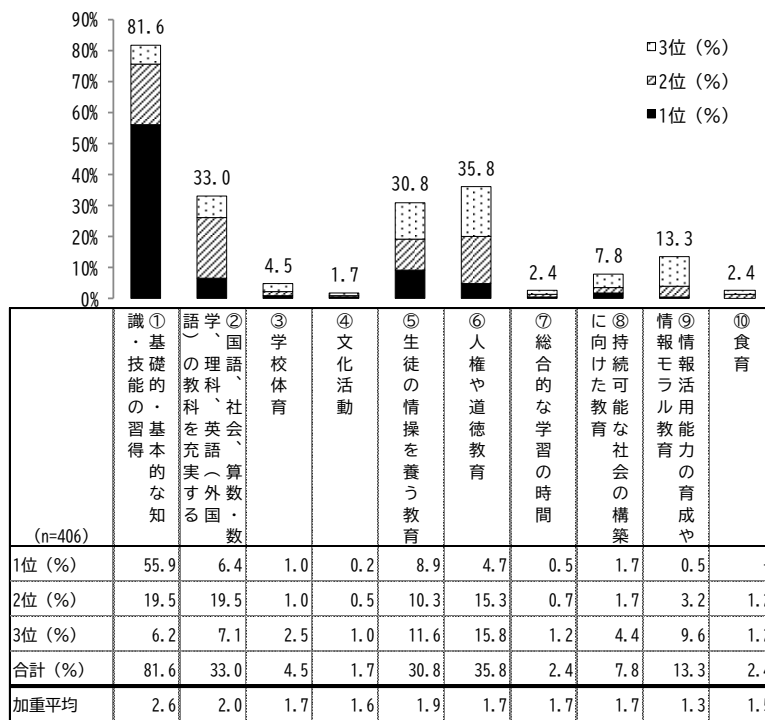


2. 確かな学力・豊かな心・健やかな体に関すること

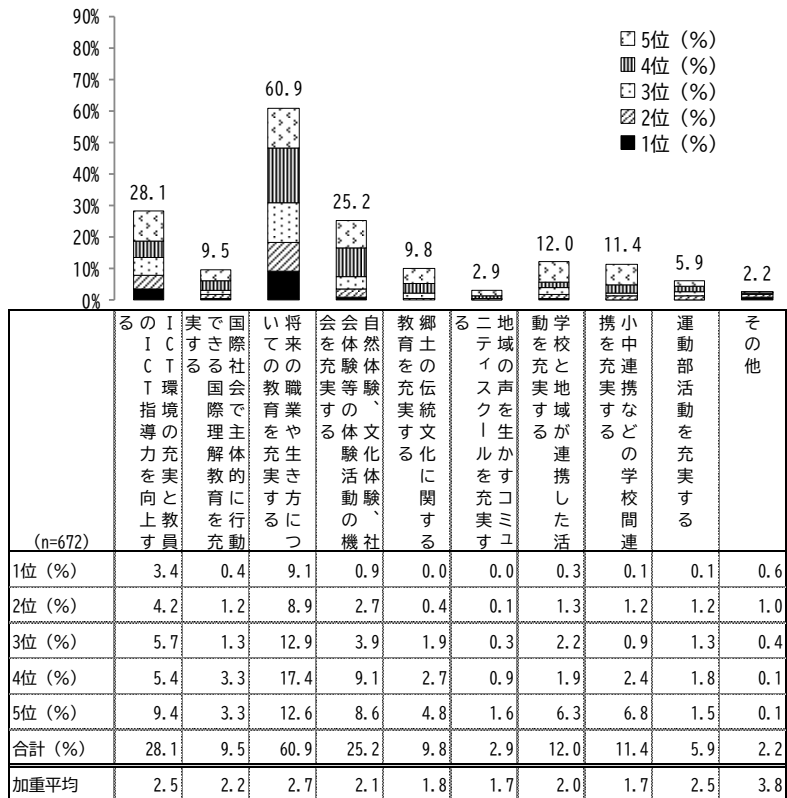
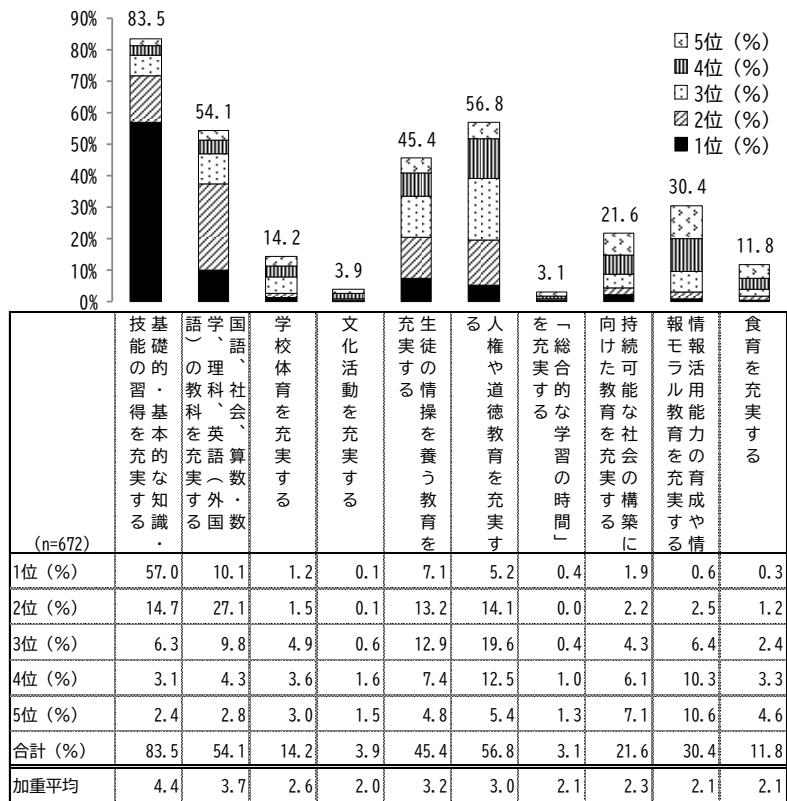
(1) 学習指導で重点的と考える項目（1位～3位を選択）（問3）……………

- 今後の学習指導において特に重点的に力を入れていこうと考えるものの1位～3位の合計比率では、「①基礎的・基本的な知識・技能の習得」が81.6%で最も高く、次いで「⑥人権や道徳教育」が35.8%、「②国語、社会、算数・数学、理科、英語（外国語）の教科を充実する」が33.0%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、「②国語、社会、算数・数学、理科、英語（外国語）の教科を充実する」の1位が6.4%で、前回の10.1%と比較し3.7ポイント低くなっている。
- 「その他」では、「インクルーシブ教育」「保健教育」などがあつた。

図表5-4 学習指導で重点的と考える項目（令和7年度）



図表5-5 学習指導で重点的と考える項目（令和2年度）



II 本調査の結果 第5章 教員の調査結果

- ・ 教員経験年数別で見ると、30年以上の「①基礎的・基本的な知識・技能の習得」が87.8%で最も高く、「⑱小中連携などの学校間連携」はいずれの年数でも低くなっている。
- ・ 「⑤生徒の情操を養う教育」の20年以上30年未満の22.2%と30年以上の40.5%との差が18.3ポイントで最も大きくなっている。

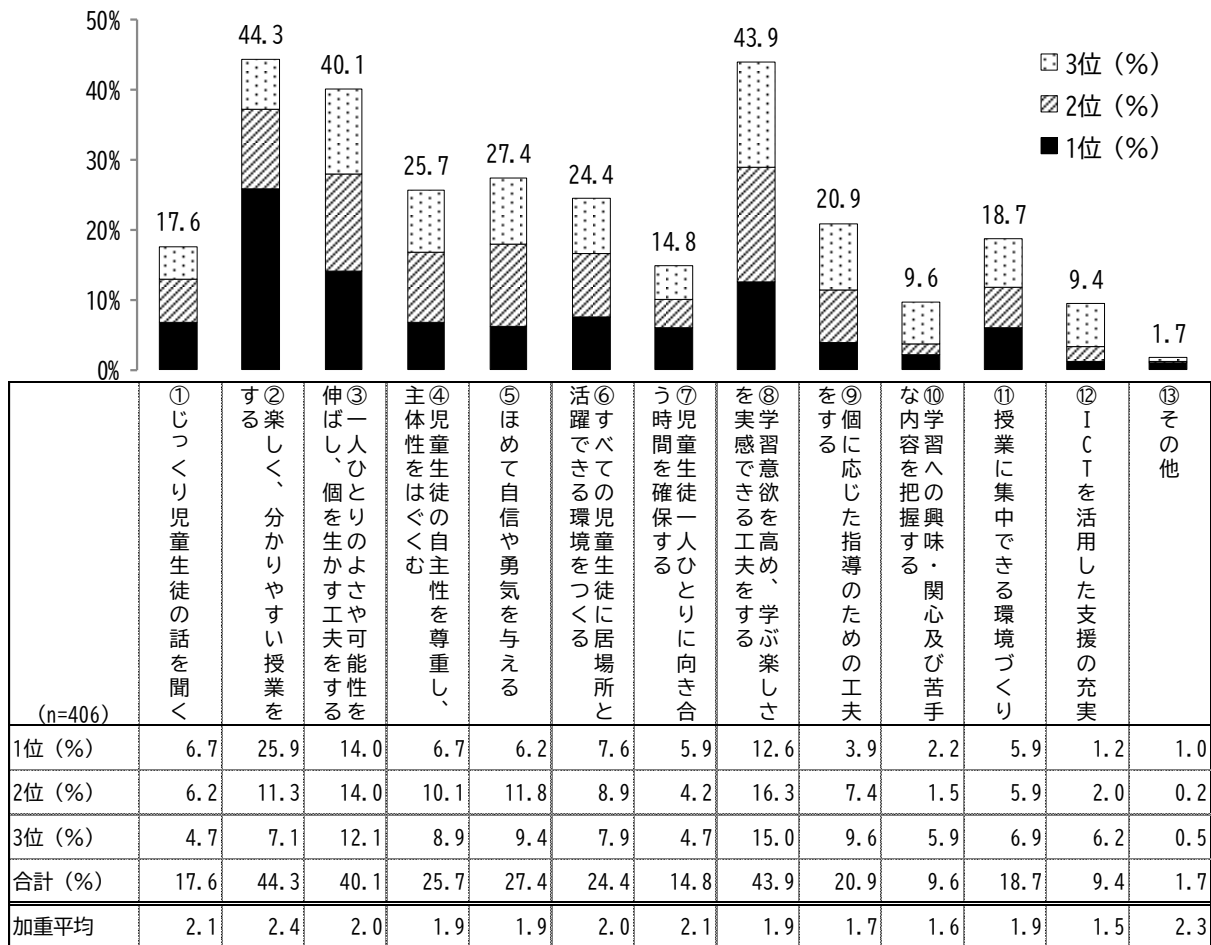
図表5-6 学習指導で重点的と考える項目（教員経験年数別）

		全体 (n)	①基礎的・基本的な知識・技能の習得	②国語、社会、理科、英語（外国語）の教科を充実する	③学校体育	④文化活動	⑤生徒の情操を養う教育	⑥人権や道徳教育	⑦総合的な学習の時間	⑧持続可能な社会の構築に向けた教育	⑨情報活用能力の育成や情報モラル教育	⑩食育	⑪ICT環境の充実と教員のICT指導力向上
令和7年度		406	81.5	33.0	4.4	1.7	30.8	35.7	2.5	7.9	13.3	2.5	12.8
教員経験年数	10年未満	111	81.1	37.8	3.6	2.7	30.6	37.8	3.6	4.5	14.4	2.7	15.3
	10年以上20年未満	121	75.2	32.2	5.8	0.8	32.2	37.2	2.5	9.9	13.2	2.5	16.5
	20年以上30年未満	99	85.9	36.4	4.0	1.0	22.2	33.3	2.0	7.1	13.1	2.0	7.1
	30年以上	74	87.8	23.0	4.1	2.7	40.5	33.8	1.4	10.8	12.2	2.7	10.8
		全体 (n)	⑫国際社会で主体的に行動できる国際理解教育	⑬将来の職業や生き方についての教育	⑭自然体験、文化体験、社会体験等の体験活動	⑮郷土の伝統文化に関する教育	⑯地域の実情を反映した活動	⑰学校と地域が連携した活動	⑱小中連携などの学校間連携	⑲教師の指導のスタイル、生徒の主体的な授業スタイルへの転換を図る	⑳その他	無回答	
令和7年度		406	2.0	26.4	5.9	1.0	1.0	2.5	0.7	28.8	1.7	0.5	
教員経験年数	10年未満	111	0.9	25.2	3.6	0.9	-	2.7	0.9	24.3	3.6	-	
	10年以上20年未満	121	3.3	23.1	2.5	1.7	0.8	2.5	-	29.8	2.5	0.8	
	20年以上30年未満	99	2.0	31.3	11.1	1.0	1.0	3.0	2.0	33.3	-	-	
	30年以上	74	1.4	27.0	8.1	-	2.7	1.4	-	28.4	-	-	

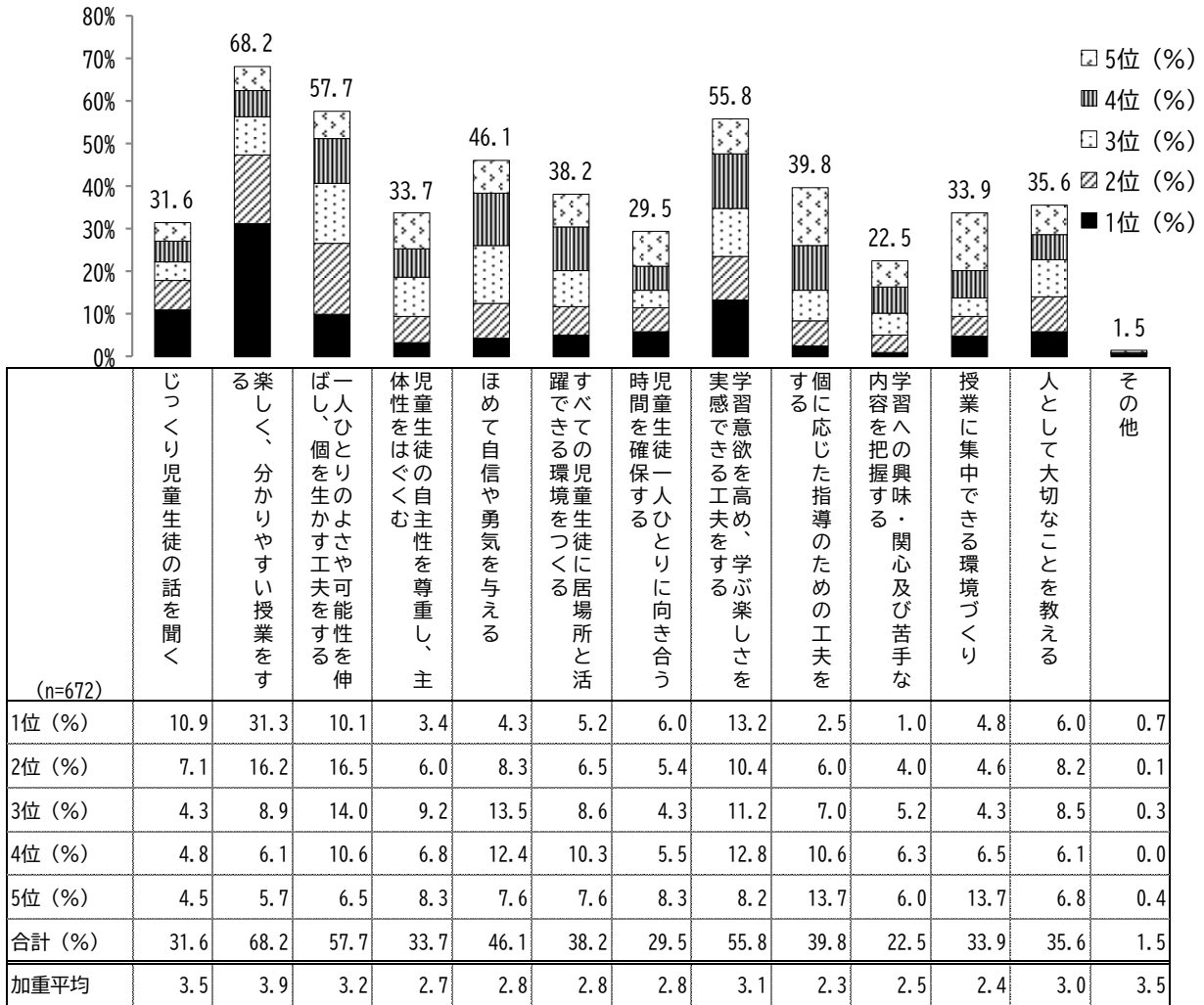
(2) 学習意欲の向上の工夫（1位～3位を選択）（問4）

- ・ 児童生徒の学習意欲の向上のために、教員の工夫が求められていると思うことの1位～3位の合計比率では、「②楽しく、分かりやすい授業をする」が44.3%で最も高く、次いで「⑧学習意欲を高め、学ぶ楽しさを実感できる工夫をする」が43.9%、「③一人ひとりのよさや可能性を伸ばし、個を生かす工夫をする」が40.1%となっている。
- ・ 令和2年度調査と比較すると、「②楽しく、分かりやすい授業をする」の1位が25.9%で、前回の31.3%と比較し5.4ポイント低くなっている。
- ・ 「その他」では、「未来志向で児童との関わりをつくっていく」「学ぶ目的を考えさせ振り返らせる」などがあつた。

図表5-7 学習意欲の向上の工夫（令和7年度）



図表5-8 学習意欲の向上の工夫（令和2年度）



- ・ 教員経験年数別でみると、20年以上30年未満で「⑧学習意欲を高め、学ぶ楽しさを実感できる工夫をする」が57.6%で最も高く、10年以上20年未満の36.4%との差が21.2ポイントとなっている。
- ・ 10年未満、10年以上20年未満では、「②楽しく、分かりやすい授業をする」、30年以上では、「③一人ひとりのよさや可能性を伸ばし、個を生かす工夫をする」が最も高くなっている。
- ・ 10年以上20年未満と30年以上では「⑩学習への興味・関心及び苦手な内容を把握する」、10年未満と20年以上30年未満では「⑫ICTを活用した支援の充実」が最も低くなっている。

図表5-9 学習意欲の向上の工夫（教員経験年数別）

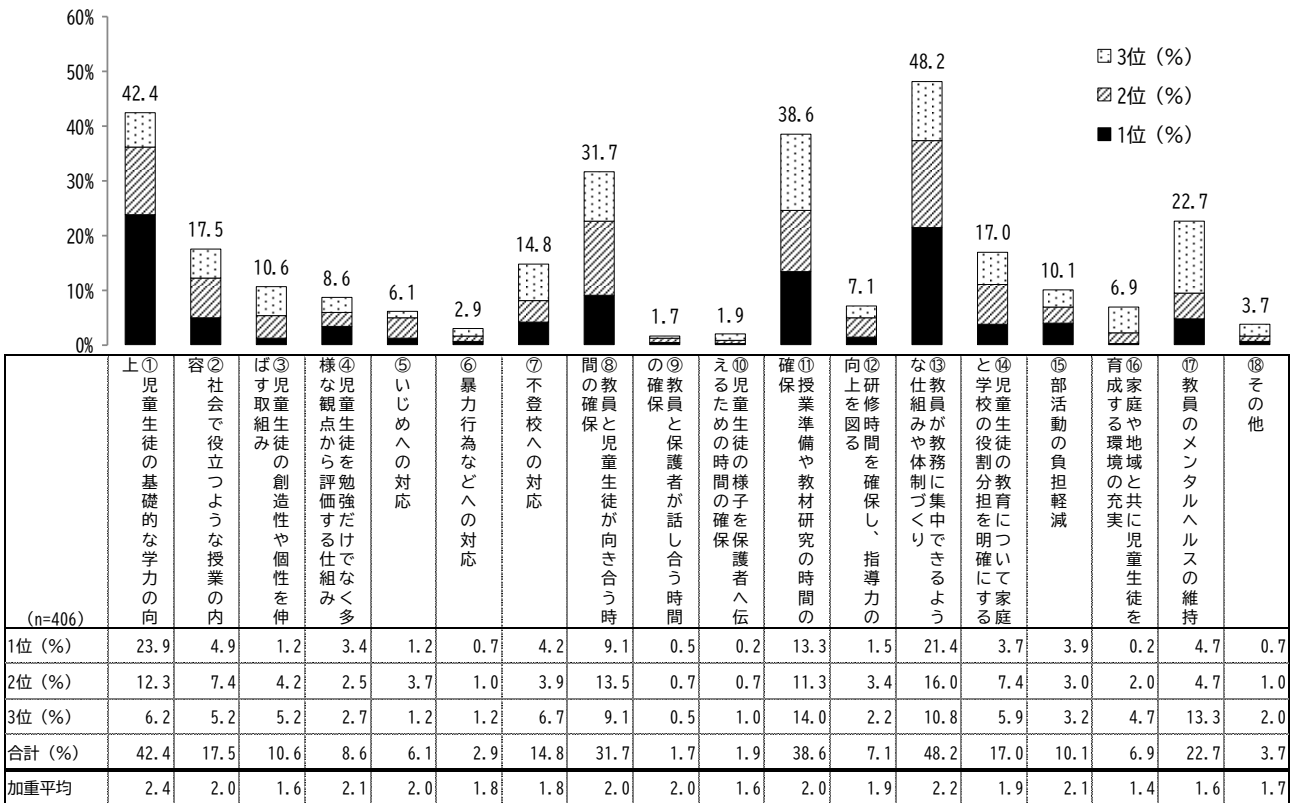
		全体 (n)	① を聞き つくり 児童生徒 の話	② 楽しく、 分かり やすい 授業を する	③ 一人 ひと りの よさ や 可 能 性 を 伸 ば し 、 個 を 生 か す 工 夫 を す る	④ 児童 生徒 の 自 主 性 を は ぐ く を 尊 重 し、 主 体 性 を は ぐ く を 尊 重	⑤ ほ め て 自 信 や 勇 気 を 与 え る	⑥ 場 所 と 活 躍 で き る 環 境 に 居 る	⑦ 向 き 合 う 時 間 を 確 保 す る に
令和7年度		406	17.5	44.3	40.1	25.6	27.3	24.4	14.8
教員 経験 年 数	10年未満	111	16.2	48.6	33.3	30.6	27.9	27.9	17.1
	10年以上20年未満	121	17.4	47.1	38.8	20.7	25.6	28.9	17.4
	20年以上30年未満	99	20.2	39.4	46.5	26.3	25.3	19.2	8.1
	30年以上	74	16.2	40.5	44.6	25.7	32.4	18.9	14.9

		全体 (n)	⑧ 学習 意欲 を 高 め、 学 ぶ の 楽 し さ を 実 感 で き る 工 夫 を す る	⑨ 個 に 応 じ た 指 導 の た め の 工 夫 を す る	⑩ 学 習 へ の 興 味 ・ 関 心 及 び 苦 手 な 内 容 を 把 握 す る	⑪ 授 業 に 集 中 で き る 環 境 を つ く り 出す	⑫ I C T を 活 用 し た 支 援 の 充 実	⑬ そ の 他	無 回 答
令和7年度		406	43.8	20.9	9.6	18.7	9.4	1.2	0.2
教員 経験 年 数	10年未満	111	42.3	18.9	11.7	16.2	7.2	-	-
	10年以上20年未満	121	36.4	23.1	9.1	17.4	11.6	1.7	0.8
	20年以上30年未満	99	57.6	18.2	9.1	23.2	5.1	1.0	-
	30年以上	74	39.2	24.3	8.1	17.6	14.9	2.7	-

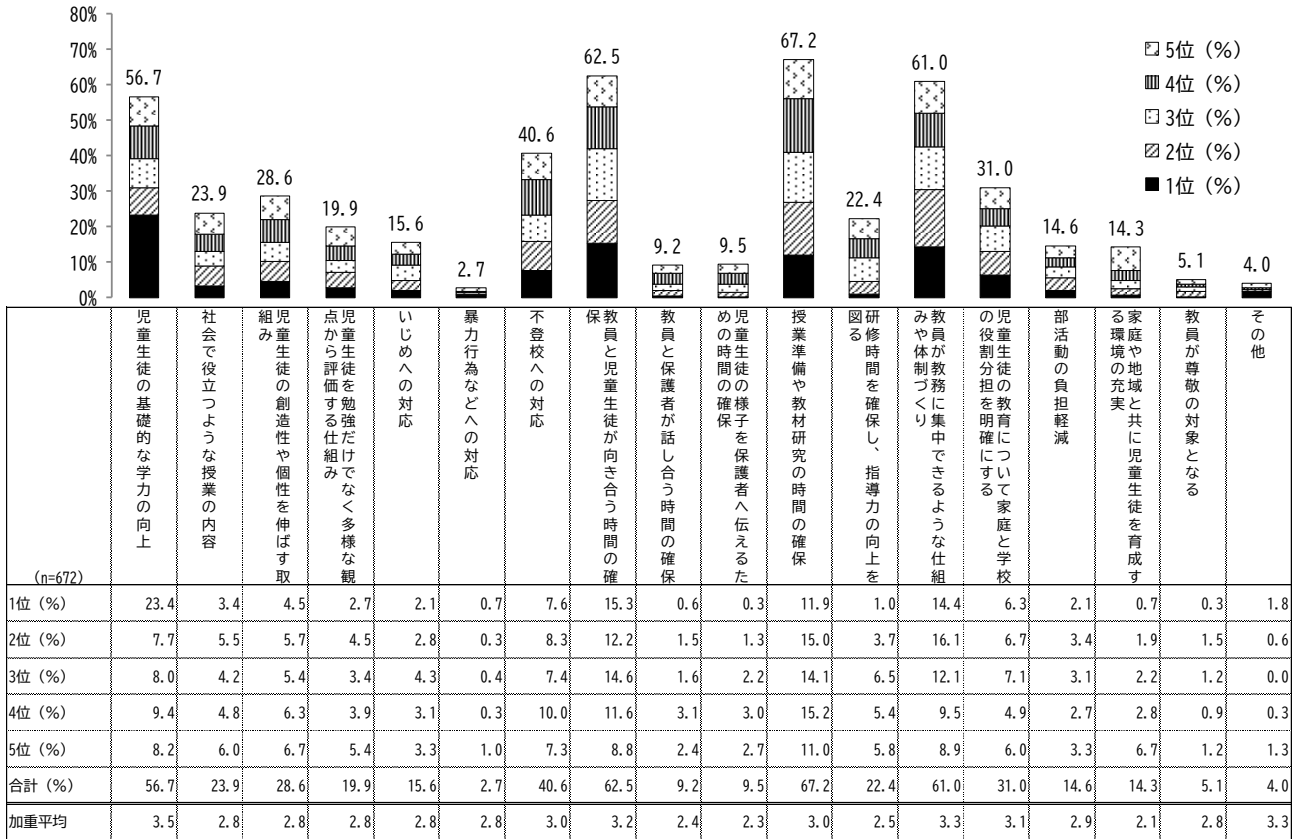
(3) 学校で取り組むべき事柄（1位～3位を選択）（問11）

- 今後、学校で取り組まなければならないと思うことの1位～3位の合計比率では、「⑬教員が教務に集中できるような仕組みや体制づくり」が48.2%で最も高く、次いで「①児童生徒の基礎的な学力の向上」が42.4%、「⑪授業準備や教材研究の時間の確保」が38.6%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、「⑬教員が教務に集中できるような仕組みや体制づくり」の1位が21.4%で、前回の14.4%と比較し7.0ポイント高くなっている。
- 「その他」では、「特別な支援を要する生徒に対する手厚いサポート」「保護者対応の外部機関の導入」「教員の生活指導力の向上」などがあった。

図表5-10 学校で取り組むべき事柄（令和7年度）



図表5-11 学校で取り組むべき事柄（令和2年度）



II 本調査の結果 第5章 教員の調査結果

- 教員経験年数別でみると、10年未満の「①児童生徒の基礎的な学力の向上」と30年以上の「⑬教員が教務に集中できるような仕組みや体制づくり」が56.8%で最も高くなっている。
- 「⑨教員と保護者が話し合う時間の確保」は、どの年数でも最も低くなっている。
- 「①児童生徒の基礎的な学力の向上」は10年未満で56.8%、30年以上で32.4%となっており、24.4ポイント差となっている。
- 「⑬教員が教務に集中できるような仕組みや体制づくり」は、10年以上の各年数で最も高くなっている。

図表5-12 学校で取り組むべき事柄（教員経験年数別）

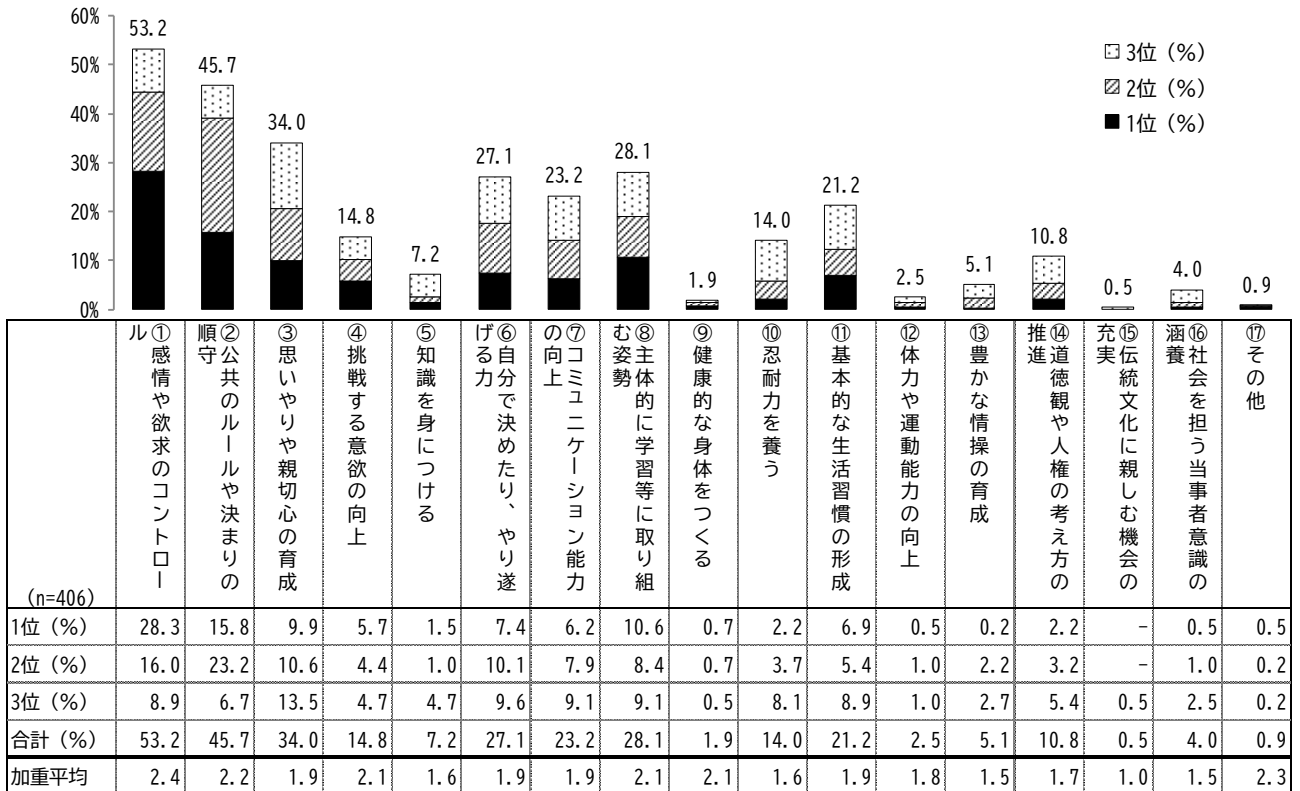
		全体 (n)	①児童生徒の基礎的な学力の向上	②社会で役立つような授業の内容	③児童生徒の創造性や個性を伸ばす取り組み	④児童生徒を勉強だけでなく多様な観点から評価する仕組み	⑤いじめへの対応	⑥暴力行為などへの対応	⑦不登校への対応	⑧教員と児童生徒が向き合う時間の確保	⑨教員と保護者が話し合う時間の確保	⑩児童生徒の様子を保護者へ伝えるための時間の確保
令和7年度		406	42.4	17.5	10.6	8.6	6.2	3.0	14.8	31.8	1.7	2.0
教員経験年数	10年未満	111	56.8	24.3	18.0	9.0	8.1	2.7	15.3	26.1	1.8	1.8
	10年以上20年未満	121	34.7	13.2	9.1	8.3	6.6	4.1	10.7	36.4	3.3	1.7
	20年以上30年未満	99	42.4	18.2	7.1	4.0	3.0	1.0	15.2	36.4	-	3.0
	30年以上	74	32.4	13.5	6.8	14.9	6.8	4.1	18.9	27.0	1.4	1.4

		全体 (n)	⑪授業準備や教材研究の時間の確保	⑫研修時間を確保し、指導力の向上を図る	⑬教員が教務に集中できるような仕組みや体制づくり	⑭児童生徒の役割分担を明確にする	⑮部活動の負担軽減	⑯生徒家庭や地域と共に児童を育成する環境の充実	⑰教員のメンタルヘルスの維持	⑱その他	無回答
令和7年度		406	38.7	7.1	48.3	17.0	10.1	6.9	22.7	3.2	1.0
教員経験年数	10年未満	111	34.2	6.3	37.8	18.0	8.1	9.9	16.2	3.6	-
	10年以上20年未満	121	39.7	6.6	48.8	17.4	8.3	6.6	28.1	2.5	2.5
	20年以上30年未満	99	44.4	10.1	52.5	12.1	14.1	5.1	20.2	4.0	1.0
	30年以上	74	36.5	5.4	56.8	21.6	10.8	5.4	27.0	2.7	-

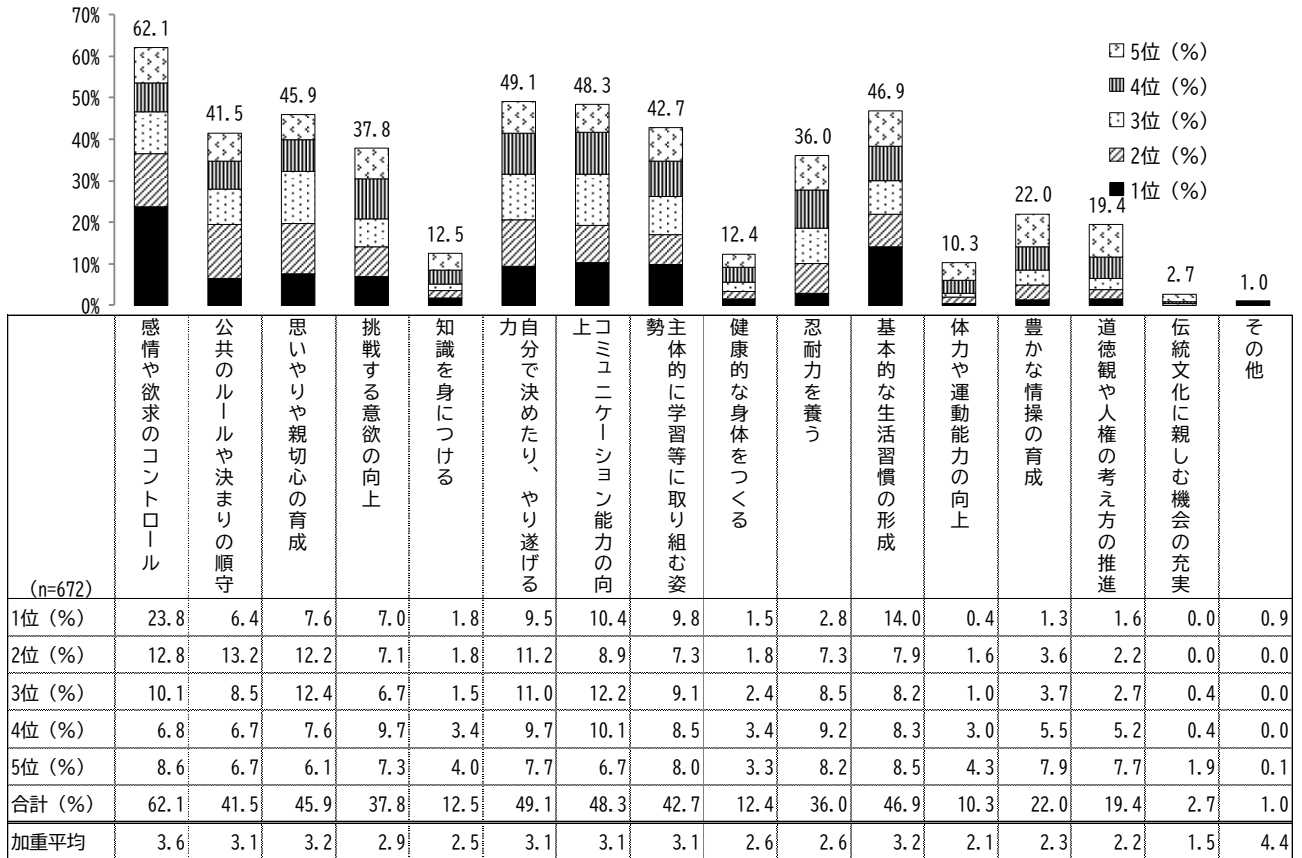
(4) 児童・生徒に対して取り組むべき事柄（1位～3位を選択）（問12）……………

- 今の児童生徒に対して、特に取り組まなければならないと思うことの1位～3位の合計比率では、「①感情や欲求のコントロール」が53.2%で最も高く、次いで「②公共のルールや決まりの順守」が45.7%、「③思いやりや親切心の育成」が34.0%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、「②公共のルールや決まりの順守」の1位が15.8%で、前回の6.4%と比較し9.4ポイント高くなっている。
- 「その他」では、「自己肯定感を上げる」「ゲーム中毒や情報モラルの指導」などがあつた。

図表5-13 児童・生徒に対して取り組むべき事柄（令和7年度）



図表5-14 児童・生徒に対して取り組むべき事柄（令和2年度）



- ・ 教員経験年数別でみると、10年以上20年未満の「①感情や欲求のコントロール」が57.0%で最も高くなっている。
- ・ 20年以上30年未満、30年以上でも「①感情や欲求のコントロール」が最も高く、10年未満では「②公共のルールや決まりの順守」となっている。
- ・ 「⑤伝統文化に親しむ機会の充実」は、30年未満の各年数で、最も低くなっている。
- ・ 「③思いやりや親切心の育成」は10年未満が42.3%で、20年以上30年未満の23.2%より19.1ポイント高く、最も差が大きくなっている。

図表5-15 児童・生徒に対して取り組むべき事柄（教員経験年数別）

		全体（n）	①感情や欲求のコントロール	②公共のルールや決まりの順守	③思いやりや親切心の育成	④挑戦する意欲の向上	⑤知識を身につける	⑥自分で決めたり、やり遂げる力	⑦コミュニケーション能力の向上	⑧主体的に学習等に取り組む姿勢	⑨健康的な身体をつくる
令和7年度		406	53.2	45.6	34.0	14.8	7.1	27.1	23.2	28.1	2.0
教員経験年数	10年未満	111	49.5	50.5	42.3	17.1	8.1	33.3	18.0	28.8	2.7
	10年以上20年未満	121	57.0	47.1	32.2	14.0	7.4	19.8	22.3	26.4	3.3
	20年以上30年未満	99	53.5	37.4	23.2	16.2	7.1	33.3	25.3	33.3	1.0
	30年以上	74	52.7	45.9	37.8	10.8	5.4	21.6	29.7	23.0	-

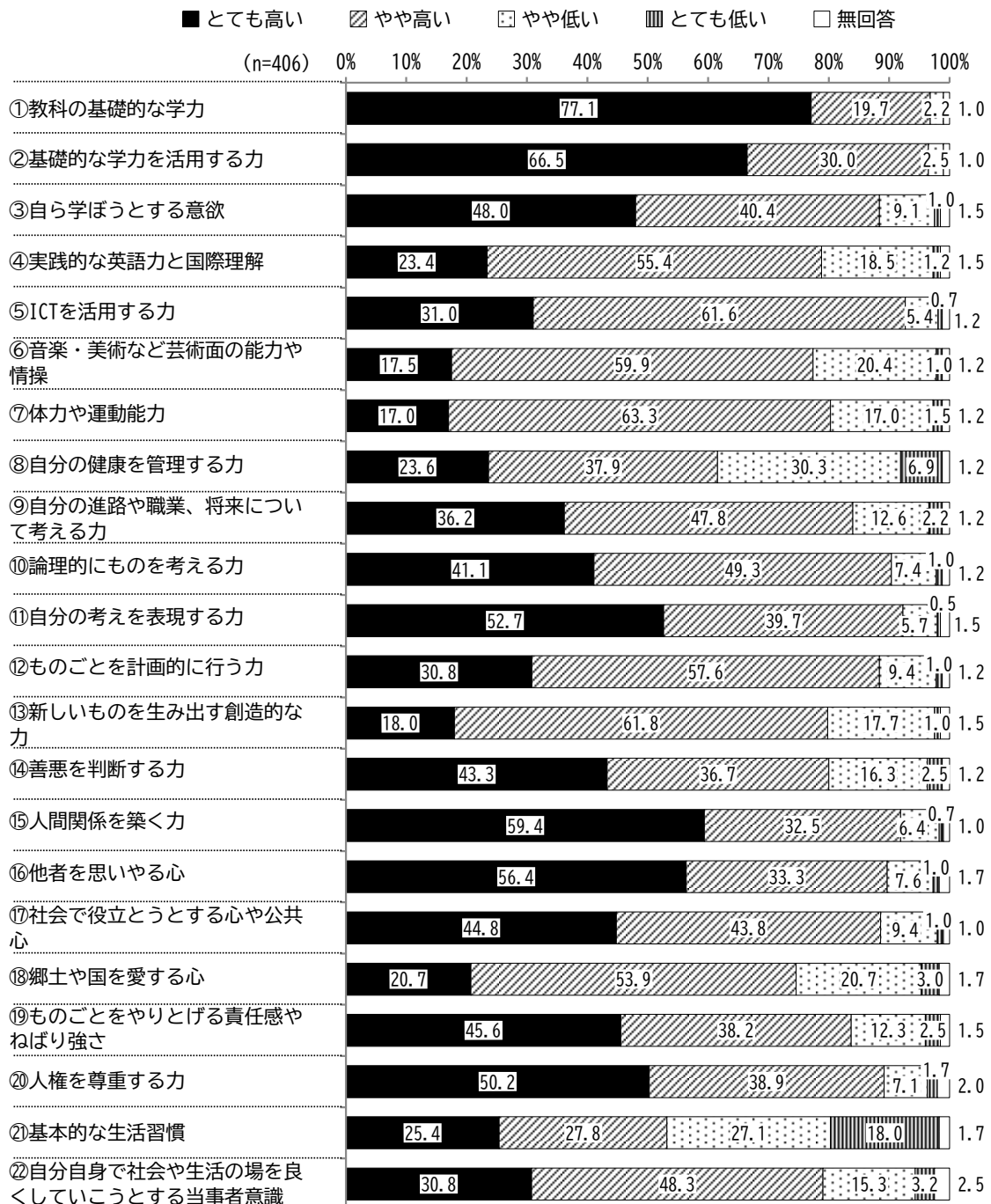
		全体（n）	⑩忍耐力を養う	⑪基本的な生活習慣の形成	⑫体力や運動能力の向上	⑬豊かな情操の育成	⑭道徳観や人権の考え方の推進	⑮伝統文化に親しむ機会の充実	⑯社会を担う当事者意識の涵養	⑰その他	無回答
令和7年度		406	14.0	21.2	2.5	5.2	10.8	0.5	3.9	0.7	1.0
教員経験年数	10年未満	111	10.8	14.4	0.9	4.5	11.7	0.9	4.5	-	-
	10年以上20年未満	121	17.4	19.8	0.8	5.8	8.3	-	5.0	0.8	2.5
	20年以上30年未満	99	12.1	24.2	5.1	5.1	13.1	-	2.0	1.0	1.0
	30年以上	74	16.2	28.4	4.1	5.4	10.8	1.4	4.1	1.4	-

(5) 学校や家庭での児童・生徒の能力や態度を身につけさせる必要性（問6）……………

学校教育で身につけさせる必要性

- 学校教育で身につけさせる必要性について、「とても高い」では、「①教科の基礎的な学力」が77.1%で最も高く、次いで「②基礎的な学力を活用する力」が66.5%、「⑮人間関係を築く力」が59.4%となっている。
- 「とても低い」では、「②基本的な生活習慣」が18.0%で最も高く、次いで「⑧自分の健康を管理する力」が6.9%、「⑳自分自身で社会や生活の場を良くしていこうとする当事者意識」が3.2%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、「⑭善悪を判断する力」の「とても高い」が43.3%で、前回の67.9%より24.6ポイント低く、最も差が大きくなっている。「とても低い」では、「②基本的な生活習慣」が18.0%で前回の3.0%と比較し15.0ポイント高くなっている。

図表5-16 学校教育で身につけさせる必要性



図表5-17 学校教育で身につけさせる必要性（令和2年度との比較）

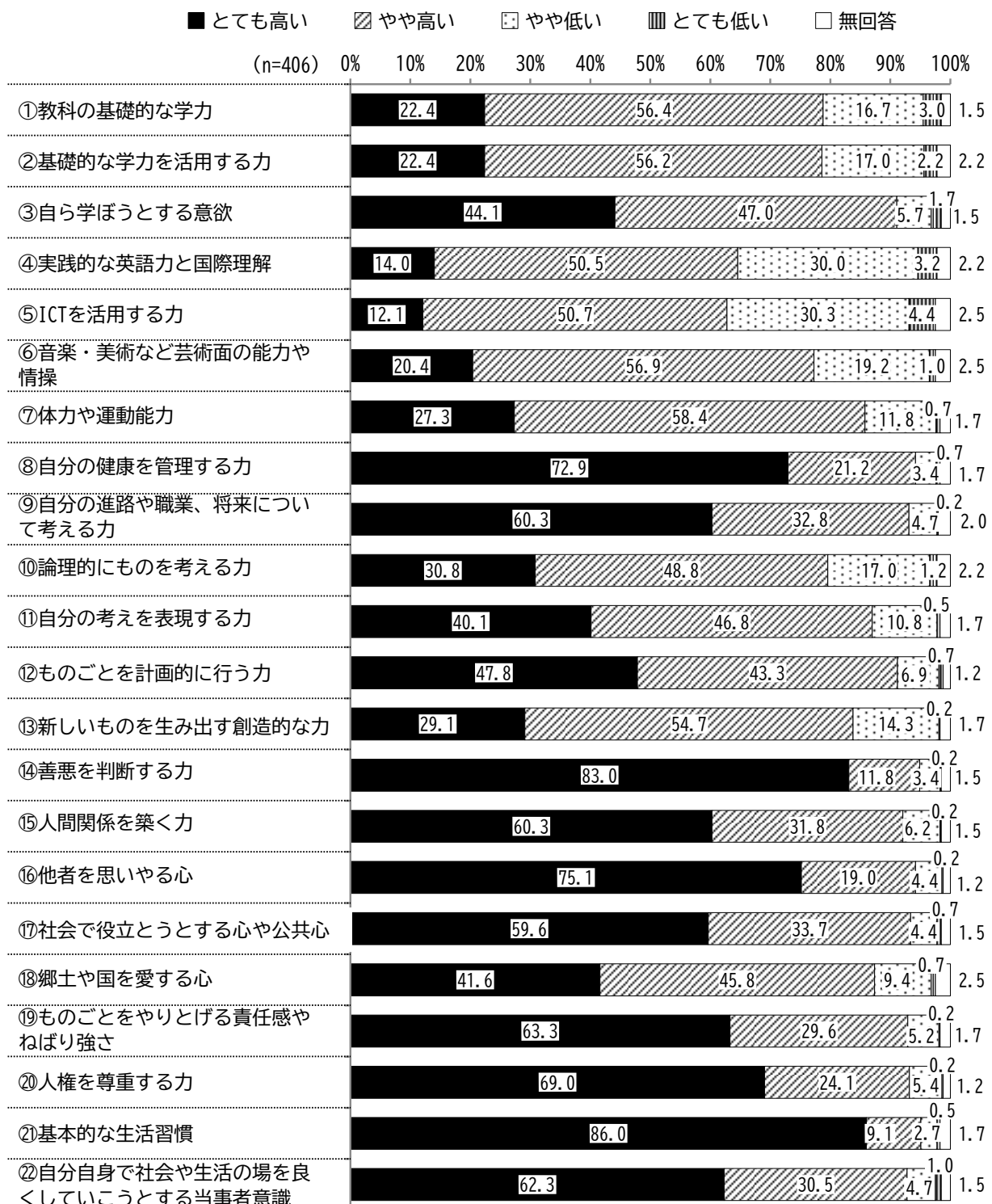
		(%)					
		全体 (n)	とても 高い	やや 高い	やや 低い	とても 低い	無 回答
①教科の基礎的な学力	令和7年度	406	77.1	19.7	2.2	-	1.0
	令和2年度	669	80.0	19.0	1.0	0.0	-
②基礎的な学力を活用する力	令和7年度	406	66.5	30.0	2.5	-	1.0
	令和2年度	668	72.2	26.5	1.3	0.0	-
③自ら学ぼうとする意欲	令和7年度	406	48.0	40.4	9.1	1.0	1.5
	令和2年度	668	65.3	31.6	3.0	0.1	-
④実践的な英語力と国際理解 実際の場面で使える英語力	令和7年度	406	23.4	55.4	18.5	1.2	1.5
	令和2年度	666	31.8	50.9	15.5	1.8	-
⑤ICTを活用する力	令和7年度	406	31.0	61.6	5.4	0.7	1.2
	令和2年度	668	42.1	46.9	10.3	0.7	-
⑥音楽・美術など芸術面の能力や情操	令和7年度	406	17.5	59.9	20.4	1.0	1.2
	令和2年度	668	26.6	58.4	14.7	0.3	-
⑦体力や運動能力	令和7年度	406	17.0	63.3	17.0	1.5	1.2
	令和2年度	669	31.1	59.9	8.7	0.3	-
⑧自分の健康を管理する力	令和7年度	406	23.6	37.9	30.3	6.9	1.2
	令和2年度	667	33.7	49.0	16.3	0.9	-
⑨自分の進路や職業、将来について考える力 生き方や進路について考える力	令和7年度	406	36.2	47.8	12.6	2.2	1.2
	令和2年度	669	54.9	40.1	4.8	0.3	-
⑩論理的にものを考える力	令和7年度	406	41.1	49.3	7.4	1.0	1.2
	令和2年度	669	52.9	42.2	4.8	0.1	-
⑪自分の考えを表現する力	令和7年度	406	52.7	39.7	5.7	0.5	1.5
	令和2年度	669	69.1	28.0	2.5	0.4	-
⑫ものごとを計画的に行う力	令和7年度	406	30.8	57.6	9.4	1.0	1.2
	令和2年度	669	47.5	45.4	6.6	0.4	-
⑬新しいものを生み出す創造的な力	令和7年度	406	18.0	61.8	17.7	1.0	1.5
	令和2年度	665	35.3	53.7	10.2	0.8	-
⑭善悪を判断する力	令和7年度	406	43.3	36.7	16.3	2.5	1.2
	令和2年度	667	67.9	27.6	4.3	0.1	-
⑮人間関係を築く力	令和7年度	406	59.4	32.5	6.4	0.7	1.0
	令和2年度	669	76.8	20.6	2.4	0.1	-
⑯他者を思いやる心	令和7年度	406	56.4	33.3	7.6	1.0	1.7
	令和2年度	-	-	-	-	-	-
⑰社会で役立つとする心や公共心	令和7年度	406	44.8	43.8	9.4	1.0	1.0
	令和2年度	668	62.9	33.2	3.7	0.1	-
⑱郷土や国を愛する心	令和7年度	406	20.7	53.9	20.7	3.0	1.7
	令和2年度	666	35.1	49.5	13.7	1.7	-
⑲ものごとをやりとげる責任感やねばり強さ ものごとをやりとげるねばり強さ	令和7年度	406	45.6	38.2	12.3	2.5	1.5
	令和2年度	668	55.5	37.6	6.6	0.3	-
⑳人権を尊重する力	令和7年度	406	50.2	38.9	7.1	1.7	2.0
	令和2年度	668	70.2	26.0	3.7	0.0	-
㉑基本的な生活習慣	令和7年度	406	25.4	27.8	27.1	18.0	1.7
	令和2年度	666	38.0	41.6	17.4	3.0	-
㉒自分自身で社会や生活の場を良くしていこうとする当事者意識	令和7年度	406	30.8	48.3	15.3	3.2	2.5
	令和2年度	-	-	-	-	-	-

※設問番号④⑨⑱については、令和2年度の設問文を記載しています。
 ※令和2年度にない設問文は「-」で表示しています。

学校教育以外（家庭や地域等）で身につけさせる必要性

- 学校教育以外（家庭や地域等）で身につけさせる必要性の「とても高い」では、「⑳基本的な生活習慣」が86.0%で最も高く、次いで「⑭善悪を判断する力」が83.0%、「⑯他者を思いやる心」が75.1%となっている。
- 「とても低い」では、「⑤ICTを活用する力」が4.4%で最も高く、次いで「④実践的な英語力と国際理解」が3.2%、「①教科の基礎的な学力」が3.0%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、「③自ら学ぼうとする意欲」の「とても高い」が44.1%で、前回の62.4%より18.3ポイント低く、最も差が大きくなっている。

図表5-18 学校教育以外（家庭や地域等）で身につけさせる必要性



図表5-19 学校教育以外（家庭や地域等）で身につけさせる必要性（令和2年度との比較）

		(%)					
		全体 (n)	とても高 い	やや高い	やや低い	とても低 い	無回答
①教科の基礎的な学力	令和7年度	406	22.4	56.4	16.7	3.0	1.5
	令和2年度	663	37.9	48.9	12.5	0.8	-
②基礎的な学力を活用する力	令和7年度	406	22.4	56.2	17.0	2.2	2.2
	令和2年度	665	40.6	46.9	11.7	0.8	-
③自ら学ぼうとする意欲	令和7年度	406	44.1	47.0	5.7	1.7	1.5
	令和2年度	665	62.4	32.8	4.7	0.2	-
④実践的な英語力と国際理解 実際の場面で使える英語力	令和7年度	406	14.0	50.5	30.0	3.2	2.2
	令和2年度	664	27.1	45.0	24.1	3.8	-
⑤ICTを活用する力	令和7年度	406	12.1	50.7	30.3	4.4	2.5
	令和2年度	664	26.4	53.3	18.8	1.5	-
⑥音楽・美術など芸術面の能力や情操	令和7年度	406	20.4	56.9	19.2	1.0	2.5
	令和2年度	665	28.3	53.2	17.7	0.8	-
⑦体力や運動能力	令和7年度	406	27.3	58.4	11.8	0.7	1.7
	令和2年度	665	37.7	52.3	9.5	0.5	-
⑧自分の健康を管理する力	令和7年度	406	72.9	21.2	3.4	0.7	1.7
	令和2年度	665	77.3	17.7	5.0	0.0	-
⑨自分の進路や職業、将来について考える力 生き方や進路について考える力	令和7年度	406	60.3	32.8	4.7	0.2	2.0
	令和2年度	666	70.9	24.8	4.4	0.0	-
⑩論理的にものを考える力	令和7年度	406	30.8	48.8	17.0	1.2	2.2
	令和2年度	661	38.6	50.1	10.7	0.6	-
⑪自分の考えを表現する力	令和7年度	406	40.1	46.8	10.8	0.5	1.7
	令和2年度	663	49.2	42.4	8.1	0.3	-
⑫ものごとを計画的に行う力	令和7年度	406	47.8	43.3	6.9	0.7	1.2
	令和2年度	663	60.5	34.4	4.8	0.3	-
⑬新しいものを生み出す創造的な力	令和7年度	406	29.1	54.7	14.3	0.2	1.7
	令和2年度	659	44.2	46.6	8.3	0.9	-
⑭善悪を判断する力	令和7年度	406	83.0	11.8	3.4	0.2	1.5
	令和2年度	664	86.0	11.3	2.7	0.0	-
⑮人間関係を築く力	令和7年度	406	60.3	31.8	6.2	0.2	1.5
	令和2年度	662	65.3	29.6	5.0	0.2	-
⑯他者を思いやる心	令和7年度	406	75.1	19.0	4.4	0.2	1.2
	令和2年度	-	-	-	-	-	-
⑰社会で役立とうとする心や公共心	令和7年度	406	59.6	33.7	4.4	0.7	1.5
	令和2年度	664	69.1	26.2	4.5	0.2	-
⑱郷土や国を愛する心	令和7年度	406	41.6	45.8	9.4	0.7	2.5
	令和2年度	666	48.2	41.6	9.2	1.1	-
⑲ものごとをやりとげる責任感やねばり強さ ものごとをやりとげるねばり強さ	令和7年度	406	63.3	29.6	5.2	0.2	1.7
	令和2年度	665	69.9	25.3	4.8	0.0	-
⑳人権を尊重する力	令和7年度	406	69.0	24.1	5.4	0.2	1.2
	令和2年度	664	72.4	24.1	3.3	0.2	-
㉑基本的な生活習慣	令和7年度	406	86.0	9.1	2.7	0.5	1.7
	令和2年度	665	87.1	11.0	2.0	0.0	-
㉒自分自身で社会や生活の場を良くしていこうとする当事者意識	令和7年度	406	62.3	30.5	4.7	1.0	1.5
	令和2年度	-	-	-	-	-	-

※設問番号④⑨⑩については、令和2年度の設問文を記載しています。
 ※令和2年度にない設問文は「-」で表示しています。

教員経験年数別

- 教員経験年数別でみると、学校教育で身につけさせる必要性では、「⑩他者を思いやる心」の「とても高い」が、10年未満で73.0%に対し、30年以上では43.2%と29.8ポイントの差で最も大きくなっている。
- 学校教育以外で身につけさせる必要性では、「⑫ものごとを計画的に行う力」の「とても高い」が、10年未満で56.8%に対し、30年以上では33.8%と23.0ポイント低く、差が最も大きくなっている。

図表5-20 学校教育／学校教育以外（家庭や地域等）で身につけさせる必要性（教員経験年数別）

学校教育で身につけさせる必要性

		（%）					
①教科の基礎的な学力	全体 (n)	とても 高い	やや高 い	やや低 い	とても 低い	無回答	
令和7年度	406	77.1	19.7	2.2	-	1.0	
教員 経験 年数	10年未満	111	81.1	17.1	1.8	-	-
	10年以上20年未満	121	71.1	22.3	3.3	-	3.3
	20年以上30年未満	99	77.8	21.2	1.0	-	-
	30年以上	74	79.7	17.6	2.7	-	-
②基礎的な学力を活用する力	全体 (n)	とても 高い	やや高 い	やや低 い	とても 低い	無回答	
令和7年度	406	66.5	30.0	2.5	-	1.0	
教員 経験 年数	10年未満	111	69.4	28.8	1.8	-	-
	10年以上20年未満	121	63.6	30.6	3.3	-	2.5
	20年以上30年未満	99	67.7	30.3	1.0	-	1.0
	30年以上	74	64.9	31.1	4.1	-	-
③自ら学ぼうとする意欲	全体 (n)	とても 高い	やや高 い	やや低 い	とても 低い	無回答	
令和7年度	406	48.0	40.4	9.1	1.0	1.5	
教員 経験 年数	10年未満	111	49.5	38.7	10.8	0.9	-
	10年以上20年未満	121	44.6	43.0	7.4	1.7	3.3
	20年以上30年未満	99	50.5	37.4	11.1	1.0	-
	30年以上	74	47.3	43.2	6.8	-	2.7
④実践的な英語力と国際理解	全体 (n)	とても 高い	やや高 い	やや低 い	とても 低い	無回答	
令和7年度	406	23.4	55.4	18.5	1.2	1.5	
教員 経験 年数	10年未満	111	23.4	54.1	19.8	2.7	-
	10年以上20年未満	121	22.3	53.7	19.0	0.8	4.1
	20年以上30年未満	99	28.3	55.6	15.2	-	1.0
	30年以上	74	17.6	60.8	20.3	1.4	-
⑤ICTを活用する力	全体 (n)	とても 高い	やや高 い	やや低 い	とても 低い	無回答	
令和7年度	406	31.0	61.6	5.4	0.7	1.2	
教員 経験 年数	10年未満	111	30.6	59.5	9.9	-	-
	10年以上20年未満	121	34.7	56.2	4.1	1.7	3.3
	20年以上30年未満	99	32.3	63.6	2.0	1.0	1.0
	30年以上	74	24.3	70.3	5.4	-	-

学校教育以外（家庭や地域等）で身につけさせる必要性

		（%）					
①教科の基礎的な学力	全体 (n)	とても 高い	やや高 い	やや低 い	とても 低い	無回答	
令和7年度	406	22.4	56.4	16.7	3.0	1.5	
教員 経験 年数	10年未満	111	27.9	56.8	12.6	1.8	0.9
	10年以上20年未満	121	24.8	50.4	18.2	4.1	2.5
	20年以上30年未満	99	20.2	62.6	15.2	1.0	1.0
	30年以上	74	13.5	58.1	21.6	5.4	1.4
②基礎的な学力を活用する力	全体 (n)	とても 高い	やや高 い	やや低 い	とても 低い	無回答	
令和7年度	406	22.4	56.2	17.0	2.2	2.2	
教員 経験 年数	10年未満	111	29.7	52.3	16.2	0.9	0.9
	10年以上20年未満	121	22.3	53.7	16.5	3.3	4.1
	20年以上30年未満	99	19.2	60.6	18.2	-	2.0
	30年以上	74	16.2	60.8	16.2	5.4	1.4
③自ら学ぼうとする意欲	全体 (n)	とても 高い	やや高 い	やや低 い	とても 低い	無回答	
令和7年度	406	44.1	47.0	5.7	1.7	1.5	
教員 経験 年数	10年未満	111	49.5	43.2	6.3	0.9	-
	10年以上20年未満	121	42.1	47.9	4.1	2.5	3.3
	20年以上30年未満	99	42.4	51.5	5.1	-	1.0
	30年以上	74	40.5	45.9	8.1	4.1	1.4
④実践的な英語力と国際理解	全体 (n)	とても 高い	やや高 い	やや低 い	とても 低い	無回答	
令和7年度	406	14.0	50.5	30.0	3.2	2.2	
教員 経験 年数	10年未満	111	16.2	45.0	32.4	4.5	1.8
	10年以上20年未満	121	14.0	51.2	27.3	3.3	4.1
	20年以上30年未満	99	15.2	46.5	37.4	-	1.0
	30年以上	74	9.5	63.5	20.3	5.4	1.4
⑤ICTを活用する力	全体 (n)	とても 高い	やや高 い	やや低 い	とても 低い	無回答	
令和7年度	406	12.1	50.7	30.3	4.4	2.5	
教員 経験 年数	10年未満	111	22.5	42.3	28.8	5.4	0.9
	10年以上20年未満	121	9.1	55.4	25.6	5.8	4.1
	20年以上30年未満	99	8.1	51.5	37.4	1.0	2.0
	30年以上	74	6.8	55.4	29.7	5.4	2.7

学校教育で身につけさせる必要性

(%)

⑥音楽・美術など芸術面の能力や情操		全体 (n)	とても 高い	やや高 い	やや低 い	とても 低い	無回答
令和7年度		406	17.5	59.9	20.4	1.0	1.2
教員 経験 年数	10年未満	111	18.9	57.7	22.5	0.9	-
	10年以上20年未満	121	16.5	56.2	21.5	2.5	3.3
	20年以上30年未満	99	20.2	61.6	17.2	-	1.0
	30年以上	74	13.5	66.2	20.3	-	-
⑦体力や運動能力		全体 (n)	とても 高い	やや高 い	やや低 い	とても 低い	無回答
令和7年度		406	17.0	63.3	17.0	1.5	1.2
教員 経験 年数	10年未満	111	21.6	64.9	10.8	2.7	-
	10年以上20年未満	121	14.0	62.0	19.8	0.8	3.3
	20年以上30年未満	99	17.2	65.7	14.1	2.0	1.0
	30年以上	74	14.9	59.5	25.7	-	-
⑧自分の健康を管理する力		全体 (n)	とても 高い	やや高 い	やや低 い	とても 低い	無回答
令和7年度		406	23.6	37.9	30.3	6.9	1.2
教員 経験 年数	10年未満	111	27.9	41.4	21.6	9.0	-
	10年以上20年未満	121	25.6	38.8	25.6	6.6	3.3
	20年以上30年未満	99	22.2	35.4	34.3	7.1	1.0
	30年以上	74	16.2	35.1	45.9	2.7	-
⑨自分の進路や職業、将来について考える力		全体 (n)	とても 高い	やや高 い	やや低 い	とても 低い	無回答
令和7年度		406	36.2	47.8	12.6	2.2	1.2
教員 経験 年数	10年未満	111	43.2	45.0	9.0	2.7	-
	10年以上20年未満	121	36.4	46.3	11.6	2.5	3.3
	20年以上30年未満	99	35.4	49.5	13.1	1.0	1.0
	30年以上	74	27.0	52.7	17.6	2.7	-
⑩論理的にものを考える力		全体 (n)	とても 高い	やや高 い	やや低 い	とても 低い	無回答
令和7年度		406	41.1	49.3	7.4	1.0	1.2
教員 経験 年数	10年未満	111	46.8	46.8	5.4	0.9	-
	10年以上20年未満	121	38.8	46.3	9.9	1.7	3.3
	20年以上30年未満	99	39.4	55.6	4.0	-	1.0
	30年以上	74	37.8	50.0	10.8	1.4	-
⑪自分の考えを表現する力		全体 (n)	とても 高い	やや高 い	やや低 い	とても 低い	無回答
令和7年度		406	52.7	39.7	5.7	0.5	1.5
教員 経験 年数	10年未満	111	63.1	29.7	5.4	0.9	0.9
	10年以上20年未満	121	47.9	41.3	6.6	0.8	3.3
	20年以上30年未満	99	48.5	47.5	3.0	-	1.0
	30年以上	74	51.4	40.5	8.1	-	-
⑫ものごとを計画的に行う力		全体 (n)	とても 高い	やや高 い	やや低 い	とても 低い	無回答
令和7年度		406	30.8	57.6	9.4	1.0	1.2
教員 経験 年数	10年未満	111	41.4	52.3	6.3	-	-
	10年以上20年未満	121	26.4	57.9	9.9	2.5	3.3
	20年以上30年未満	99	28.3	62.6	7.1	1.0	1.0
	30年以上	74	25.7	58.1	16.2	-	-

学校教育以外（家庭や地域等）で身につけさせる必要性

(%)

⑥音楽・美術など芸術面の能力や情操		全体 (n)	とても 高い	やや高 い	やや低 い	とても 低い	無回答
令和7年度		406	20.4	56.9	19.2	1.0	2.5
教員 経験 年数	10年未満	111	18.9	53.2	27.0	-	0.9
	10年以上20年未満	121	20.7	56.2	17.4	1.7	4.1
	20年以上30年未満	99	19.2	58.6	19.2	-	3.0
	30年以上	74	24.3	62.2	9.5	2.7	1.4
⑦体力や運動能力		全体 (n)	とても 高い	やや高 い	やや低 い	とても 低い	無回答
令和7年度		406	27.3	58.4	11.8	0.7	1.7
教員 経験 年数	10年未満	111	30.6	55.0	12.6	-	1.8
	10年以上20年未満	121	30.6	54.5	10.7	0.8	3.3
	20年以上30年未満	99	21.2	65.7	13.1	-	-
	30年以上	74	25.7	59.5	10.8	2.7	1.4
⑧自分の健康を管理する力		全体 (n)	とても 高い	やや高 い	やや低 い	とても 低い	無回答
令和7年度		406	72.9	21.2	3.4	0.7	1.7
教員 経験 年数	10年未満	111	77.5	17.1	3.6	0.9	0.9
	10年以上20年未満	121	71.9	19.0	5.0	0.8	3.3
	20年以上30年未満	99	70.7	27.3	1.0	-	1.0
	30年以上	74	70.3	23.0	4.1	1.4	1.4
⑨自分の進路や職業、将来について考える力		全体 (n)	とても 高い	やや高 い	やや低 い	とても 低い	無回答
令和7年度		406	60.3	32.8	4.7	0.2	2.0
教員 経験 年数	10年未満	111	64.0	27.9	5.4	0.9	1.8
	10年以上20年未満	121	57.9	33.9	5.0	-	3.3
	20年以上30年未満	99	62.6	35.4	1.0	-	1.0
	30年以上	74	56.8	33.8	8.1	-	1.4
⑩論理的にものを考える力		全体 (n)	とても 高い	やや高 い	やや低 い	とても 低い	無回答
令和7年度		406	30.8	48.8	17.0	1.2	2.2
教員 経験 年数	10年未満	111	37.8	46.8	14.4	0.9	-
	10年以上20年未満	121	34.7	44.6	15.7	0.8	4.1
	20年以上30年未満	99	26.3	56.6	16.2	-	1.0
	30年以上	74	20.3	48.6	23.0	4.1	4.1
⑪自分の考えを表現する力		全体 (n)	とても 高い	やや高 い	やや低 い	とても 低い	無回答
令和7年度		406	40.1	46.8	10.8	0.5	1.7
教員 経験 年数	10年未満	111	53.2	36.0	9.9	0.9	-
	10年以上20年未満	121	41.3	43.8	10.7	0.8	3.3
	20年以上30年未満	99	30.3	62.6	6.1	-	1.0
	30年以上	74	32.4	45.9	18.9	-	2.7
⑫ものごとを計画的に行う力		全体 (n)	とても 高い	やや高 い	やや低 い	とても 低い	無回答
令和7年度		406	47.8	43.3	6.9	0.7	1.2
教員 経験 年数	10年未満	111	56.8	36.9	5.4	0.9	-
	10年以上20年未満	121	47.9	40.5	8.3	-	3.3
	20年以上30年未満	99	48.5	46.5	4.0	-	1.0
	30年以上	74	33.8	54.1	9.5	2.7	-

II 本調査の結果 第5章 教員の調査結果

学校教育で身につけさせる必要性

(%)

⑬新しいものを生み出す創造的な力		全体(n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い	無回答
令和7年度		406	18.0	61.8	17.7	1.0	1.5
教員経験年数	10年未満	111	21.6	65.8	11.7	0.9	-
	10年以上20年未満	121	19.8	54.5	20.7	1.7	3.3
	20年以上30年未満	99	18.2	60.6	18.2	1.0	2.0
	30年以上	74	8.1	70.3	21.6	-	-
⑭善悪を判断する力		全体(n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い	無回答
令和7年度		406	43.3	36.7	16.3	2.5	1.2
教員経験年数	10年未満	111	55.9	28.8	13.5	1.8	-
	10年以上20年未満	121	39.7	39.7	14.0	3.3	3.3
	20年以上30年未満	99	36.4	44.4	15.2	3.0	1.0
	30年以上	74	40.5	32.4	25.7	1.4	-
⑮人間関係を築く力		全体(n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い	無回答
令和7年度		406	59.4	32.5	6.4	0.7	1.0
教員経験年数	10年未満	111	73.9	19.8	3.6	2.7	-
	10年以上20年未満	121	56.2	33.9	7.4	-	2.5
	20年以上30年未満	99	55.6	38.4	5.1	-	1.0
	30年以上	74	48.6	40.5	10.8	-	-
⑯他者を思いやる心		全体(n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い	無回答
令和7年度		406	56.4	33.3	7.6	1.0	1.7
教員経験年数	10年未満	111	73.0	18.0	7.2	1.8	-
	10年以上20年未満	121	52.9	34.7	7.4	-	5.0
	20年以上30年未満	99	52.5	40.4	5.1	1.0	1.0
	30年以上	74	43.2	43.2	12.2	1.4	-
⑰社会で役立つとうとする心や公共心		全体(n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い	無回答
令和7年度		406	44.8	43.8	9.4	1.0	1.0
教員経験年数	10年未満	111	59.5	33.3	6.3	0.9	-
	10年以上20年未満	121	39.7	44.6	11.6	0.8	3.3
	20年以上30年未満	99	42.4	46.5	10.1	1.0	-
	30年以上	74	35.1	54.1	9.5	1.4	-
⑱郷土や国を愛する心		全体(n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い	無回答
令和7年度		406	20.7	53.9	20.7	3.0	1.7
教員経験年数	10年未満	111	23.4	53.2	18.9	4.5	-
	10年以上20年未満	121	18.2	58.7	15.7	4.1	3.3
	20年以上30年未満	99	25.3	45.5	26.3	-	3.0
	30年以上	74	14.9	58.1	24.3	2.7	-
⑲ものごとをやりとげる責任感やねばり強さ		全体(n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い	無回答
令和7年度		406	45.6	38.2	12.3	2.5	1.5
教員経験年数	10年未満	111	62.2	25.2	8.1	3.6	0.9
	10年以上20年未満	121	43.8	38.8	10.7	3.3	3.3
	20年以上30年未満	99	37.4	45.5	15.2	1.0	1.0
	30年以上	74	35.1	45.9	17.6	1.4	-

学校教育以外（家庭や地域等）で身につけさせる必要性

(%)

⑬新しいものを生み出す創造的な力		全体(n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い	無回答
令和7年度		406	29.1	54.7	14.3	0.2	1.7
教員経験年数	10年未満	111	36.0	47.7	14.4	0.9	0.9
	10年以上20年未満	121	29.8	50.4	15.7	-	4.1
	20年以上30年未満	99	24.2	65.7	9.1	-	1.0
	30年以上	74	24.3	58.1	17.6	-	-
⑭善悪を判断する力		全体(n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い	無回答
令和7年度		406	83.0	11.8	3.4	0.2	1.5
教員経験年数	10年未満	111	86.5	9.0	2.7	0.9	0.9
	10年以上20年未満	121	77.7	14.0	5.0	-	3.3
	20年以上30年未満	99	85.9	12.1	1.0	-	1.0
	30年以上	74	82.4	12.2	5.4	-	-
⑮人間関係を築く力		全体(n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い	無回答
令和7年度		406	60.3	31.8	6.2	0.2	1.5
教員経験年数	10年未満	111	65.8	25.2	8.1	-	0.9
	10年以上20年未満	121	55.4	34.7	5.8	0.8	3.3
	20年以上30年未満	99	57.6	38.4	3.0	-	1.0
	30年以上	74	63.5	28.4	8.1	-	-
⑯他者を思いやる心		全体(n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い	無回答
令和7年度		406	75.1	19.0	4.4	0.2	1.2
教員経験年数	10年未満	111	79.3	16.2	4.5	-	-
	10年以上20年未満	121	71.9	17.4	6.6	0.8	3.3
	20年以上30年未満	99	73.7	23.2	2.0	-	1.0
	30年以上	74	75.7	20.3	4.1	-	-
⑰社会で役立つとうとする心や公共心		全体(n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い	無回答
令和7年度		406	59.6	33.7	4.4	0.7	1.5
教員経験年数	10年未満	111	58.6	34.2	5.4	0.9	0.9
	10年以上20年未満	121	56.2	33.9	5.8	0.8	3.3
	20年以上30年未満	99	65.7	31.3	2.0	-	1.0
	30年以上	74	58.1	36.5	4.1	1.4	-
⑱郷土や国を愛する心		全体(n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い	無回答
令和7年度		406	41.6	45.8	9.4	0.7	2.5
教員経験年数	10年未満	111	45.9	38.7	11.7	1.8	1.8
	10年以上20年未満	121	40.5	45.5	8.3	0.8	5.0
	20年以上30年未満	99	41.4	50.5	6.1	-	2.0
	30年以上	74	36.5	51.4	12.2	-	-
⑲ものごとをやりとげる責任感やねばり強さ		全体(n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い	無回答
令和7年度		406	63.3	29.6	5.2	0.2	1.7
教員経験年数	10年未満	111	64.0	28.8	5.4	0.9	0.9
	10年以上20年未満	121	64.5	26.4	5.8	-	3.3
	20年以上30年未満	99	65.7	31.3	2.0	-	1.0
	30年以上	74	56.8	33.8	8.1	-	1.4

学校教育で身につけさせる必要性

(%)

①人権を尊重する力		全体 (n)	とても 高い	やや高 い	やや低 い	とても 低い	無回答
令和7年度		406	50.2	38.9	7.1	1.7	2.0
教員 経験 年数	10年未満	111	67.6	24.3	5.4	2.7	-
	10年以上20年未満	121	48.8	36.4	7.4	2.5	5.0
	20年以上30年未満	99	40.4	50.5	7.1	-	2.0
	30年以上	74	40.5	48.6	9.5	1.4	-
②基本的な生活習慣		全体 (n)	とても 高い	やや高 い	やや低 い	とても 低い	無回答
令和7年度		406	25.4	27.8	27.1	18.0	1.7
教員 経験 年数	10年未満	111	30.6	24.3	30.6	13.5	0.9
	10年以上20年未満	121	24.8	27.3	26.4	18.2	3.3
	20年以上30年未満	99	24.2	30.3	24.2	19.2	2.0
	30年以上	74	20.3	31.1	27.0	21.6	-
③自分自身で社会や生活の場を良くしていこうとする当事者意識		全体 (n)	とても 高い	やや高 い	やや低 い	とても 低い	無回答
令和7年度		406	30.8	48.3	15.3	3.2	2.5
教員 経験 年数	10年未満	111	36.0	50.5	9.9	2.7	0.9
	10年以上20年未満	121	32.2	45.5	15.7	1.7	5.0
	20年以上30年未満	99	30.3	47.5	17.2	4.0	1.0
	30年以上	74	21.6	50.0	20.3	5.4	2.7

学校教育以外（家庭や地域等）で身につけさせる必要性

(%)

①人権を尊重する力		全体 (n)	とても 高い	やや高 い	やや低 い	とても 低い	無回答
令和7年度		406	69.0	24.1	5.4	0.2	1.2
教員 経験 年数	10年未満	111	73.0	21.6	5.4	-	-
	10年以上20年未満	121	67.8	24.0	4.1	0.8	3.3
	20年以上30年未満	99	66.7	30.3	2.0	-	1.0
	30年以上	74	67.6	20.3	12.2	-	-
②基本的な生活習慣		全体 (n)	とても 高い	やや高 い	やや低 い	とても 低い	無回答
令和7年度		406	86.0	9.1	2.7	0.5	1.7
教員 経験 年数	10年未満	111	87.4	8.1	2.7	0.9	0.9
	10年以上20年未満	121	81.0	11.6	3.3	-	4.1
	20年以上30年未満	99	88.9	8.1	2.0	-	1.0
	30年以上	74	87.8	8.1	2.7	1.4	-
③自分自身で社会や生活の場を良くしていこうとする当事者意識		全体 (n)	とても 高い	やや高 い	やや低 い	とても 低い	無回答
令和7年度		406	62.3	30.5	4.7	1.0	1.5
教員 経験 年数	10年未満	111	64.9	27.0	5.4	1.8	0.9
	10年以上20年未満	121	60.3	30.6	4.1	1.7	3.3
	20年以上30年未満	99	62.6	34.3	2.0	-	1.0
	30年以上	74	62.2	29.7	8.1	-	-

学校教育と学校教育以外（家庭や地域等）で身につけさせる必要性の比較

- 学校教育と学校教育以外で身につけさせる必要性を比較すると、「㉑基本的な生活習慣」では、学校教育での必要性の『高い（とても高い+やや高い）』53.2%に対し、学校教育以外の『高い（とても高い+やや高い）』は95.1%と、41.9ポイント高くなっている。
- 「㉒自分の健康を管理する力」は、学校教育以外の『高い』が94.1%、学校教育の『低い』が37.2%と高く、健康については学校教育以外で身につける必要性が高くなっている。
- 「㉓人間関係を築く力」は、学校教育と学校教育以外の『高い』でいずれも90%を超えており、両方で身につける必要性が高くなっている。

図表5-21 学校教育と学校教育以外（家庭や地域等）で身につけさせる必要性の比較

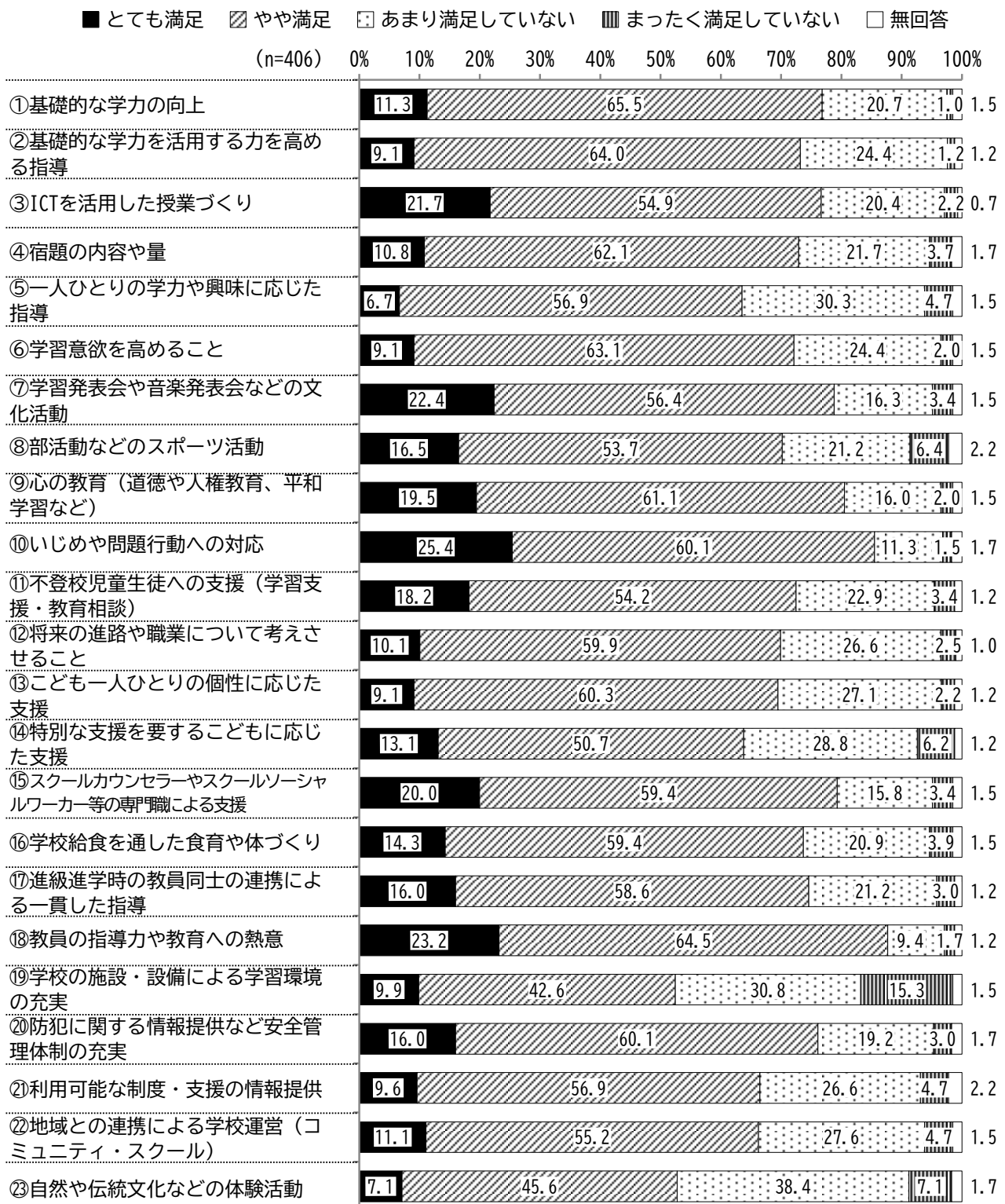
	学校教育		学校教育以外	
	「高い」合計	「低い」合計	「高い」合計	「低い」合計
(n=406)				
①教科の基礎的な学力	96.8	2.2	78.8	19.7
②基礎的な学力を活用する力	96.5	2.5	78.6	19.2
③自ら学ぼうとする意欲	88.4	10.1	91.1	7.4
④実践的な英語力と国際理解	78.8	19.7	64.5	33.2
⑤ICTを活用する力	92.6	6.1	62.8	34.7
⑥音楽・美術など芸術面の能力や情操	77.4	21.4	77.3	20.2
⑦体力や運動能力	80.3	18.5	85.7	12.5
⑧自分の健康を管理する力	61.5	37.2	94.1	4.1
⑨自分の進路や職業、将来について考える力	84.0	14.8	93.1	4.9
⑩論理的にものを考える力	90.4	8.4	79.6	18.2
⑪自分の考えを表現する力	92.4	6.2	86.9	11.3
⑫ものごとを計画的に行う力	88.4	10.4	91.1	7.6
⑬新しいものを生み出す創造的な力	79.8	18.7	83.8	14.5
⑭善悪を判断する力	80.0	18.8	94.8	3.6
⑮人間関係を築く力	91.9	7.1	92.1	6.4
⑯他者を思いやる心	89.7	8.6	94.1	4.6
⑰社会で役立とうとする心や公共心	88.6	10.4	93.3	5.1
⑱郷土や国を愛する心	74.6	23.7	87.4	10.1
⑲ものごとをやりとげる責任感やねばり強さ	83.8	14.8	92.9	5.4
㉑人権を尊重する力	89.1	8.8	93.1	5.6
㉒基本的な生活習慣	53.2	45.1	95.1	3.2
㉓自分自身で社会や生活の場を良くしていこうとする当事者意識	79.1	18.5	92.8	5.7

(6) 学校教育活動の満足度・重要度 (問7)

満足度

- 学校の指導や取組に対する満足度の「とても満足」では、「⑩いじめや問題行動への対応」が25.4%で最も高く、次いで「⑱教員の指導力や教育への熱意」が23.2%、「⑦学習発表会や音楽発表会などの文化活動」が22.4%となっている。
- 「まったく満足していない」では、「⑲学校の施設・設備による学習環境の充実」が15.3%で最も高く、次いで「⑲自然や伝統文化などの体験活動」が7.1%、「⑧部活動などのスポーツ活動」で6.4%となっている。

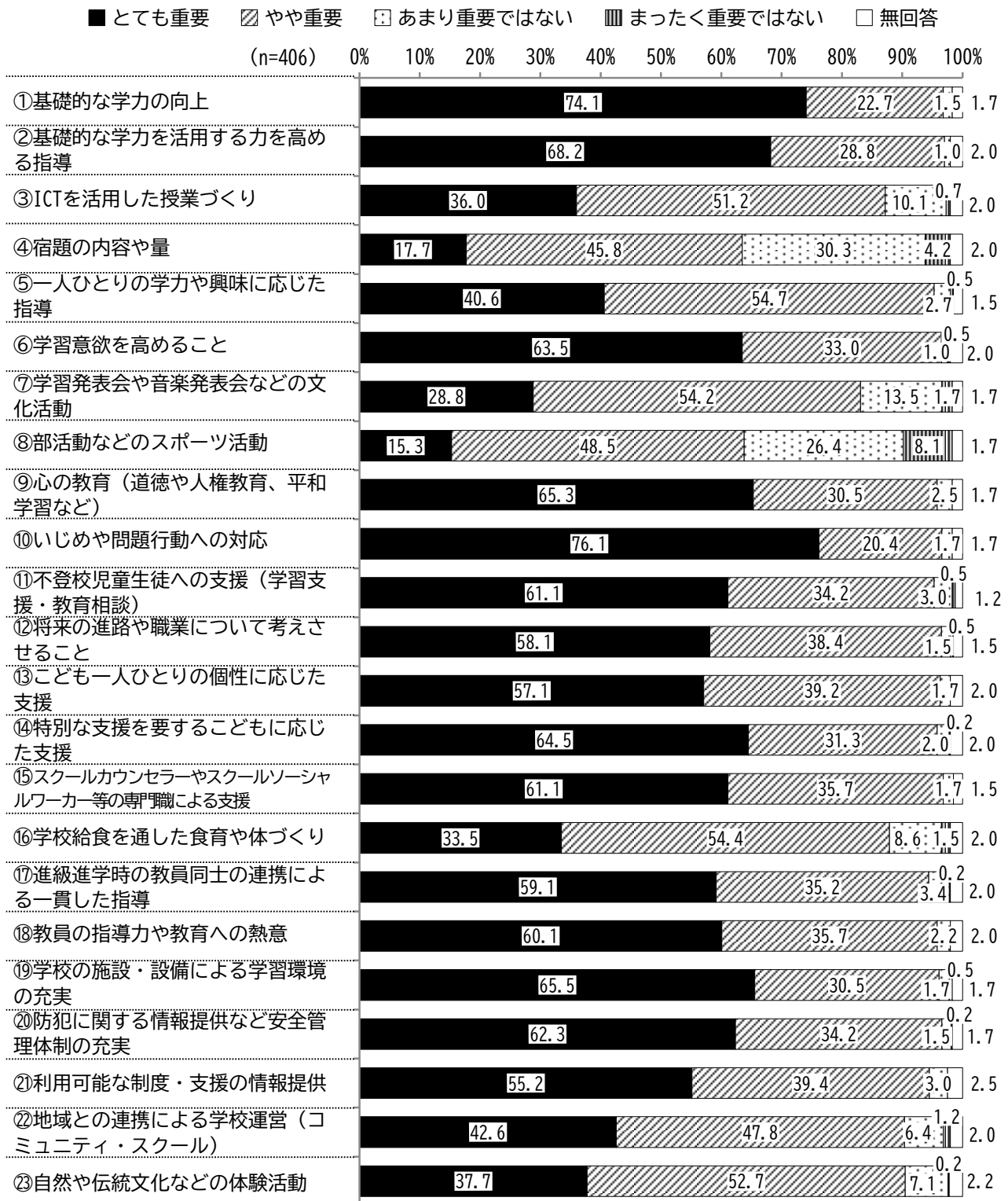
図表5-22 学校教育活動の満足度



重要度

- 学校の指導や取組に対する重要度の「とても重要」では、「⑩いじめや問題行動への対応」が76.1%で最も高く、次いで「①基礎的な学力の向上」が74.1%、「②基礎的な学力を活用する力を高める指導」が68.2%となっている。
- 「まったく重要ではない」では、「⑧部活動などのスポーツ活動」が8.1%で最も高く、次いで「④宿題の内容や量」が4.2%、「⑦学習発表会や音楽発表会などの文化活動」が1.7%となっている。

図表5-23 学校教育活動の重要度



II 本調査の結果 第5章 教員の調査結果

満足度

(%)

⑥学習意欲を高めること		全体 (n)	とても 満足	やや満 足	あまり 満足し ていな い	まっ たく 満足 してい ない	無回答
令和7年度		406	9.1	63.1	24.4	2.0	1.5
教員 経 験 年 数	10年未満	111	11.7	53.2	31.5	3.6	-
	10年以上20年未満	121	8.3	62.8	22.3	2.5	4.1
	20年以上30年未満	99	7.1	69.7	21.2	1.0	1.0
	30年以上	74	9.5	68.9	21.6	-	-

⑦学習発表会や音楽発表会などの文化活動		全体 (n)	とても 満足	やや満 足	あまり 満足し ていな い	まっ たく 満足 してい ない	無回答
令和7年度		406	22.4	56.4	16.3	3.4	1.5
教員 経 験 年 数	10年未満	111	29.7	52.3	12.6	5.4	-
	10年以上20年未満	121	18.2	58.7	13.2	5.8	4.1
	20年以上30年未満	99	17.2	61.6	20.2	-	1.0
	30年以上	74	24.3	52.7	21.6	1.4	-

⑧部活動などのスポーツ活動		全体 (n)	とても 満足	やや満 足	あまり 満足し ていな い	まっ たく 満足 してい ない	無回答
令和7年度		406	16.5	53.7	21.2	6.4	2.2
教員 経 験 年 数	10年未満	111	28.8	48.6	16.2	6.3	-
	10年以上20年未満	121	11.6	51.2	22.3	9.1	5.8
	20年以上30年未満	99	11.1	53.5	29.3	5.1	1.0
	30年以上	74	13.5	66.2	16.2	4.1	-

⑨心の教育（道徳や人権教育、平和学習など）		全体 (n)	とても 満足	やや満 足	あまり 満足し ていな い	まっ たく 満足 してい ない	無回答
令和7年度		406	19.5	61.1	16.0	2.0	1.5
教員 経 験 年 数	10年未満	111	23.4	58.6	15.3	2.7	-
	10年以上20年未満	121	20.7	57.0	14.0	4.1	4.1
	20年以上30年未満	99	12.1	70.7	16.2	-	1.0
	30年以上	74	21.6	58.1	20.3	-	-

⑩いじめや問題行動への対応		全体 (n)	とても 満足	やや満 足	あまり 満足し ていな い	まっ たく 満足 してい ない	無回答
令和7年度		406	25.4	60.1	11.3	1.5	1.7
教員 経 験 年 数	10年未満	111	31.5	52.3	15.3	0.9	-
	10年以上20年未満	121	21.5	62.0	7.4	4.1	5.0
	20年以上30年未満	99	23.2	62.6	13.1	-	1.0
	30年以上	74	25.7	64.9	9.5	-	-

⑪不登校児童生徒への支援（学習支援・教育相談）		全体 (n)	とても 満足	やや満 足	あまり 満足し ていな い	まっ たく 満足 してい ない	無回答
令和7年度		406	18.2	54.2	22.9	3.4	1.2
教員 経 験 年 数	10年未満	111	27.9	49.5	18.9	3.6	-
	10年以上20年未満	121	14.0	55.4	21.5	5.8	3.3
	20年以上30年未満	99	14.1	59.6	23.2	2.0	1.0
	30年以上	74	16.2	51.4	31.1	1.4	-

重要度

(%)

⑥学習意欲を高めること		全体 (n)	とても 重要	やや重 要	あまり 重要で はない	まっ たく 重要 ではな い	無回答
令和7年度		406	63.5	33.0	1.0	0.5	2.0
教員 経 験 年 数	10年未満	111	63.1	34.2	0.9	1.8	-
	10年以上20年未満	121	63.6	31.4	0.8	-	4.1
	20年以上30年未満	99	63.6	34.3	-	-	2.0
	30年以上	74	63.5	32.4	2.7	-	1.4

⑦学習発表会や音楽発表会などの文化活動		全体 (n)	とても 重要	やや重 要	あまり 重要で はない	まっ たく 重要 ではな い	無回答
令和7年度		406	28.8	54.2	13.5	1.7	1.7
教員 経 験 年 数	10年未満	111	35.1	55.9	6.3	2.7	-
	10年以上20年未満	121	24.8	47.9	23.1	0.8	3.3
	20年以上30年未満	99	27.3	59.6	10.1	1.0	2.0
	30年以上	74	27.0	55.4	13.5	2.7	1.4

⑧部活動などのスポーツ活動		全体 (n)	とても 重要	やや重 要	あまり 重要で はない	まっ たく 重要 ではな い	無回答
令和7年度		406	15.3	48.5	26.4	8.1	1.7
教員 経 験 年 数	10年未満	111	16.2	51.4	21.6	10.8	-
	10年以上20年未満	121	17.4	43.0	27.3	9.1	3.3
	20年以上30年未満	99	14.1	49.5	29.3	5.1	2.0
	30年以上	74	12.2	51.4	28.4	6.8	1.4

⑨心の教育（道徳や人権教育、平和学習など）		全体 (n)	とても 重要	やや重 要	あまり 重要で はない	まっ たく 重要 ではな い	無回答
令和7年度		406	65.3	30.5	2.5	-	1.7
教員 経 験 年 数	10年未満	111	72.1	25.2	2.7	-	-
	10年以上20年未満	121	67.8	26.4	2.5	-	3.3
	20年以上30年未満	99	60.6	35.4	2.0	-	2.0
	30年以上	74	56.8	39.2	2.7	-	1.4

⑩いじめや問題行動への対応		全体 (n)	とても 重要	やや重 要	あまり 重要で はない	まっ たく 重要 ではな い	無回答
令和7年度		406	76.1	20.4	1.7	-	1.7
教員 経 験 年 数	10年未満	111	77.5	18.0	4.5	-	-
	10年以上20年未満	121	77.7	19.0	-	-	3.3
	20年以上30年未満	99	75.8	21.2	1.0	-	2.0
	30年以上	74	71.6	25.7	1.4	-	1.4

⑪不登校児童生徒への支援（学習支援・教育相談）		全体 (n)	とても 重要	やや重 要	あまり 重要で はない	まっ たく 重要 ではな い	無回答
令和7年度		406	61.1	34.2	3.0	0.5	1.2
教員 経 験 年 数	10年未満	111	64.9	28.8	4.5	0.9	0.9
	10年以上20年未満	121	62.0	31.4	4.1	-	2.5
	20年以上30年未満	99	59.6	37.4	2.0	-	1.0
	30年以上	74	55.4	43.2	-	1.4	-

満足度							
(%)							
⑫将来の進路や職業について考えさせること	全体 (n)	とても満足	やや満足	あまり満足していない	まったく満足していない	無回答	
令和7年度	406	10.1	59.9	26.6	2.5	1.0	
教員経験年数	10年未満	111	15.3	55.0	26.1	3.6	-
	10年以上20年未満	121	5.8	59.5	28.1	3.3	3.3
	20年以上30年未満	99	10.1	62.6	25.3	2.0	-
	30年以上	74	9.5	63.5	27.0	-	-
⑬こども一人ひとりの個性に応じた支援	全体 (n)	とても満足	やや満足	あまり満足していない	まったく満足していない	無回答	
令和7年度	406	9.1	60.3	27.1	2.2	1.2	
教員経験年数	10年未満	111	12.6	56.8	28.8	1.8	-
	10年以上20年未満	121	7.4	56.2	28.9	4.1	3.3
	20年以上30年未満	99	9.1	67.7	20.2	2.0	1.0
	30年以上	74	6.8	62.2	31.1	-	-
⑭特別な支援を要するこどもに応じた支援	全体 (n)	とても満足	やや満足	あまり満足していない	まったく満足していない	無回答	
令和7年度	406	13.1	50.7	28.8	6.2	1.2	
教員経験年数	10年未満	111	14.4	50.5	29.7	5.4	-
	10年以上20年未満	121	10.7	49.6	29.8	6.6	3.3
	20年以上30年未満	99	13.1	54.5	24.2	7.1	1.0
	30年以上	74	13.5	48.6	32.4	5.4	-
⑮スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門職による支援	全体 (n)	とても満足	やや満足	あまり満足していない	まったく満足していない	無回答	
令和7年度	406	20.0	59.4	15.8	3.4	1.5	
教員経験年数	10年未満	111	22.5	60.4	13.5	3.6	-
	10年以上20年未満	121	15.7	61.2	14.9	4.1	4.1
	20年以上30年未満	99	19.2	61.6	14.1	4.0	1.0
	30年以上	74	23.0	52.7	23.0	1.4	-
⑯学校給食を通じた食育や体づくり	全体 (n)	とても満足	やや満足	あまり満足していない	まったく満足していない	無回答	
令和7年度	406	14.3	59.4	20.9	3.9	1.5	
教員経験年数	10年未満	111	17.1	54.1	23.4	4.5	0.9
	10年以上20年未満	121	14.0	56.2	21.5	5.0	3.3
	20年以上30年未満	99	12.1	64.6	21.2	1.0	1.0
	30年以上	74	13.5	64.9	16.2	5.4	-
⑰進級進学時の教員同士の連携による一貫した指導	全体 (n)	とても満足	やや満足	あまり満足していない	まったく満足していない	無回答	
令和7年度	406	16.0	58.6	21.2	3.0	1.2	
教員経験年数	10年未満	111	19.8	55.0	23.4	1.8	-
	10年以上20年未満	121	14.0	54.5	21.5	6.6	3.3
	20年以上30年未満	99	12.1	65.7	21.2	-	1.0
	30年以上	74	18.9	60.8	17.6	2.7	-

重要度							
(%)							
⑫将来の進路や職業について考えさせること	全体 (n)	とても重要	やや重要	あまり重要ではない	まったく重要ではない	無回答	
令和7年度	406	58.1	38.4	1.5	0.5	1.5	
教員経験年数	10年未満	111	59.5	36.0	1.8	1.8	0.9
	10年以上20年未満	121	58.7	37.2	1.7	-	2.5
	20年以上30年未満	99	55.6	42.4	1.0	-	1.0
	30年以上	74	58.1	39.2	1.4	-	1.4
⑬こども一人ひとりの個性に応じた支援	全体 (n)	とても重要	やや重要	あまり重要ではない	まったく重要ではない	無回答	
令和7年度	406	57.1	39.2	1.7	-	2.0	
教員経験年数	10年未満	111	63.1	33.3	1.8	-	1.8
	10年以上20年未満	121	59.5	35.5	0.8	-	4.1
	20年以上30年未満	99	48.5	48.5	2.0	-	1.0
	30年以上	74	56.8	40.5	2.7	-	-
⑭特別な支援を要するこどもに応じた支援	全体 (n)	とても重要	やや重要	あまり重要ではない	まったく重要ではない	無回答	
令和7年度	406	64.5	31.3	2.0	0.2	2.0	
教員経験年数	10年未満	111	63.1	30.6	5.4	-	0.9
	10年以上20年未満	121	65.3	30.6	-	0.8	3.3
	20年以上30年未満	99	62.6	33.3	2.0	-	2.0
	30年以上	74	67.6	31.1	-	-	1.4
⑮スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門職による支援	全体 (n)	とても重要	やや重要	あまり重要ではない	まったく重要ではない	無回答	
令和7年度	406	61.1	35.7	1.7	-	1.5	
教員経験年数	10年未満	111	64.0	32.4	2.7	-	0.9
	10年以上20年未満	121	57.9	38.8	-	-	3.3
	20年以上30年未満	99	58.6	38.4	2.0	-	1.0
	30年以上	74	64.9	32.4	2.7	-	-
⑯学校給食を通じた食育や体づくり	全体 (n)	とても重要	やや重要	あまり重要ではない	まったく重要ではない	無回答	
令和7年度	406	33.5	54.4	8.6	1.5	2.0	
教員経験年数	10年未満	111	39.6	51.4	5.4	1.8	1.8
	10年以上20年未満	121	35.5	50.4	9.1	1.7	3.3
	20年以上30年未満	99	27.3	62.6	9.1	-	1.0
	30年以上	74	29.7	54.1	12.2	2.7	1.4
⑰進級進学時の教員同士の連携による一貫した指導	全体 (n)	とても重要	やや重要	あまり重要ではない	まったく重要ではない	無回答	
令和7年度	406	59.1	35.2	3.4	0.2	2.0	
教員経験年数	10年未満	111	64.0	33.3	1.8	-	0.9
	10年以上20年未満	121	62.8	29.8	3.3	0.8	3.3
	20年以上30年未満	99	52.5	41.4	3.0	-	3.0
	30年以上	74	54.1	39.2	6.8	-	-

Ⅱ 本調査の結果 第5章 教員の調査結果

満足度

		(%)					
		全体 (n)	とても 満足	やや満 足	あまり 満足し ていな い	まっ たく満 足して いな い	無回答
⑯教員の指導力や教育への熱意							
令和7年度		406	23.2	64.5	9.4	1.7	1.2
教員 経験 年数	10年未満	111	27.0	58.6	11.7	2.7	-
	10年以上20年未満	121	19.0	66.9	8.3	2.5	3.3
	20年以上30年未満	99	22.2	68.7	8.1	-	1.0
	30年以上	74	25.7	63.5	9.5	1.4	-
⑰学校の施設・設備による学習環境の充実							
令和7年度		406	9.9	42.6	30.8	15.3	1.5
教員 経験 年数	10年未満	111	18.0	45.0	26.1	9.9	0.9
	10年以上20年未満	121	9.1	45.5	23.1	19.8	2.5
	20年以上30年未満	99	6.1	35.4	41.4	15.2	2.0
	30年以上	74	4.1	44.6	35.1	16.2	-
⑱防犯に関する情報提供など安全管理体制の充実							
令和7年度		406	16.0	60.1	19.2	3.0	1.7
教員 経験 年数	10年未満	111	23.4	58.6	13.5	3.6	0.9
	10年以上20年未満	121	16.5	56.2	18.2	5.0	4.1
	20年以上30年未満	99	13.1	63.6	22.2	-	1.0
	30年以上	74	8.1	63.5	25.7	2.7	-
㉑利用可能な制度・支援の情報提供							
令和7年度		406	9.6	56.9	26.6	4.7	2.2
教員 経験 年数	10年未満	111	14.4	59.5	20.7	5.4	-
	10年以上20年未満	121	12.4	50.4	28.1	5.0	4.1
	20年以上30年未満	99	6.1	58.6	31.3	1.0	3.0
	30年以上	74	2.7	62.2	27.0	8.1	-
㉒地域との連携による学校運営（コミュニティ・スクール）							
令和7年度		406	11.1	55.2	27.6	4.7	1.5
教員 経験 年数	10年未満	111	15.3	63.1	18.0	3.6	-
	10年以上20年未満	121	14.9	44.6	29.8	7.4	3.3
	20年以上30年未満	99	8.1	54.5	34.3	2.0	1.0
	30年以上	74	2.7	60.8	29.7	5.4	1.4
㉓自然や伝統文化などの体験活動							
令和7年度		406	7.1	45.6	38.4	7.1	1.7
教員 経験 年数	10年未満	111	10.8	52.3	27.9	9.0	-
	10年以上20年未満	121	6.6	45.5	33.1	10.7	4.1
	20年以上30年未満	99	5.1	37.4	52.5	4.0	1.0
	30年以上	74	5.4	47.3	44.6	2.7	-

重要度

		(%)					
		全体 (n)	とても 重要	やや重 要	あまり 重要で はない	まっ たく重 要で はな い	無回答
⑯教員の指導力や教育への熱意							
令和7年度		406	60.1	35.7	2.2	-	2.0
教員 経験 年数	10年未満	111	62.2	30.6	5.4	-	1.8
	10年以上20年未満	121	62.0	33.9	0.8	-	3.3
	20年以上30年未満	99	53.5	43.4	1.0	-	2.0
	30年以上	74	62.2	36.5	1.4	-	-
⑰学校の施設・設備による学習環境の充実							
令和7年度		406	65.5	30.5	1.7	0.5	1.7
教員 経験 年数	10年未満	111	69.4	27.0	2.7	-	0.9
	10年以上20年未満	121	61.2	33.1	1.7	-	4.1
	20年以上30年未満	99	67.7	29.3	1.0	1.0	1.0
	30年以上	74	64.9	32.4	1.4	1.4	-
⑱防犯に関する情報提供など安全管理体制の充実							
令和7年度		406	62.3	34.2	1.5	0.2	1.7
教員 経験 年数	10年未満	111	66.7	30.6	1.8	-	0.9
	10年以上20年未満	121	63.6	31.4	1.7	-	3.3
	20年以上30年未満	99	59.6	37.4	1.0	-	2.0
	30年以上	74	56.8	40.5	1.4	1.4	-
㉑利用可能な制度・支援の情報提供							
令和7年度		406	55.2	39.4	3.0	-	2.5
教員 経験 年数	10年未満	111	63.1	35.1	0.9	-	0.9
	10年以上20年未満	121	57.0	34.7	4.1	-	4.1
	20年以上30年未満	99	44.4	49.5	2.0	-	4.0
	30年以上	74	54.1	40.5	5.4	-	-
㉒地域との連携による学校運営（コミュニティ・スクール）							
令和7年度		406	42.6	47.8	6.4	1.2	2.0
教員 経験 年数	10年未満	111	46.8	45.0	5.4	0.9	1.8
	10年以上20年未満	121	48.8	39.7	5.8	1.7	4.1
	20年以上30年未満	99	34.3	57.6	5.1	2.0	1.0
	30年以上	74	36.5	52.7	10.8	-	-
㉓自然や伝統文化などの体験活動							
令和7年度		406	37.7	52.7	7.1	0.2	2.2
教員 経験 年数	10年未満	111	41.4	50.5	6.3	0.9	0.9
	10年以上20年未満	121	40.5	51.2	5.0	-	3.3
	20年以上30年未満	99	34.3	53.5	9.1	-	3.0
	30年以上	74	31.1	58.1	9.5	-	1.4

満足度と重要度の比較

- 満足度と重要度を比較すると、「⑱教員の指導力や教育への熱意」では、『満足（とても満足+やや満足）』が87.7%で最も高く、『重要（とても重要+やや重要）』でも95.8%と満足度、重要度ともに高くなっている。
- 「⑲学校の施設・設備による学習環境の充実」では、『重要』が96.0%であるものの、『不満（あまり満足していない+まったく満足していない）』が46.1%と最も高くなっている。
- 「㉓自然や伝統文化などの体験活動」「⑤一人ひとりの学力や興味に応じた指導」「⑭特別な支援を要するこどもに応じた支援」など『不満』が3割を超える取組においても、「重要」は9割と高くなっている。

図表5-25 学校での指導や取組の満足度と重要度の比較

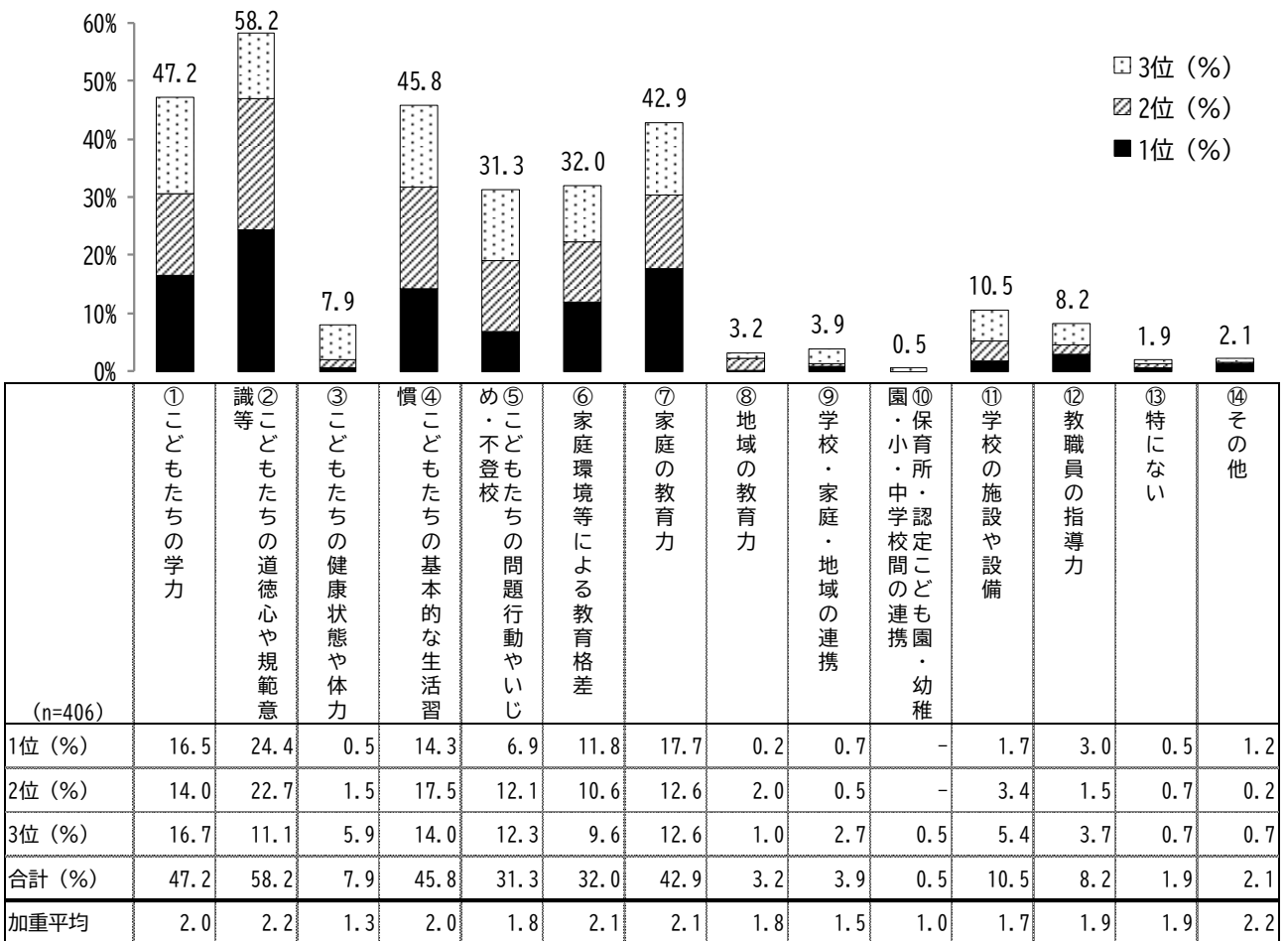
	「満足」 合計	「不満」 合計	「重要」 合計	「重要ではない」 合計
(n=406)				
①基礎的な学力の向上	76.8	21.7	96.8	1.5
②基礎的な学力を活用する力を高める指導	73.1	25.6	97.0	1.0
③ICTを活用した授業づくり	76.6	22.6	87.2	10.8
④宿題の内容や量	72.9	25.4	63.5	34.5
⑤一人ひとりの学力や興味に応じた指導	63.6	35.0	95.3	3.2
⑥学習意欲を高めること	72.2	26.4	96.5	1.5
⑦学習発表会や音楽発表会などの文化活動	78.8	19.7	83.0	15.2
⑧部活動などのスポーツ活動	70.2	27.6	63.8	34.5
⑨心の教育（道徳や人権教育、平和学習など）	80.6	18.0	95.8	2.5
⑩いじめや問題行動への対応	85.5	12.8	96.5	1.7
⑪不登校児童生徒への支援（学習支援・教育相談）	72.4	26.3	95.3	3.5
⑫将来の進路や職業について考えさせること	70.0	29.1	96.5	2.0
⑬こども一人ひとりの個性に応じた支援	69.4	29.3	96.3	1.7
⑭特別な支援を要するこどもに応じた支援	63.8	35.0	95.8	2.2
⑮スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門職による支援	79.4	19.2	96.8	1.7
⑯学校給食を通じた食育や体づくり	73.7	24.8	87.9	10.1
⑰進級進学時の教員同士の連携による一貫した指導	74.6	24.2	94.3	3.6
⑱教員の指導力や教育への熱意	87.7	11.1	95.8	2.2
⑲学校の施設・設備による学習環境の充実	52.5	46.1	96.0	2.2
⑳防犯に関する情報提供など安全管理体制の充実	76.1	22.2	96.5	1.7
㉑利用可能な制度・支援の情報提供	66.5	31.3	94.6	3.0
㉒地域との連携による学校運営（コミュニティ・スクール）	66.3	32.3	90.4	7.6
㉓自然や伝統文化などの体験活動	52.7	45.5	90.4	7.3

3. 学校環境の充実

(1) 教育に関する課題（1位～3位を選択）（問8）……………

- こどもたちのことや教育に関して課題だと感じていることの1位～3位の合計比率では、「②こどもたちの道徳心や規範意識等」が58.2%で最も高く、次いで「①こどもたちの学力」が47.2%、「④こどもたちの基本的な生活習慣」が45.8%となっている。1位の中では「⑦家庭の教育力」が17.7%で2番目に高くなっている。「⑬特にない」は1.9%となっている。
- 教員経験年数別でみると、10年以上20年未満の「②こどもたちの道徳心や規範意識等」が62.0%で最も高くなっている。
- 30年未満の各年数では「②こどもたちの道徳心や規範意識等」、30年以上では「④こどもたちの基本的な生活習慣」が最も高くなっている。
- 「その他」では、「コミュニケーション能力」「個に応じた対応への人材不足」などがあつた。

図表5-26 教育に関する課題



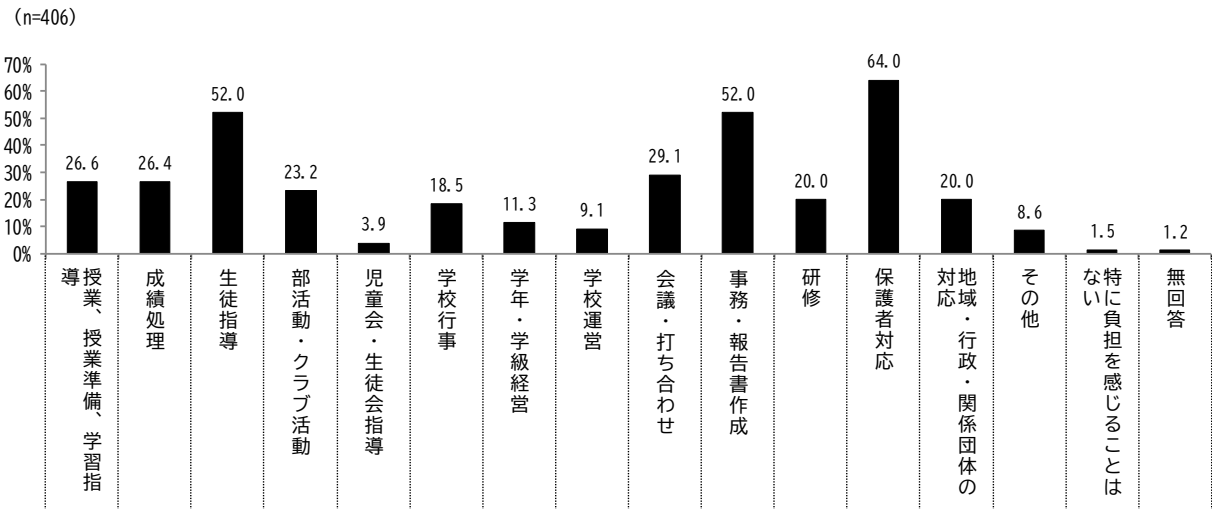
図表 5 - 27 教育に関する課題（教員経験年数別）

		(%)															
		全体 (n)	① ともたちの学力	② ともたちの道徳心や規範意識等	③ ともたちの健康状態や体力	④ ともたちの基本的な生活習慣	⑤ ともたちの問題行動やいじめ・不登校	⑥ 家庭環境等による教育格差	⑦ 家庭の教育力	⑧ 地域の教育力	⑨ 学校・家庭・地域の連携	⑩ 保育所・認定こども園・幼稚園・小・中学校間の連携	⑪ 学校の施設や設備	⑫ 教職員の指導力	⑬ 特にない	⑭ その他	⑮ 無回答
令和7年度		406	47.2	58.2	7.9	45.8	31.3	32.0	42.9	3.2	3.9	0.5	10.5	8.2	1.9	2.1	0.5
教員経験年数	10年未満	111	53.2	58.6	8.1	42.3	41.4	32.4	40.5	3.6	4.5	-	4.5	9.9	-	-	-
	10年以上20年未満	121	45.5	62.0	5.8	43.0	25.6	28.9	40.5	2.5	5.0	0.8	14.0	8.3	3.3	3.3	1.7
	20年以上30年未満	99	48.5	56.6	11.1	44.4	29.3	33.3	44.4	3.0	3.0	-	16.2	7.1	1.0	1.0	-
	30年以上	74	39.2	52.7	5.4	58.1	28.4	35.1	48.6	4.1	2.7	1.4	6.8	6.8	4.1	4.1	-

(2) 職務での負担感（複数選択）（問9）

- 仕事をするうえで、特に負担を感じることは、「保護者対応」が64.0%で最も高く、次いで「生徒指導」「事務・報告書作成」が52.0%、「会議・打ち合わせ」が29.1%となっている。「特に負担を感じることはない」は1.5%となっている。
- 教員経験年数別で見ると、30年以上の「保護者対応」が70.3%で最も高くなっている。
- 「地域・行政・関係団体の対応」では、10年未満が10.8%、20年以上30年未満が29.3%で18.5ポイントの差となっている。
- 「その他」では、「校務分掌」「環境整備」「職員間の人間関係」などがあつた。

図表5-28 職務での負担感



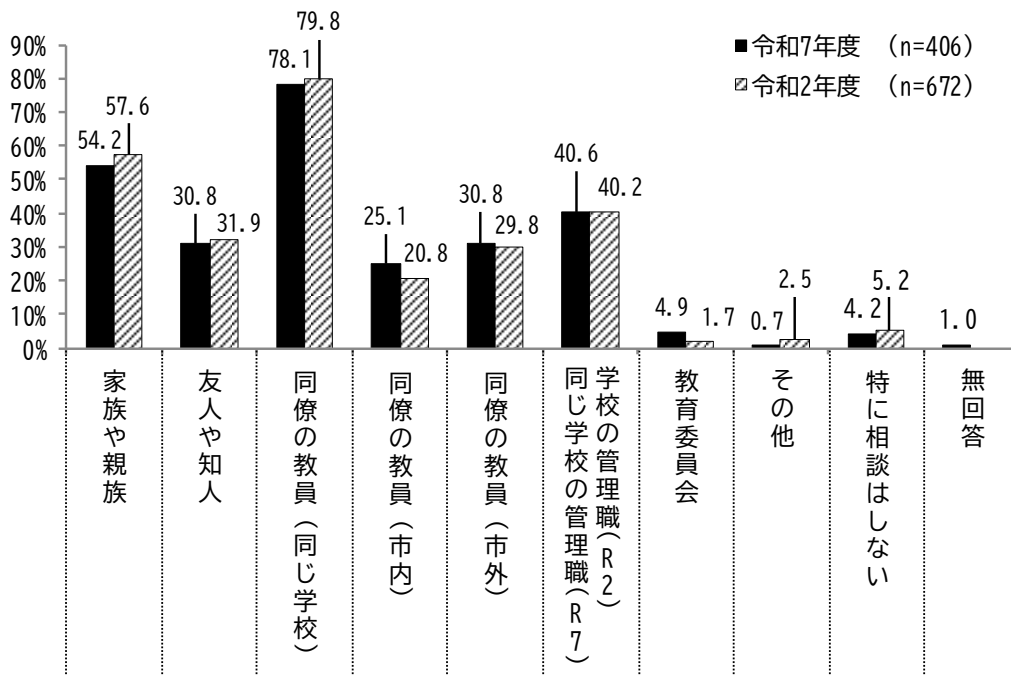
図表5-29 職務での負担感（教員経験年数別）

		全体 (n)	導 授業、授業準備、学習指	成績処理	生徒指導	部活動・クラブ活動	児童会・生徒会指導	学校行事	学年・学級経営	学校運営	会議・打ち合わせ	事務・報告書作成	研修	保護者対応	地域・行政・関係団体の対応	その他	特に負担を感じることはない	無回答
令和7年度		406	26.6	26.4	52.0	23.2	3.9	18.5	11.3	9.1	29.1	52.0	20.0	64.0	20.0	8.6	1.5	1.2
教員経験年数	10年未満	111	29.7	33.3	48.6	18.9	6.3	17.1	12.6	8.1	28.8	46.8	22.5	57.7	10.8	3.6	1.8	-
	10年以上20年未満	121	30.6	29.8	53.7	22.3	5.0	17.4	8.3	7.4	33.9	47.1	19.8	64.5	22.3	11.6	0.8	2.5
	20年以上30年未満	99	22.2	22.2	57.6	31.3	2.0	15.2	12.1	12.1	24.2	59.6	22.2	66.7	29.3	10.1	2.0	-
	30年以上	74	21.6	16.2	47.3	20.3	1.4	27.0	13.5	9.5	28.4	58.1	13.5	70.3	17.6	9.5	1.4	1.4

(3) 悩んだ場合の相談先（複数選択）（問10）

- ・業務のことで悩んだ時の相談先では、「同僚の教員（同じ学校）」が78.1%で最も高く、次いで「家族や親族」が54.2%、「同じ学校の管理職」が40.6%となっている。「特に相談はしない」は4.2%となっている。
- ・令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられない。
- ・教員経験年数別でみると、10年未満の「同僚の教員（同じ学校）」が86.5%で最も高くなっている。
- ・「同僚の教員（市内）」では、10年未満が16.2%に対し、20年以上30年未満が31.3%で15.1ポイント高くなっている。
- ・「その他」では、「元同僚の教員」「信頼できる関係者や関係機関」などがあつた。

図表5-30 悩んだ場合の相談先 ※令和2年度は1位～3位の合計比率



図表5-31 悩んだ場合の相談先（教員経験年数別）

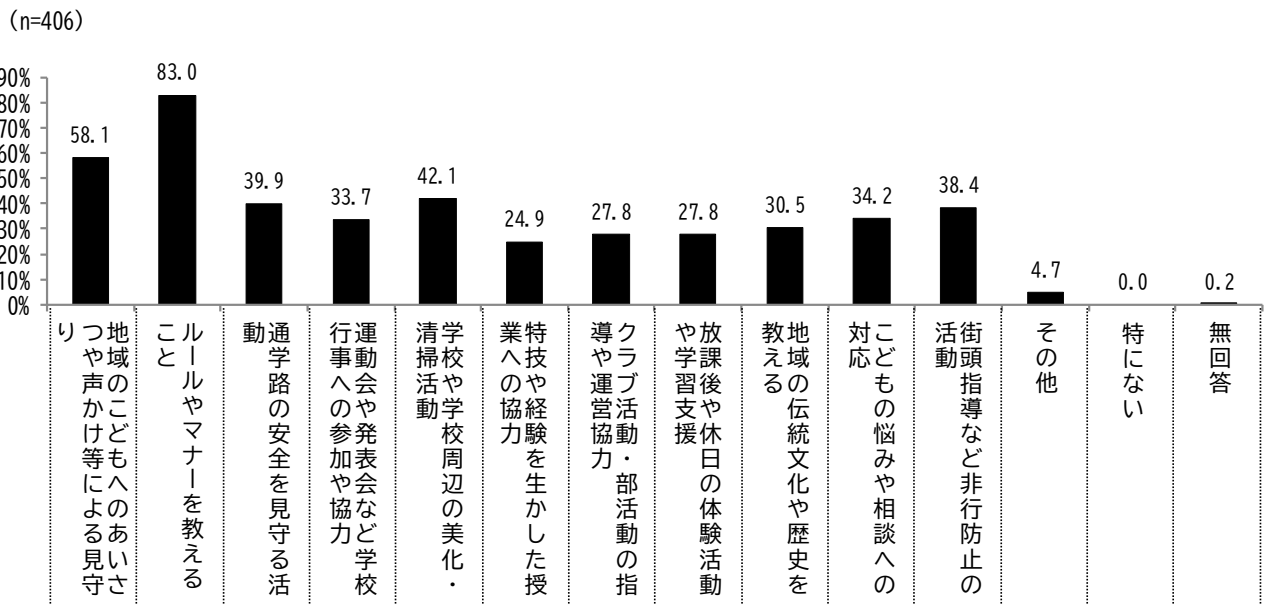
		全体 (n)	家族や親族	友人や知人	同僚の教員（同じ学校）	同僚の教員（市内）	同僚の教員（市外）	同僚の教員（同じ学校の管理職）	教育委員会	その他	特に相談はしない	無回答
令和7年度		406	54.2	30.8	78.1	25.1	30.8	40.6	4.9	0.7	4.2	1.0
教員経験年数	10年未満	111	55.9	37.8	86.5	16.2	22.5	35.1	0.9	-	1.8	-
	10年以上20年未満	121	57.9	24.8	79.3	27.3	33.1	41.3	2.5	0.8	2.5	2.5
	20年以上30年未満	99	50.5	30.3	75.8	31.3	35.4	48.5	7.1	-	6.1	1.0
	30年以上	74	50.0	29.7	66.2	27.0	33.8	37.8	12.2	2.7	8.1	-

4. 学校と家庭、地域の連携・協働に関すること

(1) 家庭や地域に関わってほしいこと（複数選択）（問5）

- 学校において、家庭や地域等に関わってほしい取組では、「ルールやマナーを教えること」が83.0%で最も高く、次いで「地域の子どもへのあいさつや声かけ等による見守り」が58.1%、「学校や学校周辺の美化・清掃活動」が42.1%となっている。
- 教員経験年数別でみると、30年以上で「ルールやマナーを教えること」が86.5%で最も高くなっている。
- 「運動会や発表会など学校行事への参加や協力」については、10年未満が44.1%で、10年以上20年未満の28.1%と比較して16.0ポイント高くなっている。
- 「その他」では、「基本的な生活習慣の定着」「家庭学習の指導」「家庭や地域でのトラブル対応」などがあつた。

図表5-32 家庭や地域に関わってほしいこと



図表5-33 家庭や地域に関わってほしいこと（教員経験年数別）

		全体 (n)	地域の子どもへのあいさつや声かけ等による見守り	ルールやマナーを教えること	通学路の安全を見守る活動	運動会や発表会など学校行事への参加や協力	学校や学校周辺の美化・清掃活動	特技や経験を生かした授業への協力	クラブ活動・部活動の指導や運営協力	放課後や休日の体験活動や学習支援	地域の伝統文化や歴史を教える	こどもの悩みや相談への対応	街頭指導など非行防止の活動	その他	特にない	無回答
令和7年度		406	58.1	83.0	39.9	33.7	42.1	24.9	27.8	27.8	30.5	34.2	38.4	4.7	-	0.2
教員経験年数	10年未満	111	54.1	85.6	40.5	44.1	41.4	18.9	26.1	29.7	28.8	32.4	38.7	1.8	-	-
	10年以上20年未満	121	58.7	78.5	37.2	28.1	37.2	29.8	25.6	22.3	27.3	35.5	36.4	3.3	-	0.8
	20年以上30年未満	99	62.6	82.8	40.4	28.3	50.5	27.3	27.3	31.3	32.3	37.4	44.4	9.1	-	-
	30年以上	74	56.8	86.5	41.9	33.8	39.2	23.0	35.1	28.4	35.1	29.7	32.4	5.4	-	-

5. 自由意見（教員）

(1) 学校教育に関するご意見（問13）

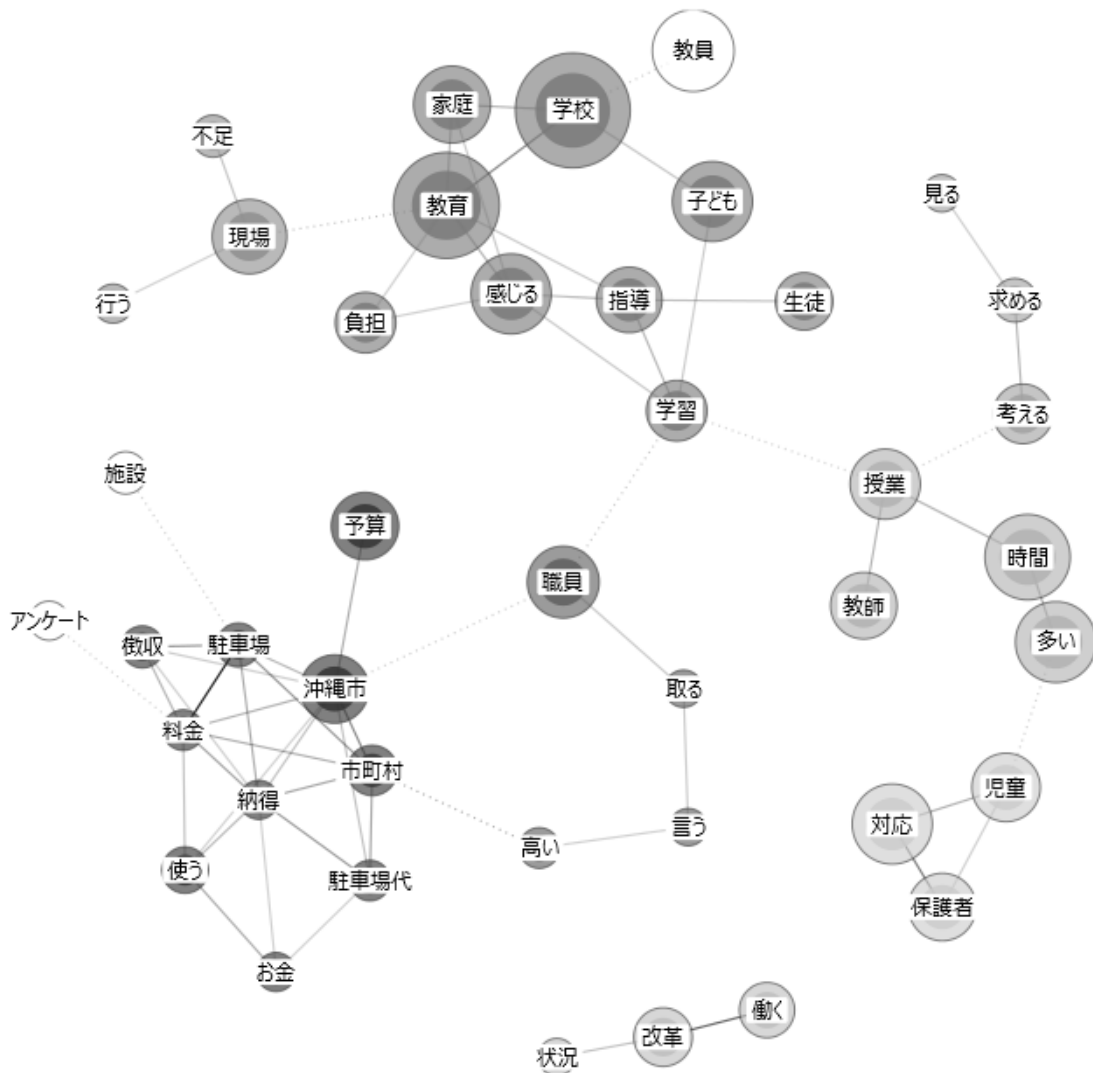
<テキストマイニングによる共起ネットワーク>

学校教育に関する自由記述回答の頻出単語を図のように整理した。

【特徴となるポイント】

- 「学校」「教育」「家庭」「子ども」「指導」「負担」などが接続しており、教育現場における指導のあり方が、家庭との関わりを含めた教員の負担感との関連に言及されていることが推察される。
- 「沖縄市」「駐車場」「料金」「納得」「使う」などが接続しており、駐車場の有料化や料金設定に対し、教員の納得感やその用途に関する言及が集中していることが推察される。
- 「現場」「不足」「行う」が接続しており、教育現場でのリソース（人員、時間など）が「不足」しているという文脈で出現しているものと推察される。

図表5-34 自由意見（共起ネットワーク）

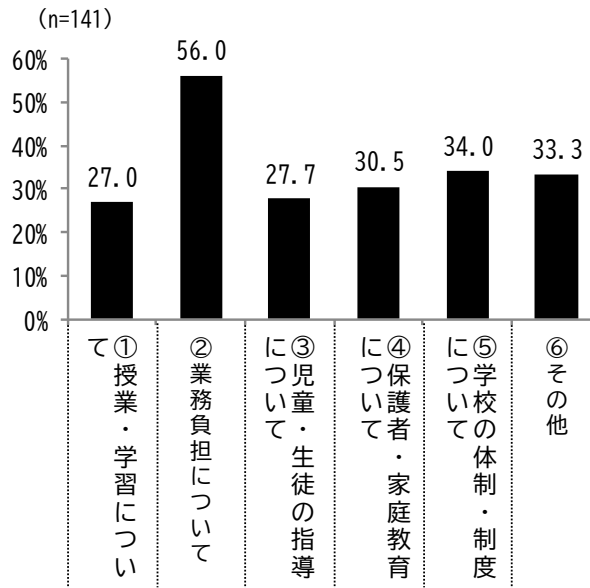


※出現回数の多い語ほど、大きい円で表示している
 ※円の距離が近いほど、その単語同士が近い抽出語彙を示す
 ※円と円を結ぶ線については、共起の強弱を表し、関連が強い語と語を結ぶほど濃くなる

<カテゴリ分類>

- 回答があった141件の内容を以下の6項目に分類し、主な意見の一部を掲載している。

図表5-35 自由意見（カテゴリ分類）



※1件の中に複数のカテゴリにまたがる回答もあるため、件数は141件より多く、割合の合計は100%を超えている。

カテゴリ	件数	主な意見（原則、原文を掲載）
①授業・学習について	38	学校によって施設環境に差がある。同じように学習できる環境づくりをお願いしたい。教師がゆとりをもって子どもに向き合い、授業のことに集中できる環境を整えてほしい。
		ICT GIGA に力を入れているが、並行して身体や五感を使う、感情が動く体験的な取り組み、情操教育が重要だと思うが、ないがしろにされているのでは？と感じている。また、ひとクラス20名の少人数態勢、学習支援者の配置、校務分掌の負担減、本来家庭教育で行われるべき事と学校教育での線引き、教職員評価の廃止(評価は信憑性に欠ける、感情的評価あり)意欲が損なわれる。
②業務負担について	79	細かい業務が多く、生徒と関わる時間が少ない。関わる時間を作り、その後業務に取り掛かると遅く退勤することになり、いい塩梅を見つけられない。生徒のための難儀はいくらでもするが、これはやらないといけないことか？と疑問に思う業務が多すぎて、教員人生短いながらも今後は不安になることが多い。業務改善、簡素化を学校として行ってほしい。
		学校教育に教職員が集中できる仕組みや環境を整えて欲しいが、沖縄市は色々な行事を振り、次々に要求をしていくことが多々あります。それに振り回されている現状が、学校側にはある、ということ。それにより通常の業務に支障をきたしています。
		学校職員の増員。マンパワーが少なく、生徒の支援ができない。職員が働くことができたなら、不登校の改善や、学習に向かうサポートができる。

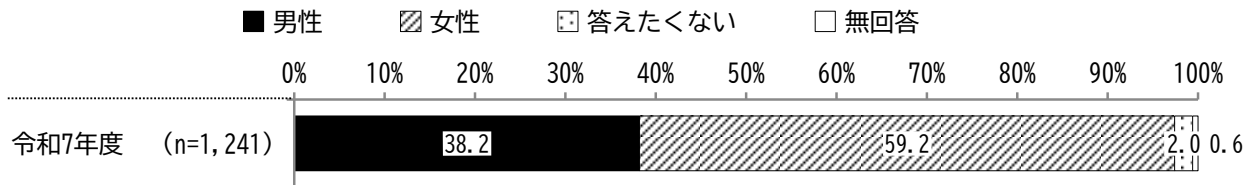
カテゴリ	件数	主な意見（原則、原文を掲載）
③児童・生徒の指導について	39	今の子ども達は個別に指導しなければならない子どもが多く、これまでのような一斉指導が通らなくなっている。必ずどこかの学級で児童が問題行動を起こしているのが現状である。放課後の保護者への電話対応も多い。教員の数を増やし、教科担任制を進め、担任1人が抱え込まずにすむ体制を早急にしてほしい。
		児童一人ひとりと丁寧に関わりたいが、児童や保護者の願いや個別最適な対応と集団の中での指導・支援を考えると、学級全員の人数を対応できていないと感じる。理想とする教育活動を継続させるために、教師として日々努力しているが、児童や家庭、地域の求める仕事・役割ができていないのか不安になる。
④保護者・家庭教育について	43	学校で育む力と、家庭で育む力をしっかりと保護者と共有して、協力体制を築くことが必要だと思います。また、金銭の扱いについての業者委託や校地内の環境整備、支援員の増員など、予算をしっかりと確保して、将来の沖縄市を担う子どもたちの育成に行政の支えが必要です。
		色々な家庭環境があるのは承知しているが、各家庭で基本的な生活習慣の定着をお願いしたい。それができた上での学校教育だと思う。また、行政が関わっている家庭においては、経済的な支援だけでなく、金銭管理や食生活等の児童に関わることは、もっと関わって欲しい。
⑤学校の体制・制度について	48	現在の学校教育は、以前の学校教育と比べて非常に厳しい状況に置かれていると思います。教職員不足や児童生徒の行動や価値観、取り巻く環境の変化など、学校現場だけでは対応しきれないほどの課題があります。この諸問題・課題を解決するために、現場の工夫や努力を求める方法は限界に来ているのではないのでしょうか。働き方改革もやり尽くしているが、なかなか疲弊感を拭う事にはなっていないような感じです。
		後は、国や行政の制度改革・方針転換しかないのではないのでしょうか。現場は、これからも工夫や努力を重ねていきますが、国や行政も早急な改革を推進してほしいと思います。
⑥その他	47	特別支援教育、補助員申請にかかわる提出書類がとても多い。書類作成に時間が取られる。また、学習支援員、補助員が他の市町村に比べ少ない。増員してほしい。
		学校にかかわる予算が年々減っている。沖縄市は子ども達にお金をかけないのでしょうか。減額の理由や現状を市民に説明するべきだと思います。学校の駐車場料金が他の市町村と比べ高額、検討してほしい。どうしてこの金額なのか説明がないまま徴収されている。職員から徴収した駐車場料金で学校施設の修繕費等を賄うのはおかしいと思う。学校施設の修繕費は市の予算から出すものではないか。駐車場料金を徴収していること、そのお金を修繕費等に充てていることを市民に説明していますか？
⑥その他	47	夏休みの日数が確保されるなど改善されていることに感謝です。ですが、もっと委員会主導で、スクラップ&ビルドのスクラップをしてほしい。例えばピンクシャツデーは何のためになるのか、本気でやるつもりではないのならやらないで欲しい。また、評価システムは管理職の評価は委員会ではなく、共に働いている教職員の評価にして欲しい。一方的に評価されるのはおかしい。

第6章 市民の調査結果

1. 基本属性

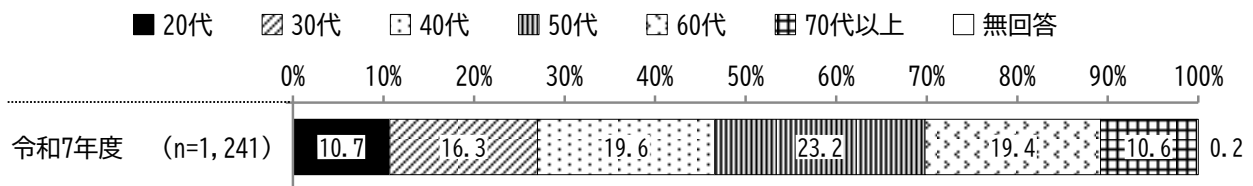
(1) 性別 (問1)

図表6-1 性別



(2) 年代 (問2)

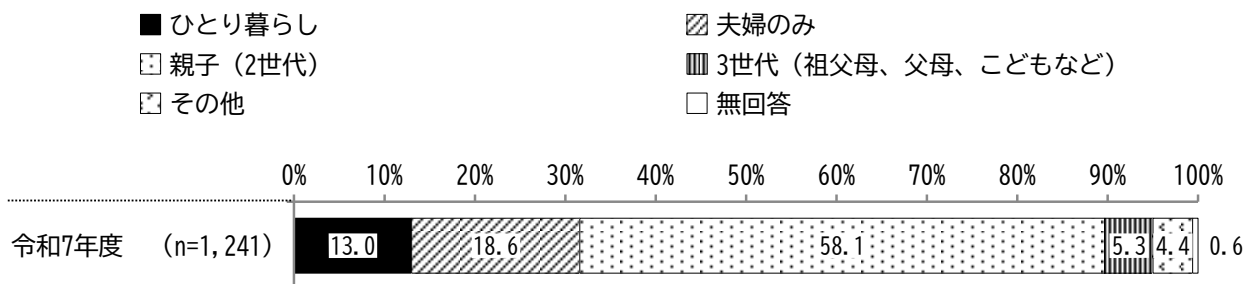
図表6-2 年代



(3) 家族構成 (問3)

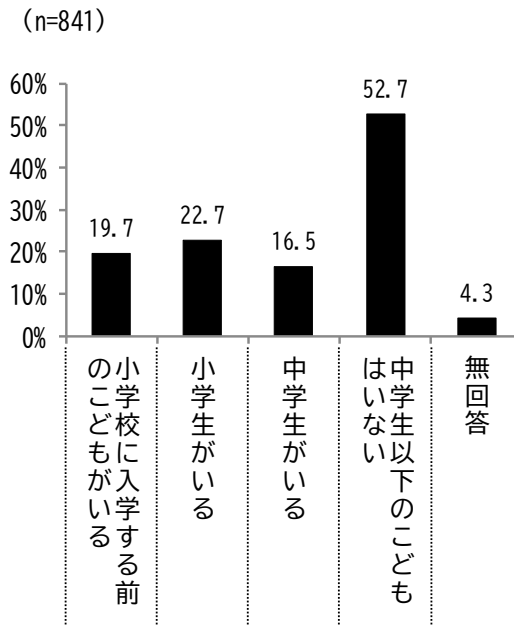
- ・ 「その他」では「兄弟・姉妹」「孫」「パートナー」などがあつた。

図表6-3 家族構成



(4) 中学生以下のこどもの有無（複数選択）（問3-1）

図表6-4 中学生以下のこどもの有無

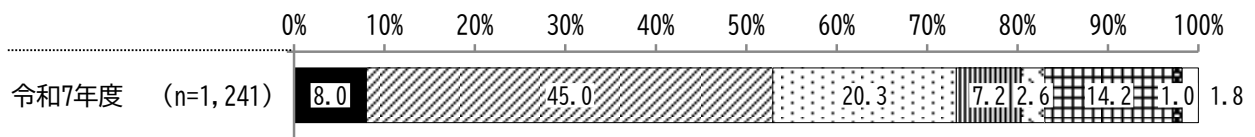


(5) 職業（問4）

- 「その他」では、「会社役員」「研究職」などがあつた。

図表6-5 職業

- 自営業・自由業
- 勤め人（パート・アルバイト等）
- 学生
- その他
- 勤め人（常勤）
- ▨ 家事専業（専業主婦・夫、家事手伝い）
- ▩ 無職（専業主婦・夫、家事手伝いは除く）
- 無回答



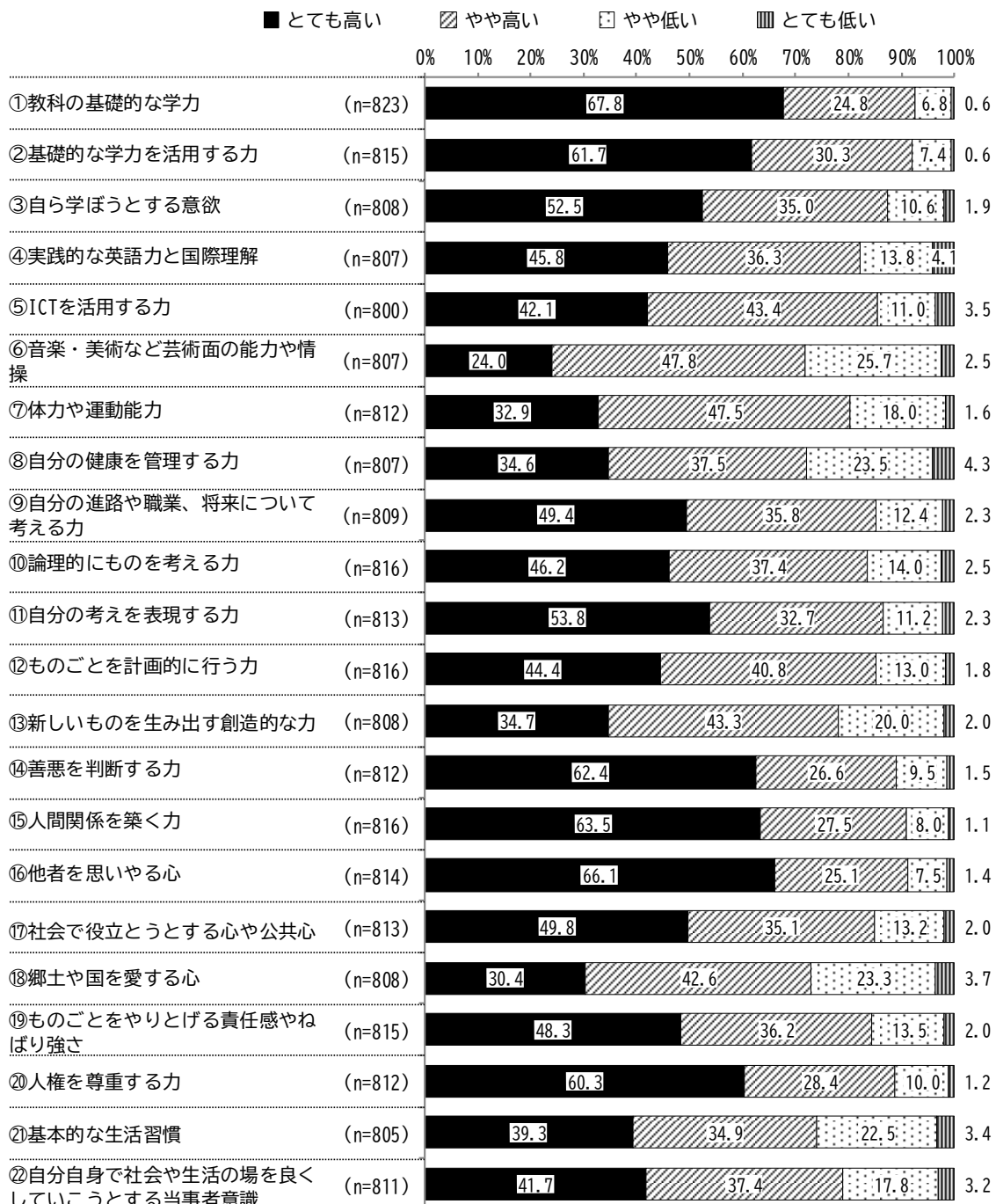
2. 確かな学力・豊かな心・健やかな体に関すること

(1) 学校や家庭での児童・生徒の能力や態度を身につけさせる必要性（問22）……………

学校教育で身につけさせる必要性

- 学校教育で身につけさせる必要性の「とても高い」では、「①教科の基礎的な学力」が67.8%で最も高く、次いで「⑯他者を思いやる心」が66.1%、「⑮人間関係を築く力」が63.5%となっている。
- 「とても低い」では、「⑧自分の健康を管理する力」が4.3%で最も高く、次いで「④実践的な英語力と国際理解」が4.1%、「⑱郷土や国を愛する心」が3.7%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、「③自ら学ぼうとする意欲」で「とても高い」が52.5%となっており、前回の64.7%より12.2ポイント低く、最も差が大きくなっている。

図表6-6 学校教育で身につけさせる必要性



※小学6年生・中学3年生の保護者向け調査で回答している場合は回答不要としたため、無回答を除いています。

図表6-7 学校教育で身につけさせる必要性（令和2年度との比較）

		(%)				
		全体 (n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い
①教科の基礎的な学力	令和7年度	823	67.8	24.8	6.8	0.6
	令和2年度	701	69.0	25.0	5.0	1.0
②基礎的な学力を活用する力	令和7年度	815	61.7	30.3	7.4	0.6
	令和2年度	698	66.3	26.8	6.3	0.6
③自ら学ぼうとする意欲	令和7年度	808	52.5	35.0	10.6	1.9
	令和2年度	694	64.7	22.8	10.4	2.2
④実践的な英語力と国際理解 実際の場面で使える英語力	令和7年度	807	45.8	36.3	13.8	4.1
	令和2年度	696	52.4	30.0	10.6	6.9
⑤ICTを活用する力 ICT（情報通信技術）を活用する力	令和7年度	800	42.1	43.4	11.0	3.5
	令和2年度	695	51.7	35.0	9.2	4.2
⑥音楽・美術など芸術面の能力や情操	令和7年度	807	24.0	47.8	25.7	2.5
	令和2年度	695	28.3	46.0	22.6	3.0
⑦体力や運動能力	令和7年度	812	32.9	47.5	18.0	1.6
	令和2年度	694	37.0	46.8	15.0	1.2
⑧自分の健康を管理する力	令和7年度	807	34.6	37.5	23.5	4.3
	令和2年度	694	42.4	38.3	15.7	3.6
⑨自分の進路や職業、将来について考える力 生き方や進路について考える力	令和7年度	809	49.4	35.8	12.4	2.3
	令和2年度	695	55.5	29.8	12.7	2.0
⑩論理的にものを考える力	令和7年度	816	46.2	37.4	14.0	2.5
	令和2年度	695	47.3	37.4	13.8	1.4
⑪自分の考えを表現する力	令和7年度	813	53.8	32.7	11.2	2.3
	令和2年度	695	59.1	28.6	10.2	2.0
⑫ものごとを計画的に行う力	令和7年度	816	44.4	40.8	13.0	1.8
	令和2年度	691	47.8	38.1	11.9	2.3
⑬新しいものを生み出す創造的な力	令和7年度	808	34.7	43.3	20.0	2.0
	令和2年度	687	41.6	39.7	15.4	3.2
⑭善悪を判断する力	令和7年度	812	62.4	26.6	9.5	1.5
	令和2年度	690	64.3	24.9	8.6	2.2
⑮人間関係を築く力	令和7年度	816	63.5	27.5	8.0	1.1
	令和2年度	696	63.6	27.7	6.9	1.7
⑯他者を思いやる心	令和7年度	814	66.1	25.1	7.5	1.4
	令和2年度	-	-	-	-	-
⑰社会で役立とうとする心や公共心	令和7年度	813	49.8	35.1	13.2	2.0
	令和2年度	695	48.2	36.7	13.1	2.0
⑱郷土や国を愛する心	令和7年度	808	30.4	42.6	23.3	3.7
	令和2年度	697	34.0	42.2	19.1	4.7
⑲ものごとをやりとげる責任感やねばり強さ ものごとをやりとげるねばり強さ	令和7年度	815	48.3	36.2	13.5	2.0
	令和2年度	697	48.2	37.4	12.1	2.3
⑳人権を尊重する力	令和7年度	812	60.3	28.4	10.0	1.2
	令和2年度	697	61.8	27.3	9.2	1.7
㉑基本的な生活習慣	令和7年度	805	39.3	34.9	22.5	3.4
	令和2年度	695	45.5	37.1	14.1	3.3
㉒自分自身で社会や生活の場を良くしていこうとする当事者意識	令和7年度	811	41.7	37.4	17.8	3.2
	令和2年度	-	-	-	-	-

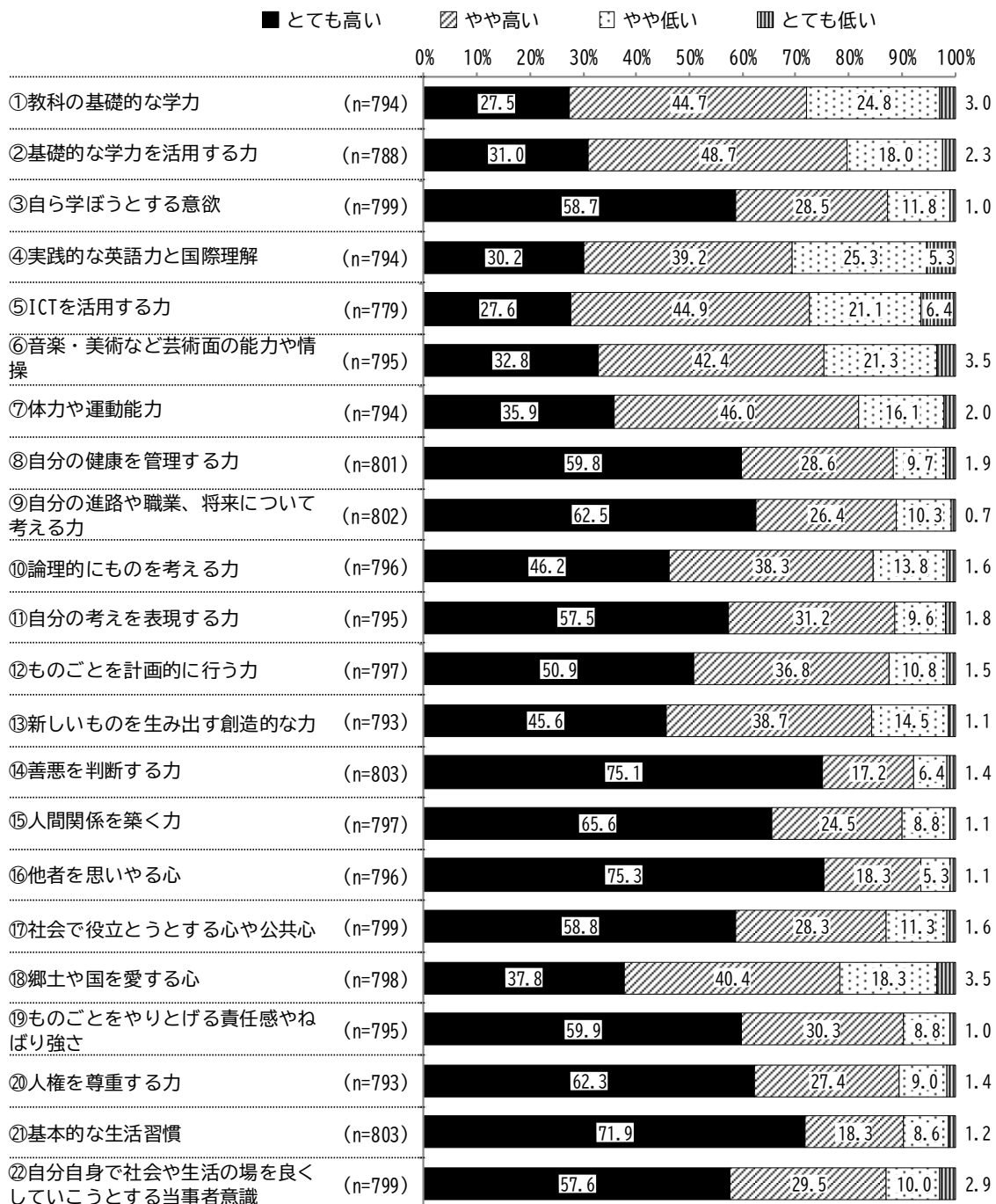
※設問番号④⑤⑨⑱については、令和2年度の設問文を記載しています。

※令和2年度にない設問文は「-」で表示しています。

学校教育以外（家庭や地域等）で身につけさせる必要性

- 学校教育以外（家庭や地域等）で身につけさせる必要性の「とても高い」では、「⑩他者を思いやる心」が75.3%で最も高く、次いで「⑭善悪を判断する力」が75.1%、「②基本的な生活習慣」が71.9%となっている。
- 「とても低い」では、「⑤ICTを活用する力」が6.4%で最も高く、次いで「④実践的な英語力と国際理解」が5.3%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、「⑤ICTを活用する力」で「とても高い」が27.6%となっており、前回の39.4%から11.8ポイント減少し、最も差が大きくなっている。

図表6-8 学校教育以外（家庭や地域等）で身につけさせる必要性



※小学6年生・中学3年生の保護者向け調査で回答している場合は回答不要としたため、無回答を除いています。

図表6-9 学校教育以外（家庭や地域等）で身につけさせる必要性（令和2年度との比較）

		(%)				
		全体 (n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い
①教科の基礎的な学力	令和7年度	794	27.5	44.7	24.8	3.0
	令和2年度	677	31.2	41.1	23.6	4.1
②基礎的な学力を活用する力	令和7年度	788	31.0	48.7	18.0	2.3
	令和2年度	674	37.1	45.1	14.7	3.1
③自ら学ぼうとする意欲	令和7年度	799	58.7	28.5	11.8	1.0
	令和2年度	680	60.4	27.8	9.1	2.6
④実践的な英語力と国際理解 実際の場面で使える英語力	令和7年度	794	30.2	39.2	25.3	5.3
	令和2年度	676	41.4	31.5	18.0	9.0
⑤ICTを活用する力 ICT（情報通信技術）を活用する力	令和7年度	779	27.6	44.9	21.1	6.4
	令和2年度	675	39.4	39.0	16.9	4.7
⑥音楽・美術など芸術面の能力や情操	令和7年度	795	32.8	42.4	21.3	3.5
	令和2年度	678	32.4	43.2	20.9	3.4
⑦体力や運動能力	令和7年度	794	35.9	46.0	16.1	2.0
	令和2年度	676	39.5	44.5	14.1	1.9
⑧自分の健康を管理する力	令和7年度	801	59.8	28.6	9.7	1.9
	令和2年度	681	59.9	28.3	10.3	1.5
⑨自分の進路や職業、将来について考える力 生き方や進路について考える力	令和7年度	802	62.5	26.4	10.3	0.7
	令和2年度	681	60.1	29.5	9.0	1.5
⑩論理的にものを考える力	令和7年度	796	46.2	38.3	13.8	1.6
	令和2年度	680	47.6	35.7	14.4	2.2
⑪自分の考えを表現する力	令和7年度	795	57.5	31.2	9.6	1.8
	令和2年度	681	58.3	29.1	10.3	2.3
⑫ものごとを計画的に行う力	令和7年度	797	50.9	36.8	10.8	1.5
	令和2年度	681	53.9	32.3	11.3	2.5
⑬新しいものを生み出す創造的な力	令和7年度	793	45.6	38.7	14.5	1.1
	令和2年度	680	47.9	37.5	12.1	2.5
⑭善悪を判断する力	令和7年度	803	75.1	17.2	6.4	1.4
	令和2年度	678	74.2	18.1	6.0	1.6
⑮人間関係を築く力	令和7年度	797	65.6	24.5	8.8	1.1
	令和2年度	679	64.4	27.8	6.3	1.5
⑯他者を思いやる心	令和7年度	796	75.3	18.3	5.3	1.1
	令和2年度	-	-	-	-	-
⑰社会で役立とうとする心や公共心	令和7年度	799	58.8	28.3	11.3	1.6
	令和2年度	677	56.4	32.5	9.5	1.6
⑱郷土や国を愛する心	令和7年度	798	37.8	40.4	18.3	3.5
	令和2年度	678	37.8	42.2	16.5	3.5
⑲ものごとをやりとげる責任感やねばり強さ ものごとをやりとげるねばり強さ	令和7年度	795	59.9	30.3	8.8	1.0
	令和2年度	675	55.3	32.9	9.8	2.1
⑳人権を尊重する力	令和7年度	793	62.3	27.4	9.0	1.4
	令和2年度	676	63.6	26.9	7.8	1.6
㉑基本的な生活習慣	令和7年度	803	71.9	18.3	8.6	1.2
	令和2年度	680	70.3	19.3	8.7	1.8
㉒自分自身で社会や生活の場を良くしていこうとする当事者意識	令和7年度	799	57.6	29.5	10.0	2.9
	令和2年度	-	-	-	-	-

※設問番号④⑤⑨⑱については、令和2年度の設問文を記載しています。

※令和2年度にない設問文は「-」で表示しています。

性別・年代別

- 性別でみると、学校教育で身につけさせる必要性では、男女ともに「①教科の基礎的な学力」「⑩他者を思いやる心」が上位になっている。「⑳人権を尊重する力」の「とても高い」が、男性で56.6%に対し、女性では62.6%と6.0ポイント高くなっている。
- 学校教育以外(家庭や地域等)で身につけさせる必要性では、男女ともに「⑭善悪を判断する力」「⑩他者を思いやる心」「㉑基本的な生活習慣」が上位となっている。「①教科の基礎的な学力」の「とても高い」が、男性で34.2%に対し、女性では23.1%と11.1ポイント低くなっている。
- 年代別でみると、学校教育で身につけさせる必要性では、20代では「⑮人間関係を築く力」、30代で「⑩他者を思いやる心」、40代以上で「①教科の基礎的な学力」が最も高くなっている。「⑮人間関係を築く力」の「とても高い」が、20代で81.6%に対し、60代では49.3%と32.3ポイント低くなっている。
- 学校教育以外(家庭や地域等)で身につけさせる必要性では、40代で「⑩他者を思いやる心」、その他の年代では「⑭善悪を判断する力」が最も高くなっている。「⑩他者を思いやる心」の「とても高い」が、20代で85.3%に対し、70代以上では57.9%と27.4ポイント低くなっている。

図表6-10 学校教育と学校教育以外(家庭や地域等)で身につけさせる必要性(性別・年代別)

学校教育で身につけさせる必要性 (%)							学校教育以外(家庭や地域等)で身につけさせる必要性 (%)						
①教科の基礎的な学力		全体(n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い	①教科の基礎的な学力		全体(n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い
令和7年度		823	67.8	24.8	6.8	0.6	令和7年度		794	27.5	44.7	24.8	3.0
性別	男性	313	68.1	24.0	6.7	1.3	性別	男性	304	34.2	37.2	23.7	4.9
	女性	491	68.4	24.8	6.5	0.2		女性	471	23.1	48.8	26.1	1.9
年代	20代	104	71.2	22.1	5.8	1.0	年代	20代	102	23.5	41.2	32.4	2.9
	30代	164	68.9	23.8	6.7	0.6		30代	159	28.3	39.0	28.3	4.4
	40代	175	69.7	22.9	6.3	1.1		40代	174	31.6	42.5	24.1	1.7
	50代	183	69.9	25.1	4.4	0.5		50代	170	28.2	47.6	21.8	2.4
	60代	136	63.2	27.2	9.6	-		60代	133	26.3	45.1	26.3	2.3
	70代以上	60	58.3	30.0	11.7	-		70代以上	55	20.0	63.6	9.1	7.3
②基礎的な学力を活用する力		全体(n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い	②基礎的な学力を活用する力		全体(n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い
令和7年度		815	61.7	30.3	7.4	0.6	令和7年度		788	31.0	48.7	18.0	2.3
性別	男性	309	62.5	29.1	7.1	1.3	性別	男性	301	37.2	43.5	15.9	3.3
	女性	487	61.8	31.0	7.0	0.2		女性	469	26.7	52.0	19.6	1.7
年代	20代	102	69.6	25.5	3.9	1.0	年代	20代	101	34.7	44.6	19.8	1.0
	30代	163	63.8	30.1	5.5	0.6		30代	158	32.9	44.3	19.6	3.2
	40代	172	59.9	33.1	5.8	1.2		40代	172	33.7	48.3	15.7	2.3
	50代	184	63.0	30.4	6.0	0.5		50代	170	29.4	50.0	18.8	1.8
	60代	134	59.0	28.4	12.7	-		60代	131	26.7	54.2	18.3	0.8
	70代以上	59	50.8	35.6	13.6	-		70代以上	55	25.5	52.7	14.5	7.3

学校教育で身につけさせる必要性

③自ら学ぼうとする意欲		全体 (n)				
		全体 (n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い
令和7年度		808	52.5	35.0	10.6	1.9
性別	男性	307	52.1	34.9	10.1	2.9
	女性	482	52.3	35.9	10.8	1.0
年代	20代	103	64.1	27.2	5.8	2.9
	30代	163	53.4	36.2	7.4	3.1
	40代	171	53.8	32.7	12.9	0.6
	50代	179	48.0	42.5	8.4	1.1
	60代	133	46.6	35.3	15.8	2.3
	70代以上	58	53.4	27.6	17.2	1.7

④実践的な英語力と国際理解		全体 (n)				
		全体 (n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い
令和7年度		807	45.8	36.3	13.8	4.1
性別	男性	307	44.6	34.2	15.0	6.2
	女性	482	47.1	37.8	12.7	2.5
年代	20代	103	57.3	34.0	5.8	2.9
	30代	162	40.7	43.2	11.1	4.9
	40代	171	49.1	30.4	15.8	4.7
	50代	181	41.4	43.6	14.4	0.6
	60代	131	43.5	32.8	16.0	7.6
	70代以上	58	50.0	22.4	22.4	5.2

⑤ICTを活用する力		全体 (n)				
		全体 (n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い
令和7年度		800	42.1	43.4	11.0	3.5
性別	男性	310	40.6	41.0	14.2	4.2
	女性	472	43.2	45.1	8.9	2.8
年代	20代	103	46.6	45.6	4.9	2.9
	30代	158	43.0	43.0	9.5	4.4
	40代	172	38.4	42.4	15.7	3.5
	50代	179	41.3	46.4	11.2	1.1
	60代	132	41.7	44.7	8.3	5.3
	70代以上	56	46.4	30.4	17.9	5.4

⑥音楽・美術など芸術面の能力や情操		全体 (n)				
		全体 (n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い
令和7年度		807	24.0	47.8	25.7	2.5
性別	男性	306	24.5	44.8	28.1	2.6
	女性	483	24.2	49.9	23.8	2.1
年代	20代	103	17.5	53.4	26.2	2.9
	30代	162	27.2	43.8	27.2	1.9
	40代	173	30.1	41.0	24.9	4.0
	50代	180	20.6	52.8	26.1	0.6
	60代	131	20.6	55.0	21.4	3.1
	70代以上	57	28.1	38.6	29.8	3.5

学校教育以外（家庭や地域等）で身につけさせる必要性

③自ら学ぼうとする意欲		全体 (n)				
		全体 (n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い
令和7年度		799	58.7	28.5	11.8	1.0
性別	男性	304	62.2	26.6	9.2	2.0
	女性	477	56.8	29.8	13.0	0.4
年代	20代	102	66.7	26.5	6.9	-
	30代	157	61.1	29.3	8.3	1.3
	40代	174	62.1	24.1	12.6	1.1
	50代	172	59.3	30.8	9.9	-
	60代	134	49.3	32.1	17.2	1.5
	70代以上	59	49.2	27.1	20.3	3.4

④実践的な英語力と国際理解		全体 (n)				
		全体 (n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い
令和7年度		794	30.2	39.2	25.3	5.3
性別	男性	301	32.6	33.6	26.6	7.3
	女性	475	28.6	42.5	24.6	4.2
年代	20代	102	41.2	38.2	18.6	2.0
	30代	157	32.5	36.9	23.6	7.0
	40代	173	34.1	41.0	20.2	4.6
	50代	170	27.6	44.7	23.5	4.1
	60代	132	21.2	32.6	40.9	5.3
	70代以上	59	22.0	39.0	27.1	11.9

⑤ICTを活用する力		全体 (n)				
		全体 (n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い
令和7年度		779	27.6	44.9	21.1	6.4
性別	男性	299	32.1	42.1	19.1	6.7
	女性	462	24.2	47.2	22.1	6.5
年代	20代	101	36.6	38.6	18.8	5.9
	30代	153	32.0	42.5	18.3	7.2
	40代	172	34.3	44.2	15.7	5.8
	50代	167	22.8	50.9	22.2	4.2
	60代	128	18.8	44.5	28.1	8.6
	70代以上	57	14.0	49.1	28.1	8.8

⑥音楽・美術など芸術面の能力や情操		全体 (n)				
		全体 (n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い
令和7年度		795	32.8	42.4	21.3	3.5
性別	男性	303	36.0	38.6	21.5	4.0
	女性	475	30.9	44.6	21.1	3.4
年代	20代	102	40.2	38.2	19.6	2.0
	30代	157	35.7	35.7	24.2	4.5
	40代	172	37.2	40.7	19.2	2.9
	50代	170	31.8	44.1	21.8	2.4
	60代	133	25.6	48.9	20.3	5.3
	70代以上	60	20.0	51.7	23.3	5.0

Ⅱ 本調査の結果 第6章 市民の調査結果

学校教育で身につけさせる必要性

⑦体力や運動能力		全体 (n)	とても 高い	やや高 い	やや低 い	とても 低い
令和7年度		812	32.9	47.5	18.0	1.6
性別	男性	307	35.8	43.3	18.6	2.3
	女性	486	31.3	50.0	17.5	1.2
年代	20代	103	41.7	44.7	12.6	1.0
	30代	162	41.4	41.4	16.0	1.2
	40代	174	36.2	43.1	17.8	2.9
	50代	182	22.0	53.3	23.1	1.6
	60代	133	28.6	51.9	18.0	1.5
	70代以上	57	28.1	54.4	17.5	-

⑧自分の健康を管理する力		全体 (n)	とても 高い	やや高 い	やや低 い	とても 低い
令和7年度		807	34.6	37.5	23.5	4.3
性別	男性	306	36.9	35.0	23.5	4.6
	女性	482	32.4	39.4	24.1	4.1
年代	20代	103	48.5	34.0	14.6	2.9
	30代	161	42.9	37.9	14.3	5.0
	40代	172	36.6	33.1	25.6	4.7
	50代	178	27.5	39.9	27.0	5.6
	60代	135	26.7	37.8	31.9	3.7
	70代以上	57	21.1	47.4	29.8	1.8

⑨自分の進路や職業、将来について考える力		全体 (n)	とても 高い	やや高 い	やや低 い	とても 低い
令和7年度		809	49.4	35.8	12.4	2.3
性別	男性	306	48.7	34.3	14.4	2.6
	女性	484	49.6	37.4	11.0	2.1
年代	20代	103	69.9	23.3	4.9	1.9
	30代	162	58.0	33.3	6.2	2.5
	40代	173	48.6	34.1	13.3	4.0
	50代	179	41.9	43.6	14.5	-
	60代	133	38.3	39.8	19.5	2.3
	70代以上	58	41.4	36.2	17.2	5.2

⑩論理的にもものを考える力		全体 (n)	とても 高い	やや高 い	やや低 い	とても 低い
令和7年度		816	46.2	37.4	14.0	2.5
性別	男性	310	48.7	33.9	14.2	3.2
	女性	487	44.4	40.5	13.3	1.8
年代	20代	103	62.1	31.1	3.9	2.9
	30代	162	56.2	35.2	6.2	2.5
	40代	173	42.2	35.8	17.9	4.0
	50代	183	37.2	44.8	17.5	0.5
	60代	135	40.0	40.0	18.5	1.5
	70代以上	59	45.8	30.5	18.6	5.1

学校教育以外（家庭や地域等）で身につけさせる必要性

⑦体力や運動能力		全体 (n)	とても 高い	やや高 い	やや低 い	とても 低い
令和7年度		794	35.9	46.0	16.1	2.0
性別	男性	302	40.1	42.7	15.2	2.0
	女性	474	32.9	48.5	16.7	1.9
年代	20代	102	49.0	36.3	14.7	-
	30代	156	40.4	41.7	16.7	1.3
	40代	172	39.0	43.6	14.5	2.9
	50代	171	31.6	52.6	13.5	2.3
	60代	134	28.4	49.3	19.4	3.0
	70代以上	58	22.4	55.2	20.7	1.7

⑧自分の健康を管理する力		全体 (n)	とても 高い	やや高 い	やや低 い	とても 低い
令和7年度		801	59.8	28.6	9.7	1.9
性別	男性	303	57.4	29.0	11.9	1.7
	女性	480	61.5	28.8	7.9	1.9
年代	20代	102	68.6	28.4	2.9	-
	30代	156	66.0	26.3	7.1	0.6
	40代	172	62.8	24.4	11.0	1.7
	50代	174	59.2	31.6	6.9	2.3
	60代	136	50.0	32.4	14.7	2.9
	70代以上	60	45.0	30.0	20.0	5.0

⑨自分の進路や職業、将来について考える力		全体 (n)	とても 高い	やや高 い	やや低 い	とても 低い
令和7年度		802	62.5	26.4	10.3	0.7
性別	男性	303	62.0	25.7	11.9	0.3
	女性	481	63.2	26.6	9.1	1.0
年代	20代	102	71.6	24.5	3.9	-
	30代	157	68.8	26.1	5.1	-
	40代	172	65.7	20.9	13.4	-
	50代	175	61.1	30.9	8.0	-
	60代	136	53.7	25.7	17.6	2.9
	70代以上	59	45.8	33.9	16.9	3.4

⑩論理的にもものを考える力		全体 (n)	とても 高い	やや高 い	やや低 い	とても 低い
令和7年度		796	46.2	38.3	13.8	1.6
性別	男性	302	48.7	36.8	12.9	1.7
	女性	476	44.3	40.3	13.9	1.5
年代	20代	102	55.9	34.3	8.8	1.0
	30代	157	54.8	33.1	10.2	1.9
	40代	172	48.3	36.6	12.8	2.3
	50代	172	43.0	43.0	14.0	-
	60代	133	38.3	39.8	21.1	0.8
	70代以上	59	28.8	47.5	16.9	6.8

学校教育で身につけさせる必要性

		①自分の考えを表現する力 (%)				
		全体 (n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い
令和7年度		813	53.8	32.7	11.2	2.3
性別	男性	308	55.8	29.9	11.0	3.2
	女性	486	51.9	35.6	10.9	1.6
年代	20代	103	69.9	25.2	1.0	3.9
	30代	161	63.4	28.0	7.5	1.2
	40代	173	53.8	32.4	9.2	4.6
	50代	181	44.8	39.2	16.0	-
	60代	135	44.4	37.0	15.6	3.0
	70代以上	59	49.2	30.5	18.6	1.7

		②ものごとを計画的に行う力 (%)				
		全体 (n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い
令和7年度		816	44.4	40.8	13.0	1.8
性別	男性	310	44.2	38.7	13.9	3.2
	女性	487	43.9	42.9	12.3	0.8
年代	20代	103	60.2	32.0	5.8	1.9
	30代	162	50.6	38.9	9.3	1.2
	40代	177	45.8	40.1	11.9	2.3
	50代	179	36.9	47.5	14.0	1.7
	60代	136	33.8	45.6	18.4	2.2
	70代以上	58	43.1	32.8	22.4	1.7

		③新しいものを生み出す創造的な力 (%)				
		全体 (n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い
令和7年度		808	34.7	43.3	20.0	2.0
性別	男性	307	35.5	39.7	21.2	3.6
	女性	482	33.6	46.1	19.5	0.8
年代	20代	103	47.6	30.1	18.4	3.9
	30代	162	34.6	45.1	18.5	1.9
	40代	173	38.2	42.8	16.8	2.3
	50代	178	27.5	50.0	22.5	-
	60代	134	28.4	46.3	23.1	2.2
	70代以上	57	38.6	36.8	21.1	3.5

		④善悪を判断する力 (%)				
		全体 (n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い
令和7年度		812	62.4	26.6	9.5	1.5
性別	男性	308	63.6	25.0	9.7	1.6
	女性	485	61.4	27.8	9.3	1.4
年代	20代	103	78.6	19.4	1.0	1.0
	30代	162	66.0	24.7	8.0	1.2
	40代	174	62.1	26.4	10.9	0.6
	50代	180	58.9	28.9	10.0	2.2
	60代	133	54.9	30.8	12.8	1.5
	70代以上	59	54.2	27.1	15.3	3.4

学校教育以外（家庭や地域等）で身につけさせる必要性

		①自分の考えを表現する力 (%)				
		全体 (n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い
令和7年度		795	57.5	31.2	9.6	1.8
性別	男性	303	58.1	31.4	8.6	2.0
	女性	474	56.8	31.6	10.1	1.5
年代	20代	102	69.6	25.5	4.9	-
	30代	157	64.3	29.9	4.5	1.3
	40代	172	61.6	26.7	8.7	2.9
	50代	172	53.5	36.6	9.3	0.6
	60代	132	45.5	36.4	16.7	1.5
	70代以上	59	45.8	28.8	18.6	6.8

		②ものごとを計画的に行う力 (%)				
		全体 (n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い
令和7年度		797	50.9	36.8	10.8	1.5
性別	男性	304	48.7	37.8	11.2	2.3
	女性	475	51.8	36.6	10.5	1.1
年代	20代	102	61.8	30.4	6.9	1.0
	30代	157	56.1	37.6	5.1	1.3
	40代	174	53.4	33.3	10.3	2.9
	50代	172	47.7	43.6	8.1	0.6
	60代	133	43.6	35.3	20.3	0.8
	70代以上	58	37.9	37.9	20.7	3.4

		③新しいものを生み出す創造的な力 (%)				
		全体 (n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い
令和7年度		793	45.6	38.7	14.5	1.1
性別	男性	302	49.3	35.1	13.2	2.3
	女性	473	42.9	41.4	15.2	0.4
年代	20代	101	54.5	32.7	12.9	-
	30代	156	50.6	35.9	12.8	0.6
	40代	172	50.6	36.6	10.5	2.3
	50代	170	42.4	45.3	12.4	-
	60代	134	35.1	41.8	22.4	0.7
	70代以上	59	37.3	37.3	20.3	5.1

		④善悪を判断する力 (%)				
		全体 (n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い
令和7年度		803	75.1	17.2	6.4	1.4
性別	男性	305	76.4	17.0	5.2	1.3
	女性	480	74.8	17.1	6.7	1.5
年代	20代	102	87.3	11.8	1.0	-
	30代	157	79.0	15.9	3.8	1.3
	40代	173	72.3	19.1	6.9	1.7
	50代	174	75.9	17.2	5.7	1.1
	60代	137	70.8	16.8	10.9	1.5
	70代以上	59	61.0	23.7	11.9	3.4

II 本調査の結果 第6章 市民の調査結果

学校教育で身につけさせる必要性

⑤人間関係を築く力		全体 (n)	とても 高い	やや高 い	やや低 い	とても 低い
令和7年度		816	63.5	27.5	8.0	1.1
性別	男性	310	62.3	26.5	9.4	1.9
	女性	487	64.3	28.3	6.8	0.6
年代	20代	103	81.6	17.5	1.0	-
	30代	162	74.1	19.1	6.2	0.6
	40代	176	65.9	25.6	7.4	1.1
	50代	180	55.6	33.9	8.9	1.7
	60代	134	49.3	38.1	11.2	1.5
	70代以上	60	53.3	28.3	16.7	1.7

⑥他者を思いやる心		全体 (n)	とても 高い	やや高 い	やや低 い	とても 低い
令和7年度		814	66.1	25.1	7.5	1.4
性別	男性	309	66.3	23.9	7.8	1.9
	女性	486	66.0	25.7	7.2	1.0
年代	20代	103	79.6	18.4	-	1.9
	30代	162	75.9	18.5	4.9	0.6
	40代	175	69.7	22.3	6.3	1.7
	50代	180	58.3	30.6	9.4	1.7
	60代	134	55.2	32.1	11.2	1.5
	70代以上	59	54.2	28.8	16.9	-

⑦社会で役立とうとする 心や公共心		全体 (n)	とても 高い	やや高 い	やや低 い	とても 低い
令和7年度		813	49.8	35.1	13.2	2.0
性別	男性	309	47.9	34.6	14.6	2.9
	女性	486	51.0	35.2	12.3	1.4
年代	20代	103	56.3	30.1	10.7	2.9
	30代	162	54.9	33.3	10.5	1.2
	40代	174	53.4	31.0	13.2	2.3
	50代	180	43.9	41.1	13.9	1.1
	60代	134	42.5	41.0	14.2	2.2
	70代以上	59	49.2	27.1	20.3	3.4

⑧郷土や国を愛する心		全体 (n)	とても 高い	やや高 い	やや低 い	とても 低い
令和7年度		808	30.4	42.6	23.3	3.7
性別	男性	304	29.9	40.5	23.7	5.9
	女性	485	30.7	43.7	23.3	2.3
年代	20代	103	36.9	35.9	22.3	4.9
	30代	161	36.0	41.0	19.3	3.7
	40代	175	27.4	41.7	28.6	2.3
	50代	177	26.0	49.2	23.2	1.7
	60代	132	28.8	43.2	22.0	6.1
	70代以上	59	30.5	39.0	23.7	6.8

学校教育以外（家庭や地域等）で身につけさせる必要性

⑤人間関係を築く力		全体 (n)	とても 高い	やや高 い	やや低 い	とても 低い
令和7年度		797	65.6	24.5	8.8	1.1
性別	男性	302	65.9	23.8	9.6	0.7
	女性	477	66.0	24.7	7.8	1.5
年代	20代	101	75.2	20.8	4.0	-
	30代	157	66.2	26.8	6.4	0.6
	40代	173	68.2	20.2	9.2	2.3
	50代	173	67.6	24.3	6.9	1.2
	60代	134	58.2	28.4	12.7	0.7
	70代以上	58	51.7	29.3	17.2	1.7

⑥他者を思いやる心		全体 (n)	とても 高い	やや高 い	やや低 い	とても 低い
令和7年度		796	75.3	18.3	5.3	1.1
性別	男性	302	75.5	18.5	5.3	0.7
	女性	476	75.4	18.1	5.0	1.5
年代	20代	102	85.3	13.7	-	1.0
	30代	155	81.3	16.1	1.9	0.6
	40代	173	78.0	14.5	5.8	1.7
	50代	173	72.8	20.8	5.8	0.6
	60代	135	68.1	21.5	8.9	1.5
	70代以上	57	57.9	28.1	12.3	1.8

⑦社会で役立とうとする 心や公共心		全体 (n)	とても 高い	やや高 い	やや低 い	とても 低い
令和7年度		799	58.8	28.3	11.3	1.6
性別	男性	303	56.8	28.1	14.2	1.0
	女性	478	60.3	28.5	9.2	2.1
年代	20代	102	61.8	29.4	7.8	1.0
	30代	156	60.9	28.2	10.3	0.6
	40代	173	63.6	21.4	13.3	1.7
	50代	174	61.5	29.3	8.0	1.1
	60代	135	49.6	33.3	14.8	2.2
	70代以上	58	48.3	31.0	15.5	5.2

⑧郷土や国を愛する心		全体 (n)	とても 高い	やや高 い	やや低 い	とても 低い
令和7年度		798	37.8	40.4	18.3	3.5
性別	男性	304	40.5	37.8	17.8	3.9
	女性	476	36.6	41.6	18.7	3.2
年代	20代	102	43.1	33.3	17.6	5.9
	30代	157	40.1	39.5	18.5	1.9
	40代	173	34.1	42.2	20.2	3.5
	50代	174	42.5	40.2	15.5	1.7
	60代	134	35.8	40.3	21.6	2.2
	70代以上	57	24.6	49.1	14.0	12.3

学校教育で身につけさせる必要性

		⑨ものごとをやりとげる責任感やねばり強さ (%)				
		全体 (n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い
令和7年度		815	48.3	36.2	13.5	2.0
性別	男性	308	46.4	34.4	16.9	2.3
	女性	489	49.1	38.0	11.0	1.8
年代	20代	103	60.2	30.1	7.8	1.9
	30代	162	52.5	37.7	6.8	3.1
	40代	175	49.1	34.3	15.4	1.1
	50代	179	41.9	39.7	16.8	1.7
	60代	135	42.2	39.3	15.6	3.0
	70代以上	60	48.3	30.0	21.7	-

		⑩人権を尊重する力 (%)				
		全体 (n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い
令和7年度		812	60.3	28.4	10.0	1.2
性別	男性	309	56.6	28.2	13.3	1.9
	女性	484	62.6	28.9	7.6	0.8
年代	20代	103	75.7	20.4	2.9	1.0
	30代	162	66.0	25.9	5.6	2.5
	40代	175	62.3	27.4	8.6	1.7
	50代	180	53.9	33.9	12.2	-
	60代	133	52.6	32.3	13.5	1.5
	70代以上	58	50.0	25.9	24.1	-

		⑪基本的な生活習慣 (%)				
		全体 (n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い
令和7年度		805	39.3	34.9	22.5	3.4
性別	男性	306	38.9	32.7	22.2	6.2
	女性	480	39.6	36.5	22.3	1.7
年代	20代	103	54.4	27.2	14.6	3.9
	30代	162	40.1	37.7	18.5	3.7
	40代	175	40.6	31.4	24.0	4.0
	50代	175	32.6	38.9	26.3	2.3
	60代	131	34.4	36.6	25.2	3.8
	70代以上	58	37.9	36.2	24.1	1.7

		⑫自分自身で社会や生活の場を良くしていこうとする当事者意識 (%)				
		全体 (n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い
令和7年度		811	41.7	37.4	17.8	3.2
性別	男性	305	40.7	35.7	19.7	3.9
	女性	487	42.3	38.2	16.6	2.9
年代	20代	104	52.9	31.7	12.5	2.9
	30代	162	41.4	44.4	11.7	2.5
	40代	174	46.0	31.0	19.5	3.4
	50代	176	34.7	43.8	19.3	2.3
	60代	134	35.1	38.1	21.6	5.2
	70代以上	60	46.7	25.0	25.0	3.3

学校教育以外（家庭や地域等）で身につけさせる必要性

		⑨ものごとをやりとげる責任感やねばり強さ (%)				
		全体 (n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い
令和7年度		795	59.9	30.3	8.8	1.0
性別	男性	300	57.7	31.7	10.0	0.7
	女性	477	61.6	29.4	7.8	1.3
年代	20代	102	66.7	31.4	2.0	-
	30代	157	65.0	28.0	5.1	1.9
	40代	172	57.0	32.0	9.9	1.2
	50代	171	59.1	31.6	8.8	0.6
	60代	134	59.7	24.6	14.2	1.5
	70代以上	58	46.6	37.9	15.5	-

		⑩人権を尊重する力 (%)				
		全体 (n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い
令和7年度		793	62.3	27.4	9.0	1.4
性別	男性	300	62.0	27.7	9.0	1.3
	女性	475	62.7	27.2	8.6	1.5
年代	20代	101	71.3	25.7	2.0	1.0
	30代	157	66.9	26.1	5.7	1.3
	40代	170	61.2	25.3	11.2	2.4
	50代	173	61.3	31.2	6.9	0.6
	60代	133	60.2	24.8	13.5	1.5
	70代以上	58	46.6	32.8	19.0	1.7

		⑪基本的な生活習慣 (%)				
		全体 (n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い
令和7年度		803	71.9	18.3	8.6	1.2
性別	男性	304	68.4	21.4	8.6	1.6
	女性	481	74.6	16.2	8.1	1.0
年代	20代	102	78.4	18.6	2.9	-
	30代	157	78.3	17.2	3.2	1.3
	40代	172	73.3	15.1	9.9	1.7
	50代	176	70.5	20.5	8.5	0.6
	60代	136	67.6	18.4	12.5	1.5
	70代以上	59	54.2	23.7	18.6	3.4

		⑫自分自身で社会や生活の場を良くしていこうとする当事者意識 (%)				
		全体 (n)	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い
令和7年度		799	57.6	29.5	10.0	2.9
性別	男性	303	55.8	30.7	11.2	2.3
	女性	478	58.8	28.9	9.0	3.3
年代	20代	102	65.7	27.5	5.9	1.0
	30代	157	63.7	29.3	5.1	1.9
	40代	171	59.6	25.7	9.9	4.7
	50代	176	55.1	35.2	8.0	1.7
	60代	135	48.9	30.4	17.0	3.7
	70代以上	57	47.4	26.3	21.1	5.3

学校教育と学校教育以外（家庭や地域等）で身につけさせる必要性の比較

- 学校教育と学校教育以外で身につけさせる必要性を比較すると、「⑩他者を思いやる心」では、学校教育での必要性の『高い(とても高い+やや高い)』が91.2%、学校教育以外の『高い』で93.6%、「⑤人間関係を築く力」では、学校教育の『高い』が91.0%、学校教育以外の『高い』で90.1%といずれも9割強と高くなっている。
- 「⑧自分の健康を管理する力」は、学校教育の『低い(やや低い+とても低い)』が27.8%、学校教育以外の『高い』が88.4%と、学校教育以外で身につける必要性が高くなっている。

図表6-11 学校教育と学校教育以外（家庭や地域等）で身につけさせる必要性の比較

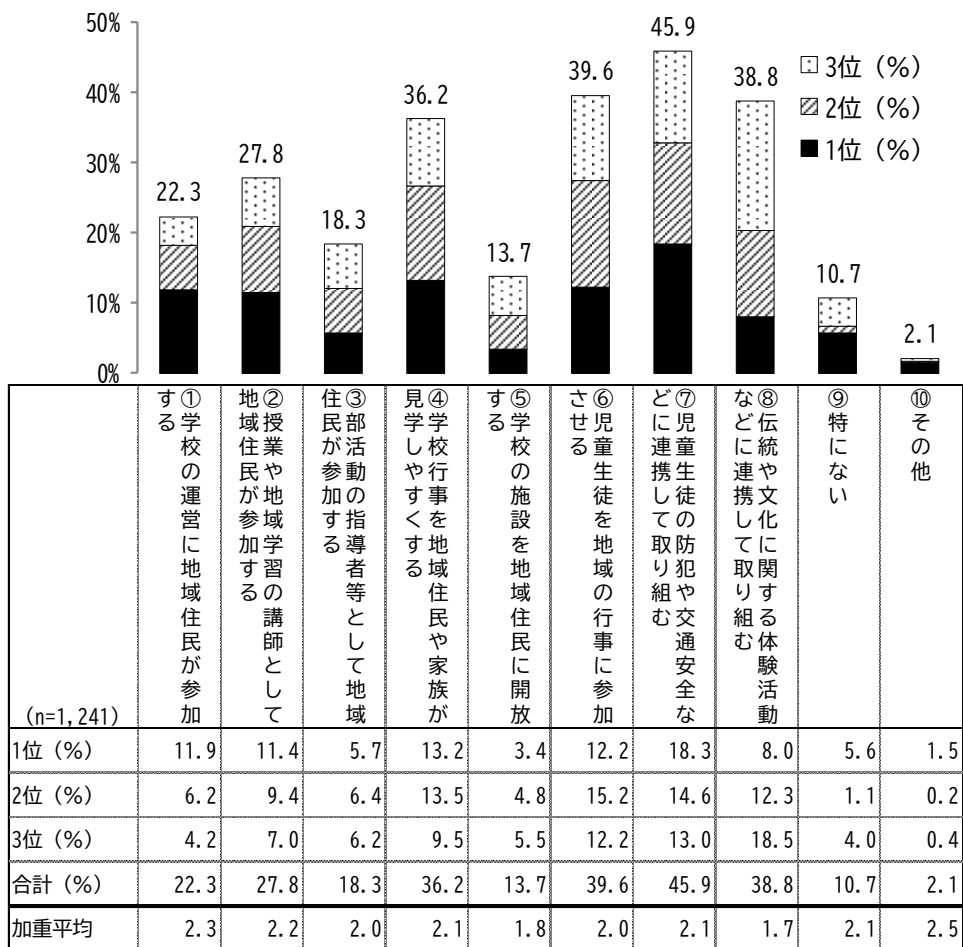
	学校教育			学校教育以外		
	全体 (n)	「高い」 合計	「低い」 合計	全体 (n)	「高い」 合計	「低い」 合計
① 教科の基礎的な学力	823	92.6	7.4	794	72.2	27.8
② 基礎的な学力を活用する力	815	92.0	8.0	788	79.7	20.3
③ 自ら学ぼうとする意欲	808	87.5	12.5	799	87.2	12.8
④ 実践的な英語力と国際理解	807	82.1	17.9	794	69.4	30.6
⑤ ICTを活用する力	800	85.5	14.5	779	72.5	27.5
⑥ 音楽・美術など芸術面の能力や情操	807	71.8	28.2	795	75.2	24.8
⑦ 体力や運動能力	812	80.4	19.6	794	81.9	18.1
⑧ 自分の健康を管理する力	807	72.1	27.8	801	88.4	11.6
⑨ 自分の進路や職業、将来について考える力	809	85.2	14.7	802	88.9	11.0
⑩ 論理的にものを考える力	816	83.6	16.5	796	84.5	15.4
⑪ 自分の考えを表現する力	813	86.5	13.5	795	88.7	11.4
⑫ ものごとを計画的に行う力	816	85.2	14.8	797	87.7	12.3
⑬ 新しいものを生み出す創造的な力	808	78.0	22.0	793	84.3	15.6
⑭ 善悪を判断する力	812	89.0	11.0	803	92.3	7.8
⑮ 人間関係を築く力	816	91.0	9.1	797	90.1	9.9
⑯ 他者を思いやる心	814	91.2	8.9	796	93.6	6.4
⑰ 社会で役立とうとする心や公共心	813	84.9	15.2	799	87.1	12.9
⑱ 郷土や国を愛する心	808	73.0	27.0	798	78.2	21.8
⑲ ものごとをやりとげる責任感やねばり強さ	815	84.5	15.5	795	90.2	9.8
⑳ 人権を尊重する力	812	88.7	11.2	793	89.7	10.4
㉑ 基本的な生活習慣	805	74.2	25.9	803	90.2	9.8
㉒ 自分自身で社会や生活の場を良くしていこうとする当事者意識	811	79.1	21.0	799	87.1	12.9

3. 学校と家庭、地域の連携・協働に関すること

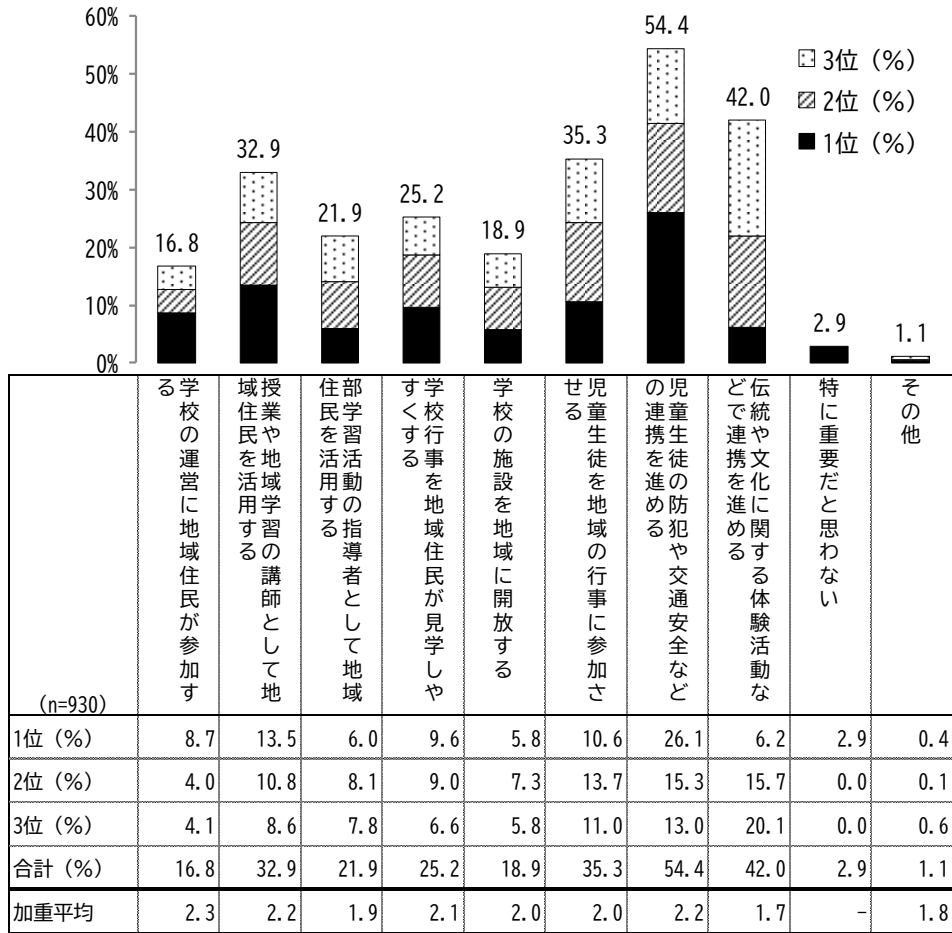
(1) 学校・家庭・地域の連携に必要なこと（1位～3位を選択）（問23）……………

- 学校と家庭と地域が連携して取り組むために必要だと思うことの1位～3位の合計比率では、「⑦児童生徒の防犯や交通安全などに連携して取り組む」が45.9%で最も高く、次いで「⑥児童生徒を地域の行事に参加させる」が39.6%、「⑧伝統や文化に関する体験活動などに連携して取り組む」38.8%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、「④学校行事を地域住民や家族が見学しやすくする」が36.2%となっており、前回の25.2%と比較し11.0ポイント高くなっている。
- 「その他」では、「学校・家庭・地域の交流や情報共有」「無理なく参加できる体制を整える」などがあった。

図表6-12 学校・家庭・地域の連携に必要なこと（令和7年度）



図表6-13 学校と地域の連携で重要と考える事項（令和2年度）



- 性別でみると、男性では「⑥児童生徒を地域の行事に参加させる」が39.9%、女性では「⑦児童生徒の防犯や交通安全などに連携して取り組む」が50.1%と最も高くなっている。
- 「⑦児童生徒の防犯や交通安全などに連携して取り組む」で、男性で38.4%に対し、女性では50.1%と11.7ポイント高くなっている。
- 年代別でみると、70代以上では「⑥児童生徒を地域の行事に参加させる」が36.6%、60代以下では「⑦児童生徒の防犯や交通安全などに連携して取り組む」が最も高くなっている。
- 「⑦児童生徒の防犯や交通安全などに連携して取り組む」や「⑧伝統や文化に関する体験活動などに連携して取り組む」で、20代が51.9%、49.6%に対し、70代以上では35.1%、32.8%と16.8ポイント低くなっている。

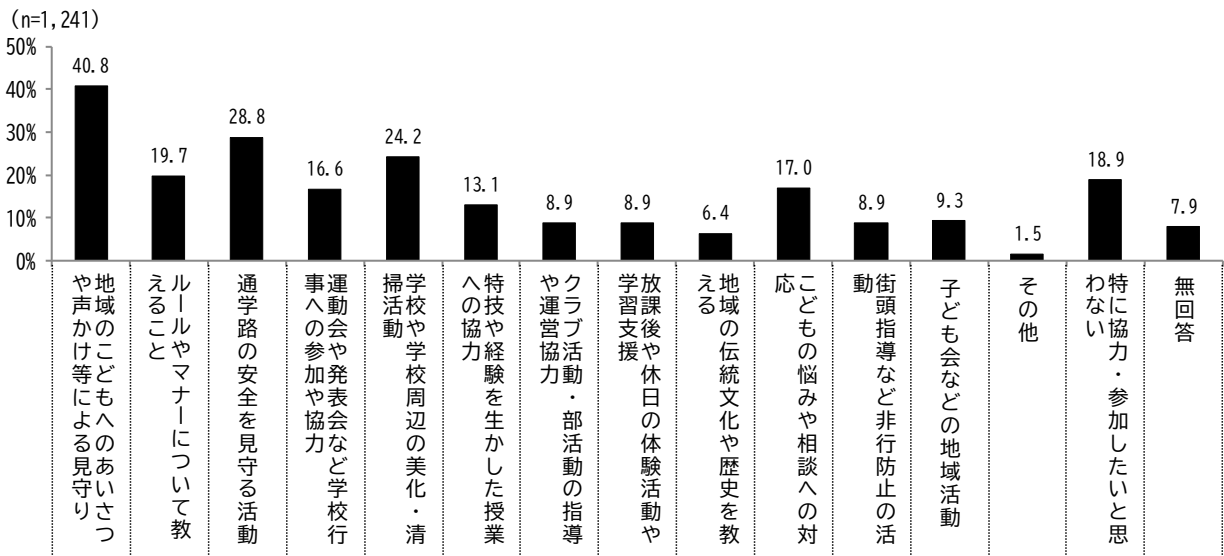
図表6-14 学校・家庭・地域の連携に必要なこと（性別・年代別）

		全体 (n)	① 民が 学校 参加 する	② 加 す と 授 業 や 地 域 住 民 が 参 講	③ る し て 地 域 住 民 が 参 加 す と	④ す や 家 族 が 見 学 し や す く	⑤ 民 に 学 校 の 施 設 を 地 域 住	⑥ 事 に 参 加 さ せ る	⑦ 取 り 組 む	⑧ 通 安 全 な ど に 連 携 し て	⑨ 体 験 活 動 な ど に 連 携 す る	⑩ 特 に な い	⑪ そ の 他	無 回 答
令和7年度		1,241	22.3	27.8	18.3	36.2	13.7	39.6	45.9	38.8	10.7	2.1	8.9	
性別	男性	474	25.7	27.2	22.6	36.5	16.2	39.9	38.4	33.5	5.7	2.5	8.6	
	女性	735	20.0	28.7	15.9	35.9	12.4	40.0	50.1	42.6	4.5	1.9	8.6	
年代	20代	133	25.6	23.3	17.3	36.1	8.3	42.1	51.9	49.6	5.3	2.3	4.5	
	30代	202	24.8	38.1	19.8	33.2	11.9	45.0	49.0	39.1	4.0	1.5	4.5	
	40代	243	24.3	35.4	19.3	42.0	16.5	40.7	43.6	33.7	4.9	2.5	4.1	
	50代	288	19.4	30.2	20.8	32.3	14.9	38.9	45.1	40.3	4.2	2.4	10.1	
	60代	241	20.7	17.8	14.5	39.4	12.0	35.3	49.0	39.4	5.8	2.5	12.0	
	70代以上	131	20.6	16.0	17.6	33.6	17.6	36.6	35.1	32.8	6.9	0.8	19.1	

(2) 参加したい学校・家庭・地域の連携活動（複数選択）（問24）

- 今後協力や参加をしたいと思う活動では、「地域の子どもへのあいさつや声かけ等による見守り」が40.8%で最も高く、次いで「通学路の安全を見守る活動」が28.8%、「学校や学校周辺の美化・清掃活動」が24.2%となっている。「特に協力・参加したいと思わない」は18.9%となっている。
- 性別でみると、「地域の子どもへのあいさつや声かけ等による見守り」が、男性で35.9%に対し、女性では44.1%と8.2ポイント高くなっている。
- 年代別でみると、20代で「こどもの悩みや相談への対応」21.8%、60代で「ルールやマナーについて教えること」24.1%が上位に入っている。「こどもの悩みや相談への対応」で、30代が25.2%に対し、70代以上では6.9%と18.3ポイントの差で最も大きくなっている。
- 「その他」では、「登校支援」「朝の絵本の読みきかせ」などがあつた。

図表6-15 参加したい学校・家庭・地域の連携活動



図表6-16 参加したい学校・家庭・地域の連携活動（性別・年代別）

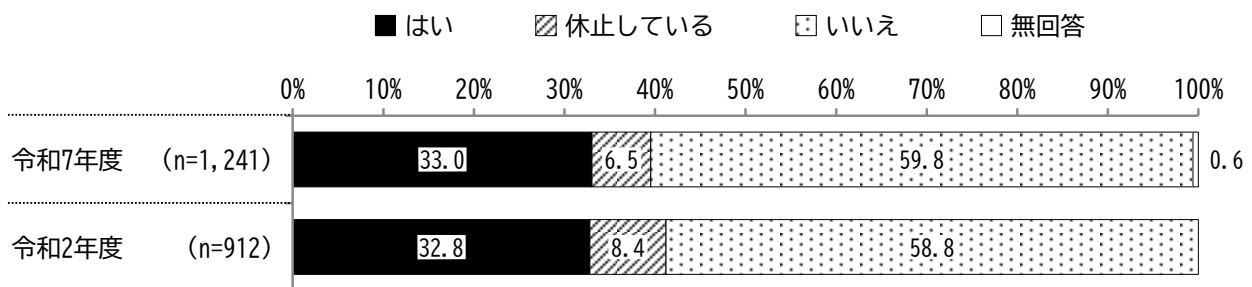
	全体 (n)	(%)															
		地域の子どもへのあいさつや声かけ等による見守り	ルールやマナーについて教えること	通学路の安全を見守る活動	運動会や発表会など学校行事への参加や協力	学校や学校周辺の美化・清掃活動	特技や経験を生かした授業への協力	クラブ活動・部活動の指導や運営協力	放課後や休日の体験活動や学習支援	地域の伝統文化や歴史を教える	こどもの悩みや相談への対応	街頭指導など非行防止の活動	子ども会などの地域活動	その他	特に協力・参加したいと思わない	無回答	
令和7年度	1,241	40.8	19.7	28.8	16.6	24.2	13.1	8.9	8.9	6.4	17.0	8.9	9.3	1.5	18.9	7.9	
性別	男性	474	35.9	22.2	28.7	14.3	25.1	13.5	11.6	8.6	6.8	14.6	10.1	7.8	1.5	22.6	7.4
	女性	735	44.1	18.2	29.0	18.0	23.8	13.5	7.1	9.1	6.1	18.5	8.0	9.8	1.6	16.3	7.8
年代	20代	133	30.8	19.5	22.6	18.0	18.0	13.5	15.0	9.0	21.8	10.5	7.5	0.8	22.6	5.3	
	30代	202	39.1	20.3	32.2	22.3	27.2	17.3	12.4	12.9	6.9	25.2	11.9	-	21.3	3.5	
	40代	243	39.1	23.0	32.9	22.6	26.7	16.9	11.5	11.1	5.8	17.7	7.0	13.6	1.2	16.9	4.9
	50代	288	39.9	14.2	22.9	8.7	25.0	10.4	7.6	6.6	4.9	17.7	8.3	6.6	2.4	21.9	8.7
	60代	241	49.8	24.1	34.4	14.1	24.1	10.0	5.0	4.6	6.2	11.6	7.5	10.0	2.1	13.7	8.7
	70代以上	131	42.0	16.8	24.4	16.8	19.8	6.9	3.8	5.3	6.9	6.9	9.9	3.8	2.3	18.3	18.3

4. 市民の学習活動に関すること

(1) 現在の自主的な学習活動の状況（問5）

- 現在、自主的な学習活動をしているかについては、「いいえ」が59.8%と最も高く、次いで、「はい」が33.0%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、「はい」「いいえ」ともに大きな変化はみられない。
- 性別で見ると、「はい」が男性で37.3%に対し、女性では30.5%と6.8ポイント低くなっている。
- 年代別で見ると、「いいえ」で、40代が52.3%に対し、70年以上では66.4%と14.1ポイントの差で最も大きくなっている。
- 家族構成別で見ると、「はい」で、3世代（祖父母、父母、子どもなど）で40.9%に対し、ひとり暮らしでは30.4%と10.5ポイント低くなっている。

図表6-17 現在の自主的な学習活動の状況（令和2年度との比較）



図表6-18 現在の自主的な学習活動の状況（性別・年代別）

		全体 (n)	はい	休止している	いいえ	無回答
令和7年度		1,241	33.0	6.5	59.8	0.6
性別	男性	474	37.3	6.1	56.1	0.4
	女性	735	30.5	6.9	62.0	0.5
年代	20代	133	37.6	6.8	55.6	-
	30代	202	35.6	6.9	57.4	-
	40代	243	37.9	9.5	52.3	0.4
	50代	288	33.3	4.9	61.8	-
	60代	241	27.8	5.0	66.0	1.2
	70代以上	131	24.4	6.9	66.4	2.3

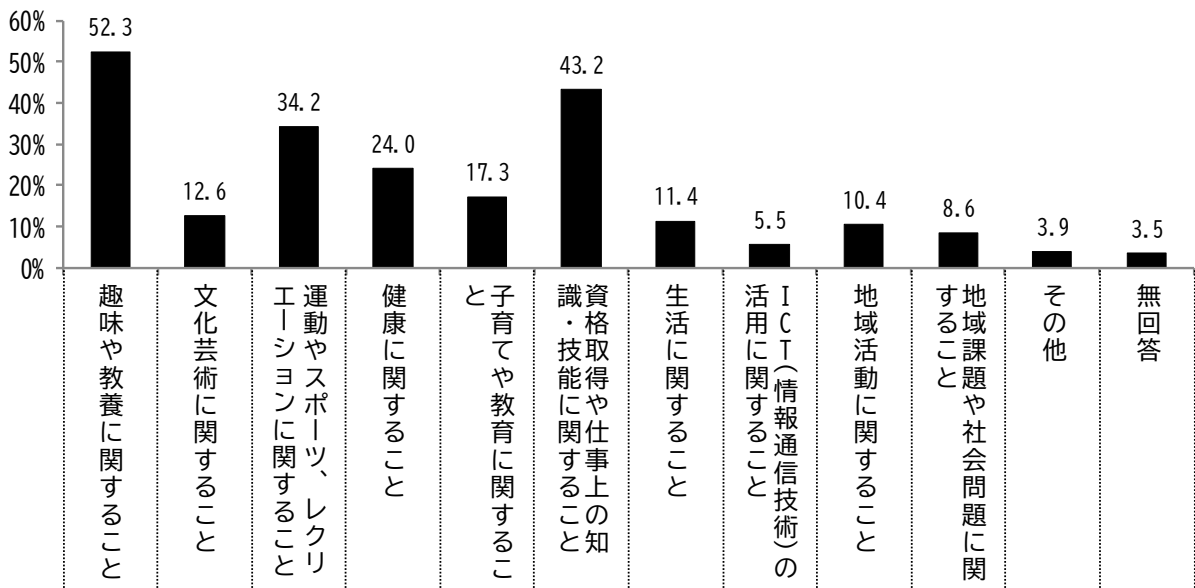
図表6-19 現在の自主的な学習活動の状況（家族構成別）

		全体 (n)	はい	休止している	いいえ	無回答
令和7年度		1,241	33.0	6.5	59.8	0.6
家族構成	ひとり暮らし	161	30.4	4.3	64.0	1.2
	夫婦のみ	231	34.2	3.0	61.5	1.3
	親子（2世代）	721	33.4	7.5	58.8	0.3
	3世代（祖父母、父母、子どもなど）	66	40.9	7.6	51.5	-
	その他	54	24.1	11.1	64.8	-

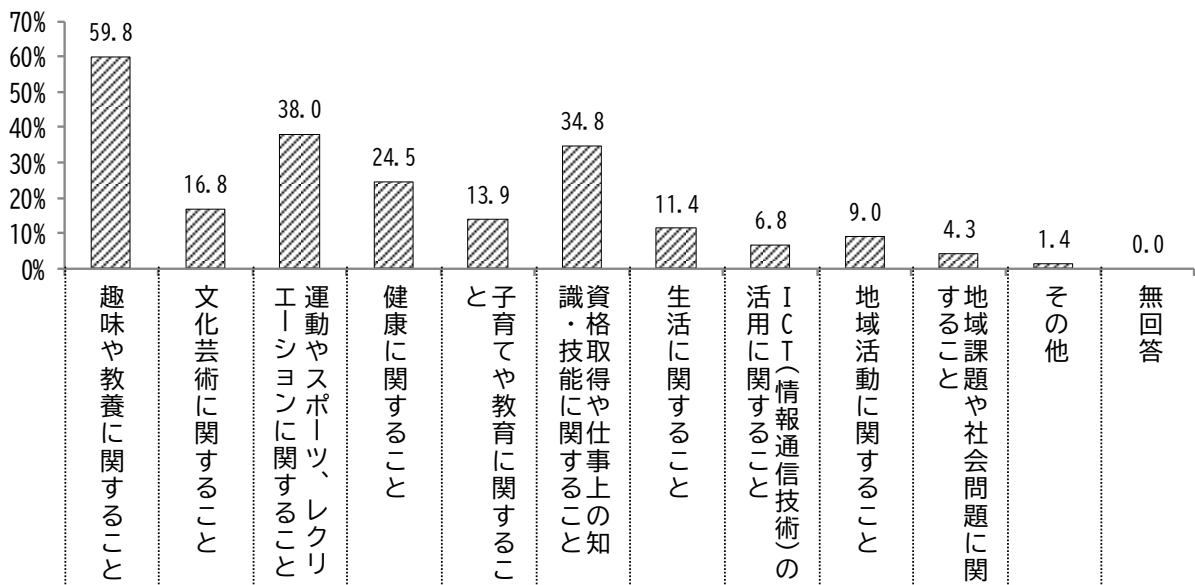
(2) 現在の学習活動（複数選択）（問6-1）

- ・ 現在おこなっている学習活動では、「趣味や教養に関すること」が52.3%で最も高く、次いで「資格取得や仕事上の知識・技能に関すること」が43.2%、「運動やスポーツ、レクリエーションに関すること」34.2%となっている。
- ・ 令和2年度調査と比較すると、「資格取得や仕事上の知識・技能に関すること」が43.2%となっており、前回の34.8%と比較し8.4ポイント高くなっている。
- ・ 性別でみると、「資格取得や仕事上の知識・技能に関すること」が、男性で49.0%に対し、女性では39.3%と9.7ポイントの差で最も大きくなっている。
- ・ 年代別でみると、「資格取得や仕事上の知識・技能に関すること」で、20代が59.3%に対し、70代以上では4.9%と54.4ポイントの差で最も大きくなっている。60代以上では「健康に関すること」が上位に入っている。
- ・ 「その他」では、「資産運用」「介護講習」などがあった。

図表6-20 現在の学習活動（令和7年度）
(n=491)



図表6-21 現在の学習活動（令和2年度）
(n=368)



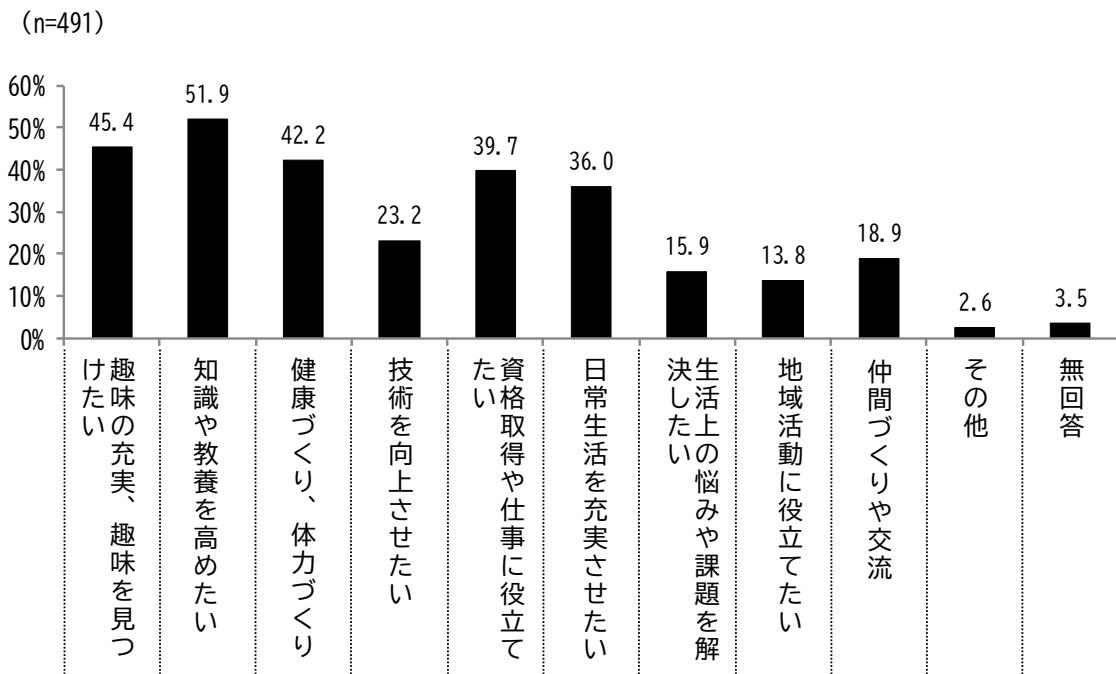
図表 6 - 22 現在の学習活動（性別・年代別）

		(%)												
		全体 (n)	趣味や教養に関すること	文化芸術に関すること	運動やスポーツ、レクリエーションに関すること	健康に関すること	子育てや教育に関すること	資格取得や仕事上の知識・技能に関すること	生活に関すること	ICT情報通信技術の活用に関すること	地域活動に関すること	地域課題や社会問題に関すること	その他	無回答
令和7年度		491	52.3	12.6	34.2	24.0	17.3	43.2	11.4	5.5	10.4	8.6	3.9	3.5
性別	男性	206	55.8	12.6	38.3	24.3	12.1	49.0	10.7	8.7	13.1	12.1	3.9	2.9
	女性	275	49.8	12.7	30.9	23.6	20.7	39.3	11.3	3.3	8.7	5.8	4.0	3.6
年代	20代	59	47.5	8.5	20.3	11.9	10.2	59.3	6.8	3.4	3.4	6.8	1.7	1.7
	30代	86	59.3	12.8	32.6	22.1	27.9	58.1	16.3	5.8	8.1	12.8	3.5	4.7
	40代	115	43.5	9.6	34.8	26.1	26.1	51.3	12.2	6.1	7.8	8.7	1.7	4.3
	50代	110	50.9	12.7	32.7	27.3	14.5	45.5	8.2	7.3	10.9	8.2	5.5	1.8
	60代	79	57.0	16.5	48.1	26.6	7.6	20.3	11.4	5.1	19.0	8.9	5.1	3.8
	70代以上	41	65.9	19.5	34.1	26.8	7.3	4.9	14.6	2.4	14.6	2.4	7.3	2.4

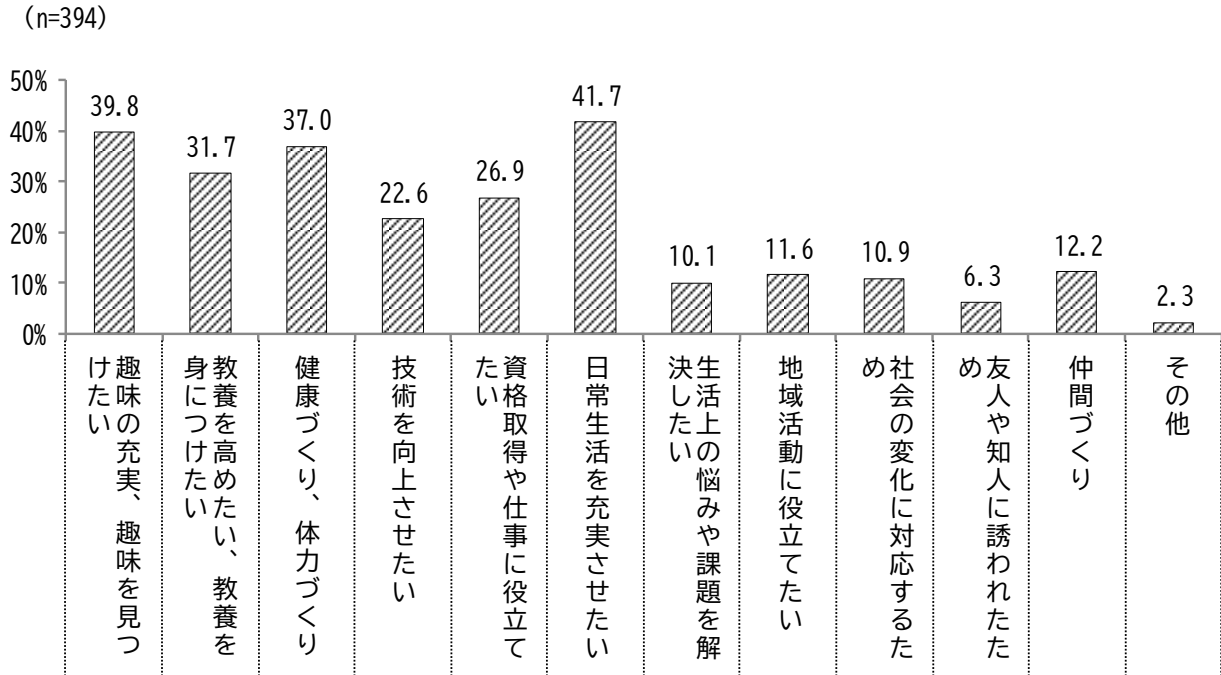
(3) 学習活動の目的（複数選択）（問6-2）

- 学習活動の目的では、「知識や教養を高めたい」が51.9%で最も高く、次いで「趣味の充実、趣味を見つけないたい」が45.4%、「健康づくり、体力づくり」が42.2%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、「知識や教養を高めたい」が51.9%で、前回の「教養を高めたい、教養を身につけたい」31.7%と比較し20.2ポイント高くなっている。
- 性別でみると、「趣味の充実、趣味を見つけないたい」が、男性で50.0%に対し、女性では42.2%と7.8ポイントの差で最も大きくなっている。
- 年代別でみると、50代以下では「知識や教養を高めたい」、60代以上では「健康づくり、体力づくり」が5割以上となっている。「資格取得や仕事に役立てたい」で、20代が57.6%に対し、70代以上では2.4%と55.2ポイントの差で最も大きくなっている。
- 「その他」では、「親の介護のため」「文化芸術を守りたい」などがあつた。

図表6-23 学習活動の目的（令和7年度）



図表6-24 学習活動の目的（令和2年度）※1位～3位の合計比率



図表6-25 学習活動の目的（性別・年代別）

(%)

		全体 (n)	趣味の充実、趣味を見つけた	知識や教養を高めたい	健康づくり、体力づくり	技術向上させたい	資格取得や仕事に役立てたい	日常生活を充実させたい	生活上の悩みや課題を解決したい	地域活動に役立てたい	仲間づくりや交流	その他	無回答
令和7年度		491	45.4	51.9	42.2	23.2	39.7	36.0	15.9	13.8	18.9	2.6	3.5
性別	男性	206	50.0	49.0	42.7	27.2	43.7	32.0	15.0	15.0	15.5	2.4	2.9
	女性	275	42.2	54.2	41.1	20.0	36.7	38.2	16.0	13.1	21.5	2.9	3.6
年代	20代	59	33.9	52.5	18.6	20.3	57.6	20.3	10.2	3.4	8.5	3.4	1.7
	30代	86	45.3	57.0	37.2	26.7	51.2	41.9	30.2	10.5	16.3	2.3	4.7
	40代	115	40.9	61.7	37.4	29.6	49.6	37.4	19.1	17.4	20.9	2.6	5.2
	50代	110	46.4	54.5	44.5	20.9	45.5	36.4	12.7	14.5	13.6	1.8	0.9
	60代	79	48.1	39.2	63.3	21.5	11.4	41.8	7.6	17.7	31.6	3.8	1.3
	70代以上	41	68.3	31.7	53.7	12.2	2.4	31.7	9.8	17.1	24.4	2.4	7.3

全国調査との比較

- 生涯学習に関する世論調査と比較すると、選択肢が異なる点に留意が必要だが、全国では「現在または当時の仕事において必要性を感じたため」が53.5%で最も高くなっている。本市の「資格取得や仕事に役立てたい」は39.7%で4番目に高くなっている。
- 本市では「知識や教養を高めたい」が51.9%で最も高く、全国の「教養を深めるため」の30.5%より21.4ポイント高くなっている。

図表6-26 学習活動の目的（全国調査との比較）

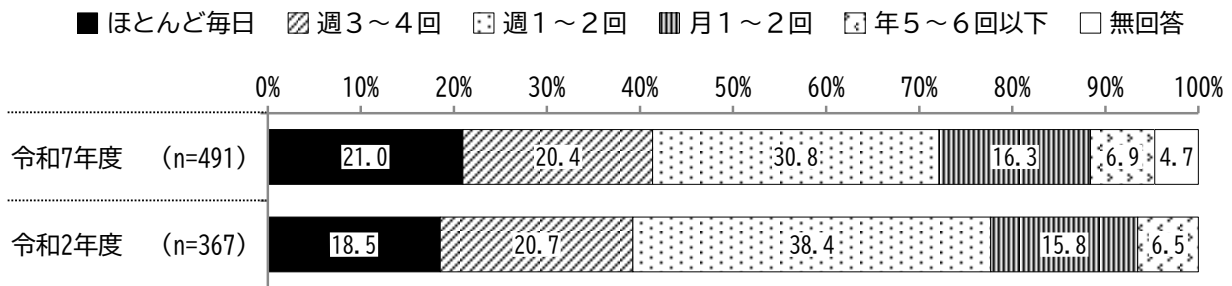
		(%)												
学習活動の目的	対象	全体 (n)	興味や教養を高めたい	知識や教養を高めたい	健康づくり、体力づくり	技術を向上させたい	資格取得や仕事に役立てたい	日常生活を充実させたい	生活上の悩みや課題を解決したい	地域活動に役立てたい	仲間づくりや交流	その他	無回答	
	対象	全体 (n)	め人生を豊かにするた	教養を深めるため	健康の維持・増進のため	現在または当時の仕事において必要性を感じたため	就職や転職のため	勤務先などから勧められたため	家庭や日常生活に生かすため	地域や社会に生かすため	めたり、友人の親睦を深めるため	その他	無回答	
	全国	1,165	45.8	30.5	42.6	53.5	10.2	8.0	47.8	11.8	16.1	2.7	0.7	
	沖縄市	491	45.4	51.9	42.2	23.2	39.7	36.0	15.9	13.8	18.9	2.6	3.5	

出典：内閣府世論調査「生涯学習に関する世論調査」（令和4年7月調査）

(4) 学習活動の頻度 (問 6-3)

- 学習活動をおこなっている頻度では、「週1～2回」が30.8%で最も高く、次いで「ほとんど毎日」が21.0%、「週3～4回」が20.4%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、「週1～2回」が30.8%で、前回の38.4%と比較し7.6ポイント低くなっている。
- 性別でみると、「ほとんど毎日」が、男性で26.7%に対し、女性では16.7%と10.0ポイントの差で最も大きくなっている。
- 年代別でみると、30代では「週3～4回」26.7%が若干高くなっており、その他の年代では「週1～2回」が最も高くなっている。
- 「ほとんど毎日」で、20代が27.1%に対し、70代以上では12.2%と14.9ポイント低く、差が最も大きくなっている。

図表 6 - 27 学習活動の頻度 (令和2年度との比較)



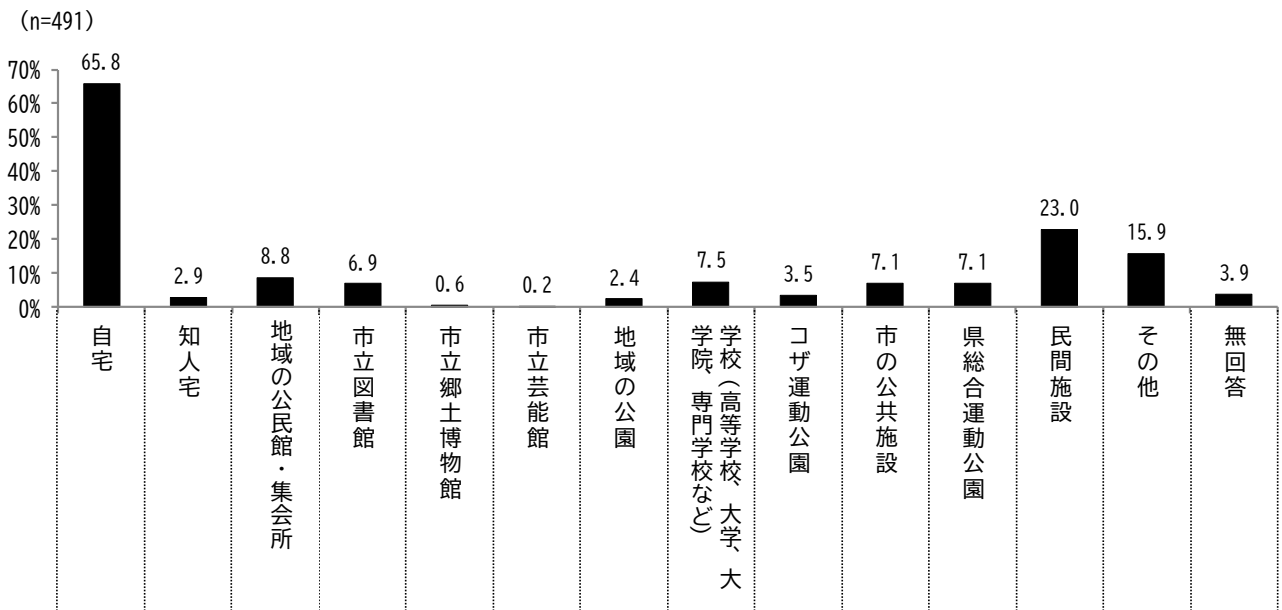
図表 6 - 28 学習活動の頻度 (性別・年代別)

		全体 (n)	ほとんど毎日	週3～4回	週1～2回	月1～2回	年5～6回以下	無回答
令和7年度		491	21.0	20.4	30.8	16.3	6.9	4.7
性別	男性	206	26.7	18.0	30.1	14.1	6.8	4.4
	女性	275	16.7	21.8	30.9	18.5	6.9	5.1
年代	20代	59	27.1	15.3	30.5	18.6	6.8	1.7
	30代	86	25.6	26.7	24.4	12.8	5.8	4.7
	40代	115	18.3	17.4	28.7	21.7	8.7	5.2
	50代	110	19.1	18.2	35.5	18.2	6.4	2.7
	60代	79	22.8	20.3	34.2	11.4	7.6	3.8
	70代以上	41	12.2	29.3	31.7	9.8	2.4	14.6

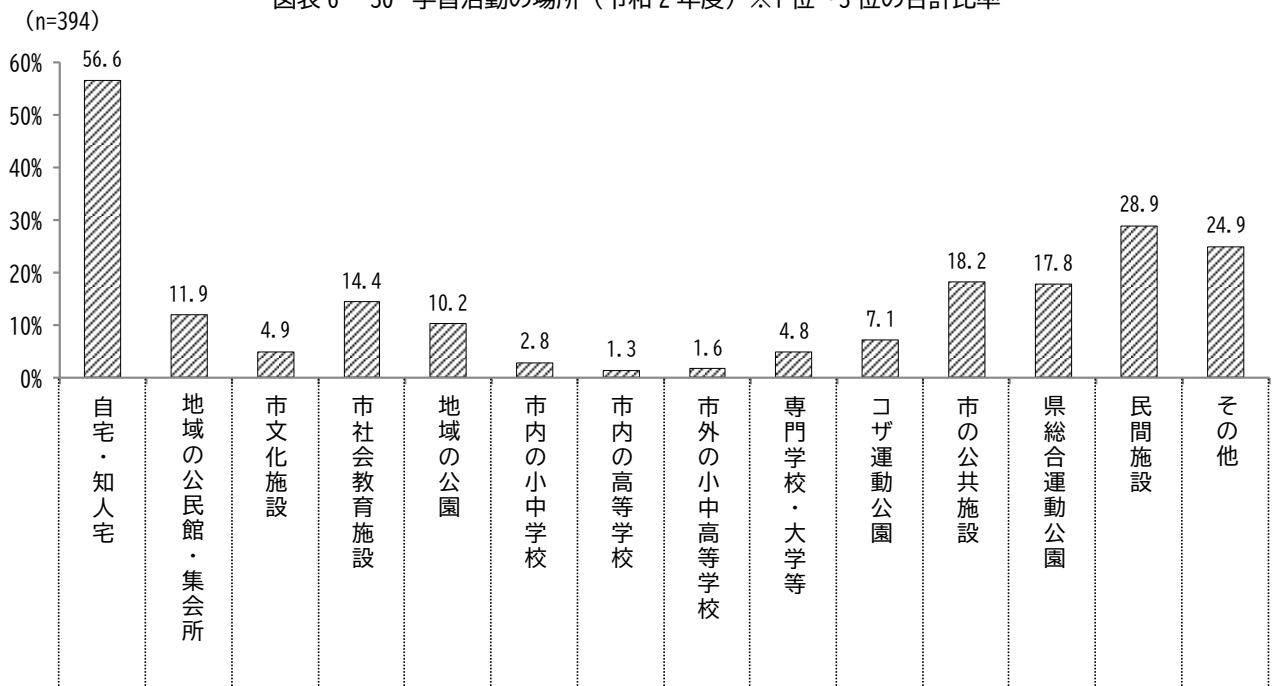
(5) 学習活動の場所（複数選択）（問6-4）

- 主な学習活動の場所は、「自宅」が65.8%で最も高く、次いで「民間施設」が23.0%、「地域の公民館・集会所」が8.8%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、「市の公共施設」が7.1%となっており、前回の18.2%と比較し11.1ポイント低くなっている。
- 性別でみると、「自宅」が、男性で71.8%に対し、女性では60.7%と11.1ポイントの差で最も大きくなっている。
- 年代別でみると、20代では「学校（高等学校、大学、大学院、専門学校など）」32.2%、30代では「市立図書館」10.5%が上位になっており、他の年代よりも高くなっている。「自宅」では、30代が86.0%に対し、60代では50.6%と35.4ポイント低く、差が最も大きくなっている。
- 「その他」では、「職場」「カフェ等」「県内各所」などがあつた。

図表6-29 学習活動の場所（令和7年度）



図表6-30 学習活動の場所（令和2年度）※1位～3位の合計比率



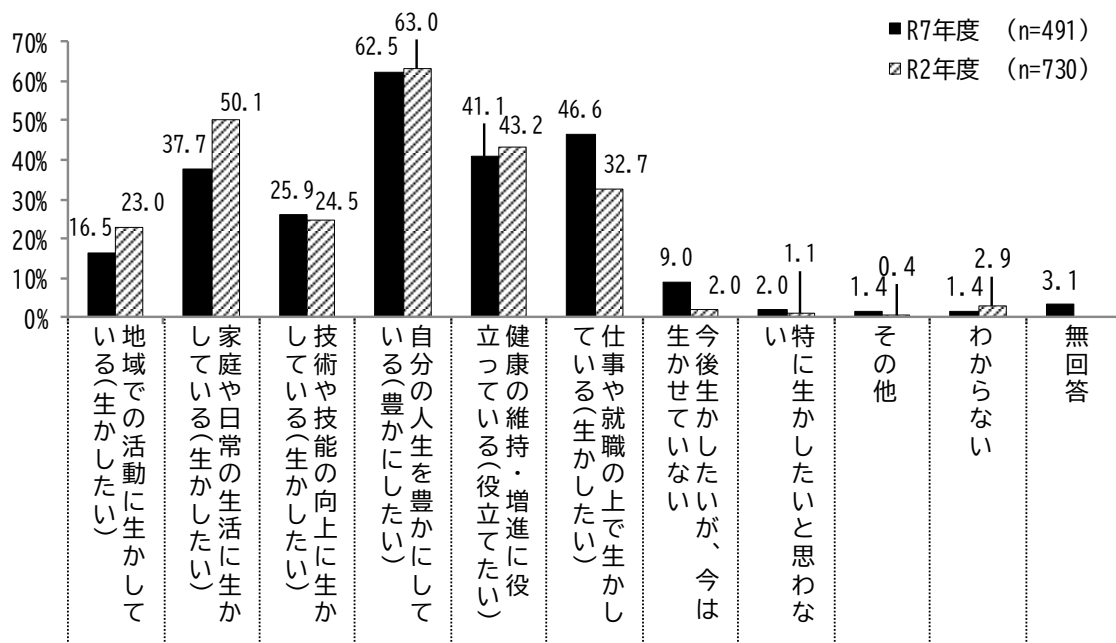
図表 6 - 31 学習活動の場所（性別・年代別）

		全体（n）	自宅	知人宅	地域の公民館・集会所	市立図書館	市立郷土博物館	市立芸能館	地域の公園	学校（高等学校、大学、大学院、専門学校など）	コザ運動公園	市の公共施設	県総合運動公園	民間施設	その他	無回答
令和7年度		491	65.8	2.9	8.8	6.9	0.6	0.2	2.4	7.5	3.5	7.1	7.1	23.0	15.9	3.9
性別	男性	206	71.8	3.4	4.9	8.3	0.5	0.5	3.9	7.8	4.4	6.3	6.3	20.4	13.6	4.4
	女性	275	60.7	2.5	11.6	5.8	0.7	-	1.5	7.3	2.9	8.0	7.6	24.7	17.8	3.6
年代	20代	59	72.9	3.4	3.4	8.5	-	-	-	32.2	1.7	-	1.7	16.9	15.3	1.7
	30代	86	86.0	3.5	4.7	10.5	3.5	1.2	1.2	2.3	1.2	2.3	9.3	23.3	11.6	4.7
	40代	115	65.2	1.7	7.8	7.0	-	-	0.9	4.3	3.5	7.8	5.2	21.7	20.9	6.1
	50代	110	62.7	2.7	10.0	8.2	-	-	5.5	4.5	5.5	11.8	6.4	23.6	14.5	3.6
	60代	79	50.6	1.3	12.7	3.8	-	-	3.8	7.6	3.8	11.4	7.6	27.8	17.7	1.3
	70代以上	41	51.2	7.3	17.1	-	-	-	2.4	-	4.9	4.9	17.1	24.4	12.2	4.9

(6) 学習活動の成果の生かし方（複数選択）（問 6-5）

- 学習活動で得た知識や技術をどのように生かしているか（生かしたいか）では、「自分の人生を豊かにしている（豊かにしたい）」が 62.5%で最も高く、次いで「仕事や就職の上で生かしている（生かしたい）」が 46.6%、「健康の維持・増進に役立っている（役立てたい）」が 41.1%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、「仕事や就職の上で生かしている(生かしたい)」が 46.6%で、前回の 32.7%と比較し 13.9 ポイント高くなっている。
- 性別でみると、「技術や技能の向上に生かしている(生かしたい)」が、男性で 33.0%に対し、女性では 20.4%と 12.6 ポイントの差で最も大きくなっている。
- 年代別でみると、30 代以下では「仕事や就職の上で生かしている（生かしたい）」、40 代以上では「自分の人生を豊かにしている（豊かにしたい）」が 6 割を超え、最も高くなっている。「仕事や就職の上で生かしている(生かしたい)」で、30 代が 64.0%に対し 70 代以上では 7.3%と 56.7 ポイントの差で最も大きくなっている。
- 「その他」では、「社員教育に生かしている」「将来の希望」などがあつた。

図表 6 - 32 学習活動の成果の生かし方 ※令和2年度は1位～3位の合計比率



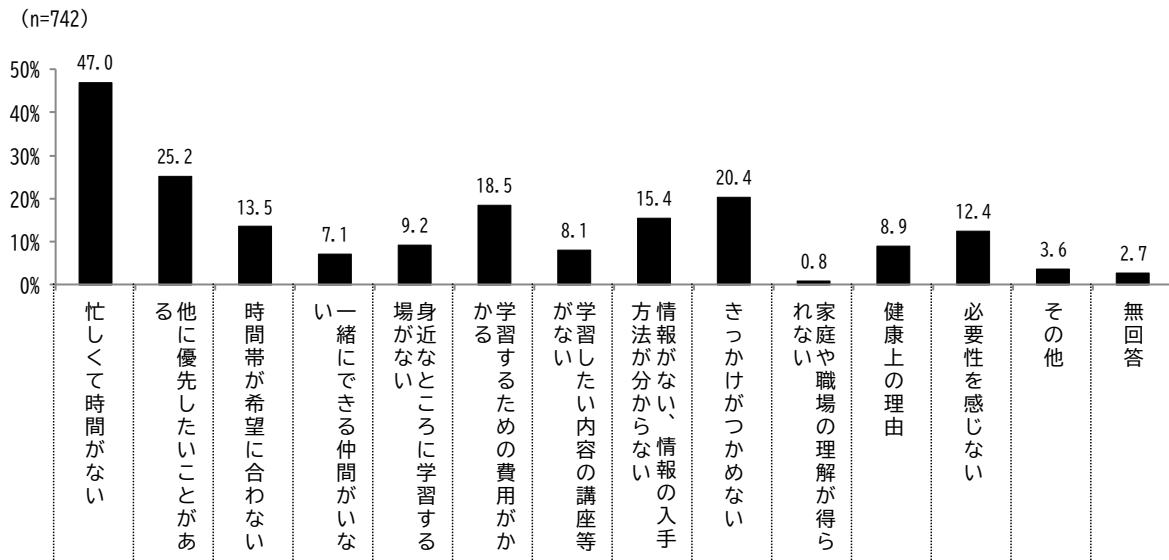
図表6-33 学習活動の成果の生かし方（性別・年代別）

		(%)											
		全体 (n)	地域 での活動 に生かして いる(生か したい)	家庭や日 常の生活に 生かして いる(生か したい)	技術や技 能の向上に 生かして いる(生か したい)	自分の人 生を豊かに している (豊かにし たい)	立健康の 維持・増進 に役立 っている (役立 てたい)	仕事や就 職の上で生 かしている (生か したい)	今後生か したいが、 今は 生かして いない	特に生か したいと思 わな	その他	わから ない	無 回 答
令和7年度		491	16.5	37.7	25.9	62.5	41.1	46.6	9.0	2.0	1.4	1.4	3.1
性別	男性	206	17.0	32.0	33.0	65.0	38.3	49.0	3.4	2.9	1.5	1.5	3.4
	女性	275	16.7	40.7	20.4	60.4	42.9	45.8	12.7	1.5	1.5	1.5	2.9
年代	20代	59	5.1	25.4	28.8	49.2	20.3	61.0	1.7	1.7	1.7	3.4	1.7
	30代	86	11.6	47.7	30.2	62.8	33.7	64.0	4.7	4.7	1.2	-	4.7
	40代	115	22.6	43.5	29.6	62.6	33.9	56.5	13.0	2.6	0.9	1.7	4.3
	50代	110	19.1	32.7	21.8	61.8	49.1	50.0	12.7	0.9	0.9	0.9	1.8
	60代	79	20.3	32.9	26.6	67.1	51.9	19.0	8.9	-	1.3	2.5	1.3
	70代以上	41	12.2	41.5	12.2	75.6	65.9	7.3	4.9	2.4	4.9	-	4.9

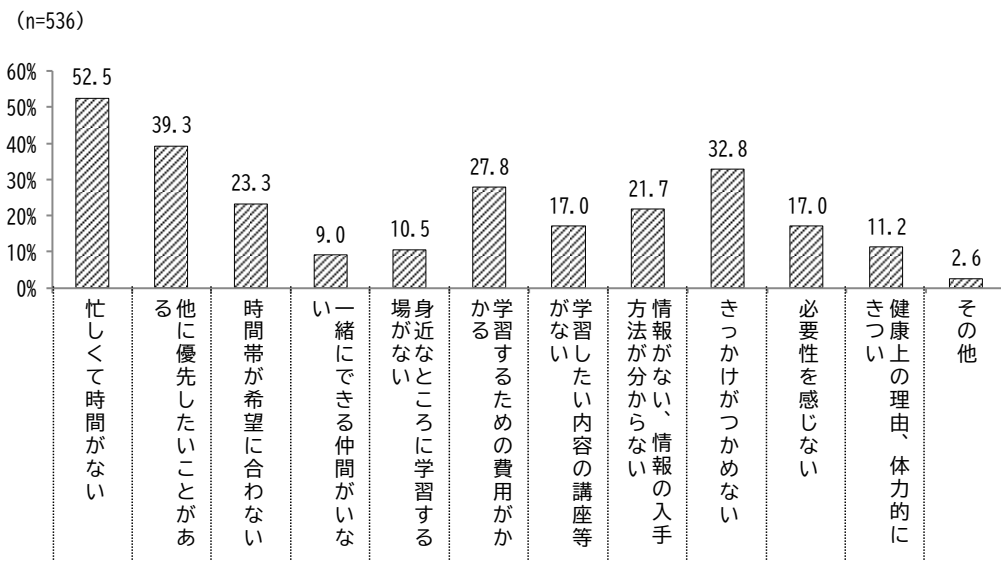
(7) 学習活動を行っていない理由（複数選択）（問6-6）

- ・ 現在、自主的な学習活動を行っていない理由では、「忙しくて時間がない」が47.0%で最も高く、次いで「他に優先したいことがある」が25.2%、「きっかけがつかめない」が20.4%となっている。「必要を感じない」は、12.4%となっている。
- ・ 令和2年度調査と比較すると、「他に優先したいことがある」が25.2%で、前回の39.3%と比較し14.1ポイント低くなっている。
- ・ 性別でみると、「学習するための費用がかかる」が、男性で13.2%に対し、女性では21.3%と8.1ポイントの差で最も大きくなっている。「必要性を感じない」では、男性が16.9%で、女性の9.9%より7.0ポイント高くなっている。
- ・ 年代別でみると、60代以下で「忙しくて時間がない」が最も高くなっており、30代の66.4%に対し70代以上で14.9%と51.5ポイントの差で最も大きくなっている。
- ・ 「その他」では、「家族の介護や子育て中のため」「意欲がない」などがあつた。

図表6-34 学習活動を行っていない理由（令和7年度）



図表6-35 学習活動を行っていない理由（令和2年度）※1位～3位の合計比率



図表 6 - 36 学習活動を行っていない理由（性別・年代別）

		全体（n）	忙しくて時間がない	他に優先したいことがある	時間帯が希望に合わない	一緒にできる仲間がない	身近なところに学習する場がない	学習するための費用がかかる	学習したい内容の講座等がない	情報が分らない、情報の入手方法が分からない	きっかけがつかめない	家庭や職場の理解が得られない	健康上の理由	必要性を感じない	その他	無回答
令和7年度		742	47.0	25.2	13.5	7.1	9.2	18.5	8.1	15.4	20.4	0.8	8.9	12.4	3.6	2.7
性別	男性	266	47.0	23.7	9.4	4.9	6.8	13.2	8.3	15.4	19.5	0.8	6.8	16.9	1.9	1.9
	女性	456	47.8	25.0	15.6	7.9	10.7	21.3	7.9	15.4	20.6	0.7	10.1	9.9	4.6	3.1
年代	20代	74	58.1	37.8	8.1	10.8	10.8	21.6	8.1	13.5	28.4	2.7	1.4	8.1	4.1	1.4
	30代	116	66.4	31.0	13.8	6.0	13.8	27.6	11.2	19.0	25.9	0.9	3.4	8.6	3.4	-
	40代	127	58.3	22.8	16.5	7.9	8.7	19.7	8.7	15.0	18.9	0.8	3.1	11.0	1.6	1.6
	50代	178	48.9	21.9	19.1	6.7	8.4	18.5	7.9	14.0	15.2	1.1	6.7	15.2	1.1	2.2
	60代	159	34.6	23.3	10.1	5.7	6.9	14.5	6.3	17.6	19.5	-	18.9	11.9	6.3	4.4
	70代以上	87	14.9	20.7	8.0	8.0	8.0	9.2	6.9	11.5	20.7	-	17.2	18.4	5.7	6.9

全国調査との比較

- 生涯学習に関する世論調査と比較すると、選択肢が異なる点に留意が必要だが、全国では「特に必要がない」が45.5%で最も高くなっている。本市の「必要性を感じない」は12.4%で33.1ポイント低くなっている。

図表 6 - 37 学習活動を行っていない理由（全国調査との比較）

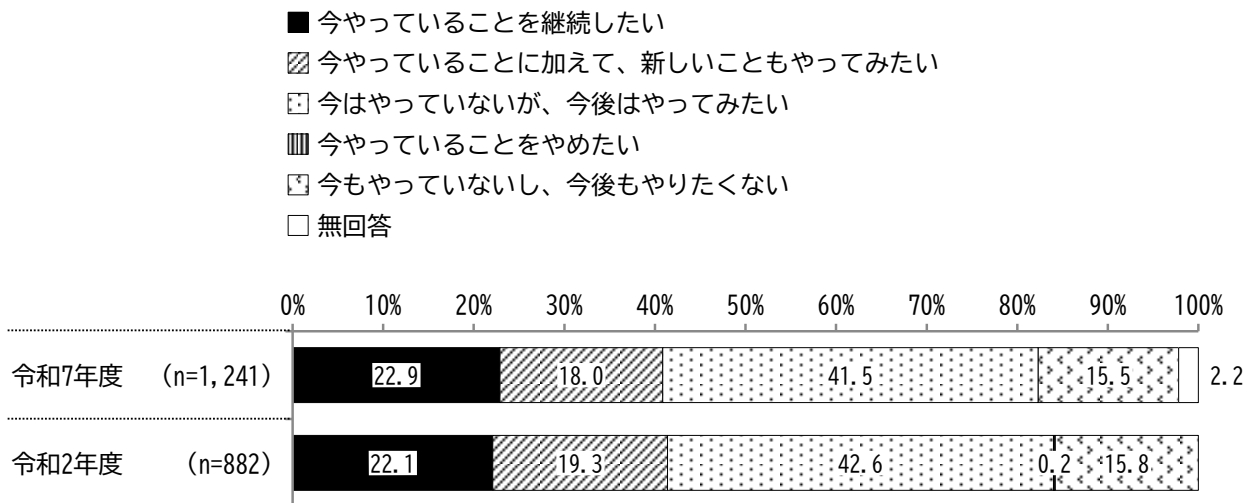
学習活動を行っていない理由		全体（n）	忙しくて時間がない	他に優先したいことがある	時間帯が希望に合わない	一緒にできる仲間がない	身近なところに学習する場がない	学習するための費用がかかる	学習したい内容の講座等がない	情報が分らない、情報の入手方法が分からない	きっかけがつかめない	家庭や職場の理解が得られない	健康上の理由	必要性を感じない	その他	無回答
対象	対象	742	47.0	25.2	13.5	7.1	9.2	18.5	8.1	15.4	20.4	0.8	8.9	12.4	3.6	2.7
対象	対象	378	27.5	15.6	9.0	5.0	5.6	10.6	14.0	3.7	3.7	29.1	2.4	45.5	1.1	

出典：内閣府世論調査「生涯学習に関する世論調査」（令和4年7月調査）

(8) 今後の学習活動の意向 (問7)

- 今後、自主的な学習活動をやってみたいかについては、「今はやっていないが、今後はやってみたい」が41.5%で最も高く、次いで「今やっていることを継続したい」が22.9%、「今やっていることに加えて、新しいこともやってみたい」が18.0%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられない。
- 性別でみると、「今はやっていないが、今後はやってみたい」が、男性で35.2%に対し、女性では45.9%と10.7ポイントの差で最も大きくなっている。
- 年代別でみると、70代以上では、「今やっていることを継続したい」「今もやっていないし、今後もやりたくない」が他の年代よりも高くなっている。「今やっていることに加えて、新しいこともやってみたい」で、40代が25.9%に対し70代以上では4.6%と21.3ポイントの差で最も大きくなっている。

図表6-38 今後の学習活動の意向 (令和2年度との比較)



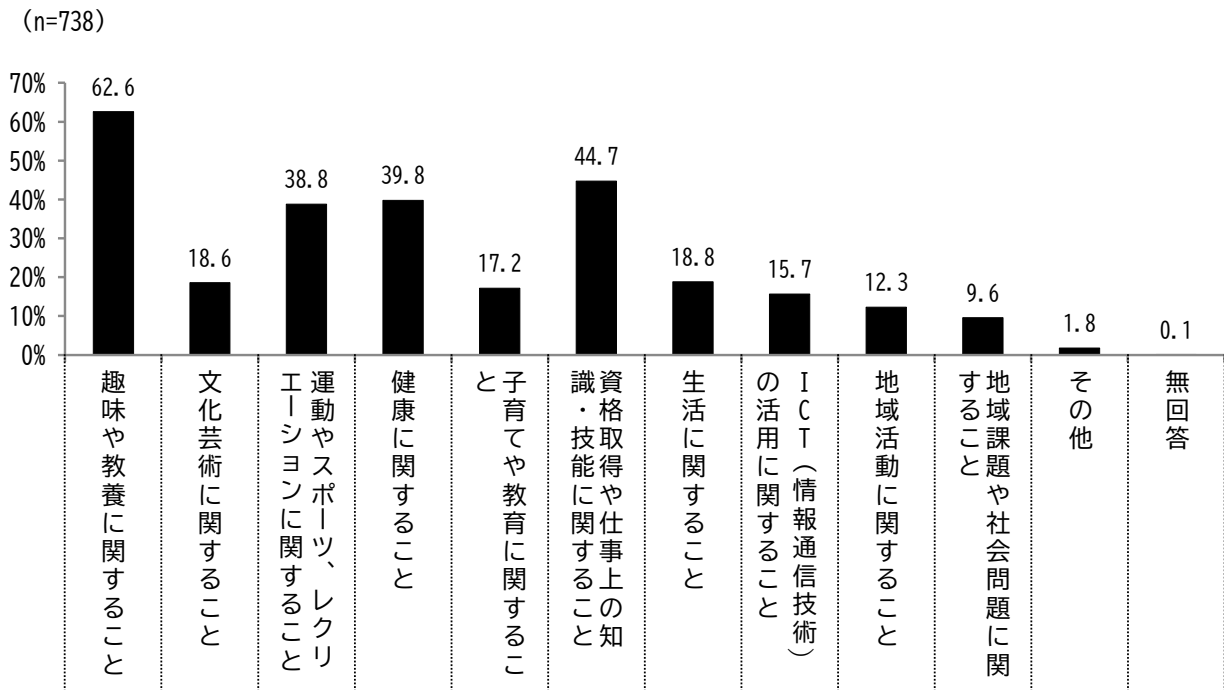
図表6-39 今後の学習活動の意向 (性別・年代別)

		全体 (n)	継続していること	も加え、新しいこと	たが、今後はやらない	やめたい	ない、今後はやりたくない	無回答
令和7年度		1,241	22.9	18.0	41.5	-	15.5	2.2
性別	男性	474	26.4	17.9	35.2	-	18.4	2.1
	女性	735	20.5	18.4	45.9	-	13.5	1.8
年代	20代	133	23.3	24.8	42.9	-	7.5	1.5
	30代	202	20.3	24.8	41.1	-	13.9	-
	40代	243	21.0	25.9	40.7	-	11.1	1.2
	50代	288	21.9	16.0	44.1	-	15.6	2.4
	60代	241	23.7	10.4	44.0	-	18.7	3.3
	70代以上	131	30.5	4.6	32.1	-	28.2	4.6

(9) 取り組みたい学習活動の種類（複数選択）（問7-1）

- どのような学習活動をやってみたいかでは、「趣味や教養に関すること」が62.6%で最も高く、次いで「資格取得や仕事上の知識・技能に関すること」が44.7%、「健康に関すること」が39.8%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。「資格取得や仕事上の知識・技能に関すること」が44.7%となっており、前回の38.9%と比較し5.8ポイント高くなっている。
- 性別でみると、「健康に関すること」が、男性で32.9%に対し、女性では43.9%と11.0ポイントの差で最も大きくなっている。
- 年代別でみると、50代以下では「資格取得や仕事上の知識・技術に関すること」、60代以上では「健康に関すること」が上位となっている。「資格取得や仕事上の知識・技能に関すること」で、20代が67.8%に対し70代以上では8.3%と59.5ポイントの差で最も大きくなっている。
- 「その他」では、「ボランティア」「地域の歴史」「修学旅行生とのラジオ体操などでの交流」などがあつた。

図表6-40 取り組みたい学習活動の種類（令和7年度）



図表6-41 取り組みたい学習活動の種類（令和2年度）※1位～3位の合計比率



図表6-42 取り組みたい学習活動の種類（性別・年代別）

		全体 (n)	趣味や教養に関すること	文化芸術に関すること	運動やスポーツ、レクリエーションに関すること	健康に関すること	子育てや教育に関すること	資格取得や仕事上の知識・技能に関すること	生活に関すること	ICT（情報通信技術）の活用に関すること	地域活動に関すること	地域課題や社会問題に関すること	その他	無回答
令和7年度		738	62.6	18.6	38.8	39.8	17.2	44.7	18.8	15.7	12.3	9.6	1.8	0.1
性別	男性	252	56.7	14.3	39.7	32.9	11.5	44.8	12.7	19.0	13.9	13.1	2.0	0.4
	女性	472	65.9	20.8	38.3	43.9	20.1	44.1	21.2	14.0	11.7	7.6	1.5	-
年代	20代	90	57.8	14.4	28.9	21.1	21.1	67.8	13.3	13.3	11.1	8.9	1.1	-
	30代	133	60.9	24.1	36.8	24.1	32.3	58.6	18.0	18.0	7.5	7.5	1.5	-
	40代	162	58.6	18.5	42.0	43.8	29.0	55.6	19.8	22.8	15.4	13.0	1.2	-
	50代	173	69.9	17.9	47.4	42.2	8.1	43.9	20.2	17.3	12.7	12.1	3.5	-
	60代	131	63.4	18.3	36.6	51.9	3.1	16.0	18.3	6.9	10.7	7.6	1.5	-
	70代以上	48	62.5	14.6	27.1	64.6	-	8.3	22.9	8.3	20.8	2.1	-	2.1

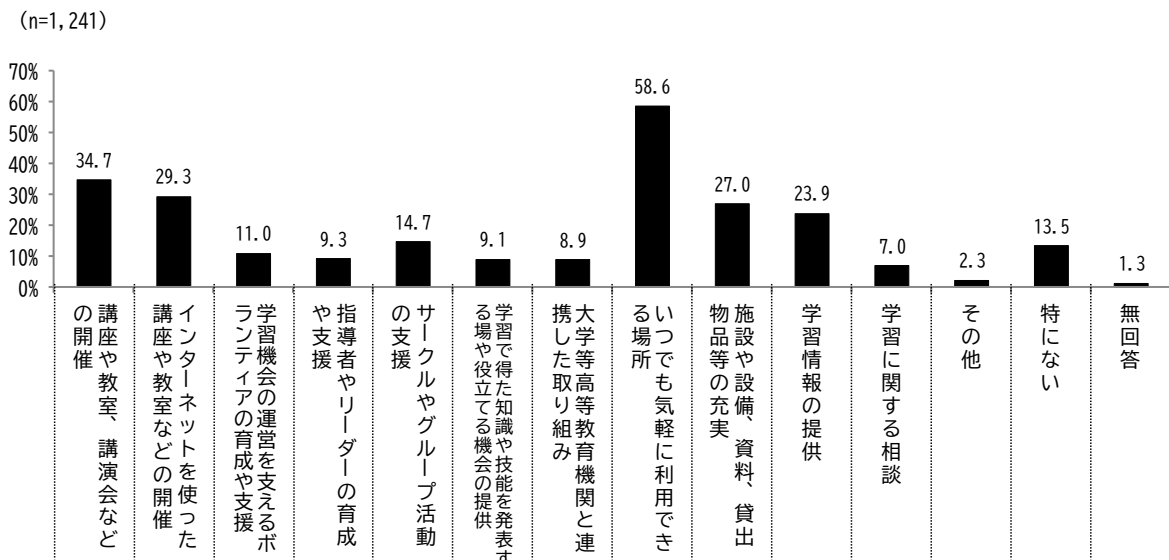
(10) 学習活動をやめたい理由（1位～3位を選択）（問8）.....

- 令和7年度は回答者が0人となっている。

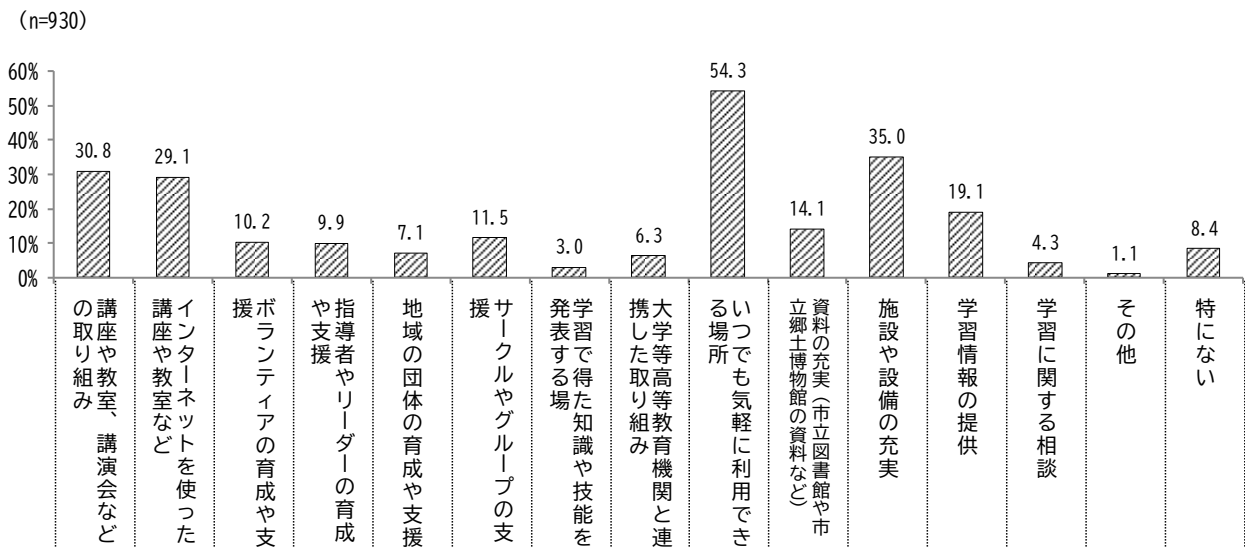
(11) 学習活動の活性化に向けた取組の要望（複数選択）（問9）

- 市民の自主的な学習活動の活性化のために、今後、充実してほしいことでは、「いつでも気軽に利用できる場所」が58.6%で最も高く、次いで「講座や教室、講演会などの開催」が34.7%、「インターネットを使った講座や教室などの開催」が29.3%となっている。「特にない」は13.5%となっている。
- 令和2年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。
- 性別でみると、「いつでも気軽に利用できる場所」が、男性で51.9%に対し、女性では63.3%と11.4ポイントの差で最も大きくなっている。
- 年代別でみると、「講座や教室、講演会などの開催」は、40代以上で上位となっており、50代の43.8%に対し20代では25.6%と18.2ポイントの差で最も大きくなっている。
- 「インターネットを使った講座や教室などの開催」では、50代以下で上位となっている。
- 「その他」では、「学習時間中の託児」「費用の心配なく学べる場所」などがあつた。

図表6-43 学習活動の活性化に向けた取組の要望（令和7年度）



図表6-44 学習活動の活性化に向けた取組の要望（令和2年度）※1位～3位の合計比率



図表6-45 学習活動の活性化に向けた取組の要望（性別・年代別）

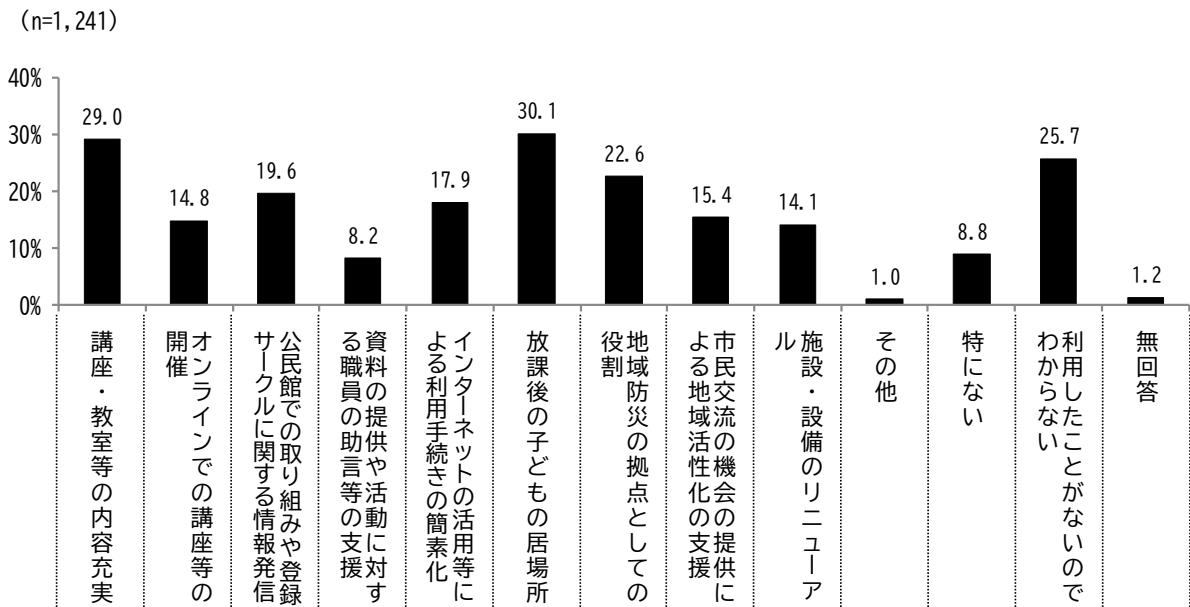
		(%)														
		全体 (n)	講座や教室、講演会などの開催	インターネットを使った講座や教室などの開催	学習機会の運営を支えるボランティアの育成や支援	指導者やリーダーの育成や支援	サークルやグループ活動の支援	学習で得た知識や技能を発表する場や役立てる機会の提供	大学等高等教育機関と連携した取り組み	いつでも気軽に利用できる場所	施設や設備、資料、貸出物品等の充実	学習情報の提供	学習に関する相談	その他	特にない	無回答
令和7年度		1,241	34.7	29.3	11.0	9.3	14.7	9.1	8.9	58.6	27.0	23.9	7.0	2.3	13.5	1.3
性別	男性	474	28.9	31.2	11.8	10.5	12.7	9.5	8.6	51.9	26.6	20.7	5.5	2.5	13.7	1.3
	女性	735	39.0	28.0	10.3	8.7	16.3	8.8	8.8	63.3	27.2	26.0	7.9	2.2	13.1	1.2
年代	20代	133	25.6	29.3	6.0	7.5	12.0	10.5	16.5	60.2	28.6	17.3	6.8	3.0	18.8	-
	30代	202	29.2	32.7	10.9	11.9	11.9	8.9	9.4	55.9	30.2	30.2	7.4	3.5	14.9	-
	40代	243	39.9	37.9	14.8	8.2	16.9	7.8	11.5	56.8	31.3	30.0	12.3	3.7	8.2	0.8
	50代	288	43.8	33.3	12.2	10.8	16.3	12.5	8.3	60.4	29.2	24.0	5.2	2.1	8.7	0.7
	60代	241	32.8	22.0	10.4	8.7	16.6	8.7	6.2	60.6	22.4	19.5	5.4	0.8	15.8	2.9
	70代以上	131	27.5	13.0	7.6	6.9	11.5	3.8	1.5	58.0	16.8	17.6	3.1	0.8	21.4	3.1

5. 社会教育に関すること

(1) 中央公民館への期待（複数選択）（問 10）

- 市立中央公民館に期待することでは、「放課後の子どもの居場所」が 30.1%で最も高く、次いで「講座・教室等の内容充実」が 29.0%、「地域防災の拠点としての役割」22.6%となっている。「利用したことがないのでわからない」は 25.7%、「特にない」8.8%となっている。
- 性別でみると、「講座・教室等の内容充実」が、男性で 23.0%に対し、女性では 33.2%と 10.2 ポイントの差で最も大きくなっている。「オンラインでの講座等の開催」では男性、「公民館での取り組みや登録サークルに関する情報発信」では女性がやや高くなっている。
- 年代別でみると、「放課後の子どもの居場所」で、30代が 40.1%に対し 70代以上では 14.5%と 25.6 ポイントの差で最も大きくなっている。「公民館での取り組みや登録サークルに関する情報発信」では 40代以上、「インターネットの活用等による利用手続きの簡素化」では 50代以下が高くなっている。
- 「その他」では、「自由に使える学習室など」「AI活用やリスニング教材の拡充」などがあつた。

図表 6 - 46 中央公民館への期待



Ⅱ 本調査の結果 第6章 市民の調査結果

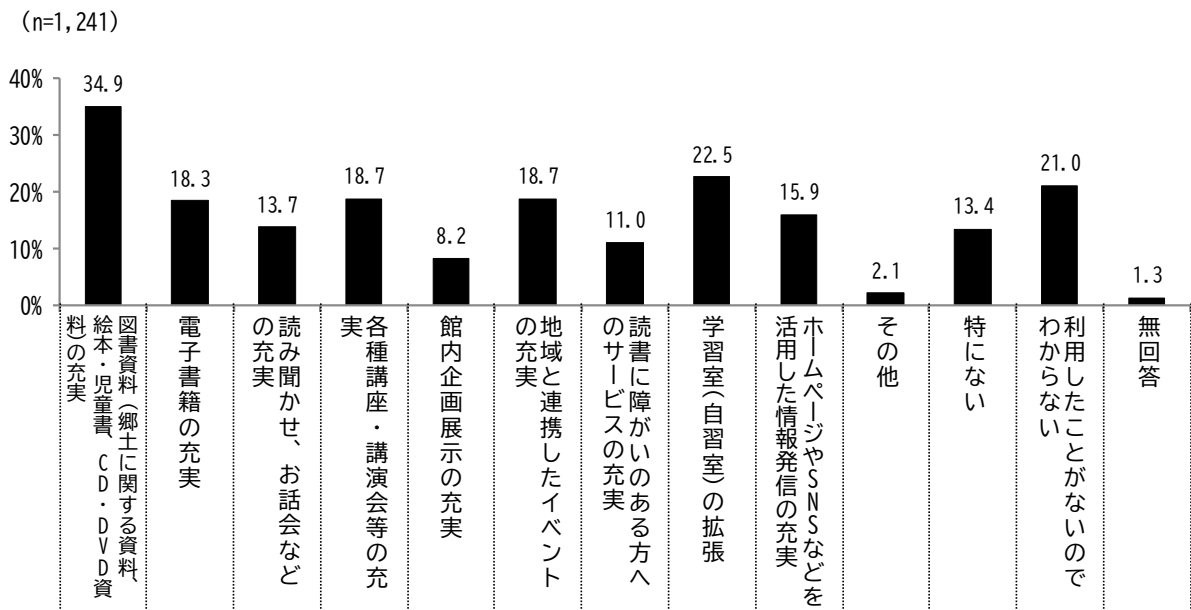
図表6-47 中央公民館への期待（性別・年代別）

		(%)													
		全体 (n)	講座・教室等の内容充実	オンラインでの講座等の開催	公民館での取り組みや登録サークルに関する情報発信	資料の提供や活動に対する職員等の助言等の支援	インターネットの活用等による利用手続きの簡素化	放課後の子どもの居場所	地域防災の拠点としての役割	市民交流の機会の提供による地域活性化の支援	施設・設備のリニューアル	その他	特になし	利用したことがないのでわからない	無回答
令和7年度		1,241	29.0	14.8	19.6	8.2	17.9	30.1	22.6	15.4	14.1	1.0	8.8	25.7	1.2
性別	男性	474	23.0	18.1	17.5	9.5	20.0	25.9	21.3	15.6	15.4	1.1	11.4	24.9	1.7
	女性	735	33.2	12.5	21.0	7.3	16.1	32.7	22.9	15.2	13.3	1.1	7.2	26.4	0.8
年代	20代	133	19.5	15.8	14.3	8.3	24.8	36.1	23.3	14.3	17.3	1.5	8.3	25.6	-
	30代	202	25.7	16.3	15.3	9.4	22.3	40.1	24.8	13.4	14.9	1.5	6.4	24.3	1.0
	40代	243	31.7	19.3	21.4	9.9	23.5	37.4	25.1	17.3	16.5	1.2	10.3	18.9	-
	50代	288	37.2	18.8	20.1	9.4	20.1	23.6	23.3	14.9	16.7	1.0	8.7	23.3	0.7
	60代	241	28.2	10.4	22.8	5.8	8.7	27.8	23.2	18.3	9.5	0.4	6.6	29.9	2.1
	70代以上	131	22.1	3.1	21.4	5.3	6.1	14.5	12.2	12.2	8.4	0.8	14.5	38.2	3.8

(2) 市立図書館への期待（複数選択）（問11）

- 市立図書館に期待することでは、「図書資料（郷土に関する資料、絵本・児童書、CD・DVD 資料）の充実」が34.9%で最も高く、次いで「学習室（自習室）の拡張」が22.5%、「各種講座・講演会等の充実」と「地域と連携したイベントの充実」が18.7%となっている。「利用したことがないのでわからない」が21.0%、「特にない」は13.4%となっている。
- 性別でみると、「各種講座・講演会等の充実」が、男性で16.2%に対し、女性では20.8%と4.6ポイントの差で最も大きくなっている。「電子書籍の充実」では、男性で20.7%となっており、女性の16.7%よりやや高くなっている。
- 年代別でみると、「利用したことがないのでわからない」で30代が12.8%に対し、70代以上では42.7%と29.9ポイントの差で最も大きくなっている。「電子書籍の充実」では、50代以下、「各種講座・講演会等の充実」では40代以上、「学習室（自習室）の拡張」では60代以下で上位となっている。
- 「その他」では、「カフェの併設」「駐車場の充実」「市民が行きやすい場所での運営」などがあつた。

図表6-48 市立図書館への期待



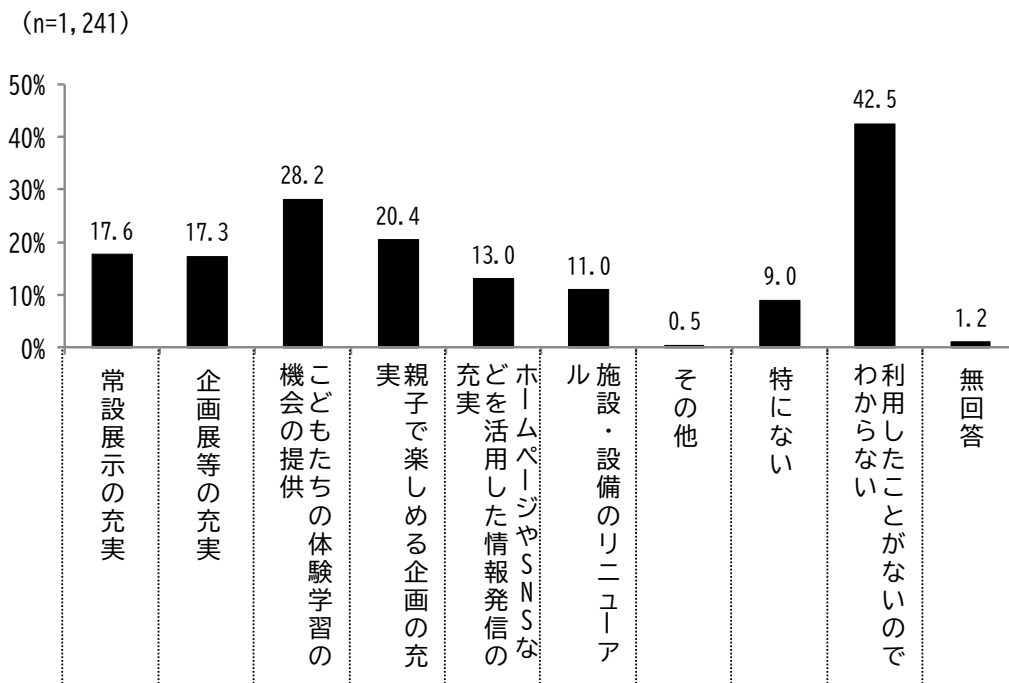
図表6-49 市立図書館への期待（性別・年代別）

		全体（n）	DVD資料（資料・絵本・児童書、CD・DVD資料）の充実	図書資料（郷土に関する資料）の充実	電子書籍の充実	読み聞かせ、お話しなどの充実	各種講座・講演会等の充実	館内企画展示の充実	地域と連携したイベントの充実	読書に障がいのある方へのサービスの充実	学習室（自習室）の拡張	ホームページやSNSなどを活用した情報発信の充実	その他	特になし	利用したことがないので	無回答
令和7年度		1,241	34.9	18.3	13.7	18.7	8.2	18.7	11.0	22.5	15.9	2.1	13.4	21.0	1.3	
性別	男性	474	34.6	20.7	12.9	16.2	9.1	18.4	11.2	20.9	14.1	1.7	15.8	21.9	1.5	
	女性	735	35.0	16.7	14.3	20.8	7.9	19.3	11.0	23.5	16.9	2.3	11.7	20.4	1.0	
年代	20代	133	34.6	20.3	15.0	12.0	9.0	18.0	8.3	30.1	15.8	0.8	14.3	15.0	-	
	30代	202	39.6	24.8	23.3	12.9	5.9	21.8	8.9	30.7	20.3	1.0	12.9	18.3	-	
	40代	243	38.7	26.3	15.2	25.9	8.6	23.5	11.1	28.8	21.0	2.9	11.9	12.8	-	
	50代	288	38.2	20.5	8.0	21.5	8.0	19.4	15.3	22.2	17.0	4.2	12.5	18.1	1.0	
	60代	241	32.4	10.0	13.7	19.9	10.4	15.4	12.4	15.4	13.3	1.7	12.9	26.1	2.5	
	70代以上	131	19.1	2.3	7.6	13.0	6.9	10.7	5.3	3.8	2.3	-	19.1	42.7	4.6	

(3) 市立郷土博物館への期待（複数選択）（問12）

- 市立郷土博物館に期待することでは、「こどもたちの体験学習の機会の提供」が 28.2%で最も高く、次いで「親子で楽しめる企画の充実」が 20.4%、「常設展示の充実」が 17.6%となっている。「利用したことがないのでわからない」は 42.5%、「特にない」は 9.0%となっている。
- 性別でみると、「利用したことがないのでわからない」が、男性で 38.4%に対し、女性では 44.9%と 6.5 ポイントの差で最も大きくなっている。
- 年代別でみると、「常設展示の充実」「企画展等の充実」では、30代を除く各年代で上位となっている。「こどもたちの体験学習の機会の提供」で、40代が 42.0%に対し 70代以上では 16.0%と 26.0 ポイントの差で最も大きくなっている。
- 「その他」では、「市内の史跡などのガイドブック等の充実」「広く、見やすい場所にしてほしい」などがあった。

図表 6 - 50 市立郷土博物館への期待



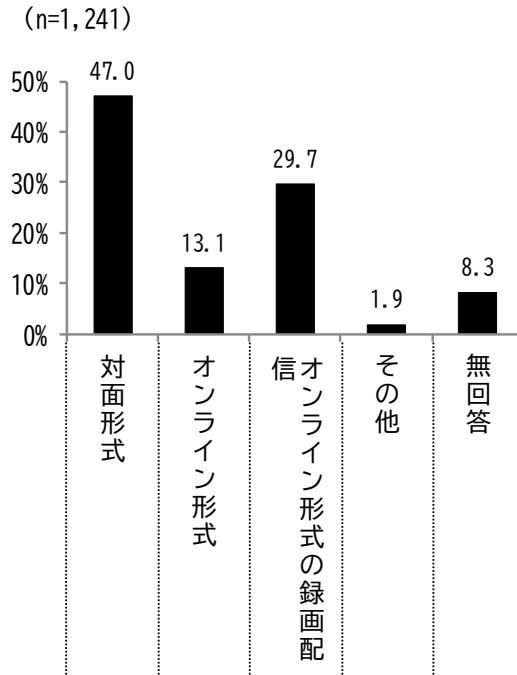
図表6-51 市立郷土博物館への期待（性別・年代別）

		(%)											
		全体 (n)	常設 展示の 充実	企画 展等の 充実	こども たちの 体験学 習の機 会の提 供	親子 で楽し める企 画の充 実	信など の活用 した情 報発 信	ホーム ページ やSNS	ア施設 ル設・ 設備の リニ ュー	その他	特 に な い	で 利 用 し た こ と が な い の	無 回 答
令和7年度		1,241	17.6	17.3	28.2	20.4	13.0	11.0	0.5	9.0	42.5	1.2	
性別	男性	474	20.3	20.5	27.8	17.7	13.7	11.8	0.8	11.4	38.4	1.3	
	女性	735	16.3	15.8	28.6	22.0	12.5	10.5	0.3	7.6	44.9	1.1	
年代	20代	133	16.5	20.3	22.6	12.8	13.5	8.3	0.8	15.8	44.4	-	
	30代	202	14.9	14.4	31.2	27.7	16.3	9.9	-	9.9	45.0	-	
	40代	243	20.2	19.3	42.0	31.7	18.1	14.0	0.4	7.8	30.9	-	
	50代	288	18.4	19.4	26.4	14.9	12.5	14.6	1.4	9.7	40.6	1.4	
	60代	241	16.6	16.6	24.1	18.7	10.4	8.7	-	5.8	46.9	2.5	
	70代以上	131	18.3	12.2	16.0	11.5	3.8	6.1	-	7.6	54.2	3.1	

(4) 講演会・講座の形式 (問 13)

- どのような形式の講演会や講座などに参加したいかでは、「対面形式」が 47.0%で最も高く、次いで「オンライン形式の録画配信」が 29.7%、「オンライン形式」が 13.1%となっている。
- 年代別でみると、「オンライン形式の録画配信」で、20代が 37.6%に対し、70代以上では 13.0%と 24.6 ポイントの差となっている。「対面形式」が各年代で 40%以上となっており、「オンライン形式の録画配信」は、50代以下で 30%以上となっている。
- 「その他」では、「対面とオンラインのハイブリッド方式」「内容による」などがあつた。

図表 6 - 52 講演会・講座の形式



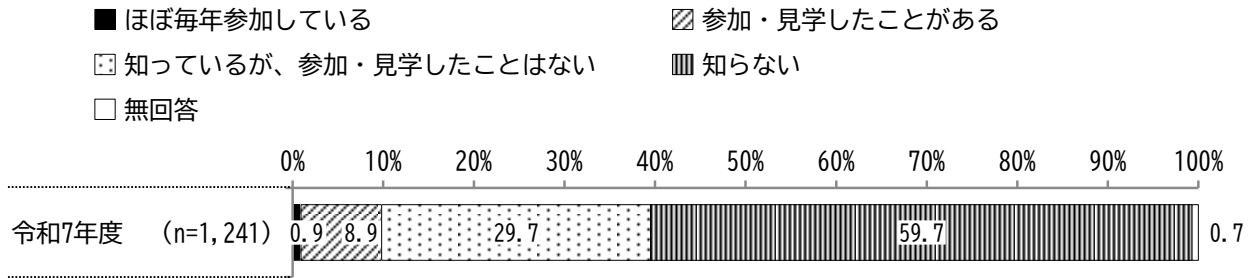
図表 6 - 53 講演会・講座の形式 (年代別)

		全体 (n)	対面形式	オンライン形式	オンライン形式の録画配信	その他	無回答
令和7年度		1,241	47.0	13.1	29.7	1.9	8.3
年代	20代	133	41.4	16.5	37.6	2.3	2.3
	30代	202	42.1	19.3	37.1	1.0	0.5
	40代	243	46.1	19.3	32.5	-	2.1
	50代	288	49.0	9.7	31.3	2.1	8.0
	60代	241	49.8	8.7	23.7	3.3	14.5
	70代以上	131	51.9	4.6	13.0	3.8	26.7

(5) 生涯学習フェスティバルの認知度 (問 14)

- 沖縄市で生涯学習フェスティバルが開催されていることについて、「知らない」が59.7%、「知っているが、参加・見学したことはない」が29.7%、「参加・見学したことがある」が8.9%となっている。
- 年代別で見ると、「参加・見学したことがある」で、40代が14.4%に対し、20代・70代以上では3.8%と10.6ポイント低くなっている。「知っているが、参加・見学したことはない」では、70代以上が35.9%で最も高く、20代が23.3%で最も低くなっている。

図表 6 - 54 生涯学習フェスティバルの認知度



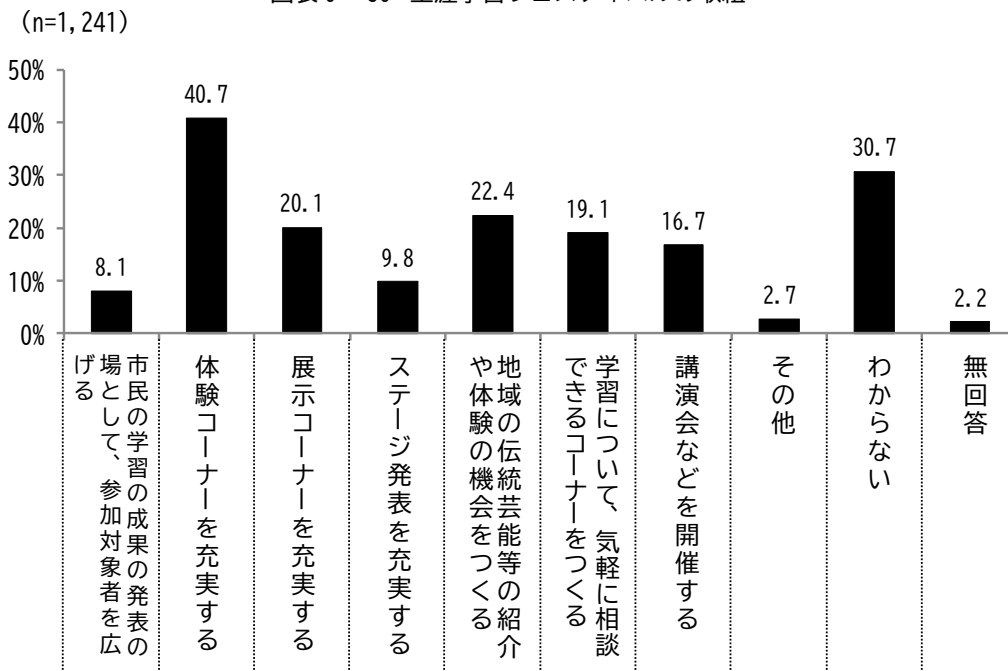
図表 6 - 55 生涯学習フェスティバルの認知度 (年代別)

		(%)					
		全体 (n)	ほぼ毎年参加している	参加・見学したことがある	知っているが、参加・見学したことはない	知らない	無回答
令和7年度		1,241	0.9	8.9	29.7	59.7	0.7
年代	20代	133	-	3.8	23.3	72.2	0.8
	30代	202	0.5	6.4	28.7	64.4	-
	40代	243	1.2	14.4	28.8	55.1	0.4
	50代	288	1.0	9.7	33.0	55.6	0.7
	60代	241	1.2	10.4	27.8	59.3	1.2
	70代以上	131	0.8	3.8	35.9	58.8	0.8

(6) 生涯学習フェスティバルの取組（複数選択）（問15）

- 生涯学習フェスティバルに参加したいと思わせるような取組としては、「体験コーナーを充実する」が40.7%で最も高く、次いで「地域の伝統芸能等の紹介や体験の機会をつくる」が22.4%、「展示コーナーを充実する」が20.1%となっている。「わからない」は30.7%となっている。
- 年代別でみると、40代・50代で「学習について、気軽に相談できるコーナーをつくる」、60代以上では「講演会などを開催する」が上位となっている。「体験コーナーを充実する」で、40代が51.4%に対し70代以上では22.9%と28.5ポイント低くなっている。
- 「市民の学習の成果発表の場として、参加対象者を広げる」では、参加対象者として「地域の企業」「大学・専門学校のサークル等」「民間施設で活動しているグループ」などがあがった。
- 「その他」では、「早めの告知・周知活動」「若者や子育て世代が参加しやすい内容」などがあつた。

図表6-56 生涯学習フェスティバルの取組



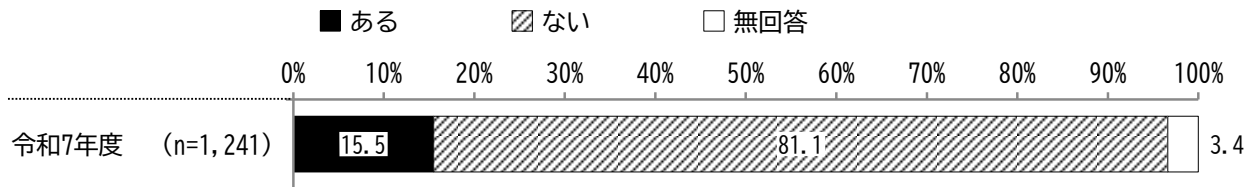
図表6-57 生涯学習フェスティバルの取組（年代別）

		全体 (n)	市民の学習の成果の発表の場として、参加対象者を広げる	体験コーナーを充実する	展示コーナーを充実する	ステージ発表を充実する	地域の伝統芸能等の紹介や体験の機会をつくる	学習について、気軽に相談できるコーナーをつくる	講演会などを開催する	その他	わからない	無回答
令和7年度		1,241	8.1	40.7	20.1	9.8	22.4	19.1	16.7	2.7	30.7	2.2
年代	20代	133	9.0	41.4	21.1	8.3	27.1	15.0	11.3	1.5	31.6	0.8
	30代	202	6.4	50.5	21.8	10.9	25.7	17.8	10.9	3.5	27.7	-
	40代	243	8.2	51.4	18.9	11.5	24.7	21.8	12.8	3.3	25.9	1.2
	50代	288	8.0	39.6	20.5	9.7	21.9	22.2	20.1	2.4	30.6	1.7
	60代	241	9.5	32.8	23.2	8.7	19.5	20.7	22.0	3.3	31.5	2.5
	70代以上	131	6.9	22.9	13.0	8.4	15.3	10.7	21.4	0.8	42.0	7.6

(7) ボランティア活動等の有無 (問 16)

- 直近1年間のボランティア活動や地域活動への参加状況では、「ない」が81.1%、「ある」が15.5%となっている。
- 年代別でみると、「ある」では、40代が22.6%とやや高くなっており、「ない」で、20代が85.7%に対し40代では74.9%と10.8ポイント低くなっている。

図表6-58 ボランティア活動等の有無



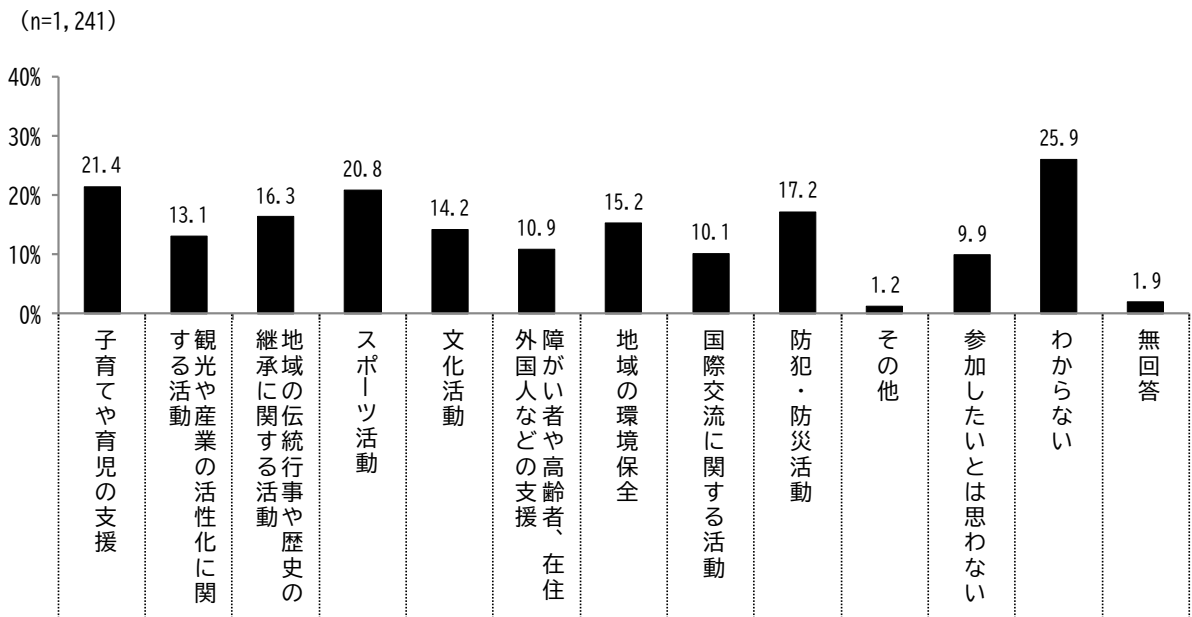
図表6-59 ボランティア活動等の有無 (年代別)

		全体 (n)	ある (%)	ない (%)	無回答 (%)
令和7年度		1,241	15.5	81.1	3.4
年代	20代	133	12.0	85.7	2.3
	30代	202	12.9	84.7	2.5
	40代	243	22.6	74.9	2.5
	50代	288	12.8	82.6	4.5
	60代	241	14.5	83.4	2.1
	70代以上	131	17.6	77.1	5.3

(8) 今後参加したい地域活動（複数選択）（問17）

- 今後参加してみたい地域活動では、「子育てや育児の支援」が21.4%で最も高く、次いで「スポーツ活動」が20.8%、「防犯・防災活動」が17.2%となっている。「わからない」は25.9%、「参加したいとは思わない」が9.9%となっている。
- 年代別で見ると、「子育てや育児の支援」では40代以下、スポーツ活動では50代以下で上位となっている。60代以上では、「文化活動」と「地域の環境保全」が上位となっている。「子育てや育児の支援」では、30代が39.6%に対し、70代以上では4.6%と35.0ポイント低く、差が最も大きくなっている。
- 「その他」では、「動物保護などの活動」「IT関連の活動」などがあつた。

図表6-60 今後参加したい地域活動



図表6-61 今後参加したい地域活動（年代別）

	全体 (n)	(%)													
		子育てや育児の支援	観光や産業の活性化に関する活動	地域の伝統行事や歴史の継承に関する活動	スポーツ活動	文化活動	外国人や高齢者、在住	地域の環境保全	国際交流に関する活動	防犯・防災活動	その他	参加したいとは思わない	わからない	無回答	
令和7年度	1,241	21.4	13.1	16.3	20.8	14.2	10.9	15.2	10.1	17.2	1.2	9.9	25.9	1.9	
年代	20代	133	21.8	15.0	13.5	27.1	12.0	11.3	11.3	10.5	15.0	2.3	11.3	20.3	0.8
	30代	202	39.6	15.8	14.9	29.7	13.4	7.4	12.9	13.4	21.8	1.0	13.9	16.3	-
	40代	243	32.1	14.0	18.5	25.1	14.4	14.0	16.5	16.0	18.9	0.4	8.6	20.2	-
	50代	288	13.9	16.3	17.4	18.1	13.9	13.5	15.6	8.3	17.7	1.4	10.1	28.8	2.8
	60代	241	13.7	9.1	15.4	14.5	17.0	10.8	15.8	7.5	16.6	1.7	5.4	34.0	3.3
	70代以上	131	4.6	5.3	16.8	10.7	13.0	3.8	19.1	2.3	9.9	0.8	13.0	35.9	3.1

全国調査との比較

- 生涯学習に関する世論調査と比較すると、選択肢が異なる点に留意が必要だが、全国では「スポーツ・文化活動」が21.6%で最も高くなっている。「地域や社会での活動に参加したいとは思わない」は全国の20.6%に対し本市は9.9%となっており、10.7ポイント低くなっている。

図表6-62 今後参加したい地域活動（全国調査との比較）

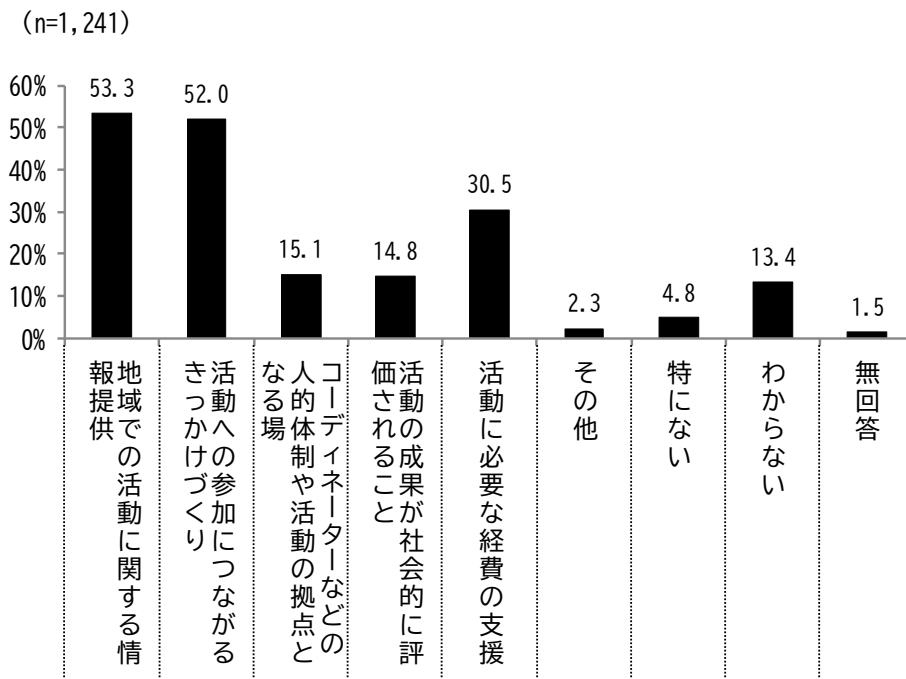
		(%)													
今後参加したい地域活動	対象	全体 (n)	子育てや育児の支援	観光や産業の活性化に関する活動	地域の伝統行事や歴史の継承に関する活動	スポーツ活動	文化活動	障がい者や高齢者、外国人などの支援	地域の環境保全	国際交流に関する活動	防犯・防災活動	その他	参加したいとは思わない	わからない	無回答
		沖縄市	1,241	21.4	13.1	16.3	20.8	14.2	10.9	15.2	10.1	17.2	1.2	9.9	25.9
地域や社会での活動への参加意欲	対象	全体 (n)	子育て・育児を支援する活動	地元観光や産業の活性化に貢献するような活動	地域の伝統行事や歴史の継承に関する活動	スポーツ・文化活動	学校の環境整備や教育活動との支援などの地域が学校と協働する活動	障がい者や高齢者、外国人などの支援に関する活動	地域の環境保全に関する活動	国際交流に関する活動	防犯・防災活動	地域の子供のためのレクリエーション活動や自然体験活動など	その他	地域や社会での活動に参加したいとは思わない	無回答
		全国	1,557	20.0	19.7	18.4	21.6	14.3	15.5	20.9	10.1	18.9	18.9	1.9	20.6

出典：内閣府世論調査「生涯学習に関する世論調査」（令和4年7月調査）

(9) 地域活動への参加者を増やすために必要なこと（複数選択）（問18）……………

- 多くの人に地域活動へ参加してもらうために必要なことでは、「地域での活動に関する情報提供」が53.3%で最も高く、次いで「活動への参加につながるきっかけづくり」が52.0%、「活動に必要な経費の支援」が30.5%となっている。
- 年代別でみると、「コーディネーターなどの人的体制や活動の拠点となる場」では、40代がやや高くなっており、「活動の成果が社会的に評価されること」では、20代が20.3%に対し、70代以上では5.3%と15.0ポイント低くなっている。
- 「その他」では、「参加するメリットを増やす」「テレビやSNSなどでの周知」などがあつた。

図表6-63 地域活動への参加者を増やすために必要なこと



図表6-64 地域活動への参加者を増やすために必要なこと（年代別）

		全体 (n)	地域での活動に関する情報提供	活動への参加につながるきっかけづくり	人的体制や活動の拠点となる場	活動の成果が社会的に評価されること	活動に必要な経費の支援	その他	特にない	わからない	無回答 (%)
令和7年度		1,241	53.3	52.0	15.1	14.8	30.5	2.3	4.8	13.4	1.5
年代	20代	133	49.6	48.1	9.0	20.3	34.6	-	3.0	15.8	0.8
	30代	202	46.5	53.0	11.4	17.8	31.7	4.0	5.0	12.4	0.5
	40代	243	52.7	57.6	21.0	17.3	31.7	4.1	4.5	9.9	0.4
	50代	288	58.7	55.6	18.1	14.6	32.3	2.1	3.5	11.1	1.0
	60代	241	56.4	49.0	14.9	12.4	29.5	1.7	5.0	16.6	2.1
	70代以上	131	51.9	42.7	10.7	5.3	21.4	-	9.9	17.6	4.6

全国調査との比較

- 生涯学習に関する世論調査と比較すると、選択肢が異なる点に留意が必要だが、全国では「地域や社会での活動に関する情報提供」が50.4%で最も高くなっている。「コーディネーターなどの人的体制や活動の拠点となる場」では全国の25.2%に対し本市は15.1%となっており、10.1ポイント低くなっている。

図表6-65 地域活動への参加者を増やすために必要なこと（全国調査との比較）

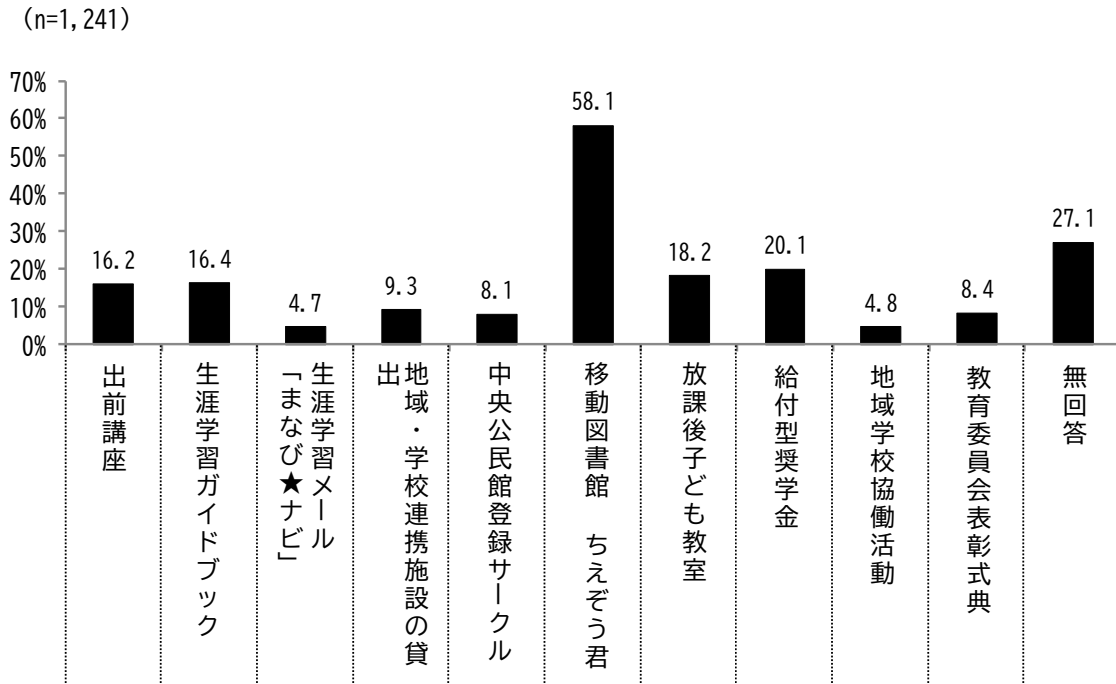
		(%)									
多くの人が地域や社会での活動に参加するようになるために必要なこと	対象	全体（n）	地域での活動に関する情報提供	活動への参加につながるきっかけづくり	コーディネーターなどの人的体制や活動の拠点となる場	活動の成果が社会的に評価されること	活動に必要な経費の支援	その他	特にない	わからない	無回答
		沖縄市	1,241	53.3	52.0	15.1	14.8	30.5	2.3	4.8	13.4
地域活動への参加者を増やすために必要なこと			地域や社会での活動に関する情報提供	地域や社会での活動に関する催しや講座の開催	コーディネーターなどの人的体制や活動の拠点となる場を整えること	活動の成果が社会的に評価されること	交通費などの必要経費の支援	その他	特にない	無回答	
		全国	1,557	50.4	47.4	25.2	24.5	32.8	3.7	9.4	1.5

出典：内閣府世論調査「生涯学習に関する世論調査」（令和4年7月調査）

(10) 沖縄市教育委員会の取組の認知度（複数選択）（問 19）

- 沖縄市教育委員会が実施している取組の認知度では、「移動図書館 ちえぞう君」が58.1%で最も高く、次いで「給付型奨学金」が20.1%、「放課後子ども教室」が18.2%となっている。
- 年代別でみると、「出前講座」では、40代・50代、「生涯学習ガイドブック」では60代以上で上位となっている。「給付型奨学金」では、20代が30.8%に対し70代以上では13.7%と17.1ポイント低くなっている。

図表 6 - 66 沖縄市教育委員会の取組の認知度



図表 6 - 67 沖縄市教育委員会の取組の認知度（年代別）

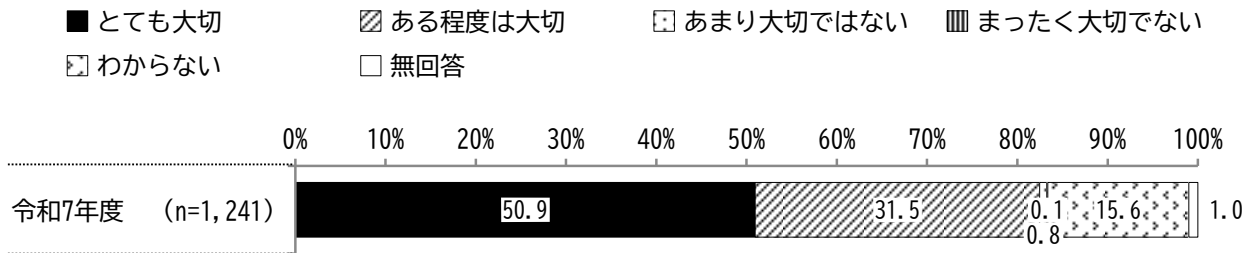
		全体 (n)	出前講座	生涯学習ガイドブック	「まなび★ナビ」	生涯学習メール	地域・学校連携施設の貸出	中央公民館登録サークル	移動図書館 ちえぞう君	放課後子ども教室	給付型奨学金	地域学校協働活動	教育委員会表彰式典	無回答 (%)
令和7年度		1,241	16.2	16.4	4.7	9.3	8.1	58.1	18.2	20.1	4.8	8.4	27.1	
年代	20代	133	6.8	8.3	1.5	9.0	3.0	60.9	18.0	30.8	5.3	4.5	21.8	
	30代	202	16.3	14.4	5.0	11.9	4.5	54.0	17.8	19.8	4.5	6.4	28.7	
	40代	243	22.2	20.2	7.0	11.9	8.2	62.1	25.5	21.8	4.1	7.8	23.0	
	50代	288	18.8	16.0	5.6	8.3	8.7	56.3	18.1	20.1	6.3	9.0	26.7	
	60代	241	14.9	17.8	4.1	8.3	11.2	60.6	12.4	16.2	4.6	10.0	26.6	
	70代以上	131	11.5	19.1	2.3	4.6	12.2	55.0	16.8	13.7	3.8	12.2	37.4	

6. 文化財に関すること

(1) 文化財の保存・活用（複数選択）（問20）

- 沖縄市内の文化財を保存・活用していく取組に対しては、「とても大切」が50.9%で最も高く、次いで「ある程度は大切」が31.5%となっている。「わからない」が15.6%、「まったく大切でない」は0.1%となっている。
- 年代別でみると、「とても大切」で、60代が56.0%に対し30代では46.0%と10.0ポイントの差となっている。

図表6-68 文化財の保存・活用



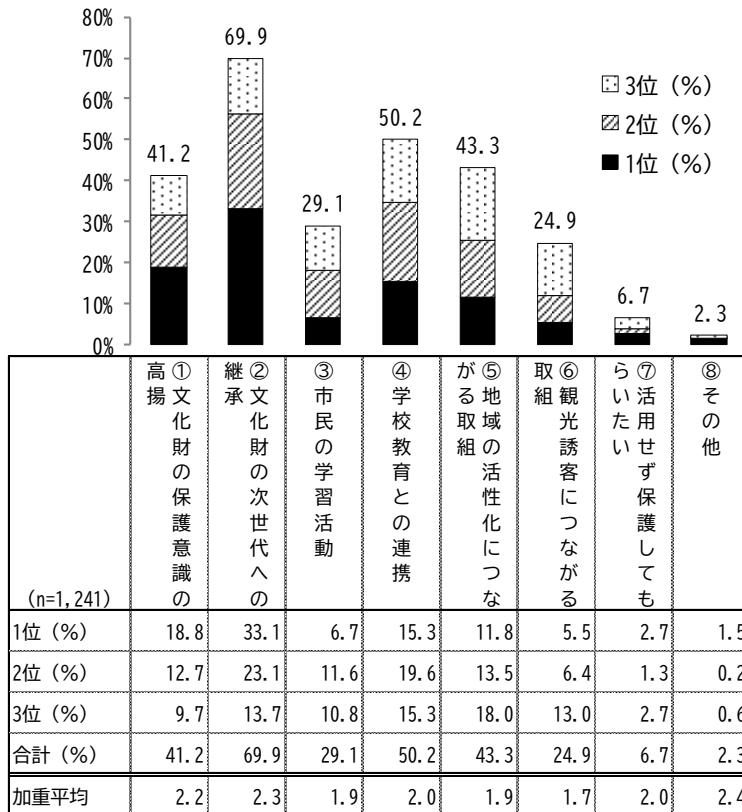
図表6-69 文化財の保存・活用（年代別）

		全体 (n)	とても大切	ある程度は大切	あまり大切ではない	まったく大切でない	わからない	無回答
令和7年度		1,241	50.9	31.5	0.8	0.1	15.6	1.0
年代	20代	133	48.9	27.8	0.8	-	20.3	2.3
	30代	202	46.0	32.2	2.0	-	19.8	-
	40代	243	46.9	33.7	2.1	-	16.9	0.4
	50代	288	53.8	33.0	-	-	12.2	1.0
	60代	241	56.0	29.9	-	-	13.3	0.8
	70代以上	131	52.7	30.5	-	0.8	14.5	1.5

(2) 文化財の活用方法（1位～3位を選択）（問21）

- 沖縄市の文化財をどのように活用することを望むかの1位～3位の合計比率では、「②文化財の次世代への継承」が69.9%で最も高く、次いで「④学校教育との連携」が50.2%、「⑤地域の活性化につながる取組」が43.3%となっている。「⑦活用せずに保護してもらいたい」は6.7%となっている。
- 年代別でみると、「④学校教育との連携」で、30代が62.9%に対し70代以上では38.9%と24.0ポイントの差となっている。
- 「その他」では、「まずは文化財の情報提供から」「文化財の研究」などがあつた。

図表6-70 文化財の活用方法



図表6-71 文化財の活用方法（年代別）

		全体 (n)	文化財の保護意識の高揚	文化財の次世代への継承	市民の学習活動	学校教育との連携	地域の活性化につながる取組	観光誘客につながる取組	活用せずに保護してもらいたい	その他	(%) 回答
令和7年度		1,241	41.2	69.9	29.1	50.2	43.3	24.9	6.7	2.3	4.6
年代	20代	133	36.8	63.2	29.3	60.2	48.1	26.3	9.8	3.0	3.8
	30代	202	34.2	69.8	34.7	62.9	46.0	29.2	6.9	0.5	1.5
	40代	243	38.7	69.5	31.7	58.0	41.6	23.0	8.2	2.9	1.6
	50代	288	44.4	71.5	27.8	42.7	44.8	26.7	6.3	2.1	4.5
	60代	241	44.8	73.4	22.8	41.9	41.9	22.8	6.2	2.9	5.8
	70代以上	131	48.1	68.7	30.5	38.9	38.2	20.6	2.3	1.5	12.2

7. 自由意見（市民）

(1) 沖縄市の生涯学習や学校教育に関するご意見（問25）

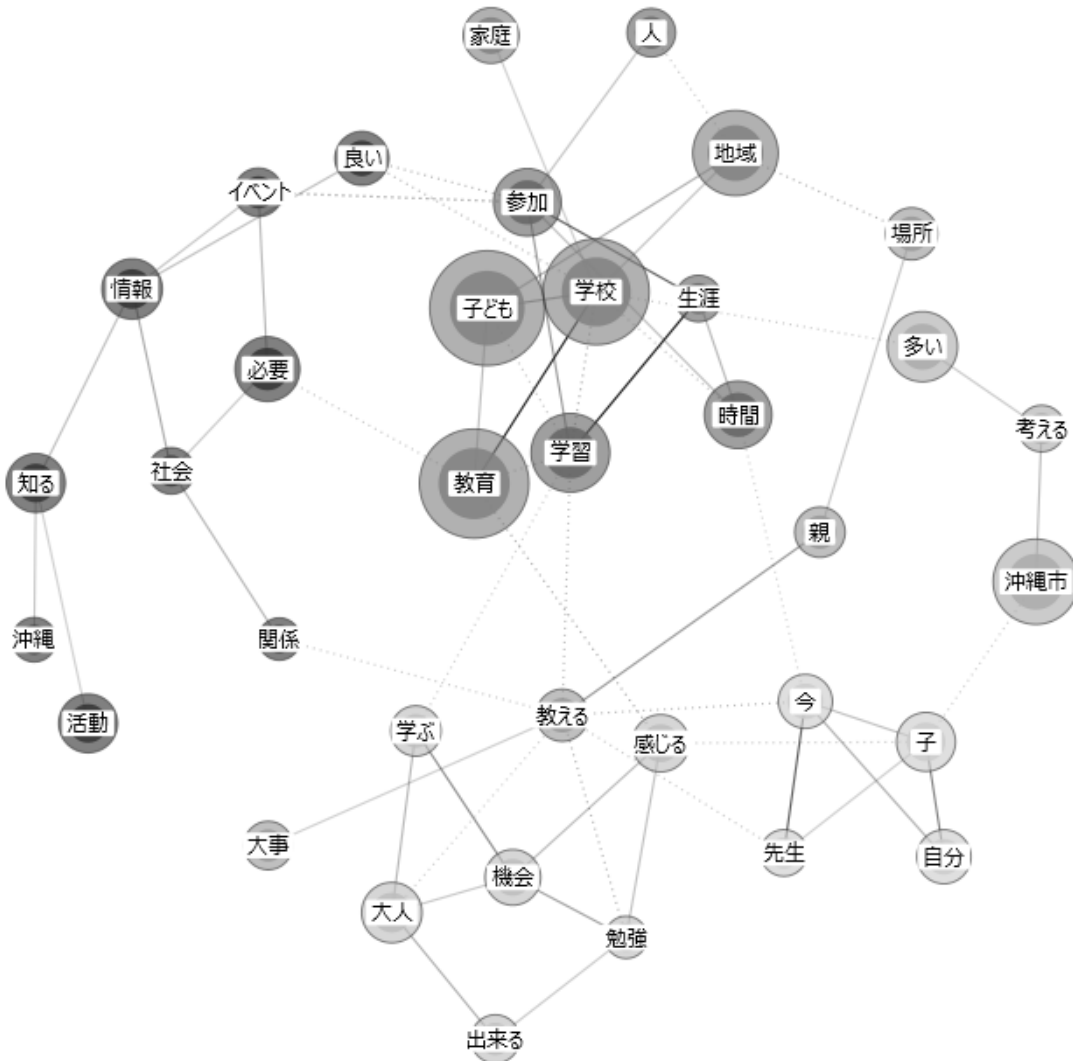
<テキストマイニングによる共起ネットワーク>

沖縄市の生涯学習や学校教育に関する自由記述回答の頻出単語を図のように整理した。

【特徴となるポイント】

- 「子ども」「学校」「教育」と、「地域」「参加」「家庭」といった語が接続しており、こどもの教育と地域、家庭の関わり合いについて言及されていることが推察される。
- 「情報」「イベント」「知る」「活動」といった語が接続しており、市民の「イベント」や「活動」への「参加」と「情報」を「知る」ことの密接な関係性が示唆されている。
- 「機会」を起点に、「学ぶ」「大人」「勉強」といった語が接続しており、大人が勉強したり、学べる機会に対する言及が一定数されていることが推察される。

図表6-72 自由意見（共起ネットワーク）

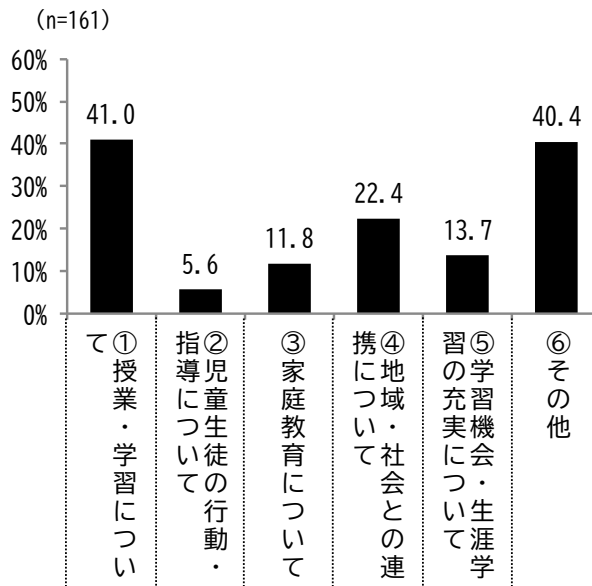


※出現回数の多い語ほど、大きい円で表示している
 ※円の距離が近いほど、その単語同士が近い抽出語彙を示す
 ※円と円を結ぶ線については、共起の強弱を表し、関連が強い語と語を結ぶほど濃くなる

<カテゴリ分類>

- 回答があった161件の内容を以下の6項目に分類し、主な意見の一部を掲載している。

図表6-73 自由意見（カテゴリ分類）



※1件の中に複数のカテゴリにまたがる回答もあるため、件数は161件より多く、割合の合計は100%を超えている。

カテゴリ	件数	主な意見（原則、原文を掲載）
①学校教育・学習について	66	沖縄の歴史についての教育に力を入れてほしい。
		学校の先生方の負担（書類作業、業務的な）をへらし、もう少し保護者と連携を取れる余裕を作してほしい。保護者が学校に歩みよろうとしても、みなさんとても忙しそう。負担をへらすため…と学校の電話を夕方につながらなくするとかはちがう。働き方改革がちがう方向にいていませんか？今後の学校教育に不安あります…。
		今後出来る子と出来ない子の格差が拡大していくことが予想される中、沖縄市教育委員会に危機意識が感じられない。このまま行けば世の中の変化について行けず、取り残される若者が増えていくことは避けられない。どこに本質的な問題・課題があるのか、どうすれば解決できるのか、真剣に問い、問題・課題解決に向けた取り組みを行って頂きたい。
②児童生徒の行動・指導について	9	不登校の子供達が多くなっているようなので、学校に行きやすくなるように、子供によりそって、地域も協力してほしい。
		不登校生徒のケア、いじめ撲滅、他校との喧嘩などの防止、薬物に対する教育。
③家庭教育について	19	家庭内でのしつけやマナーをしっかり、教えて初めて、教育や学習が、よい方向にいくと思う。まずは、親が見本になるように心がけたい。
		大人こそ勉強しない。大人が勉強出来る場所や機会を増やす。勉強している大人がいれば手本になり子供は勉強しよう学ぼうとするとおもいます。家庭の事情で学ぶきっかけや意欲を保つ事が難しい場合にも恥じることはないと思え伝え、そういう子供にこそスポットをあて学ぶ大切さを感じさせてあげたい。そのために税金を使っていたきたい。

カテゴリ	件数	主な意見（原則、原文を掲載）
④地域・社会との連携について	36	学校、地域、家庭のつながりが希薄になってきている昨今。地域の場である”公民館”を拠点としたいろいろな世代が集う機会を増やすことにより、防犯、防災（減災）、高齢者の見守り、子どもの居場所になり、そこから学習や体験へと発展させていくことで地域のもりあがりや、市民の生活の向上、ゆたかさにつながると考えている。行政はその地域に対する支援が主も急務ではないか？イベントや観光やの投資よりも…。
		地域の環境保全について、通学路や街路の落葉拾いや、清掃等したいが一緒にやってくれる仲間がいないので、ひとりで活動しにくい。又、車の往来が多く友だちに呼びかけて一緒にやった時、万一、事故に巻き込まれたりしたら、迷惑をかけると気になって、声かけが出来ない。地域の自治体で、グループ作りが、できれば参加したい。
⑤学習機会・生涯学習の充実について	22	一部の人だけの生涯学習や学校教育ではだめで、多くの人が自然に参加できる仕組み作りが必要と思います。これだけ情報社会になってスマホは誰でも持っている時代、うまく活用できればより良い生涯学習や学校教育ができるのではないかと思います。
		生涯学習について、公民館においての学習活動を活発にしてほしい。
⑥その他	65	簡単に短時間のボランティア等、自分の空いた時間に参加したいので、気軽にできるボランティアの情報発信をしてほしい(長時間だと自分の時間が拘束されるので短時間だと参加しやすい)。
		社会にでて、役に立つ知識を多く教えてほしい。 例 ・ゴミをポイ捨てしない → なぜ捨ててはいけないか？ ・挨拶の大切さ → なぜ大事か？ ・人間関係を良好に保つにはどうすればいいか？ ・メンタルの安定する思考や行動…など

第7章 調査結果のまとめと本市の課題

1. 調査結果のまとめ

(1) こどもたちへの教育

学校生活の根幹となる学校生活の楽しさについて、小学6年生では、令和2年度調査と比較し5.8%減少しているものの、楽しい（とても楽しい+楽しい）との回答が85.4%となっている。中学3年生は83.7%で、令和2年度調査と大きな差はみられない。

学習面では、自己肯定感と授業への適応状況・主体的な取組に相関が見られ、自己肯定感（自分はやればできると思う）が低い層では、自分の考えを発表する、分からないときに先生に質問をするといった主体的な行動の頻度が低くなっている。

学習意欲や学力の向上を図るため、心理的安全性が確保された学習環境の整備や自己肯定感を高める取組が必要である。

体験活動では、動物や植物などの自然教室、ものづくりへの参加経験が、令和2年度調査と比較して、小学6年生、中学3年生ともに約3割減少しており、体験活動の経験が特にないという回答は約2割となっている。教員においても、自然や伝統文化などの体験活動への不満（あまり満足していない+まったく満足していない）が45.5%となっている。

体験活動は、豊かな人間性、生きる力の基盤、子どもの成長の糧としての役割が期待され、ヒト・モノや実社会に実際に触れ、かかわり合う「直接体験」が重視されなければならないとされていることから、学校、家庭、地域の連携による取組の充実が求められる。

将来の夢や目標がある、将来つきたい職業があると回答した小学6年生が7割以上、中学3年生が6割～7割いる一方で、自分の将来に希望を持っているかとの問に、小学6年生の30.2%、中学3年生の29.3%が、あてはまらない、まったく当てはまらないと回答しており、約3割が将来に希望を持っていない状況が見られる。

また、学校における将来の進路や職業について考えさせる取組の重要度は、小中学生保護者、教員とも9割を超えており、満足度については、小学6年生保護者で62.6%、中学3年生保護者で67.3%、教員では70.0%と、やや低くなっていることから、引き続きキャリア教育等に取り組むことが求められている。

小学6年生で70.6%、中学3年生では89.8%が、自分専用のスマートフォンを保有しており、中学生の9割が、ほぼ毎日、勉強以外でインターネットやSNSを利用している。

インターネットやSNSで嫌な思いをしたことがある割合は、小学6年生が10.8%、中学3年生が7.8%となっており、その対処について、小学6年生で28.8%、中学3年生で31.3%が、何もしなかったと回答している。

また、こどもの教育で困っていることとして、スマートフォンやインターネット、ゲーム機などの使い方は、小学6年生保護者で2番目に高い35.5%、中学3年生保護者で3番目に高い25.2%と

なっており、トラブルに直面した際の孤立化・深刻化が懸念されることから、デジタルツール・情報の扱い方や、リスク等に関する知識を身につけさせる必要がある。

(2) 学校教育

学校での指導や取組について、一人ひとりの学力や興味に応じた指導への不満（あまり満足していない+まったく満足していない）が、小学6年生保護者で32.9%、中学3年生保護者では49.4%と満足度が低く、重要度は、小学6年生保護者で90.5%、中学3年生保護者で87.5%と高くなっていることから、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な取組を充実していく必要がある。

学校に対する要望としては、学校でのこどもの様子を保護者に伝えることが最も高く、小学6年生保護者で59.2%、中学3年生保護者で54.9%となっている。保護者が気軽に質問したり相談したりできるようにすることについても、小学6年生保護者で43.4%、中学3年生保護者で50.7%となっており、こどものことに関して、学校との対話の機会等が求められている。

学校関連費用で負担を感じているものについて、小学6年生保護者では、教材費が43.1%、給食費が39.3%、中学3年生保護者では、学校外での習い事の費用が51.1%、修学旅行などの宿泊学習費が44.3%、給食費が34.3%となっている。給食費については、令和2年度調査と比較して、小学6年生保護者で19.3ポイント、中学3年生保護者で14.6ポイント増加している。

また、こどもの学校生活に必要なものの用意ができなかった経験があるという回答は、小学6年生保護者で11.9%、中学3年生保護者で14.4%と比較的少ないものの、その要因が経済的な理由で8割を超えていることから、就学援助などの経済的な支援策は引き続き実施していく必要がある。

学校教育活動に対する教員の満足度では、学校の施設・設備による学習環境の充実について、重要度が96.0%と高いものの、46.1%が不満（あまり満足していない+まったく満足していない）と感じており、教育活動への影響が懸念される。

(3) 教員

児童生徒の学習意欲の向上のために教員の工夫が求められていると思うこととしては、楽しく、分かりやすい授業をすることが44.3%、学習意欲を高め、学ぶ楽しさを実感できる工夫をすることが43.9%となっており、学習指導において特に重点的に力を入れていこうと考えるものとしては、基礎的・基本的な知識・技能の習得が81.6%で最も高くなっていることから、求められていることに対応できるよう、教員としての資質向上に意欲的に取り組んでいると考えられる。

今後、学校で取り組まなければならないこととしては、教員が教務に集中できるような体制づくりが48.2%で最も高く、授業準備や教材研究の時間の確保が38.6%となっており、本来の教務以外の取組に時間を割いている現状が伺われる。

また、職務において特に負担を感じることとしては、保護者対応が64.0%、生徒指導と事務・報告書作成が52.0%となっており、多様化する保護者ニーズや複雑化する児童・生徒への対応などに

対し、精神的・時間的な負担を感じていると考えられ、働き方改革等による負担軽減を図る必要がある。

児童・生徒に対して取り組まなければならないと思うことでは、感情や欲求のコントロールが53.2%、公共のルールや決まりの順守が45.7%となっている。

教育に関して課題だと感じていることでは、こどもたちの道徳心や規範意識等が58.2%で最も高く、こどもたちの学力47.2%より高くなっている。

また、家庭や地域に関わってほしいこととしては、ルールやマナーを教えることが83.0%で最も高くなっていることから、学校教育のみならず、家庭や地域が一体となって、こどもたちに倫理観や社会性等を身につけさせていくことが必要だと感じていることが伺われる。

(4) 家庭教育

家庭教育においては、家庭学習を促したり、学習の仕方についてアドバイスをするなどのサポートをおこなっているものの、こどもの学習意欲があまりないことが課題としてあげられ、小学6年生保護者で40.3%、中学3年生保護者で34.8%と、最も高くなっており、家庭学習の動機付け等に工夫が求められる。

(5) 学校と家庭、地域の連携

児童・生徒に能力や態度を身につけさせる場について、保護者、教員、市民ともに、学校教育においては基礎的な学力などの学習面、家庭や地域等においては基本的な生活習慣や善悪を判断する力などの割合が高く、他者を思いやる心については、学校教育、家庭や地域等のいずれでも約9割となっている。

音楽・美術など芸術面の能力や情操、郷土や国を愛する心については、学校教育・家庭や地域等のどちらでも比較的必要性が低くなっており、希望する児童生徒に対しては、有資格者や専門的な機関・団体などの関わりが必要と思われる。

学校の取組や活動への協力については、学級の保護者会、懇談会への出席が、小学6年生保護者・中学3年生保護者ともに約45%、草刈りや花壇の手入れなど学校の環境整備に関わる活動が約30%となっている。中学3年生保護者においては、部活動などの指導や運営が14.4%で、令和2年度調査の48.3%から33.9ポイント減少している。

地域の役割として取り組んでほしいこととしては、地域のこどもへのあいさつや声かけ等による見守りが小学6年生保護者で55.7%、中学3年生保護者で48.1%と最も高く、次に通学路の安全を見守る活動が、それぞれ46.2%、36.8%となっている。クラブ活動・部活動の運営や協力は、中学3年生保護者で23.4%となっている。

また、市民が、協力や参加をしたいと思う活動においても、地域のこどもへのあいさつや声かけ等による見守りが40.8%で最も高く、通学路の安全を見守る活動が28.8%、学校や学校周辺の美化・清掃活動が24.2%となっている。

保護者の求める取組と市民の参加意向の高い取組が同じ傾向にあることから、学校内については保護者、学校外においては地域住民が主な担い手となって、地域全体で子どもを見守る安全・安心な環境づくりが求められていると言える。

市民が、学校・家庭・地域が連携して取り組むために必要だと思うことでは、児童生徒の防犯や交通安全などに連携して取り組むことが 45.9%で最も高く、児童生徒を地域行事に参加させることが 39.6%、伝統や文化に関する体験活動などに連携して取り組むことが 38.8%となっており、地域行事や体験活動への参加を通して、子どもたちの社会性や郷土愛を育みながら、見守りや地域全体の教育力の向上を図ることが求められている。

(6) 社会教育・生涯学習

現在の自主的な学習活動の実施率は 33.0%で、趣味や教養に関することが 52.3%、資格取得や仕事上の知識・技能に関することが 43.2%などとなっており、令和2年度調査と同様の状況となっている。

学習活動の主な場所としては、自宅が 65.8%で最も高く、民間施設が 23.0%となっている。学習活動の活性化のために充実が求められている取組として、いつでも気軽に利用できる場所が 58.6%で最も高く、講座や教室、講演会などの開催が 34.7%、施設や設備、資料、貸出物品等の充実が 27.0%となっており、学習活動の場や機会等の提供に取り組む必要がある。

学習活動で得た知識や技術について、仕事や就職で生かしている・生かしたいという割合は 46.6%で、令和2年度調査の 32.7%より 13.9 ポイント増加しており、今後取り組みたい学習活動においても、資格取得や仕事上の知識・技能に関することが 44.7%で2番目に高くなっていることから、趣味や生きがいでだけでなく、キャリアアップや自己研鑽につながる専門的知識やスキルを習得できる学習活動の機会も求められている。

学習活動をおこなっていない理由として、忙しくて時間がない、他に優先したいことがあるに次いで、きっかけがつかめないが 20.4%で3番目に高くなっており、きっかけがあれば学習活動ができる層であると捉えられ、市民に対してのきっかけづくりに取り組むことで、学習活動の実施率向上が期待できる。

また、生涯学習の情報発信としておこなっている生涯学習ガイドブックの認知度は 16.4%、生涯学習メール「まなび★ナビ」は 4.7%と低く、情報がない、情報の入手方法が分からないという回答は 15.4%となっていることから、市民のライフスタイルやニーズを踏まえた広報手段や情報提供のあり方を改善していく必要がある。

社会教育施設である中央公民館に期待することとしては、放課後の子どもの居場所が 30.1%で最も高く、30代前後の子育て世代からの期待が高い。次に講座・教室等の内容充実が 29.0%となっており、講座や講演会などの形式では、対面形式が 47.0%、オンライン形式の録画配信が 29.7%となっていることから、市民ニーズを捉えた講座等の開催充実のほか、子どもたちが安心安全に過ごせる場所としての機能も検討していく必要がある。

市立図書館に期待することでは、図書資料等の充実が 34.9%で最も高く、学習室(自習室)の拡張が 22.5%となっており、引き続き図書資料の整備に取り組むとともに、施設・設備の充実も検討していく必要がある。

市立郷土博物館に期待することとしては、子どもたちの体験学習の機会の提供が 28.2%、親子で楽しめる機会の充実が 20.4%となっており、文化財の活用については、次世代への継承が 69.9%、学校教育との連携が 50.2%となっていることから、子どもを対象とした企画や展示の充実が求められている。

また、利用したことがないのでわからないが 42.5%となっていることから、施設の周知・広報の強化にも取り組む必要がある。

市民の学習活動のきっかけづくりや体験の機会として開催している生涯学習フェスティバルについては、59.7%が知らないと回答しており、参加したいと思わせる取組としては、体験コーナーの充実が 40.7%、地域の伝統芸能等の紹介や体験の機会をつくるのが 22.4%、展示コーナーの充実が 20.1%となっていることから、周知・広報の強化、開催内容の拡充や新たな取組を実施していく必要がある。

(7) 地域活動

ボランティア活動や地域活動については、参加したことがない割合が 81.1%と高くなっている。

地域活動への参加者を増やすために必要なこととしては、地域での活動に関する情報提供が 53.3%、活動への参加につながるきっかけづくりが 52.0%と高くなっており、市民と地域活動をつなぐための情報発信や機会の提供などに工夫が必要である。

2. 本市の教育に関する主な課題

(1) 自己肯定感や学習意欲の向上

自己肯定感が低い児童・生徒で、授業の理解や主体的な学習行動の頻度が低い傾向が見られることから、心理的安全性が確保された学習環境の整備や自己肯定感を高める取組が必要である。

(2) キャリア教育や個別最適な学びの充実

将来に希望を持っていない児童・生徒が約3割となっていること、進路や職業に関する取組の重要度は保護者・教員ともに9割を超えている反面、保護者の満足度が低い状況を踏まえ、実効性のあるキャリア教育の充実を図る必要がある。

また、一人ひとりの学力や興味に応じた指導への満足度が低く、重要度は高くなっていることから、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な取組を充実していく必要がある。

(3) リテラシー教育の強化

スマートフォン所有率や利用頻度が高いなか、トラブル等の発生時に何もしなかった児童・生徒が一定数おり、トラブルに直面した際の孤立化・深刻化が懸念される。保護者の困りごととしてインターネット等の使い方を挙げている割合も多いことから、デジタルツールの使い方や情報を適切に理解し、安全に活用する力を身につけさせる必要がある。

(4) 教員の職務環境

本来の教務以外の取組に時間を割いている現状や、多様化する保護者ニーズや複雑化する児童・生徒への対応などに対し、精神的・時間的な負担を感じている状況が伺われることから、働き方改革等による職務環境の向上を図る必要がある。

(5) 学校と家庭、地域の連携

保護者や教員が地域に求める取組と市民の活動への参加意向を踏まえ、地域全体の教育力の向上を図り、安全・安心な環境づくりや学校・家庭・地域の連携によるさまざまな取組の充実が求められている。

(6) 市民ニーズを踏まえた学習機会等の提供

学習活動のきっかけづくりや、学習の場や機会の提供、学習情報の発信など、市民のニーズに対応できていない現状を踏まえ、取組の拡充や手法を検討し実施していく必要がある。

(7) 社会教育施設の充実

中央公民館、市立図書館、市立郷土博物館の各施設における現状の取組の更なる充実が期待されている一方で、施設の認知度や利用状況が低い状況もあることから、広報・周知の強化も必要である。

Ⅲ 資料編

1. 小学6年生の調査票

小学6年生用

おきなわし きょういく かん ちようさ
沖縄市の教育に関するアンケート調査

これからの学校生活を良くしていくために、皆さんの意見を聞く大切なアンケートです。

- アンケートには、お知らせをもらった本人がお答えください。
- 正しい答えや、まちがった答えはありません。自分の考えにあてはまる答えを選んでください。
- 答えを1つだけ選ぶ質問と、いくつも選んでよい質問があります。また、あてはまる数字や、あなたの考えを記入する質問があります。質問文をよく読んでください。
- アンケートには名前を書かないので、あなたがどのように答えたかは誰にもわかりません。

1. アンケートの提出のしめ切り

2025年12月16日(火)まで

クラスの担任の先生にわたしてください。

2. アンケートでわからないことがある時

わからないことがある時は、下の電話番号をお父さんやお母さんに教えて質問してください。

調査委託先：株式会社サーベイリサーチセンター沖縄事務所

フリーダイヤル：0120-656-652 (月～金：10時-17時)

**** 次のページからのアンケートにご回答ください ****

本資料は、調査票の選択肢に集計結果を記入したものです。数値は原則として小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

F1 あなたが通っている学校名を選んでください。(学校名に○)

5.0 コザ小学校	5.7 安慶田小学校	3.8 越来小学校
7.2 宮里小学校	4.5 高原小学校	4.9 山内小学校
2.1 室川小学校	6.1 諸見小学校	8.0 中の町小学校
2.8 島袋小学校	10.1 比屋根小学校	3.7 美原小学校
9.4 美東小学校	13.2 美里小学校	5.1 泡瀬小学校
8.3 北美小学校		

問1 あなたの性別を教えてください。(どちらか1つに○)

43.7 男	54.0 女	1.8 答えたくない
--------	--------	------------

問2 あなたと一緒に住んでいる人を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

79.4 父親	96.0 母親
85.0 兄弟姉妹	14.7 祖父母
2.3 親せき	0.9 その他()

問3 あなたは、1日3食ごはんを食べていますか。(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

	毎日食べる	学校がある日だけ食べる	決まっていない
朝食	79.5	8.9	11.3
昼食(給食)	91.8	4.6	3.2
夕食	96.5	0.4	2.7

問4 あなたは、平日(学校のある日)の夜は、何時に寝ていますか。(あてはまるもの1つに○)

4.8 午後9時より前	39.0 午後9時から10時までの間
38.6 午後10時から11時までの間	12.5 午後11時から午前0時までの間
4.9 午前0時より後	

問5 あなたは、次の授業や授業以外のことが、どれくらい楽しいと思いますか。
 (それぞれ、あてはまるもの1つに○)

	たの とても楽しい	たの やや楽しい	あまり たの 楽しくない	まったく たの 楽しくない
こくご 国語	22.5	52.5	18.4	5.8
しゃかい 社会	35.7	43.6	15.5	4.9
さんすう 算数	29.8	36.7	22.7	9.7
りか 理科	37.6	39.2	16.0	6.1
おんがく 音楽	35.7	39.0	17.3	7.2
ず が こうさく 図画工作	52.6	30.1	11.1	5.0
かてい 家庭	44.0	35.8	14.3	4.8
たいいく 体育	54.6	27.5	11.0	6.1
がいこくご 外国語	25.3	41.0	22.3	10.5
どうとく 道徳	32.0	41.7	17.2	7.8
がっさゆうかつどう がっかつ 学級活動(学活)	42.4	43.1	10.0	3.7
そうごうてき がくしゅう じかん 総合的な学習の時間	43.2	41.5	10.1	3.9
じゅぎょう ないよう 授業の内容	31.7	49.6	12.9	4.4
じどうかい いいんかい かつどう 児童会(委員会)活動	46.7	33.6	13.3	5.0
がっこうぎょうじ えんそく うんどうかい 学校行事(遠足や運動会など)	76.5	16.4	4.4	1.8
かつどう クラブ活動	56.4	28.3	10.5	3.9
きゅうしょく じかん 給食の時間	57.7	33.6	5.1	2.1
がっこう き 学校の決まりやルール	30.6	48.5	14.1	5.2
せんせい かんけい 先生との関係	47.3	38.9	9.5	3.0
ともだち かんけい 友達との関係	74.8	17.9	4.0	1.9
がっさゆう いいん かり 学級委員や係などの活動	47.3	39.0	8.9	3.8

Ⅲ 資料編

問6 あなたは、学校の授業で、次のことを思ったり行動したりすることが、どれくらいありますか。(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

	よくある	ときどきある	あまりない	まったくない
授業の内容がよく分かる	50.7	40.4	6.0	2.2
授業が楽しいと思う	41.8	38.9	13.6	5.0
授業の内容をもっとくわしく知りたいと思う	32.5	39.0	22.3	5.5
授業の内容がむずかしすぎと思う	17.4	39.6	25.3	16.6
授業の内容がかんたんすぎと思う	9.3	28.6	40.0	21.2
授業の進み方が早すぎと思う	8.3	23.9	39.6	27.4
授業の進み方がおそすぎと思う	8.5	17.5	40.6	32.8
タブレットを使う授業は分かりやすいと思う	52.1	34.7	9.3	3.5
自分で工夫しながら問題を解く	34.0	40.0	20.3	5.0
自分の考えを発表する	22.7	24.6	32.8	18.9
分からないときは先生に質問する	35.8	30.1	23.5	9.6
きちんとノートを書くようにしている	62.2	25.3	8.5	2.8

問7 あなたは、授業で分からないことがあるとき、どうしていますか。
(あてはまるものすべてに○)

60.0 先生に聞く	85.1 友達に聞く
29.6 家族に聞く	5.8 塾の先生や家庭教師に聞く
50.5 自分で調べる	13.9 そのままにしておく
1.6 その他()	

問8 あなたは、授業の内容や進み方で困っているときに、どんなことをしてほしいと思いますか。(特 にあてはまるもの1位から3位の番号を書きます)

- | | |
|-----------------------------|-------------------------|
| 1. わからないところを個別に教えてもらう時間がほしい | 2. 少人数の授業やグループ学習の機会がほしい |
| 3. 補習や放課後の学習の時間を作ってほしい | 4. もっとゆっくり授業を進めてほしい |
| 5. 先生に「ここがむずかしい」と聞きやすくしてほしい | 6. くわしく書いてあるプリントがほしい |
| 7. その他() | |

1位	2位	3位

	1位	2位	3位
1. わからないところを個別に教えてもらう時間がほしい	19.7	16.3	13.5
2. 少人数の授業やグループ学習の機会がほしい	33.3	19.4	12.9
3. 補習や放課後の学習の時間を作ってほしい	3.0	4.8	8.9
4. もっとゆっくり授業を進めてほしい	7.7	10.8	12.2
5. 先生に「ここがむずかしい」と聞きやすくしてほしい	12.2	18.1	15.8
6. くわしく書いてあるプリントがほしい	19.6	19.7	19.1
7. その他()	1.7	1.9	1.9

問9 あなたは、学校に行くことが楽しいですか。(あてはまるもの1つに○)

46.7 とても楽しい	38.7 楽しい	10.5 あまり楽しくない	3.7 まったく楽しくない
-------------	----------	---------------	---------------

問10 あなたは、平日(学校のある日)に、次のことをどれくらいしていますか。

(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

	3時間以上	2時間以上 3時間より すく 少ない	1時間以上 2時間より すく 少ない	1時間より すく 少ない	まったく ない
勉強をする(家庭学習)	7.3	6.1	28.5	44.2	13.2
読書をする (マンガや雑誌は読まない)	2.7	3.5	9.0	30.1	53.7
マンガや雑誌を読む	4.4	5.1	12.7	25.2	51.5
テレビやビデオ(DVD)、YouTube などの動画を見る	32.5	22.3	25.7	14.5	4.1
YouTubeやSNSで動画を作成する	4.4	2.6	7.2	15.5	69.7
インターネットやスマートフォンなどで ゲームをする	26.7	16.7	21.0	20.5	14.4
スマートフォン(携帯電話)で話をしたり、 メールやラインのやりとりをする	13.9	8.6	17.1	33.1	26.4
友達と遊ぶ	31.4	22.2	18.1	10.0	17.8
学習塾に行く(そろばん塾含む)	7.3	4.9	8.6	3.3	74.1
習いごとに行く	15.0	10.5	16.1	8.2	49.0
野球、サッカーなど、地域のチームで スポーツをする	18.6	8.9	3.9	3.0	64.8
子ども会や地域の行事、エイサーなどに 参加する	4.0	2.2	4.4	6.8	81.7
公園や運動施設(コザ運動公園、県総合 運動公園など)に行く	10.2	8.4	12.5	18.0	49.5
学校でクラブ活動をする	9.1	4.4	21.1	34.6	29.6
児童館や学童クラブなどに行く	5.6	3.9	4.6	7.6	77.1
図書館や郷土博物館、沖縄こどもの国に 行く	5.0	5.2	7.8	12.8	67.7
家の手伝いをする(洗濯、掃除、料理、 片付けなど)	7.3	9.5	18.8	48.2	15.0
父母・祖母などの家族の介護・看病や きょうだいの世話をする	5.5	4.0	9.1	15.2	64.6

問11 あなたは、休日(学校のない日)に、次のことをどれくらいしていますか。
(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

	3時間以上	2時間以上 3時間より 少ない	1時間以上 2時間より 少ない	1時間より 少ない	まったく ない
勉強をする(家庭学習)	6.7	4.6	19.4	41.7	26.4
読書をする (マンガや雑誌は読まない)	3.4	3.4	6.1	21.0	64.8
マンガや雑誌を読む	6.1	5.5	10.5	18.5	56.9
テレビやビデオ(DVD)、ユーチューブ などの動画を見る	41.7	20.3	21.0	11.0	4.6
ユーチューブやSNSで動画を作成する	6.2	3.7	6.9	12.2	69.4
インターネットやスマートフォンなどで ゲームをする	34.5	15.3	18.8	16.2	13.8
スマートフォン(携帯電話)で話をしたり、 メールやラインのやりとりをする	16.0	9.9	15.7	30.3	26.8
友達と遊ぶ	38.0	11.8	10.7	12.2	25.8
学習塾に行く(そろばん塾含む)	6.7	2.6	3.7	1.9	83.7
習いごとに行く	16.9	4.9	7.9	5.7	63.1
野球、サッカーなど、地域のチームで スポーツをする	21.8	5.4	2.8	2.8	65.4
子ども会や地域の行事、エイサーなどに 参加する	3.7	2.1	2.9	6.0	83.6
公園や運動施設(コザ運動公園、県総合 運動公園など)に行く	12.1	9.1	12.8	14.1	50.2
学校でクラブ活動をする	6.8	1.9	5.8	9.1	74.8
児童館や学童クラブなどに行く	5.2	1.8	2.4	4.3	84.2
図書館や郷土博物館、沖縄こどもの国に 行く	5.5	6.0	10.0	13.3	63.7
家の手伝いをする(洗濯、掃除、料理、 片付けなど)	8.9	11.3	17.3	42.6	18.5
父母・祖父母などの家族の介護・看病や きょうだいの世話をする	5.8	5.4	6.6	15.3	64.6

問12 ^{つぎ} 次のことは、あなたにどれくらいあてはまりますか。
(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

	とてもあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
じぶん 自分はやればできると思う	41.7	43.0	10.7	4.0
じぶん 自分には良いところがあると思う	42.5	38.6	11.8	6.1
じぶん 自分の考えや思いをはっきりと言うことができる	25.5	31.7	30.3	11.6
がっこう 学校では、自分の良いところを発揮する場面がある	29.6	35.8	24.1	9.3
じぶん 自分は今幸せである	55.1	31.2	8.8	3.2
がっこう 学校で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	63.9	25.6	6.1	2.8
じぶん 自分と違う考えを持つ人の話も聞こうと思う	53.8	33.7	7.8	3.2
いろいろな個性や特徴を持つ人がいることは良いことだと思う	76.5	18.1	2.6	1.3
こま 困っている人がいたら、進んで助けたいと思う	58.7	31.5	6.3	1.7
いじめられたり、いじめを見たりしたときに、先生や家族、友達などに相談することができる	48.4	31.4	12.2	6.9
じぶん 自分が住んでいるまちが好き	58.2	29.8	6.9	3.2
こども会や地域の行事、お祭り、エイサーなどに参加する	20.6	17.1	19.0	41.9

問13 ^{しょうらい} 将来の夢や^{しよくぎよう} 職業について、^{つぎ} 次のことは、あなたにどれくらいあてはまりますか。
(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

	とてもあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
しょうらい 将来の夢や目標がある	54.1	24.0	12.8	7.7
しょうらい 将来つきたい職業がある	53.3	21.4	13.8	9.9
しょうらい 将来つきたい職業のことを家族と話している	36.2	17.9	23.5	21.1
しよくぎよう 職業について調べたり、体験したりしたことがある	23.5	22.7	24.5	27.3
じぶん 自分の将来に希望を持っている	41.0	26.9	19.2	11.0
じぶん 自分の将来に不安を感じることもある	25.6	32.6	20.1	20.1

問14 あなたは、これまでに、^{つぎ} 次のような^{たいけんかつどう} 体験活動をしたことはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

24.0 ^{のうそん} 農村での ^{しゅうかく} 収穫や ^{ぎょそん} 漁村で ^{さかなづ} 魚釣りなど	40.7 ^{しぜんたいけん} キャンプなどの自然体験
17.4 ^{こと} 異なる文化の ^{ひと} 人との ^{こうりゅう} 交流	56.2 ^{まつ} 祭りなどの ^{でんとうてき} 伝統的な ^{ぎょうじ} 行事
28.6 ボランティア	17.1 ^{どうぶつ} 動物や ^{しょくぶつ} 植物などの ^{しぜんきょうしつ} 自然教室
41.2 ^{ものづくり} ものづくり	2.4 ^た その他()
17.9 ^{とく} 特にない	

問15 あなたは、^{いま} 今、^{こま} 困っていることや^{ふあん} 不安なことはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

15.3 ^{じぶん} 自分の ^{けんこう} 健康のこと	31.9 ^{じぶん} 自分の ^{せいかく} 性格やくせのこと
38.2 ^{べんきょう} 勉強や ^{しんろ} 進路のこと	21.7 ^{ともだち} 友達のこと
3.4 ^{せんせい} 先生のこと	6.6 ^{いせい} 異性や ^{せい} 性のこと
8.0 ^{かぞく} 家族のこと	3.0 ^{ほりよく} いじめや ^{ぼうりよく} 暴力のこと
11.4 ^{かね} お金のこと	2.6 ^た その他()
35.4 ^{とく} 特に ^{こま} 困っていることや ^{ふあん} 不安はない	

問16 あなたは、^{こま} 困っていることや^{ふあん} 不安なことがあるとき、^{だれ} 誰に^{そうだん} 相談しますか。

(あてはまるものすべてに○)

64.2 ^{おや} 親	61.6 ^{ともだち} 友達
19.0 ^{きょうだいしまい} 兄弟姉妹	10.2 ^{そふぼ} 祖父母
26.4 ^{がっこう} 学校の ^{せんせい} 先生	8.6 インターネットやSNS
4.8 ^{がっこう} 学校の ^{スクールカウンセラー} スクールカウンセラー	2.6 ^{そうだん} 相談できる ^{ひと} 人がいない
1.6 ^た その他()	11.3 ^{だれ} 誰にも ^{そうだん} 相談はしない



問16-1 【問16で「10.誰にも相談はしない」に○を付けた人にお聞きします】

^{だれ} 誰にも^{そうだん} 相談はしない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

24.7 ^{だれ} 誰に ^{そうだん} 相談したらいいかわからない	43.0 ^{じぶん} 自分で ^{かいけつ} 解決したい
26.9 ^{かぞく} 家族に ^{しんぱい} 心配をかけたくない	30.1 ^{そうだん} 相談しても ^{かいけつ} 解決できないと ^{おも} 思うから
22.6 ^{そうだん} 相談したことが ^{ほか} 他の人に ^{ひと} 知られるのが ^し 心配	21.5 ^{よわ} 弱いと思われたいくない
36.6 ^{つた} うまく ^{つた} 伝えられない	19.4 ^た その他()

問17 あなた専用で使えるスマートフォンはありますか。(あてはまるもの1つに○)

70.6 ある	27.8 ない
---------	---------

問18 あなたは、普段、勉強以外でインターネットやSNSをどのくらい利用していますか。(あてはまるもの1つに○)

73.6 ほぼ毎日利用している	9.6 週に4-5日利用している
4.9 週に2-3日利用している	2.3 週に1日程度利用している
8.6 ほとんど利用していない	

→ 問18-1 【問18で「1~4」に○を付けた人にお聞きします】

あなたが、よく利用しているアプリケーションは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

60.6 LINE (ライン)	74.7 YouTube (ユーチューブ)
56.1 TikTok (ティックトック)	19.8 Instagram (インスタグラム)
7.3 X (エックス)	1.9 Facebook (フェイスブック)
51.1 オンラインゲーム	5.9 生成AI
8.9 その他()	0.7 特にない

→ 問18-2 【問18で「1~4」に○を付けた人にお聞きします】

あなたがインターネットやSNSを利用するとき、あてはまるものを選んでください。(あてはまるものすべてに○)

51.5 インターネットやSNSを利用するときのルールを家族と決めている	44.5 家族と決めたルールをきちんと守っている
22.8 インターネットやSNS上で知らない人ややりとりすることがある	44.3 インターネットやSNSの情報に正しいかどうか確かめるようにしている
10.8 インターネットやSNSを利用して、嫌な思いをしたり、危険を感じたりしたことがある	

→ 次ページへ続く

問18-3 【問18-2で「5.インターネットやSNSを利用して、嫌な思いをしたり、危険を感じたりしたことがある」に○を付けた人にお聞きします】

インターネットやSNSで嫌な経験をしたとき、あなたはどうしましたか。
(あてはまるものすべてに○)

33.8 おや かぞく そうだん 親や家族に相談した	6.3 がっこう せんせい そうだん 学校の先生に相談した
40.0 ともだち そうだん 友達に相談した	1.3 かぞく がっこう せんせい がい 家族や学校の先生以外のおとなに相談した
- けいさつ そうだん 警察に相談した	12.5 りょう 利用をやめた
11.3 た その他()	28.8 なに 何もしなかった

問19 あなたが、中学校の生活に期待すること、不安に思うことはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

<期待すること>

27.6 いろいろなせんせい おし 先生に教えてもらえる	48.5 ほか しょうがっこうしゅつしん ともだち ふ 他の小学校出身の友達が増える
43.6 ぶかつどう 部活動がある	4.6 た その他()
25.6 とく 特にない	

<不安に思うこと>

73.8 べんきょう むずか 勉強が難しくなる	43.5 しょうがっこう よりルールが厳しくなる
39.3 ともだち ぶんあん 友達ができるか不安	38.0 どんなせんせい いるかわからなくて不安
42.4 べんきょう ぶかつどう いそが 勉強や部活動で忙しくなる	4.0 た その他()
10.1 とく 特にない	

問20 あなたは、地域のおとなの人(近所の人など家族以外の人)で、親しくしている人がいますか。(あてはまるもの1つに○)

27.0 よく話をする親しいおとなの人がいる
41.4 あいさつくらいはする顔見知りのおとなの人がいる
25.8 親しくしている地域のおとなの人はいない

問21 あなたは、^{ちいき}地域のおとなの^{ひと}人に対して、^{たい}どのように^{かん}感じていますか。
 (それぞれ、あてはまるもの1つに○)

	とても ^{おも} そう思う	やや ^{おも} そう思う	あまり ^{おも} そう 思わない	まったく ^{おも} そう 思わない
じぶん ^{はなし} 自分 ^き の話をよく聞いてくれる	25.7	26.9	18.3	24.4
いっしょに ^{あそ} 遊んでくれる	16.2	18.3	23.5	37.0
いろいろな ^{けいけん} 経験をさせてくれる	20.1	19.7	20.3	34.5
じぶん ^よ 自分 ^よ の良いところをみとめてくれる	27.8	25.2	16.9	24.8
じぶん ^{おも} 自分 ^{しんけん} のことを思って、真剣にしかって くれる	19.9	20.6	21.4	32.9
こま ^{たす} 困ったときに助けてくれたり、相談 ^{そうだん} する ことができる	22.2	20.0	21.0	31.9
なに ^{ちょうせん} 何かに挑戦したいとき、応援 ^{おうえん} や支援 ^{しえん} を してくれる	26.2	23.6	16.3	27.8
じぶん ^{みまも} 自分たちを見守ってくれている	37.1	28.9	10.5	18.3
こうりゅう 交流 ^な など ^な をしたい	17.3	23.1	23.1	31.1
こうりゅう 交流 ^な など ^な をするつもりはない	16.4	19.7	23.1	35.0

問22 ^{がっこう}学校や^{べんきょう}勉強、^{ともだち}友達や^{いえ}家のことなど、^{かんが}考えていること、^{つた}伝えたいことなどを^{じゆう}自由に^か書いてください。

2. 中学3年生の調査票

中学3年生用

沖縄市の教育に関するアンケート調査

これからの学校生活を良くしていくために、皆さんの意見を聞く大切なアンケートです。

- アンケートには、お知らせをもらった本人がお答えください。
- 正しい答えや、まちがった答えはありません。自分の考えにあてはまる答えを選んでください。
- 答えを1つだけ選ぶ質問と、いくつも選んでよい質問があります。また、あてはまる数字や、あなたの考えを記入する質問があります。質問文をよく読んでください。
- アンケートには名前を書かないので、あなたがどのように答えたかは誰にもわかりません。

1. アンケートの提出のしめ切り

2025年12月16日（火）まで

クラスの担任の先生にわたしてください。

2. アンケートでわからないことがある時

わからないことがある時は、下の電話番号をお父さんやお母さんに教えて質問してください。

調査委託先：株式会社サーベイリサーチセンター沖縄事務所

フリーダイヤル：0120-656-652（月～金：10時-17時）

****次ページからのアンケートにご回答ください****

本資料は、調査票の選択肢に集計結果を記入したものです。数値は原則として小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

F1 あなたが通っている学校名を選んでください。(学校名に○)

6.6 越来中学校	4.8 コザ中学校	16.8 山内中学校
5.7 美里中学校	12.4 美東中学校	2.4 安慶田中学校
30.1 宮里中学校	21.0 沖縄東中学校	

問1 あなたの性別を教えてください。(どちらか1つに○)

50.2 男	47.9 女	1.4 答えたくない
--------	--------	------------

問2 あなたと一緒に住んでいる人を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

78.8 父親	96.7 母親
84.2 兄弟姉妹	11.6 祖父母
0.7 親せき	0.5 その他()

問3 あなたは、1日3食ごはんを食べていますか。(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

	毎日食べる	学校がある日だけ食べる	決まっていない
朝食	73.0	11.5	15.2
昼食(給食)	92.1	4.7	2.6
夕食	94.8	0.7	4.3

問4 あなたは、平日(学校のある日)の夜は、何時に寝ていますか。(あてはまるもの1つに○)

0.9 午後9時より前	8.6 午後9時から10時までの間
29.1 午後10時から11時までの間	40.2 午後11時から午前0時までの間
20.9 午前0時より後	

問5 あなたは、次の授業や授業以外のことが、どれくらい楽しいと思いますか。

(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

	とても楽しい	やや楽しい	あまり 楽しくない	まったく 楽しくない
国語	22.9	50.1	20.2	6.1
社会	32.5	47.9	13.7	5.4
数学	25.8	41.5	21.0	11.0
理科	28.0	43.6	20.8	6.7
音楽	44.7	38.7	11.2	4.4
美術	48.7	38.1	10.0	2.5
技術・家庭	26.4	46.3	20.2	6.4
体育	55.6	29.8	8.3	5.6
外国語	30.6	42.1	18.3	8.2
道徳	27.1	47.2	17.6	7.4
学級活動(学活)	43.3	43.5	9.6	2.7
総合的な学習の時間	40.4	45.7	9.5	3.2
授業の内容	31.2	49.3	13.1	4.7
生徒会(委員会)活動	27.4	41.3	21.7	6.9
学校行事(校外学習や体育祭など)	66.0	24.9	5.2	3.1
部活動	48.7	23.5	7.4	12.3
給食の時間	57.0	33.7	6.5	1.8
学校の決まりやルール	28.6	46.8	17.4	6.4
先生との関係	46.3	42.9	7.6	2.5
友達との関係	69.7	24.9	2.8	0.7
学級委員や係などの活動	38.3	41.1	13.7	5.2

問6 あなたは、学校の授業で、次のことを思ったり行動したりすることが、どれくらいありますか。(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

	よくある	ときどきある	あまりない	まったくない
授業の内容がよく分かる	38.4	49.5	9.0	2.4
授業が楽しいと思う	33.2	43.7	16.8	5.1
授業の内容をもっとくわしく知りたいと思う	35.7	42.1	17.1	4.0
授業の内容がむずかしすぎると思う	30.6	41.7	19.5	7.6
授業の内容がかんたんすぎると思う	8.6	19.5	40.8	30.1
授業の進み方が早すぎると思う	11.6	31.3	39.5	16.8
授業の進み方がおそすぎると思う	8.7	18.7	46.3	25.3
タブレットを使う授業は分かりやすいと思う	35.6	44.0	15.8	3.3
自分で工夫しながら問題を解く	30.9	43.6	20.8	3.7
自分の考えを発表する	19.0	29.2	32.6	18.1
分からないときは先生に質問する	34.6	38.8	18.4	6.9
きちんとノートを書くようにしている	55.4	31.7	8.4	3.2

問7 あなたは、授業で分からないことがあるとき、どうしていますか。
(あてはまるものすべてに○)

68.6 先生に聞く	85.6 友達に聞く
18.8 家族に聞く	52.0 塾の先生や家庭教師に聞く
53.0 自分で調べる	11.5 そのままにしておく
0.5 その他()	

問8 あなたは、授業の内容や進み方で困っているときに、どんなことをしてほしいと思いますか。(特にあてはまるもの1位から3位の番号を書きます)

1. わからないところを個別に教えてもらう時間がほしい	2. 少人数の授業やグループ学習の機会がほしい
3. 補習や放課後の学習の時間を作ってほしい	4. もっとゆっくり授業を進めてほしい
5. 先生に「ここがむずかしい」と聞きやすくしてほしい	6. くわしく書いてあるプリントがほしい
7. その他()	

1位	2位	3位

	1位	2位	3位
1. わからないところを個別に教えてもらう時間がほしい	30.7	19.0	15.7
2. 少人数の授業やグループ学習の機会がほしい	19.1	16.9	12.3
3. 補習や放課後の学習の時間を作ってほしい	5.4	10.0	9.7
4. もっとゆっくり授業を進めてほしい	5.6	9.9	11.2
5. 先生に「ここがむずかしい」と聞きやすくしてほしい	11.6	18.9	18.0
6. くわしく書いてあるプリントがほしい	24.5	18.9	22.1
7.その他()	1.5	0.6	0.7

問9 あなたは、学校に行くことが楽しいですか。(あてはまるもの1つに○)

39.6 とても楽しい	44.1 楽しい	12.4 あまり楽しくない	3.1 まったく楽しくない
-------------	----------	---------------	---------------

問10 あなたは、平日(学校のある日)に、次のことをどれくらいしていますか。
(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

	3時間以上	2時間以上 3時間より 少ない	1時間以上 2時間より 少ない	1時間より 少ない	まったく ない
勉強をする(家庭学習)	13.7	21.9	27.4	23.0	13.4
読書をする (マンガや雑誌はいれない)	2.2	3.4	6.1	18.6	68.8
マンガや雑誌を読む	4.1	5.0	9.8	22.2	57.3
テレビやビデオ(DVD)、ユーチューブなどの動画を見る	28.3	27.4	28.6	12.2	3.2
ユーチューブやSNSで動画を作成する	4.6	4.1	4.0	7.7	79.0
インターネットやスマートフォンなどでゲームをする	22.6	18.2	19.1	20.6	18.7
スマートフォン(携帯電話)で話をしたり、メールやラインのやりとりをする	18.7	14.1	21.9	34.2	10.4
友達と遊ぶ	22.6	16.5	17.1	16.9	25.9
学習塾に行く(そろばん塾含む)	32.6	29.9	14.7	1.3	20.8
習いごとに行く	11.8	9.5	9.9	4.4	62.9
野球、サッカーなど、地域のチームでスポーツをする	6.5	4.1	5.1	3.9	78.8
子ども会や地域の行事、エイサーなどに参加する	2.5	1.4	2.6	3.2	89.4
公園や運動施設(コザ運動公園、県総合運動公園など)に行く	5.3	6.4	8.4	12.8	66.1
学校で部活動をする	5.9	5.6	5.3	4.3	77.5
児童館に行く	2.0	1.2	1.9	3.3	90.4
図書館や郷土博物館、沖縄こどもの国に行く	2.5	1.4	2.7	4.7	86.8
家の手伝いをする(洗濯、掃除、料理、片付けなど)	7.0	9.1	15.4	47.8	20.0
父母・祖父母などの家族の介護・看病やきょうだいの世話をする	3.8	3.0	5.9	9.5	76.2

問11 あなたは、休日(学校のない日)に、次のことをどれくらいしていますか。
(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

	3時間以上	2時間以上 3時間より 少ない	1時間以上 2時間より 少ない	1時間より 少ない	まったく ない
勉強をする(家庭学習)	19.1	17.0	21.0	21.7	20.1
読書をする (マンガや雑誌はいれない)	2.5	3.1	5.9	11.6	75.4
マンガや雑誌を読む	5.4	5.7	9.8	18.2	59.0
テレビやビデオ(DVD)、ユーチューブなどの動画を見る	43.5	20.9	21.9	7.9	4.6
ユーチューブやSNSで動画を作成する	6.7	3.1	4.4	6.6	77.9
インターネットやスマートフォンなどでゲームをする	32.0	17.5	16.1	15.5	17.4
スマートフォン(携帯電話)で話をしたり、メールやラインのやりとりをする	23.9	13.5	20.2	28.8	12.3
友達と遊ぶ	34.6	12.8	14.1	10.5	26.2
学習塾に行く(そろばん塾含む)	24.6	15.6	12.2	3.3	43.3
習いごとに行く	9.0	4.8	5.8	3.5	75.2
野球、サッカーなど、地域のチームでスポーツをする	7.3	3.8	4.3	2.6	80.0
子ども会や地域の行事、エイサーなどに参加する	2.1	1.4	2.1	3.8	89.0
公園や運動施設(コザ運動公園、県総合運動公園など)に行く	8.3	6.1	6.4	8.9	68.8
学校で部活動をする	5.0	3.7	4.1	3.0	82.9
児童館に行く	2.5	1.3	1.4	2.2	90.9
図書館や郷土博物館、沖縄こどもの国に行く	3.3	2.1	3.1	4.3	85.5
家の手伝いをする(洗濯、掃除、料理、片付けなど)	8.7	7.9	17.1	38.7	26.0
父母・祖父母などの家族の介護・看病やきょうだいの世話をする	4.8	3.1	5.1	8.5	76.0

問12 あなたが、安心できる、いごちが良い、ここにいたい、と感じる場所がありますか。
(あてはまるものすべてに○)

90.3 自分の家	32.7 学校
18.3 部活動	23.2 友達の家
23.0 祖父母や親せきの家	15.4 公園
1.1 公民館	9.3 図書館
2.0 児童館・児童センター	16.5 塾・習い事
0.6 子ども食堂	10.0 インターネット空間
2.0 その他()	2.7 特にない

問13 次のことは、あなたにどれくらいあてはまりますか。
(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

	とてもあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
自分はやればできると思う	46.3	37.8	11.9	2.7
自分には良いところがあると思う	42.6	39.1	12.8	4.1
自分の考えや思いをはっきりと言うことができる	31.9	36.1	22.1	8.3
学校では、自分の良いところを発揮する場面がある	29.7	38.1	21.6	8.9
自分は今幸せである	51.1	35.6	9.6	2.6
学校で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	49.2	38.8	8.0	2.7
自分と違う考えを持つ人の話も聞こうと思う	59.3	33.2	4.3	1.4
いろいろな個性や特徴を持つ人がいることは良いことだと思う	71.0	24.7	2.2	0.6
困っている人がいたら、進んで助けたいと思う	54.4	36.4	6.0	1.3
いじめられたり、いじめを見たりしたときに、先生や家族、友達などに相談することができる	48.3	32.5	13.2	4.4
自分が住んでいるまちが好き	50.0	35.2	9.9	3.2
子ども会や地域の行事、お祭り、エイサーなどに参加する	18.3	23.0	17.7	38.8

問14 将来の夢や職業について、次のことは、あなたにどれくらいあてはまりますか。

(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

	とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
将来の夢や目標がある	43.0	29.2	17.8	8.7
将来つきたい職業がある	37.5	27.4	21.7	11.8
将来つきたい職業のことを家族と話している	36.5	27.7	20.4	13.9
職業について調べたり、体験したりしたことがある	33.9	31.1	19.3	13.8
自分の将来に希望を持っている	38.9	30.5	20.0	9.3
自分の将来に不安を感じることがある	39.2	33.7	15.1	10.5

問15 あなたは、これから先、どこまで進学したいですか。(あてはまるもの1つに○)

0.5 中学まで	16.4 高校まで
21.7 短期大学・専門学校・高等専門学校まで	44.7 大学またはそれ以上
15.7 まだ分からない	

問16 あなたは、これまでに、次のような体験活動をしたことはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

19.5 農村での収穫や漁村で魚釣りなど	31.0 キャンプなどの自然体験
22.3 異なる文化の人との交流	54.3 祭りなどの伝統的な行事
27.0 ボランティア	9.6 動物や植物などの自然教室
29.9 ものづくり	1.4 その他()
22.1 特にない	

問17 あなたは、今、困っていることや不安なことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

14.5 自分の健康のこと	25.3 自分の性格やくせのこと
64.9 勉強や進路のこと	13.0 友達のこと
2.5 先生のこと	4.1 異性や性のこと
5.1 家族のこと	1.2 いじめや暴力のこと
9.8 お金のこと	0.5 その他()
25.2 特に困っていることや不安はない	

問18 あなたは、困っていることや不安なことがあるとき、誰に相談しますか。
(あてはまるものすべてに○)

60.0 親	69.1 友達
18.8 兄弟姉妹	8.3 祖父母
24.1 学校の先生	8.6 インターネットやSNS
1.4 学校のスクールカウンセラー	2.0 相談できる人がいない
1.5 その他()	10.5 誰にも相談はしない



問18-1 【問18で「10.誰にも相談はしない」に○を付けた人にお聞きします】
誰にも相談はしない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

12.4 誰に相談したらいいかわからない	39.3 自分で解決したい
15.7 家族に心配をかけたくない	38.2 相談しても解決できないと思うから
21.3 相談したことが他の人に知られるのが心配	14.6 弱いと思われたくない
30.3 うまく伝えられない	20.2 その他()

問19 あなた専用で使えるスマートフォンはありますか。(あてはまるもの1つに○)

89.8 ある	8.9 ない
---------	--------

問20 あなたは、普段、勉強以外でインターネットやSNSをどのくらい利用していますか。
(あてはまるもの1つに○)

90.0 ほぼ毎日利用している	3.8 週に4-5日利用している
2.2 週に2-3日利用している	1.2 週に1日程度利用している
2.0 ほとんど利用していない	

→ 問20-1 【問20で「1～4」に○を付けた人にお聞きします】

あなたが、よく利用しているアプリケーションは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

74.7 LINE (ライン)	75.9 YouTube (ユーチューブ)
58.8 TikTok (ティックトック)	63.9 Instagram (インスタグラム)
17.6 X (エックス)	1.3 Facebook (フェイスブック)
41.1 オンラインゲーム	10.1 生成AI
4.7 その他()	0.9 特にない

→ 問20-2 【問20で「1～4」に○を付けた人にお聞きします】

あなたがインターネットやSNSを利用するときに、あてはまるものを選んでください。
(あてはまるものすべてに○)

32.8 インターネットやSNSを利用するときのルールを家族と決めている	30.5 家族と決めたルールをきちんと守っている
20.0 インターネットやSNS上で知らない人とやりとりすることがある	59.2 インターネットやSNSの情報が正しいかどうか確かめるようにしている
7.8 インターネットやSNSを利用して、嫌な思いをしたり、危険を感じたりしたことがある	

→ 問20-3 【問20-2で「5.インターネットやSNSを利用して、嫌な思いをしたり、危険を感じたりしたことがある」に○を付けた人にお聞きします】

インターネットやSNSで嫌な経験をしたとき、あなたはどうしましたか。
(あてはまるものすべてに○)

34.4 親や家族に相談した	10.9 学校の先生に相談した
39.1 友達に相談した	- 家族や学校の先生以外のおとなに相談した
1.6 警察に相談した	17.2 利用をやめた
9.4 その他()	31.3 何もなかった

問21 あなたは、地域のおとなの人(近所の人など家族以外の人)で、親しくしている人がいますか。(あてはまるもの1つに○)

14.2 よく話をする親しいおとなの人がいる
45.2 あいさつくらいはする顔見知りのおとなの人がいる
38.8 親しくしている地域のおとなの人はいない

問22 あなたは、地域のおとなの人に対して、どのように感じていますか。
(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

	とてもそう思う	ややそう思う	あまりそう 思わない	まったくそう 思わない
自分の話をよく聞いてくれる	18.2	20.6	19.5	37.9
いっしょに遊んでくれる	11.2	13.4	22.9	48.8
いろいろな経験をさせてくれる	14.1	17.1	20.7	44.3
自分の良いところをみとめてくれる	18.6	20.1	17.5	40.0
自分のことを思って、真剣にしかって くれる	13.8	18.6	19.3	44.3
困ったときに助けてくれたり、相談する ことができる	15.6	18.0	19.3	43.3
何かに挑戦したいとき、応援や支援を してくれる	18.6	19.6	17.4	40.4
自分たちを見守ってくれている	25.4	25.4	13.2	32.0
交流などをしたい	13.8	22.8	23.6	36.1
交流などをするつもりはない	18.1	19.3	22.0	36.8

問23 学校や勉強、友達や家のことなど、考えていること、伝えたいことなどを自由に書いてください。

3. 小学6年生保護者の調査票

小学6年生保護者

沖縄市の教育に関するアンケート調査

第5期沖縄市教育振興基本計画の策定に向けたアンケート調査について
(ご協力をお願い)

皆さまには、日頃より、沖縄市の教育行政にご理解とご協力を賜り、感謝を申し上げます。

沖縄市教育委員会では、こどもから大人まで、市民一人ひとりの学びを推進するため、「沖縄市教育振興基本計画」に基づき、さまざまな取組を行っております。

現在の第4期計画が、令和8年度で終了することから、次期計画の策定に向け、アンケート調査を実施しております。

このアンケートは、こどもたちの学びの環境をより良くしていくために、保護者の皆さまのご意見を伺うことを目的としています。

アンケートは無記名のため、個人が特定されることはありません。アンケートの結果は、計画づくりの参考資料としてのみ使用いたします。

皆さまには、お忙しい中、お手数をおかけいたしますが、本調査の趣旨をご理解いただき、アンケートへのご回答にご協力くださいますようお願い申し上げます。

対象:小学校6年生の保護者

回答期限:令和7年12月16日(火)までにご回答ください

回答方法:専用のWEBサイトにアクセスし、回答を入力してください

専用サイト < <https://x.gd/ve4GB> >

右のQRコードからも回答いただけます →→→→

(アンケートの回答時間のめやす:5分~10分程度)



※アンケートに関するお問い合わせは、下記の《調査委託先》までご連絡ください。

《調査委託先》

株式会社サーベイリサーチセンター 沖縄事務所

フリーダイヤル:0120-656-652 (受付時間 平日10時~17時)

本資料は、調査票の選択肢に集計結果を記入したものです。数値は原則として小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

問1 お子様の通っている小学校名をお伺いします。

2.6	コザ小学校	3.5	安慶田小学校	1.9	越来小学校
17.6	宮里小学校	8.3	高原小学校	8.5	山内小学校
1.7	室川小学校	1.7	諸見小学校	4.8	中の町小学校
1.4	島袋小学校	11.1	比屋根小学校	6.9	美原小学校
6.4	美東小学校	9.9	美里小学校	6.6	泡瀬小学校
7.1	北美小学校				

問2 本アンケートにお答えいただいている方はどなたですか。

16.1	父親	83.2	母親	0.5	祖父母	0.2	その他()
------	----	------	----	-----	-----	-----	--------

問3 お子さんの主な養育者はどなたですか。(あてはまるものすべて)

	父親	母親	祖父母	その他()
番号	73.0	86.5	8.3	0.5

問 3-1 父親の就労状況を教えてください。

96.9	就業中	0.2	失業中	1.2	休職中
1.2	就労していない	0.2	その他()		

問 3-2 母親の就労状況を教えてください。

81.4	就業中	1.6	失業中	3.4	休職中
11.6	就労していない	1.2	その他()		

問 3-3 祖父母の就労状況を教えてください。

41.7	就業中	-	失業中	-	休職中
56.3	就労していない	2.1	その他()		

問 3-4 その他でお答えいただいた方の就労状況を教えてください。

-	就業中	33.3	失業中	-	休職中
-	就労していない	66.7	その他()		

問4 次のような取組・活動の中で、今後、お子様の学校と協力したり、参加したりしてもよいと思うものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

45.5	学級の保護者会、懇談会への出席
26.1	登下校時などの交通安全の活動
18.0	授業補助などのこどもへの支援
17.1	PTA活動
34.3	草刈りや花壇の手入れなど学校の環境整備にかかわる活動
13.0	クラブ活動などの指導や運営
10.4	放課後子ども教室など放課後の活動等の支援
12.5	夜間街頭指導など非行防止に関する活動
1.4	その他()
22.1	特になし

問5 あなたは、PTA(PTCA)活動について、どのように考えていますか。(それぞれ、あてはまるものに○)

	とてもあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
1 こどもたちの健やかな成長と教育環境の向上、社会教育・家庭教育の充実のために必要である	24.2	52.4	17.6	5.5
2 保護者・地域・教職員をつなぐ有意義な活動である	23.7	53.3	18.2	4.7
3 役員として関わりたい	2.8	9.3	39.8	48.1
4 役員としての関わりは難しいが、できる範囲で活動に参加したい	20.1	45.7	19.0	15.2
5 活動内容や運営方法などに改善が必要だと思う	14.7	36.5	33.7	14.2
6 その他	5.4	2.9	3.8	17.8

問6 あなたが、お子様の通っている学校に望むことは何ですか。(特にあてはまるもの1位から3位を記入ください)

1 学校の教育方針を保護者に伝える 2 学校でのこどもの様子を保護者に伝える 3 学校を参観・見学できる日数を増やす 4 保護者が気軽に質問したり相談したりできるようにする 5 講演会や相談窓口などこどもの教育に役立つ情報を提供する 6 教職員の資質向上 7 学校の施設やスペースを保護者や地域に開放する 8 教育活動に保護者や地域が参画し、ボランティアなど地域の力を取り入れる 9 学校での安全管理体制を強化する 10 幼稚園・小学校・中学校の連携を充実する 11 その他() 12 特にない	1位
	2位
	3位

	1位	2位	3位
1 学校の教育方針を保護者に伝える	4.5	7.1	6.4
2 学校でのこどもの様子を保護者に伝える	30.8	19.2	9.2
3 学校を参観・見学できる日数を増やす	3.5	7.1	4.3
4 保護者が気軽に質問したり相談したりできるようにする	13.5	16.6	13.3
5 講演会や相談窓口などこどもの教育に役立つ情報を提供する	1.0	3.1	4.3
6 教職員の資質向上	9.9	8.3	6.6
7 学校の施設やスペースを保護者や地域に開放する	2.2	2.6	5.2
8 教育活動に保護者や地域が参画し、ボランティアなど地域の力を取り入れる	2.2	3.1	3.1
9 学校での安全管理体制を強化する	16.1	10.0	10.6
10 幼稚園・小学校・中学校の連携を充実する	4.3	8.0	11.1
11 その他()	3.8	2.2	1.9
12 特にない	8.1	3.8	8.8

問7 児童生徒に、次のような能力や態度を身につけさせる必要性は、「A:学校教育」と「B:学校教育以外の場(家庭や地域等)」において、どの程度だと思えますか。(①~⑫について、A・Bそれぞれ、あてはまるもの1つに○)

	A 学校教育で身につけさせる必要性				B 学校教育以外(家庭や地域等)で身につけさせる必要性			
	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い
①教科の基礎的な学力	64.4	27.3	6.1	0.9	28.4	44.1	22.3	3.3
②基礎的な学力を活用する力	58.7	31.5	7.3	0.9	29.9	46.9	18.7	2.8
③自ら学ぼうとする意欲	45.8	39.3	10.6	2.2	48.4	37.2	11.6	1.2
④実践的な英語力と国際理解	37.0	39.3	16.6	5.0	27.3	38.6	26.3	5.9
⑤ICTを活用する力	39.6	42.4	12.6	3.1	24.7	40.1	28.4	4.8
⑥音楽・美術など芸術面の能力や情操	24.4	48.3	23.0	2.1	29.1	41.9	23.2	4.2
⑦体力や運動能力	31.8	48.3	15.7	2.1	34.9	44.3	17.5	1.6
⑧自分の健康を管理する力	30.8	41.2	22.5	3.3	61.9	28.0	7.3	0.9
⑨自分の進路や職業、将来について考える力	40.8	40.5	12.6	4.0	56.1	31.3	9.7	1.0
⑩論理的にものを考える力	37.4	45.8	12.3	2.4	45.8	37.4	13.5	1.6
⑪自分の考えを表現する力	51.4	35.8	9.0	1.9	55.7	31.8	9.5	1.0
⑫ものごとを計画的に行う力	41.2	45.2	10.9	1.0	52.2	36.3	8.1	1.2
⑬新しいものを生み出す創造的な力	32.7	46.0	18.5	1.2	41.9	42.6	12.8	0.7
⑭善悪を判断する力	56.2	32.0	8.3	1.9	69.0	23.9	4.7	0.5
⑮人間関係を築く力	59.3	31.0	7.8	0.7	59.5	31.1	6.2	0.9
⑯他者を思いやる心	61.2	28.9	7.3	0.9	68.3	26.1	2.6	0.5
⑰社会で役立つ心や公共心	47.4	40.0	10.2	0.7	53.3	36.3	7.6	0.5
⑱郷土や国を愛する心	29.8	45.3	18.5	4.5	37.4	42.4	14.5	3.6
⑲ものごとをやりとげる責任感やねばり強さ	45.8	39.4	11.4	1.6	55.2	35.6	6.2	0.7
⑳人権を尊重する力	55.4	33.2	8.7	1.2	60.0	30.1	7.1	0.7
㉑基本的な生活習慣	38.8	36.7	16.8	6.1	70.1	22.0	5.2	0.5
㉒自分自身で社会や生活の場を良くしていこうとする当事者意識	39.8	41.5	13.1	3.3	57.3	32.7	6.6	1.2

問8 あなたは、お子様が通っている学校の次のような指導や取組に対して、満足していますか。また、その指導や取組は、重要だと思いますか。

(①～⑳について、A・Bそれぞれ、あてはまるもの1つに○)

	A 満足度					B 重要度					
	とても満足	やや満足	いない	あまり満足して	まったく満足していない	とても重要	やや重要	重要ではない	あまり	重要ではない	まったく
①基礎的な学力の向上	25.8	58.3	12.8	1.6	66.8	27.2	2.9	-			
②基礎的な学力を活用する力を高める指導	22.3	58.3	16.3	1.2	60.7	32.0	3.6	-			
③ICTを活用した授業づくり	25.1	55.0	15.9	1.6	45.8	41.9	8.1	0.5			
④宿題の内容や量	17.8	54.7	20.2	5.2	27.2	48.6	16.6	3.6			
⑤一人ひとりの学力や興味に応じた指導	15.7	49.5	27.9	5.0	48.1	42.4	5.2	0.9			
⑥学習意欲を高めること	18.5	49.5	24.4	5.7	55.7	36.7	4.0	0.2			
⑦学習発表会や音楽発表会などの文化活動	32.2	48.1	15.1	2.8	40.7	46.0	8.8	1.0			
⑧クラブ活動などのスポーツ活動	23.4	47.6	22.3	4.5	33.2	45.0	16.1	1.9			
⑨心の教育(道徳や人権教育、平和学習など)	25.8	57.1	11.9	3.5	59.2	33.7	3.5	-			
⑩いじめや問題行動への対応	20.4	51.4	20.1	5.9	66.1	26.8	3.3	0.3			
⑪不登校児童生徒への支援(学習支援・教育相談)	15.9	58.5	18.5	4.7	55.5	35.8	4.3	0.5			
⑫将来の進路や職業について考えさせること	12.6	50.0	31.5	4.0	49.8	41.5	5.4	0.3			
⑬こども一人ひとりの個性に応じた支援	17.3	52.8	23.5	4.7	53.8	37.7	5.0	0.5			
⑭特別な支援を要するこどもに応じた支援	19.4	58.0	17.0	3.3	55.2	36.5	4.8	0.3			
⑮スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門職による支援	20.1	54.8	17.8	4.5	47.4	41.5	7.6	0.5			
⑯学校給食を通じた食育や体づくり	24.0	51.6	16.6	5.9	53.8	37.2	5.0	0.7			
⑰進級進学時の教員同士の連携による一貫した指導	14.9	55.4	21.8	5.7	56.4	35.3	5.0	0.2			
⑱教員の指導力や教育への熱意	21.6	56.1	16.4	3.8	56.6	36.7	3.1	0.2			
⑲学校の施設・設備による学習環境の充実	24.2	55.0	15.4	3.3	53.1	39.3	4.2	0.5			
⑳防犯に関する情報提供など安全管理体制の充実	24.4	55.9	15.4	2.2	60.9	32.2	3.6	0.2			
㉑利用可能な制度・支援の情報提供	20.6	52.9	18.9	5.4	51.7	40.3	4.5	0.3			
㉒地域との連携による学校運営(コミュニティ・スクール)	18.2	53.1	21.6	4.7	45.0	42.2	8.5	1.2			
㉓自然や伝統文化などの体験活動	19.7	53.1	20.8	3.5	46.0	42.0	6.4	0.9			

問 9 あなたのご家庭では、お子様との関わりのなかで、次のことをどのくらい心がけていますか。

(①～⑱について、それぞれ、あてはまるもの1つに○)

	大変 心がけて いる	やや 心がけて いる	あまり 心がけて いない	まったく 心がけて いない
①規則正しい生活習慣を身につけさせる	52.2	44.5	2.1	-
②こどもの食生活や食習慣	51.4	43.6	3.6	-
③あいさつや行儀、礼儀作法を身につけさせる	60.4	36.7	1.6	-
④テレビやゲーム、携帯電話(スマートフォン)等の使い方や使う時間を決める	32.5	49.5	15.2	1.6
⑤家事の手伝いなど家族の一員としての役割を与える	37.4	45.5	14.9	0.9
⑥スポーツに親しむ習慣や意欲を育む	38.6	32.2	23.9	4.2
⑦音楽や芸術など文化的な活動を通して豊かな感性を育む	27.3	42.9	24.2	4.3
⑧本や新聞を読むようにすすめる	21.1	36.9	31.5	9.2
⑨家族みんなで食事をするなど団らんの場をつくる	59.5	32.2	6.4	0.7
⑩正しい言葉づかいを教える	51.4	40.1	6.7	0.2
⑪悪いことをした時はきちんと叱る	80.4	17.3	0.7	-
⑫こどもの努力や良いところをほめる	72.5	25.4	0.9	-
⑬自分でできることは自分でさせ自立心を育てる	61.2	33.7	3.8	-
⑭将来や進路についての話をする	46.9	39.8	10.9	1.2
⑮学校での出来事などこどもの話を聞く	63.3	31.7	3.3	0.2
⑯こどもの適切なお金の使い方	49.1	41.5	7.3	0.9
⑰地域の行事やお祭りに親子で参加する	30.8	38.9	23.9	4.8
⑱ものづくりや自然体験の機会をつくる	28.5	40.8	25.1	4.3
⑲学校行事に参加する	48.8	38.9	10.0	1.0

問10 お子様は、宿題や家庭学習に、自分から意欲的に取り組んでいますか。

40.7	取り組んでいる	37.5	やや取り組んでいる
15.6	あまり取り組んでいない	4.2	取り組んでいない
1.9	どちらともいえない	-	わからない

問11 お子様の家庭での学習に対して、どのようなサポートをしていますか。(あてはまるものすべてに○)

67.8	家庭学習を促す
38.1	学習の仕方についてアドバイスをしている
19.9	1日のうちでいつ学習するかを決めている
4.2	学習時間の長さを決めている
16.1	学校配布のプリント類の整理を手伝っている
32.9	学校や塾の成績を見る
4.3	その他()
8.5	特にしていない

問12 お子様の家庭での学習において、課題だと思うことは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

24.2	こどもが学習に取り組む時間が足りない	22.1	こどもが学習の仕方をわかっていない
40.3	こどもの学習意欲があまりない	17.6	こどもが学習内容をむずかしいと感じている
22.0	こどもが学習に集中できていない	9.9	こどもの学習に家族が関わることができない
3.8	その他()	23.7	特にない

問13 お子様には、学校のある日(平日)と学校のない日(休日)のそれぞれ、どのような過ごし方をし
てほしいと思いますか。(それぞれ、あてはまるもの1位から3位を記入ください)

1 家で勉強や読書をする	2 習い事をする	平日	休日
3 スポーツ活動をする	4 文化活動をする	1位	1位
5 地域の活動に参加する	6 学習塾などで勉強する		
7 家で休養する	8 家族と過ごす	2位	2位
9 友だちと遊ぶ	10 体験活動をする		
11 児童館や図書館、公民館など 公共施設で過ごす	12 家の手伝いをする	3位	3位
13 その他()			

	平日			休日		
	1位	2位	3位	1位	2位	3位
1 家で勉強や読書をする	20.8	13.5	8.7	5.4	7.6	11.4
2 習い事をする	8.0	12.6	7.4	3.3	3.1	2.4
3 スポーツ活動をする	23.2	8.8	4.2	23.7	7.1	3.5
4 文化活動をする	1.0	1.0	0.5	0.2	2.1	2.1
5 地域の活動に参加する	0.3	0.7	1.0	0.2	1.4	3.3
6 学習塾などで勉強する	5.7	3.6	3.1	1.4	0.7	0.7
7 家で休養する	9.2	11.6	16.1	12.8	17.5	14.2
8 家族と過ごす	10.6	13.7	13.7	37.9	21.5	15.2
9 友だちと遊ぶ	14.5	22.8	16.1	8.7	22.0	16.8
10 体験活動をする	0.7	0.5	1.9	1.6	4.2	4.5
11 児童館や図書館、公民館など公共施設で過ごす	1.4	1.7	4.8	0.9	0.7	2.6
12 家の手伝いをする	1.9	5.0	13.5	1.7	6.9	13.8
13 その他	2.1	1.2	1.6	1.2	1.7	2.4

問14 お子様の生活の中で、あなたが現在、心配していることは何ですか。

(特にあてはまるもの1位から3位を記入)

1 学校生活を楽しんでいるか	2 学習内容を理解しているか	<table border="1"> <tr><td>1位</td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td>2位</td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td>3位</td></tr> <tr><td> </td></tr> </table>	1位		2位		3位	
1位								
2位								
3位								
3 友だちの数が少なすぎないか	4 友だちと仲良くしているか							
5 誰かにいじめられていないか	6 誰かをいじめていないか							
7 インターネットトラブルにあっていないか	8 交通事故などの事故にあわないか							
9 社会のルールに反する行為をしていないか	10 犯罪にあわないか							
11 悩みごとや困りごとを抱えていないか	12 その他 ()							
13 心配していることはない								

	1位	2位	3位
1 学校生活を楽しんでいるか	33.9	14.5	10.4
2 学習内容を理解しているか	19.2	17.0	10.4
3 友だちの数が少なすぎないか	1.9	2.8	2.6
4 友だちと仲良くしているか	9.0	15.7	12.3
5 誰かにいじめられていないか	2.2	5.7	4.3
6 誰かをいじめていないか	0.5	1.6	2.1
7 インターネットトラブルにあっていないか	3.5	3.1	3.6
8 交通事故などの事故にあわないか	5.9	7.3	5.0
9 社会のルールに反する行為をしていないか	1.4	2.2	4.0
10 犯罪にあわないか	3.3	4.5	5.0
11 悩みごとや困りごとを抱えていないか	8.7	12.3	17.8
12 その他	0.7	0.5	1.2
13 心配していることはない	9.3	4.0	7.4

問15 お子様に、本人専用のスマートフォンや携帯電話を持たせていますか。

54.5 持たせている	44.1 持たせていない
-------------	--------------

問15-1 【問15で「1 持たせている」に○をつけた方に伺います】

お子様にスマートフォンや携帯電話を持たせている理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

88.9 こどもといつでも連絡が取れるようにするため
46.3 こどもの所在地が分かるようにするため
6.0 こどもにせがまれたため
14.0 こどものまわりの友達が持っており、仲間はずれになる心配があったため
8.3 パソコン、ゲーム機の代わり
3.5 その他()

問16 お子様スマートフォンやインターネットを利用するときにルールを決めていますか。

82.0 決めている	16.3 決めていない
------------	-------------

問16-1 【問16で「1 決めている」に○をつけた方に伺います】お子様は、決められたルールを守っていますか。

23.8 きちんと守っている	59.9 だいたい守っている
13.5 あまり守っていない	2.5 まったく守っていない

問17 お子様の学校関連などの費用で、どのようなものが負担だと感じますか。

(負担だと感じるもの1位から3位を記入ください)

1 教材費(ドリル、副読本、ワークテスト、鍵盤ハーモニカ等)	1位
2 給食費	
3 体育着、帽子など	2位
4 校外学習費(遠足や社会科見学等の経費)	
5 宿泊学習費(移動教室や修学旅行等の経費)	3位
6 PTA会費	
7 学校外での習い事の費用	
8 その他()	
9 特に負担と感じていない	

	1位	2位	3位
1 教材費(ドリル、副読本、ワークテスト、鍵盤ハーモニカ等)	17.0	17.1	9.0
2 給食費	20.6	13.3	5.4
3 体育着、帽子など	5.7	8.3	7.8
4 校外学習費(遠足や社会科見学等の経費)	1.4	3.3	5.2
5 宿泊学習費(移動教室や修学旅行等の経費)	8.0	9.0	11.2
6 PTA会費	5.9	6.2	7.8
7 学校外での習い事の費用	16.1	10.0	8.7
8 その他()	0.7	1.2	0.7
9 特に負担と感じていない	24.0	8.1	9.7

問18 お子様の学校生活に必要なものを十分に用意できなかったことはありますか。

11.9 はい	86.9 いいえ
---------	----------

問18-1 問18で「1 はい」に○をつけた方に伺います。

その理由は何ですか。(特にあてはまるもの1位から3位を記入ください)

1 経済的に購入・準備する余裕がなかった(経済的理由)
2 購入や準備のための時間をさけなかった(時間的理由)
3 必要なものを入手できる場所や環境が周りになかった(距離・環境的理由)
4 学校や地域からの情報不足で必要なものを把握できなかった(情報不足)
5 こどもからの情報不足で必要なものを把握できなかった(情報不足)
6 その他()

1位
2位
3位

	1位	2位	3位
1 経済的に購入・準備する余裕がなかった(経済的理由)	66.7	7.2	7.2
2 購入や準備のための時間をさけなかった(時間的理由)	14.5	30.4	7.2
3 必要なものを入手できる場所や環境が周りになかった(距離・環境的理由)	1.4	2.9	18.8
4 学校や地域からの情報不足で必要なものを把握できなかった(情報不足)	4.3	20.3	11.6
5 こどもからの情報不足で必要なものを把握できなかった(情報不足)	13.0	11.6	18.8
6 その他()	-	2.9	2.9

問19 お子様希望する学びの機会(塾、習い事、家庭学習など)を制限せざるを得なかったことはありますか。

30.1	はい	69.2	いいえ
------	----	------	-----

問19-1 問19で「1 はい」に○をつけた方に伺います。

その理由は何ですか。(特にあてはまるもの1位から3位を記入ください)

1 塾、習い事、教材などに費用をかけられなかった(経済的理由)	1位
2 送迎や付き添い、手続きなどの時間をさけなかった(時間的理由)	
3 希望にかなう適切な機会提供の場所や環境が周りになかった(距離・環境的理由)	2位
4 家庭内の学習スペースや環境が確保できなかった(空間的理由)	
5 こどものやる気や意欲が続かなかった(こどもの意欲)	3位
6 その他()	

	1位	2位	3位
1 塾、習い事、教材などに費用をかけられなかった(経済的理由)	70.7	12.6	6.9
2 送迎や付き添い、手続きなどの時間をさけなかった(時間的理由)	23.0	41.4	8.6
3 希望にかなう適切な機会提供の場所や環境が周りになかった(距離・環境的理由)	1.7	16.7	31.0
4 家庭内の学習スペースや環境が確保できなかった(空間的理由)	-	4.6	9.2
5 こどものやる気や意欲が続かなかった(こどもの意欲)	3.4	9.8	13.8
6 その他()	1.1	1.1	4.6

問20 お子様の教育等について、困っていること、悩んでいることはありますか。

(主なもの3つまで○)

17.0	こどもの体力や健康
42.2	こどもの学力や学習状況
26.5	こどもの生活態度や性格
26.3	こどもの友人関係
14.0	こどもの進路
17.6	教育費の負担
11.6	家庭でのしつけや教育方法
35.5	携帯電話やスマートフォン、インターネット、ゲーム機などの使い方
5.0	保護者同士の交流が少なく、情報交換ができない
3.8	こどもと接する時間がなかなか取れない
2.4	教育について気軽に相談できる人や場所がない
7.6	学校の雰囲気やこどもの様子がよくわからない
0.7	その他()
13.0	特にない

問21 あなたは、お子様の教育について、困ったり悩んだりしていることを誰に相談しますか。

(あてはまるものすべてに○)

80.3	家族	14.2	親戚
51.9	友人・知人	22.7	こどもと同じ学校の保護者
22.1	学校の担任の先生	2.2	学校長や担任以外の教員
0.2	教育委員会	0.3	教育支援センター
1.2	市役所	1.0	専門的な相談機関の電話相談
0.7	警察や児童相談所	3.1	スクールカウンセラーなど教育相談の専門職員
4.3	インターネットやSNS	3.1	その他()
7.3	特に相談はしない		

問21-1 【問21で「14」に○を付けた方に伺います】

特に相談はしない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

59.5	自分で解決する	19.0	誰に相談したらいいかわからない
2.4	先生の心証やこどもの成績に悪影響がでるのが怖いから	-	相談すると状況が悪化する恐れがあるから
-	モンスターペアレントと思われたくないから	-	他の保護者に知られたくないから
16.7	相談しても解決が期待できないから	-	相談のしかたがわからない
7.1	その他()		

問22 こどもの教育環境の充実を図るため、学校・家庭・地域の連携による取組が求められています。地域の役割として取り組んでほしいと思うのは、どのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

55.7 地域の子どもへのあいさつや声かけ等による見守り	43.3 ルールやマナーについて教えること
46.2 通学路の安全を見守る活動	13.7 運動会や発表会など学校行事への参加や協力
21.8 学校や学校周辺の美化・清掃活動	23.4 特技や経験を生かした授業への協力
21.6 クラブ活動・部活動の指導や運営協力	17.0 放課後や休日の体験活動や学習支援
20.8 地域の伝統文化や歴史を教える	23.4 こどもの悩みや相談への対応
19.9 街頭指導など非行防止の活動	14.4 子ども会などの地域活動
0.3 その他()	8.1 特にない

問23 沖縄市の教育に関して、ご意見などがございましたら自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

4. 中学3年生保護者の調査票

中学3年生保護者

沖縄市の教育に関するアンケート調査

第5期沖縄市教育振興基本計画の策定に向けたアンケート調査について
(ご協力をお願い)

皆さまには、日頃より、沖縄市の教育行政にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

沖縄市教育委員会では、こどもから大人まで、市民一人ひとりの学びを推進するため、「沖縄市教育振興基本計画」に基づき、さまざまな取組を行っております。

現在の第4期計画が、令和8年度で終了することから、次期計画の策定に向け、アンケート調査を実施しております。

このアンケートは、こどもたちの学びの環境をより良くしていくために、保護者の皆さまのご意見を伺うことを目的としています。

アンケートは無記名のため、個人が特定されることはありません。アンケートの結果は、計画づくりの参考資料としてのみ使用いたします。

皆さまには、お忙しい中、お手数をおかけいたしますが、本調査の趣旨をご理解いただき、アンケートへのご回答にご協力くださいますようお願い申し上げます。

対象:中学校3年生の保護者

回答期限:令和7年12月16日(火)までにご回答ください

回答方法:専用のWEBサイトにアクセスし、回答を入力してください

専用サイト < <https://x.gd/LAr4J> >

右のQRコードからも回答いただけます →→→→

(アンケートの回答時間のめやす:5分~10分程度)



※アンケートに関するお問い合わせは、下記の《調査委託先》までご連絡ください。

《調査委託先》

株式会社サーベイリサーチセンター 沖縄事務所

フリーダイヤル:0120-656-652 (受付時間 平日10時~17時)

問1 お子様の通っている中学校名をお伺いします。

5.3 越来中学校	8.6 コザ中学校	8.8 山内中学校
14.9 美里中学校	30.7 美東中学校	6.3 安慶田中学校
16.9 宮里中学校	8.6 沖縄東中学校	

問2 本アンケートにお答えいただいている方はどなたですか。

10.1 父親	89.2 母親	0.3 祖父母	0.5 その他()
---------	---------	---------	------------

問3 お子さんの主な養育者はどなたですか。(あてはまるものすべて)

	父親	母親	祖父母	その他()
番号	71.3	87.9	4.5	0.5

問 3-1 父親の就労状況を教えてください。

96.8 就業中	0.4 失業中	0.4 休職中
0.7 就労していない	- その他()	

問 3-2 母親の就労状況を教えてください。

83.7 就業中	1.7 失業中	2.0 休職中
11.5 就労していない	1.1 その他()	

問 3-3 祖父母の就労状況を教えてください。

22.2 就業中	- 失業中	- 休職中
66.7 就労していない	5.6 その他()	

問 3-4 その他でお答えいただいた方の就労状況を教えてください。

50.0 就業中	- 失業中	- 休職中
- 就労していない	50.0 その他()	

問4 次のような取組・活動の中で、今後、お子様の学校と協力したり、参加したりしてもよいと思うものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

45.3 学級の保護者会、懇談会への出席
11.8 登下校時などの交通安全の活動
12.6 授業補助などのこどもへの支援
10.3 PTA活動
29.2 草刈りや花壇の手入れなど学校の環境整備にかかわる活動
14.4 部活動などの指導や運営
12.6 夜間街頭指導など非行防止に関する活動
3.3 その他()
26.4 特にない

問5 あなたは、PTA(PTCA)活動について、どのように考えていますか。(それぞれ、あてはまるものに○)

	とてもあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
1 こどもたちの健やかな成長と教育環境の向上、社会教育・家庭教育の充実のために必要である	19.6	53.7	19.1	7.1
2 保護者・地域・教職員をつなぐ有意義な活動である	22.2	52.9	18.9	5.8
3 役員として関わりたい	0.8	10.1	36.3	52.1
4 役員としての関わりは難しいが、できる範囲で活動に参加したい	14.1	46.9	19.9	18.9
5 活動内容や運営方法などに改善が必要だと思う	12.3	35.8	36.5	14.6
6 その他	2.3	2.0	4.3	17.4

問6 あなたが、お子様の通っている学校に望むことは何ですか。(特にあてはまるもの1位から3位を記入ください)

1 学校の教育方針を保護者に伝える	<table border="1"> <tr><td>1位</td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td>2位</td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td>3位</td></tr> <tr><td> </td></tr> </table>	1位		2位		3位	
1位							
2位							
3位							
2 学校でのこどもの様子を保護者に伝える							
3 学校を参観・見学できる日数を増やす							
4 保護者が気軽に質問したり相談したりできるようにする							
5 講演会や相談窓口などこどもの教育に役立つ情報を提供する							
6 教職員の資質向上							
7 学校の施設やスペースを保護者や地域に開放する							
8 教育活動に保護者や地域が参画し、ボランティアなど地域の力を取り入れる							
9 学校での安全管理体制を強化する							
10 幼稚園・小学校・中学校の連携を充実する							
11 その他							
12 特にない							

	1位	2位	3位
1 学校の教育方針を保護者に伝える	5.3	4.8	7.3
2 学校でのこどもの様子を保護者に伝える	28.2	17.4	9.3
3 学校を参観・見学できる日数を増やす	3.8	3.8	4.3
4 保護者が気軽に質問したり相談したりできるようにする	18.9	23.2	8.6
5 講演会や相談窓口などこどもの教育に役立つ情報を提供する	3.5	5.5	8.6
6 教職員の資質向上	13.4	9.1	8.8
7 学校の施設やスペースを保護者や地域に開放する	2.0	3.5	5.3
8 教育活動に保護者や地域が参画し、ボランティアなど地域の力を取り入れる	2.3	5.5	4.0
9 学校での安全管理体制を強化する	9.3	10.3	12.8
10 幼稚園・小学校・中学校の連携を充実する	3.3	4.3	7.3
11 その他()	2.5	0.8	1.3
12 特にない	7.1	4.0	7.8

問7 児童生徒に、次のような能力や態度を身につけさせる必要性は、「A:学校教育」と「B:学校教育以外の場(家庭や地域等)」において、どの程度だと思えますか。(①~⑫について、A・Bそれぞれ、あてはまるもの1つに○)

	A 学校教育で身につけさせる必要性				B 学校教育以外(家庭や地域等)で身につけさせる必要性			
	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い	とても高い	やや高い	やや低い	とても低い
①教科の基礎的な学力	63.0	25.2	8.8	1.5	17.6	44.6	31.0	4.0
②基礎的な学力を活用する力	56.4	30.5	9.3	1.5	18.4	49.4	25.4	3.5
③自ら学ぼうとする意欲	42.6	37.8	14.1	3.0	42.6	39.8	13.6	1.8
④実践的な英語力と国際理解	40.8	37.0	15.9	4.0	20.2	40.1	29.7	7.6
⑤ICTを活用する力	40.6	36.3	17.4	2.5	17.9	40.6	31.2	7.3
⑥音楽・美術など芸術面の能力や情操	23.7	45.1	26.2	2.3	23.2	43.1	26.2	4.8
⑦体力や運動能力	26.2	48.4	21.2	2.0	24.9	48.6	20.9	2.3
⑧自分の健康を管理する力	26.2	36.8	27.7	6.5	60.7	25.2	9.3	1.5
⑨自分の進路や職業、将来について考える力	43.3	38.5	14.1	2.0	52.4	33.5	10.3	1.5
⑩論理的にものを考える力	38.0	41.3	16.1	2.3	40.8	39.5	15.4	1.8
⑪自分の考えを表現する力	45.3	37.0	12.6	2.8	47.1	34.5	14.4	1.8
⑫ものごとを計画的に行う力	36.0	43.3	16.9	1.8	47.6	36.5	11.6	1.3
⑬新しいものを生み出す創造的な力	27.7	45.3	21.4	3.0	32.5	44.3	18.1	2.0
⑭善悪を判断する力	46.9	36.8	11.6	2.8	66.0	24.4	5.8	1.3
⑮人間関係を築く力	54.2	34.3	7.3	1.8	57.4	30.2	7.3	2.3
⑯他者を思いやる心	56.2	32.0	8.3	1.5	65.2	25.4	5.5	1.0
⑰社会で役立つ心や公共心	43.6	39.0	13.4	1.5	49.9	36.0	9.6	1.5
⑱郷土や国を愛する心	21.2	47.1	25.2	4.3	30.7	42.1	19.4	5.0
⑲ものごとをやりとげる責任感やねばり強さ	42.8	40.1	12.8	1.8	53.7	33.0	8.6	1.5
⑳人権を尊重する力	50.9	38.8	7.1	1.3	58.2	29.2	8.3	1.5
㉑基本的な生活習慣	29.0	39.8	20.9	8.1	67.8	20.4	7.1	1.8
㉒自分自身で社会や生活の場を良くしていくこうとする当事者意識	33.5	43.3	18.4	2.3	53.7	29.2	12.6	1.5

問8 あなたは、お様が通っている学校の次のような指導や取組に対して、満足していますか。また、その指導や取組は、重要だと思いますか。

(①～⑳について、A・Bそれぞれ、あてはまるもの1つに○)

	A 満足度				B 重要度					
	とても満足	やや満足	いない	あまり満足して 満足していない	とても重要	やや重要	重要ではない	あまり	重要ではない	まったく
①基礎的な学力の向上	13.9	57.2	23.4	3.5	64.0	28.2	3.5	0.5		
②基礎的な学力を活用する力を高める指導	14.6	51.9	27.2	3.8	59.9	31.0	3.8	0.8		
③ICTを活用した授業づくり	14.1	56.7	24.4	2.0	41.8	43.6	8.8	1.3		
④宿題の内容や量	9.8	53.4	28.2	5.5	25.7	46.6	20.4	2.5		
⑤一人ひとりの学力や興味に応じた指導	9.1	39.0	40.6	8.8	46.9	40.6	7.1	1.3		
⑥学習意欲を高めること	10.3	42.1	38.3	6.5	56.4	34.0	4.3	0.8		
⑦学習発表会や音楽発表会などの文化活動	24.9	54.9	15.6	2.0	36.8	42.8	13.1	2.3		
⑧部活動などのスポーツ活動	22.4	50.1	17.1	7.1	33.5	45.6	13.6	2.8		
⑨心の教育(道徳や人権教育、平和学習など)	15.9	55.4	22.2	4.0	52.4	37.5	4.3	1.3		
⑩いじめや問題行動への対応	11.8	51.9	23.7	9.6	62.5	26.7	5.0	1.5		
⑪不登校児童生徒への支援(学習支援・教育相談)	10.6	50.1	29.5	6.8	52.6	33.2	6.8	1.8		
⑫将来の進路や職業について考えさせること	13.4	53.9	27.2	3.3	63.2	29.0	3.0	0.8		
⑬こども一人ひとりの個性に応じた支援	13.1	46.3	30.7	7.6	58.7	32.2	4.5	0.5		
⑭特別な支援を要するこどもに応じた支援	11.6	53.9	27.0	5.0	55.2	35.5	4.5	0.8		
⑮スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門職による支援	9.6	52.6	28.2	6.5	50.4	38.8	5.8	0.8		
⑯学校給食を通じた食育や体づくり	14.1	52.4	19.6	11.3	47.9	40.8	5.8	1.3		
⑰進級進学時の教員同士の連携による一貫した指導	12.6	50.1	27.7	6.8	54.9	35.0	4.3	1.8		
⑱教員の指導力や教育への熱意	13.9	54.4	22.9	6.0	55.7	34.0	4.5	1.5		
⑲学校の施設・設備による学習環境の充実	17.9	55.4	20.2	3.5	46.1	44.1	4.3	1.3		
⑳防犯に関する情報提供など安全管理体制の充実	14.4	62.2	17.4	3.5	55.7	34.8	4.0	1.3		
㉑利用可能な制度・支援の情報提供	14.4	56.2	22.9	3.8	50.4	37.5	6.0	1.3		
㉒地域との連携による学校運営(コミュニティ・スクール)	11.8	54.2	27.2	4.3	38.8	47.6	7.1	2.0		
㉓自然や伝統文化などの体験活動	9.8	50.6	30.2	6.0	39.0	43.8	10.8	1.5		

問 9 あなたのご家庭では、お子様との関わりのなかで、次のことをどのくらい心がけていますか。

(①～⑱について、それぞれ、あてはまるもの1つに○)

	大変 心がけて いる	やや 心がけて いる	あまり 心がけて いない	まったく 心がけて いない
①規則正しい生活習慣を身につけさせる	44.3	46.9	7.1	-
②こどもの食生活や食習慣	45.1	46.9	6.0	-
③あいさつや行儀、礼儀作法を身につけさせる	57.7	36.5	3.5	0.3
④テレビやゲーム、携帯電話(スマートフォン)等の使い方や使う時間を決める	23.9	46.3	24.4	3.3
⑤家事の手伝いなど家族の一員としての役割を与える	32.5	47.4	16.6	1.5
⑥スポーツに親しむ習慣や意欲を育む	28.5	36.0	27.0	6.5
⑦音楽や芸術など文化的な活動を通して豊かな感性を育む	23.2	41.3	28.0	5.3
⑧本や新聞を読むようにすすめる	15.1	37.5	34.8	10.6
⑨家族みんなで食事をするなど団らんの場をつくる	52.4	33.8	10.1	1.5
⑩正しい言葉づかいを教える	44.3	42.6	10.6	0.5
⑪悪いことをした時はきちんと叱る	75.8	20.2	1.8	-
⑫こどもの努力や良いところをほめる	69.3	25.7	2.8	-
⑬自分でできることは自分でさせ自立心を育てる	57.7	35.0	5.0	0.5
⑭将来や進路についての話をする	57.4	33.5	6.8	-
⑮学校での出来事などこどもの話を聞く	56.2	35.5	6.0	0.3
⑯こどもの適切なお金の使い方	46.9	41.6	8.8	0.8
⑰地域の行事やお祭りに親子で参加する	14.9	38.3	35.8	9.1
⑱ものづくりや自然体験の機会をつくる	17.1	34.5	36.8	9.3
⑲学校行事に参加する	35.0	44.3	14.6	3.3

問10 お子様は、宿題や家庭学習に、自分から意欲的に取り組んでいますか。

40.6	取り組んでいる	35.0	やや取り組んでいる
16.9	あまり取り組んでいない	5.5	取り組んでいない
1.5	どちらともいえない	0.3	わからない

問11 お子様の家庭での学習に対して、どのようなサポートをしていますか。(あてはまるものすべてに○)

52.4	家庭学習を促す
29.5	学習の仕方についてアドバイスをしている
11.8	1日のうちでいつ学習するかを決めている
4.8	学習時間の長さを決めている
7.1	学校配布のプリント類の整理を手伝っている
62.2	学校や塾の成績を見る
3.0	その他()
9.8	特にしていない

問12 お子様の家庭での学習において、課題だと思うことは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

23.4	こどもが学習に取り組む時間が足りない	31.5	こどもが学習の仕方をわかっていない
34.8	こどもの学習意欲があまりない	25.7	こどもが学習内容をむずかしいと感じている
21.2	こどもが学習に集中できていない	9.6	こどもの学習に家族が関わるできない
4.0	その他()	20.2	特にない

問13 お子様には、学校のある日(平日)と学校のない日(休日)のそれぞれ、どのような過ごし方を
してほしいと思いますか。(それぞれ、あてはまるもの1位から3位を記入ください)

1 家で勉強や読書をする	2 習い事をする	平日	休日
3 スポーツ活動をする	4 文化活動をする	1位	1位
5 地域の活動に参加する	6 学習塾などで勉強する		
7 家で休養する	8 家族と過ごす	2位	2位
9 友だちと遊ぶ	10 体験活動をする		
11 児童館や図書館、公民館など 公共施設で過ごす	12 家の手伝いをする	3位	3位
13 その他()			

	平日			休日		
	1位	2位	3位	1位	2位	3位
1 家で勉強や読書をする	21.2	14.1	11.3	13.1	10.3	8.6
2 習い事をする	2.0	5.8	3.0	0.8	2.3	1.3
3 スポーツ活動をする	9.3	9.6	5.3	10.1	6.5	5.8
4 文化活動をする	1.3	0.5	0.5	0.3	1.0	0.8
5 地域の活動に参加する	0.5	0.5	1.0	-	1.3	1.0
6 学習塾などで勉強する	37.5	12.1	7.6	8.1	5.5	5.3
7 家で休養する	10.3	19.6	16.9	23.2	16.1	16.4
8 家族と過ごす	8.3	14.4	15.9	23.2	24.2	14.4
9 友だちと遊ぶ	5.3	12.8	15.4	14.4	20.7	22.4
10 体験活動をする	0.3	0.8	1.0	1.0	1.8	2.0
11 児童館や図書館、公民館など公共施設 で過ごす	0.5	0.3	0.8	0.5	1.3	1.3
12 家の手伝いをする	1.5	5.0	13.1	3.0	5.3	11.3
13 その他	1.8	1.8	1.5	2.0	0.5	2.5

問14 お子様の生活の中で、あなたが現在、心配していることは何ですか。

(特にあてはまるもの1位から3位を記入)

1 学校生活を楽しんでいるか	2 学習内容を理解しているか
3 友だちの数が少なすぎないか	4 友だちと仲良くしているか
5 誰かにいじめられていないか	6 誰かをいじめていないか
7 インターネットトラブルにあっていないか	8 交通事故などの事故にあわないか
9 社会のルールに反する行為をしていないか	10 犯罪にあわないか
11 悩みごとや困りごとを抱えていないか	12 その他 ()
13 心配していることはない	

1位
2位
3位

	1位	2位	3位
1 学校生活を楽しんでいるか	31.0	18.4	11.3
2 学習内容を理解しているか	27.5	14.9	9.3
3 友だちの数が少なすぎないか	1.8	2.8	3.8
4 友だちと仲良くしているか	3.5	14.6	12.6
5 誰かにいじめられていないか	2.3	2.8	4.3
6 誰かをいじめていないか	-	1.5	0.8
7 インターネットトラブルにあっていないか	1.5	6.8	3.8
8 交通事故などの事故にあわないか	3.0	3.8	3.8
9 社会のルールに反する行為をしていないか	1.3	1.3	2.0
10 犯罪にあわないか	2.3	3.0	3.8
11 悩みごとや困りごとを抱えていないか	14.6	12.6	15.4
12 その他	2.5	0.8	0.8
13 心配していることはない	8.3	8.3	9.3

問15 お子様に、本人専用のスマートフォンや携帯電話を持たせていますか。

83.6 持たせている	15.6 持たせていない
-------------	--------------

問15-1 【問15で「1 持たせている」に○をつけた方に伺います】

お子様にスマートフォンや携帯電話を持たせている理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

91.3 こどもといつでも連絡が取れるようにするため
34.3 こどもの所在地が分かるようにするため
8.4 こどもにせがまれたため
16.3 こどものまわりの友達がっており、仲間はずれになる心配があったため
6.3 パソコン、ゲーム機の代わり
5.4 その他()

問16 お子様がスマートフォンやインターネットを利用するときにルールを決めていますか。

70.5 決めている	28.2 決めていない
------------	-------------

問16-1 【問16で「1 決めている」に○をつけた方に伺います】お子様は、決められたルールを守っていますか。

22.5 きちんと守っている	56.8 だいたい守っている
16.4 あまり守っていない	4.3 まったく守っていない

問17 お子様の学校関連などの費用で、どのようなものが負担だと感じますか。
(負担だと感じるもの1位から3位を記入ください)

1 教材費(ドリル、副読本、ワークテスト等)	1位
2 給食費	
3 体育着、帽子など	2位
4 校外学習費(遠足や社会科見学等の経費)	
5 宿泊学習費(移動教室や修学旅行等の経費)	3位
6 PTA 会費	
7 学校外での習い事の費用	
8 その他()	
9 特に負担と感じていない	

	1位	2位	3位
1 教材費(ドリル、副読本、ワークテスト等)	4.3	8.3	7.8
2 給食費	13.1	12.1	9.1
3 体育着、帽子など	4.0	10.3	10.8
4 校外学習費(遠足や社会科見学等の経費)	1.3	3.0	4.8
5 宿泊学習費(移動教室や修学旅行等の経費)	18.6	18.9	6.8
6 PTA 会費	9.3	9.6	9.8
7 学校外での習い事の費用	30.7	10.8	9.6
8 その他	1.5	1.5	1.5
9 特に負担と感じていない	15.9	9.3	10.1

問18 お子様の学校生活に必要なものを十分に用意できなかったことはありますか。

14.4 はい	84.6 いいえ
---------	----------

問18-1 問18で「1 はい」に○をつけた方に伺います。

その理由は何ですか。(特にあてはまるもの1位から3位を記入ください)

1 経済的に購入・準備する余裕がなかった(経済的理由)
2 購入や準備のための時間をさけなかった(時間的理由)
3 必要なものを入手できる場所や環境が周りになかった(距離・環境的理由)
4 学校や地域からの情報不足で必要なものを把握できなかった(情報不足)
5 こどもからの情報不足で必要なものを把握できなかった(情報不足)
6 その他()

1位
2位
3位

	1位	2位	3位
1 経済的に購入・準備する余裕がなかった(経済的理由)	78.9	5.3	1.8
2 購入や準備のための時間をさけなかった(時間的理由)	10.5	17.5	8.8
3 必要なものを入手できる場所や環境が周りになかった(距離・環境的理由)	3.5	8.8	10.5
4 学校や地域からの情報不足で必要なものを把握できなかった(情報不足)	1.8	10.5	8.8
5 こどもからの情報不足で必要なものを把握できなかった(情報不足)	3.5	24.6	17.5
6 その他()	1.8	1.8	3.5

問19 お子様希望する学びの機会(塾、習い事、家庭学習など)を制限せざるを得なかったことはありますか。

35.0 はい	62.5 いいえ
---------	----------

問19-1 問19で「1 はい」に○をつけた方に伺います。

その理由は何ですか。(特にあてはまるもの1位から3位を記入ください)

1 塾、習い事、教材などに費用をかけられなかった(経済的理由)	1位
2 送迎や付き添い、手続きなどの時間をさけなかった(時間的理由)	
3 希望にかなう適切な機会提供の場所や環境が周りになかった(距離・環境的理由)	2位
4 家庭内の学習スペースや環境が確保できなかった(空間的理由)	
5 こどものやる気や意欲が続かなかった(こどもの意欲)	3位
6 その他()	

	1位	2位	3位
1 塾、習い事、教材などに費用をかけられなかった(経済的理由)	77.7	10.8	1.4
2 送迎や付き添い、手続きなどの時間をさけなかった(時間的理由)	12.2	47.5	7.2
3 希望にかなう適切な機会提供の場所や環境が周りになかった(距離・環境的理由)	4.3	12.2	23.7
4 家庭内の学習スペースや環境が確保できなかった(空間的理由)	4.3	5.0	7.9
5 こどものやる気や意欲が続かなかった(こどもの意欲)	0.7	5.0	16.5
6 その他	0.7	0.7	7.9

問20 お子様の教育等について、困っていること、悩んでいることはありますか。

(主なもの3つまで○)

16.4	こどもの体力や健康
44.8	こどもの学力や学習状況
12.6	こどもの生活態度や性格
14.6	こどもの友人関係
34.5	こどもの進路
22.7	教育費の負担
6.8	家庭でのしつけや教育方法
25.2	携帯電話やスマートフォン、インターネット、ゲーム機などの使い方
4.5	保護者同士の交流が少なく、情報交換ができない
3.5	こどもと接する時間がなかなか取れない
3.5	教育について気軽に相談できる人や場所がない
4.0	学校の雰囲気やこどもの様子がよくわからない
1.0	その他()
14.4	特にない

問21 あなたは、お子様の教育について、困ったり悩んだりしていることを誰に相談しますか。

(あてはまるものすべてに○)

81.1	家族	16.1	親戚
47.1	友人・知人	21.4	こどもと同じ学校の保護者
16.4	学校の担任の先生	1.0	学校長や担任以外の教員
0.3	教育委員会	1.5	教育支援センター
0.3	市役所	1.0	専門的な相談機関の電話相談
0.8	警察や児童相談所	2.3	スクールカウンセラーなど教育相談の専門職員
4.5	インターネットやSNS	3.0	その他()
4.8	特に相談はしない		

問21-1 【問21で「14」に○を付けた方に伺います】

特に相談はしない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

84.2	自分で解決する	5.3	誰に相談したらいいかわからない
5.3	先生の心証やこどもの成績に悪影響が でるのが怖いから	5.3	相談すると状況が悪化する恐れがあるか ら
5.3	モンスターペアレントと思われたくない から	-	他の保護者に知られたくないから
21.1	相談しても解決が期待できないから	-	相談のしかたがわからない
5.3	その他()		

問22 こどもの教育環境の充実を図るため、学校・家庭・地域の連携による取組が求められています。地域の役割として取り組んでほしいと思うのは、どのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

48.1 地域の子どもへのあいさつや声かけ等による見守り	34.0 ルールやマナーについて教えること
36.8 通学路の安全を見守る活動	11.8 運動会や発表会など学校行事への参加や協力
18.4 学校や学校周辺の美化・清掃活動	21.9 特技や経験を生かした授業への協力
23.4 クラブ活動・部活動の指導や運営協力	16.4 放課後や休日の体験活動や学習支援
17.1 地域の伝統文化や歴史を教える	25.4 こどもの悩みや相談への対応
21.7 街頭指導など非行防止の活動	8.3 子ども会などの地域活動
0.8 その他()	8.1 特にない

問23 沖縄市の教育に関して、ご意見などがございましたら自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

5. 教員の調査票

教員用

沖縄市の教育に関するアンケート調査

第5期沖縄市教育振興基本計画の策定に向けたアンケート調査について
(ご協力をお願い)

皆さまには、日頃より、沖縄市の教育行政にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

沖縄市教育委員会では、こどもから大人まで、市民一人ひとりの学びを推進するため、「沖縄市教育振興基本計画」に基づき、さまざまな取組を行っております。現在の第4期計画が、令和8年度で終了することから、次期計画の策定に向け、アンケート調査を実施しております。

このアンケートは、こどもたちの学びや、教員の皆さまが教育に取り組むための環境整備等に関して、ご意見を伺うことを目的としています。

アンケートは無記名のため、個人が特定されることはありません。アンケート結果は、計画づくりの参考資料としてのみ使用いたします。

皆さまには、お忙しい中、お手数をおかけいたしますが、本調査の趣旨をご理解いただき、アンケートへのご回答にご協力くださいますようお願い申し上げます。

対象：沖縄市立小中学校に在籍する教員

回答期限：令和7年12月16日(火)までにご回答ください

回答方法：専用のWEBサイトにアクセスし、回答を入力してください

専用サイト < <https://x.gd/UinBR> >

右のQRコードからも回答いただけます →→→→

(アンケートの回答時間のめやす：5分～10分程度)



※アンケートに関するお問い合わせは、下記の《調査委託先》までご連絡ください。

《調査委託先》

株式会社サーベイリサーチセンター 沖縄事務所

フリーダイヤル:0120-656-652 (受付時間 平日10時～17時)

問1 あなたの教職経験年数についてお伺いします。

13.1	4年以下	14.3	5～9年	15.0	10～14年
14.8	15～19年	24.4	20～29年	18.2	30年以上

問2 あなたの職名についてお伺いします。

84.2	教諭	10.6	管理職	4.9	その他()
------	----	------	-----	-----	--------

【問2で「1」に○を付けた方にお聞きします】

問2-1 現在、どの学年を担当していますか。

7.0	小学1年生	5.8	小学2年生	6.7	小学3年生
9.4	小学4年生	5.3	小学5年生	8.5	小学6年生
8.2	中学1年生	5.0	中学2年生	6.4	中学3年生
25.7	特別支援学級	3.5	担任兼複数の学年を担当している		
8.2	担当する学年をもっていない				

問3 あなたは、今後の学習指導において、次のなかで重点的に力を入れていこうと考えるものはどれですか(特に重点的なもの1位から3位を記入)

1 基礎的・基本的な知識・技能の習得	1位
2 国語、社会、算数・数学、理科、英語(外国語)の教科	
3 学校体育	2位
4 文化活動	
5 生徒の情操を養う教育	3位
6 人権や道徳教育	
7 総合的な学習の時間	
8 持続可能な社会の構築に向けた教育	
9 情報活用能力の育成や情報モラル教育	
10 食育	
11 ICT環境の充実と教員のICT指導力向上	
12 国際社会で主体的に行動できる国際理解教育	
13 将来の職業や生き方についての教育	
14 自然体験、文化体験、社会体験等の体験活動	
15 郷土の伝統文化に関する教育	
16 地域の声を生かすコミュニティスクールの充実	
17 学校と地域が連携した活動	
18 小中連携などの学校間連携	
19 教師主導の授業スタイルから、生徒主体の授業スタイルへの転換を図る	
20 その他	

	1位	2位	3位
1 基礎的・基本的な知識・技能の習得	55.9	19.5	6.2
2 国語、社会、算数・数学、理科、英語(外国語)の教科	6.4	19.5	7.1
3 学校体育	1.0	1.0	2.5
4 文化活動	0.2	0.5	1.0
5 生徒の情操を養う教育	8.9	10.3	11.6
6 人権や道徳教育	4.7	15.3	15.8
7 総合的な学習の時間	0.5	0.7	1.2
8 持続可能な社会の構築に向けた教育	1.7	1.7	4.4
9 情報活用能力の育成や情報モラル教育	0.5	3.2	9.6
10 食育	-	1.2	1.2
11 ICT 環境の充実と教員の ICT 指導力向上	2.5	4.9	5.4
12 国際社会で主体的に行動できる国際理解教育	-	0.2	1.7
13 将来の職業や生き方についての教育	5.7	7.9	12.8
14 自然体験、文化体験、社会体験等の体験活動	0.7	1.5	3.7
15 郷土の伝統文化に関する教育	-	0.2	0.7
16 地域の声を生かすコミュニティスクールの充実	-	0.5	0.5
17 学校と地域が連携した活動	-	0.5	2.0
18 小中連携などの学校間連携	-	-	0.7
19 教師主導の授業スタイルから、生徒主体の授業スタイルへの転換を図る	9.4	9.9	9.6
20 その他	1.5	0.5	0.2

問4 あなたは、次の中で、児童生徒の学習意欲の向上に向けて、教員の工夫が求められているものは何だと思いますか。(特に求められていると思うもの1位から3位を記入)

1 じっくり児童生徒の話を聞く 2 楽しく、分かりやすい授業をする 3 一人ひとりのよさや可能性を伸ばし、個を生かす工夫をする 4 児童生徒の自主性を尊重し、主体性をはぐくむ 5 ほめて自信や勇気を与える 6 すべての児童生徒に居場所と活躍できる環境をつくる 7 児童生徒一人ひとりに向き合う時間を確保する 8 学習意欲を高め、学ぶ楽しさを実感できる工夫をする 9 個に応じた指導のための工夫をする 10 学習への興味・関心及び苦手な内容を把握する 11 授業に集中できる環境づくり 12 ICTを活用した支援の充実 13 その他()	1位
	2位
	3位

	1位	2位	3位
1 じっくり児童生徒の話を聞く	6.7	6.2	4.7
2 楽しく、分かりやすい授業をする	25.9	11.3	7.1
3 一人ひとりのよさや可能性を伸ばし、個を生かす工夫をする	14.0	14.0	12.1
4 児童生徒の自主性を尊重し、主体性をはぐくむ	6.7	10.1	8.9
5 ほめて自信や勇気を与える	6.2	11.8	9.4
6 すべての児童生徒に居場所と活躍できる環境をつくる	7.6	8.9	7.9
7 児童生徒一人ひとりに向き合う時間を確保する	5.9	4.2	4.7
8 学習意欲を高め、学ぶ楽しさを実感できる工夫をする	12.6	16.3	15.0
9 個に応じた指導のための工夫をする	3.9	7.4	9.6
10 学習への興味・関心及び苦手な内容を把握する	2.2	1.5	5.9
11 授業に集中できる環境づくり	5.9	5.9	6.9
12 ICTを活用した支援の充実	1.2	2.0	6.2
13 その他	1.0	0.2	0.5

問5 あなたの学校において、家庭や地域等に関わってほしい取組はどんなことですか。
 (あてはまるものすべてに○)

58.1	地域の子どもへのあいさつや声かけ等による見守り	83.0	ルールやマナーを教えること
39.9	通学路の安全を見守る活動	33.7	運動会や発表会など学校行事への参加や協力
42.1	学校や学校周辺の美化・清掃活動	24.9	特技や経験を生かした授業への協力
27.8	クラブ活動・部活動の指導や運営協力	27.8	放課後や休日の体験活動や学習支援
30.5	地域の伝統文化や歴史を教える	34.2	こどもの悩みや相談への対応
38.4	街頭指導など非行防止の活動	4.7	その他()
-	特にない		

問6 児童生徒に、次のような能力や態度を身につけさせる必要性は、「A:学校教育」と「B:学校教育以外の場(家庭や地域等)」において、どの程度だと思えますか。(①～⑫について、A・Bそれぞれ、あてはまるもの1つに○)

	A 学校教育で身につけさせる必要性				B 学校教育以外(家庭や地域等)で身につけさせる必要性			
	高いとも	高やや	低やや	低いとも	高いとも	高やや	低やや	低いとも
①教科の基礎的な学力	77.1	19.7	2.2	-	22.4	56.4	16.7	3.0
②基礎的な学力を活用する力	66.5	30.0	2.5	-	22.4	56.2	17.0	2.2
③自ら学ぼうとする意欲	48.0	40.4	9.1	1.0	44.1	47.0	5.7	1.7
④実践的な英語力と国際理解	23.4	55.4	18.5	1.2	14.0	50.5	30.0	3.2
⑤ICTを活用する力	31.0	61.6	5.4	0.7	12.1	50.7	30.3	4.4
⑥音楽・美術など芸術面の能力や情操	17.5	59.9	20.4	1.0	20.4	56.9	19.2	1.0
⑦体力や運動能力	17.0	63.3	17.0	1.5	27.3	58.4	11.8	0.7
⑧自分の健康を管理する力	23.6	37.9	30.3	6.9	72.9	21.2	3.4	0.7
⑨自分の進路や職業、将来について考える力	36.2	47.8	12.6	2.2	60.3	32.8	4.7	0.2
⑩論理的にものを考える力	41.1	49.3	7.4	1.0	30.8	48.8	17.0	1.2
⑪自分の考えを表現する力	52.7	39.7	5.7	0.5	40.1	46.8	10.8	0.5
⑫ものごとを計画的に行う力	30.8	57.6	9.4	1.0	47.8	43.3	6.9	0.7
⑬新しいものを生み出す創造的な力	18.0	61.8	17.7	1.0	29.1	54.7	14.3	0.2
⑭善悪を判断する力	43.3	36.7	16.3	2.5	83.0	11.8	3.4	0.2
⑮人間関係を築く力	59.4	32.5	6.4	0.7	60.3	31.8	6.2	0.2
⑯他者を思いやる心	56.4	33.3	7.6	1.0	75.1	19.0	4.4	0.2
⑰社会で役立つ心や公共心	44.8	43.8	9.4	1.0	59.6	33.7	4.4	0.7
⑱郷土や国を愛する心	20.7	53.9	20.7	3.0	41.6	45.8	9.4	0.7
⑲ものごとをやりとげる責任感やねばり強さ	45.6	38.2	12.3	2.5	63.3	29.6	5.2	0.2
⑳人権を尊重する力	50.2	38.9	7.1	1.7	69.0	24.1	5.4	0.2
㉑基本的な生活習慣	25.4	27.8	27.1	18.0	86.0	9.1	2.7	0.5
㉒自分自身で社会や生活の場を良くしていこうとする当事者意識	30.8	48.3	15.3	3.2	62.3	30.5	4.7	1.0

問7 現在、学校の次のような指導や取組に対して満足していますか。また、その指導や取組は重要だと思いますか。

(①～⑳について、A・Bそれぞれ、あてはまるもの1つに○)

	A 満足度				B 重要度				
	とても満足	やや満足	あまり満足していない	まったく満足していない	とても重要	やや重要	重要ではない	あまり重要ではない	まったく重要ではない
①基礎的な学力の向上	11.3	65.5	20.7	1.0	74.1	22.7	1.5	-	-
②基礎的な学力を活用する力を高める指導	9.1	64.0	24.4	1.2	68.2	28.8	1.0	-	-
③ICTを活用した授業づくり	21.7	54.9	20.4	2.2	36.0	51.2	10.1	0.7	0.7
④宿題の内容や量	10.8	62.1	21.7	3.7	17.7	45.8	30.3	4.2	4.2
⑤一人ひとりの学力や興味に応じた指導	6.7	56.9	30.3	4.7	40.6	54.7	2.7	0.5	0.5
⑥学習意欲を高めること	9.1	63.1	24.4	2.0	63.5	33.0	1.0	0.5	0.5
⑦学習発表会や音楽発表会などの文化活動	22.4	56.4	16.3	3.4	28.8	54.2	13.5	1.7	1.7
⑧部活動などのスポーツ活動	16.5	53.7	21.2	6.4	15.3	48.5	26.4	8.1	8.1
⑨心の教育(道徳や人権教育、平和学習など)	19.5	61.1	16.0	2.0	65.3	30.5	2.5	-	-
⑩いじめや問題行動への対応	25.4	60.1	11.3	1.5	76.1	20.4	1.7	-	-
⑪不登校児童生徒への支援(学習支援・教育相談)	18.2	54.2	22.9	3.4	61.1	34.2	3.0	0.5	0.5
⑫将来の進路や職業について考えさせること	10.1	59.9	26.6	2.5	58.1	38.4	1.5	0.5	0.5
⑬こども一人ひとりの個性に応じた支援	9.1	60.3	27.1	2.2	57.1	39.2	1.7	-	-
⑭特別な支援を要することにも応じた支援	13.1	50.7	28.8	6.2	64.5	31.3	2.0	0.2	0.2
⑮スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門職による支援	20.0	59.4	15.8	3.4	61.1	35.7	1.7	-	-
⑯学校給食を通じた食育や体づくり	14.3	59.4	20.9	3.9	33.5	54.4	8.6	1.5	1.5
⑰進級進学時の教員同士の連携による一貫した指導	16.0	58.6	21.2	3.0	59.1	35.2	3.4	0.2	0.2
⑱教員の指導力や教育への熱意	23.2	64.5	9.4	1.7	60.1	35.7	2.2	-	-
⑲学校の施設・設備による学習環境の充実	9.9	42.6	30.8	15.3	65.5	30.5	1.7	0.5	0.5
⑳防犯に関する情報提供など安全管理体制の充実	16.0	60.1	19.2	3.0	62.3	34.2	1.5	0.2	0.2
㉑利用可能な制度・支援の情報提供	9.6	56.9	26.6	4.7	55.2	39.4	3.0	-	-
㉒地域との連携による学校運営(コミュニティ・スクール)	11.1	55.2	27.6	4.7	42.6	47.8	6.4	1.2	1.2
㉓自然や伝統文化などの体験活動	7.1	45.6	38.4	7.1	37.7	52.7	7.1	0.2	0.2

問8 こどもたちや教育について、課題だと感じていることは何ですか。

(特にあてはまるもの1位から3位を記入)

1 こどもたちの学力	2 こどもたちの道徳心や規範意識等
3 こどもたちの健康状態や体力	4 こどもたちの基本的な生活習慣
5 こどもたちの問題行動やいじめ・不登校	6 家庭環境等による教育格差
7 家庭の教育力	8 地域の教育力
9 学校・家庭・地域の連携	10 保育所・認定こども園・幼稚園・小・中学校間の連携
11 学校の施設や設備	12 教職員の指導力
13 その他()	14 特にない

1位		2位		3位	
----	--	----	--	----	--

	1位	2位	3位
1 こどもたちの学力	16.5	14.0	16.7
2 こどもたちの道徳心や規範意識等	24.4	22.7	11.1
3 こどもたちの健康状態や体力	0.5	1.5	5.9
4 こどもたちの基本的な生活習慣	14.3	17.5	14.0
5 こどもたちの問題行動やいじめ・不登校	6.9	12.1	12.3
6 家庭環境等による教育格差	11.8	10.6	9.6
7 家庭の教育力	17.7	12.6	12.6
8 地域の教育力	0.2	2.0	1.0
9 学校・家庭・地域の連携	0.7	0.5	2.7
10 保育所・認定こども園・幼稚園・小・中学校間の連携	-	-	0.5
11 学校の施設や設備	1.7	3.4	5.4
12 教職員の指導力	3.0	1.5	3.7
13 その他	1.2	0.2	0.7
14 特にない	0.5	0.7	0.7

問9 仕事をするうえで、あなたが特に負担感を感じるのはどのような業務ですか。

(あてはまるものすべてに○)

26.6 授業、授業準備、学習指導	26.4 成績処理
52.0 生徒指導	23.2 部活動・クラブ活動
3.9 児童会・生徒会指導	18.5 学校行事
11.3 学年・学級経営	9.1 学校運営
29.1 会議・打ち合わせ	52.0 事務・報告書作成
20.0 研修	64.0 保護者対応
20.0 地域・行政・関係団体の対応	8.6 その他()
1.5 特に負担を感じることはない	

問10 あなたは、業務のことで悩んだ時は、誰に相談しますか。

(あてはまるものすべてに○)

54.2 家族や親族	30.8 友人や知人
78.1 同僚の教員(同じ学校)	25.1 同僚の教員(市内)
30.8 同僚の教員(市外)	40.6 同じ学校の管理職
4.9 教育委員会	0.7 その他()
4.2 特に相談はしない	

問11 今後、学校で、特に取り組まなければならないと思うことは何ですか。
 (特にそう思うこと 1 位から 3 位を記入)

1	児童生徒の基礎的な学力の向上
2	社会で役立つような授業の内容
3	児童生徒の創造性や個性を伸ばす取り組み
4	児童生徒を勉強だけでなく多様な観点から評価する仕組み
5	いじめへの対応
6	暴力行為などへの対応
7	不登校への対応
8	教員と児童生徒が向き合う時間の確保
9	教員と保護者が話し合う時間の確保
10	児童生徒の様子を保護者へ伝えるための時間の確保
11	授業準備や教材研究の時間の確保
12	研修時間を確保し、指導力の向上を図る
13	教員が教務に集中できるような仕組みや体制づくり
14	児童生徒の教育について家庭と学校の役割分担を明確にする
15	部活動の負担軽減
16	家庭や地域と共に児童生徒を育成する環境の充実
17	教員のメンタルヘルスの維持
18	その他()

1 位
2 位
3 位

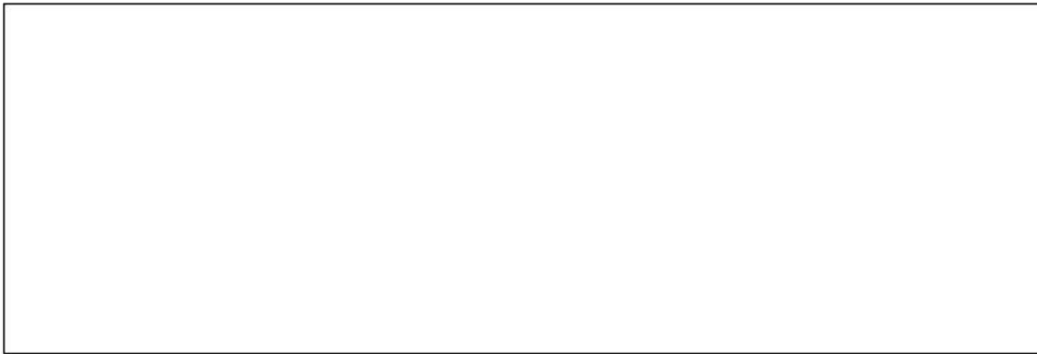
	1 位	2 位	3 位
1 児童生徒の基礎的な学力の向上	23.9	12.3	6.2
2 社会で役立つような授業の内容	4.9	7.4	5.2
3 児童生徒の創造性や個性を伸ばす取り組み	1.2	4.2	5.2
4 児童生徒を勉強だけでなく多様な観点から評価する仕組み	3.4	2.5	2.7
5 いじめへの対応	1.2	3.7	1.2
6 暴力行為などへの対応	0.7	1.0	1.2
7 不登校への対応	4.2	3.9	6.7
8 教員と児童生徒が向き合う時間の確保	9.1	13.5	9.1
9 教員と保護者が話し合う時間の確保	0.5	0.7	0.5
10 児童生徒の様子を保護者へ伝えるための時間の確保	0.2	0.7	1.0
11 授業準備や教材研究の時間の確保	13.3	11.3	14.0
12 研修時間を確保し、指導力の向上を図る	1.5	3.4	2.2
13 教員が教務に集中できるような仕組みや体制づくり	21.4	16.0	10.8
14 児童生徒の教育について家庭と学校の役割分担を明確にする	3.7	7.4	5.9
15 部活動の負担軽減	3.9	3.0	3.2
16 家庭や地域と共に児童生徒を育成する環境の充実	0.2	2.0	4.7
17 教員のメンタルヘルスの維持	4.7	4.7	13.3
18 その他	0.7	1.0	2.0

問12 今の児童生徒に対して、特に取り組まなければならないと思うことは何ですか。
(特にそう思うものから1位から3位を記入)

1	感情や欲求のコントロール	1位
2	公共のルールや決まりの順守	
3	思いやりや親切心の育成	2位
4	挑戦する意欲の向上	
5	知識を身につける	3位
6	自分で決めたり、やり遂げる力	
7	コミュニケーション能力の向上	
8	主体的に学習等に取り組む姿勢	
9	健康的な身体をつくる	
10	忍耐力を養う	
11	基本的な生活習慣の形成	
12	体力や運動能力の向上	
13	豊かな情操の育成	
14	道徳観や人権の考え方の推進	
15	伝統文化に親しむ機会の充実	
16	社会を担う当事者意識の涵養	
17	その他()	

	1位	2位	3位
1 感情や欲求のコントロール	28.3	16.0	8.9
2 公共のルールや決まりの順守	15.8	23.2	6.7
3 思いやりや親切心の育成	9.9	10.6	13.5
4 挑戦する意欲の向上	5.7	4.4	4.7
5 知識を身につける	1.5	1.0	4.7
6 自分で決めたり、やり遂げる力	7.4	10.1	9.6
7 コミュニケーション能力の向上	6.2	7.9	9.1
8 主体的に学習等に取り組む姿勢	10.6	8.4	9.1
9 健康的な身体をつくる	0.7	0.7	0.5
10 忍耐力を養う	2.2	3.7	8.1
11 基本的な生活習慣の形成	6.9	5.4	8.9
12 体力や運動能力の向上	0.5	1.0	1.0
13 豊かな情操の育成	0.2	2.2	2.7
14 道徳観や人権の考え方の推進	2.2	3.2	5.4
15 伝統文化に親しむ機会の充実	-	-	0.5
16 社会を担う当事者意識の涵養	0.5	1.0	2.5
17 その他	0.5	0.2	0.2

問 13 学校教育について、感じていることなどがありましたら、ご自由にお書きください。



質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

6. 市民の調査票

市民

沖縄市の教育に関するアンケート調査

皆さまには、教育行政の推進にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、沖縄市教育委員会では、令和8年度に策定する第5期沖縄市教育振興基本計画に反映するため、市民アンケート調査をおこないます。

今回のアンケート調査は、令和7年10月時点で沖縄市内にお住まいの20歳以上の市民の皆さまのうち、無作為に抽出した3,000名を対象に実施いたします。

アンケートは無記名になっており、個人が特定されることや、アンケートの結果を調査目的以外に利用することはありません。

皆さまには、お忙しいなかお手数をおかけいたしますが、本調査の趣旨をご理解いただき、アンケートへの回答にご協力くださいますようお願い申し上げます。

沖縄市教育委員会
教育長 高江洲 実

■回答方法

次のいずれかの方法でご回答ください。

1. 本書面に記入し、同封の封筒(切手不要)に入れてポストに投函
2. 下記のQRコードまたはURLアドレスからウェブ回答

<ウェブアンケート画面のURL>

<https://x.gd/bUHBq>

<QRコード>



■アンケート調査の回答の締め切り

2025年12月25日(木)まで(当日消印有効)

■本アンケートの問い合わせ先

調査委託先：株式会社サーベイリサーチセンター沖縄事務所

フリーダイヤル：0120-656-652 (月～金：10時-17時)

＊次ページからのアンケートにご回答ください＊

本資料は、調査票の選択肢に集計結果を記入したものです。数値は原則として小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

あてはまる選択肢に○を付けてください。その他を選択した場合は、回答内容を記入してください。

あなたご自身のことについて

問1 あなたの性別をお伺いします。

38.2	男	59.2	女	2.0	答えたくない
------	---	------	---	-----	--------

問2 あなたの年代についてお伺いします。

10.7	20代	16.3	30代	19.6	40代
23.2	50代	19.4	60代	10.6	70代以上

問3 あなたの家族構成についてお伺いします。

13.0	ひとり暮らし	18.6	夫婦のみ
58.1	親子(2世代)	5.3	3世代(祖父母、父母、こどもなど)
4.4	その他()		

問3-1

問3-1 【問3で「3」～「5」に○を付けた方にお聞きします】

あなたのご家族には、中学生以下のお子さんはいますか。(あてはまるものすべてに○)

19.7	小学校に入学する前のこどもがいる	22.7	小学生がいる
16.5	中学生がいる	52.7	中学生以下のこどもはいない

問4 あなたの職業についてお伺いします。

8.0	自営業・自由業	45.0	勤め人(常勤)
20.3	勤め人(パート・アルバイト等)	7.2	家事専業(専業主婦・夫、家事手伝い)
2.6	学生	14.2	無職(専業主婦・夫、家事手伝いは除く)
1.0	その他()		

生涯学習活動(自主的な学習活動)について

***** 生涯学習とは? *****

生涯学習とは、学校教育、家庭教育、社会教育、文化活動やスポーツ活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味・教養など、講座、教室、講演会、展示会等の様々な場や機会において、人々が生涯に行う学習のことです。

このアンケートでは、生涯学習のことを「自主的な学習活動」と記載しています。

問5 あなたは、現在、自主的な学習活動をしていますか。

33.0 はい 6.5 休止している → 問6-1~5 59.8 いいえ → 問6-6

問6-1 【問5で「1」「2」に○を付けた方にお聞きます】

どのような学習活動をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 52.3 趣味や教養に関すること
- 12.6 文化芸術に関すること
- 34.2 運動やスポーツ、レクリエーションに関すること
- 24.0 健康に関すること
- 17.3 子育てや教育に関すること
- 43.2 資格取得や仕事上の知識・技能に関すること
- 11.4 生活に関すること
- 5.5 ICT(情報通信技術)の活用に関すること
- 10.4 地域活動に関すること
- 8.6 地域課題や社会問題に関すること
- 3.9 その他()

問6-2 【問5で「1」「2」に○を付けた方にお聞きます】

学習活動の目的は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 45.4 趣味の充実、趣味を見つけたい
- 51.9 知識や教養を高めたい
- 42.2 健康づくり、体力づくり
- 23.2 技術を向上させたい
- 39.7 資格取得や仕事に役立てたい
- 36.0 日常生活を充実させたい
- 15.9 生活上の悩みや課題を解決したい
- 13.8 地域活動に役立てたい
- 18.9 仲間づくりや交流
- 2.6 その他()

問6-3 【問5で「1」「2」に○を付けた方にお聞きします】

学習活動はどのくらいの頻度でおこなっていますか。

21.0	ほとんど毎日	20.4	週3～4回	30.8	週1～2回
16.3	月1～2回	6.9	年5～6回以下		

問6-4 【問5で「1」「2」に○を付けた方にお聞きします】

主な学習活動の場所はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

65.8	自宅	2.9	知人宅
8.8	地域の公民館・集会所	6.9	市立図書館
0.6	市立郷土博物館	0.2	市立芸能館
2.4	地域の公園	7.5	学校(高等学校、大学、大学院、専門学校など)
3.5	コザ運動公園	7.1	市の公共施設
7.1	県総合運動公園	23.0	民間施設
15.9	その他()		

問6-5 【問5で「1」「2」に○を付けた方にお聞きします】

学習活動で得た知識や技能をどのように生かしていますか。あるいは生かしたいですか。(あてはまるものすべてに○)

16.5	地域での活動に生かしている(生かしたい)
37.7	家庭や日常生活に生かしている(生かしたい)
25.9	技術や技能の向上に生かしている(生かしたい)
62.5	自分の人生を豊かにしている(豊かにしたい)
41.1	健康の維持・増進に役立っている(役立てたい)
46.6	仕事や就職の上で生かしている(生かしたい)
9.0	今後生かしたいが、今は生かせていない
2.0	特に生かしたいと思わない
1.4	その他()
1.4	わからない

問6-6 【問5で「3」に○を付けた方にお聞きします】

現在、自主的な学習活動をおこなっていない理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

47.0	忙しくて時間がない	25.2	他に優先したいことがある
13.5	時間帯が希望に合わない	7.1	一緒にできる仲間がない
9.2	身近なところに学習する場がない	18.5	学習するための費用がかかる
8.1	学習したい内容の講座等がない	15.4	情報がない、情報の入手方法が分からない
20.4	きっかけがつかめない	0.8	家庭や職場の理解が得られない
8.9	健康上の理由	12.4	必要性を感じない
3.6	その他()		

【全員にお伺いします】

問7 あなたは、今後、自主的な学習活動をやってみたい(今やっていることを継続したい、新しいことをやってみたい)と思いますか。

22.9	今やっていることを継続したい	
18.0	今やっていることに加えて、新しいこともやってみたい	→問7-1
41.5	今はやっていないが、今後はやってみたい	
-	今やっていることをやめたい	→問8
15.5	今もやっていないし、今後もやりたくない	

問7-1 【問7で「2」「3」に○を付けた方にお伺いします】

どのような学習活動をやってみたいですか。(あてはまるものすべてに○)

62.6	趣味や教養に関すること
18.6	文化芸術に関すること
38.8	運動やスポーツ、レクリエーションに関すること
39.8	健康に関すること
17.2	子育てや教育に関すること
44.7	資格取得や仕事上の知識・技能に関すること
18.8	生活に関すること
15.7	ICT(情報通信技術)の活用に関すること
12.3	地域活動に関すること
9.6	地域課題や社会問題に関すること
1.8	その他()

問8 【問7で「4」に○を付けた方にお聞きします】

学習活動をやめたい理由は何ですか。

(あてはまるもの1位から3位を記入)

1 忙しくて時間がない	2 他に優先したいことができた
3 時間帯が希望に合わなくなった	4 一緒にできる仲間がいなくなった
5 学習する場がなくなった	6 学習するための費用がかかる
7 学習したい内容の講座等がない	8 これまでの学習活動で満足した(習得できた)
9 健康上の理由	10 その他()

1位	2位	3位
-	-	-

【全員にお聞きします】

問9 市民の自主的な学習活動の活性化のために、今後、充実してほしいことは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

34.7	講座や教室、講演会などの開催	
29.3	インターネットを使った講座や教室などの開催	
11.0	学習機会の運営を支えるボランティアの育成や支援	
9.3	指導者やリーダーの育成や支援	
14.7	サークルやグループ活動の支援	
9.1	学習で得た知識や技能を発表する場や役立てる機会の提供	
8.9	大学等高等教育機関と連携した取り組み	
58.6	いつでも気軽に利用できる場所	
27.0	施設や設備、資料、貸出物品等の充実	
23.9	学習情報の提供	
7.0	学習に関する相談	
2.3	その他()	
13.5	特にない	

問10 中央公民館に期待することは、どのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

29.0	講座・教室等の内容充実	
14.8	オンラインでの講座等の開催	
19.6	公民館での取り組みや登録サークルに関する情報発信	
8.2	資料の提供や活動に対する職員の助言等の支援	
17.9	インターネットの活用等による利用手続きの簡素化	
30.1	放課後のこどもの居場所	
22.6	地域防災の拠点としての役割	
15.4	市民交流の機会の提供による地域活性化の支援	
14.1	施設・設備のリニューアル	
1.0	その他()	
8.8	特にない	
25.7	利用したことがないのでわからない	

問11 市立図書館に期待することは、どのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

34.9	図書資料(郷土に関する資料、絵本・児童書、CD・DVD 資料)の充実	
18.3	電子書籍の充実	
13.7	読み聞かせ、お話会などの充実	
18.7	各種講座・講演会等の充実	
8.2	館内企画展示の充実	
18.7	地域と連携したイベントの充実	
11.0	読書に障がいのある方へのサービスの充実	
22.5	学習室(自習室)の拡張	
15.9	ホームページや SNS などを活用した情報発信の充実	
2.1	その他()	
13.4	特にない	
21.0	利用したことがないのでわからない	

問12 市立郷土博物館に期待することは、どのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

17.6	常設展示の充実	
17.3	企画展等の充実	
28.2	こどもたちの体験学習の機会の提供	
20.4	親子で楽しめる企画の充実	
13.0	ホームページや SNS などを活用した情報発信の充実	
11.0	施設・設備のリニューアル	
0.5	その他()	
9.0	特にない	
42.5	利用したことがないのでわからない	

問13 市民向けの講演会や講座などに参加する場合、どのような形式が良いと思いますか。

47.0	対面形式	
13.1	オンライン形式	
29.7	オンライン形式の録画配信	
1.9	その他()	

問14 沖縄市で、生涯学習フェスティバルが開催されていることを知っていますか。

0.9	ほぼ毎年参加している	
8.9	参加・見学したことがある	
29.7	知っているが、参加・見学したことはない	
59.7	知らない	

問15 どのような取り組みがあれば生涯学習フェスティバルに、(より)参加・見学したいと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

8.1	市民の学習の成果の発表の場として、参加対象者を広げる 例：市内の各種団体、企業や職場の自主学習グループ、大学・専門学校のゼミやサークル、民間施設等で活動しているグループなど 参加対象者()
40.7	体験コーナーを充実する
20.1	展示コーナーを充実する
9.8	ステージ発表を充実する
22.4	地域の伝統芸能等の紹介や体験の機会をつくる
19.1	学習について、気軽に相談できるコーナーをつくる
16.7	講演会などを開催する
2.7	その他()
30.7	わからない

問16 この1年間にボランティア活動や地域活動に参加したことはありますか。

15.5	ある	81.1	ない
------	----	------	----

問17 今後、地域で参加してみたい活動はどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

21.4	子育てや育児の支援
13.1	観光や産業の活性化に関する活動
16.3	地域の伝統行事や歴史の継承に関する活動
20.8	スポーツ活動
14.2	文化活動
10.9	障がい者や高齢者、在住外国人などの支援
15.2	地域の環境保全
10.1	国際交流に関する活動
17.2	防犯・防災活動
1.2	その他()
9.9	参加したいとは思わない
25.9	わからない

問18 多くの人が地域での活動に参加するためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

53.3	地域での活動に関する情報提供
52.0	活動への参加につながるきっかけづくり
15.1	コーディネーターなどの人的体制や活動の拠点となる場
14.8	活動の成果が社会的に評価されること
30.5	活動に必要な経費の支援
2.3	その他()
4.8	特にない
13.4	わからない

問19 あなたは、沖縄市教育委員会において、次のような取り組みをおこなっていることを知っていますか。(知っているものすべてに○)

16.2	出前講座	16.4	生涯学習ガイドブック
4.7	生涯学習メール「まなび★ナビ」	9.3	地域・学校連携施設の貸出
8.1	中央公民館登録サークル	58.1	移動図書館 ちえぞう君
18.2	放課後子ども教室	20.1	給付型奨学金
4.8	地域学校協働活動	8.4	教育委員会表彰式典

文化財について

問20 あなたは、沖縄市の文化財を保存・活用していく取り組みについてどう思いますか。
(あてはまるもの1つに○)

50.9	とても大切	31.5	ある程度は大切
0.8	あまり大切ではない	0.1	まったく大切でない
15.6	わからない		

問21 あなたは、沖縄市の文化財をどのように活用することを望みますか。
 (あてはまるもの1位から3位を記入)

1 文化財の保護意識の高揚	2 文化財の次世代への継承
3 市民の学習活動	4 学校教育との連携
5 地域の活性化につながる取組	6 観光誘客につながる取組
7 活用せず保護してもらいたい	8 その他()

1位	2位	3位

	1位	2位	3位
1 文化財の保護意識の高揚	18.8	12.7	9.7
2 文化財の次世代への継承	33.1	23.1	13.7
3 市民の学習活動	6.7	11.6	10.8
4 学校教育との連携	15.3	19.6	15.3
5 地域の活性化につながる取組	11.8	13.5	18.0
6 観光誘客につながる取組	5.5	6.4	13.0
7 活用せず保護してもらいたい	2.7	1.3	2.7
8 その他	1.5	0.2	0.6

学校教育(小学校・中学校での教育)について

小学 6 年生または中学 3 年生の保護者向けアンケートに回答した方は、問22は回答せず、問23 へお進みください。

問22 こどもたちに次のような能力や態度を身につけさせる必要性は、「A:学校教育」と「B:学校教育以外の場(家庭や地域等)」において、それぞれどの程度だと思いますか。(①～⑫について、A・Bそれぞれ、あてはまるもの1つに○)

	A 学校教育で身につけさせる必要性				B 学校教育以外(家庭や地域等)で身につけさせる必要性			
	高とても	高やや	低やや	低とても	高とても	高やや	低やや	低とても
①教科の基礎的な学力	67.8	24.8	6.8	0.6	27.5	44.7	24.8	3.0
②基礎的な学力を活用する力	61.7	30.3	7.4	0.6	31.0	48.7	18.0	2.3
③自ら学ぼうとする意欲	52.5	35.0	10.6	1.9	58.7	28.5	11.8	1.0
④実践的な英語力と国際理解	45.8	36.3	13.8	4.1	30.2	39.2	25.3	5.3
⑤ICT を活用する力	42.1	43.4	11.0	3.5	27.6	44.9	21.1	6.4
⑥音楽・美術など芸術面の能力や情操	24.0	47.8	25.7	2.5	32.8	42.4	21.3	3.5
⑦体力や運動能力	32.9	47.5	18.0	1.6	35.9	46.0	16.1	2.0
⑧自分の健康を管理する力	34.6	37.5	23.5	4.3	59.8	28.6	9.7	1.9
⑨自分の進路や職業、将来について考える力	49.4	35.8	12.4	2.3	62.5	26.4	10.3	0.7
⑩論理的にものを考える力	46.2	37.4	14.0	2.5	46.2	38.3	13.8	1.6
⑪自分の考えを表現する力	53.8	32.7	11.2	2.3	57.5	31.2	9.6	1.8
⑫ものごとを計画的に行う力	44.4	40.8	13.0	1.8	50.9	36.8	10.8	1.5
⑬新しいものを生み出す創造的な力	34.7	43.3	20.0	2.0	45.6	38.7	14.5	1.1
⑭善悪を判断する力	62.4	26.6	9.5	1.5	75.1	17.2	6.4	1.4
⑮人間関係を築く力	63.5	27.5	8.0	1.1	65.6	24.5	8.8	1.1
⑯他者を思いやる心	66.1	25.1	7.5	1.4	75.3	18.3	5.3	1.1
⑰社会で役立つとする心や公共心	49.8	35.1	13.2	2.0	58.8	28.3	11.3	1.6
⑱郷土や国を愛する心	30.4	42.6	23.3	3.7	37.8	40.4	18.3	3.5
⑲ものごとをやりとげる責任感やねばり強さ	48.3	36.2	13.5	2.0	59.9	30.3	8.8	1.0
⑳人権を尊重する力	60.3	28.4	10.0	1.2	62.3	27.4	9.0	1.4
㉑基本的な生活習慣	39.3	34.9	22.5	3.4	71.9	18.3	8.6	1.2
㉒自分自身で社会や生活の場を良くしていこうとする当事者意識	41.7	37.4	17.8	3.2	57.6	29.5	10.0	2.9

学校と家庭と地域の連携について

問23 学校と家庭と地域が連携して教育に取り組むためには、どのようなことが必要だと思いますか。(特に必要だと思うもの1位から3位を記入)

1 学校の運営に地域住民が参加する
2 授業や地域学習の講師として地域住民が参加する
3 部活動の指導者等として地域住民が参加する
4 学校行事を地域住民や家族が見学しやすくする
5 学校の施設を地域住民に開放する
6 児童生徒を地域の行事に参加させる
7 児童生徒の防犯や交通安全などに連携して取り組む
8 伝統や文化に関する体験活動などに連携して取り組む
9 特にない
10 その他()

1位	2位	3位

	1位	2位	3位
1 学校の運営に地域住民が参加する	11.9	6.2	4.2
2 授業や地域学習の講師として地域住民が参加する	11.4	9.4	7.0
3 部活動の指導者等として地域住民が参加する	5.7	6.4	6.2
4 学校行事を地域住民や家族が見学しやすくする	13.2	13.5	9.5
5 学校の施設を地域住民に開放する	3.4	4.8	5.5
6 児童生徒を地域の行事に参加させる	12.2	15.2	12.2
7 児童生徒の防犯や交通安全などに連携して取り組む	18.3	14.6	13.0
8 伝統や文化に関する体験活動などに連携して取り組む	8.0	12.3	18.5
9 特にない	5.6	1.1	4.0
10 その他	1.5	0.2	0.4

問24 次のような学校・家庭・地域の連携による活動の中で、今後、あなたが協力や参加をしたいと思うものは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

40.8	地域の子どもへのあいさつや声かけ等による見守り	19.7	ルールやマナーについて教えること
28.8	通学路の安全を見守る活動	16.6	運動会や発表会など学校行事への参加や協力
24.2	学校や学校周辺の美化・清掃活動	13.1	特技や経験を生かした授業への協力
8.9	クラブ活動・部活動の指導や運営協力	8.9	放課後や休日の体験活動や学習支援
6.4	地域の伝統文化や歴史を教える	17.0	子どもの悩みや相談への対応
8.9	街頭指導など非行防止の活動	9.3	子ども会などの地域活動
1.5	その他()	18.9	特に協力・参加したいと思わない

問25 沖縄市の生涯学習や学校教育について、ご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

第5期沖縄市教育振興基本計画アンケート調査報告書

発行 令和8年3月

委託者 沖縄市教育委員会

発行者 株式会社サーベイリサーチセンター
